

### 第3章 検出遺構と出土遺物

#### 第4項 6・7区の遺構と遺物

##### 1、調査区の概要

6・7区は、遺跡の中央南寄りに位置し、両区は農道を境とする。隣接区は用水路を隔てて北に4区・5区、農道を隔てて南に8区の北端部が接する。また、両区はインターチェンジ料金所部分にあたり、料金所から一般道接続部については、平成15年4月～平成17年5月にかけて国道122号線道路改良事業に伴い「東今泉鹿島遺跡」として発掘調査される。この調査は、国道122号線の拡幅部を含むため、直接的に当遺跡に接する部分は、東今泉鹿島遺跡の4・5・6区である。(隣接する「東今泉鹿島遺跡」の一部は、別添の「鹿島浦遺跡全体図 1/1,000」上に合成し掲載)

以下に調査区の概要を記す。

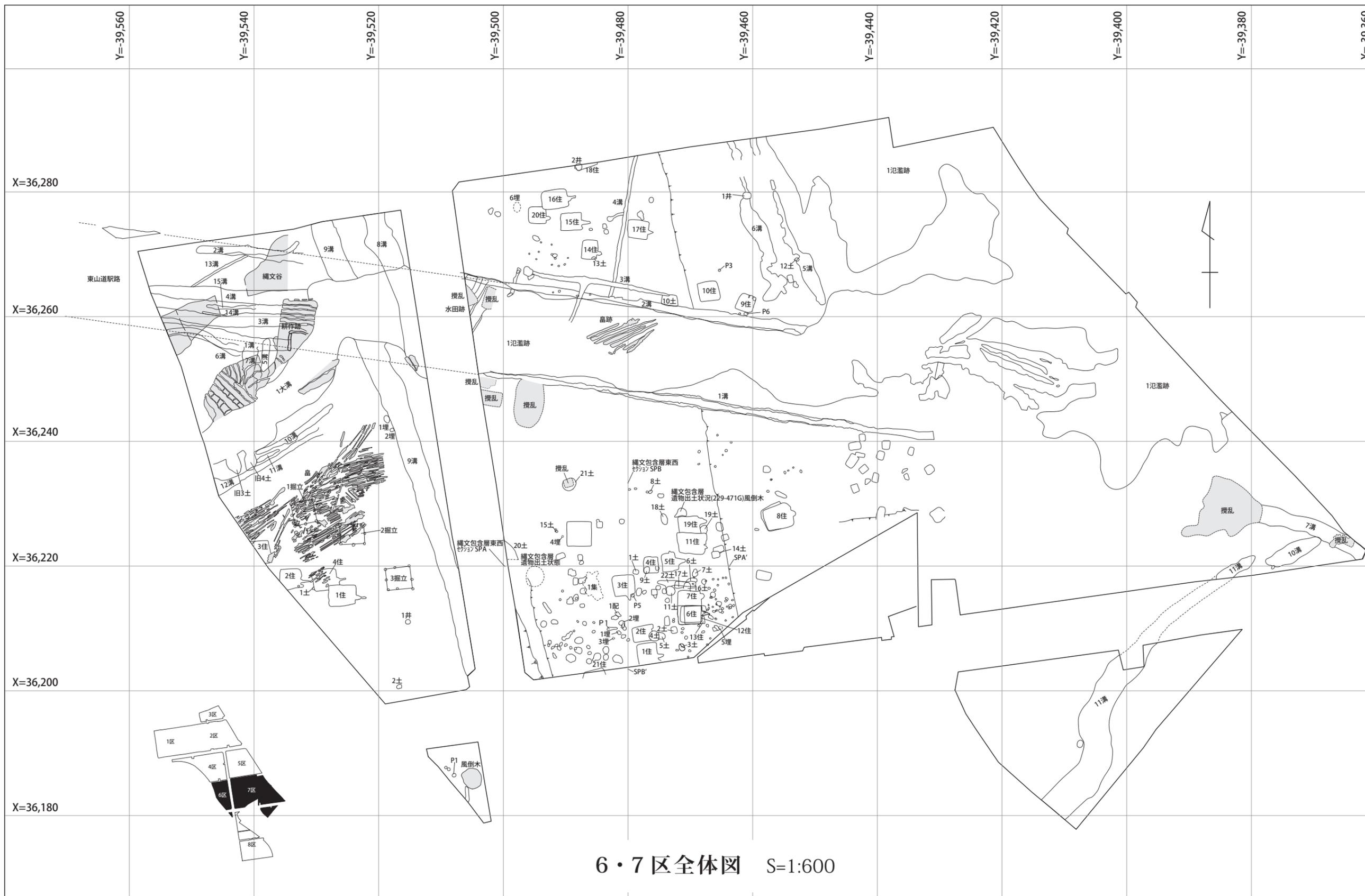
〈溝跡〉 4区より延長の8・9号溝跡が6区東端部と7区南西端部で検出される。6・7区検出の1・2号溝跡については、東山道駅路と推察される道路状遺構の北側および南側側溝、7区検出の3・4号溝跡については、その走行が側溝と平行・直交しているため、道路状遺構に関連する区画溝である可能性も考えられる。

〈道路状遺構〉 本遺跡に同じく北関東自動車道関連の発掘調査により、西から八ヶ入遺跡・大道西遺跡・大道東遺跡を経て本遺跡までの約1kmの範囲で、巾約12mを測る道路状遺構が検出され、古代官道である東山道駅路跡と考えられ、その延長は金山丘陵西において「牛堀・矢ノ原ルート」に接続するものと推察される。

本遺跡内においての東山道駅路跡は、決して良好な遺存状態での検出とは言えず、6区東端部においては前記の古代基幹用水路である8・9号溝跡と直交し重複しているものの、肝心な部分が後記の河川氾濫の影響を受け、削平・寸断されての検出であり、その新旧あるいは橋梁を設けての併存か否か等も明らかとはならなかった。本遺跡の特徴は、この道路状遺構と重複する竪穴住居跡など他の遺構が少ないことである。大道東遺跡において見られるような、道路状遺構を前後する時期の竪穴住居跡群などの存在が、本遺跡の場合は見られない。僅かに7区において9・10号住居跡が北側側溝に近接するのみである。重複が少ない理由としては、ひとつに東山道駅路建設以前の土地利用が少なく、周辺の集落が東山道駅路建設以降に展開し、その選地には一定の制限を受けていたためではないかと推察される。また、東山道駅路廃絶後についても、積極的な土地利用がなされなかったものと考えられる。

〈住居跡〉 調査区内の住居跡は大きく3群に大別できる。ひとつは7区東山道駅路北側の一群。2基の井戸跡を伴い、北側5区へと連なっていたものと推察される。次いで6区西端部の一群。4軒の竪穴住居跡は、そのカマド構築方法が酷似する。井戸跡・掘立柱建物跡を伴い、遺跡西へと連なるものと推察される。三つ目は7区東山道駅路南側の一群。イレギュラーな竪穴住居跡が南側の東今泉鹿島遺跡へと連なる。

〈河川氾濫跡〉 7区東端部から6区西端部にかけて、ほぼ東西方向の帯状に検出された水流の痕跡は、調査時に大溝跡として調査された。その幅員や深度は検出箇所により大きく異なり、特に7区東端部と6区西端部において、水流による底面の抉れ(ポッド)が認められた。また、隣接する5区のトレンチ調査結果においても、同様の水流によると考えられる落ち込みが検出されており、この水流痕は、5～7区の広範囲にかけて全体に不定形に蛇行し認められることから、溝跡のような人為的な遺構ではなく、河道若しくは大規模な河川の決潰による自然災害の痕跡と判断された。遺跡地は、渡良瀬川右岸1.7kmほどの所に位置し、水害は渡良瀬川増水に起因するものと考えられるが、川よりの直接的な氾濫ではなく、恐らくは調査区東側に接して矢場堰より取水の休泊堀用水経由の流入と推察される。この氾濫跡の時期については、最も新しい出土遺物としてカルピス瓶・各種薬瓶があり、昭和20年代のものと推定される。この時期の渡良瀬川水系の決潰・氾濫事例として、昭和22年9月のキャサリン(カスリン)台風・翌23年のアイオン台風・24年のキティー台風による未曾有の水害が記録されている。中でもキャサリン台風時には、葉鹿橋より上流側600mで堤防を越流し、床下浸水などの被害をもたらした。5・6・7区検出の氾濫跡もこの水害によるものと推察される。



第405図 6・7区全体図

2、竪穴住居跡

6区1号住居跡(旧称6区SJ-1)

位置：X = 36215 Y = -39525 主軸方向：N - 86° - E

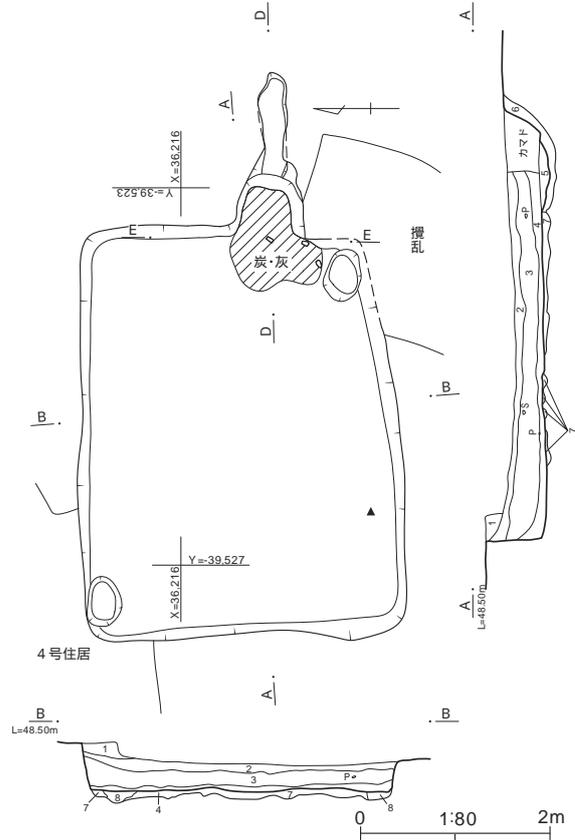
規模：4.4m × 3.4m 平面形状：隅丸長方形

残存深度：34cm ~ 56cm 埋没土：主に白色軽石とロームブロックを含む暗褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。床面：掘り方埋土である明黄褐色粘質土で埋め固め、床面とする。カマド：北東壁南東寄りに位置する。袖部は残らないものの、遺存状態は比較的良好。燃烧部使用面には焼土粒を含んだ灰層が広がる。煙道部は燃烧部から一段上がり、水平に120cmほど延びる。

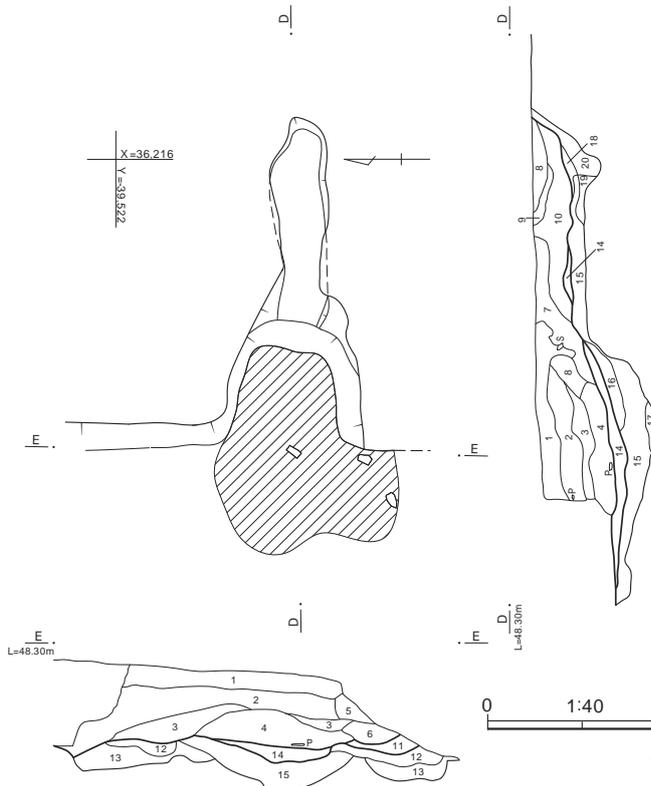
柱穴：掘り方調査段階で検出された南東・北西のコーナー部に位置するピットが、柱穴となる可能性がある。

貯蔵穴：なし。壁周溝：なし。

- 1号住居 埋土
- 1層 褐色土(7.5YR 4/3) 白色軽石粒・10 ~ 30mmのロームブロック含む
  - 2層 暗褐色土(7.5YR 3/4) 20 ~ 30mmのロームブロック含む
  - 3層 暗褐色土(7.5YR 3/3) ロームブロック多い 炭化物を含む
  - 4層 黄褐色土(7.5YR 3/3) ロームブロック・炭化物・焼土含む
  - 5層 灰層 灰・炭・焼土含む
  - 6層 黒褐色土(10YR 3/2) 焼土粒・黄褐ロームブロック含む
  - 7層 明黄褐色土(10YR 6/6) 粘質土(張り床)
  - 8層 黒褐色土(10YR 3/2) 炭化物・白色軽石含む (周溝埋土)

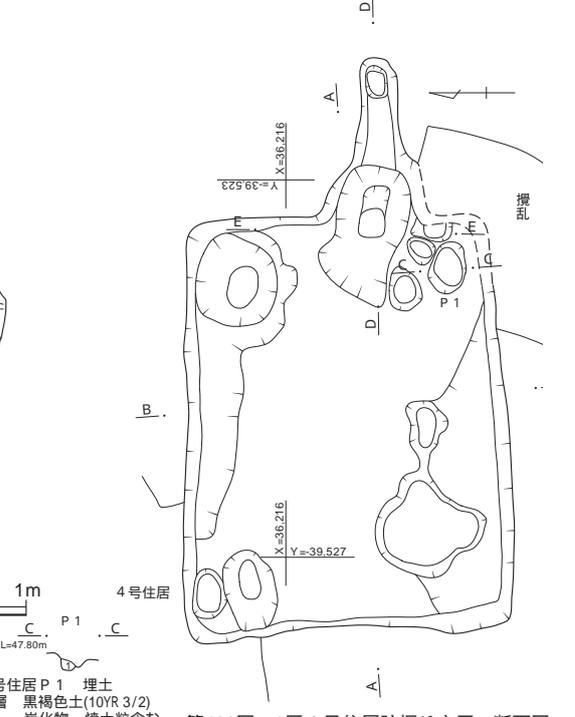


第406図 6区1号住居跡平・断面図



第407図 6区1号住居跡カマド平・断面図

- 1号住居カマド 埋土
- 1層 黒褐色土(10YR 3/2) 黄褐色ロームブロック・焼土含む [住居埋土]
  - 2層 黒褐色土(10YR 3/2) 1層よりロームブロックの混ざり少ない
  - 3層 黒褐色土(10YR 3/2) 黄褐色ロームの燃をうけたブロック含む
  - 4層 暗褐色土(10YR 3/4) 焼土・燃性ローム土混ざる
  - 5層 黒褐色土(10YR 3/2) 焼土・炭化物含む
  - 6層 明黄褐色土(10YR 6/6) 黄褐色ローム土の燃性による変質
  - 7層 明褐色土(7.5YR 5/6) 焼土・焼土ブロック・炭化物含む
  - 8層 暗褐色土(10YR 3/3) 焼土粒含む
  - 9層 暗褐色土(10YR 3/3) 焼土・ブロック含む
  - 10層 暗褐色土(10YR 3/3) 9層より焼土粒少量含む



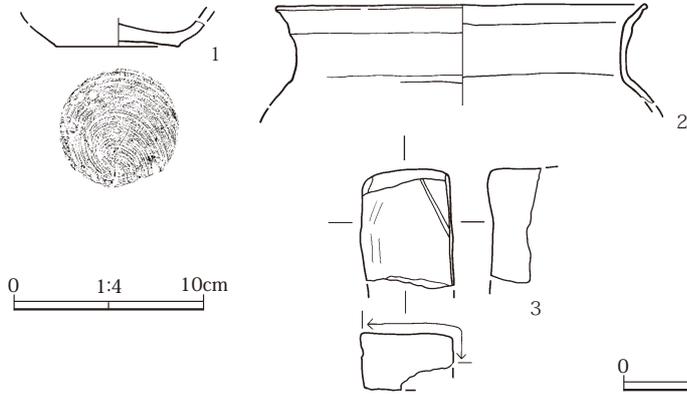
第408図 6区1号住居跡掘り方平・断面図

- 1号住居 P1 埋土
- 1層 黒褐色土(10YR 3/2) 炭化物・焼土粒含む
  - 11層 灰色土(7.5YR 5/1) 灰層
  - 12層 明黄褐色土(10YR 6/6) 白色軽石・焼土含む 黒色土混ざる
  - 13層 暗褐色土(10YR 3/3) 白色軽石含む 黄褐色ローム混ざる
  - 14層 褐灰色土(10YR 4/1) 灰・焼土粒・黒色土混ざる
  - 15層 黒褐色土(10YR 3/1) 黄褐色ローム・焼土粒含む
  - 16層 黒褐色土(10YR 3/1) 黄褐色ロームブロック入る
  - 17層 黄褐色土(10YR 5/6) ブロック
  - 18層 黒褐色土(10YR 3/2) しまりなし(根カク乱)
  - 19層 黒色土(10YR 1.7/1) 炭・黄褐色ローム混ざる
  - 20層 黒褐色土(10YR 3/2) 炭に黒褐色粘土混ざる

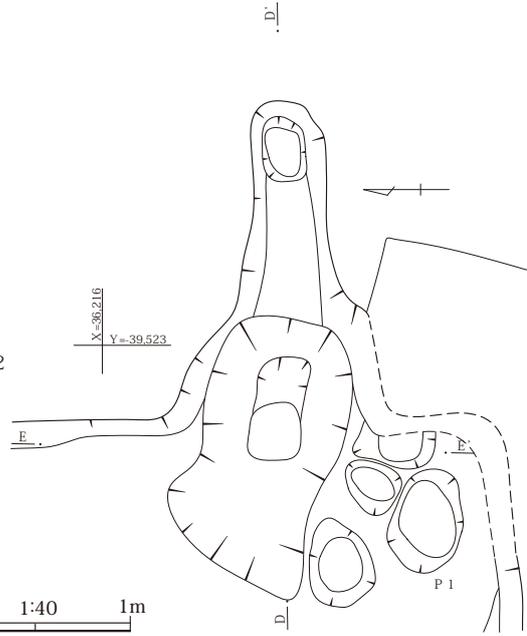
第3章 検出遺構と出土遺物

**重複遺構:** 4号住居跡と重複し、遺構確認時の埋土の様相より、本遺構の方が新しいものと判断される。

**掘り方:** 全体に地山ローム土を3~8cmほど掘り窪め、一部を土坑状に掘り下げる。  
**出土遺物:** 出土は僅かで、埋土中から須恵器杯片(No. 1)と砥石(No. 3)などが出土するのみである。



第409図 6区1号住居跡出土遺物



第410図 6区1号住居跡カマド掘り方平面図

6区1号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考			
1	須恵器 杯	埋土中 底部 底部のみ残存	口径 — 底径 6.5 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(5Y6/1)	ロクコ整形。回転右回り。 外面：底部回転糸切り。 内面：底部回転ナデ調整。				
2	土師器 甕	竈掘方埋土中 口縁部~胴部上端 破片	口径 19.2 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 橙(5YR 7/6)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ、胴部ヘラナデ。				
番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	石材	摘要
3	石製品	砥石	一部片	6.3	4.8	2.2	125	砥沢石	表面、右側面のみ使用か。

6区2号住居跡(旧称6区SJ-2)

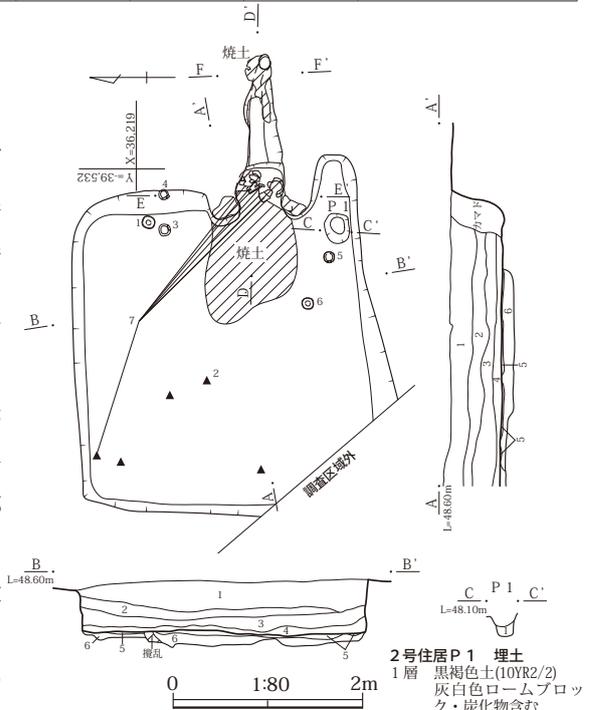
位置: X = 36218 Y = -39533 主軸方向: N-90° -E

規模: 3.4m×3.1m 平面形状: 隅丸長方形

**残存深度:** 52cm~58cm **埋没土:** 少量の白色軽石とロームブロックなどを含む暗褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。  
**床面:** 掘り方埋土である暗褐色土で埋め固めたうえ、黒褐色粘質土を用いて薄く貼り床を敷設する。  
**カマド:** 東壁の中央南寄りに位置する。遺存状態は良好。両袖基部は地山を掘り残す形で築かれ、使用面灰層は確認できなかったが、燃燒部からカマド前面にかけて焼土の広がりが見られた。煙道部は燃燒部から一段上がり、115cmほど水平に延びる。煙道部端はトンネル状に残っており、壁・天井部の著しい焼土化が認められた。

**柱穴:** なし。 **貯蔵穴:** 調査時にP1としてカマド右脇に検出された径32×26cm、深さ28cmを測る土坑が貯蔵穴と考えられ、埋没土に炭化物と灰白色ロームブロックを含むことから、カマド廃絶時に開口していたものと考えられる。

**壁周溝:** なし。 **重複遺構:** 重複遺構はないが、南西コーナー部分が調査区域外にかかる。 **掘り方:** 住居中央部から北壁寄りを14cmほど皿状に掘り窪める。

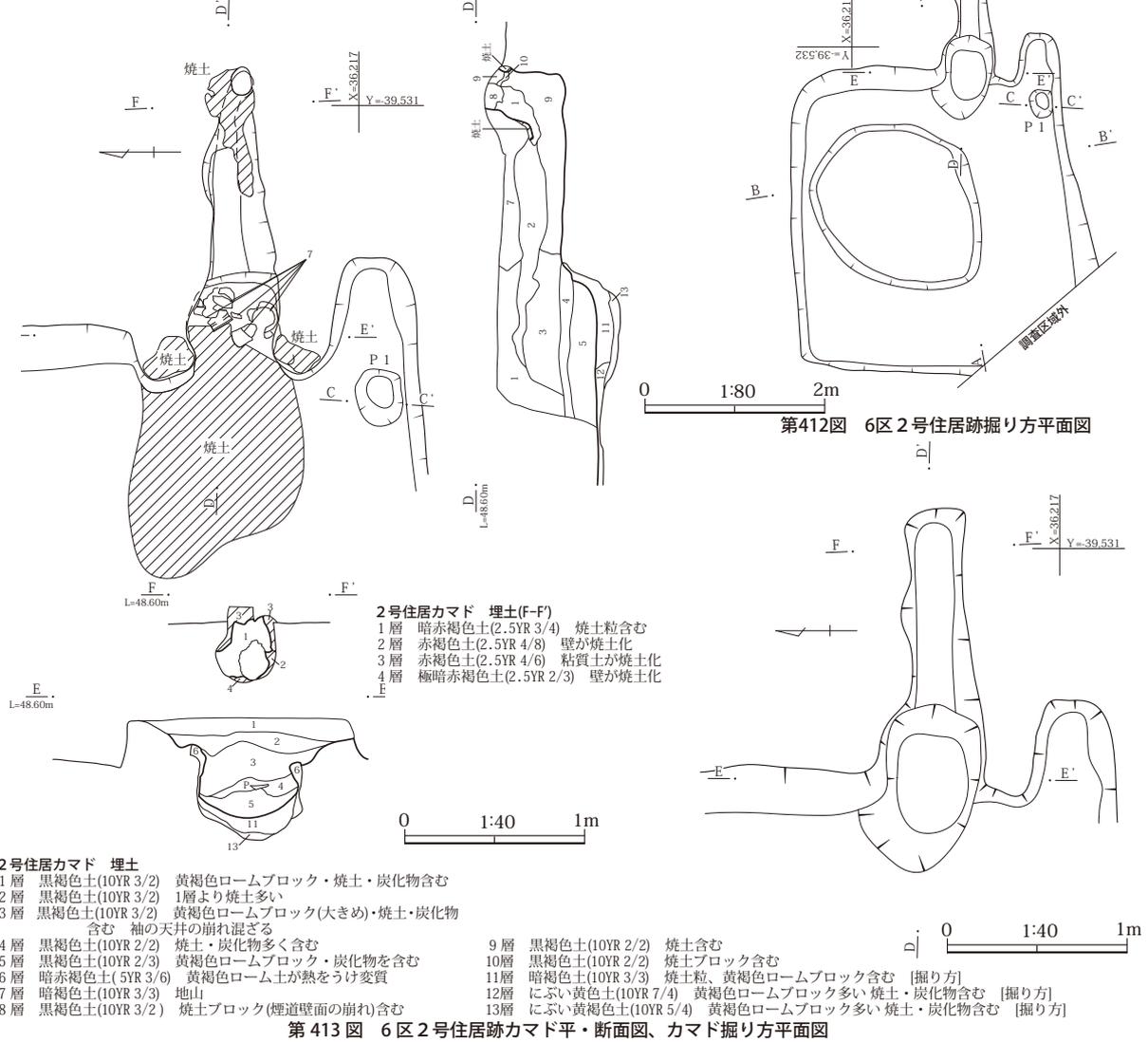


**2号住居 埋土**  
 1層 暗褐色土(7.5YR 3/4) 白色軽粒少量・ロームブロック含む  
 2層 暗褐色土(7.5YR 3/4) ロームブロック・炭化物含む  
 3層 暗褐色土(7.5YR 3/3) 炭化物多い  
 4層 極暗褐色土(7.5YR 2/3) ロームブロック・炭化物含む  
 5層 黒褐色土(10YR 3/2) 粘質土 [掘り方]  
 6層 極暗褐色土(5YR 2/3) 粘質土(5層)と砂層の混ざり 鉄分を含む [掘り方]

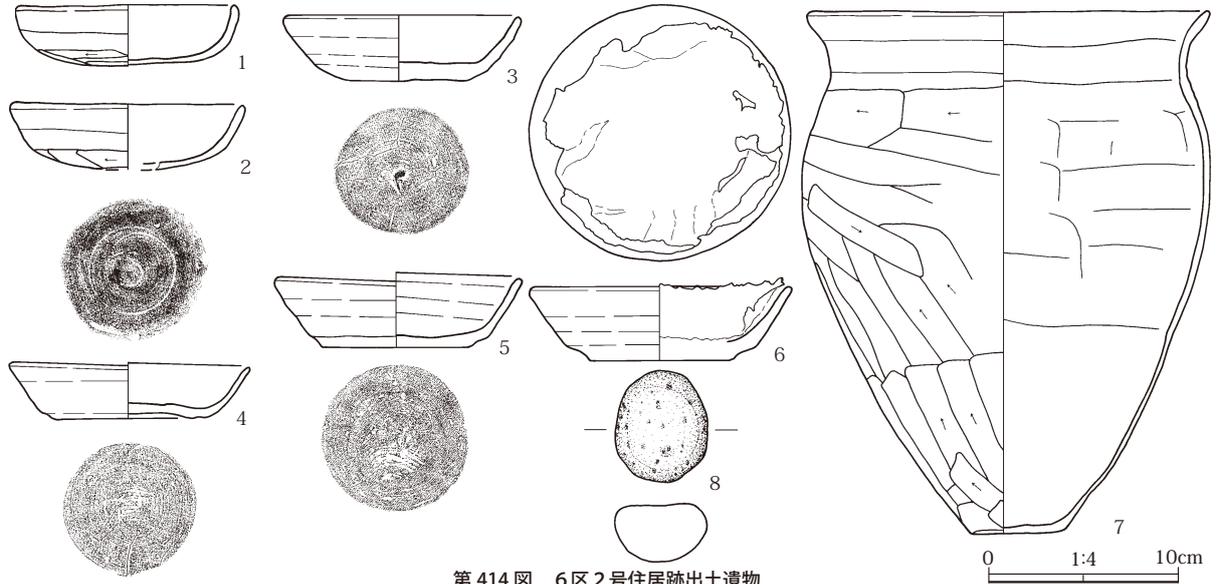
**2号住居 P1 埋土**  
 1層 黒褐色土(10YR 2/2)  
 灰白色ロームブロック・炭化物含む

第411図 6区2号住居跡平・断面図

出土遺物：壁際で完形の土師器杯(No. 1)、須恵器杯(No. 3・5)が出土した他、埋土中から完形の須恵器杯(No. 4)や漆附着土器(No. 6)が出土している。また、カマド内では土師器甕(No. 7)の破片の他、砥石(No. 8)が出土した。



第413図 6区2号住居跡カマド平・断面図、カマド掘り方平面図



第414図 6区2号住居跡出土遺物

第3章 検出遺構と出土遺物

6区2号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	壁際直下 完形	口径 11.4 底径 — 器高 3.1	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい赤褐(5YR 5/4)	外面：口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。 内面：口縁部～体部横ナデ、底部ナデ。	
2	土師器 杯	床面直上 口縁部～底部 2/3	口径 12.0 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい赤褐(5YR 5/4)	外面：口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。 内面：口縁部～体部横ナデ、底部ナデ。	
3	須恵器 杯	床面+2cm 完形	口径 12.2 底径 6.7 器高 3.4	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ 褐灰(10YR 6/1)	口クロ整形。回転右回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	底部外面中央に「五」の墨書。内面にスス付着。
4	須恵器 杯	床面+53cm 完形	口径 12.5 底径 7.0 器高 3.0	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰(N 5/0)	口クロ整形。回転左回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	歪みがややあり。
5	須恵器 杯	床面+2cm 完形	口径 12.8 底径 7.8 器高 3.9	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰(N 5/0)	口クロ整形。回転右回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り後、底部周辺は回転ヘラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
6	須恵器 杯	床面+13cm 完形	口径 13.5 底径 7.6 器高 3.9	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 青黒(5B 1.7/1)	口クロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り後、ヘラ調整。 内面：全体にわたり漆紙が付着。	漆付着土器。底部外面にヘラ記号「+」
7	土師器 甕	竈埋土中 口縁部～底部 3/4	口径 20.9 底径 4.9 器高 27.7	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 暗赤灰(10R 3/1)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ、胴部上半横、下半縦方向ヘラ削り、底部ヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部～底部ヘラナデ。	

番号	種別	器種	状態	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	石材	摘要
8	石製品	砥石	完形	5.8	4.8	2.9	39	二ツ岳軽石	一面中央部を使用。浅く皿状に磨滅し窪む。

6区3号住居跡(旧称6区SJ-3)

位置：X = 36222 Y = -39538

主軸方向：N-88° - E

規模：不明×3.7m 平面形状：住居西半部が調査区域外にかかるため、不明。

残存深度：28cm～43cm 埋没土：白色軽石とロームブロックなどを含む暗褐色～褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。床面：ローム地山を床面とするが、一部にロームを主体とした黄褐色土で掘り方を埋め固めて床面としている。

カマド：東壁の中央南寄りに位置する。袖部は残らず、燃烧部使用面には焼土を含んだ厚い灰層が確認され、直上には天井部材の崩落が認められた。煙道部は燃烧部より一段上り緩やかに立ち上がる。柱穴：掘り方調査で南東コーナー部付近で1基を検出した。28×22cmの楕円形で、深さは40cmを測る。

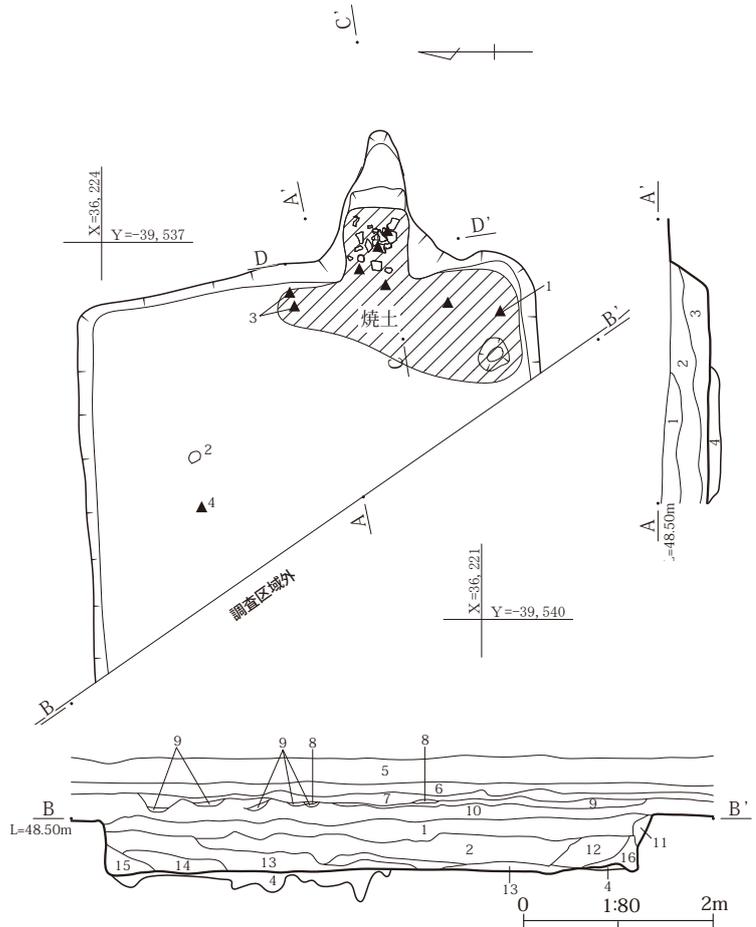
貯蔵穴：なし。壁周溝：調査範囲内に於いてはなし。重複遺構：なし。

掘り方：住居中央部から北壁寄りを17cmほど皿状に掘り窪める。

3号住居 埋土

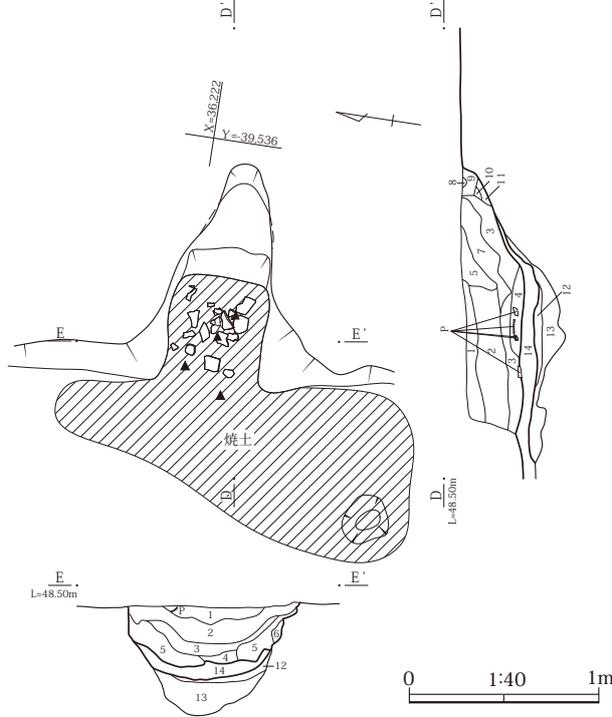
- 1層 暗褐色土(7.5YR 3/4) 白色軽石粒・ロームブロックφ5～10mm含む
- 2層 明褐色土(7.5YR 5/6) φ10～30mmのロームブロック含む
- 3層 褐色土(7.5YR 4/3) ローム粒・炭化物・灰含む
- 4層 黄褐色土(10YR 5/6) 砂層にローム土混ざる [掘り方]
- 5層 にぶい黄褐色土(10YR 7/3) 耕作土
- 6層 褐灰色土(10YR 5/4) 耕作土・白色軽石含む
- 7層 灰黄褐色土(10YR 5/2) 6層に砂混ざる

- 8層 砂層
- 9層 褐灰色土(10YR 6/1) AS-B層
- 10層 黒褐色土(10YR 2/2) 白色軽石含む、粘質土
- 11層 黒褐色土(10YR 3/1) 10層に類似、炭化物少量含む
- 12層 黒褐色土(10YR 3/2) 黒土・ロームブロック・白色軽石混ざる
- 13層 黒褐色土(10YR 3/2) 3層よりローム粒少ない
- 14層 黒褐色土(10YR 3/2) 13層よりローム粒少ない
- 15層 黒褐色土(10YR 3/1) 14層よりローム粒少ない
- 16層 黒色土(10YR 2/1) 灰含む



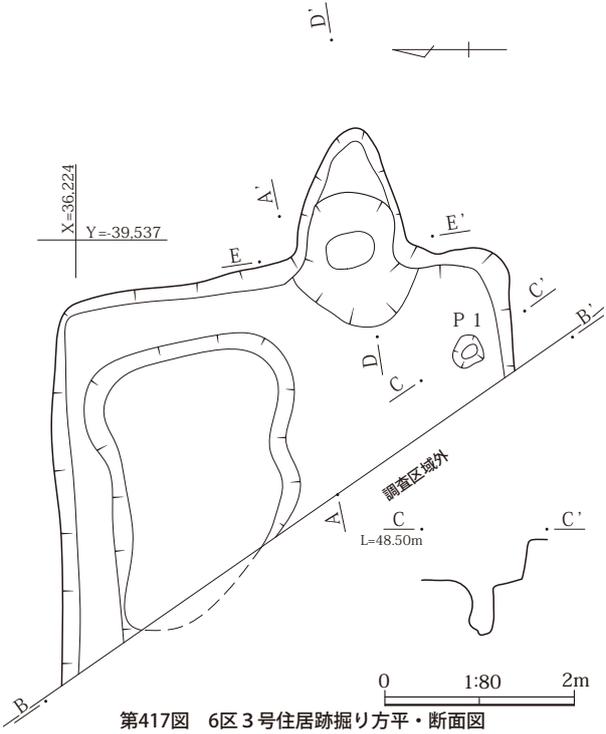
第415図 6区3号住居跡平・断面図

出土遺物：全体的にわずかな出土量である。埋土中から土師器杯(No. 1)や黒色土器鉢(No. 2)が出土している。また、カマド燃焼部で土師器甕(No. 3)の破片が出土した。

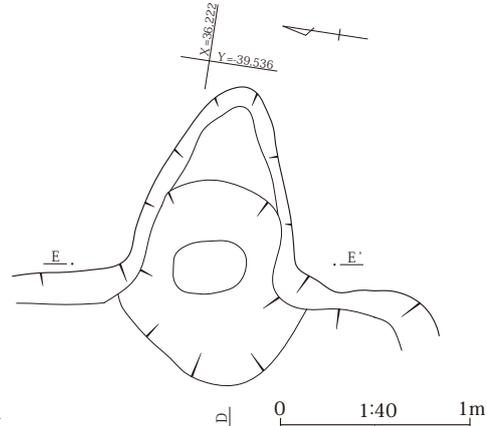


第416図 6区3号住居跡カマド平・断面図

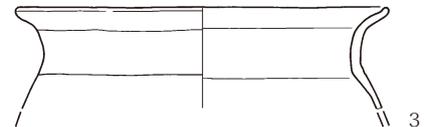
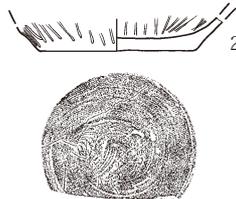
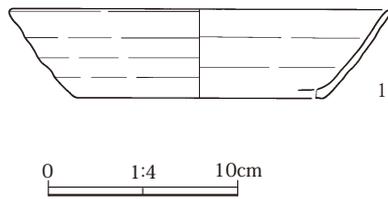
- 3号住居カマド 埋土
- 1層 黒褐色土(10YR 3/2) 黄褐色ローム・焼土・炭化物多く含む
  - 2層 黒褐色土(10YR 3/2) 黄褐色ローム・焼土・炭化物含む
  - 3層 黒褐色土(10YR 2/3) 黄褐色ローム大ブロック・焼土・炭化物含む
  - 4層 暗褐色土(10YR 3/4) 黄褐色ローム・炭化物含む
  - 5層 [天井の崩落]
  - 6層 暗褐色土(10YR 3/3) 焼土含む
  - 7層 にぶい黄褐色土(10YR 4/3) 焼土ブロック・炭化物含む
  - 8層 黒褐色土(10YR 2/2) 焼土粒含む
  - 9層 明褐色土(7.5YR 5/6) 焼土
  - 10層 黒褐色土(10YR 2/2) 焼土多く含む
  - 11層 明褐色土(7.5YR 5/8) 焼土
  - 12層 にぶい黄褐色土(10YR 4/3) 焼土・灰含む
  - 13層 暗褐色土(10YR 3/3) 焼土・灰少量含む
  - 14層 焼土・灰層面



第417図 6区3号住居跡掘り方平・断面図



第418図 6区3号住居跡カマド掘り方平面図



第419図 6区3号住居跡出土遺物

6区3号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	底面+8cm 口縁部~体部 破片	口径 19.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい橙(5YR 6/4)	外面：口縁部~体部横ナデ。 内面：口縁部~体部横ナデ。	
2	黒色土器 杯	底面+30cm 体部下端~底部 破片	口径 — 底径 8.2 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 内外面黒 色処理 ③ 灰(7.5Y 4/1)	ロクロ整形。回転右回り。内・外面燻し。 外面：体部回転ナデ後、底部回転糸切り後、回転ヘラ削り。 内面：体部~底部回転ナデ調整後放射状ヘラ磨き。	
3	土師器 甕	竈埋土中 口縁部~胴部上端 破片	口径 19.4 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 橙(7.5YR 6/6)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ、胴部ヘラナデ。	

第3章 検出遺構と出土遺物

6区4号住居跡(旧称6区SJ-4)

位置：X=36218 Y=-39528 主軸方向：N-81°-E 規模：3.9m×3.3m 平面形状：隅丸長方形

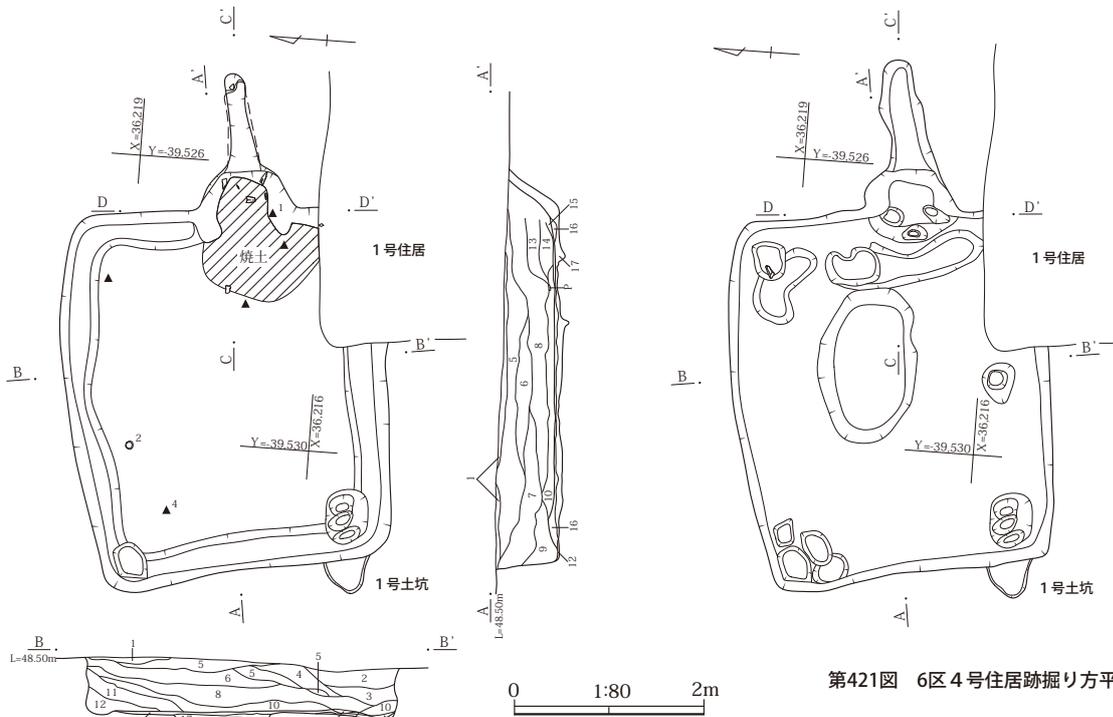
残存深度：43cm～61cm 埋没土：白色軽石とローム粒・ロームブロックを含む褐色土～黒褐色砂質土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。床面：浅い掘り方をローム主体とした黒褐色土で埋め戻した上に、にぶい黄褐色粘質土を用いて貼り床が敷設される。カマド：北東壁の中央やや南東寄りに位置する。燃烧部中央で灰層が確認され、この灰層の直上は焼土化した天井部材の崩落が認められた。袖基部は地山を掘り残す形で構築され、被熱で焼土化している。掘り方調査時に両袖部に接して小さな窪みが検出され、袖石を据えた痕跡の可能性はある。煙道部は燃烧部から一段上がり、水平に105cmほど延びる。なお、カマドの形態が重複する1号住居跡のものと酷似する。

柱穴：掘り方調査時において北西および南西コーナー部に検出されたピットが柱穴となるものと思われる。

貯蔵穴：なし。壁周溝：幅26～44cm、深さ4～8cmを測る壁溝が全周している。

重複遺構：1号住居跡、1号土坑跡と重複する。遺構確認～掘削時の埋土の様相より、本遺構は1号住居跡よりも古く、1号土坑跡より新しいものと判断された。掘り方：住居中央北東寄りを2～12cmほど浅く皿状に掘り窪める。

出土遺物：床面直上で須恵器の把手部(No. 4)が出土した他、埋土中から須恵器椀(No. 2)の底部を転用した硯が出土している。また、カマド内より土師器甕(No. 3)と漆の付着した須恵器杯片(No. 1)が出土している。

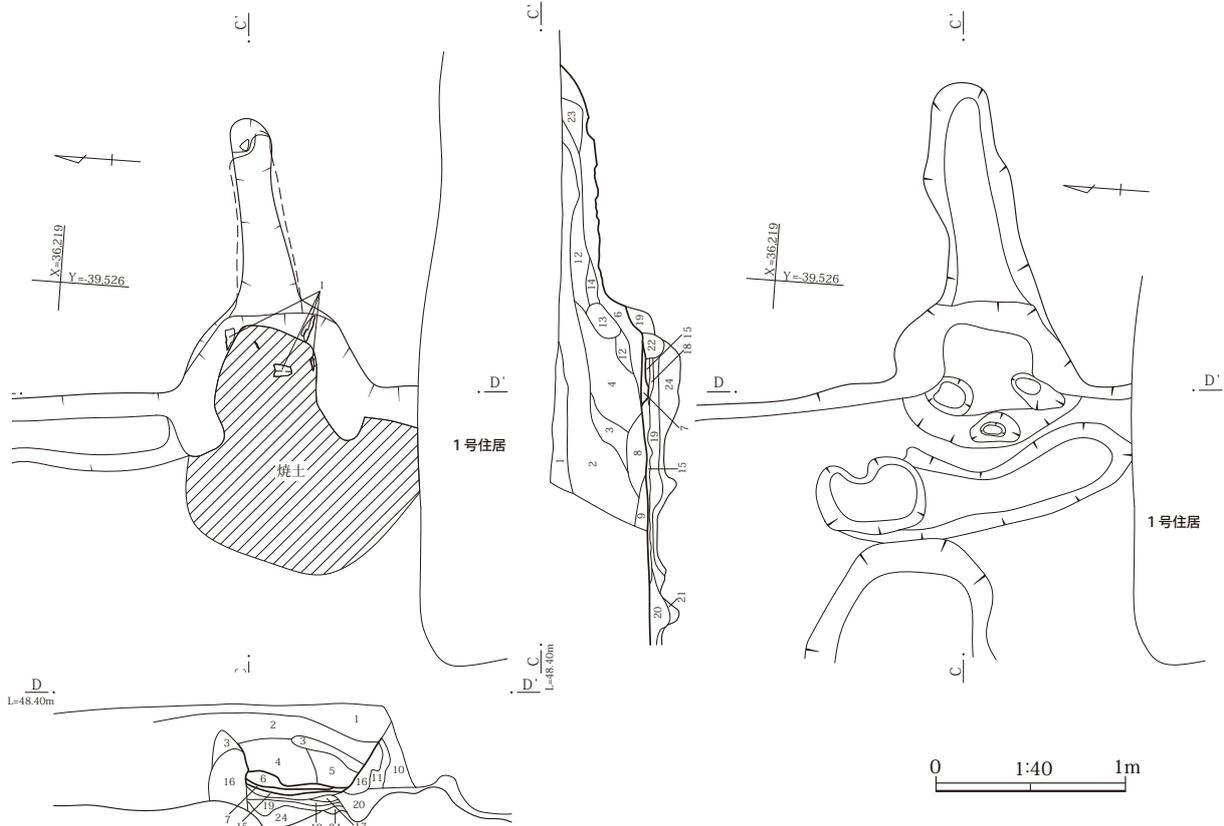


第420図 6区4号住居跡平・断面図

第421図 6区4号住居跡掘り方平面図

4号住居 埋土

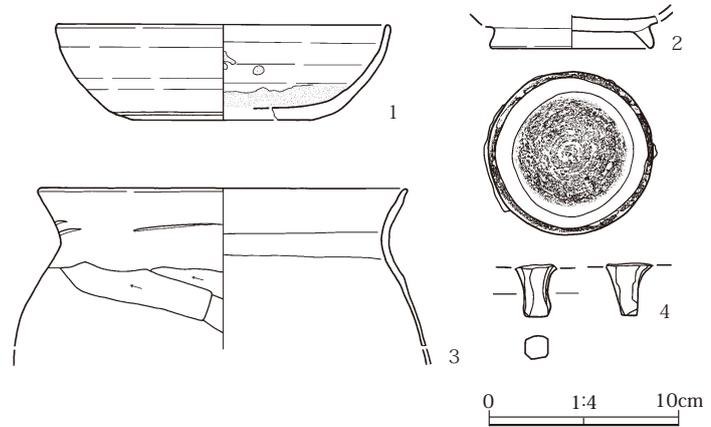
- 1層 褐色土 白色軽石・ローム粒子を含む
- 2層 黄褐色土 大小のロームブロック・ローム塊を多く含む As-C軽石混黒色土塊(C混土)を含む
- 3層 黄褐色土 ロームの塊が主体 C混土ブロック含む
- 4層 暗褐色土 C混土を主体とし φ20～40mmのロームブロックを少量含む
- 5層 褐色土 C混土とロームの混土 斜線部にローム塊があるが、あとはφ10mm程度のロームブロックが少量混じる
- 6層 暗褐色土 C混土が主体 φ10mm程のロームブロック少量含む
- 7層 暗褐色土 C混土の塊(φ100mm以上)を含む ロームはφ10～20mmのブロックで多く混じる
- 8層 黒褐色土 C混土が主体 φ10～30mmのロームブロックをやや多く含む
- 9層 暗褐色土 C混土とロームがともにφ30～50mmのブロックで均等に混在
- 10層 黒褐色土 As-Cをわずかに含む やや粘性あり φ30mmぐらいのローム塊をわずかに含む
- 11層 暗褐色土 As-Cほとんどなし φ10～20mmのロームブロックを多く含む 黒色土ブロックも含む
- 12層 褐色土 ロームの崩れたような土 ロームブロック・黒色土ブロックともφ10mm以下でグズグズ
- 13層 黒褐色土 8層より白色軽石少ないロームブロックφ大きい
- 14層 黒褐色土 13層に白色軽石含まず
- 15層 炭層
- 16層 にぶい黄褐色土(10YR 5/3) 粘性強い [張り床]
- 17層 黒褐色土(10YR 3/2) 黄褐色ロームブロックまざる



第422図 6区4号住居跡カマド平・断面図、カマド掘り方平面図

4号住居カマド 埋土

- 1層 黒褐色土(10YR 2/2) 白色軽石・黄褐色ロームブロック含む
- 2層 暗褐色土(10Y 3/3) 白色軽石・黄褐色ローム多く含む
- 3層 黒色土(10YR 2/1) 白色軽石少量含む 粘質土
- 4層 暗褐色土(10YR 3/3) ローム粒入る
- 5層 黒褐色土(10YR 3/2) 白色軽石・ロームブロック含む
- 6層 暗赤褐色土(5YR 3/2) 焼土・ローム粒含む
- 7層 炭層
- 8層 黒褐色土(10YR 2/2) ローム粒含む
- 9層 黒褐色土(10YR 2/2) 焼土粒含む
- 10層 黒褐色土(10YR 2/3) 白色軽石・焼土・炭含む
- 11層 極暗赤褐色土(2.5YR 2/3) 焼土
- 12層 赤褐色土(2.5YR 4/8) 焼土ブロックφ1~3mm含む
- 13層 橙色土(2.5YR 6/8) カマドブリッジ固くしまり焼けている
- 14層 赤褐色土(2.5YR 4/6) 焼土 [天井部]
- 15層 暗赤褐色土(2.5YR 3/3) 焼土
- 16層 橙色土(7.5YR 6/6) ローム土の焼土化
- 17層 黒色土(10YR 1.7/1) 炭・ローム混ざる
- 18層 明黄褐色土(10YR 7/6)
- 19層 褐灰色土(10YR 4/1) 炭・ローム混ざる 焼土粒含む
- 20層 褐色土(10YR 4/4) ロームと黒色土の混ざり
- 21層 黄褐色土(10YR 5/6) ロームに黒色土少量混ざる
- 22層 暗赤褐色土(5YR 3/2) 6層に類似 しまりなし  
[根によるカク乱]
- 23層 赤褐色土(10R4/3) 焼土・粘土混ざる
- 24層 黄褐色土(10YR5/6) 砂混じる ロームの変質



第423図 6区4号住居跡出土遺物

6区4号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	竈埋土中 口縁部~底部 1/4	口径 17.2 底径 9.2 器高 5.0	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(N 6/0)	ロクロ整形。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転ヘラ削りか。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。漆附着。	漆附着土器。
2	須恵器 転用碗か	床面+4cm 底部 底部のみ残存	口径 — 底径 8.1 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ 赤灰(2.5YR 5/1)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：底部回転ヘラ削り。高台貼付。 内面：底部回転ナデ調整。硯使用によって擦れている。	須恵器碗底部を 転用。
3	土師器 甕	竈埋土中 口縁部~胴部上端 破片	口径 19.3 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい橙(7.5YR 7/4)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ、胴部横方向ヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。	
4	須恵器 不明	床面直上 把手部	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 黄灰(2.5Y 5/1)	把手貼付。把手の長さ2.7cm、巾1.3cm、高さ1.4cm。 把手部ヘラ削り。	

第3章 検出遺構と出土遺物

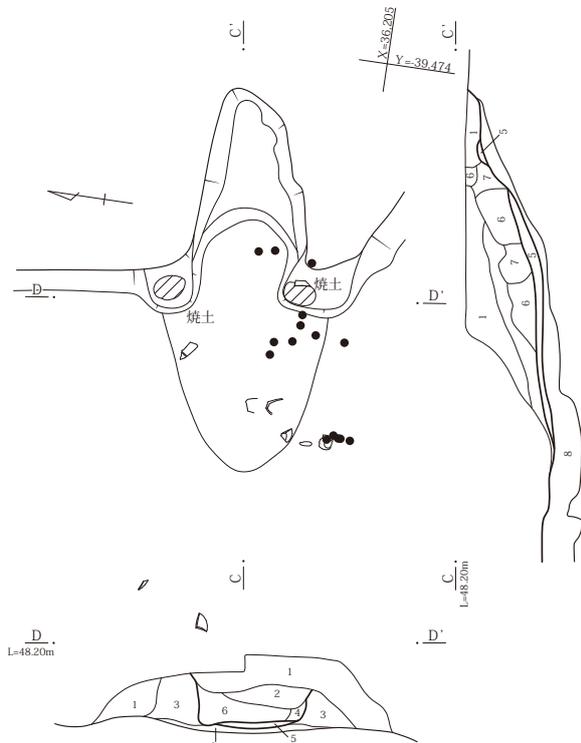
7区1号住居跡(旧称7区SJ-1)

位置：X=36206 Y=-39477 主軸方向：N-82°-E

規模：3.2m×不明 平面形状：隅丸長方形を呈するものと思われるが調査区以外の為不明。残存深度：28cm～39cm 焼土粒子含む暗褐色～褐色粘質土で埋没し、樹根による攪乱はあるものの、その堆積状態は自然埋没の様相を呈する。床面：掘り方埋土であるロームを主体とした暗褐色土で埋め固め、床面としている。カマド：東壁の南寄りに位置する。両袖共に残っており、全体的に遺存状態は良好。両袖は黄橙色粘質土で構築され、被熱による焼土化が著しい。煙道部は緩やかに立ち上がる。柱穴：掘り方調査の段階で数穴を検出し、壁際の3穴が柱穴となる可能性がある。貯蔵穴：調査区域外にかかり、確認できなかった。壁周溝：なし。重複遺構：なし。掘り方：全体に地山ローム土を6～20cmほど掘り窪め、住居中央カマド寄りを皿状に掘り窪める。出土遺物：埋土中から須恵器杯(No. 1)・椀(No. 2)が出土している。

1号住居 埋土

- 1層 暗褐色土 粘性あり 白色軽石・焼土粒含む 鉄分が混じる
- 2層 暗褐色土 1層に黄褐色土混ざる [根によるカク乱]
- 3層 暗褐色土 粘性あり 鉄分混じる 軽石・焼土粒非常に少ない
- 4層 褐色土 粘性あり 褐色土に黄褐色土混ざる
- 5層 暗褐色土 粘性あり 1層より焼土粒大きい
- 6層 暗褐色土 粘性あり 黄褐色土がブロック状に混ざる
- 7層 褐色土 粘性あり 白色軽石少量含む
- 8層 褐色土 粘性あり 白色軽石含む 黒色土が混ざる
- 9層 褐色土 粘性あり 黄褐色土(粘土)に焼土多量に混ざる [煙道部]
- 10層 暗褐色土 炭化物・ローム粒含む [掘り方埋土]

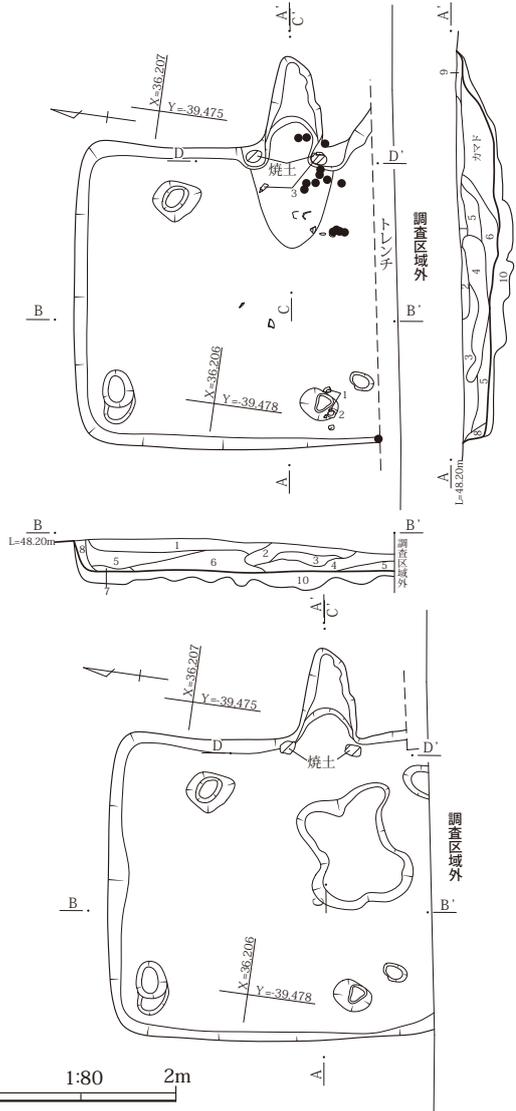


1号住居カマド 埋土

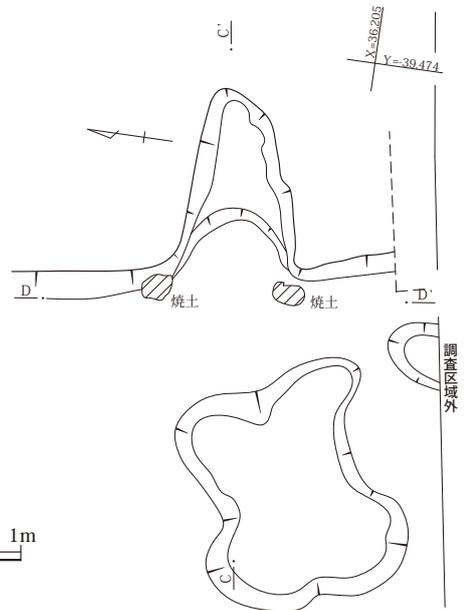
- 1層 暗赤褐色土(7.5YR 3/3) 若干の炭化物含む
- 2層 暗赤褐色土(7.5YR 3/3) 粘土ブロック含む
- 3層 黄橙色土(10YR 7/8) 粘質土 [袖部]
- 4層 暗赤褐色土(7.5YR 3/4) 2層より明るい 粘土多い
- 5層 炭層
- 6層 黄橙色土(10YR 8/6) 天井の崩落土
- 7層 にぶい黄褐色土(10YR 5/3) 粘土・焼土・炭化物混じる
- 8層 暗褐色土炭化物・ローム粒含む [掘り方埋土]

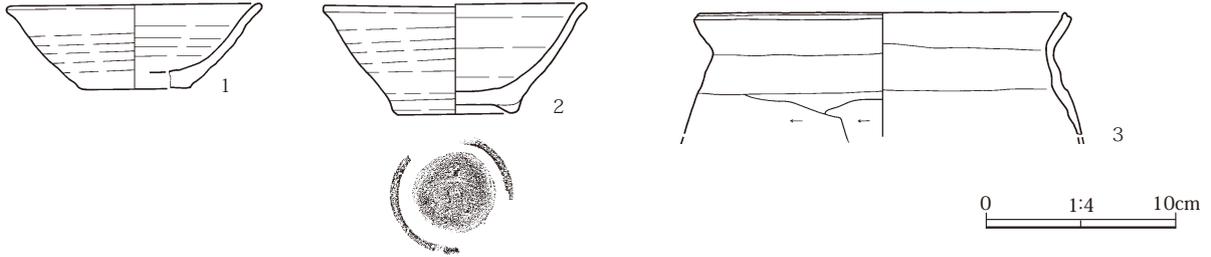


第245図 6区1号住居跡カマド平・断面図、掘り方平面図



第244図 6区1号住居跡平・断面図・掘り方平面図





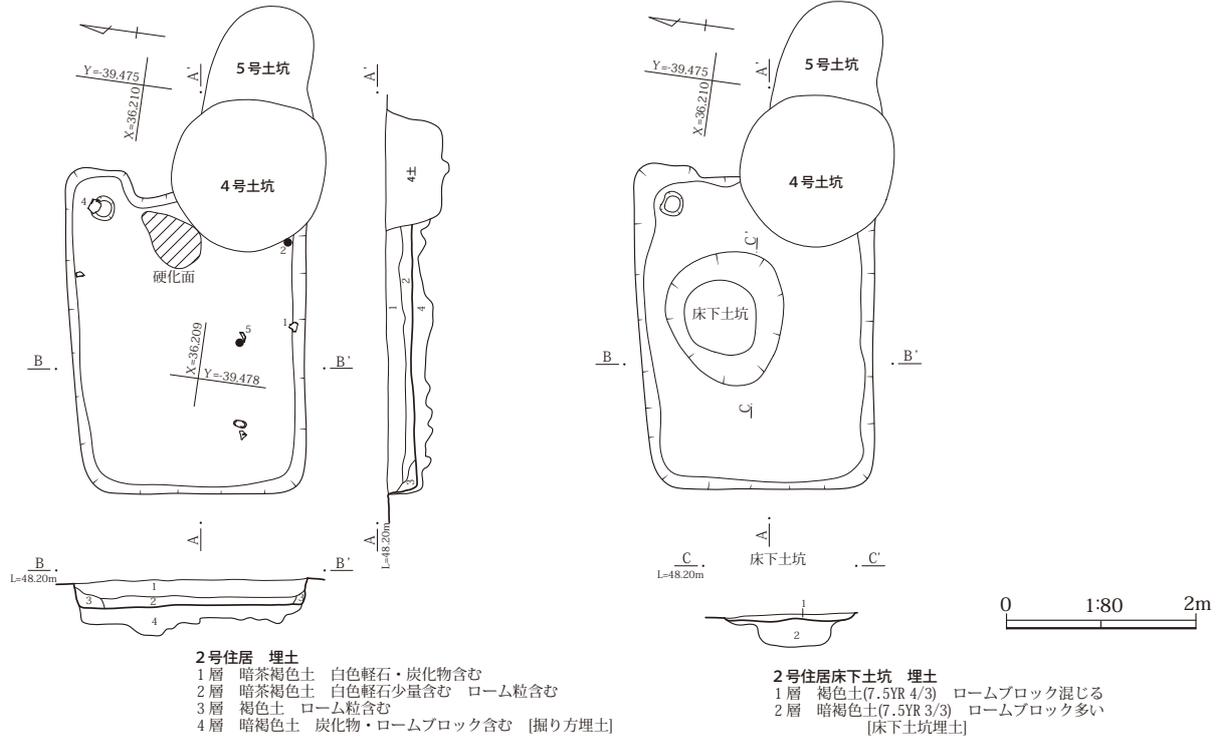
第426図 7区1号住居跡出土遺物

7区1号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	床面+32cm 口縁部~底部 1/3	口径 13.0 底径 5.8 器高 4.4	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 ③ にぶい橙(7.5YR 6/4)	ロクロ整形。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	
2	須恵器 椀	床面+34cm 口縁部~底部 1/3	口径 13.6 底径 6.9 器高 5.8	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焰 ③ 橙(5YR 6/6)	ロクロ整形。回転右回り。口縁部外反。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転糸切り。高台貼付。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	
3	土師器 甕	床面+20cm、竈埋土中 口縁部~胴部上端 破片	口径 19.2 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい橙(5YR 6/4)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ。胴部横方向へラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部へラナデ。	

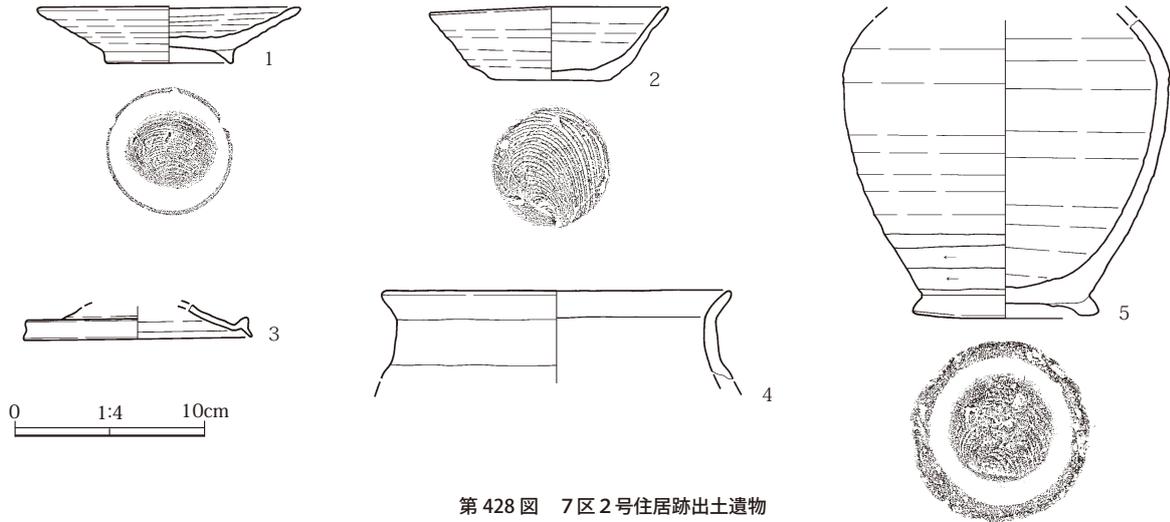
7区2号住居跡(旧称7区SJ-2)

**位置：**X=36209 Y=-39477 **主軸方向：**N-83° -E **規模：**3.4m×2.5m **平面形状：**隅丸長方形  
**残存深度：**25cm～32cm **埋没土：**白色軽石と炭化物・ローム粒を含む暗褐色土で埋没し、その堆積状態は自然埋没の様相を呈する。 **床面：**掘り方埋土であるロームを主体とした暗褐色土で埋め固め、床面としている。  
**カマド：**北東壁の中央南東寄りに位置すると思われるが、重複する4号土坑跡によって消失している。  
**柱穴：**掘り方調査の段階で北東壁際において深さ22cmを測る穴を検出し、規模・形状より柱穴に当たるものと考えられる。  
**貯蔵穴：**カマドと共に消失した可能性がある。 **壁周溝：**なし。 **重複遺構：**4号土坑跡と重複し、遺構確認～掘削時の埋土の様相より、本遺構の方が古いものと判断される。 **掘り方：**全体に地山ロームを8～20cmほど掘り窪め、住居中央北よりを土坑状に掘り窪める。 **出土遺物：**床面直上で須恵器の高台付壺(No. 4)や高台付皿(No. 1)の破片が出土した他、埋土中からほぼ完形の須恵器杯(No. 2)や土師器甕(No. 5)と須恵器高盤(No. 3)の破片が出土している。



第427図 7区2号住居跡平・断面図、掘り方平面図

第3章 検出遺構と出土遺物



第428図 7区2号住居跡出土遺物

7区2号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 高台付皿	床面+3cm 口縁部~底部 2/3	口径 13.4 底径 6.7 器高 3.0	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 ③ にぶい赤褐 (2.5YR5/3)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部~胴部横ナデ。底部回転糸切り。高台貼付。 内面：口縁部~底部回転ナデ。	
2	須恵器 杯	床面+27cm ほぼ完形 口縁部一部欠損	口径 12.2 底径 6.1 器高 3.9	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 普通 ③ 灰(10Y5/1)	ロクロ整形。回転右回り。口縁部外反。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	
3	須恵器 高盤	埋土中 脚部 破片	口径 12.0 摘径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰 (5Y6/1)	ロクロ整形。 外面：脚部端部ナデ。 内面：口縁部~天井部回転ナデ。	
4	土師器 甕	床面+27cm 口縁部 破片	口径 18.2 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 橙 (5YR7/6)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ。 内面：口縁部横ナデ。	
5	須恵器 長頸壺 (高台付)	壁際直下 胴部~底部 口縁部~頸部欠損	口径 - 底径 8.8 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒・細礫・ 中礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰 (N 6/0)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：胴部上・中位回転ナデ、下位回転へら削り。底部回 転糸切り。高台貼付。 内面：胴部~底部横ナデ。	

7区3号住居跡(旧称7区SJ-3)

位置：X=36217 Y=-39480

主軸方向：N-171° - E 規模：3.3m×3.5m

平面形状：隅丸長方形 残存深度：20cm~38cm

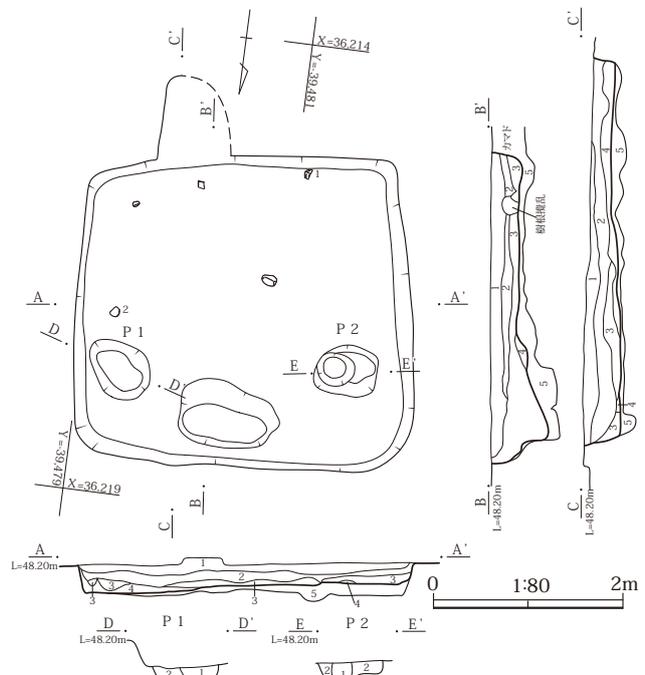
埋没土：白色軽石・ローム粒・焼土粒・炭化物を含む  
暗褐色~褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の  
様相を呈する。

床面：掘り方埋土であるロームを主体とした暗褐色土  
で埋め、床面としているが、床面は平坦ではなく、住  
居北壁際中央部には大きな落ち込みがあり、床面とし  
ての体裁を整えてはいない。

カマド：南壁の東寄りに位置するものと思われるが、  
遺存状態は悪く、明確な使用面も検出されていない。  
掘り方調査の段階でカマドらしき落ち込みは確認でき  
たものの、床面と同様にカマドとしての体裁を整え  
てはいない。

柱穴：住居北半部において、径74×  
56cm 深度17cmを測るP1と径72×54cm 深度27cm  
を測るP2を検出し、位置的に柱穴跡と考えられる。

貯蔵穴：なし。壁周溝：なし。重複遺構：なし。



3号住居、P1・2 埋土

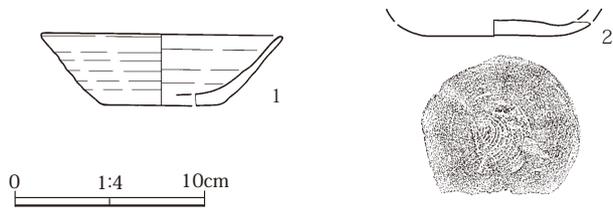
- 1層 暗褐色土 粘性あり 白色軽石・焼土粒・炭化物含む
- 2層 暗褐色土 1層に黄褐色土粒含む
- 3層 褐色土 2層に多くの黄褐色土まざる
- 4層 黄褐色土 粘性あり 黄褐色ローム土
- 5層 褐色土 ロームブロック・炭化物含む [掘り方埋土]

第429図 7区3号住居跡平・断面図

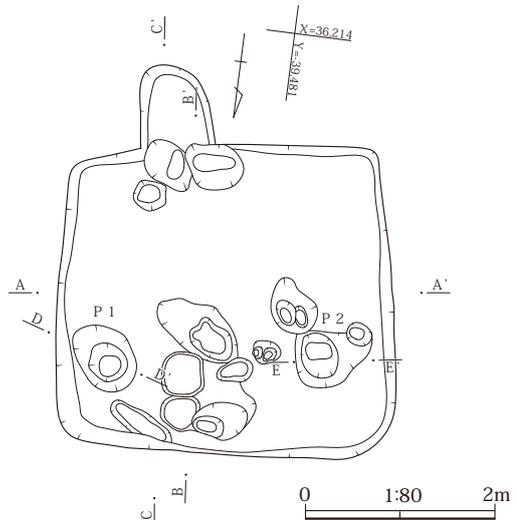
掘り方：全体に地山ロームを2～16cmほど掘り窪める。

出土遺物：埋土中から須恵器杯(No. 1)の破片や須恵器杯(No. 2)の底部を転用した硯が出土する。

所見：床面やカマドの状態から、構築途上において廃絶された竪穴住居跡ではないかと考えられる。



第430図 7区3号住居跡出土遺物



第431図 7区3号住居跡掘り方平面図

7区3号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	床面+25cm 口縁部～底部 1/2	口径 12.5 底径 6.2 器高 3.7	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 普通 ③ 灰(5Y 6/1)	ロクロ整形。口縁部やや外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
2	須恵器 転用硯	床面+31cm 底部 底部ほぼ完形	口径 — 底径 8.6 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(7.5Y 6/1)	ロクロ整形。 外面：底部回転ヘラ糸切り後、回転ヘラ削り。 内面：底部回転ナデ。硯使用によって擦れている。	杯底部を転用。 底部外面中央に ヘラ記号「X」

7区4号住居跡(旧称7区SJ-4)

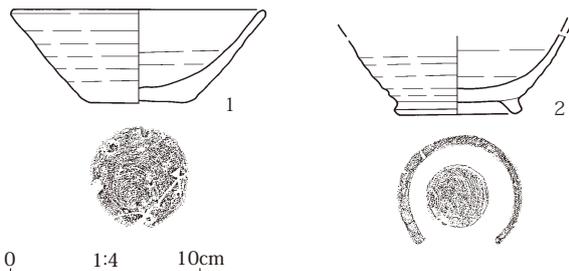
位置：X=36220 Y=-39476 主軸方向：N-25°-E

規模：2.4m×2.6m 平面形状：隅丸長方形

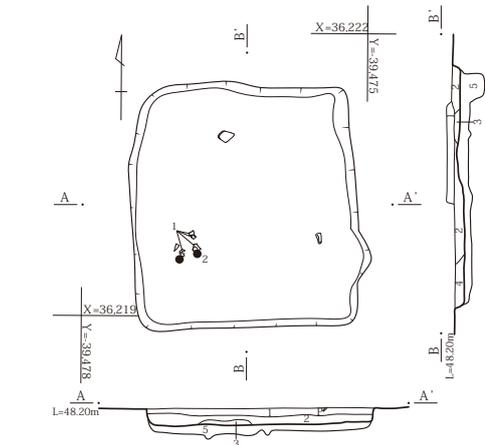
残存深度：10cm～19cm 埋没土：主に白色軽石・焼土粒を含む暗褐色粘質土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。

床面：掘り方埋土であるロームを主体とした暗褐色土で埋め固め、床面としている。カマド：掘り方調査の段階で東壁南寄りに検出された掘り込みが、埋土に粘質土を多く含むことから、カマドの掘り方である可能性が高い。柱穴：なし。貯蔵穴：なし。壁周溝：なし。

重複遺構：9号土坑と重複し、遺構の検出状況より本住居跡の方が新しいものと判断されたが、9号土坑跡の位置より、本住居跡に伴う掘り方の一部である可能性もある。掘り方：全体に地山ローム土を6～12cmほど掘り窪める。出土遺物：床面直上で須恵器杯(No. 1)の破片の他、埋土中から瓦器の破片が出土している。所見：1辺が2.5mほどの小型竪穴住居であるがカマドが構築途上にあり、前記の3号住居跡同様に構築途上において廃絶された遺構と考えられる。



第432図 7区4号住居跡出土遺物



4号住居 埋土  
1層 暗褐色土 粘性強い 白色軽石・焼土粒含む  
2層 暗褐色土 粘性強くしまりあり 焼土粒・ローム土少量まじる  
3層 暗褐色土 粘性強くしまりあり ローム土まじる  
4層 褐色土 粘性強い しまり弱い  
5層 暗褐色土 ロームブロック・炭化物含む [掘り方覆土]



4号住居 埋土(C-C')  
1層 黒褐色土 粘性あり 黄褐色ローム土粒少量含む  
2層 褐色土 粘性あり しまりあり黒色土少量まざる  
3層 黄褐色土 ローム土ブロック

第433図 7区4号住居跡平・断面図、掘り方平面図

第3章 検出遺構と出土遺物

7区4号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	床面直上 口縁部～底部 1/3	口径 13.0 底径 5.1 器高 4.9	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 ③ にぶい黄橙(10YR 7/4)	ロクロ整形。回転右回り。口縁部やや外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転系切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
2	須恵器 椀	床面+14cm 体部～底部 破片	口径 — 底径 6.5 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ オリーブ黒(7.5Y 3/1)	ロクロ整形。回転右回り。内・外面燻し。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転系切り。高台貼付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	

7区5号住居跡(旧称7区SJ-5)

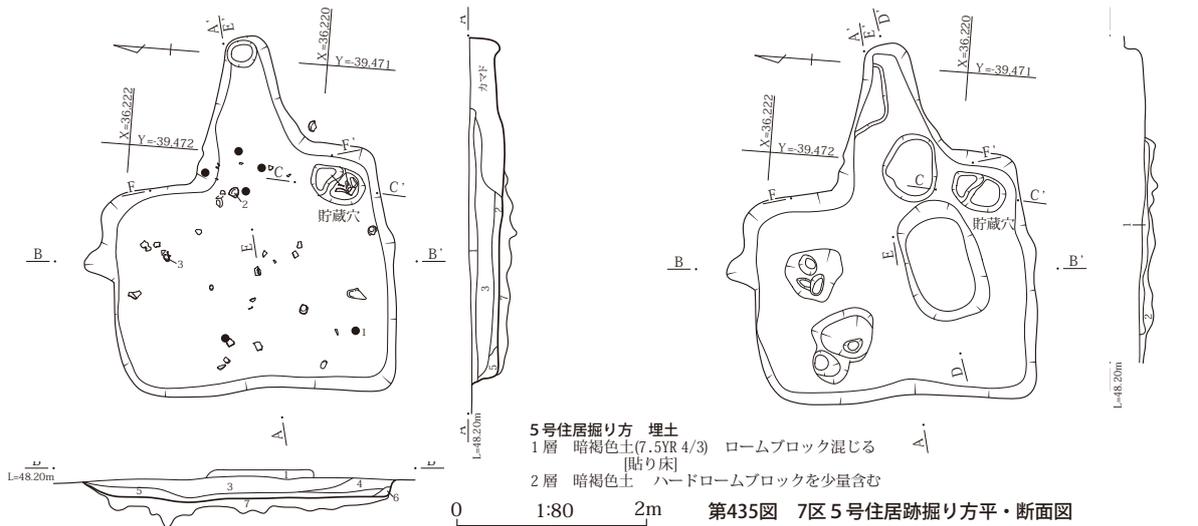
位置：X=36220 Y=-39473 主軸方向：N-81°-E 規模：2.3m×3.0m 平面形状：歪な隅丸方形

残存深度：16cm～28cm 埋没土：白色軽石・焼土粒・炭化物を含む暗褐色粘質土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。床面：ロームを主体とした暗褐色土で埋め固め、床面としている。カマド：東壁の中央やや南東寄りに位置する。燃焼部から煙道にかけての使用面に、良好な灰層の堆積が確認できたが、遺存状態は良くない。

柱穴：確認できなかった。貯蔵穴：住居南東コーナー部において、径60×40cm深さ16cmを測る貯蔵穴と思われる土坑を検出した。埋土内には焼土粒と炭化物が含まれ、廃絶時のカマドよりの流入と考えられる。壁周溝：なし。

重複遺構：なし。掘り方：全体に凹凸が多く、所々を土坑状に掘り窪める。出土遺物：床面直上で完形の須恵器杯(No. 1)と椀の破片が出土したほか、埋土中から須恵器皿(No. 4)・椀(No. 3)の破片が出土している。

所見：1辺が3mほどの小規模な竪穴住居跡である。カマドの灰層の堆積状況から、長期の使用痕跡が認められる。



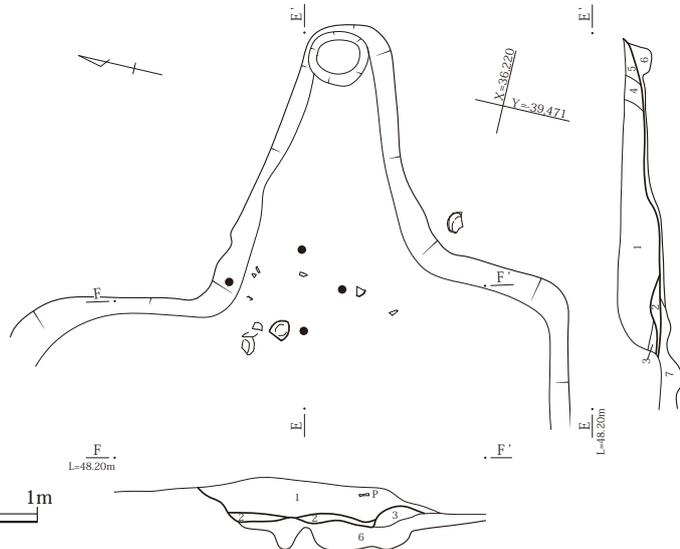
C. 貯蔵穴 C'  
L=48.20m  
5号住居貯蔵穴 埋土  
1層 暗褐色土(7.5YR 4/3) 炭化物・焼土含む

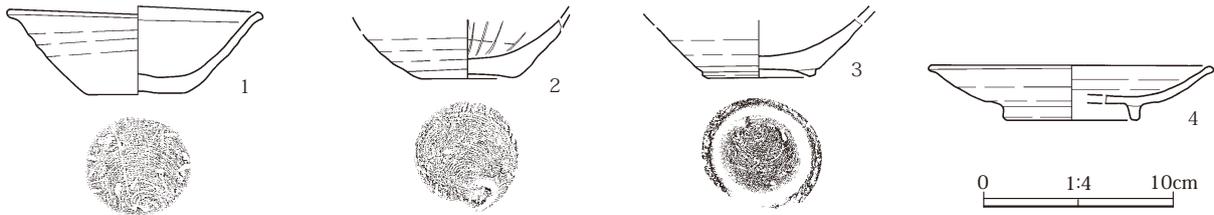
- 5号住居 埋土  
1層 暗褐色土 粘性強い 白色軽石・焼土粒まじる  
2層 暗褐色土 粘性強い しまりあり 焼土粒・ローム土  
少量混じる  
3層 暗褐色土 粘性強い 焼土粒・炭化物(φ1cmくらい)まじる  
白色軽石含む  
4層 暗褐色土 粘性強い 白色軽石少量含む  
5層 暗褐色土 粘性強い 焼土粒・炭化物・軽石含む  
6層 暗褐色土 粘性強い 黄褐色ローム土少量混ざる  
7層 暗褐色土 ハードロームブロックを少量含む

第434図 7区5号住居跡平・断面図

- 5号住居カマド 埋土  
1層 暗褐色土(7.5YR 3/4) 炭化物・焼土含む  
2層 青黒色土(Hue5B 1.71) 炭の層  
3層 明黄褐色土(7.5YR 7/6) 粘質 [袖部]  
4層 黒褐色土(10YR 2/2) 粘質・炭化物・焼土含む  
5層 黒褐色土 粘質・炭化物少量含む  
6層 暗褐色土 ハードロームブロックを少量含む

0 1:40 1m





第437図 7区5号住居跡出土遺物

7区5号住居跡出土遺物観察表

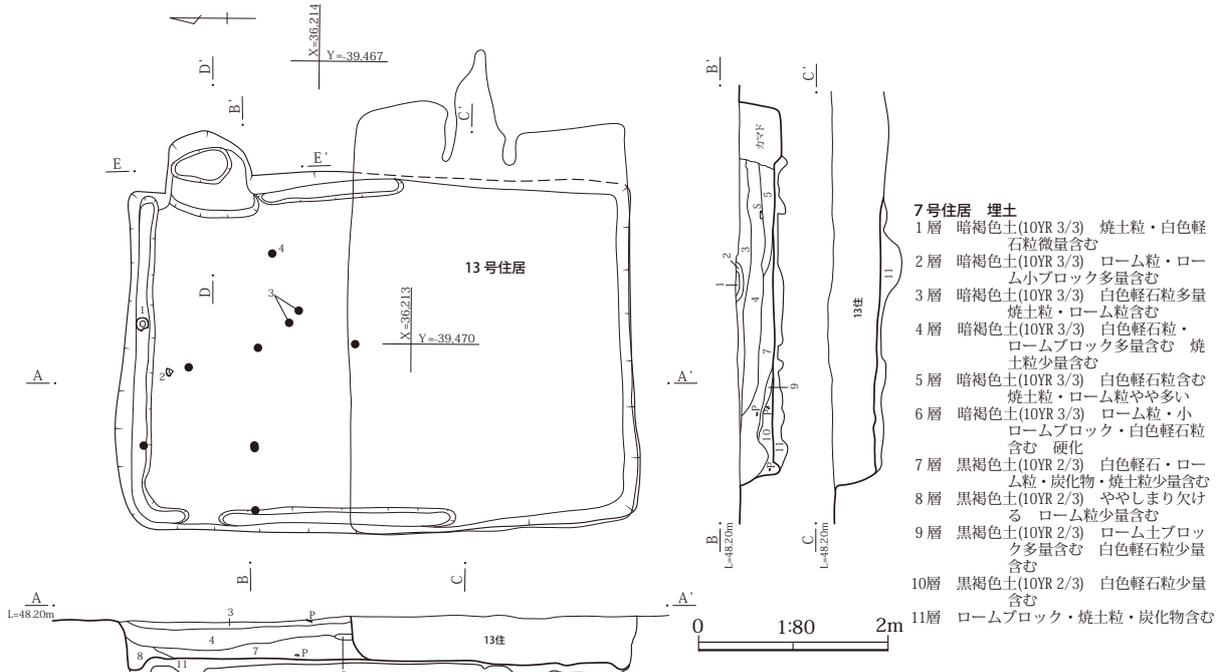
番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 椀	床面直上 完形	口径 12.9 底径 5.0 器高 4.6	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい黄橙(10YR 7/3)	ロクロ整形。回転右回り。口縁部外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	内面煤付着。
2	須恵器 椀	床面直上 胴部～底部 破片	口径 — 底径 5.0 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 橙(2.5Y 6/2)	ロクロ整形。回転右回り。内面燻し。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：体部～底部回転ナデ調整。体部放射状暗文。	
3	須恵器 椀	床面+23cm 胴部下端～底部 破片	口径 — 底径 5.9 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 ③ 橙(5YR 6/6)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：体部回転ナデ。底部回転糸切り。高台貼付。 内面：体部～底部回転ナデ調整。	
4	灰釉陶器 皿	埋土中 口縁部～底部 破片	口径 14.6 底径 8.0 器高 2.9	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(2.5Y 8/1)	ロクロ整形。 外面：高台貼付。施釉方法不明。 内面：ナデ。	大原2号窯式 期。

7区7号住居跡(旧称7区SJ-7)

位置：X=36213 Y=-39470 主軸方向：N-89° - E 規模：3.8m×5.3m 平面形状：隅丸長方形

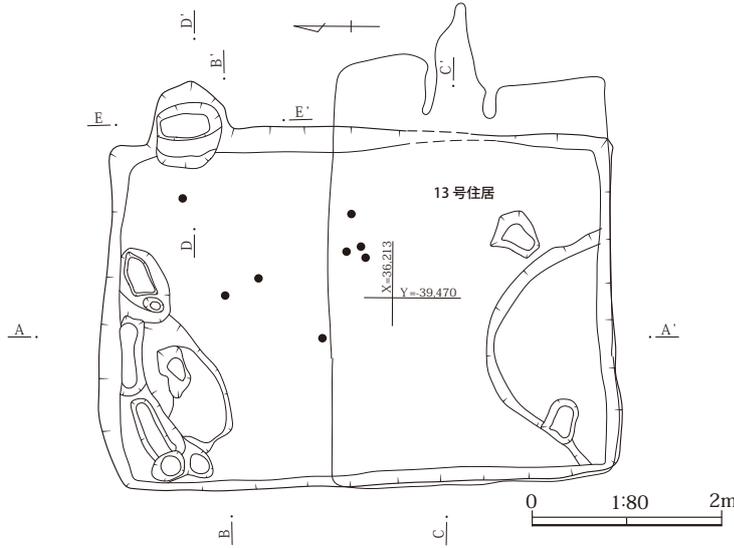
残存深度：35cm～51cm 埋没土：白色軽石とローム粒・焼土粒・炭化物を含む砂質暗褐色粘質土～黒褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。床面：掘り方埋土であるロームを主体とした暗褐色土で埋め固め、床面としている。カマド：東壁の北東コーナー付近に位置する。遺存状況は悪く、燃焼部使用面に僅かな炭化物・焼土が認められたものの、灰層は認められなかった。煙道は極めて短く、端部は急峻に立ち上がる。柱穴：掘り方調査の段階で、ピット状の落ち込みが数ヶ所検出されるものの、柱穴と断定でき得るものはない。貯蔵穴：なし。

壁周溝：重複遺構にかかる部分を除き、巾20cm深度15cmほどの溝が巡る。重複遺構：13号住居跡と重複し、遺構確認～掘削時埋土の様相より本遺構の方が古いものと判断される。掘り方：全体に10cmほど掘り窪め、北西コーナー一部には土坑状の掘り込みを有する。出土遺物：床面直上で須恵器椀(No. 2・3)・耳皿(No. 4)の他、周溝埋土中ではほぼ完形の須恵器杯(No. 1)が出土している。所見：調査途上において、本遺構と重複関係にあるものとして6号住居跡・12号住居跡が想定されたが、6号住居跡については重複する13号住居跡の埋土中の窪み、12号住居跡については13号住居カマドに伴う段状施設部との見解に至った。

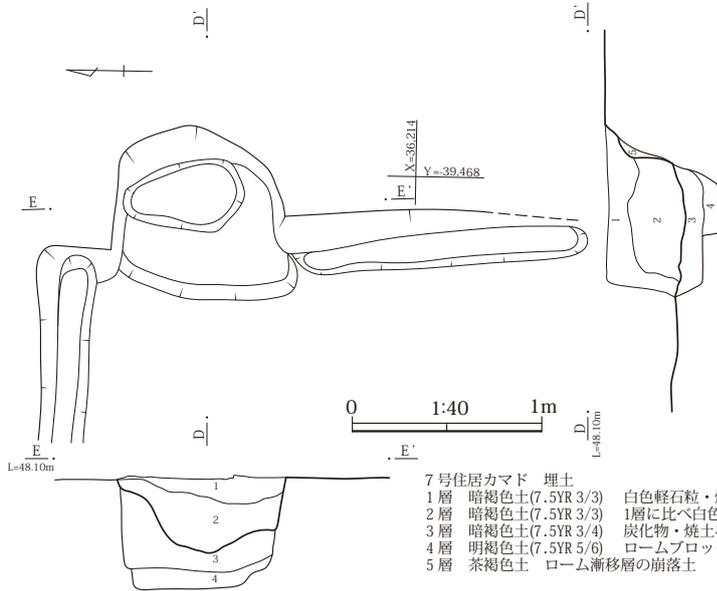


第438図 7区7号住居跡平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物

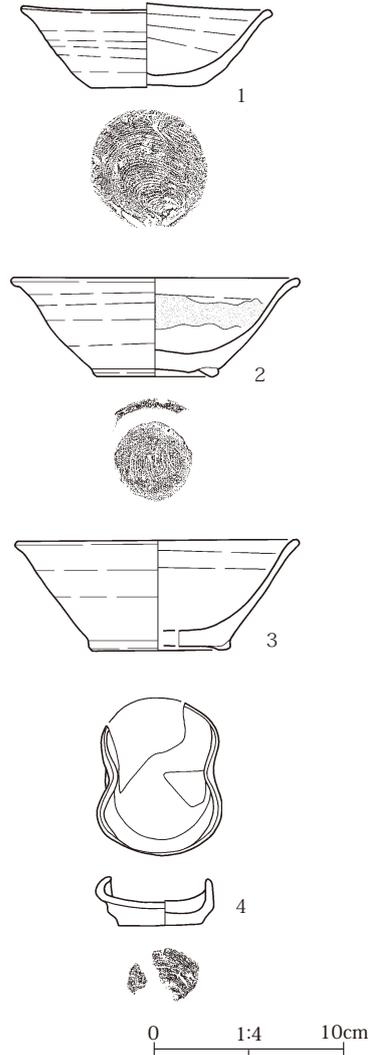


第439図 7区7号住居跡掘り方平面図



第440図 7区7号住居跡カマド平・断面図

- 7号住居カマド 埋土  
 1層 暗褐色土(7.5YR 3/3) 白色軽石粒・焼土・炭化物を含む  
 2層 暗褐色土(7.5YR 3/3) 1層に比べ白色軽石を含まない  
 3層 暗褐色土(7.5YR 3/4) 炭化物・焼土を含む  
 4層 明褐色土(7.5YR 5/6) ロームブロックを含む  
 5層 茶褐色土 ローム漸移層の崩落土



第441図 7区7号住居跡出土遺物

7区7号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	周溝埋土中 ほぼ完形 口縁部一部欠損	口径 12.9 底径 6.2 器高 4.4	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰黄(2.5Y 6/2)	口クロ整形。回転右回り。口縁部外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	重ね焼き。
2	須恵器 椀	床面直上 口縁部～底部 1/4	口径 14.8 底径 6.6 器高 5.2	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 ③ にぶい褐(7.5YR 6/3)	口クロ整形。口縁部外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。高台貼付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	漆付着土器か。 生焼け。
3	須恵器 椀	床面直上 口縁部～底部 1/3	口径 14.8 底径 7.4 器高 5.7	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰(N 6/0)	口クロ整形。回転右回り。口縁部外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切りか。高台貼付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
4	須恵器 耳皿	床面直上 口縁部～底部 2/3	口径 長8.0 短5.0 底径 4.0 器高 2.5	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰白(5Y 7/1)	口クロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	

7区8号住居跡(旧称7区SJ-8)

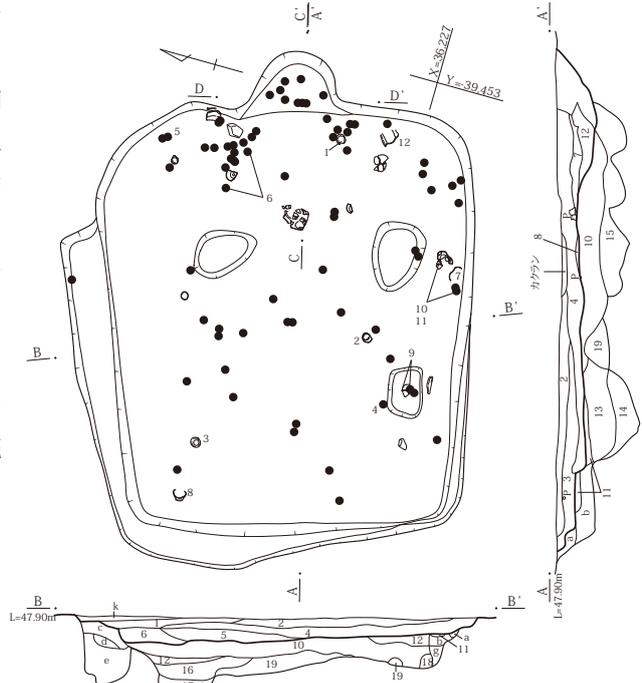
位置：X=36228 Y=-39456 主軸方向：N-77°-E 規模：4.8m×4.2m 平面形状：隅丸長方形

残存深度：10cm～30cm 埋没土：白色軽石と焼土粒・炭化物・砂粒を含む暗褐色粘質土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。床面：掘り方埋土であるロームを主体とした暗褐色土で埋め固め、床面とする。遺構検出時に見られる床面の起伏は、深い掘り方に起因する経年沈下によるものと推察される。

カマド：北東壁の中央やや南東寄りに位置する。遺存状態は悪く、袖部は消失、灰層など明確な使用面の検出にも至ら

ず、カマド構築部材である焼土化した粘土が残るのみである。煙道部は短く、燃焼部より緩やかに立ち上がる。  
**柱穴・貯蔵穴：**床面上においては検出できず、掘り方調査時に検出された土坑・ピット状の掘り込みの内いづれかが、柱穴・貯蔵穴と成り得る可能性はあるものの、明確な断定には至らない。 **壁周溝：**なし。

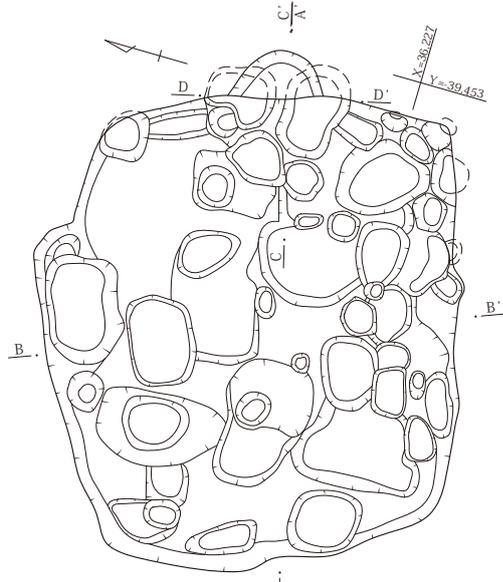
**重複遺構：**なし。 **掘り方：**ほぼ前面にわたり、地山ローム土を土坑状・ピット状に掘り窪め、その深度は深いので50cmほどに達する。ただし、住居跡北側には風倒木痕もあり、一部は樹根による攪乱も含まれるものと思われる。 **出土遺物：**床面直上で土師器の台付甕(No.10・11)、須恵器杯(No. 3)・椀(No. 8)が出土した他、埋土中から須恵器杯(No. 2・4・6・7)・椀(No. 9)・皿(No. 1)・土師器甕(No.12)の破片が出土している。



第442図 7区8号住居跡平・断面図

8号住居 埋土

- 1層 暗褐色土(10YR 3/3) 粘質土 白色軽石粒・炭化物粒・砂粒含む
- 2層 暗褐色土(10YR 3/3) 粘質土 白色軽石粒・焼土粒少量・砂粒含む
- 3層 暗褐色土(10YR 3/3) 粘質土 白色軽石粒少量・焼土粒少量・砂粒含む
- 4層 暗褐色土(10YR 3/3) 粘質土 しまる 白色軽石粒多量・焼土粒・炭化物粒少量・ローム小ブロック・砂粒含む
- 5層 暗褐色土(10YR 3/3) 粘質土 白色軽石粒微量・焼土粒・炭化物粒微量・砂粒含む
- 6層 暗褐色土(10YR 3/3) 粘質土 白色軽石粒微量・砂粒含む
- 7層 暗褐色土(10YR 3/3) 粘質土 しまる 白色軽石粒少量・焼土粒・炭化物粒・ローム粒少量・砂粒含む
- 8層 黒褐色土(10YR 3/1) 炭化物ブロック多量(床に貼りつく)・砂粒含む
- 9層 暗褐色土(10YR 3/3) 粘質土 縮まり欠け ローム土・砂粒含む
- 10層 暗褐色土(10YR 3/3) 密にしまる[貼床土] ロームブロック多量・焼土粒・炭化物粒同ブロック多量含む 暗褐色土とロームの筋状の水平堆積がみられる
- 11層 暗褐色土(10YR 3/3) しまる ロームブロック多量・砂粒含む
- 12層 暗褐色土(10YR 3/3) しまる 粘質土 白色軽石粒・ローム粒・焼土粒含む
- 13層 暗褐色土(10YR 3/3) ロームブロック・焼土ブロック多量・炭化物ブロック少量含む しまり欠け
- 14層 暗褐色土(10YR 3/3) ローム土・ロームブロック・焼土粒・炭化物少量含む しまり欠け
- 15層 褐色土(10YR 3/3) ローム土・ロームブロック大(φ100mm)・焼土粒・炭化物多量含む
- 16層 暗褐色土(10YR 3/3) 小・中ロームブロック多量・炭化物少量含む
- 17層 暗褐色土(10YR 3/3) 粘質土 ローム土・ロームブロック含む
- 18層 暗褐色土(10YR 3/3) 粘質土 焼土・焼土ブロック多量含む
- 19層 にぶい黄褐色土 (10YR 5/6) ローム主体・焼土粒・炭化物ブロック混入

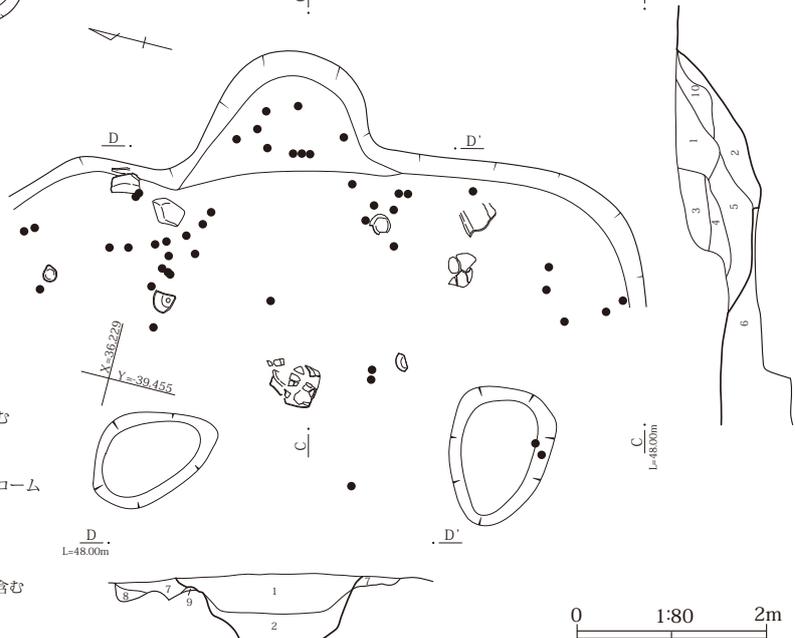


第443図 7区8号住居跡掘り方平面図

- a層 黒褐色土(2.5YR 3/1) 粘質土 白色粒・ローム粒微量含む
- b層 黒褐色土(2.5YR 3/1) ややしまる 粘質土・ロームブロック多量含む
- c層 黒褐色土(2.5YR 3/1) 粘質土 白色粒微量・ローム土ブロック含む
- d層 黒褐色土(2.5YR 3/1) 粘質土 ローム土微量・砂粒含む
- e層 黒褐色土(2.5YR 3/1) 粘質土 ローム土 ややしまりに欠ける
- f層 暗褐色土(10YR 3/3) 粘質土 白色軽石・焼土粒・炭化物少量含む
- g層 暗褐色土(10YR 3/3) 粘質土 ローム土・焼土粒少量含む

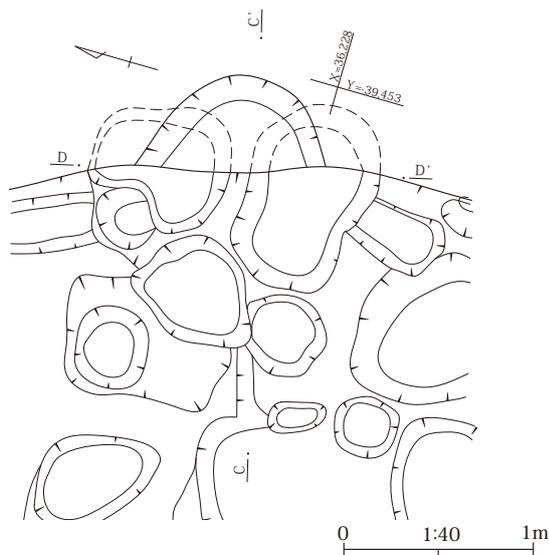
8号住居カマド 埋土

- 1層 にぶい赤褐色土(5YR 4/3) 軽石粒・焼土・炭化物を含む
- 2層 橙色土(5YR 6/6) 粘土層 [カマド構築材]
- 3層 黒褐色土(5YR 4/1) 軽石粒・焼土を含む
- 4層 黒褐色土(5YR 2/1) 軽石粒・焼土を含む
- 5層 暗褐色土(10YR 3/3) しまる 粘質土 白色軽石粒・ローム粒・焼土粒含む
- 6層 橙色土(5YR 6/6) 粘質土 2層より暗い
- 7層 にぶい赤褐色土(5YR 4/3) 焼土粒少量含む
- 8層 暗赤褐色土(5YR 3/2) 極少量の焼土粒含む
- 9層 褐色土(10YR 4/6)
- 10層 暗赤褐色土(5YR 3/2) 少量の焼土粒・炭化物・軽石粒含む

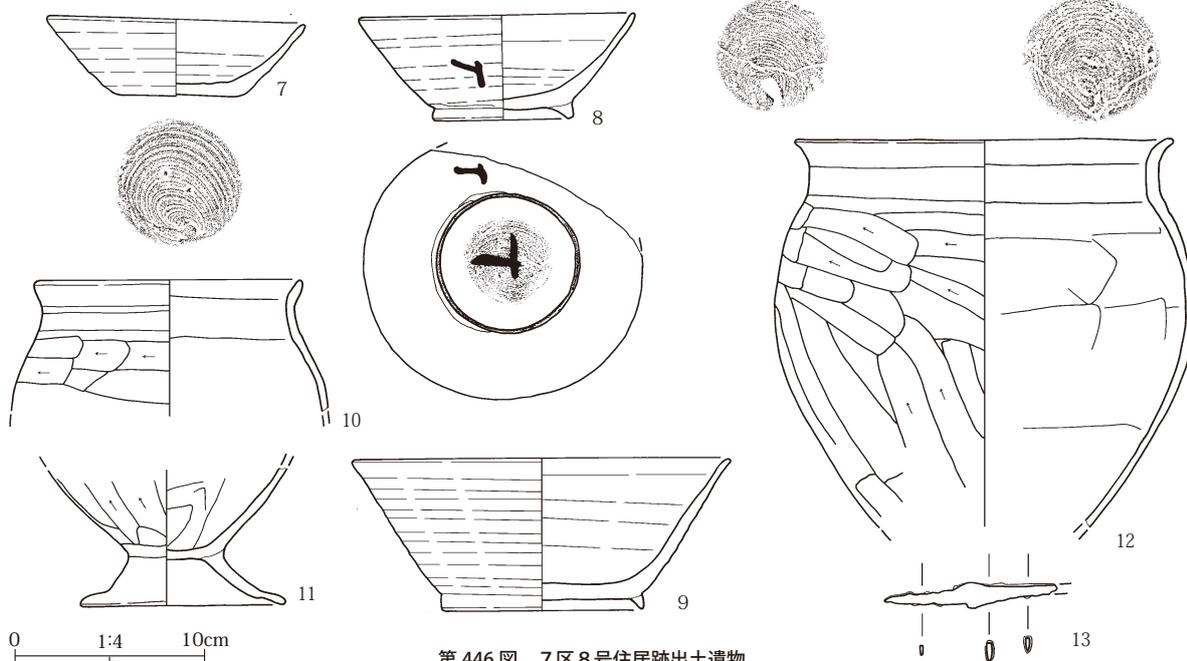
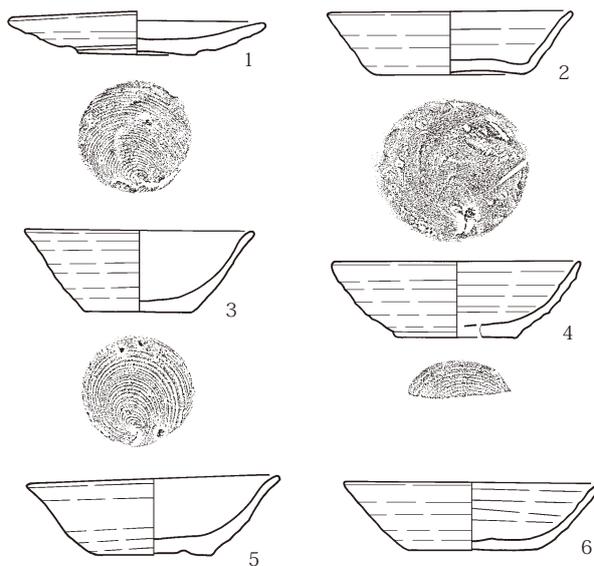


第444図 7区8号住居跡カマド平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物



第445図 7区8号住居跡カマド掘り方平面図



第446図 7区8号住居跡出土遺物

7区8号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 皿	床面-22cm 口縁部~底部 1/2	口径 13.3 底径 6.3 器高 2.3	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焰 ③ にぶい黄橙(10YR 7/4)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	
2	須恵器 杯	床面-7cm 口縁部~底部 底部完形	口径 12.8 底径 7.6 器高 3.3	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(5Y 6/0)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	
3	須恵器 杯	床面直上 口縁部~底部 底部完形	口径 11.9 底径 5.6 器高 4.3	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(N 5/0)	ロクロ整形。回転右回り。口縁部やや外反。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	
4	須恵器 杯	床面-24cm 口縁部~底部 1/2	口径 12.9 底径 6.6 器高 4.0	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(5Y 6/1)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	
5	須恵器 杯	壁際直下 口縁部~底部 1/3	口径 13.0 底径 6.2 器高 4.2	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰(7.5Y 5/0)	ロクロ整形。回転右回り。口縁部外反。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	
6	須恵器 杯	床面-37cm 口縁部~底部 2/3	口径 13.3 底径 6.8 器高 3.6	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰黄(2.5Y 6/2)	ロクロ整形。回転右回り。口縁部やや外反。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	器面摩滅。
7	須恵器 杯	床面+23cm 口縁部~底部 2/3	口径 13.5 底径 6.5 器高 4.0	① 細砂粒 ② 酸化焰 ③ 灰黄褐(10YR 5/2)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調			成形手法 調整手法	備考
				長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)		
8	須恵器 椀	床面直上 口縁部～底部 3/4	口径 14.4 底径 7.2 器高 5.5	① 細砂粒 ② 酸化焰 ③ 灰黄褐(10YR 5/2)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。高台貼付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	胴部外面と底部 外面に「入」の 墨書。		
9	須恵器 椀	床面～28cm 口縁部～底部 1/2	口径 19.8 底径 10.5 器高 7.9	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 黄灰(2.5Y 4/1)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。高台貼付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。			
10	土師器 台付甕	壁際直下 口縁部～胴部上端 破片	口径 13.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい赤褐(5YR 4/3)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ。胴部横方向ヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。			
11	土師器 台付甕	壁際直下 胴部～台部 破片	口径 — 高台径 10.5 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい赤褐(2.5YR 5/4)	輪積み。台部貼付。 外面：胴部縦方向ヘラ削り。台部横ナデ。 内面：胴部ヘラ削り。台部横ナデ。	No.20と同一個 体。		
12	土師器 甕	床面+5cm 口縁部～胴部 1/4	口径 19.6 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい赤褐(5YR 5/3)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ。胴部上位横、中位縦方向ヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。			
番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	摘要
13	鉄器	刀子	刃部先端欠	9.0	1.4	0.7	9.0	錆化が進んでいる。

7区9号住居跡(旧称7区SJ-9)

位置：X=36262 Y=-39461 主軸方向：N-25° - E 規模：2.7m×2.7m 平面形状：隅丸正方形

残存深度：0cm～6cm 埋没土：上面の削平により、壁がほとんど残らない状態での検出であり、僅かに少量の焼土粒と炭化物を含む暗赤褐色土の堆積が認められる。床面：掘り方を持たないため、地山ローム土を床面とする。

カマド：北東壁の中央やや東寄りに位置する。遺存状態は悪く、灰白色粘土で構築された袖の一部が確認された。使用面は明瞭には認められず、埋土中に焼土・炭化物を含むのみである。

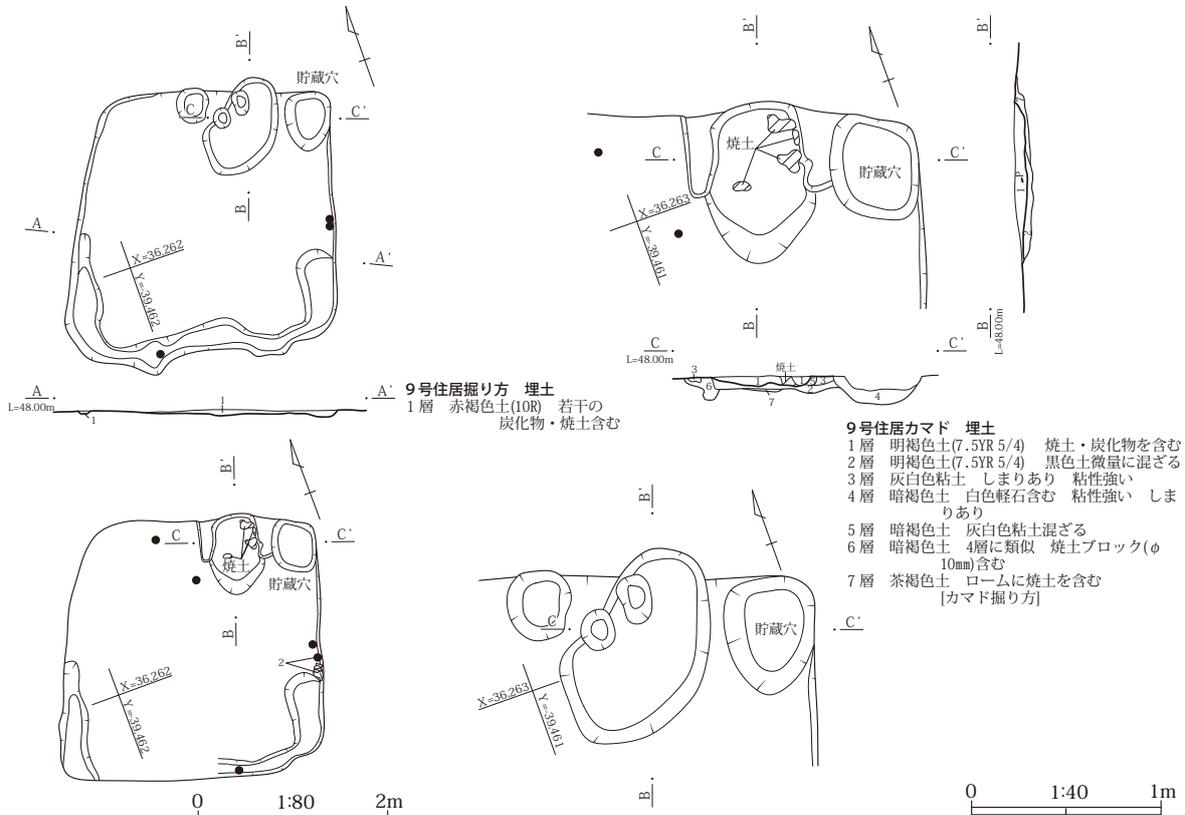
柱穴：なし。貯蔵穴：住居北東コーナー部に63×47cmの楕円形を呈し、深さ30cmを測る貯蔵穴を検出した。

壁周溝：住居南半の壁際において幅16～36cm、深さ2～9cmを測る溝が検出された。

重複遺構：なし。掘り方：カマド部のみに掘り方を有し、深度は深いところで25cmを測る。

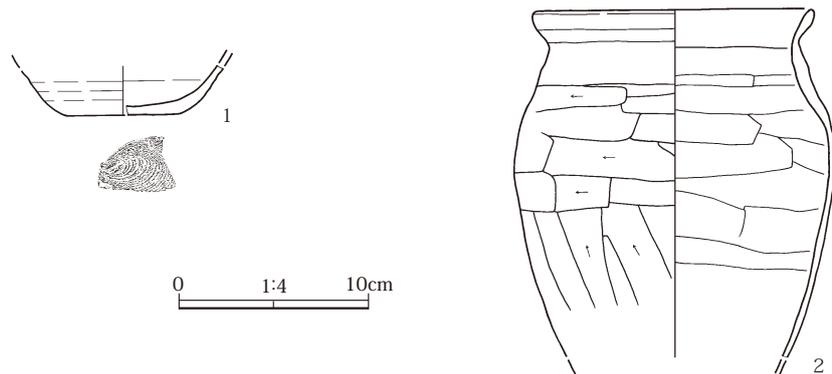
出土遺物：僅かな出土量であるが、床面直上より須恵器杯(No. 1)・甕(No. 2)の破片が出土している。

所見：東山道駅路の北側側溝に近接する住居跡である。道路跡とは直接的な重複関係には無く、遺構の状況から新旧関係を判断するには至らないが、出土する少量の遺物から、東山道駅路の廃絶後に造られた住居であろうと推察される。



第447図 7区9号住居跡平・断面図、掘り方平面図、カマド平・断面図、カマド掘り方平面図

第3章 検出遺構と出土遺物



第448図 7区9号住居跡出土遺物

7区9号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	竈埋土中 体部下端～底部 破片	口径 — 底径 6.0 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(7.5Y 5/1)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：体部～底部回転ナデ調整。	
2	土師器 甕	壁際直下 口縁部～胴部 破片	口径 14.4 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい褐(7.5YR 5/4)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ。胴部上半横方向のヘラ削り、胴部下 半縦方向のヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。	

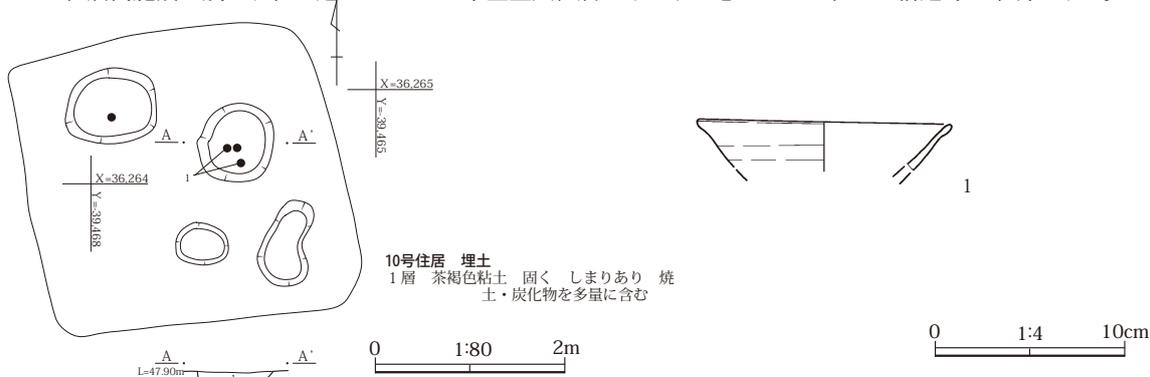
7区10号住居跡(旧称7区SJ-10)

位置：X=36264 Y=-39467 主軸方向：N-78° - E 規模：3.2m×3.1m 平面形状：隅丸正方形

残存深度：0cm～1cm 埋没土：不明。 床面・カマド：上面削平のため、消失。 柱穴・貯蔵穴：なし。

壁周溝：不明。 重複遺構：なし。 掘り方：住居中央東寄りに埋土は焼土粒と炭化物を多く含む茶褐色粘質土で、84×76cmの楕円形、深さ13cmを測る土坑状の掘り込みを1基検出したほか、浅い皿状の落ち込みが認められた。

出土遺物：掘り方土坑内より須恵器杯(No. 1)の破片が出土したのみである。 所見：壁高がほとんどなく、カマドをはじめ住居内施設も残らず、一辺が3mほどの小型竪穴住居であろうと思われるが、その構造等は不明である。



10号住居 埋土  
1層 茶褐色粘土 固く しまりあり 焼  
土・炭化物を多量に含む

第449図 7区10号住居跡平・断面図、出土遺物

7区10号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	貯蔵穴底面+4cm 口縁部～体部 破片	口径 13.2 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(N 4/0)	ロクロ整形。口縁部外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。 内面：口縁部～体部回転ナデ調整。	

7区11号住居跡(旧称7区SJ-11)

位置：X=36223 Y=-39470 主軸方向：N-96° - E 規模：4.8m×3.3m 平面形状：やや歪な隅丸長方形

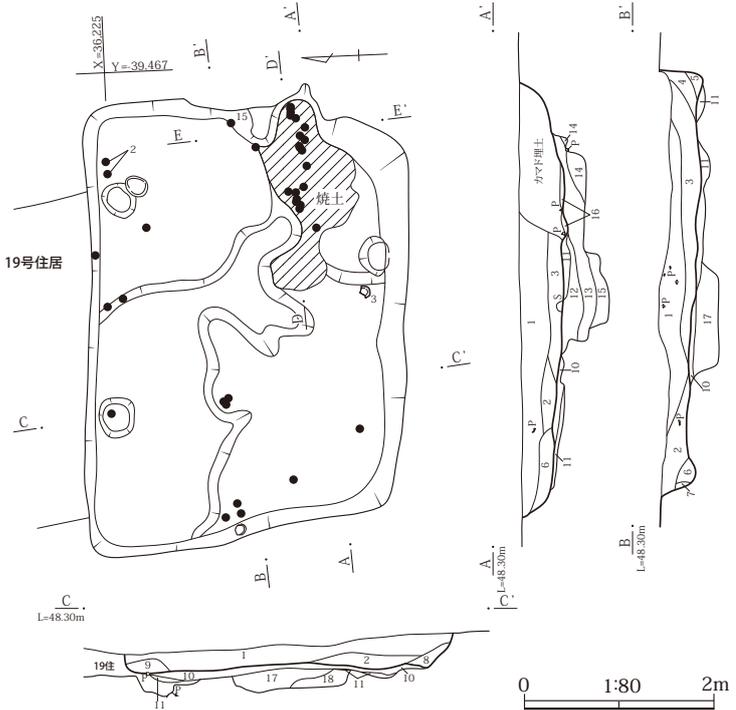
残存深度：18cm～44cm 埋没土：主に少量の白色軽石とローム粒・焼土粒を含む暗褐色弱粘質土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。 床面：掘り方埋土である粘質土ブロックを主体とした明黄褐色土で固め、床面とする。

検出時に見られた床面の起伏は、深い掘り方が起因する経年沈下と推察される。 カマド：東壁の中央南寄りに位置する。袖部がわずかに残り、袖の基部地山ローム土を掘り残す形で形成される。煙道部は短く、端部は急峻に立ち上がる。燃焼部では炭・灰層面とその直上の崩落天井部材が認められ、燃焼部からカマド前面にかけて焼土の広がり確認されている。 出土遺物：土師器甕(No.12)、須恵器杯(No. 6)の破片が出土している。カマド左袖付近で出土した瓦(No.15)

はカマドの構築材として転用された可能性が高い。**柱穴**：床面上では検出し得なかったが、掘り方調査の段階で検出されたピット状の掘り込の内、壁際の3穴が柱穴跡と考えられる。**貯蔵穴**：柱穴同様に床面上では検出し得なかったが、掘り方調査の段階で南東コーナー部に検出された土坑状の掘り込は、遺物の出土も見られることから貯蔵穴となる可能性が高い。**壁周溝**：なし。

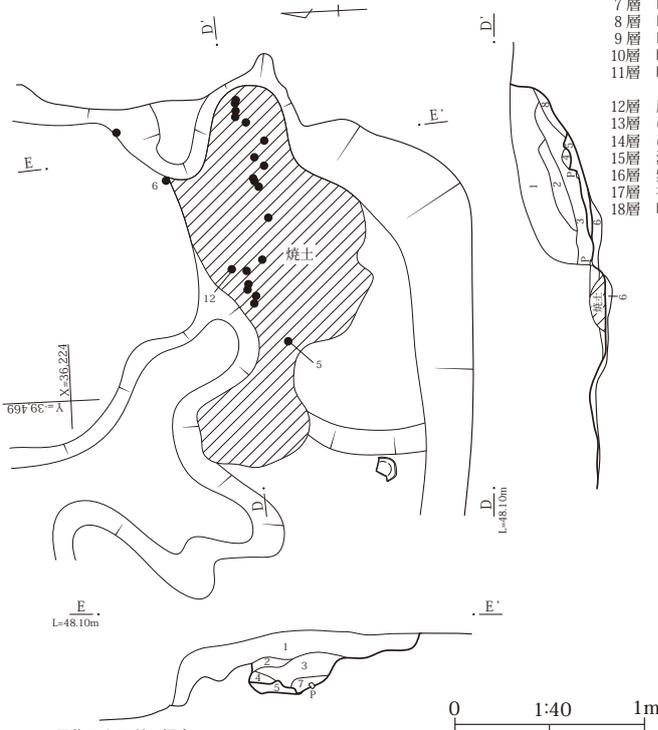
**重複遺構**：19号住居跡と重複し、遺構確認～掘削時の埋土の様相より本遺構の方が新しいものと判断された。**掘り方**：住居東半部に床面から30～50cmほどの土坑状の掘り込みが検出された。埋土中から須恵器杯・椀などの破片が出土している。

**出土遺物**：埋土中から須恵器杯(No. 1・7)・椀(No. 5・10)、灰釉陶器高台付皿(No.11)、軟質陶器甌(No.13・14)の破片が出土している。このうち、(No.14)は重複する19号住居跡埋土中の破片と接合されている。



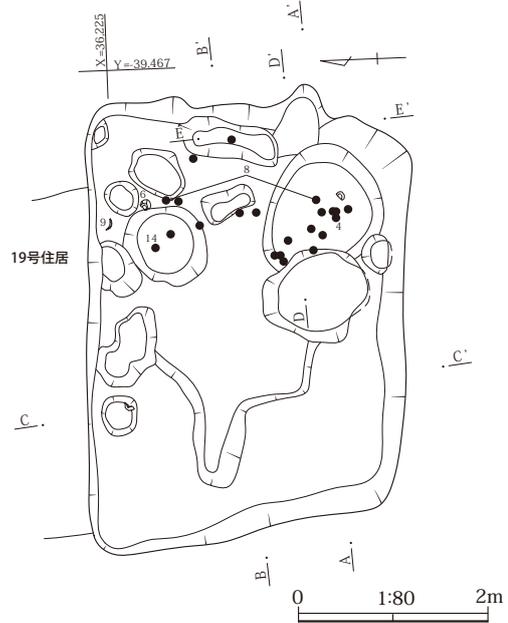
第450図 7区11号住居跡平・断面図

- 11号住居 埋土
- |     |                   |                      |   |
|-----|-------------------|----------------------|---|
| 1層  | 暗褐色土(10YR 3/3)    | 粘質土                  | ローム粒・焼土粒・白色軽石少量含む                             |
| 2層  | 暗褐色土(10YR 3/3)    | 粘質土                  | ローム土・ロームブロック少量含む                              |
| 3層  | 暗褐色土(10YR 3/3)    | 粘質土                  | ローム土少量含む                                      |
| 4層  | 暗褐色土(10YR 3/3)    | 粘質土                  | ローム粒少量含む                                      |
| 5層  | 暗褐色土(10YR 3/3)    | 粘質土                  | 黒褐色土多量含む ややしまり欠け                              |
| 6層  | 暗褐色土(10YR 3/3)    | 粘質土                  | ローム土・黒褐色土多量含む ややしまり欠け                         |
| 7層  | 暗褐色土(10YR 3/3)    | 粘質土                  | ローム土多量含む ややしまり欠け                              |
| 8層  | 暗褐色土(10YR 3/3)    | 粘質土                  | ローム土多量含む                                      |
| 9層  | 暗褐色土(10YR 3/3)    | 粘質土                  | ローム粒含む  |
| 10層 | 暗褐色土(10YR 3/3)    | 粘質土                  | ローム土多量含む 黒褐色土含む                               |
| 11層 | 暗褐色土(10YR 3/3)    | 粘質土                  | 硬いロームブロック・ローム粒多量・焼土ブロック(φ10mm)含む 硬くしめる 踏み固めた土 |
| 12層 | 灰褐色土(10YR 4/1)    | 粘土ブロック・炭化物等混じる       |   |
| 13層 | にぶい黄色土(10YR 7/3)  | 粘土ブロック含む             |   |
| 14層 | にぶい黄褐色土(10YR 7/2) | 地山粘土ブロック・褐色土の混合土     |   |
| 15層 | 浅黄褐色土(10YR 8/3)   | 地山粘土ブロック多く含む         |   |
| 16層 | 紫黑色土(10YR 2/1)    | 炭・灰層                 |   |
| 17層 | 褐灰色土(10YR 6/1)    | 粘土ブロックを含む            |   |
| 18層 | 明黄褐色土(10YR 6/6)   | 地山粘土ブロックに褐灰色土ブロック混じる |   |



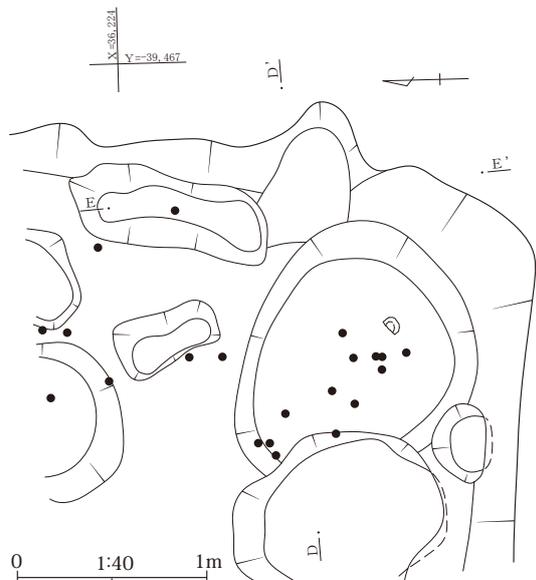
- 11号住居カマド 埋土
- |    |                   |                 |         |
|----|-------------------|-----------------|---------|
| 1層 | 黒褐色土(10YR 2/3)    | 白色軽石・焼土粒含む      | 炭化物少量含む |
| 2層 | 黒褐色土(10YR 3/1)    | 焼土粒少量含む         |         |
| 3層 | にぶい黄褐色土(10YR 5/4) | 粘土質・焼土粒・炭化物少量含む | [天井部]   |
| 4層 | 焼土                | 炭化物少量含む         |         |
| 5層 | 炭化物               |                 |         |
| 6層 | にぶい黄褐色土(10YR 4/3) | 炭化物・焼土含む        |         |
| 7層 | 褐色土(10YR 4/4)     | 炭化物・焼土含む        |         |
| 8層 | にぶい黄褐色土(10YR 5/4) | 粘土質・焼土粒含む       | [崩落天井部] |

第451図 7区11号住居跡カマド平・断面図

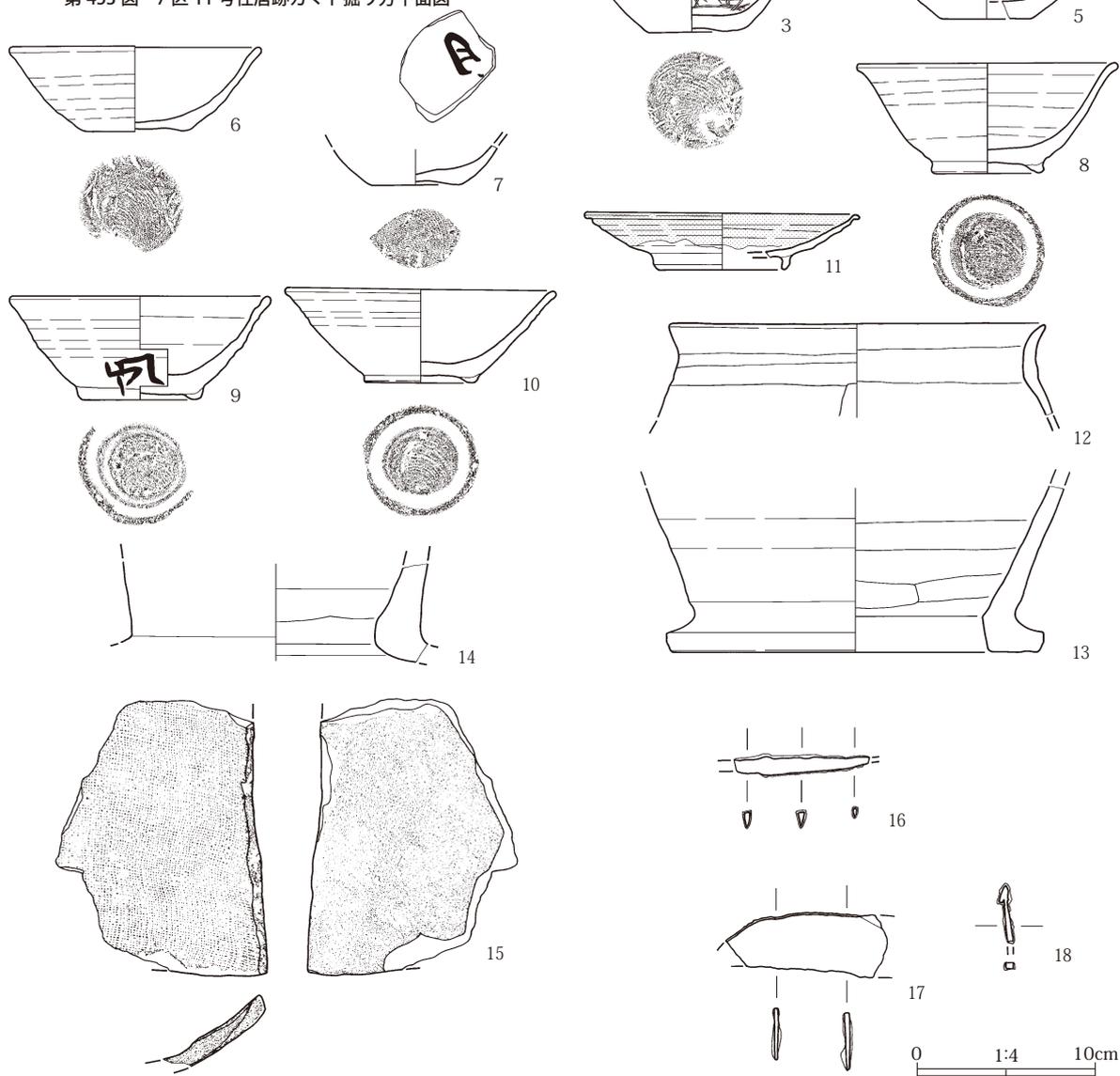


第452図 7区11号住居跡掘り方平面図

第3章 検出遺構と出土遺物



第453図 7区11号住居跡カマド掘り方平面図



第454図 7区11号住居跡出土遺物

7区11号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm		①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
			口径	底径			
1	須恵器 杯	埋土中 口縁部～底部 1/3	口径 12.4 底径 6.8 器高 3.5	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰(N 5/0)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。		
2	須恵器 杯	床面+19cm 口縁部～底部 1/3	口径 12.6 底径 5.2 器高 4.8	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰オリーブ(5Y 6/2)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。		
3	須恵器 杯	床面+16cm 口縁部～底部 2/3	口径 12.9 底径 5.0 器高 5.1	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 不良 ③ にぶい黄褐(10YR 5/3)	ロクロ整形。回転右回り。口縁部外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	重ね焼き	
4	須恵器 杯	床面-4cm、19号住居 埋土中 口縁部～底部 1/3	口径 13.2 底径 5.7 器高 4.9	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 不良 ③ 黒褐(2.5Y 3/1)	ロクロ整形。回転右回り。口縁部やや外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。体部放射状、底部螺旋 状暗文。	外面全体にス ス附着。19号 住埋土の土器 と接合。	
5	須恵器 椀	窠埋土中 口縁部～底部 破片	口径 13.3 底径 5.1 器高 4.6	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ 黄灰(2.5Y 4/1)	ロクロ整形。口縁部外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	内外面にスス 附着。	
6	須恵器 杯	床面-7cm、窠埋土中 口縁部～底部 2/3	口径 13.8 底径 5.2 器高 4.8	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 不良 ③ 灰黄(2.5Y 7/2)	ロクロ整形。回転右回り。口縁部やや外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。		
7	須恵器 杯	埋土中 底部 破片	口径 - 底径 5.4 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(7.5Y 7/1)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：底部回転糸切り。 内面：底部回転ナデ調整。	底部内面に 墨書。	
8	須恵器 椀	床面-24cm 口縁部～底部 1/4	口径 14.2 底径 6.2 器高 6.2	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焰 ③ 浅黄(2.5Y 7/4)	ロクロ整形。回転右回り。口縁部外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。高台貼付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	器面摩滅。	
9	須恵器 椀	床面-17cm 口縁部～底部 1/4	口径 14.4 底径 7.2 器高 5.8	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焰 ③ にぶい黄橙(10YR 7/3)	ロクロ整形。回転右回り。口縁部外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。高台貼付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	器面摩滅。外 面体部に「山 部」の墨書。	
10	須恵器 椀	埋土中、19号住居埋 土中 口縁部～底部 1/4	口径 14.7 底径 6.5 器高 5.2	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 ③ にぶい黄橙(10YR 6/4)	ロクロ整形。回転右回り。口縁部外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。高台貼付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	器面摩滅。19 号住埋土の土 器と接合。	
11	灰釉陶器 高台付皿	埋土中 口縁部～底部 1/4	口径 15.0 底径 7.1 器高 3.1	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(7.5Y 7/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部横ナデ。高台貼付。 内面：口縁部～底部回転ナデ。		
12	土師器 甕	窠埋土中 口縁部～胴部上端 破片	口径 20.8 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい橙(5YR 6/4)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ。胴部へラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部へラナデ。		
13	軟質陶器 甕	埋土中 口縁部～胴部 破片	口径 - 底径 20.4 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰黄褐(10YR 6/2)	ロクロ整形。 外面：口縁部～胴部回転ナデ。 内面：口縁部～胴部へラナデ。		
14	軟質陶器 甕	床面-8cm 口縁部～胴部 破片	口径 - 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰オリーブ(5Y 6/2)	ロクロ整形。 外面：口縁部～胴部回転ナデ。 内面：口縁部～胴部へラナデ。		
15	土製品 平瓦	床面+21cm 破片	頭巾 - 尻巾 - 側面長 -	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 硬質 ③ 橙(5YR 6/6)	桶巻作り。厚さ1.4cm 表面には布目痕が残る。 裏面はナデ。		

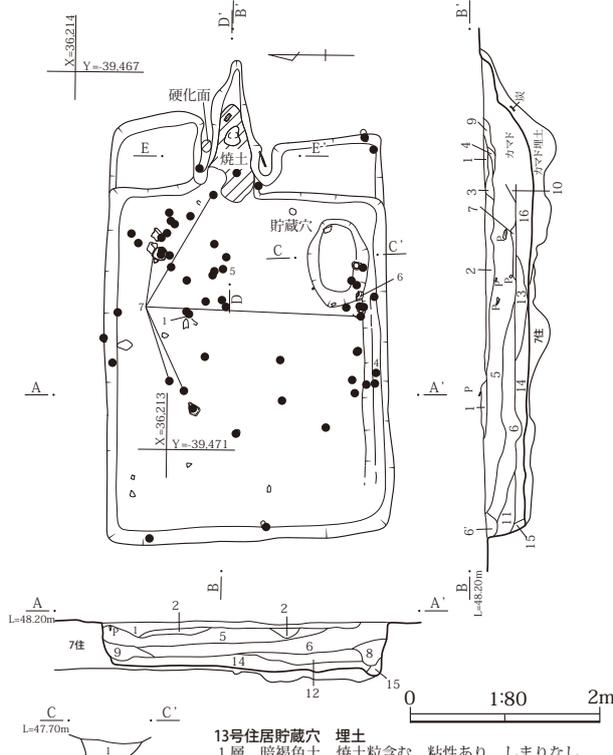
番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	摘要
16	鉄器	刀子	柄、刃部とも端部を欠く	7.5	1.2	0.7	7.0	残存状態比較的良好。
17	鉄器	鎌	刃部片	9.0	3.3	0.6	20.0	
18	鉄器	紡錘車	軸端部	3.4	0.5	0.4	2.0	錆化が進んでいるが残存状態良好。

7区13号住居跡(旧称7区SJ-13)

位置：X=36212 Y=-39470 主軸方向：N-90° - E 規模：3.7m×3.0m 平面形状：隅丸長方形

残存深度：39cm～50cm 埋没土：白色軽石とローム粒を含む暗褐色砂質土～暗褐色弱粘質土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。床面：掘り方は持たないが、床面は地山ではなく、掘削底面である7号住居跡掘り方埋土を床面としている。カマド：東壁の中央やや北寄りに位置する。遺存状態は比較的良好。本住居跡はカマド両脇に段状の平場を設けているため、カマド燃焼部下半は全てがこの段状施設内に位置し、袖の上半～天井部の構築は、この上に粘土を足すことで構築されている。燃焼部から煙道部にかけて炭層・灰層の新旧2面の使用面が認められた。煙道は緩やかに立ち上がる。柱穴：なし。貯蔵穴：住居の南東壁際付近に94×64cmの楕円形を呈する掘り込みを検出し、貯蔵穴と考えられる。壁周溝：南壁の一部で幅28cm深さ8cmを測る溝を検出した。重複遺構：7号住居跡と重複し、遺構確認～掘削時の埋土の様相より本住居跡の方が新しいものと判断された。掘り方：カマド部のみに掘り方を有する。出土遺物：壁際直下で灰釉陶器高台付皿(No. 6)の破片が出土した他、埋土中からは須恵器椀(No. 3)破片などが出土している。所見：調査時に本住居跡埋土上層の落ち込みに対して6号住居跡を想定、また、カマド脇の段状部分に12号住居跡をそれぞれ想定したが、全て本住居跡の一部であるとの見解に至った。

第3章 検出遺構と出土遺物

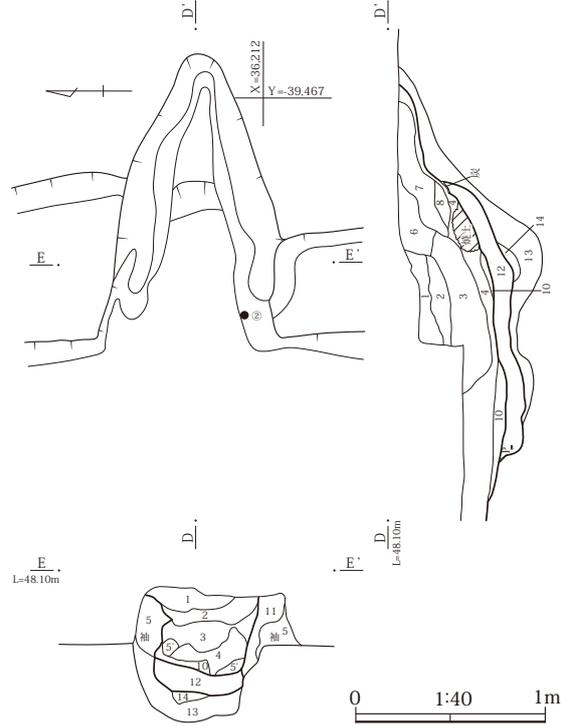


13号住居貯蔵穴 埋土  
1層 暗褐色土 焼土粒含む 粘性あり しまりなし

13号住居 埋土

- 1層 暗褐色土(10YR 3/3) 白色軽石少量含む
- 2層 暗褐色土(10YR 3/3) しまりあり ロームブロック・焼土粒・白色軽石少量含む
- 3層 暗褐色土(10YR 3/3) 焼土粒多量・ローム粒・炭化物少量含む
- 4層 にふい黄褐色土(10YR 7/4) 粘土ブロック主体・焼土粒・焼土多く含む(一部火床と思われる被燃面あり)
- 5層 暗褐色土(10YR 3/3) ロームブロック(φ20~100mm)・焼土粒多量・白色軽石・炭化物少量含む
- 6層 暗褐色土(10YR 3/3) 少量のローム粒・ローム小ブロック・焼土粒と微量の白色軽石を含む
- 6'層 暗褐色土(10YR 3/3) ローム土・白色軽石微量含む
- 7層 暗褐色土(10YR 3/3) 炭化物ブロック多量・ローム粒・焼土粒含む
- 8層 暗褐色土(10YR 3/3) ややしまり欠け ローム土含む
- 9層 暗褐色土(10YR 3/3) 焼土粒・ローム粒多量含む 白色軽石含む しまる
- 10層 暗褐色土(10YR 3/3) 焼土粒・炭化物・ローム粒含む
- 11層 暗褐色土(10YR 3/3) ローム粒少量含む
- 12層 暗褐色土(10YR 3/3) ロームブロック多量含む 部分的に堅くなる 焼土粒・ブロック多量含む
- 13層 暗褐色土(10YR 3/3) ロームブロック・ローム粒多量含む 焼土粒含む
- 14層 暗褐色土(10YR 3/3) ロームブロック多量含む 焼土粒・ブロックやや多い
- 15層 黒褐色土(10YR 2/2) ローム土 ややしまりに欠ける
- 16層 暗褐色土(10YR 3/3) 焼土粒・ブロックやや多い 炭化物少量含む

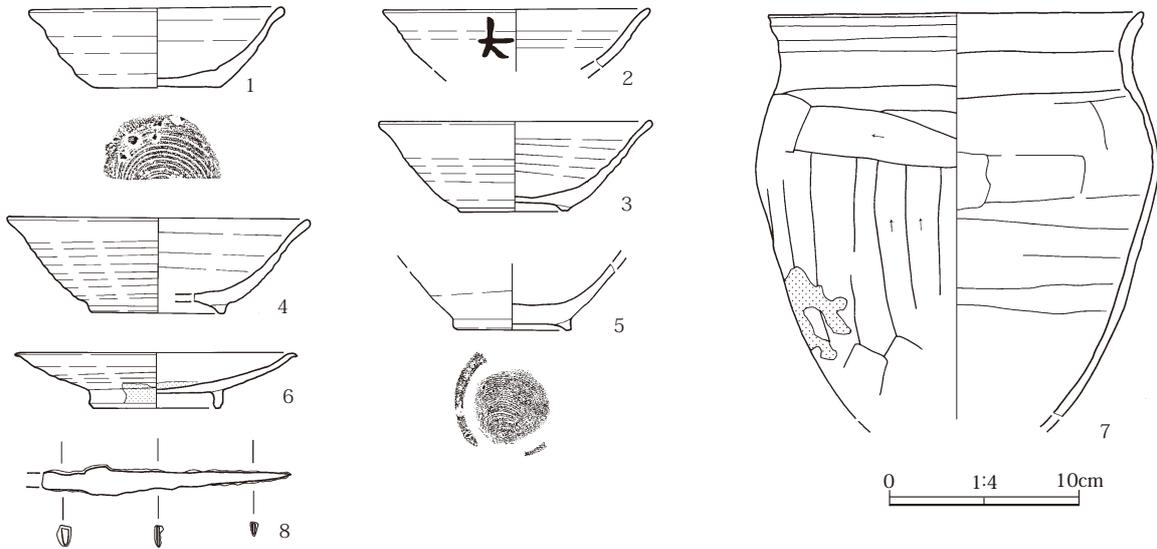
第455図 7区13号住居跡平・断面図



13号住居 カマド埋土

- 1層 灰褐色土(7.5YR 4/2) 粘土ブロック・炭化物・焼土を含む
- 2層 褐色土(7.5YR 4/3) 炭化物・焼土・白色軽石を含む
- 3層 褐色土(7.5YR 4/4) 炭化物・焼土・白色軽石を含む
- 4層 にふい褐色土(7.5YR 5/4) 粘土・焼土・炭化物を含む
- 5層 浅黄褐色土(7.5YR 8/4) 粘土に若干の炭化物・焼土を含む [袖部]
- 5'層 浅黄褐色土(7.5YR 8/4) 粘土に若干の炭化物を含む [袖・天井の崩落土]
- 6層 にふい黄褐色土(10YR 5/4) 粘土・炭化物混じる
- 7層 黄褐色土(10YR 5/8) 粘土多い [カマド天井部]
- 8層 暗褐色土(10YR 3/3) 焼土・炭化物含む
- 10層 暗褐色土(10YR 3/3) 焼土多量・ローム土
- 11層 浅黄色土(2.5YR 7/4) ロームに焼土・炭化物混じる [袖材]
- 12層 青黒色土(5PB 2/1) 炭・少量の焼土
- 13層 青黒色土(5P 2/1) 炭多い
- 14層 青黒色土(5PB 2/1) 灰・炭層 [使用面]

第456図 7区13号住居跡カマド平・断面図



第457図 7区13号住居跡出土遺物

7区13号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考		
1	須恵器 杯	床面+15cm 口縁部～底部 1/2	口径 13.2 底径 6.6 器高 4.2	① 細砂粒 ② 酸化焰 ③ 黄灰(2.5Y 4/1)	ロクロ整形。口縁部外反。回転右回りか。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。			
2	須恵器 椀	口縁部 破片	口径 13.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焰 ③ 灰黄(2.5Y 7/2)	ロクロ整形。	外面に「大」の墨書。 内面に漆付着。		
3	須恵器 椀	埋土中 口縁部～底部 1/2	口径 14.0 底径 6.0 器高 4.7	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(5Y 7/1)	ロクロ整形。口縁部外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。高台貼付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	器面摩滅。		
4	須恵器 椀	床面+16cm 口縁部～底部 1/5	口径 15.8 底径 7.6 器高 5.0	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 黄灰(2.5Y 6/1)	ロクロ整形。口縁部外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。高台貼付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。			
5	須恵器 椀	床面+6cm 胴部～底部 底部完形	口径 — 底径 6.1 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好(燻) ③ 黒(2.5Y 2/1)	ロクロ整形。回転右回り。内・外面燻し。 外面：体部回転ナデ。底部回転糸切り。高台貼付。 内面：体部～底部回転ナデ調整。			
6	灰釉陶器 高台付皿	壁際直下 口縁部～底部 1/3	口径 14.0 底径 7.0 器高 2.9	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(2.5Y 7/1)	ロクロ整形。口縁部外反。 外面：口縁部～体部横ナデ。高台貼付。 内面：口縁部～底部回転ナデ。			
7	土師器 甕	床面直上、竈埋土中 口縁部～胴部 1/4	口径 19.6 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 橙(2.5YR 6/6)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ。胴部上位横、中位縦方向ヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。	6号住埋土中の土器 と接合。		
番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	摘要
8	鉄器	刀子	柄端部欠損	13.2	1.6	0.7	15.0	錆化が進んでいるが残存状態は良好。

7区14号住居跡(旧称7区SJ-14)

位置：X=36270 Y=-39486 軸方向：N-95° - E 規模：2.6m×3.1m 平面形状：隅丸長方形

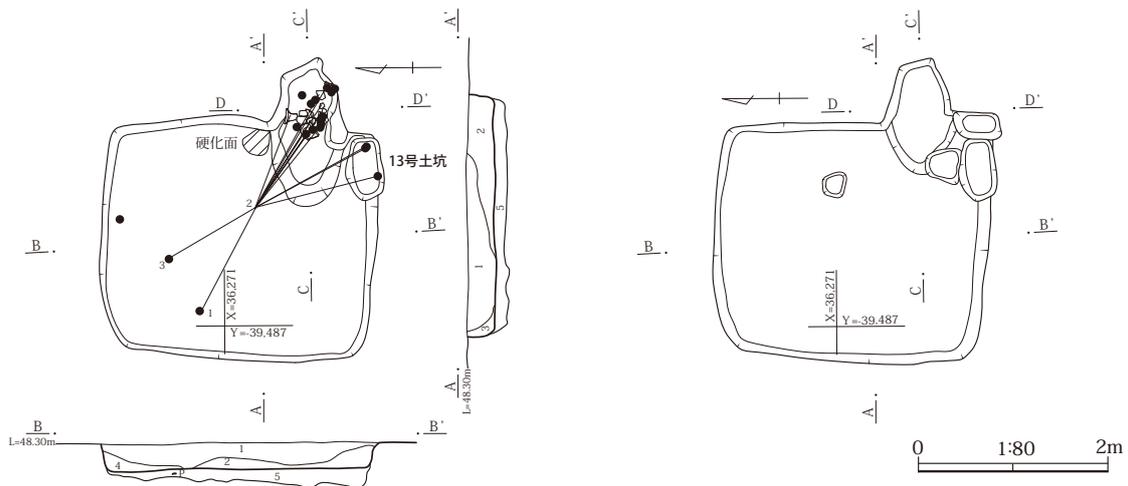
残存深度：30cm～35cm 埋没土：白色軽石・ローム粒・ロームブロックなどを含む暗褐色砂質土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。床面：掘り方埋土であるロームを主体とした暗褐色土で埋め固め、床面としている。

カマド：東壁の中央南寄りに位置する。袖部は大部分が消失しているものの、基部の一部が残り、地山ローム土を掘り残した上に粘質土を用いて構築されているものと思われる。燃焼部使用面には良好な炭化物層の堆積が認められる。煙道部は緩やかな傾斜で端部は急峻に立ち上がり、天井部の痕跡も認められた。

柱穴・貯蔵穴・壁周溝：なし。重複遺構：南東コーナー部を重複する土坑跡により一部壊されている。

掘り方：全体に地山ローム土を6～20cmほど掘り窪める。

出土遺物：埋土中から須恵器杯(No. 1)破片が、また、カマド内より2個体の土師器甕(No. 2・3)が出土する。

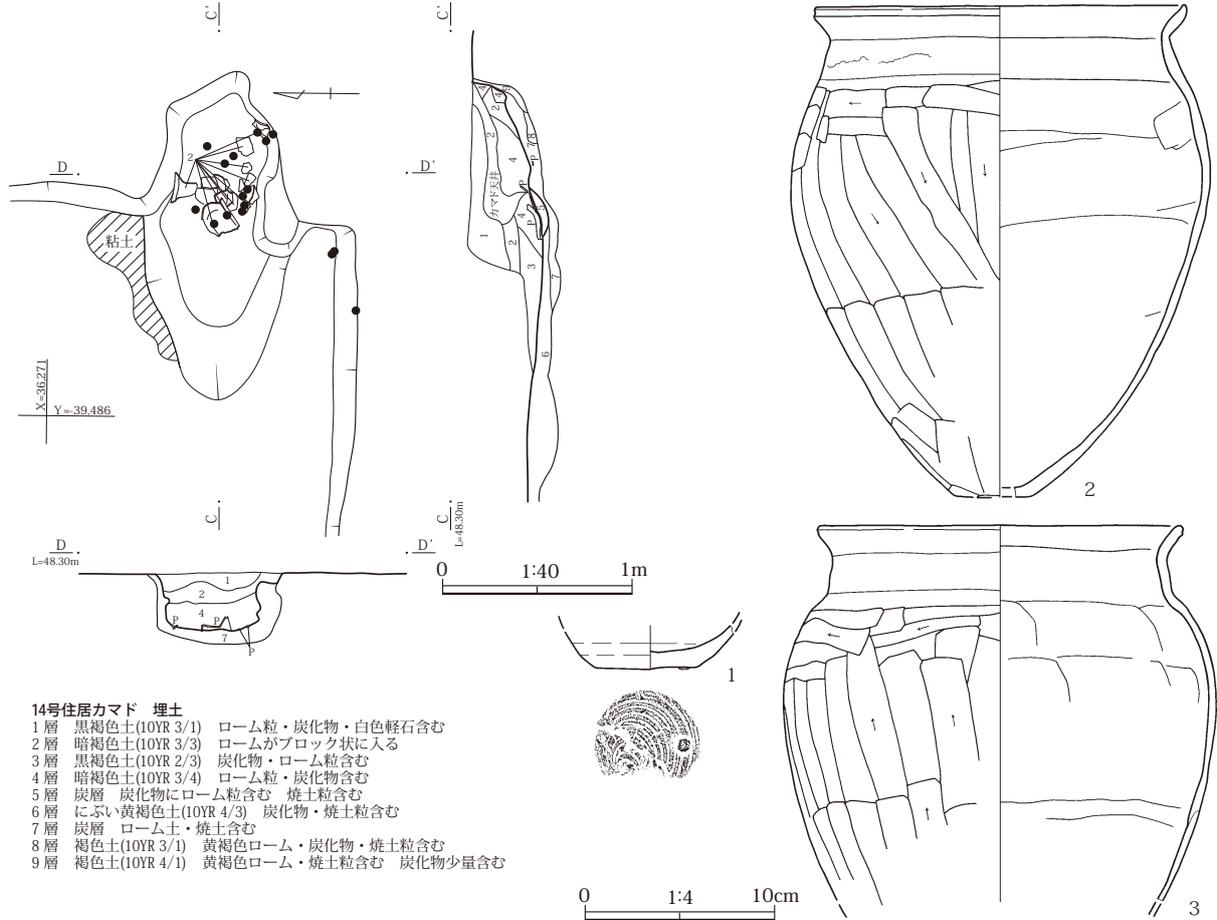


14号住居 埋土

- 1層 暗褐色土(10YR 3/3) ローム土・ローム粒多量含む ロームブロックやや多い  
焼土粒子・炭化物微量含む
- 2層 暗褐色土(10YR 3/3) 白色軽石・ロームブロック少量含む 焼土粒子微量含む
- 3層 暗褐色土(10YR 3/3) ややしまり欠け ローム土・ローム粒含む
- 4層 暗褐色土(10YR 3/3) ややしまり欠け ローム土多量ロームブロック少量含む
- 5層 暗褐色土(10YR 3/3) しまりあり ローム土ブロック・焼土粒含む

第458図 7区14号住居跡平・断面図、掘り方平面図

第3章 検出遺構と出土遺物



- 14号住居カマド 埋土
- 1層 黒褐色土(10YR 3/1) ローム粒・炭化物・白色軽石含む
  - 2層 暗褐色土(10YR 2/3) ロームがブロック状に入る
  - 3層 黒褐色土(10YR 2/3) 炭化物・ローム粒含む
  - 4層 暗褐色土(10YR 3/4) ローム粒・炭化物含む
  - 5層 炭層 炭化物にローム粒含む 焼土粒含む
  - 6層 にぶい黄褐色土(10YR 4/3) 炭化物・焼土粒含む
  - 7層 炭層 ローム土・焼土含む
  - 8層 褐色土(10YR 3/1) 黄褐色ローム・炭化物・焼土粒含む
  - 9層 褐色土(10YR 4/1) 黄褐色ローム・焼土粒含む 炭化物少量含む

第459図 7区14号住居跡カマド平・断面図、出土遺物

7区14号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	底面+21cm 体部下端～底部 破片	口径 — 底径 5.4 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(5Y 6/1)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：体部～底部回転ナデ調整。	
2	土師器 甕	竈埋土中、竈掘方埋 土中 ほぼ完形 一部欠損	口径 19.3 底径 4.0 器高 26.0	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい橙(7.5YR 6/4)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ。胴部最上位、横、その他、縦方向ヘ ラ削り、底部ヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部～底部ヘラナデ。	胴部にスス付 着。
3	土師器 甕	竈埋土中 口縁部～胴部 1/4	口径 18.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 橙(5YR 6/6)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ。胴部上位横、中位縦方向ヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。	

7区15号住居跡(旧称7区SJ-15)

位置：X=36275 Y=-39489 主軸方向：N-92° - E 規模：3.4m×2.8m 平面形状：隅丸長方形

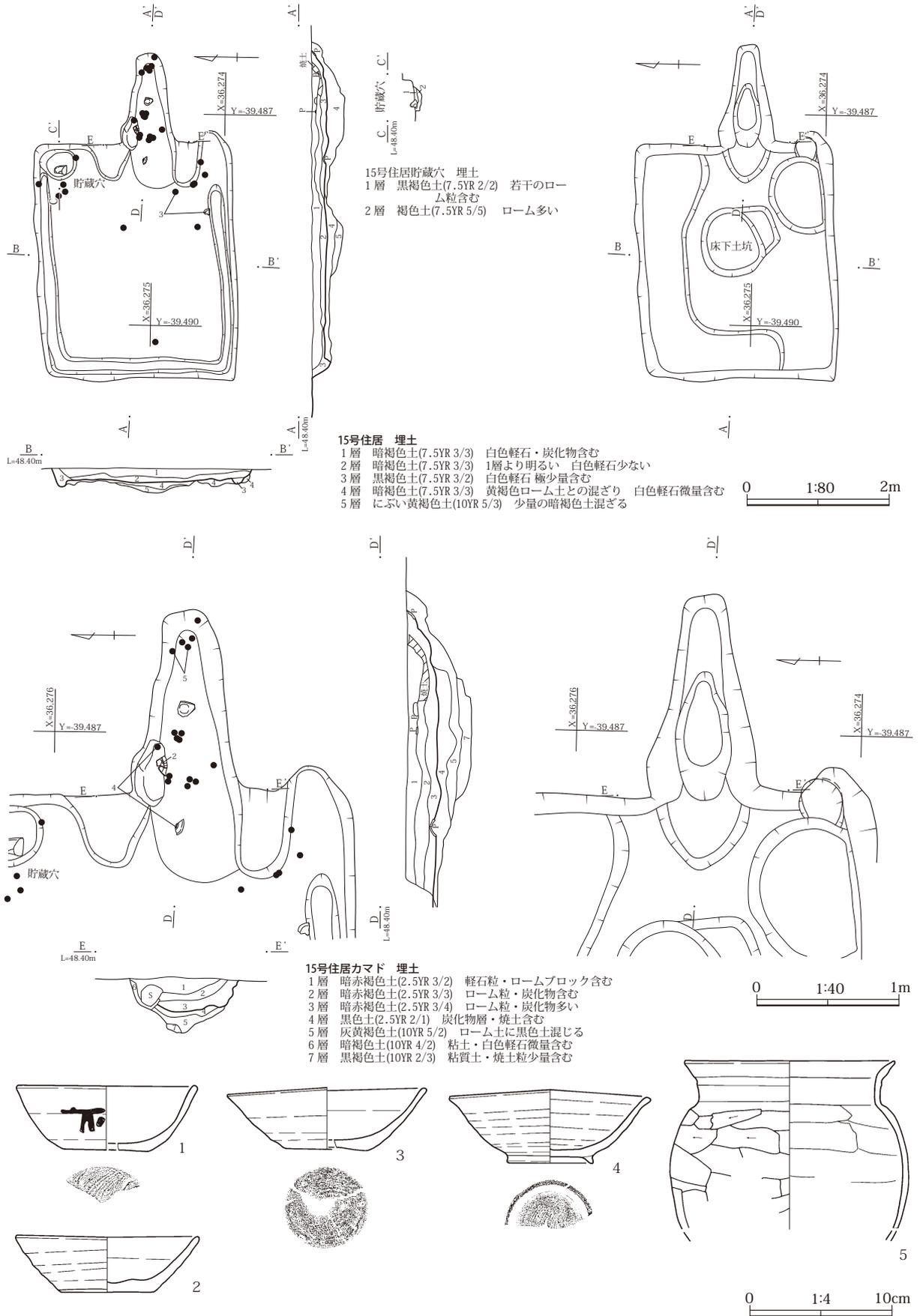
残存深度：17cm～25cm 埋没土：白色軽石・炭化物を含む暗褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。

床面：掘り方埋土であるロームを主体とした黄褐色土で埋め固めて床面としている。

カマド：東壁の中央やや南寄りに位置する。袖部は大部分が消失しているものの、両袖下底部と左袖の芯材として埋め込まれた袖石が粘土の付着した状態で出土している。燃焼部使用面には良好な炭化物層の堆積が認められた。また、煙道部は緩やかに立ち上がり、被熱で焼土化した天井部材がみとめられた。柱穴：なし。貯蔵穴：住居北東コーナー部で径53×44cm深さ13cmを測る楕円形の土坑が検出され、埋土からは欠失したカマド右袖部の袖石とおもわれるものが出土している。壁周溝：カマド側の東壁を除いて幅20～30cm、深さ7～9cmを測る溝が巡る。

重複遺構：なし 掘り方：カマド前面を除く部分を2～10cmほど掘り窪め、住居中央部は土坑状に掘り窪める。

出土遺物：埋土中からは土師器杯(No. 3)破片が、掘り方埋土中から墨書須恵器杯(No. 1)の破片が出土している。また、カマド内より土師器甕(No. 5)や須恵器杯(No. 2)・墨書椀(No. 4)破片が出土している。



第460図 7区15号住居跡平・断面図、掘り方平・断面図、出土遺物

第3章 検出遺構と出土遺物

7区15号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	掘方埋土中 口縁部～底部 破片	口径 12.5 底径 6.0 器高 4.5	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰オリブ(5Y6/2)	口クロ整形。口縁部やや外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部～体部回転ナデ調整。	体部外面にの墨書。
2	須恵器 杯	竈埋土中 口縁部～底部 1/2	口径 12.5 底径 6.6 器高 3.9	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 ③ 灰(5Y5/1)	口クロ整形。回転右回り。口縁部やや外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	内外面にスス付着。
3	須恵器 杯	床面-12cm 口縁部～底部 1/2	口径 13.7 底径 5.6 器高 4.4	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焰 ③ 橙(7.5YR7/6)	口クロ整形。回転右回り。口縁部やや外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	器面摩滅。 内面油煙付着。
4	須恵器 椀	竈埋土中 口縁部～底部 1/3	口径 13.9 底径 5.9 器高 5.2	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(5Y5/1)	口クロ整形。口縁部外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。高台貼付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	底部外面に墨書。内面に火罨
5	土師器 甕	竈埋土中 口縁部～胴部 破片	口径 14.5 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 暗赤褐(5YR3/2)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ。胴部上位横、中位縦方向ヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。	

7区16号住居跡(旧称7区SJ-16)

位置：X=36279 Y=-39491 主軸方向：N-81°-E 規模：4.2m×3.1m 平面形状：隅丸長方形

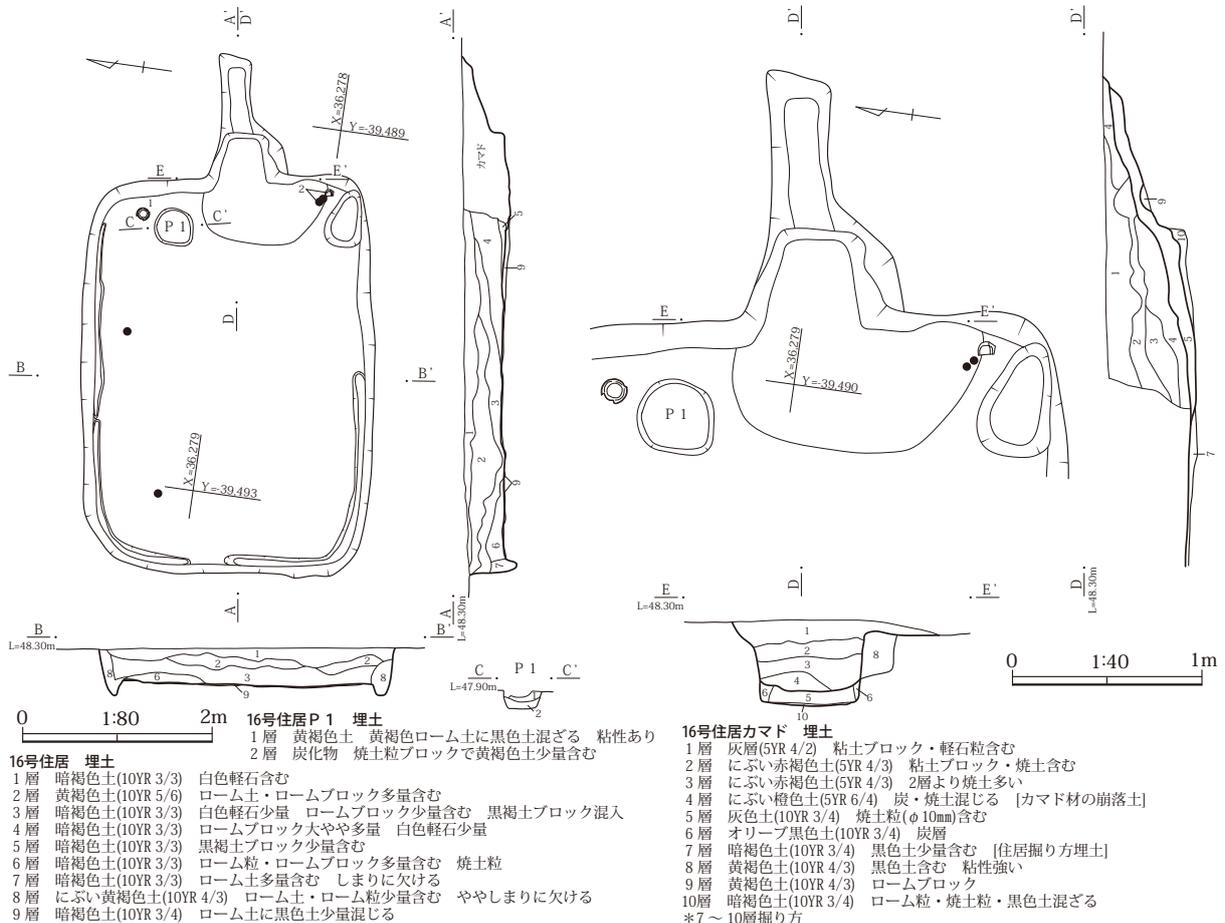
残存深度：35cm～40cm 埋没土：白色軽石とローム・黒色土ブロックや砂粒を含む暗褐色～褐色粘質土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。床面：ロームと黒色土の混土を用い、部分的に薄い貼り床を敷設する。

カマド：北東壁のほぼ中央に位置する。燃焼部から煙道部にかけての使用面には6～14cmほどの良好な灰層の堆積と、灰層直上の崩落天井部材が認められた。比較的に長い煙道部は燃焼部より一段上がった所より緩やかに立ち上がる。

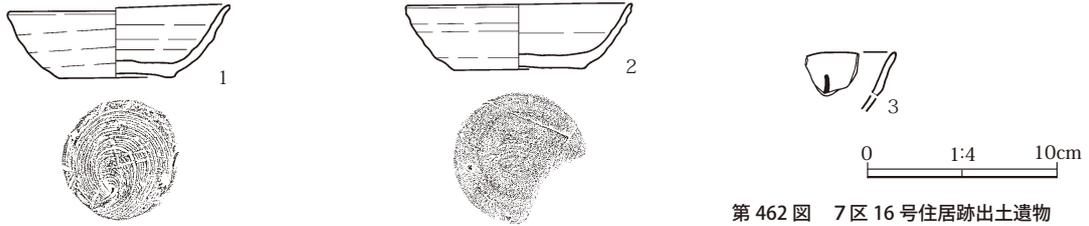
柱穴：なし。貯蔵穴：P1は、埋土に焼土粒と炭化物が入っていることから、廃絶時に開口していた貯蔵穴である可能性が高い。壁周溝：カマド側の東壁および南壁の東半部を除く壁際に、幅18～22cm深さ10cmを測る溝が巡る。

重複遺構：20号住居跡と重複し、遺構確認～掘削時の埋土の様相より、本住居跡の方が新しいものと判断される。

掘り方：カマドを含めて掘り方を持たない。出土遺物：埋土中から完形の須恵杯(No.1・2)の他、埋土中から墨書須恵器杯(No.3)などの破片が出土している。



第461図 7区16号住居跡平・断面図、カマド平・断面図



第462図 7区16号住居跡出土遺物

7区16号住居跡出土遺物観察表

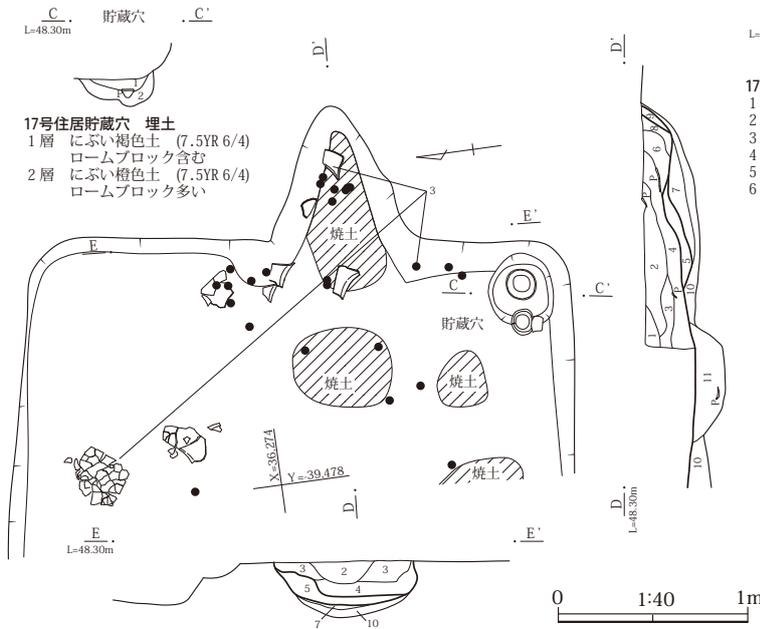
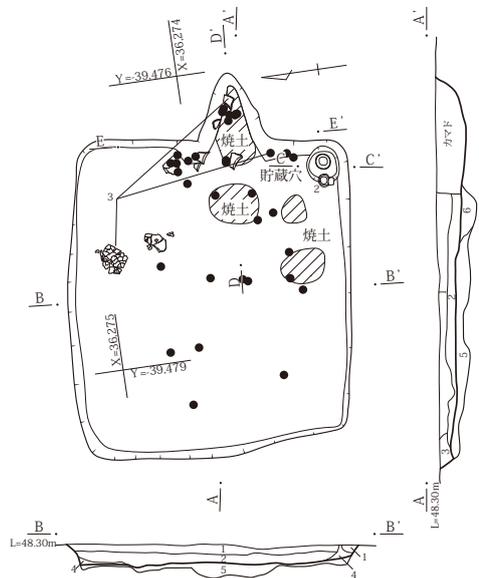
番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	底面+28cm 完形	口径 11.4 底径 6.1 器高 3.8	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 青灰(5B 5/1)	ロクロ整形。回転右回り。口縁部やや外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
2	須恵器 杯	底面+6cm 2/3	口径 11.6 底径 6.8 器高 3.4	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ オリーブ灰(2.5GY 5/1)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り後、回転へラ削り調整。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
3	須恵器 杯	埋土中 口縁部～体部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(5Y 5/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。 内面：口縁部～体部回転ナデ調整。	口縁部内面に墨書。

7区17号住居跡(旧称7区SJ-17)

位置：X=36274 Y=-39478 主軸方向：N-97° - E

規模：3.4m×3.0m 平面形状：隅丸長方形 残存深度：11cm～28cm  
を含む暗褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。

床面：掘り方埋土であるロームを主体とした暗褐色土で埋め固め、床面としている。カマド：南東壁の中央やや南寄りに位置する。袖部は欠失し残らない。燃焼部から煙道部にかけての使用面には焼土を含んだ灰の堆積が認められる。柱穴：なし。貯蔵穴：住居の南東コーナーで、径40×35cm 深さ25cmを測る楕円形の土坑が検出され、貯蔵穴と考えられる。壁周溝：なし。重複遺構：なし 掘り方：深さ5～15cmほどの土坑状掘り方。出土遺物：貯蔵穴内よりほぼ完形の椀(No. 1・2)が、カマド内より土師器甕(No. 3)破片が出土している。



17号住居貯蔵穴 埋土

- 1層 にぶい褐色土 (7.5YR 6/4)  
ロームブロック含む
- 2層 にぶい褐色土 (7.5YR 6/4)  
ロームブロック多い

17号住居 埋土

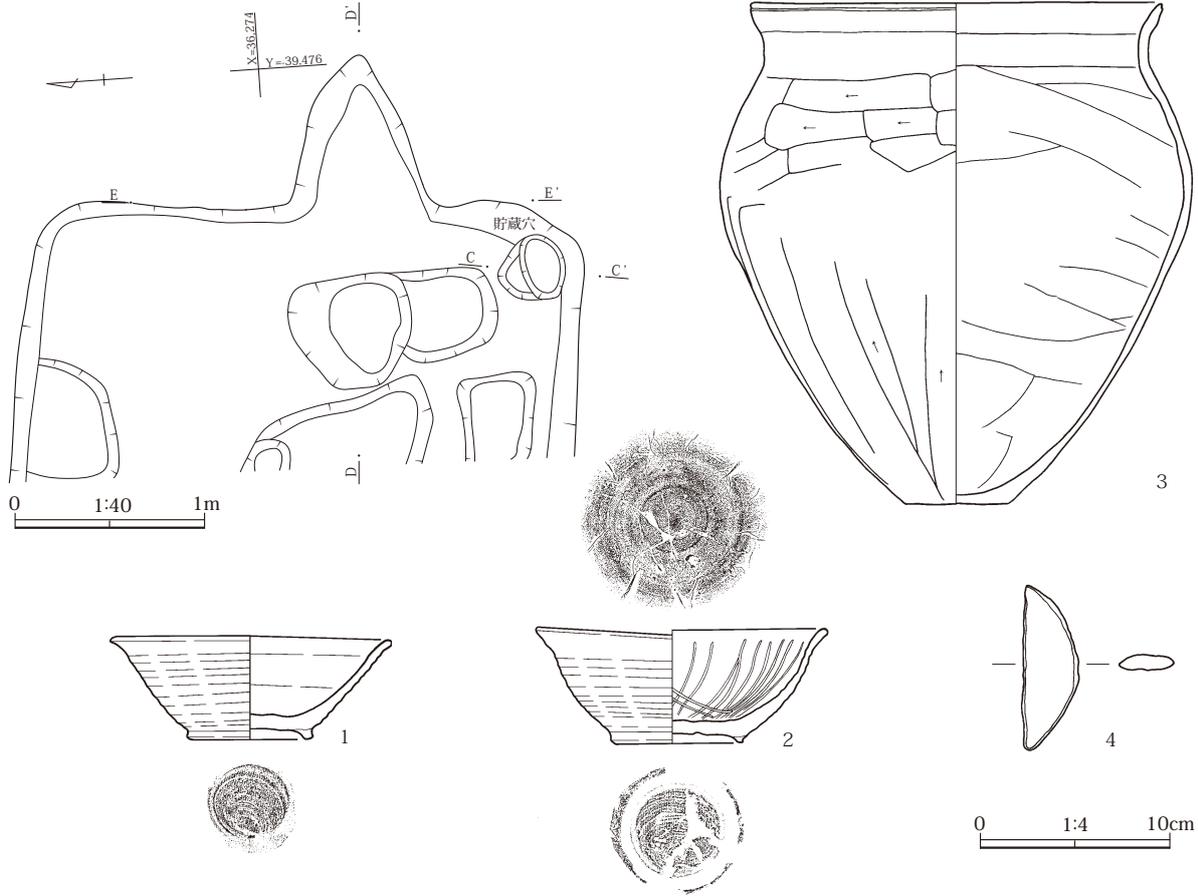
- 1層 暗褐色土(10YR 3/3) 白色軽石・炭化物・焼土含む
- 2層 暗褐色土(10YR 3/4) 白色軽石・炭化物・ローム粒・焼土含む
- 3層 暗褐色土(10YR 3/4) ローム粒含む
- 4層 黄褐色土(10YR 5/6) ロームブロック
- 5層 暗褐色土(10YR 3/4) ローム土に少量の黒色土混ざる
- 6層 暗褐色土(10YR 3/4) 焼土粒(φ50～5mm)・炭化物含む

17号住居カマド 埋土

- 1層 暗赤褐色土(5YR 3/2) 白色軽石・焼土・ローム粒を含む
- 2層 灰褐色土(5YR 4/2) 白色軽石・焼土・炭化物・ローム粒を含む
- 3層 黒褐色土(5YR 3/1) 焼土・炭化物を含む
- 4層 褐色土(5YR 4/1) 炭化物・焼土粒を含む
- 5層 黒褐色土(5YR 2/2) 炭化物多い 灰・焼土粒含む
- 6層 赤褐色土(5YR 4/8) 焼土・炭化物を含む
- 7層 にぶい褐色土(5YR 7/4) 焼土・灰・炭化物混じり
- 8層 赤褐色土(5YR 4/6) 焼土に若干の炭化物含む
- 9層 明赤褐色土(2.5YR 5/8) 焼土層
- 10層 黄褐色土(10YR 5/6) 黒色土混ざる
- 11層 焼土粒 黄褐色ローム土に焼土粒(φ20mm位)多量混ざる

第463図 7区17号住居跡平・断面図、掘り方平面図、カマド平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物



第464図 7区17号住居跡カマド掘り方平面図・出土遺物

7区17号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考		
1	須恵器 椀	貯蔵穴埋土中 ほぼ完形	口径 14.3 底径 6.5 器高 5.5	① 細砂粒・粗砂粒・細礫・中礫 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい黄橙(10YR 7/2)	ロクロ整形。回転右回り。内・外面燻し。口縁部外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。高台貼付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。			
2	須恵器 椀	貯蔵穴埋土中 ほぼ完形	口径 15.0 底径 7.4 器高 6.3	① 細砂粒・粗砂粒・細礫・中礫 ② 酸化焰 良好 ③ 黄灰(2.5Y 4/1)	ロクロ整形。回転右回り。内・外面燻し。口縁部外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。高台貼付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。斜放射状暗文。	底部内外面に線刻あり。		
3	土師器 甕	床面直上、竈埋土中 口縁部～底部 1/3	口径 21.4 底径 5.3 器高 26.5	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 浅黄橙(10YR 8/3)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ。胴部上半横方向のへら削り、胴部下 半縦方向のへら削り。底部へら削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部～底部へらナデ。			
番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	摘要
4	鉄製品	半円形鉄製品	完形か	8.6	2.9	0.8	25.0	用途不明。錆化が激しい。

7区18号住居跡(旧称7区SJ-18)

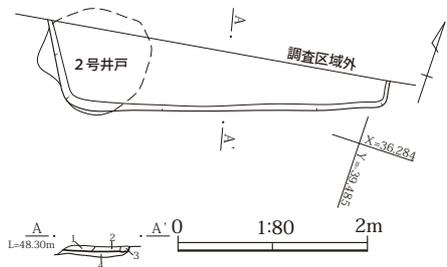
位置：X=36284 Y=-39487 主軸方向：N-72°-E

規模：3.5m×不明 平面形状：隅丸長方形？ 残存深度：3cm～12cm

埋没土：上面が削平された状態での検出であり、僅かな埋土として白色軽石を含む暗褐色弱粘質土が残るものの、その埋没過程は明らかではない。

床面：掘り方埋土であるロームを主体とした暗褐色土で埋め固め、床面としている。カマド・柱穴・貯蔵穴・壁周溝：調査範囲内においては検出されていない。

重複遺構：2号井戸跡と重複し、遺構確認時の埋土の様相より、本遺構の方が新しいものと判断される。掘り方：全体に3～6cmほど掘り窪める。出土遺物：埋土中から「コ」の字状口縁の土師器甕片が出土している。



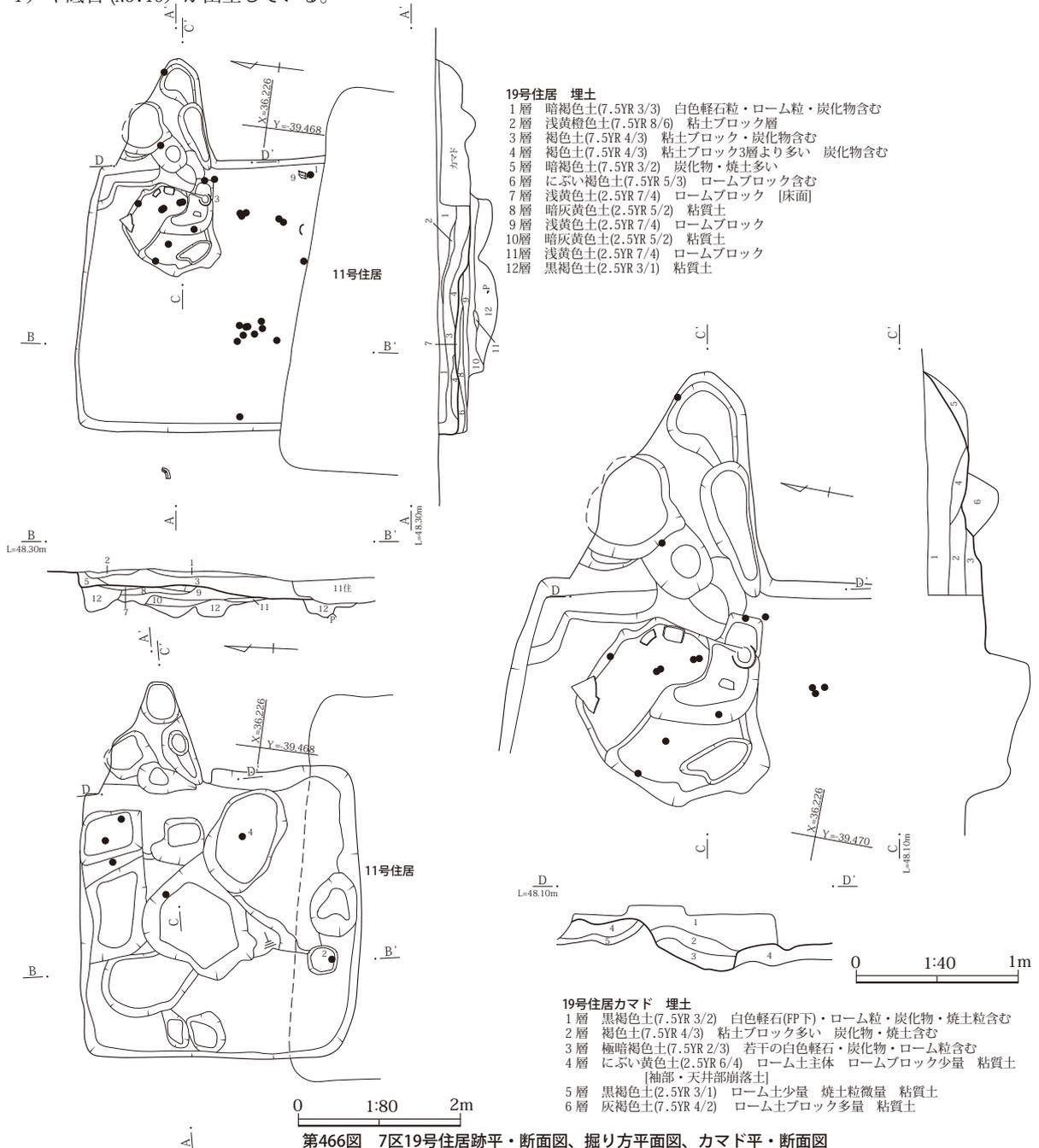
18号住居 埋土  
1層 暗褐色土 粘質土 粘性強い 白色軽石微量を含む  
2層 褐色土 明褐色ローム土粒混ざる  
3層 明褐色土 褐色土混ざる  
4層 茶褐色土 地山ブロック (掘り方)

第465図 7区18号住居跡平・断面図

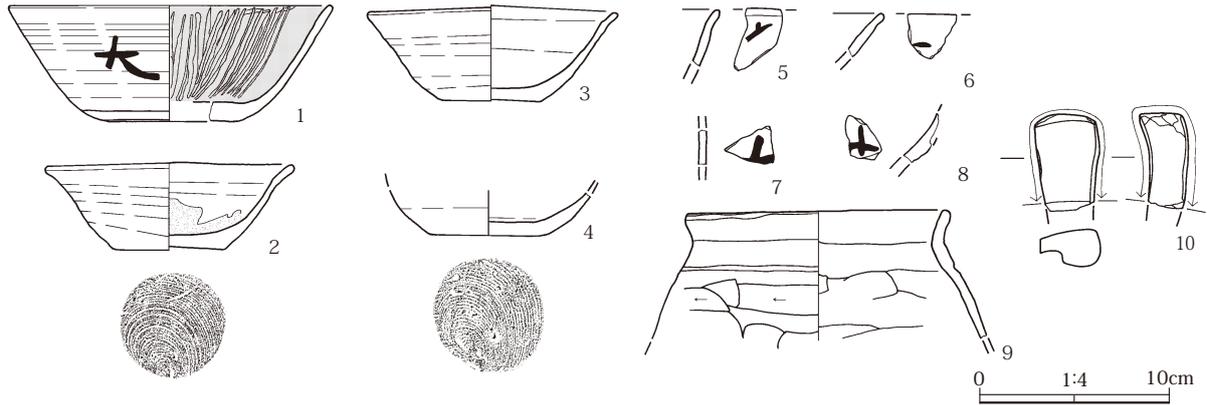
7区19号住居跡(旧称7区SJ-19)

位置：X=36226 Y=-39470 主軸方向：N-83°-E 規模：3.4m×3.4m 平面形状：隅丸正方形

残存深度：22cm～45cm 埋没土：白色軽石・ローム粒・炭化物などを含む暗褐～褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。 床面：掘り方埋土であるローム土を主体とした浅黄色土と暗灰黄色粘質土で埋め固め、床面とする。 カマド：東壁の北寄りに位置する。遺存状態は悪く、掘り方と一部天井部材等の崩落が確認されるに留まる。 柱穴：なし。 貯蔵穴：なし。 壁周溝：なし。 重複遺構：11号住居跡と重複し、遺構確認～掘削時の埋土の様相より本遺構の方が古いものと判断される。 掘り方：床面から30～50cmほどに達する10ヶ所ほどの土坑状の掘り込みを有する。南側の11号住居跡との重複部分については、本住居掘り方の掘削深度が深いために、掘り方調査において欠失した南壁下部が確認された。 出土遺物：床面直上で「大」の文字の墨書のある椀(No.1)が、埋土中からは4個体の須恵器墨書杯(No.5・6・7・8)が出土している。また、掘り方埋土中から3個体の須恵器杯(No.2・3・4)や砥石(No.10)が出土している。



第3章 検出遺構と出土遺物



第467図 7区19号住居跡出土遺物

7区19号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考			
1	黒色土器 椀	床面直上 口縁部～底部 破片	口径 16.9 底径 — 器高 6.0	① 細砂粒・粗砂粒・細礫・中礫 ② 酸化焰 良好 内面黒色処理 ③ 橙(5YR 6/6)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。体部最下位～底部ヘラ削り。 内面：口縁部～体部回転ナデ調整。口縁～体部放射状底部 横方向のヘラ磨き。	体部外面に 「大」の墨書。			
2	須恵器 杯	底面～32cm 口縁部～底部 1/3	口径 12.7 底径 6.0 器高 4.5	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 ③ 灰黄(2.5Y 6/2)	ロクロ整形。回転右回り。口縁部外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転系切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	内面漆付着。			
3	須恵器 杯	底面～12cm 完形	口径 12.8 底径 5.3 器高 5.0	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 ③ 灰黄(2.5Y 6/2)	ロクロ整形。回転右回り。口縁部外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転系切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	歪みあり。			
4	須恵器 杯	底面～44cm 体部～底部 破片	口径 — 底径 6.1 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 ③ 黄灰(2.5Y 4/1)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：体部～体部回転ナデ。底部回転系切り。 内面：体部～底部回転ナデ調整。				
5	須恵器 杯	埋土中 口縁部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ にぶい黄橙(10YR 6/3)	ロクロ整形。口縁部外反。 外面：口縁部回転ナデ。 内面：口縁部回転ナデ調整。	口縁部外面に 墨書。			
6	須恵器 杯	埋土中 口縁部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ にぶい黄褐(10YR 5/3)	ロクロ整形。口縁部やや外反。 外面：口縁部回転ナデ。 内面：口縁部回転ナデ調整。	口縁部外面に 墨書。			
7	須恵器 杯	埋土中 体部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ 暗灰黄(2.5Y 5/2)	ロクロ整形。 外面：体部回転ナデ。 内面：体部回転ナデ調整。	体部外面に墨 書。			
8	須恵器 杯	埋土中 底部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ にぶい橙(10YR 6/4)	ロクロ整形。 外面：底回転ナデ。 内面：底部回転ナデ調整。	体部内面に 「十？」の墨 書。			
9	土師器 甕	床面直上 口縁部～胴部 破片	口径 13.4 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 褐 (7.5YR 4/3)	輪積み 外面：口縁部横ナデ。胴部横方向ヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。	胴部上端外面 に太さ2mmの 条線が巡る。			
番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	石材	摘要
10	石製品	砥石	下部欠損	5.0	3.2	1.9	52	砥沢石	表裏、両側面、頂部とも使用されているが頂部の使用は少ない。裏面上部に径1.5cmの凹みあり。

7区20号住居跡(旧称7区SJ-20)

位置：X=36276 Y=-39494 主軸方向：N-88°-E

規模：2.8m×2.7m 平面形状：隅丸長方形

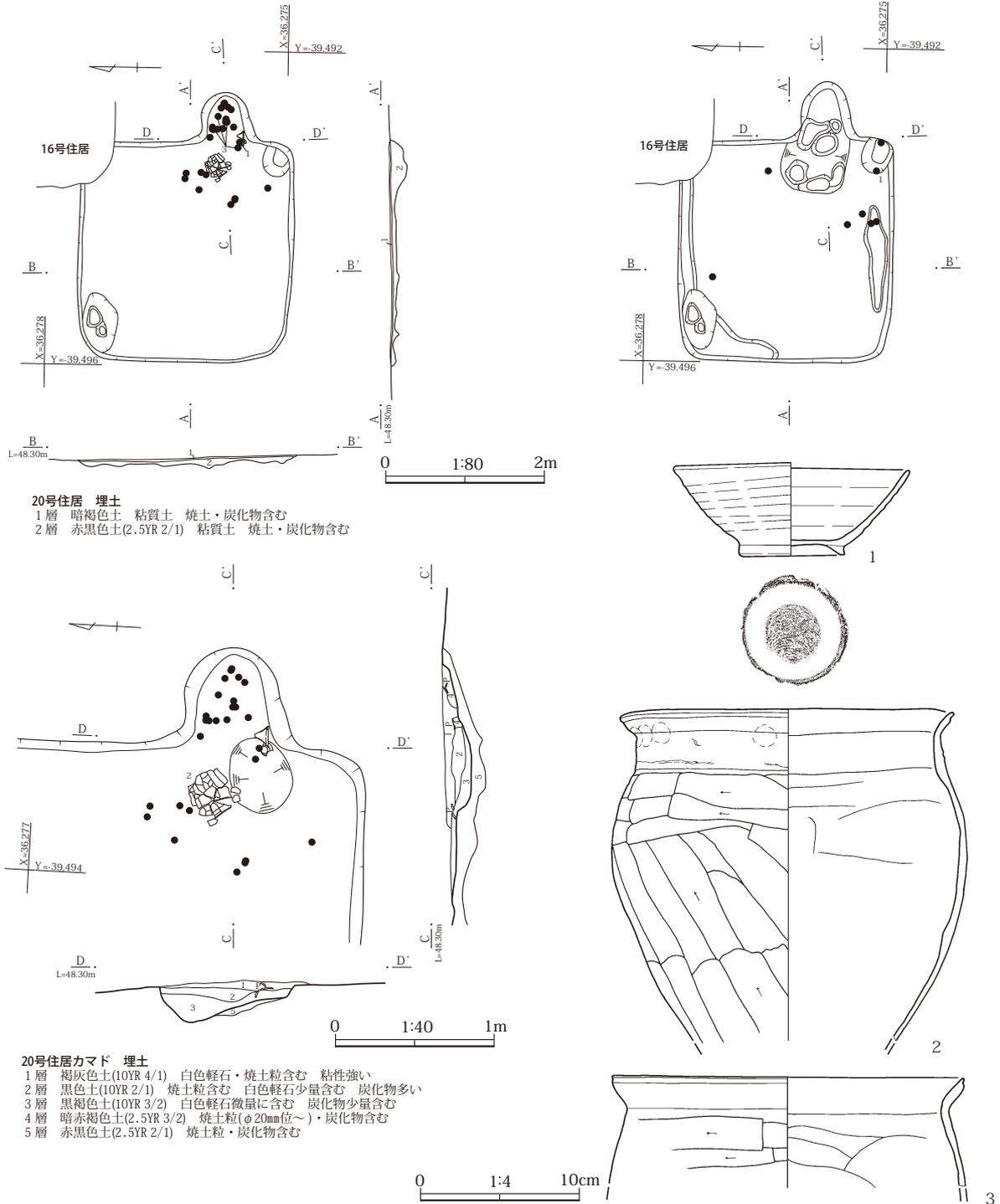
残存深度：0cm～1cm 埋没土：上面が削平された状態での遺構検出となり、僅かに焼土粒と炭化物を含む暗褐色弱粘質土の堆積が確認されるのみで、埋没の過程は明らかではない。床面：掘り方埋土である赤黒色土で埋め固め、床面としている。カマド：東壁の中央南寄りに位置する。遺存状態は悪く、袖部は欠失する。燃焼部使用面には焼土・炭化物層が認められ、煙道は短く緩やかに立ち上がる。柱穴：掘り方調査段階で南東コーナー部および北西コーナー部において検出された2穴のピットが柱穴となるものと考えられる。貯蔵穴：なし。

壁周溝：掘り方調査の段階で、北壁～西壁北半および南壁の中央部より壁溝が検出された。

重複遺構：16号住居跡と重複し、遺構確認～掘削時の埋土の様相より、本遺構の方が古いものと判断される。

掘り方：全体に細かな凹凸を持ち、5～20cmほど掘り窪める。

出土遺物：カマドとその前面部で僅かに出土する。



第468図 7区20号住居跡平・断面図、掘り方平面図、カマド平・断面図、出土遺物

7区20号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 椀	竈埋土中、床面直上 口縁部~底部 1/2	口径 14.5 底径 6.5 器高 5.9	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 やや不良 ③ 浅黄(2.5Y 7/3)	口クロ整形。回転右回り。口縁部やや外反。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転糸切り。高台貼付。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	内外面にスス附着。 器面やや摩滅。
2	土師器 甕	竈埋土中 口縁部~胴部 底部欠損	口径 20.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい橙(7.5YR 6/4)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ。胴部上位横、中位斜め方向ヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。	
3	土師器 甕	竈埋土中 口縁部~胴部上端 破片	口径 21.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 橙(5YR 6/6)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ。胴部横方向のヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部ナデ。	

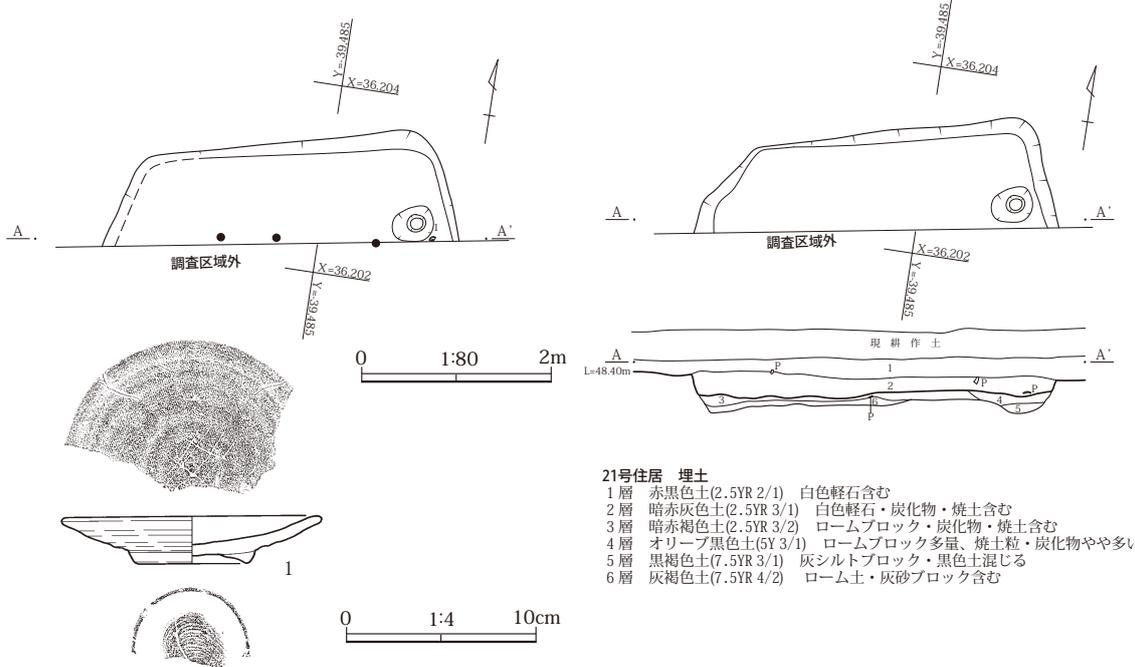
第3章 検出遺構と出土遺物

7区21号住居跡(旧称7区SJ-21)

位置：X=36203 Y=-39485 主軸方向：N-77°-E 規模：3.6m×不明 平面形状：不明

残存深度：12cm～26cm 埋没土：白色軽石・焼土粒・炭化物を含む暗褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。ロームを主体とした暗赤褐色土で埋め固めて床面としている。カマド：調査範囲内においては検出されていない。柱穴：掘り方調査の段階で北東部に検出された径44×37cmの楕円形で、深度43cmを測るピットが柱穴となるものと思われる。貯蔵穴・壁周溝：共に調査範囲内においては検出されていない。重複遺構：なし。

掘り方：全体に7～20cmほど掘り窪められているものと思われる。出土遺物：埋土中から須恵器の高台付皿(No. 1)の破片が出土した。所見：調査区南端に位置し、大半が調査区域外(道路下)にあるため規模・形状等は明らかではない。



- 21号住居 埋土
- 1層 赤黒色土(2.5YR 2/1) 白色軽石含む
  - 2層 暗赤褐色土(2.5YR 3/1) 白色軽石・炭化物・焼土含む
  - 3層 暗赤褐色土(2.5YR 3/2) ロームブロック・炭化物・焼土含む
  - 4層 オリーブ黒色土(5Y 3/1) ロームブロック多量・焼土粒・炭化物やや多い
  - 5層 黒褐色土(7.5YR 3/1) 灰シルトブロック・黒色土混じる
  - 6層 灰褐色土(7.5YR 4/2) ローム土・灰砂ブロック含む

第469図 7区21号住居跡平・断面図、掘り方平面図、出土遺物

7区21号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 高台付皿	底面+12cm 口縁部～底部 1/3	口径 13.4 底径 6.7 器高 2.5	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焰 ③ にぶい褐(7.5YR 5/3)	ロク口整形。回転右回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。高台貼付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	底部内面に格子状に 刻み痕あり。 内外面にスス附着。

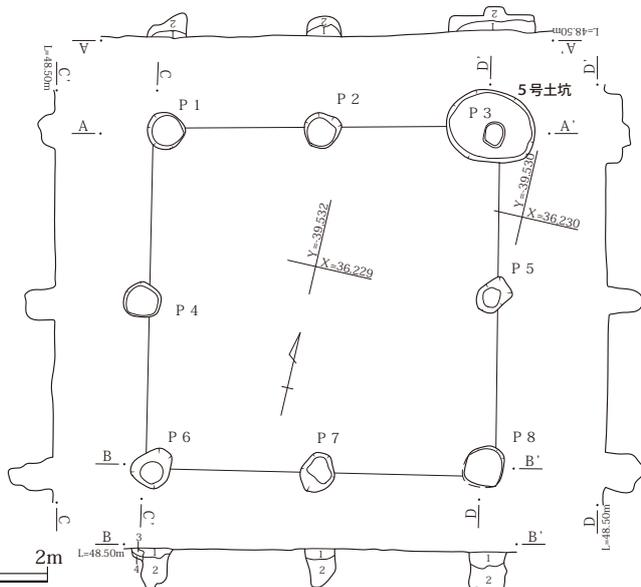
3、掘立柱建物跡

6区1号掘立柱建物跡(旧称6区SB-01)

位置：X=36229 Y=-39532 主軸方向：北辺 N-103°-W 規模：2間×2間。北辺(P3-P2-P1) 3.65m、南辺(P6-P7-P8) 3.65m、東辺(P8-P5-P3) 3.65m、西辺(P1-P4-P6) 3.65m

面積：13.32㎡ 柱穴径・深度：P1 = 径39×39cm 深さ28cm、P2 = 径40×37cm 深さ18cm、P3 = 径37×22cm 深さ27cm、P4 = 径39×38cm 深さ35cm、P5 = 径40×28cm 深さ36cm、P6 = 径43×40cm 深さ

- 1号掘立柱建物 埋土
- 1層 にぶい褐色土(7.5YR 5/3) 白色軽石粒含む
  - 2層 褐色土(7.5YR 4/3) 粘性強い
  - 3層 にぶい黄褐色土(10YR 7/3) ロームブロック
  - 4層 にぶい黄褐色土(10YR 7/3) 褐色土とロームブロックが混在



第470図 6区1号掘立柱建物跡平・断面図

49cm、P 7 = 径43×35cm 深さ43cm、P 8 = 径46×44cm 深さ46cm **重複遺構**：P 3と5号土坑跡が重複し、遺構確認時の埋土の様相より、本建物跡の方が古いものと判断される。

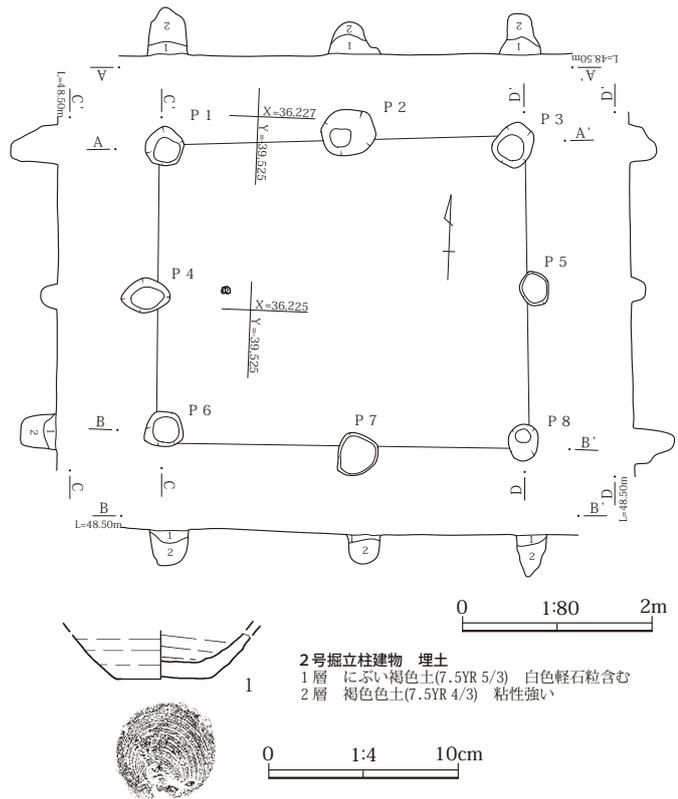
**6区2号掘立柱建物跡 (旧称=6区SB-02)**

**位置**：X=36225 Y=-39524 **主軸方向**：北辺がN-91°-W

**規模**：2間×2間。北辺(P 3-P 2-P 1)3.9m、南辺(P 6-P 7-P 8)3.9m、東辺(P 8-P 5-P 3)3.2m、西辺(P 1-P 4-P 6)3.2m

**面積**：12.48㎡ **柱穴径・深度**：P 1 = 径42×40cm 深さ51cm、P 2 = 径58×49cm 深さ38cm、P 3 = 径46×40cm 深さ43cm、P 4 = 径50×37cm 深さ24cm、P 5 = 径38×30cm 深さ24cm、P 6 = 径42×40cm 深さ37cm、P 7 = 径48×42cm 深さ31cm、P 8 = 径39×31cm 深さ46cm

**重複遺構**：なし。



第471図 6区2号掘立柱建物跡平・断面図、出土遺物

**6区2号掘立柱建物跡出土遺物観察表**

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 椀	埋土中 体部~底部 破片	口径 - 底径 4.8 器高 -	① 細砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ 黄灰(2.5Y6/1)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：体部~底部回転ナデ調整。	

**6区3号掘立柱建物跡 (旧称=6区SB-03)**

**位置**：X=36218 Y=-39517

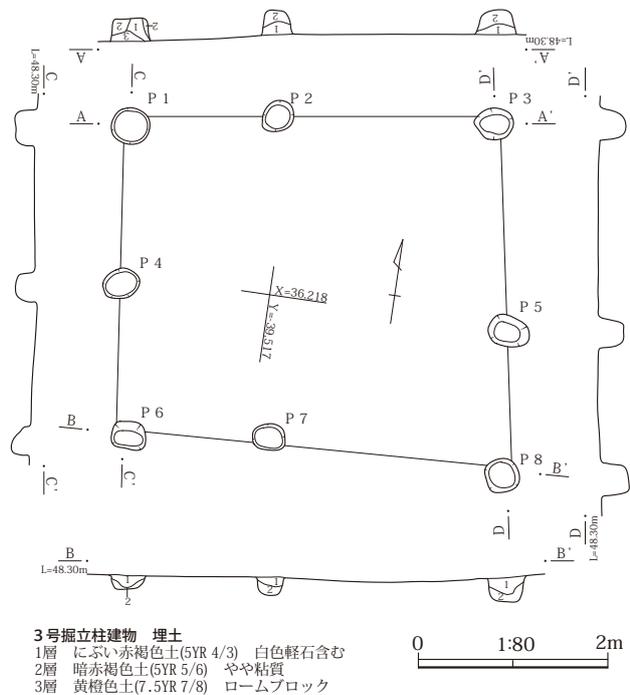
**主軸方向**：北辺がN-97°-W

**規模**：2間×2間。北辺(P 3-P 2-P 1)4.0m、南辺(P 6-P 7-P 8)4.0m、東辺(P 8-P 5-P 3)3.6m、西辺(P 1-P 4-P 6)3.45m。東辺が長く、形状がやや歪となる。

**面積**：14.10㎡

**柱穴径・深度**：P 1 = 径40×40cm 深さ27cm、P 2 = 径38×32cm 深さ27cm、P 3 = 径42×34cm 深さ27cm、P 4 = 径40×32cm 深さ21cm、P 5 = 径44×32cm 深さ30cm、P 6 = 径37×29cm 深さ20cm、P 7 = 径34×28cm 深さ20cm、P 8 = 径38×38cm 深さ31cm

**重複遺構**：なし。

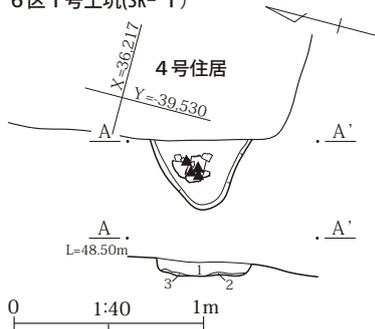


第472図 6区3号掘立柱建物跡平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物

4、土坑跡・Pit跡

6区1号土坑(SK-1)



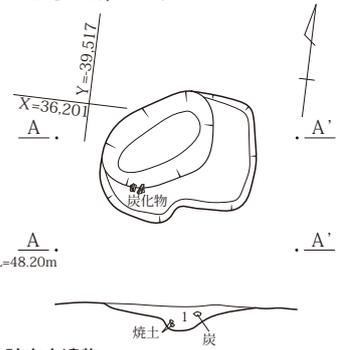
1号土坑 埋土

- 1層 にぶい赤褐色土(2.5YR 3/5) 白色軽石粒含む
- 2層 青黒色土(10G 1.7/1) やや粘質
- 3層 にぶい橙褐色土(2.5YR 6/4) ロームブロック

2号土坑 埋土

- 1層 黒褐色土(7.5YR 2/2) 焼土粒・炭化物含む

2号土坑(SK-2)

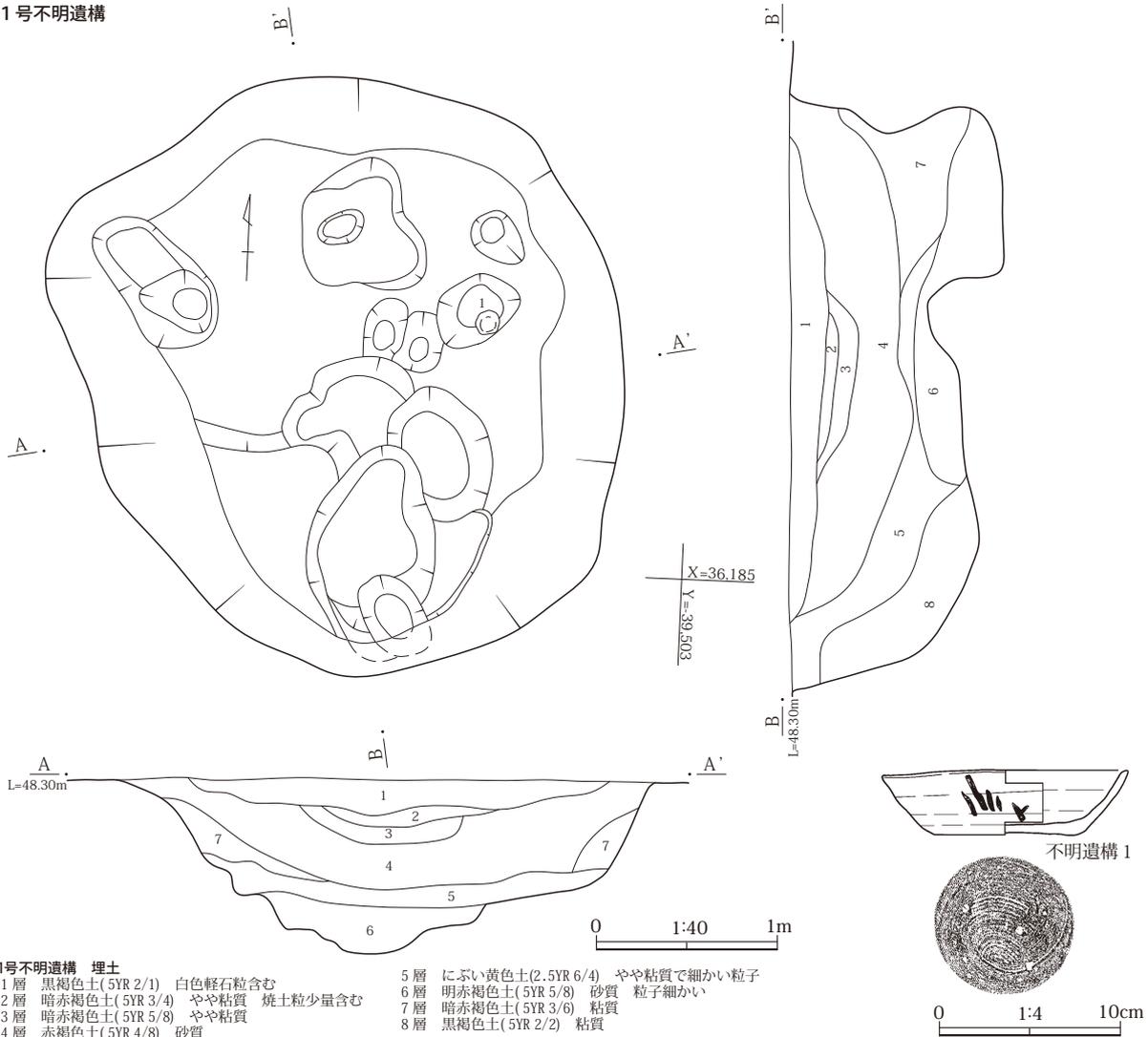


第473図 6区1・2号土坑跡平・断面図、1号土坑跡出土遺物

6区1号土坑跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 甕	底面+4cm 口縁部~胴部上端 破片	口径 17.6 底径 - 器高 -	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 灰褐(7.5YR5/2)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。	

1号不明遺構



1号不明遺構 埋土

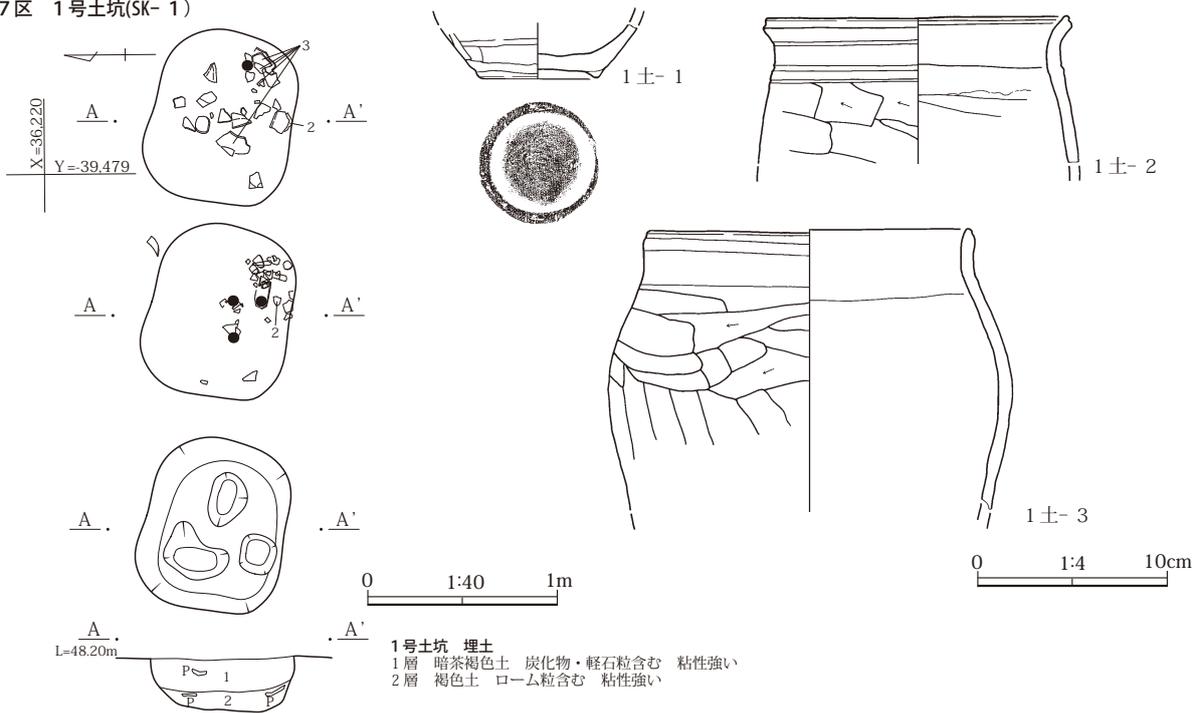
- 1層 黒褐色土(5YR 2/1) 白色軽石粒含む
- 2層 暗赤褐色土(5YR 3/4) やや粘質 焼土粒少量含む
- 3層 暗赤褐色土(5YR 5/8) やや粘質
- 4層 赤褐色土(5YR 4/8) 砂質
- 5層 にぶい黄色土(2.5YR 6/4) やや粘質で細かい粒子
- 6層 明赤褐色土(5YR 5/8) 砂質 粒子細かい
- 7層 暗赤褐色土(5YR 3/6) 粘質
- 8層 黒褐色土(5YR 2/2) 粘質

第474図 6区1号不明遺構平・断面図、出土遺物

6区1号不明遺構出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	埋土中 完形	口径 13.3 底径 7.8 器高 3.6	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰黄(2.5Y 6/2)	ロク口整形。回転右回り。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転系切り後ヘラ削り。 内面：口縁部~体部回転ナデ調整。	底部外面に墨書。

7区 1号土坑(SK-1)

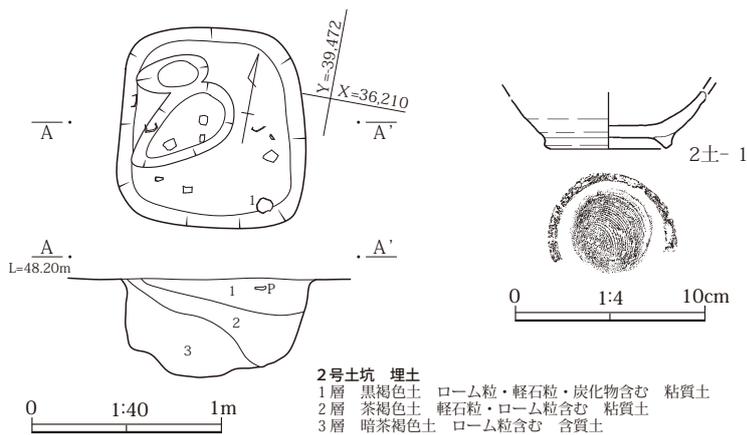


第 475 図 7区1号土坑跡平・断面図、出土遺物

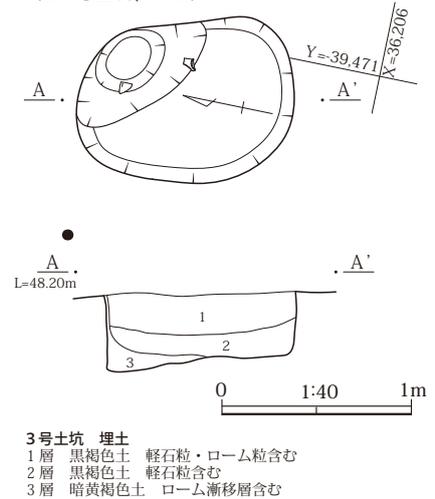
7区1号土坑跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 椀	床面+14cm 体部下端~底部 破片	口径 — 底径 6.7 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 やや不良 ③ 黒褐(2.5Y 3/1)	ロクロ整形。回転右回り。内・外面燻し。 外面：体部回転ナデ。底部回転糸切りか。高台貼付。 内面：体部~底部回転ナデ調整。	
2	土師器 甕	床面+7cm 口縁部~胴部 破片	口径 15.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい赤褐(5YR 4/3)	輪積み。内面頸部に輪積痕が残る。 外面：口縁部横ナデ。胴部横方向へラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部ナデ。	No.2と同一個体か。
3	土師器 甕	床面+3cm 口縁部~胴部 破片	口径 16.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 橙(5YR 6/6)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ。胴部上位横、中位縦方向へラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部ナデ。	No.3と同一個体か。

7区2号土坑(SK-2)



7区3号土坑(SK-3)

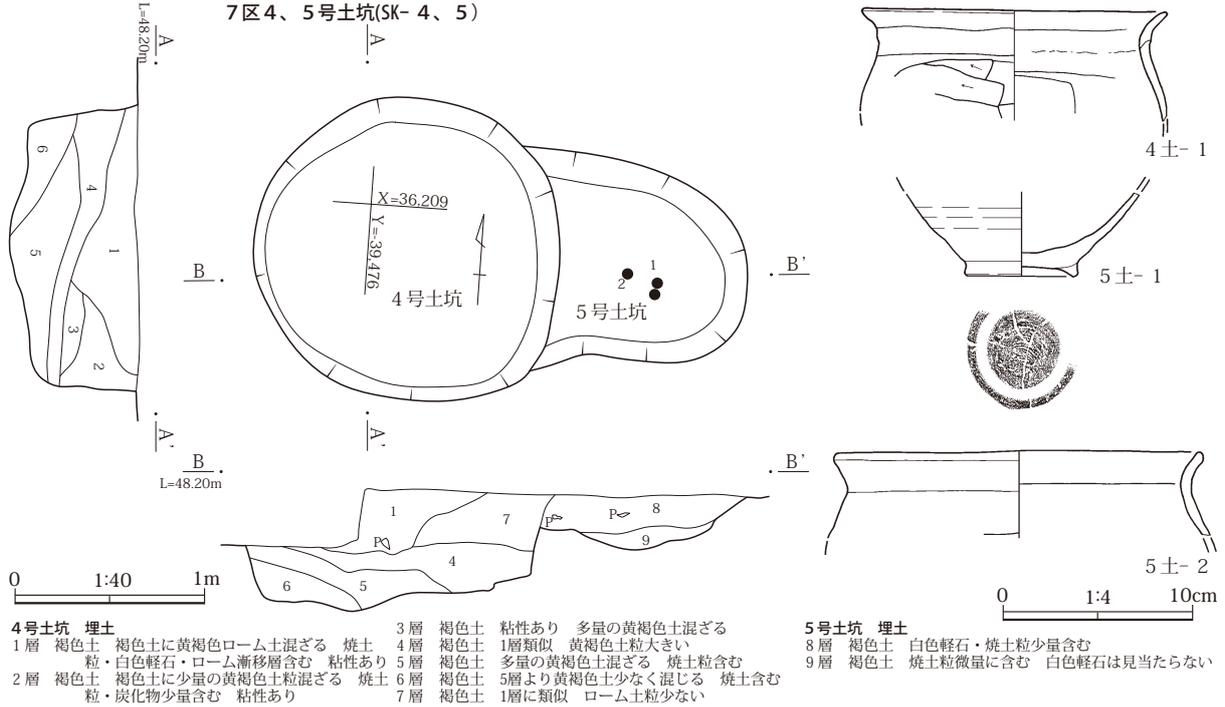


第 476 図 7区2・3号土坑跡平・断面図、2号土坑跡出土遺物

7区2号土坑跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 椀	床面+33cm 体部下端~底部 破片	口径 — 底径 6.6 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焰 ③ 褐灰(10YR 5/1)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：体部回転ナデ。底部回転糸切り。高台貼付。 内面：体部~底部回転ナデ調整。	

第3章 検出遺構と出土遺物



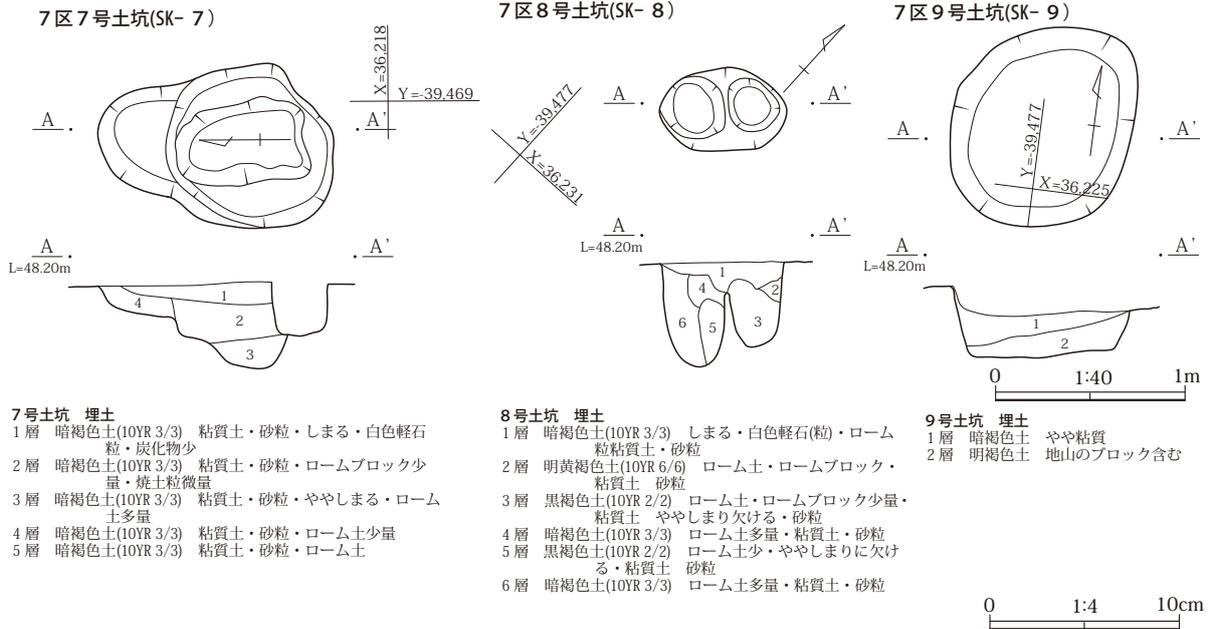
第477図 7区4・5号土坑跡平・断面図、出土遺物

7区4号土坑跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 甕	埋土中 口縁部～胴部上端 破片	口径 15.7 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 明赤褐(2.5YR 5/6)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ。胴部横方向へラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部ナデ。	

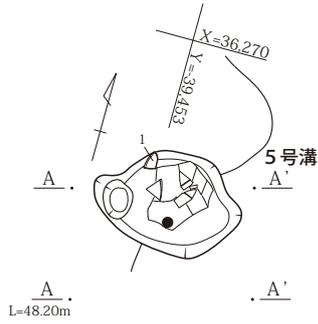
7区5号土坑跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 椀	床面+18cm 体部～底部 破片	口径 — 底径 6.0 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 ③ にぶい黄橙(10YR 7/4)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：体部回転ナデ。底部回転糸切り。高台貼付。 内面：体部～底部回転ナデ調整。	
2	土師器 甕	床面+7cm 口縁部～胴部上端 破片	口径 19.0 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 橙(7.5YR 6/6)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ。胴部へラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部ナデ。	



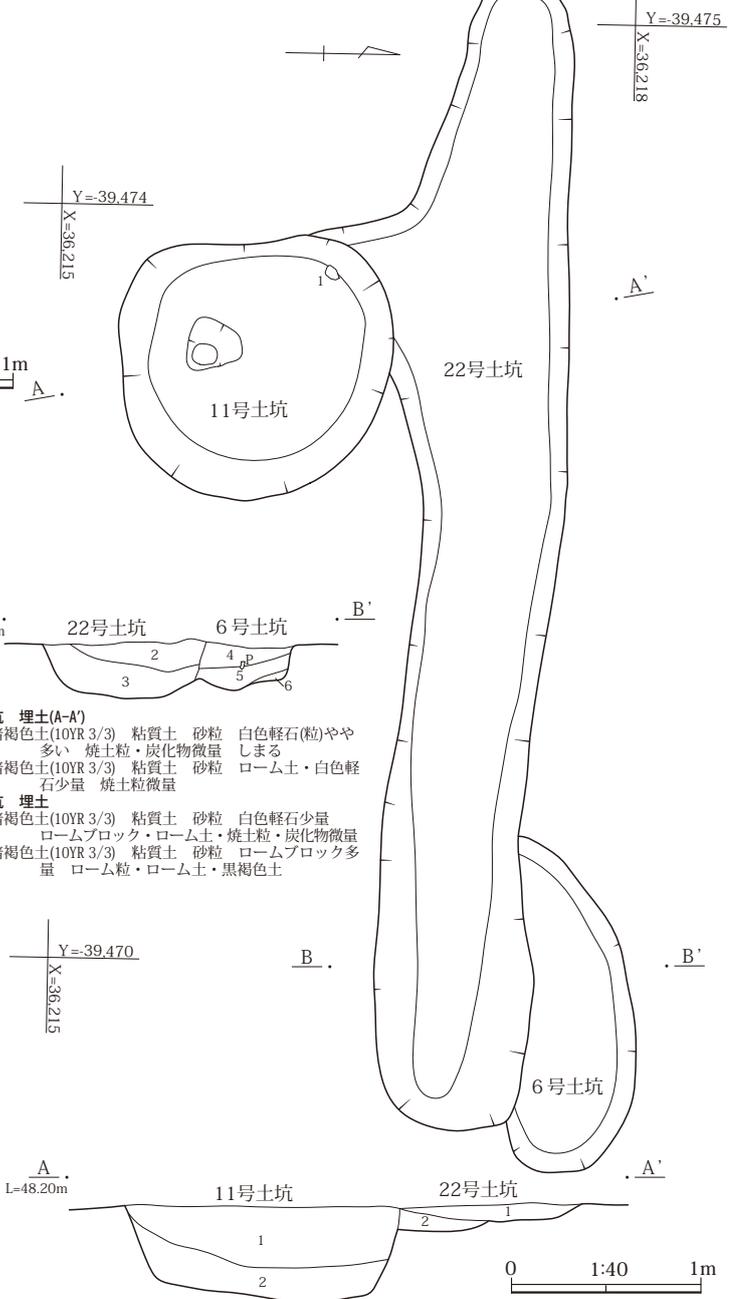
第478図 7区7～9号土坑跡平・断面図

7区12号土坑(SK-12)



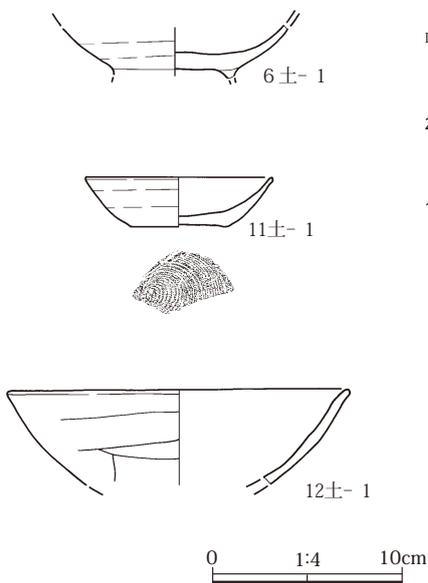
12号土坑 埋土  
1層 にふい赤褐色土(5YR 2/3) 若干の焼土・炭化物含む

7区6、11、22号土坑(SK- 6、11、22)



22号土坑 埋土(A-A')  
1層 暗褐色土(10YR 3/3) 粘質土 砂粒 白色軽石(粒)やや多い 焼土粒・炭化物微量 しまる  
2層 暗褐色土(10YR 3/3) 粘質土 砂粒 ローム土・白色軽石少量 焼土粒微量

11号土坑 埋土  
1層 暗褐色土(10YR 3/3) 粘質土 砂粒 白色軽石少量 ロームブロック・ローム土・焼土粒・炭化物微量  
2層 暗褐色土(10YR 3/3) 粘質土 砂粒 ロームブロック多量 ローム粒・ローム土・黒褐色土



第479図 7区6・11・12・22号土坑跡平・断面図、6・11・12号土坑跡出土遺物

7区6号土坑跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 椀	埋土中 体部下端～底部 破片	口径 — 底径 6.5 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 ③ 灰黄(2.5Y 6/2)	口クロ整形。回転右回り。 外面：体部回転ナデ。底部回転糸切り。高台貼付。 内面：体部～底部回転ナデ調整。	

7区11号土坑跡出土遺物観察表

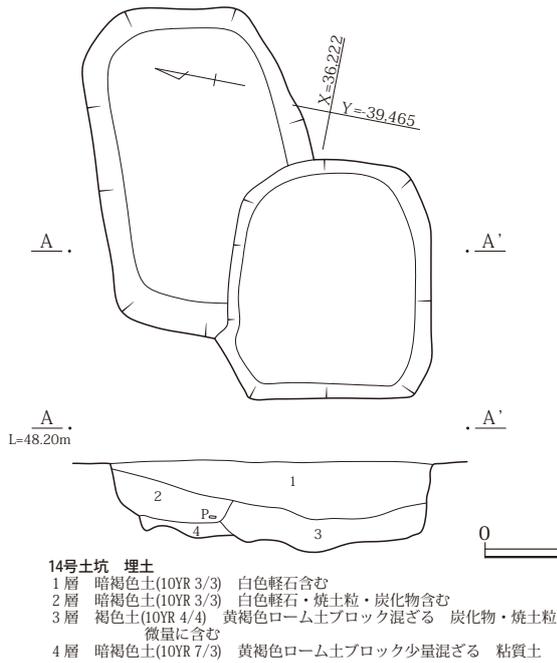
番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	床面+33cm 体部～底部 破片	口径 9.6 底径 4.8 器高 2.6	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(5Y 7/1)	口クロ整形。回転右回り。 外面：体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：体部～底部回転ナデ調整。	

7区12号土坑跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	床面+3cm 口縁部～底部 破片	口径 17.7 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 明赤褐(2.5YR 5/6)	口縁部やや外反。 外面：口縁部横ナデヘラ削り。体部上半ナデ、下半はヘラ削り。 内面：口縁部～胴部横ナデ。底部ナデ。	

第3章 検出遺構と出土遺物

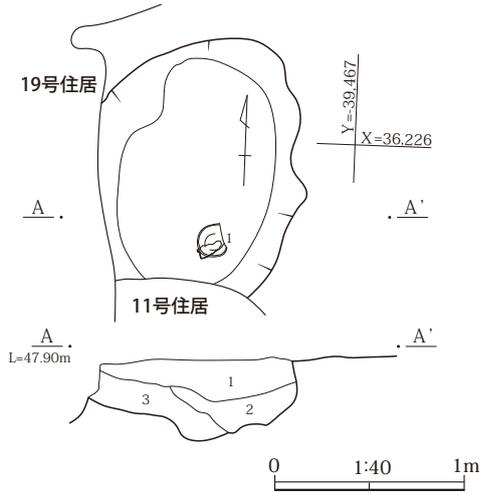
14号土坑(SK-14)



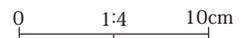
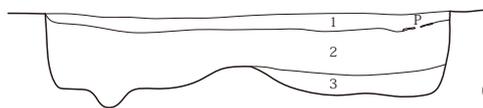
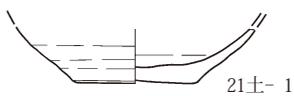
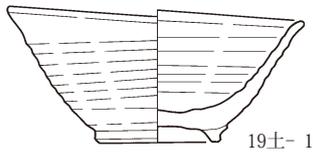
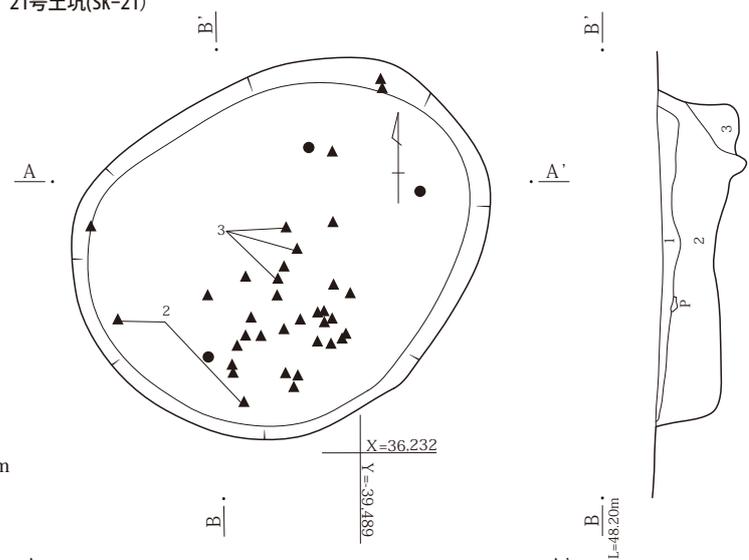
20号土坑(SK-20)



19号土坑(SK-19)



21号土坑(SK-21)



第480図 7区14・19・20・21号土坑跡平・断面図、19・21号土坑跡出土遺物

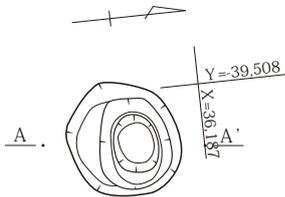
7区19号土坑跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 椀	埋土中 口縁部～底部 3/4	口径 15.3 底径 6.9 器高 7.3	① 細砂粒 ② 酸化焰 ③ 灰黄褐(10YR 6/2)	ロクロ整形。回転右回り。 底部回転糸切り。高台貼付。	

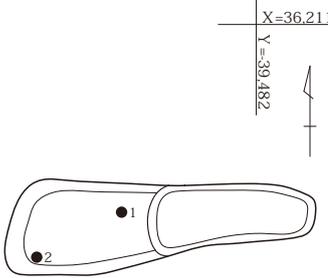
7区21号土坑跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	埋土中 体部～底部 破片	口径 — 底径 6.6 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(5Y 7/1)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：体部～底部回転ナデ調整。	
2	須恵器 椀	床面+27cm 体部～底部 破片	口径 — 底径 7.1 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焰 ③ にぶい褐(7.5YR 5/4)	ロクロ整形。 外面：体部回転ナデ。底部回転糸切り。高台貼付。 内面：体部～底部回転ナデ調整。	
3	土師器 甕	床面+6cm 胴部下端～底部 底部完形	口径 — 底径 4.7 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい黄褐(10YR 4/3)	輪積み。 外面：胴部～縦方向ヘラ削り、底部ヘラ削り。 内面：胴部～底部ナデ。	

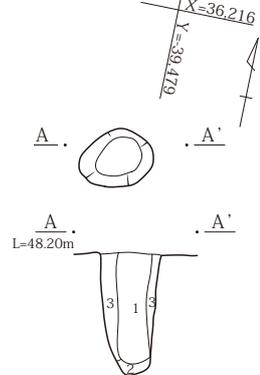
6区1号Pit



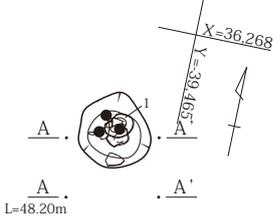
7区1号Pit



7区5号Pit

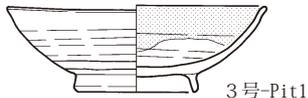


7区3号Pit



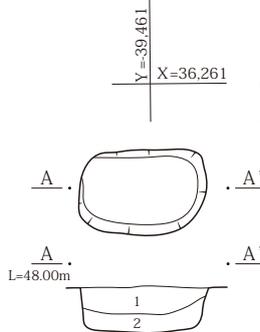
Pit-3 埋土

- 1層 にぶい褐色土(7.5YR 5/3) 白色軽石粒含む
- 2層 黒褐色土(7.5YR 3/1) 白色軽石粒多い



3号-Pit1

7区6号Pit



Pit-6 埋土

- 1層 暗赤褐色土(7.5R) 炭化物・焼土粒含む
- 2層 暗赤褐色土(7.5R) 炭化物・焼土粒少量含む

0 1:4 10cm

- Pit-5 埋土
- 1層 黒褐色土(7.5YR 3/1) ローム微粒 白色軽石粒微量
  - 2層 黒褐色土(7.5YR 3/1) しまりに欠ける(フカフカした土)
  - 3層 黒褐色土(7.5YR 3/1) しまる ローム粒 ロームブロック多量

0 1:40 1m

第481図 6区1号・7区1・3・5・6号 Pit 跡平・断面図、7区3号 Pit 跡出土遺物

7区3号 Pit 跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	灰釉陶器 椀	床面+8cm ほぼ完形 口縁部一部欠損	口径 13.4 底径 6.5 器高 4.5	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(7.5Y 8/1)	ロクロ整形。口縁部やや外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転ヘラナデ。高台貼付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	

### 第3章 検出遺構と出土遺物

#### 6区 土抗一覧表

注) 計測値の ( ) は、推定値を示す

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	断面形状	出土遺物	埋土	備考
1号土抗跡	X = 36216 Y = -39530	不明	5cm	不明	逆台形	土師器甕	少量の白色軽石を含んだにぶい黄褐色土。	
2号土抗跡	X = 36201 Y = -39516	90 × 70cm	17cm	不定形	皿状	なし	焼土粒と炭化物を含んだ黒褐色土。	

#### 7区 土抗一覧表

注) 計測値の ( ) は、推定値を示す

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	断面形状	出土遺物	埋土	備考
1号土抗跡	X = 36219 Y = -39479	90 × 75cm	25cm	隅丸長方形	U字形	土師器碗(瓦器)・甕	白色軽石と炭化物を含んだ暗赤褐色粘質土。	
2号土抗跡	X = 36210 Y = -39473	105 × 100cm	25cm	隅丸長方形	U字形	須恵器碗	白色軽石と炭化物、ローム粒を含んだ黒褐色粘質土。	西側から東側に向かって自然埋没。
3号土抗跡	X = 36207 Y = -39471	115 × 85cm	41cm	隅丸長方形	逆台形	須恵器杯と碗(黒色土器)	白色軽石とローム粒を含んだ黒褐色土。	
4号土抗跡	X = 36209 Y = -39476	160 × 160cm	67cm	ほぼ円形	逆台形	土師器甕、須恵器杯・碗	白色軽石と焼土粒、ローム粒を含んだ褐色粘質土。	
5号土抗跡	X = 36209 Y = -39475	不明	23cm	不明	半円形	土師器甕、須恵器碗	少量の白色軽石と焼土粒を含んだ褐色土。	
6号土抗跡	X = 36218 Y = -39470	不明	26cm	不明	U字形	須恵器碗	少量の白色軽石と砂粒、ローム粒を含んだ暗褐色粘質土。	
7号土抗跡	X = 36219 Y = -39469	125 × 85cm	50cm	不定形	鍵形	なし	白色軽石と砂粒、炭化物を含んだ暗褐色粘質土。	重複するピットは本遺構検出面より下層になる。
8号土抗跡	X = 36232 Y = -39476	68 × 45cm	58cm	楕円形	U字形	なし	白色軽石とローム粒、砂粒を含んだ暗褐色粘質土。	
9号土抗跡	X = 36219 Y = -39479	115 × 95cm	37cm	隅丸長方形	逆台形	須恵器碗の底部片	暗褐色土。	
10号土抗跡	X = 36262 Y = -39473	260 × 180cm	38cm	隅丸長方形	逆台形	縄文土器の深鉢(11個体)、打斧(3点)、磨石、剥片(5点)、石鏃	ローム粒と炭化物を含んだ黒褐色土。	埋甕を1基確認。縄文土抗
11号土抗跡	X = 36216 Y = -39473	150 × 140cm	61cm	不定形	逆台形	須恵器杯	白色軽石と砂粒、焼土粒、炭化物を含んだ暗褐色粘質土。	
12号土抗跡	X = 36269 Y = -39453	80 × 55cm	15cm	不定形	U字形	土師器杯、須恵器の大甕の胴部片	焼土粒と炭化物を若干含んだにぶい赤褐色土。	
14号土抗跡	X = 36222 Y = -39466	210 × 165cm	46cm	不定形	逆台形	土師器甕、須恵器杯	白色軽石を含んだ暗褐色土。	
15号土抗跡	X = 36225 Y = -39492	不明	8.5cm	不明	逆台形	縄文土器が標高47.94m前後のレベルでまともに出て出土(深鉢と両耳壺)、打斧と磨石出土		縄文土抗
16号土抗跡	X = 36216 Y = -39470	不明	25cm	不定形	不明	剥片(3点)	不明	縄文土抗
17号土抗跡	X = 36217 Y = -39472	190 × 110cm	20cm	隅丸長方形	鍵形		不明	縄文土抗
18号土抗跡	X = 36216 Y = -39470	182 × 100cm	36cm	不定形	皿状	縄文土器の深鉢の破片、多孔石、磨石、打斧、剥片(13点)	黄褐色ローム土を含む暗褐色土。	縄文土抗
19号土抗跡	X = 36225 Y = -3946	不明	44cm	不定形	逆台形か	なし	黄褐色ローム土を少量含む黒褐色土。	縄文土抗
20号土抗跡	X = 36223 Y = -3949	不明	13cm	不明	不明	縄文土器片と石が数点	不明	縄文土抗
21号土抗跡	X = 36233 Y = -39489	225 × 185cm	13cm	楕円形	逆台形	土師器甕、須恵器杯・碗	黄橙色ブロックを含む褐色土。	
22号土抗跡	X = 36217 Y = -39473	610 × 70cm	30cm	溝状で細長い	逆台形	なし	少量の白色軽石、砂粒、ローム粒、ローム土を含んだ暗褐色粘質土。	

#### 7区 Pit 一覧表

注) 計測値の ( ) は、推定値を示す

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
1号ピット跡	X = 36210 Y = -39482	165 × 50cm	26cm	隅丸長方形	2点出土	埋土不明。	
3号ピット跡	X = 36267 Y = -39465	40 × 36cm	22cm	不定形	灰釉陶器の碗	白色軽石を含む黒褐色土。	
5号ピット跡	X = 36215 Y = -39479	40 × 31cm	66cm	不定形	なし	白色軽石を含む黒褐色土。	
6号ピット跡	X = 36260 Y = -39461	67 × 45cm	22cm	隅丸長方形	なし	炭化物と焼土粒を含んだ暗赤褐色土。	断面形状は逆台形。土抗の可能性が高い。

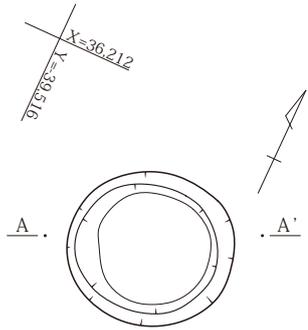
5 井戸跡

6区1号井戸跡 (旧称=6区SE-01)

位置: X=36211 Y=-39515 規模: 88×82cm 深度: 142cm

形状: 平面形状は楕円形~円形、断面形状は上端で播鉢状、下方では筒状を呈する。

重複遺構: なし 出土遺物: 土師器杯片が出土している。 所見: 井戸壁面に挟れた個所がないことから、井戸枠、若しくは汲上げ施設が設置されていた可能性がある。

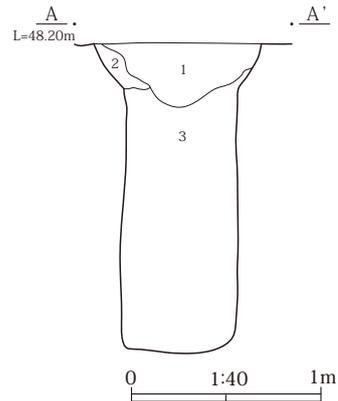


7区1号井戸跡 (旧称=7区SE-01)

位置: X=36,378 Y=-39,642 規模: 135×109cm 深度: 202cm

形状: 平面形状は楕円形~隅丸形状、断面形状は上端で播鉢状、下方では筒状を呈する。 重複遺構: 6号溝跡と重複し、遺構確認時の埋土の様相より、本遺構の方が新しいものと判断される。 出土遺物: 須恵器甕の胴部片が3点出土。

所見: 形状が隅丸形状を呈し、井戸壁面にも挟れた個所がないことから、井戸枠が設置されていた可能性がある。



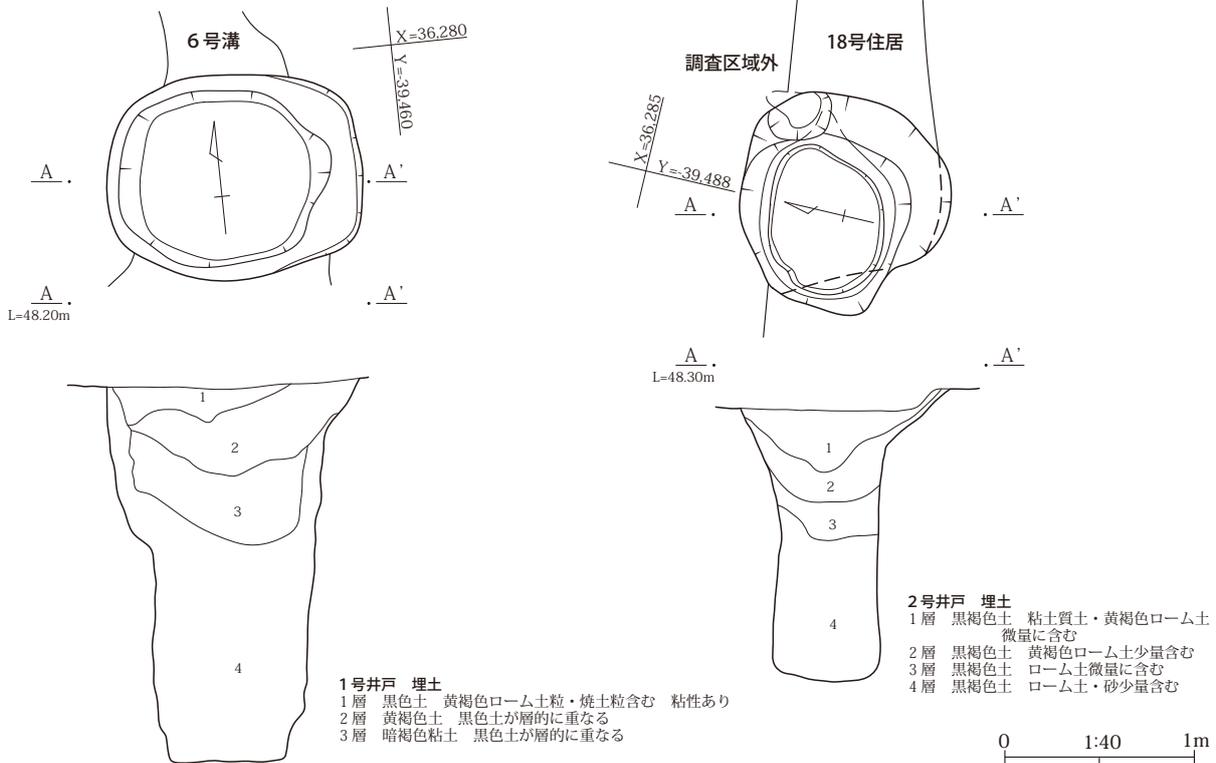
- 1号井戸 埋土
- 1層 赤褐色土(5YR 4/6) 白色軽石粒含む
  - 2層 にぶい赤褐色土(5YR 4/4) 白色軽石粒少量含む
  - 3層 暗赤褐色土(5YR 3/6) ロームブロック多い 軽石少ない

7区2号井戸跡 (旧称=7区SE-02)

位置: X=36,284 Y=-39,488 規模: 122×112cm 深度: 155cm 形状: 平面形状は楕円形~円形、断面形状は上端で播鉢状、下方では筒状を呈する。

重複遺構: なし。 出土遺物: なし。 所見: 井戸壁の西側および南側に挟られた個所が見られることから、井戸枠を持たない素掘り井戸であったと考えられる。また、7区3号井戸跡 (旧称=7区SE-03) については、調査時に井戸跡として命名されたが、深度が浅く、取水の痕跡が認められないため、井戸跡から除外した。

第482図 6区1号井戸跡平・断面図



- 1号井戸 埋土
- 1層 黒色土 黄褐色ローム土粒・糞土粒含む 粘性あり
  - 2層 黄褐色土 黒色土が層的に重なる
  - 3層 暗褐色粘土 黒色土が層的に重なる

- 2号井戸 埋土
- 1層 黒褐色土 粘土質土・黄褐色ローム土微量に含む
  - 2層 黒褐色土 黄褐色ローム土少量含む
  - 3層 黒褐色土 ローム土微量に含む
  - 4層 黒褐色土 ローム土・砂少量含む

第483図 7区1・2号井戸跡平・断面図

### 第3章 検出遺構と出土遺物

#### 6、道路状遺構

—上野国内で発見された東山道駅路と鹿島浦遺跡で検出された東山道駅路の遺構—

##### 1. 上野国と古代交通路の概要

上野国内には東山道駅路が東西に通り、『延喜式』兵部省諸国伝馬条に、

上野国駅馬 坂本十五疋、野後、群馬、佐位、新田各十疋。

伝馬 碓氷、群馬、佐位、新田郡各五疋

と、あり、坂本（碓氷郡）・野後（碓氷郡）・群馬（群馬郡）・佐位（佐位郡）・新田（新田郡）の5駅が置かれ、各駅家所在郡の郡家には伝馬が設置されていたことが見える。坂本が15疋を置く他は、いずれも「中路」としての規定通り駅馬数である。さらに899年（昌泰2）には碓氷関が置かれた。

全国的な規模ではじめて古代駅路を具体的に想定した藤岡謙次郎氏編『古代日本の交通路』（大明堂、1978）では、歴史地理学者の金坂清則氏が地積図上の検討及び現地踏査から高崎市から群馬町を経て前橋市元総社町の国府推定地を通る路線を想定している。これが後に「国府ルート」と称される『延喜式』所載の5駅家と国府推定地を通るルートである。

金坂氏が想定したルート上では、1970年代末期から80年代前半に高崎市から群馬町を経て前橋市にかけて古代直線道路遺構が次々と確認され、古代道路が確実に存在していたことが証明された。

また、80年代中葉からは、先に金坂氏が想定されたルートから大きく南に寄った位置に当たる高崎市宿大類町から佐波郡玉村町・伊勢崎市南部・太田市東部旧新田町部分の約30kmにかけて、幅約12m以上の大規模な直線の道路跡が次々と発見された。新たに発見されたこの古代道路跡は「牛堀・矢ノ原ルート」と名付けられ、遺構の考古学的データから、金坂氏が想定された「国府ルート」に先行する初期の東山道駅路ではないかと性格づけられた。

また1990年には、新田町の下新田遺跡から、幅約10～12mの両側溝を有する古代道路遺構が約300mにわたって検出された。先述した「牛堀・矢ノ原ルート」から北に約500mの位を「牛堀・矢ノ原ルート」とほぼ並行して走向する第3のルートである。このルートは「下新田ルート」と命名された。

さらに2002年以降、北関東自動車道の建設に伴う太田市東今泉町における一連の調査で、約12m～15m幅の古代直線道路跡が約1kmにわたって検出され、側溝から出土した遺物の年代観や他の遺構との切り合い関係から、ほぼ7世紀中葉に造営され、8世紀半ばに廃絶していることが判明した。

古代駅路を発掘調査によって考古学的に検証する方法は、全国に先駆けて群馬県内において初めて実施され、その後のこの分野の調査・研究を牽引してきた。その意味で、古代道路研究史上、群馬県内で古代道路遺跡・遺構の調査にあたってきた研究者が果たしてきた役割は特筆すべきである。

また、本県内においては、東山道駅路として1.「国府ルート」、2.「牛堀・矢ノ原ルート」、「下新田ルート」の3つのルートが確認されており、古代駅路の変遷過程を考える上での一つのモデルケースとなっている点でも重要である。

##### 2. 「国府ルート」路線の推定

先述したように、このルートは金坂清則氏が、国府をはさんで『延喜式』兵部省諸国伝馬条に記載されている上野国内5箇所の駅の推定地を勘案しながら、安中市から高崎市北西部、群馬町南部を経て前橋市元総社町の国府推定地を通る路線を歴史地理学的に想定されて以来、上野国府を通る東山道駅路ルートとして一般的に理解されてきた路線である。これは、上野国府を通る路線ということで「国府ルート」と称されている。

「国府ルート」は、考古学的には高崎市浜川町から前橋市鳥羽町までの間約5km、地割痕跡などを勘案して高崎市八幡町の鳥川左岸から前橋市元総社町の国府推定地までの間約8kmにわたって、N-64°～65°-Eの方位の古代道路遺構が確実に存在したことが判明している。

発掘調査で確認できた「国府ルート」上の道路遺構については、幅員が約4.5～7m前後であり、発掘調査で確認できた側溝の状態が必ずしも一定ではなく、群馬町菅谷の菅谷（高貝戸）遺跡では、土層断面の検討から、道路の側溝が9世紀後半の竪穴建物跡を破壊して掘削されている様子が確認されたことにより、その初源を9世紀後半とする見方があるが、まだ検討の余地がかなりある。

下野国との国境に近い場所に設置された新田駅家は、よく知られているように、『続日本紀』宝亀2年(771)10月己卯条に、

太政官奏。武蔵国雖<sub>レ</sub>属<sub>二</sub>山道<sub>一</sub>、兼承<sub>二</sub>海道<sub>一</sub>、公使繁多、祇供難<sub>レ</sub>堪。其東山駅路、從<sub>二</sub>上野国新田駅<sub>一</sub>、達<sub>二</sub>下野国足利駅<sub>一</sub>。此便道也。而枉從<sub>二</sub>上野国邑楽郡<sub>一</sub>、經<sub>二</sub>五箇駅<sub>一</sub>、至<sub>二</sub>武蔵国<sub>一</sub>。事畢去日、又取<sub>二</sub>同道<sub>一</sub>、向<sub>二</sub>下野国<sub>一</sub>。今東海道者、從<sub>二</sub>相模国夷參駅<sub>一</sub>、達<sub>二</sub>下総国<sub>一</sub>。其間四駅、往還便近。而去<sub>レ</sub>此就<sub>レ</sub>彼損害甚多。臣等商量、改<sub>二</sub>東山道<sub>一</sub>、属<sub>二</sub>東海道<sub>一</sub>、公私得<sub>レ</sub>所、人馬有<sub>レ</sub>息。奏可。

とあるように、東山道に所属していた武蔵国が東海道所管替えがなされたのにもなって、それまで「便道」とされてきた新田駅と下野国足利駅とを直接結ぶ駅路ルートが本路となった。上野国内では、史料上、この新田駅だけが宝亀2年以前に存在がさかのぼり得る唯一の駅家である。

群馬県太田市天良町から小金井にかけて所在する天良七堂遺跡からは、7世紀後半～9世紀の大型掘立柱建物跡・大型礎石建建物跡群からなる新田郡家行政庁と正倉院跡が発見された。また、その北東には郡家と密接な関連を有すると考えられる寺井廃寺が近接して存在し、古代の新田評・郡の中心地域であった。この近辺に新田駅家の所在地を考えるのが妥当であろう。

### 3. 初期東山道駅路「牛堀・矢ノ原ルート」

1984年、現在は太田市に合併された旧新田町大東及び市で、幅約13mで平行する溝跡が検出され、古代の道路遺構であることが判明した。それが、西接する伊勢崎市境町で1983年以来確認・調査されている「牛堀」と称される直線状の古代灌漑用水路を延長するラインに一致し、また、東の延長線は旧新田町に所在する「新田堀」のラインとも合致していることが判明した。牛堀ライン上において、矢ノ原遺跡など数箇所において約13m間隔で並行する溝跡が確認できたため、この「牛堀」は古代道路の北側溝を拡幅して形成されたものと認識され、道路跡は「牛堀・矢ノ原ルート」と称された。

この古代道路遺構は、その後、伊勢崎市境町から太田市の旧新田町にかけて6地点で発掘調査されており、いずれも幅約13m前後で、南北両側に側溝を有する道路遺構が、N-83°-E方向に一直線上に約10kmにわたって確認された。

1993年、伊勢崎市境町から西へ約15kmに位置する高崎市宿大類町でも、幅約10m古代直線道路跡がN-100°～101°-E方向で約100mにわたって発見され、走向は、伊勢崎～太田間とは若干異なるものの、路面幅や遺構の存続年代がほぼ一致し、さらにその後、この中間に当たる佐波郡玉村町においても、高崎市大類町で検出されたのと同じくN-100°～101°-E方向で、幅約10mの古代道路跡が発見され、このルートが約30kmにわたって連続していることが判明した。

この「牛堀・矢ノ原ルート」は、「国府ルート」の位置から南へ約5kmと大きく離れた位置を通っており、それまでは交通路の存在が全く想定されることがない地域において、「国府ルート」で確認された古代道路遺構を上回る規模の、大規模な直線道が新たに発見されたわけである。

各遺跡の発掘調査の結果、「牛堀・矢ノ原ルート」は、7世紀後半頃にはすでに造営され、8世紀後半には廃絶した道路であることが判明した。この点は、埼玉県所沢市の東の上遺跡で検出された東山道駅路武蔵路の年代観ともほぼ合致しており、また、道路の規模も一致している。

旧新田町の入谷遺跡では、「牛堀・矢ノ原ルート」に面して、7世紀後半から8世紀後半にかけての一边約180mの方形区画溝に四周を囲まれた中に総柱瓦葺礎石建物が2棟検出され、それをを新田駅家そのもの、あるいは関連施設とみる考え方があり、しかしながら検出された建物の配置や数からみて、駅家な

### 第3章 検出遺構と出土遺物

いしその関連施設としては不自然な点もないわけではない。

#### 4. 第3のルート―「下新田ルート」

1990年、太田市の旧新田町下新田遺跡から、巾約12mの両側溝を有する古代道路遺構が約300mにわたって検出された。先述した「牛堀・矢ノ原ルート」から北に約500mの場所に位置しており、走向はN-80°-Eで、「牛堀・矢ノ原ルート」とほぼ並行している、いわば第3のルートである。このルートは「下新田ルート」と通称されている。

遺構の確認面は1108年（天仁元）降下の浅間山火山灰層より下層で、8世紀から9世紀にかけての遺物が出土している。路面から出土した遺物の年代が「牛堀・矢ノ原ルート」よりもやや新しい時期であるので、「牛堀・矢ノ原ルート」よりも後代まで道路として機能していた可能性が高い。

ただ、このルートについては、現段階では下新田遺跡以外ではあまり発掘調査されておらず、並行する「牛堀・矢ノ原ルート」や『延喜式』段階の「国府ルート」との関係については不明である。

この「下新田ルート」を東方に延長すると新田郡家と推定される太田市天良町に所在する天良七堂遺跡に達し、さらに東へ延長すると山田郡家想定地である太田市緑町古氷地区に至り、さらに渡良瀬川を越えて下野国足利郡家跡足利市国府野遺跡方向に至っている。このルートの延長線上には、少なくとも3郡の郡家の存在が想定でき、郡家間相互を結ぶ伝馬路である可能性も考えられる。

#### 5. 「国府ルート」と「牛堀・矢ノ原ルート」との関係について

先述したように高崎市東部～玉村町～伊勢崎市南部～伊勢崎市旧境町～太田市旧新田町間で断続的に確認されている「牛堀・矢ノ原ルート」では、7世紀後半頃に造営され、8世紀後半には廃絶した幅約10～13mに及ぶ大規模な直線道路道路であることが判明している。この点は、埼玉県内や東京都内で発掘調査によって確認できた東山道駅路武蔵路の年代観、規模とほぼ一致しており、「国府ルート」に先行する東山道駅路であると想定されている。

一方、「国府ルート」上で発掘調査された高崎市群馬町菅谷の菅谷（高貝戸）遺跡の堆積土層断面の検討結果から、その初源を9世紀とする見方がある。また、「国府ルート」上で発掘調査で確認された道路遺構は、いずれも幅員が約4.5～7m前後であり、側溝の状態が必ずしも一定ではなく、現・利根川以東で発掘調査されたのは、現在のところ伊勢崎市赤堀酒匂遺跡第2地点一箇所のみ過ぎない。

以上の諸点から、「国府ルート」は『延喜式』段階の東山道駅路駅路ですらなく、国府の西側に部分的に設けられた道であるとする極端な仮説すら提示されるに至っている。

しかしながら「牛堀・矢野原ルート」は7世紀後半に建設され、8世紀後半にはもう使用されなくなってしまうわけだから、漸く国府の整備が完了し、国分寺の造営が完了するかしないかという時期に早くも廃絶する駅路なわけである。しかも、国府推定地からはだいぶ離れた場所を通っている。

前にも述べたように、駅路とは都と各国とを結ぶ官道であり、都と各国を結ぶとは、端的に言って都と各国の国府とを結ぶ道路ということになるろう。「牛堀・矢ノ原ルート」は、群馬郡への国府の設置によって東山道駅路の路線そのものが大きく変更される以前の段階に建設・整備された駅路であり、国府の造営に伴って、国府付近を通る新しい路線として新設されたのが「国府ルート」ということになるろう。

「国府ルート」の設定が、全くの道路新設ではなく、従来、群馬評（郡）家と他評（郡）家などを結ぶ所謂「伝馬の路」を、群馬郡への国府の造営に伴って、駅路本路に昇格させられた可能性もある。

また、「牛堀・矢ノ原ルート」は、7世紀後半という早い時期に設置・整備されたにも関わらず、幅が約10～13mにも及び、国内南部の平野部を数十kmにわたって直線的に貫通しているところからみて、体裁を整えたばかりの律令中央政府の強力な意志によって造営されたのは間違いのないところであろう。その意味において、まさに名実ともに「官道」と称するにふさわしい道路である。

いち早く建設された大規模官道「牛堀・矢ノ原ルート」上に国府を置かず、わざわざ路線から離れた位置に国府を設置した理由を究明することは、上野国地域の古代史を研究する上で重要な課題の一つとなろうが、本項の目的からは外れるし、また紙幅の制約もあるので、他の機会に譲ることにしたい。ただ、現段階では、中央政府の意向と、中央政府と在地豪族との協力、さらには在地豪族のパワーバランスなどが要因となって、従来存在していた大規模官道沿線に国府を造営することに失敗し、結果的に6世紀末～7世紀段階での在地社会屈指の勢力の影響下にある群馬郡中枢域に国府が造営されたことによって、駅路もまた国府付近を通るルートへと路線の変更を余儀なくされたものと考えている。国府付近を通らない官道は、もはや「駅路」ではあり得なくなったのである。

では、「牛堀・矢ノ原ルート」や埼玉県・東京都内で発見された東山道武蔵路など、7世紀後半段階に造営される巾約12mにも及ぶ直線的道路とは、いったい何であったのだろうか。

私は、広域行政区画東山道を貫く道路としての性格から、理念的に都と陸奥とを結ぶ官道として構想されたものであり、各地方支配の拠点である国府の造営に先だって、律令制支配の貫徹を可視的に地方に示すための装置の一つとしていち早く整備されたものとする。陸奥にはすでに7世紀中葉段階に宮城県仙台市郡山遺跡という大規模な官衙が、他の地方官衙に先駆けて造営されていた。これは律令制支配を辺要にまで貫徹するための拠点であり、かつ在地社会に対する極めて示威的な視覚的装置であったことに相違ない。ほぼ同時期に、中央には巨大宮都である難波京（前期）があり、さらに天武朝の難波京焼亡に前後して、『周礼』の王都世界を理念的に実現しようとした巨大な条坊を有する「新益京」こと藤原京が構想される。中央にかつてないほどの巨大な宮室と都城を造営し、辺要に、各国支配の拠点に先駆けていち早く大規模な官衙を造営する。そして、巨大な都城と巨大な辺要支配のための拠点的地方官衙とを結ぶ交通路として、幅12mにも達する大規模な直線的官道が理念的に構想され、造営されたのではないだろうか。その一つが7世紀後半段階に成立する東山道官道であり、群馬県内では「牛堀・矢ノ原ルート」と称される古代道路跡に相当するのがまさにそれであろう。

そして、それらは「理念的」に構想されたが故にこそ、律令中央政府の強大な権力をもって、部分的にはあろうが、在地社会の論理・実情を無視、あるいは無理強行して造営されたという側面も存在していたであろうことは想像に難くない。そのような「無理・強行」が在地における論理や実態と齟齬を来したところに、結果的に、初期官道沿線に国府造営がかなわなかったこと、ひいては駅路段階でのほぼ全面的とも言うべき路線変更に至ったのが、上野国内における初期官道と駅路の変遷とその背景であると言えるのではないだろうか。

#### 6. 本遺跡で検出された東山道駅路

さて、これまで見てきた上野国内における東山道駅路の歴史の変遷を踏まえた上で、改めて鹿島浦遺跡で検出された古代道路の遺構について考えたい。

北関東自動車道の建設に先立って、太田市東今泉町において行われた一連の発掘調査で古代道路の遺構が初めて検出されたのは、2002年に大道西遺跡の発掘調査において、約13m間隔で南北に並行して東西に一直線に伸びる2本の古代の溝跡が約200mにわたって検出されたことである（高井佳弘「群馬県太田市大道西遺跡の推定東山道駅路跡」『古代交通研究』13 2004 八木書店）。側溝心々間で13mもの幅を有する巨大道路が駅路ではないとは考えにくく、調査当時から東山道駅路である可能性が想定されていた。続いて大道西遺跡のすぐ西側に隣接する八ヶ入遺跡や東側に隣接する大道東遺跡、大道東遺跡のさらに東側に位置する鹿島浦遺跡などで、その続きと見られる側溝心々幅約12～13mの道路跡が次々と発見され、2005年にかけてこれらの道路遺構が調査された。

金山丘陵の東側にあたる太田市東今泉町一帯では約1kmに亘って断続的に古代道路遺構が検出されるに至り、とくに大道東遺跡における竪穴建物跡群と道路遺構との重複・前後関係から、ほぼ7世紀中葉に造

### 第3章 検出遺構と出土遺物

営され、8世紀前半段階のうちに廃絶している様子が判明した。

大道東遺跡・八ヶ入遺跡とともに、現在、本報告書と並行してまだ整理作業の途上にあり、大道西遺跡については整理業務に入っていないので、これらすべての遺跡において検出された遺構を総合して検討することは現時点においては困難であるが、本遺跡では側溝心々間約13～15mの幅で、N-189°-E方向に西北西から東南東方向に走向しており、走向は周辺遺跡とほぼ同一である。周辺遺跡いずれにおいても上面を後世に削平されており、硬化した路面は検出することが出来なかった。また、本遺跡においては東端側を、後世の流路によって大きく破壊されている様子がうかがえた。

旧新田町以西で確認されている「牛堀・矢ノ原ルート」・「下新田ルート」とはいずれも走行方向が異なるので、これら二路線どちらに接続・対応する道路であるのかが問題となろうが、幅13～15mという規模と、7世紀中葉段階に造営され、8世紀前半段階にはいち早く廃絶しているという極めて短い存続年代からみれば、金山丘陵以東で北関東自動車道の建設に先立つ発掘調査において本遺跡に隣接して検出された古代道路遺構は、金山丘陵以西において検出された「牛堀・矢ノ原ルート」の続きの部分と考えるのがまず自然と考えられる。走向方向の相違については、金山丘陵を越える時点で、走向方向を変化させたと見れば不自然ではない。

旧新田町域内でこれまでに検出されている東山道駅路「牛堀・矢ノ原ルート」と、金山丘陵東側において、北関東自動車道の建設に先立って行われたこれら一連の発掘調査において相次いで発見された幅12～15mの古代道路遺構との正確な関係を解明するには、道路遺構が発掘調査され、確実に存在が認められる太田市の小金井付近から金山・八王子丘陵を越えた所までの約2km間の調査を待たなければならぬところであろう。

しかしながら、いずれにしても高崎市南部の宿大類町から玉村町北部の上福島を経て、伊勢崎市今泉町・太田市八幡付近に至り、さらに金山丘陵の北麓付近の緩やかな峠を越えて太田市東今泉町に到る、群馬県南部の平野部を東西に横断する約40km以上に及んで、幅約12～15mの巨大な直線的道路遺構が断続的ではあるが、明確になったわけである。今後は、太田市小金井の上根遺跡から、金山丘陵を経て、東今泉町八ヶ入遺跡に至る間や、本遺跡からさらに東の、渡良瀬川渡河点を経て栃木県足利市方面に至る箇所での古代駅路の遺構の発見が待たれるところである。それによって、上野国内における古代東山道駅路の在り方が、より精確に解明できることになるだろう。

(参考文献)

- ・木下良編『古代を考える 古代道路』吉川弘文館 1996
- ・群馬県立歴史博物館『第70回企画展 古代のみち』2001
- ・小宮俊久「上(毛)野国の古代交通網と官衙」(『坂東の古代官衙と人々の交流』埼玉考古学会 2002)
- ・古代交通研究会編『日本古代道路事典』八木書店 2004
- ・木下良『事典 日本古代の道と駅』吉川弘文館 2009

## 第5項 8区の遺構と遺物

## 1、調査区の概要

8区は遺跡南端部に位置し、北西端部にて農道を境に7区と接する。また、東側はインターチェンジ料金所から一般道接続部分を調査した「東今泉鹿島遺跡」に隣接する。調査区は中央を東西に走る用水路によって2分され、調査中は北側を8区-1、南側を8区-2と称して調査に当たった。以下に調査区の概要を記す。

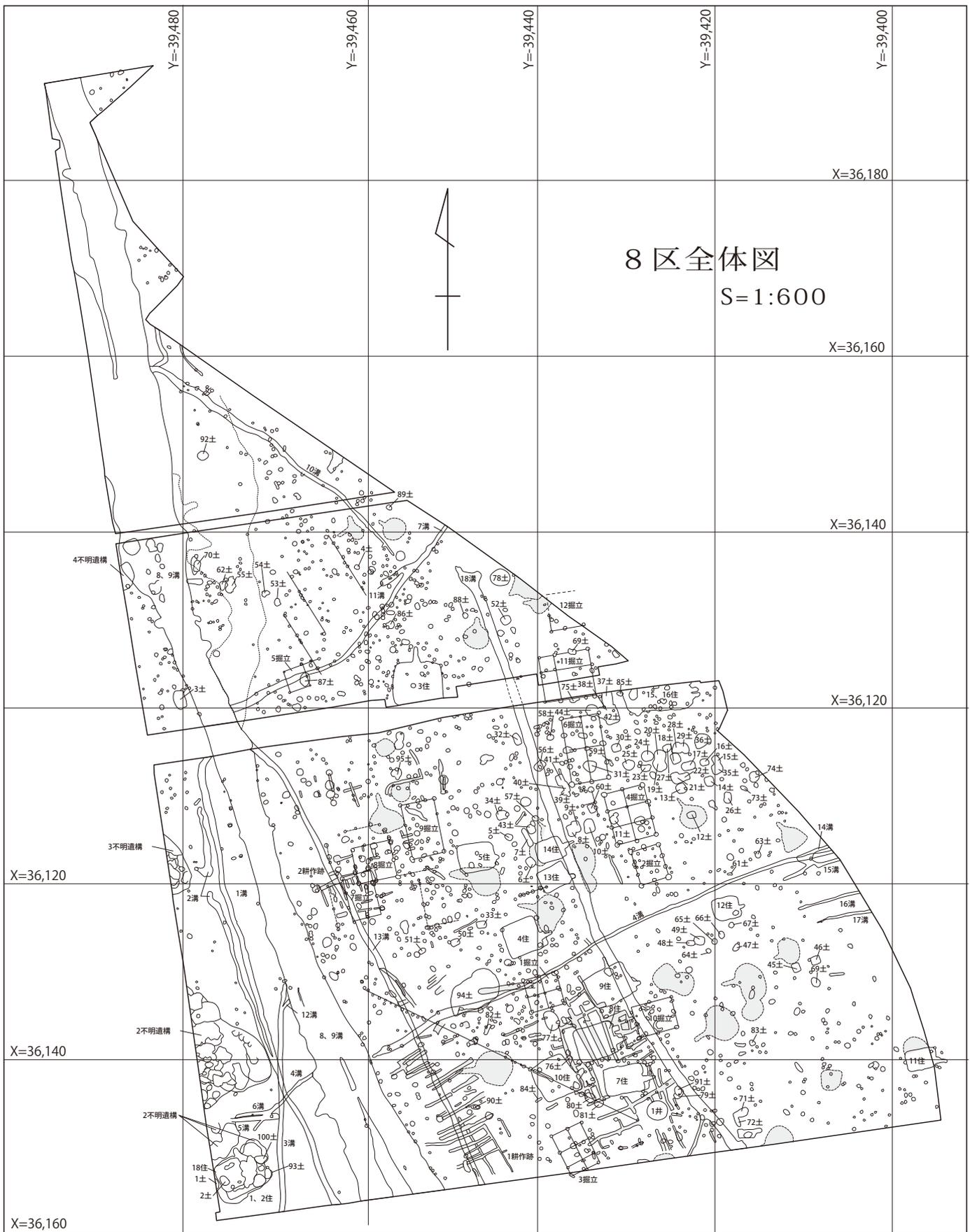
〈溝跡〉 6区東端・7区南西端より延びる8・9号溝跡は、農道下を経て調査区北端部で検出され、調査区内を南北に貫通する。他の調査区では二条の溝跡は平行して存在したが、この調査区では中央部において二条が重なって検出された。この部分については、8号溝跡建設時に先に埋没した9号溝を掘り返し復旧する形で造られたものと考えられる。また、用水路部および調査区南端壁において、上層よりの良好な埋没断面が観察できたことで、8号溝跡の最終埋没時において、天仁元(1108)年の噴火とされる浅間山B軽石の堆積が認められた。8・9号溝跡に接して検出された1・2・7・10号溝跡は、4区で見られたように8・9号溝跡より分水の小用水路である可能性が考えられる。

〈竪穴住居跡〉 調査区の西半部は、前記の8・9号溝跡の氾濫時にオーバーフローした褐色砂質土が堆積していた。調査区中央に位置する3号住居跡は、この氾濫土の堆積後に構築されており、その時期の違いはカマドを北側に設けるといった住居構造の違いにも現れている。

〈掘立柱建物跡〉 調査区内において、11棟の掘立柱建物跡が検出された。11棟の建物跡は軸をほぼ同じくし、また、周囲には建物跡とは断定されなかったものの、建物と軸を同じくする柵列跡も検出されている。併せて、隣接の東今泉鹿島遺跡からも軸を同じく刷る5棟の掘立柱建物跡が検出されていることから、他区では見られなかった掘立柱建物跡群の存在が確認された。

〈井戸跡〉 調査区南端部で検出された1号井戸跡は、石組みの構造をもち、この井戸跡の北東3.3mの場所には井戸枠の石組み同様の小円礫で地業された支柱跡と考えられる小土坑跡が検出されたことから、井戸跡は「撥ね釣瓶」を有していたものと判断された。





第484図 8区全体図

2、竪穴住居跡

8区1号住居跡(旧称8区SJ-01)

**位置：**X=36,068 Y=-39,473 **主軸方向：**N-28°-W **規模：**3.5m×3.8m **平面形状：**隅丸長方形  
**残存深度：**不明 **埋没土：**不明 **床面：**不明 **カマド：**北西壁の中央やや北寄りに位置する。両袖部は地山を掘り残す形で構築される。燃烧部は天井部崩落焼土下に良好な灰層の堆積が認められた。煙道部は緩やかに立ち上がる。また、使用面下の掘り方埋土内に焼土の混入が認められることから、修復が行われたものと推察される。  
**柱穴：**不明 **貯蔵穴：**不明 **壁周溝：**不明 **重複遺構：**2号・18号住居跡、1号・2号・100号土坑跡と重複し、遺構確認～掘削時の埋土の様相より、本遺構は18号住居跡より新しく、他の重複遺構よりも古いものと判断される。2号住居跡との関係については後に記す。 **掘り方：**不明 **出土遺物：**なし。

8区2号住居跡(旧称8区SJ-02)

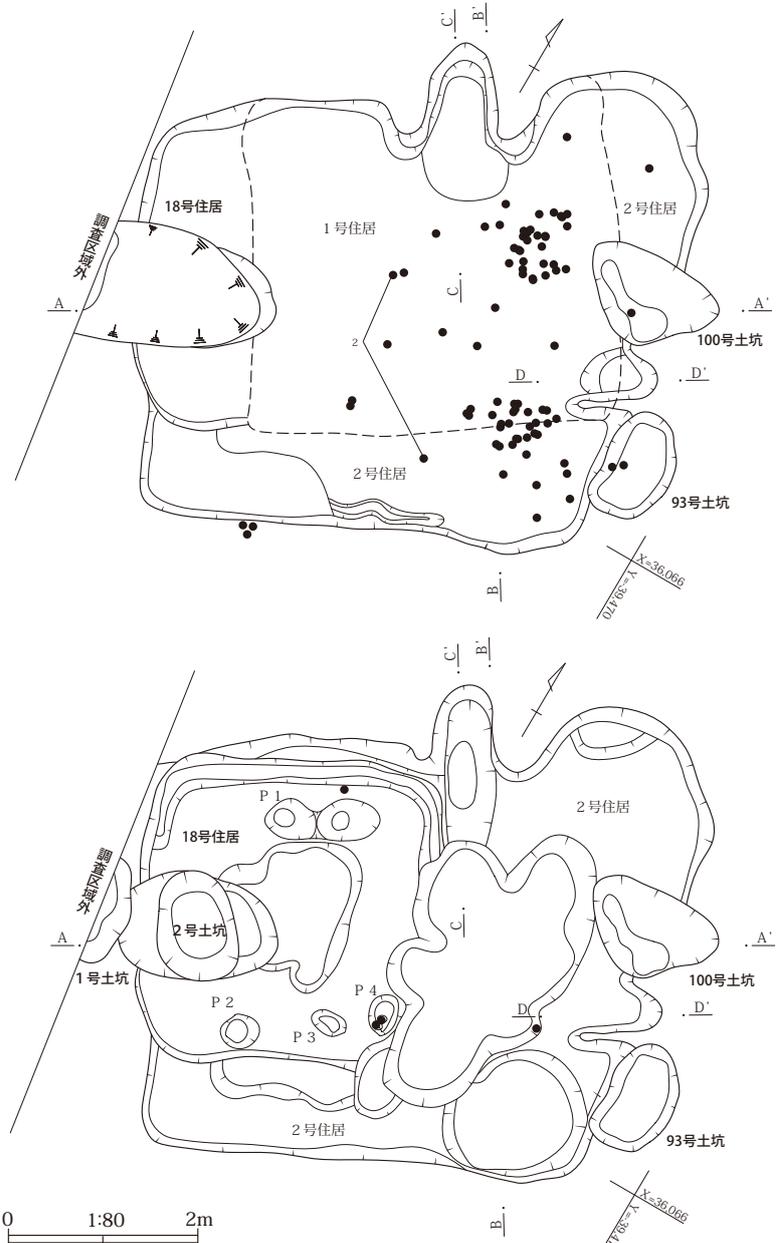
**位置：**X=36,068 Y=-39,473 **主軸方向：**N-28°-W **規模：**4.5m×6.0m **平面形状：**歪な隅丸長方形  
**残存深度：**22cm～34cm **埋没土：**白色軽石と焼土粒等を含む灰褐色砂質土～暗褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。  
**床面：**掘り方埋土であるロームを主体とした暗褐～褐灰色土で埋め固め、床面とする。 **カマド：**東壁中央やや南寄りに位置する。両袖部は地山を掘り残す形で構築される。燃烧部使用面には焼土化した天井部材の崩落とその下面に良好な灰層の堆積が認められた。

**柱穴：**なし。 **貯蔵穴：**なし。  
**壁周溝：**南壁下の一部で幅24cm深さ9cmを測る壁溝が検出された。

**重複遺構：**1号・18号住居跡、1号・2号・93号・100号土坑跡と重複し、遺構確認～掘削時の埋土の様相より、本遺構は1号・18号住居跡より新しく、他の重複遺構よりも古いものと判断される。2号住居跡との関係については重複遺構であるとの判断において調査がなされたが、同区9号住居跡も本住居跡とほぼ同じ位置関係に2基のカマドを有することから、本住居跡は1号住居跡の拡張、若しくは同一住居跡である可能性が高い。

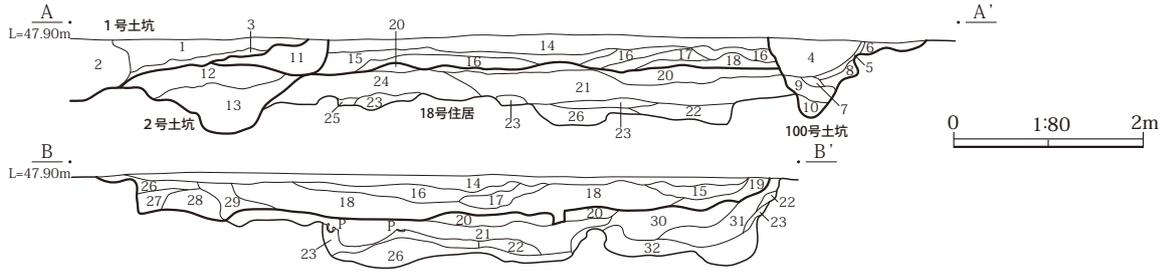
**掘り方：**深さ23～47cmほどの土坑状の掘り方を有し、埋土中から須恵器杯(No. 2)片が出土する。

**出土遺物：**埋土中から土師器杯(No. 1)と須恵器杯(No. 3)片が出土する。



第485図 8区1・2号住居跡平・断面図、掘り方平面図

### 第3章 検出遺構と出土遺物



#### 1・2号住居 埋土

- |     |                      |   |          |
|-----|----------------------|---|----------|
| 1層  | 褐色砂質土(7.5 YR 4/3)    | 少量の白色軽石(榛名ニッ岳FL-FA+浅間山AS-C)と多量の炭化物粒・焼土粒子を含む                     | 1号土坑埋土   |
| 2層  | 灰褐色砂質土(7.5 YR 4/2)   | 多量の白色軽石(同上)と少量の焼土粒子を含む  |          |
| 3層  | 灰黄褐色土(10 YR 4/2)     | 少量の白色軽石(同上)と多量の黄色砂質ロームブロック(φ10～30mm大)を含む                        | 100号土坑埋土 |
| 4層  | 褐色砂質土(7.5 YR 4/3)    | 少量の白色軽石(同上)と少量の炭化物・焼土粒子を含む                                      |          |
| 5層  | 褐色砂質土(7.5 YR 4/3)    | 少量の白色軽石(同上)と多量の灰白色極細砂を含む  | 2号土坑埋土   |
| 6層  | 褐色砂質土(7.5 YR 4/3)    | 少量の白色軽石(同上)を含む  |          |
| 7層  | 黄色砂質ローム土ブロック         |   | 掘り方      |
| 8層  | 褐色砂質土(7.5 YR 4/3)    | 微量の白色軽石(同上)を含み 黄色砂質ローム土を塊状に含む                                   |          |
| 9層  | 暗褐色砂質土(10 YR 3/4)    | 微量の白色軽石(同上)と少量の炭化物・焼土粒子を含む                                      | カマド埋土    |
| 10層 | 褐色砂質土(7.5 YR 4/3)    | 微量の白色軽石(同上)・炭化物・焼土粒子を含む   |          |
| 11層 | 暗褐色土(10 YR 3/4)      | 少量の白色軽石(同上)と黄色砂質ローム粒子・小ブロック(φ5～10mm大)を含む                        | 掘り方      |
| 12層 | 暗褐色土(10 YR 3/4)      | 少量の白色軽石と黄色砂質ローム粒子・小ブロック及び多量の焼土粒子・焼土小ブロック(φ5～10mm大)を含む           |          |
| 13層 | 暗褐色土(10 YR 3/4)      | 多量の褐灰色砂質土・黄色砂質ローム土・黒褐色土を塊状に含む                                   | 掘り方      |
| 14層 | 灰褐色砂質土(7.5 YR 4/2)   | 少量の白色軽石(榛名ニッ岳FL-FA+浅間山AS-C)と焼土粒子を含む                             |          |
| 15層 | 灰褐色砂質土(7.5 YR 4/2)   | 少量の白色軽石(同上)と黄色砂質ローム粒子を含む  | 掘り方      |
| 16層 | 灰褐色砂質土(7.5 YR 4/2)   | 少量の白色軽石と黄色～灰白色砂質ロームブロック(φ10～30mm大)を含む                           |          |
| 17層 | 灰褐色砂質土(7.5 YR 4/2)   | 少量の白色軽石と多量の黄色～灰白色砂質ロームブロック(φ10～30mm大)を含む                        | 掘り方      |
| 18層 | 暗褐色土(7.5 YR 3/3)     | 少量の白色軽石と焼土粒子・炭化物・黄色砂質ローム小ブロック(φ5～10mm大)を含む                      |          |
| 19層 | 灰褐色砂質土(7.5 YR 4/2)   | 少量の白色軽石・焼土粒子・炭化物を含む   | 掘り方      |
| 20層 | 黄色砂質ローム土(2.5 YR 8/6) | 少量の白色軽石と部分的に暗褐色土小ブロックを含む [新住居貼り床]                               |          |
| 21層 | 褐灰色土(7.5 YR 4/1)     | 少量の白色軽石と多量の黄色砂質ローム粒子・同小ブロック(φ5～15mm大)を含む 焼土粒子・炭化物を含む            | 掘り方      |
| 22層 | 灰褐色土(7.5 YR 3/3)     | 微量の白色軽石と多量の黄色砂質ロームブロック(φ5～30mm大)を含む 少量の焼土粒子を含む                  |          |
| 23層 | 暗褐色土(7.5 YR 3/3)     | 多量の黄色砂質ローム小ブロック(φ5～15mm大)・焼土粒子・炭化物を含む                           | 掘り方      |
| 24層 | 暗褐色土(7.5 YR 3/3)     | 少量の白色軽石と多量の黄色砂質ローム粒子・同小ブロック(φ5～15mm大)を含む 少量の焼土粒子・炭化物を含む         |          |
| 25層 | 褐灰色土(7.5 YR 4/1)     | 少量の黄色砂質ローム小ブロック(φ5～15mm大)を含む                                    | 掘り方      |
| 26層 | 褐灰色土(7.5 YR 4/1)     | 少量の黄色砂質ローム小ブロック(φ5～15mm大)・焼土粒子・炭化物を含む                           |          |
| 27層 | 暗褐色土(10 YR 3/3)      | 少量の白色軽石を含む [カマド掘り方土]  | 掘り方      |
| 28層 | 褐色土(10 YR 4/4)       | 少量の焼土小ブロック(φ5～10mm大)を含む [カマド袖部]                                 |          |
| 29層 | 黄色砂質ローム土(2.5 YR 8/6) | 微量の焼土粒子を含む [カマド天井部崩落土]  | カマド埋土    |
| 30層 | 暗褐色土(7.5 YR 3/3)     | 少量の白色軽石と多量の焼土粒子・焼土小ブロック(φ5～15mm大)・炭化物・黄色砂質ローム小ブロック(φ5～20mm大)を含む |          |
| 31層 | 黒褐色土(7.5 YR 3/1)     | 少量の白色軽石・炭化物・焼土粒子を含む   | カマド埋土    |
| 32層 | 暗褐色土(7.5 YR 3/3)     | 多量の黄色砂質ロームブロック(φ5～30mm大)・焼土小ブロック(φ5～15mm大)・炭化物を含む               |          |



#### 1号住居カマド 埋土(C-C')

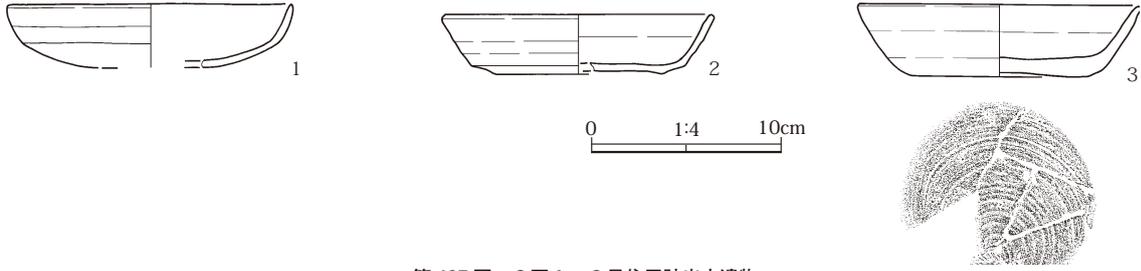
- |     |                   |   |
|-----|-------------------|---|
| 1層  | 褐灰色土(7.5YR 4/1)   | 少量の白色軽石と多量の黄色砂質ロームブロック(φ5～30mm大)・少量の焼土粒子を含む     |
| 2層  | 褐灰色土(7.5YR 5/1)   | 少量の白色軽石と黄色砂質ロームブロック(φ5～30mm大)・焼土粒子を含む           |
| 3層  | 褐灰色土(7.5YR 5/1)   | 少量の白色軽石と多量の黄色砂質ロームブロック(φ5～30mm大)・焼土粒子を含む        |
| 4層  | 浅黄色土(2.5YR 7/4)   | 少量の白色軽石・焼土小ブロック(φ5～10mm大)を含む 砂質ローム土 [カマド天井部崩落土] |
| 5層  | にぶい黄色土(2.5YR 6/3) | 多量の焼土小ブロック(φ5～10mm大)を含む                         |
| 6層  | にぶい黄色土(2.5YR 6/3) | 多量の焼土小ブロック(φ5～10mm大)・灰を含む [カマド煙道部崩落土]           |
| 7層  | 浅黄色土(2.5YR 7/4)   | 4層土に多量の焼土小ブロック(φ5～10mm大)を含む [カマド天井部崩落土]         |
| 8層  | 灰層                | 少量の焼土小ブロック(φ5～10mm大)を含む [カマド使用面]                |
| 9層  | にぶい黄色土            | 多量の焼土小ブロック(φ5～10mm大)と少量の黒褐色土ブロックを含む             |
| 10層 | 黒褐色土              | 少量のローム小ブロック(φ5～10mm大)と焼土粒子を含む                   |
- \*使用面下に焼土ブロックが認められる為カマドの造り直しが想定される



#### 2号住居カマド 埋土(0-D')

- |    |                 |  |
|----|-----------------|--|
| 1層 | 灰褐色土(7.5YR 4/2) | 少量の焼土粒子・炭化物を含む                           |
| 2層 | 褐灰色土(7.5YR 4/1) | 多量の焼土粒子・焼土小ブロック(φ5～10mm大)を含む             |
| 3層 | 褐灰色土(7.5YR 5/1) | 多量の灰に少量の焼土小ブロック(φ5～10mm大)を含む             |
| 4層 | 橙色土(2.5YR 6/6)  | 焼土層 [天井部崩落土]                             |
| 5層 | 黄色土(2.5YR 8/6)  | 黄色砂質ローム土 (住居貼り床状埋土) (5層上に灰・焼土を含む層有り)     |
| 6層 | 灰層              | 灰に混じり多量の焼土小ブロック(φ5～10mm大)を含む             |
| 7層 | 黒褐色土            | 少量のローム小ブロック(φ5～20mm大)と白色軽石を含む [カマド掘り方埋土] |
| 8層 | にぶい黄色土          | 多量の焼土小ブロック(φ5～10mm大)を含む [カマド掘り方埋土]       |
| 9層 | にぶい黄色土          | 少量の焼土小ブロック(φ5～10mm大)を含む [カマド掘り方埋土]       |

第486図 8区1・2号住居跡断面図、カマド断面図



第487図 8区1・2号住居跡出土遺物

8区1・2号住居跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	埋土中 口縁部～体部 破片	口径 14.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい褐(7.5 YR 5/4)	外面：口縁部横ナデ。体部上半はナデ、下半～底部はヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。体部ナデ。	
2	須恵器 杯	床面～8cm 口縁部～底部 1/2	口径 13.8 底径 8.6 器高 3.1	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(2.5 Y 7/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。 内面：口縁部～体部回転ナデ調整。	
3	須恵器 杯	埋土中 口縁部～底部 3/4	口径 14.6 底径 9.3 器高 3.8	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 やや不良 ③ 淡黄(2.5 Y 8/3)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部～体部回転ナデ調整。	器面摩滅。

8区18号住居跡(旧称8区SJ-18)

位置：X=36,067 Y=-39,475 主軸方向：N-63°-E 規模：3.1m×3.2m 平面形状：隅丸長方形

残存深度：39cm～79cm(掘り方のみ) 埋没土：不明 床面：重複により消滅し、不明。

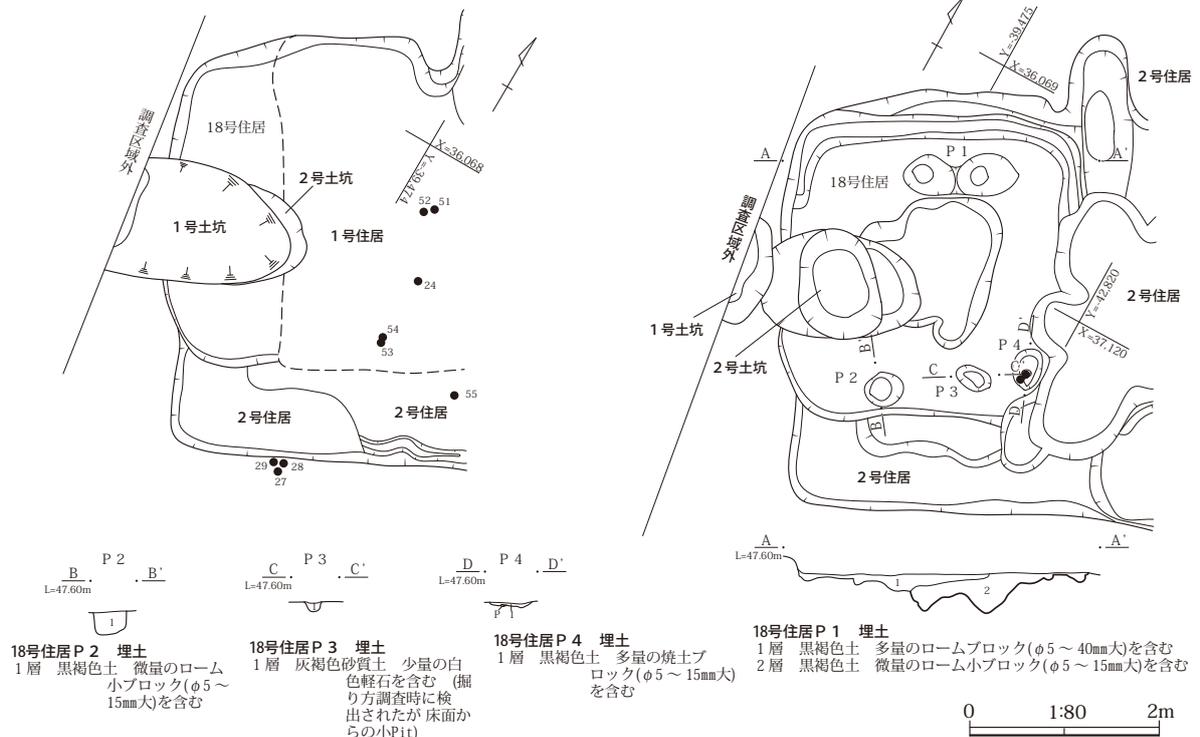
カマド：北東壁にあるものと思われるが、重複する2号住居跡により壊され、残存せず。

柱穴：掘り方調査の段階で検出されたP1～3の4穴のピットが、柱穴となるものと思われる。

貯蔵穴：掘り方調査の段階で検出されたP4が貯蔵穴となる可能性がある。

壁周溝：掘り方調査の段階で、北半部に幅18～30cm、深さ7～15cmを測る壁溝が検出された。

重複遺構：1号・2号住居跡、1号・2号土坑跡と重複し、遺構確認時の様相から、本遺構はいずれの遺構よりも古いものと判断される。掘り方：2～16cmほど掘り窪める。掘り方の残存により、遺構の存在、並びに規模・形状が判明した。出土遺物：僅かに少量の出土があるのみ。



第488図 8区18号住居跡平面図、掘り方平・断面図

18号住居P2 埋土  
1層 黒褐色土 微量のローム小ブロック(φ5～15mm大)を含む

18号住居P3 埋土  
1層 灰褐色砂質土 少量の白色軽石を含む(掘り方調査時に検出されたが床面からの小Pit)

18号住居P4 埋土  
1層 黒褐色土 多量の焼土ブロック(φ5～15mm大)を含む

18号住居P1 埋土  
1層 黒褐色土 多量のロームブロック(φ5～40mm大)を含む  
2層 黒褐色土 微量のローム小ブロック(φ5～15mm大)を含む

第3章 検出遺構と出土遺物

8区3号住居跡(旧称8区SJ-03)

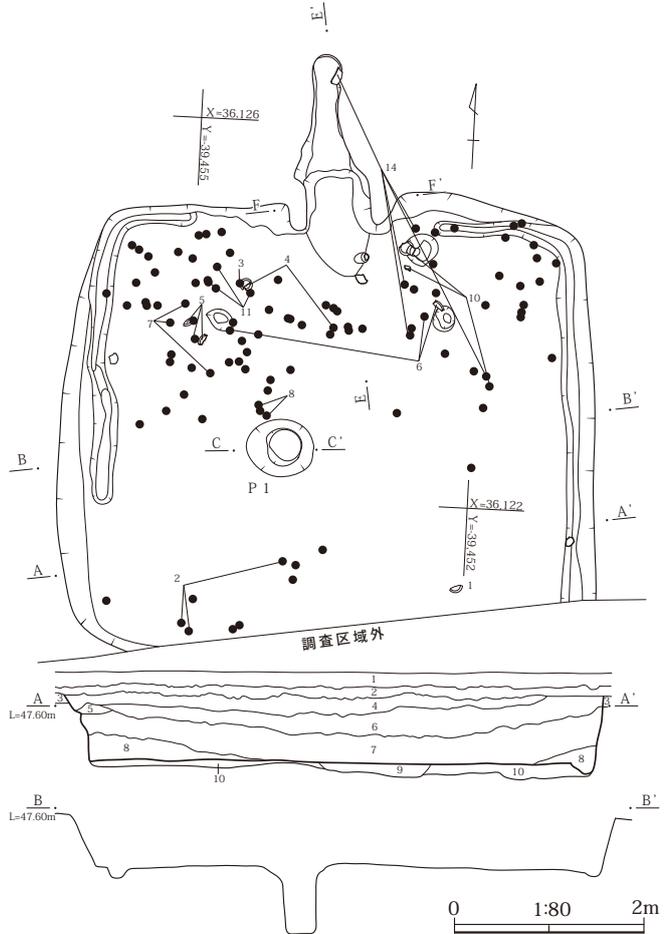
位置：X=36,123 Y=-39,453

主軸方向：N-5°-W 規模：約4.8m×5.6m

平面形状：隅丸長方形 残存深度：58cm～70cm

埋没土：白色軽石と焼土粒・炭化物、少量のロームブロックなどを含む褐灰色土埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。また、本遺跡を南北に縦断する巨大用水路である8号・9号溝跡の氾濫時のオーバーフロー堆積土を切って住居が構築されており、さらに、浅間B軽石純層堆積土が住居埋没土上に確認されている。床面：掘り方埋土であるロームを主体とした暗褐色粘質土で埋め固め、床面としている。

カマド：北壁のほぼ中央に位置する。両袖部は地山を掘り残す形で形成され、燃烧部は壁のラインよりやや外側に位置する。燃烧部使用面には焼土を含んだ灰層の良好な堆積が認められ、この灰層面直上には焼土化した天井部材の崩落が残る。煙道部は焼土化した天井部が残り、遺存状態は極めて良好で、形状は燃烧部より一段上がり、長く緩やかに立ち上がる。なお、本カマド跡は、確認時に天井部が残り遺存状態が良好との判断から、西半部を長軸に沿って10cm毎に裁断する調査手法を取った。柱穴：住居中央やや西寄りに検出された径72×61cm、深さ70cmを測るP1の1穴がその



第489図 8区3号住居跡平・断面図

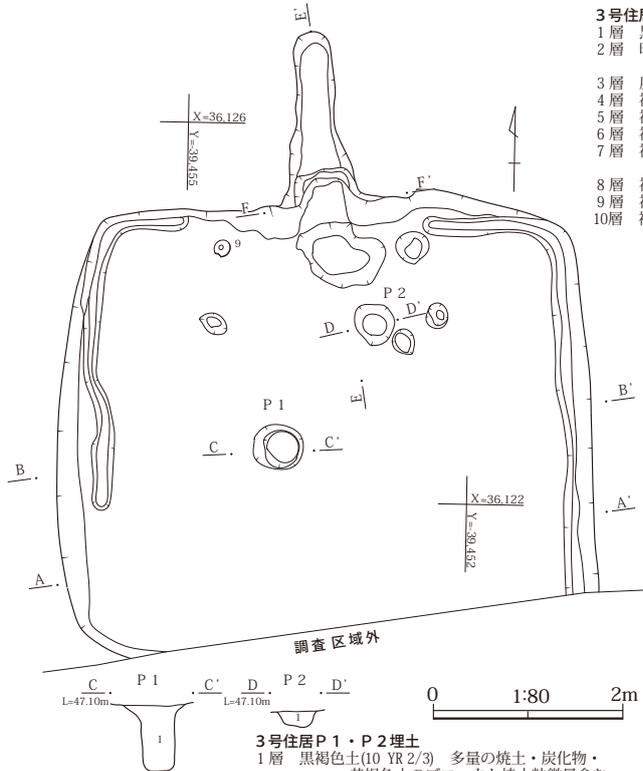
3号住居 埋土

- 1層 黒褐色土 椽名二ツ岳・浅間白色軽石を含み 上面に浅間B軽石が純層堆積する
- 2層 暗黄色土 椽名二ツ岳・浅間白色軽石・黄色スコリアを含み 全体に鉄酸化し赤味をおびる
- 3層 灰白色極細砂質土 北側溝跡氾濫 オーバーフロー堆積土
- 4層 褐灰色土 少量の椽名二ツ岳・浅間白色軽石と炭化物小粒を含む
- 5層 褐灰色土 4層土に類似し、色調やや明るい
- 6層 褐灰色土 微量の椽名二ツ岳・浅間白色軽石と焼土粒子・炭化物を含む
- 7層 褐灰色土 微量の椽名二ツ岳・浅間白色軽石と少量のハードロームブロック(φ5～30mm大)・焼土粒子・炭化物を含む
- 8層 褐灰色土 多量のハードロームブロック(φ5～30mm大)を含む
- 9層 褐色土(10YR 4/4) 粘質土に焼土粒・炭化物多く混ざる 固くしまりある 貼り床面
- 10層 褐色土(10YR 4/4) 焼土粒少ない

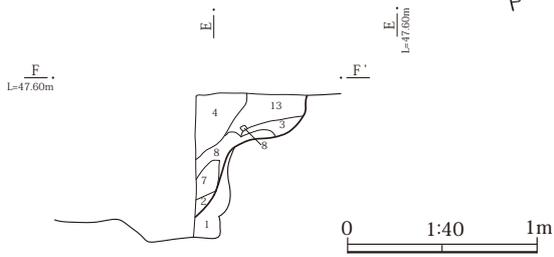
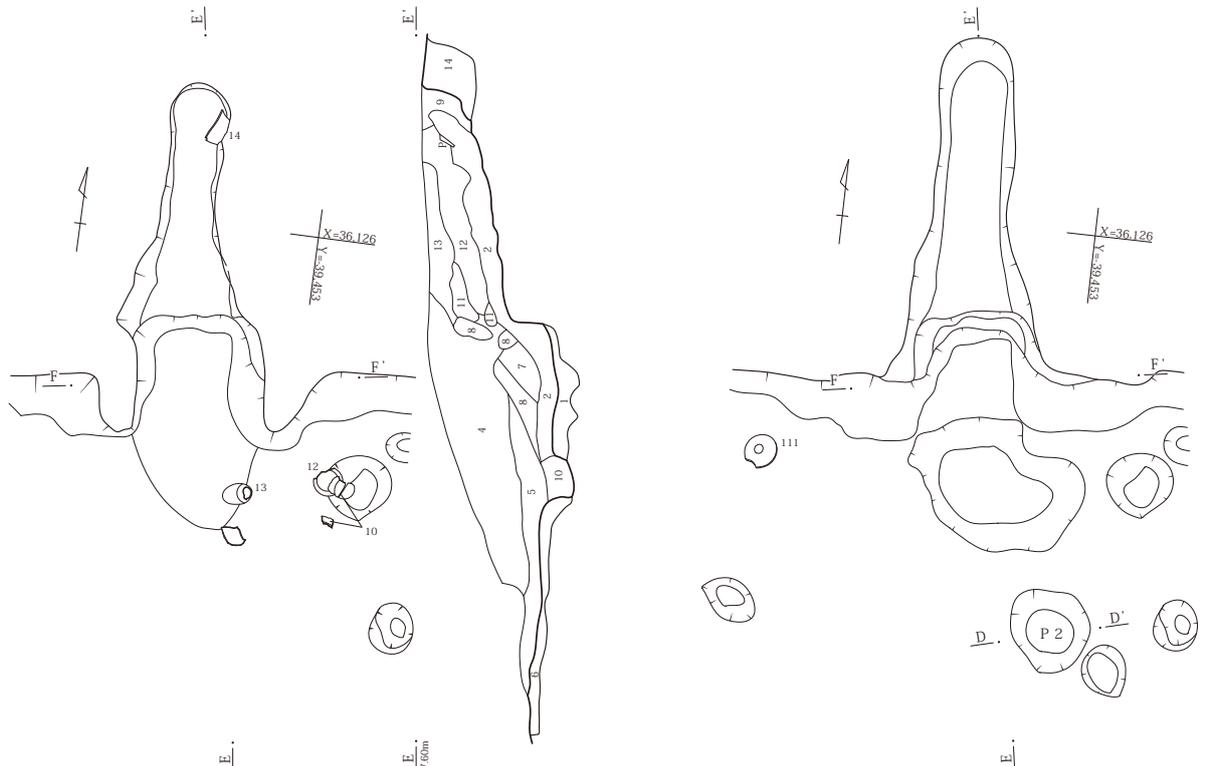
位置と規模から主柱穴となるものと思われる。

貯蔵穴：なし。壁周溝：調査範囲内においては、カマド周辺および南西コーナー部を除く壁際に、幅23～36cm、深さ5～11cmを測る壁溝が検出されたが、調査区域外の南壁については明らかではない。

重複遺構：なし。掘り方：全体に2～14cmほど掘り窪める。出土遺物：床面直上でほぼ完形の須恵器杯(No.10)、土師器杯(No.4・5)、須恵器杯(No.12)・長頸壺(No.13)・橋状把手のある須恵器鉢などが出土した他、埋土中からは土師器杯(No.1・2・3・6・7・8)、須恵器杯(No.11)が出土している。また、カマド内より土師器甕(No.14)片が、掘り方埋土中からほぼ完形の須恵器蓋(No.9)が出土している。

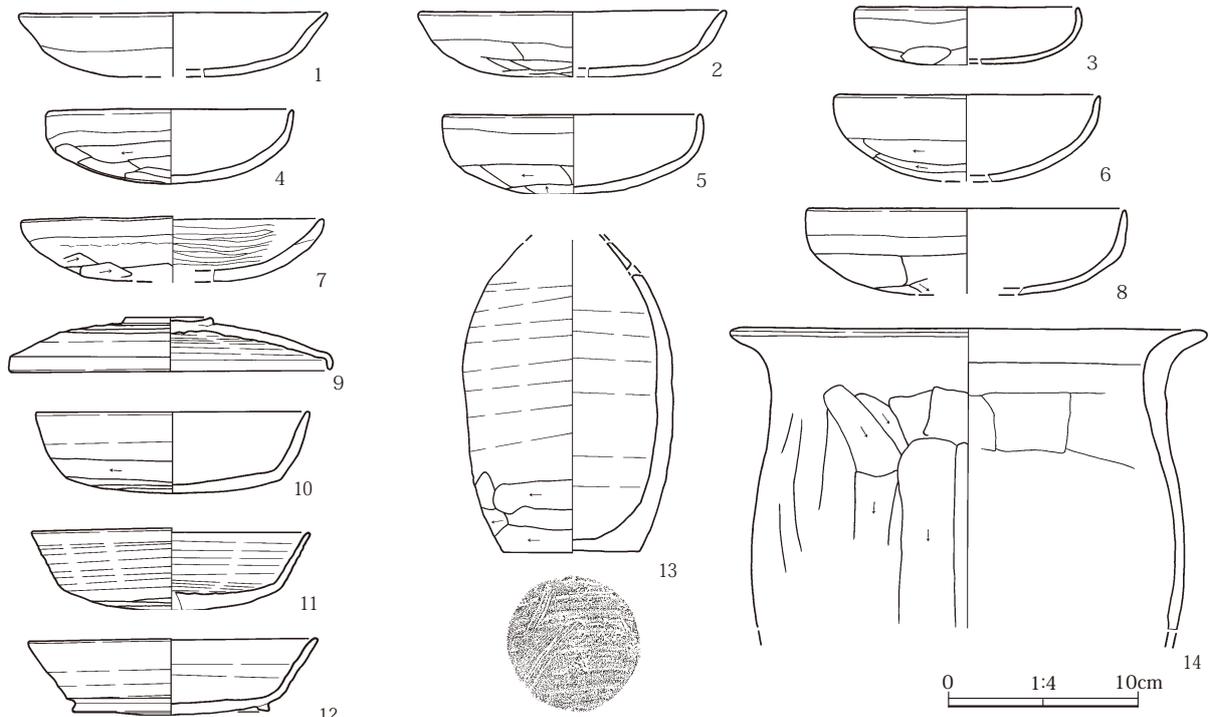


第490図 8区3号住居跡掘り方平・断面図



3号住居カマド 埋土

- 1層 暗褐色土(10YR 3/3) 焼土粒含む 掘り方埋土
- 2層 焼土・炭化物 煙道～焚き口底部
- 3層 黒褐色土(10YR 2/2) カマド上面埋土
- 4層 黒褐色土(10YR 2/2) 黄褐色ブロック・焼土含む 4層より多い
- 5層 黒褐色土(10YR 2/2) 5層より黄褐色ブロック少ない
- 6層 にふい黄褐色土(10YR 5/4) 炭化物・焼土灰含む
- 7層 にふい黄褐色土(10YR 3/4)
- 8層 暗褐色土(10YR 3/3) 粘質土
- 9層 焼土
- 10層 炭化物
- 11層 焼土 明黄褐色土(10YR 6/6)混ざる (煙道部上部)
- 12層 11層より焼土少ない
- 13層 黒褐色土(10YR 3/2) 白色軽石なし
- 14層 黒褐色土(10YR 3/2) 14層に微量の焼土含む



12  
第491図 8区3号住居跡カマド平・断面図、掘り方平面図、出土遺物

### 第3章 検出遺構と出土遺物

#### 8区3号住居跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	床面+11cm 口縁部~底部 1/2	口径 16.0 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 やや不良 ③ にぶい黄橙 (10YR 7/3)	口縁部外反。 外面：口縁部横ナデ、底部はヘラ削り。 内面：口縁部~体部ナデ。	
2	土師器 杯	床面+24cm 口縁部~底部 1/4	口径 16.0 底径 — 器高 3.4	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 橙 (5YR 6/6)	口縁部外反。 外面：口縁部横ナデ、体部~底部は手持ちヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。体部~底部ナデ。	
3	土師器 杯	床面+50cm 口縁部~底部 1/2	口径 11.4 底径 — 器高 3.0	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい橙(7.5YR 7/4)	口縁部やや内湾。 外面：口縁部横ナデ、体部ナデ、底部は手持ちヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。体部~底部ナデ。	
4	土師器 杯	床面+39cm ほぼ完形	口径 12.8 底径 — 器高 3.9	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい橙(7.5YR 6/4)	外面：口縁部横ナデ、体部ナデ、底部は手持ちヘラ削り。 内面：口縁部~底部回転ナデ。	底部外面に黒斑あり。
5	土師器 杯	床面+47cm 完形	口径 13.4 底径 — 器高 4.2	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 明赤褐(5YR 5/6)	外面：口縁部横ナデ、体部ナデ、底部は手持ちヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。体部~底部ナデ。	
6	土師器 杯	床面+38cm 口縁部~底部 1/3	口径 13.8 底径 — 器高 4.5	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 橙 (7.5YR 7/6)	外面：口縁部横ナデ、体部~底部は手持ちヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。体部~底部ナデ。	
7	土師器 杯	床面+38cm 口縁部~体部 1/3	口径 15.6 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 灰白(10YR 8/2)	外面に輪痕が残る。 外面：口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。体部ヘラ磨き。	
8	土師器 杯	床面+3cm 口縁部~底部 1/5	口径 16.6 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 橙 (7.5YR 6/6)	外面：口縁部上半横ナデ、下半はナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。 内面：口縁部~体部横ナデ。底部ナデ。	
9	須恵器 杯蓋	床面-17cm ほぼ完形	口径 16.7 摘径 4.4 器高 2.9	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰 (5Y 6/1)	ロクロ整形。 外面：天井部上半ヘラ削り。天井部下半~口縁部横ナデ。 摘み貼付。 内面：天井部~口縁部回転ナデ。	
10	須恵器 杯	床面直上 ほぼ完形	口径 14.2 底径 — 器高 4.3	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 ③ にぶい橙 (5YR 6/4)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：体部、底部は回転ヘラ削り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	歪みあり。
11	須恵器 杯	床面+4cm 口縁部~底部 1/2	口径 14.4 底径 — 器高 4.3	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白 (5Y 8/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。 内面：口縁部~体部回転ナデ調整。	
12	須恵器 杯	床面直上 口縁部~底部 4/5	口径 14.9 底径 10.1 器高 4.0	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(N 7/0)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部左回転ヘラ削り。高台は貼付。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	
13	須恵器 長頸壺	床面直上 胴部~底部 3/4	口径 — 胴径 7.2 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(N 6/0)	ロクロ整形。 外面：口縁部~胴部下に3段の回転ヘラ削り。底部ヘラナデ調整。 内面：横ナデ。	
14	土師器 甕	竈埋土中 口縁部~胴部上半 破片	口径 24.5 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい橙(5YR 7/4)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ。胴部縦方向ヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部上半ヘラナデ。	

#### 8区4号住居跡(旧称8区SJ-04)

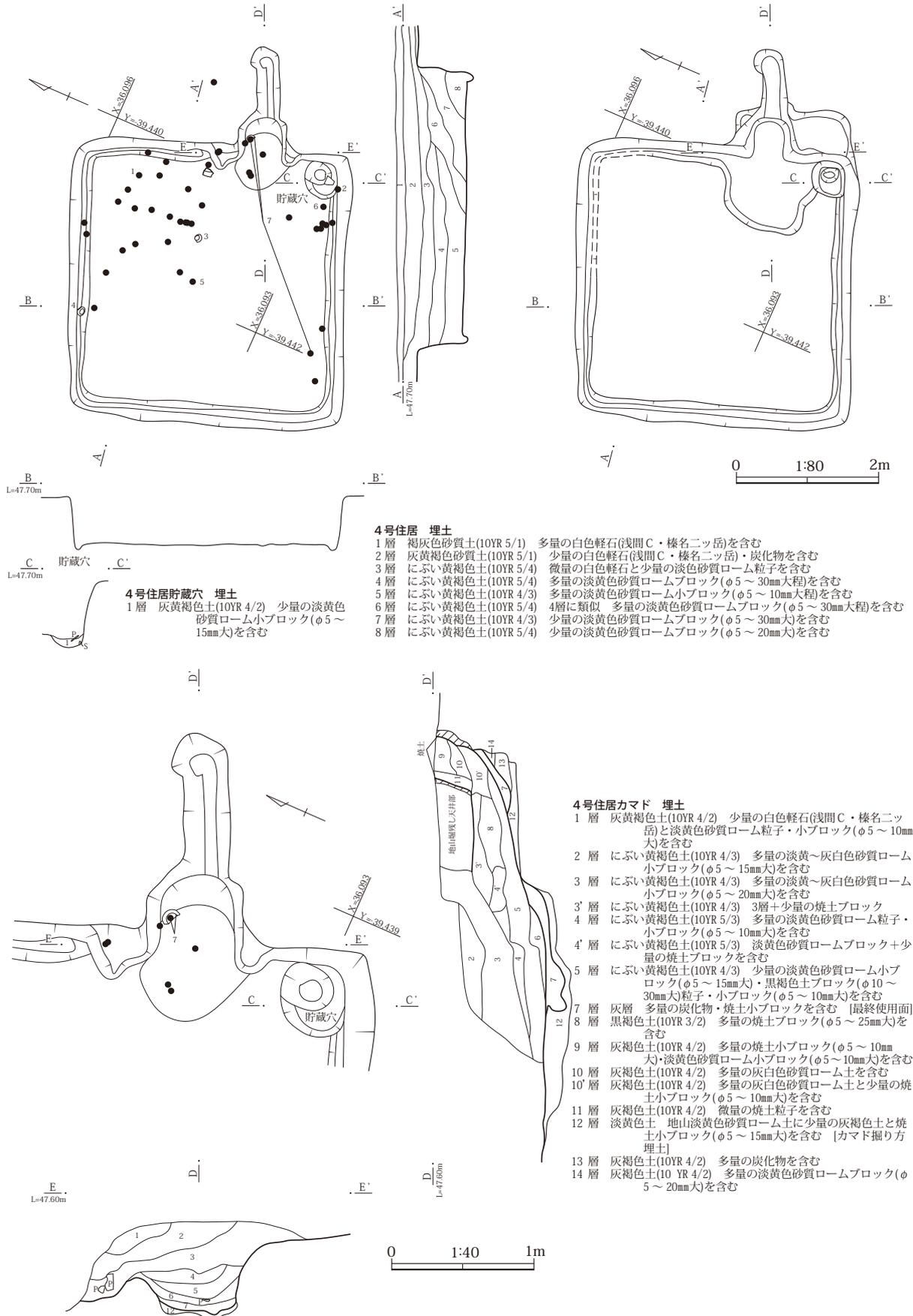
位置：X=36,094 Y=-39,441 主軸方向：N-67° -E 規模：約4.0m×3.9m 平面形状：隅丸長方形

残存深度：61cm～71cm 埋没土：白色軽石と少量のローム粒・多量のロームブロックなどを含むにぶい黄褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。また、本遺跡を南北に縦断する巨大用水路である8号・9号溝跡の氾濫時のオーバーフロー堆積土が住居埋土の上を覆っていることから、溝氾濫時には既に廃棄・埋没していたものと推察される。床面：掘り方を持たず、地山をそのまま床面としている。

カマド：北東壁の中央やや南東寄りに位置する。遺存状態は比較的良好。燃焼部使用面には焼土を含んだ厚い灰層の堆積が認められた。煙道部では天井が残り、地山をそのまま掘り残してトンネル状に掘削されている。煙道は緩やかに立ち上がり、煙道部端の地山は焼土化が著しい。袖部は粘性の弱い砂質ローム土を用いて構築される。掘り方埋土中には焼土ブロックが含まれることから、カマドの改修がなされていたと推察される。

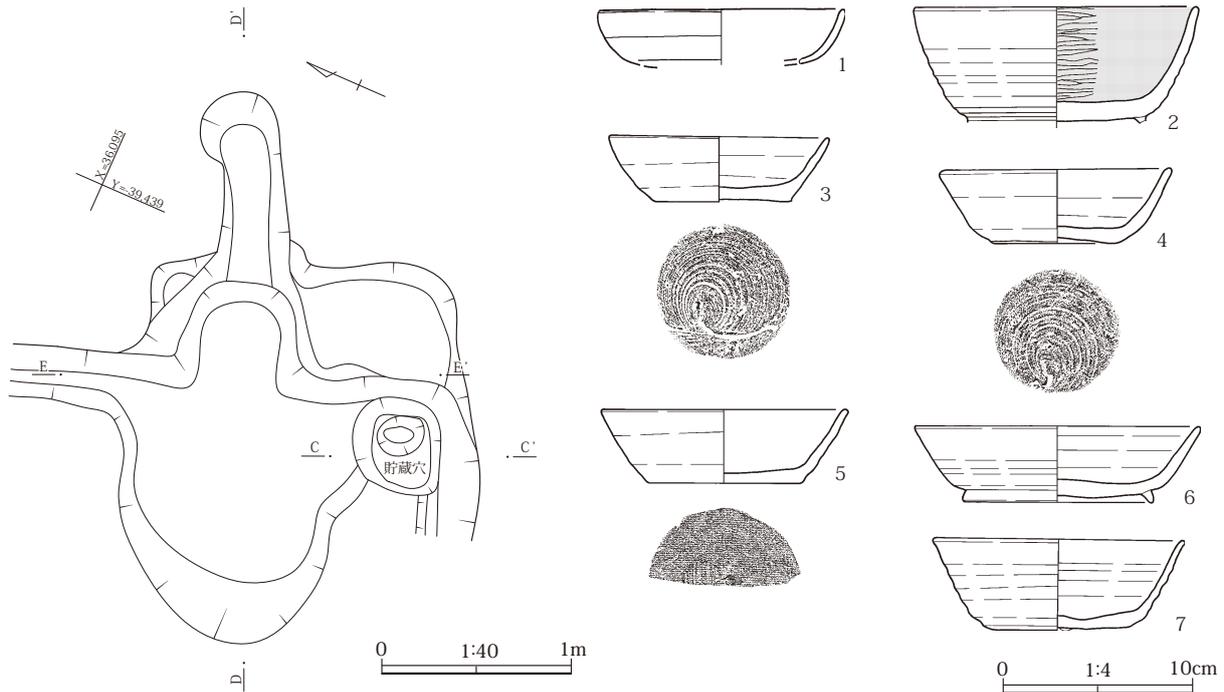
柱穴：住居内においては検出されていないが、住居北側に検出された柱穴列(P917～P922)が屋外柱穴となる可能性がある。貯蔵穴：カマドの右側にあたる住居南東コーナー付近で径58×50cmの楕円形で、深さ31cmを測る土坑が検出され、貯蔵穴としての利用が想定される。壁周溝：幅14～30cm、深さ1～11cmを誇る壁溝が、カマド前面を除き全周する。重複遺構：なし。掘り方：カマドのみに掘り方あり。

出土遺物：床面直上で須恵器杯(No. 3)が出土した他、埋土中からほぼ完形の須恵器杯(No. 4・7)や土師器杯(No. 1)、須恵器杯(No. 5)・椀(No. 6)、貯蔵穴埋土中から黒色土器椀(No. 2)片が出土する。



第492図 8区4号住居跡平・断面図、掘り方平面図、カマド平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物



第493図 8区4号住居跡カマド掘り方平面図、出土遺物

8区4号住居跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	床面+21cm 口縁部～体部 1/8	口径 12.6 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい赤褐(5YR 5/4)	口縁部やや内湾。 外面：口縁部横ナデ、体部はへら削り。 内面：口縁部～体部横ナデ。	
2	黒色土器 椀	貯蔵穴埋土中 体部～底部 破片	口径 14.8 底径 9.6 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 内面黒色 処理 ③ 橙 (5YR 6/6)	ロクロ整形。回転左回りか。 外面：体部回転ナデ。底部回転へら切り。高台貼付。 内面：体部～底部回転ナデ後へら磨き。	
3	須恵器 杯	床面直上 口縁部～底部 3/4	口径 11.4 底径 7.2 器高 3.5	① 細砂粒・粗砂粒・細礫・ 中礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰 (N 6/0)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
4	須恵器 杯	床面+10cm ほぼ完形	口径 11.8 底径 6.8 器高 4.0	① 細砂粒・粗砂粒・細礫・ 中礫 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰黄(2.5Y 7/2)	ロクロ整形。回転右回り。口縁部やや外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
5	須恵器 杯	床面+60cm 口縁部～底部 1/2	口径 12.8 底径 8.0 器高 3.9	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 やや不良 ③ にぶい黄橙(10YR 7/2)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り後へら削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
6	須恵器 椀	床面+65cm 口縁部～底部 1/4	口径 15.0 底径 9.8 器高 4.0	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰 (10Y 6/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転へら調整。高台貼付。 内面：底部回転ナデ調整。	
7	須恵器 杯	竈埋土中 ほぼ完形	口径 13.1 底径 7.7 器高 4.9	① 細砂粒・粗砂粒・細礫・ 中礫 ② 還元焰 やや不良 ③ にぶい黄橙(10YR 7/3)	ロクロ整形。口縁部やや外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部へら起し、へら削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	内面胴部に火 摩が認められ る。

8区5号住居跡(旧称8区SJ-05)

位置：X=36,103 Y=-39,447 主軸方向：N-81°-E 規模：約4.2m×3.2m

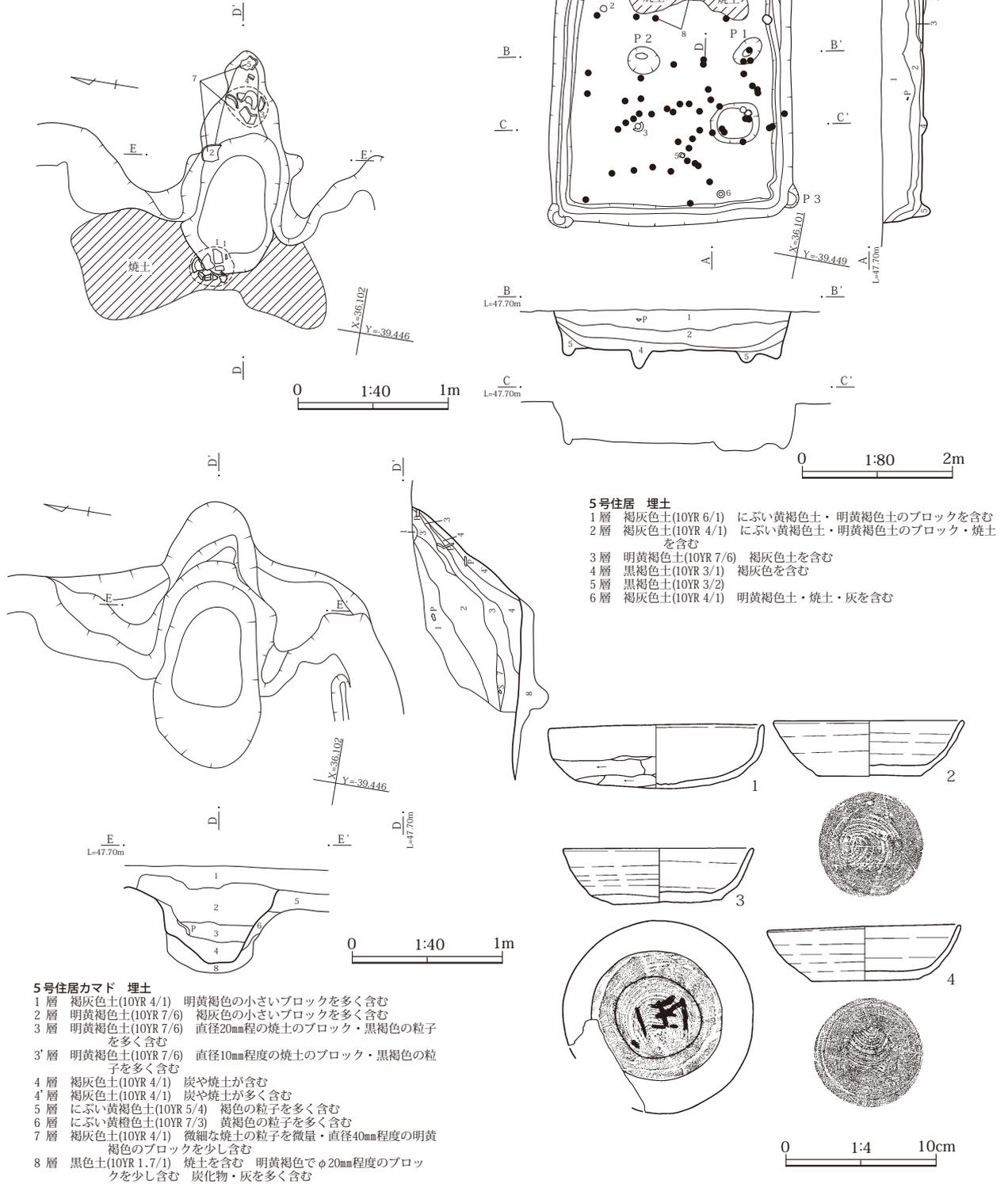
平面形状：隅丸長方形 残存深度：47cm～62cm 埋没土：にぶい黄褐色土とロームブロックなどを含む褐灰色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。床面：掘り方を持たないため、地山ローム面を床面とする。

カマド：北東壁中央やや南東寄りに位置する。前庭部に焼土が流れ出ており、灰層面が確認できないことから、カマドは人為的に壊されたと思われる。柱穴：P1～P4の4穴が検出され、径26～44cm、深さ14～29cmを測る。このうちP3とP4は、北西および南西コーナー部にある屋外壁柱穴である。

貯蔵穴：住居中央部南西寄りに、径70×54cmの楕円形で、深さ13cmを測る浅い土坑状の落ち込みが検出されたものの、貯蔵穴とは考えにくい。壁周溝：カマド周辺を除いて幅24～36cm、深さ1～7cmを測る壁溝が巡る。重複遺構：なし。

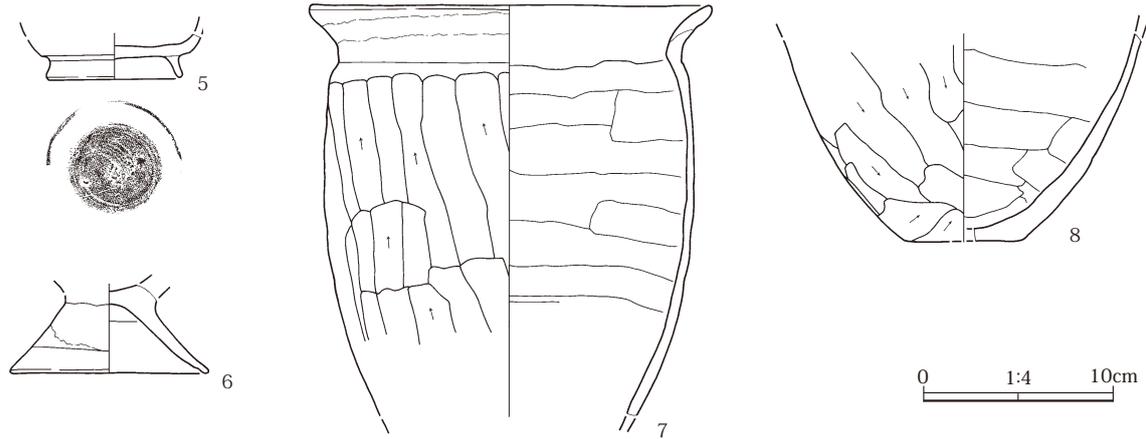
掘り方：カマド部のみに掘り方を有する。

出土遺物：床面直上でほぼ完形の土師器杯（No. 1）と底部に墨書の入った須恵器杯（No. 3）が出土した他、土師器の台付甕（No. 6）や須恵器杯（No. 2）・椀（No. 5）片が、埋土中からは土師器甕（No. 7・8）と須恵器杯（No. 4）が出土している。



第494図 8区5号住居跡平・断面図、カマド平面図・掘り方平・断面図、出土遺物

第3章 検出遺構と出土遺物



第495図 8区5号住居跡出土遺物

8区5号住居跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	竈前庭部直上 ほぼ完形	口径 14.2 底径 — 器高 4.3	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 明赤褐(5YR 5/6)	外面：口縁部上部は横ナデ、体部から底部は不定方向のヘラ削り。 内面：体部はナデ。	
2	須恵器 杯	床面直上 口縁部～底部 1/2	口径 12.4 底径 7.2 器高 3.7	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(N6/0)	ロクロ整形。回転右回り。口縁部やや外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り後、底部周辺は回転ヘラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
3	須恵器 杯	床面直上 ほぼ完形	口径 12.5 底径 7.0 器高 3.7	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(5Y 7/1)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り後、底部周辺は回転ヘラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	底部外面中央に墨書
4	須恵器 杯	床面+15cm 口縁部～底部 2/3	口径 12.5 底径 7.2 器高 3.6	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 黒(7.5YR 1.7/1)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り後、底部周辺は回転ヘラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
5	須恵器 椀	床面直上 底部 底部ほぼ完形	口径 — 底径 7.8 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ にぶい褐(7.5YR 6/3)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り後、底部周辺は回転ヘラ削り。高台は貼付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	底部外面に「三」の線刻。
6	土師器 台付甕	床面直上 台部 台部完形	口径 — 高台径 10.3 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 明赤褐(5YR 5/8)	台部貼付。輪積痕が残る。 外面：横ナデ。 内面：横ナデ。	
7	土師器 甕	竈埋土中 口縁部～胴部 胴部下半～底部欠損	口径 21.0 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい橙(2.5YR 6/4)	輪積み。 外面：一部巻上痕。口縁部横ナデ。胴部は下位から頸部に向けて縦方向ヘラ削り。 内面：口縁部～胴部横ナデ。	
8	土師器 甕	床面+19cm 胴部下位～底部 破片	口径 — 底径 6.3 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい赤褐(5YR 4/3)	輪積み。 外面：胴部下半縦方向、底部不定方向ヘラ削り。 内面：ナデ。	

8区7号住居跡(旧称8区SJ-07)

位置：X=36,077 Y=-39,430 主軸方向：N-80°-E 規模：約5.1m×3.1m 平面形状：隅丸長方形

残存深度：46cm～65cm 埋没土：焼土・炭化物を含む黒褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。また、埋土中に8・9号溝跡の氾濫時にオーバーフローしたにぶい黄褐色砂質土がブロック状に混入することから、本住居跡の埋没時期は溝跡の氾濫後と推察される。床面：掘り方を持たないため、地山ローム面を床面とする。

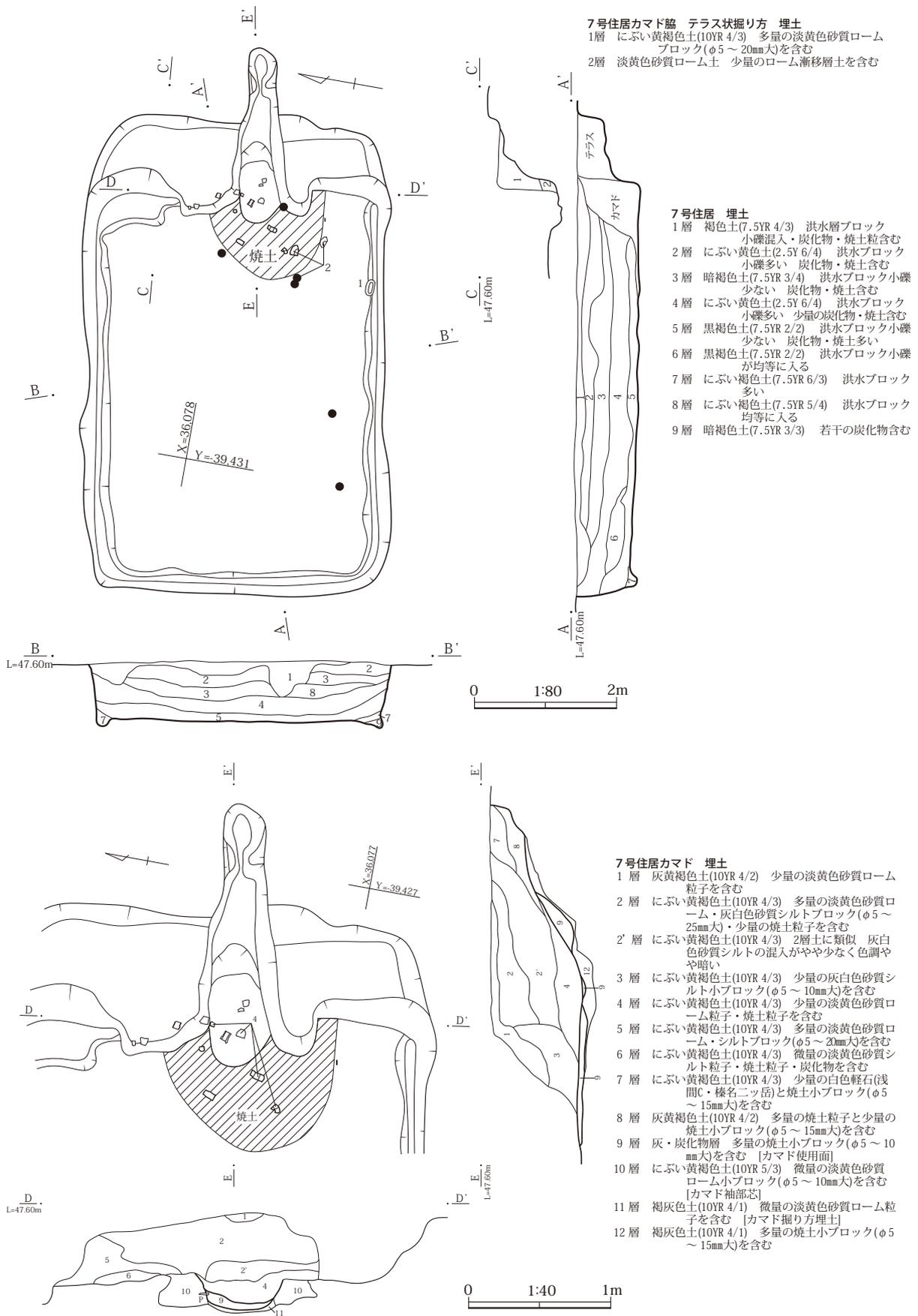
カマド：北東壁中央やや南東寄りに位置する。両袖は一部が残るのみ。燃烧部から煙道部にかけての使用面で焼土を含んだ灰層の良好な堆積が認められる。燃烧部は平坦で、煙道部は傾斜し端部で急峻に立ち上がる。

柱穴：なし。貯蔵穴：なし。壁周溝：カマド周辺を除く壁下に、幅14～30cm深さ4～7cmを測る壁溝が巡る。

重複遺構：なし。掘り方：カマドのみに掘り方をもつ。

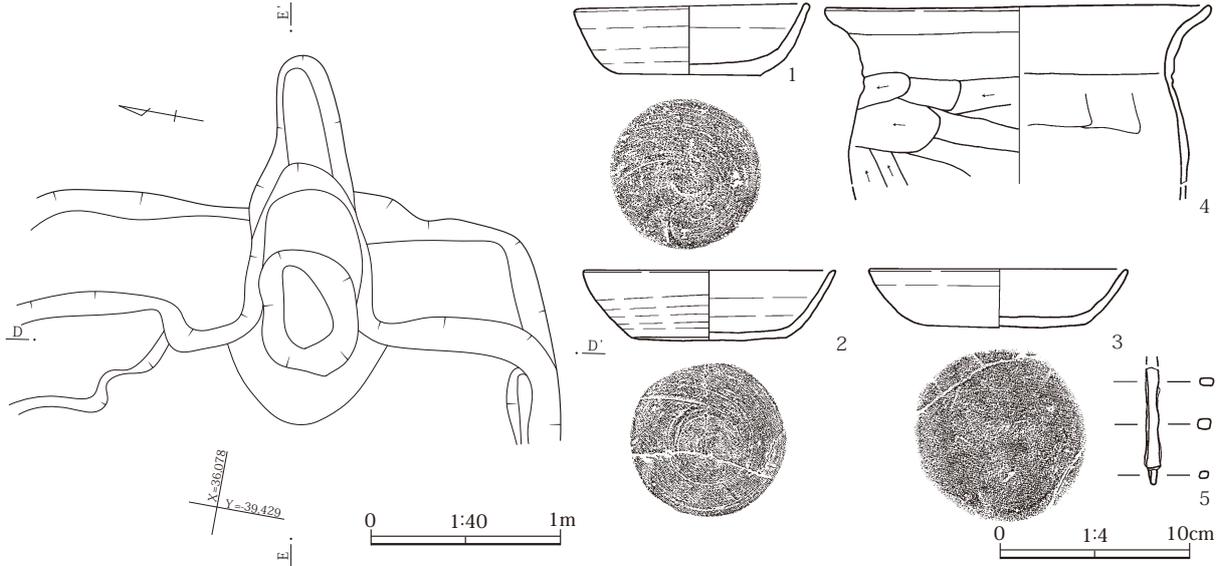
出土遺物：埋土中からほぼ完形の須恵器杯(No. 1・2)が、また、カマド内より土師器甕(No. 4)と須恵器杯(No. 3)が出土する。

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物



第496図 8区7号住居跡平・断面図、カマド平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物



第497 8区7号住居跡カマド掘り方平面図、出土遺物

8区7号住居跡出土遺物

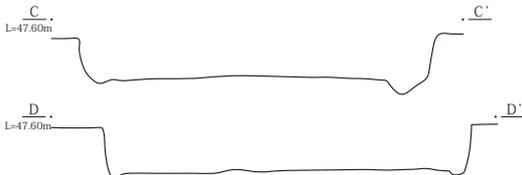
番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考		
1	須恵器 杯	床面+21cm ほぼ完形	口径 12.1 底径 7.5 器高 3.9	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰 (7.5Y 5/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り後回転ヘラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	内外面に火漉が認められる。		
2	須恵器 杯	床面+23cm ほぼ完形	口径 13.0 底径 8.1 器高 3.7	① 細砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ にぶい黄橙(10YR 7/2)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。			
3	須恵器 杯	竈埋土中 3/4	口径 13.4 底径 8.9 器高 3.2	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰黄 (2.5Y 6/2)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り後ナデ。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。			
4	土師器 甕	竈使用面直上 口縁部～胴部上位 破片	口径 20.0 底径 - 器高 -	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい橙 (5YR 6/4)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ。胴部上位は横、中位縦方向のヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ、胴部ヘラナデ。			
番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	摘要
5	鉄器	鏃	頸部	6.3	0.8	0.6	5.0	残存状態比較的良好。

8区8号住居跡(旧称8区SJ-08)

位置：X=36,082 Y=-39,433 主軸方向：N-72° - E

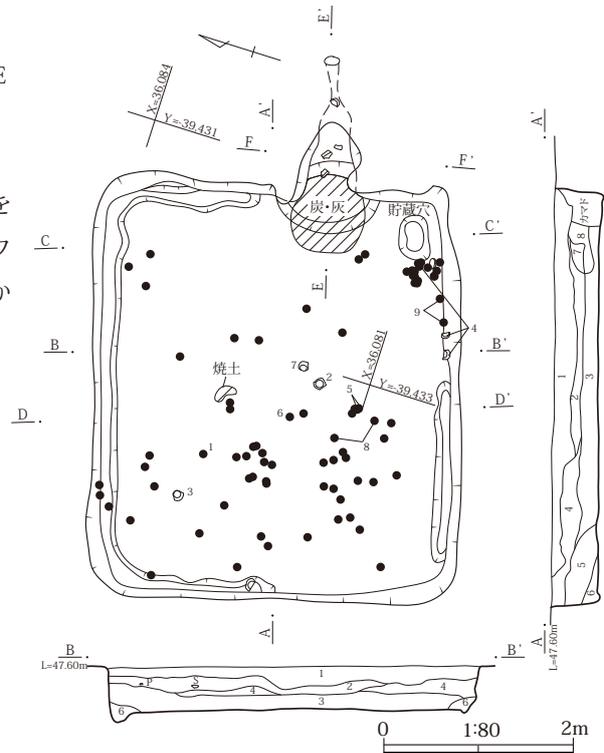
規模：約4.4m×3.9m 平面形状：隅丸長方形

残存深度：46cm～52cm 埋没土：白色軽石・焼土・炭化物を含む黒褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。また、埋土中に8・9号溝跡の氾濫時にオーバーフローしたにぶい黄褐色砂質土がブロック状に混入することから、本住居跡の埋没時期は溝跡の氾濫後と推察される。

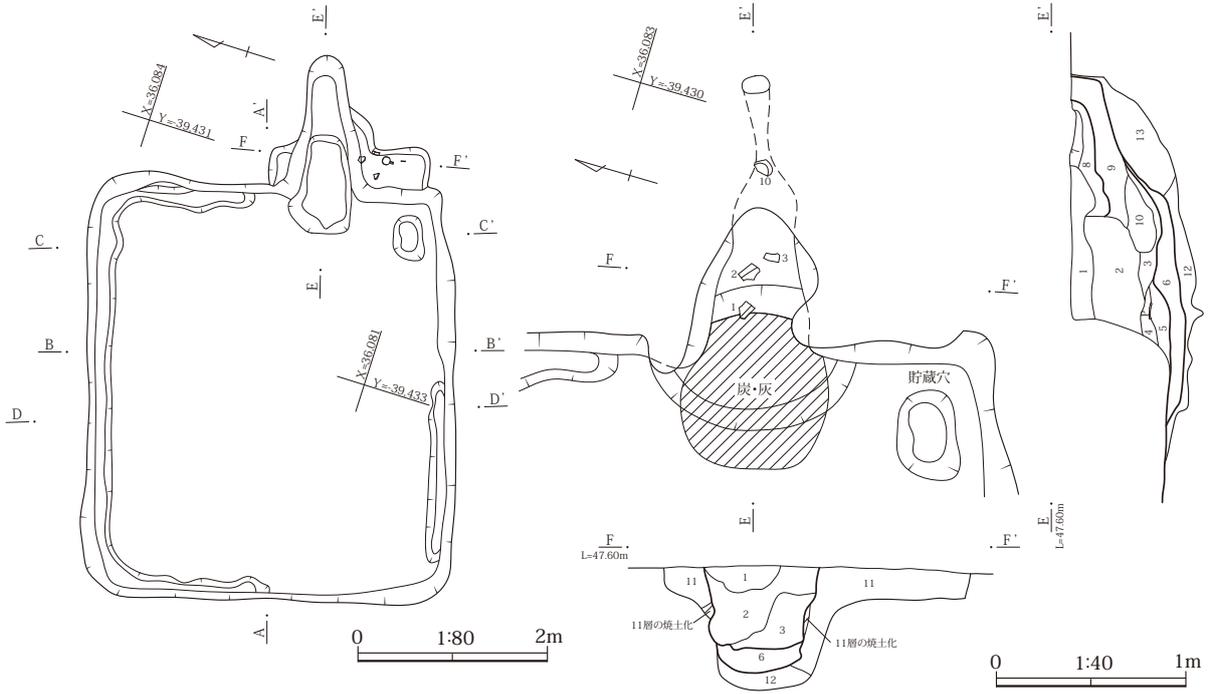


8号住居 埋土

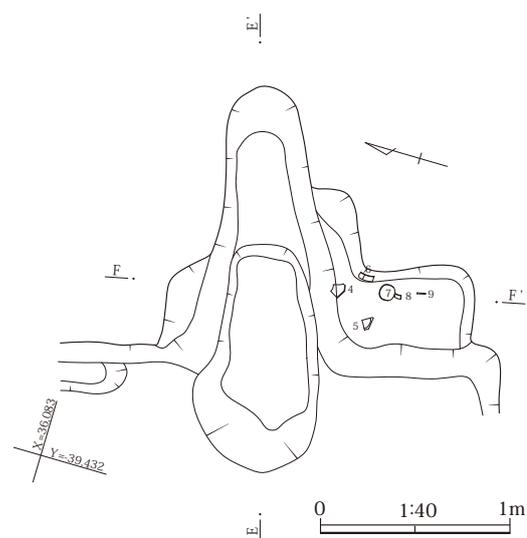
- 1層 黒褐色土(5YR 3/1) 白色軽石粒・炭化物・焼土含む
- 2層 黒褐色土(5YR 2/1) 白色軽石粒・炭化物・焼土含む・黄色洪水ブロック含む
- 3層 黒褐色土(5YR 2/2) 白色軽石粒・炭化物・焼土含む 黄色洪水ブロック多い
- 4層 暗赤褐色土(7.5YR 3/3) 炭化物・焼土含む 黄色洪水ブロック多い
- 5層 赤黒色土(10YR 2/1) 黄色洪水ブロック含む 炭化物・焼土多い
- 6層 黒色土(7.5YR 2/1) 黄色洪水ブロック少量含む
- 7層 褐色土(7.5YR 4/3) 焼土・洪水ブロック多い
- 8層 にぶい褐色土(7.5YR 6/3) 黄色洪水ブロックが焼けている [カマド崩落土]  
\*黄色洪水ブロック=8・9号溝跡の氾濫～決壊によるオーバーフロー黄土砂質土



第498図 8区8号住居跡平・断面図



- 8号住居カマド 埋土**
- 1層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 多量の淡黄色砂質ローム小ブロック(φ3~10mm大)を含む
  - 2層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 少量の淡黄色砂質ローム粒子を含む
  - 3層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 微量の淡黄色砂質ローム粒子を含む
  - 4層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 少量の淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5~10mm大)と焼土小ブロックを含む
  - 5層 淡黄色砂質ローム土(2.5YR 8/3) 多量の焼土ブロック(φ5~30mm大)を含む [崩落天井部]
  - 6層 灰層 少量の焼土粒子を含む 厚く良好な灰層
  - 7層 黒褐色土(10YR 3/1) 多量の淡黄色砂質ロームブロック(φ10~20mm大)・少量の焼土小ブロック(φ5~10mm大)を含む
  - 8層 淡黄色砂質ローム土(2.5YR 8/3) 少量の焼土小ブロック(φ5~10mm大)を含む [天井部崩落土]
  - 9層 にぶい黄褐色土(10YR 4/3) 多量の淡黄色砂質ローム粒子と少量の焼土ブロックを含む しまり弱
  - 10層 にぶい黄褐色土(10YR 4/3) 多量の焼土ブロック(φ5~20mm大)を含む しまり弱
  - 11層 淡黄色砂質ローム土(2.5YR 8/3) [天井部構築土]
  - 12層 にぶい黄褐色土(10YR 4/3) 少量の淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5~10mm大)を含む [カマド掘り方埋土]
  - 13層 にぶい黄褐色土(10YR 4/3) 多量の焼土小ブロック(φ5~15mm大)を含む
- \*黄色洪水ブロック=8・9号溝跡の氾濫~決壊によるオーバーフロー黄土砂質土

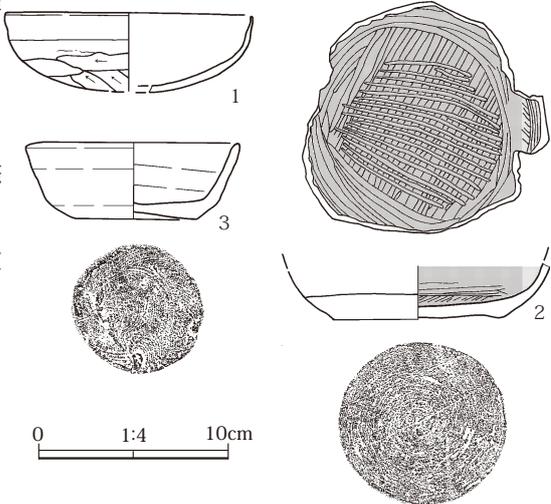


**床面:** 掘り方を持たないため、地山ローム面を床面とする。

**カマド:** 北東壁中央やや南東寄りに位置する。遺存状態は良好。袖部はわずかに残っている程度であるが、煙道部の一部では天井部がトンネル状に残る。燃烧部から煙道部にかけての使用面で焼土を含んだ灰層の良好な堆積が認められる。燃烧部は平坦で、煙道部は傾斜し端部で急峻に立ち上がる。 **柱穴:** なし。

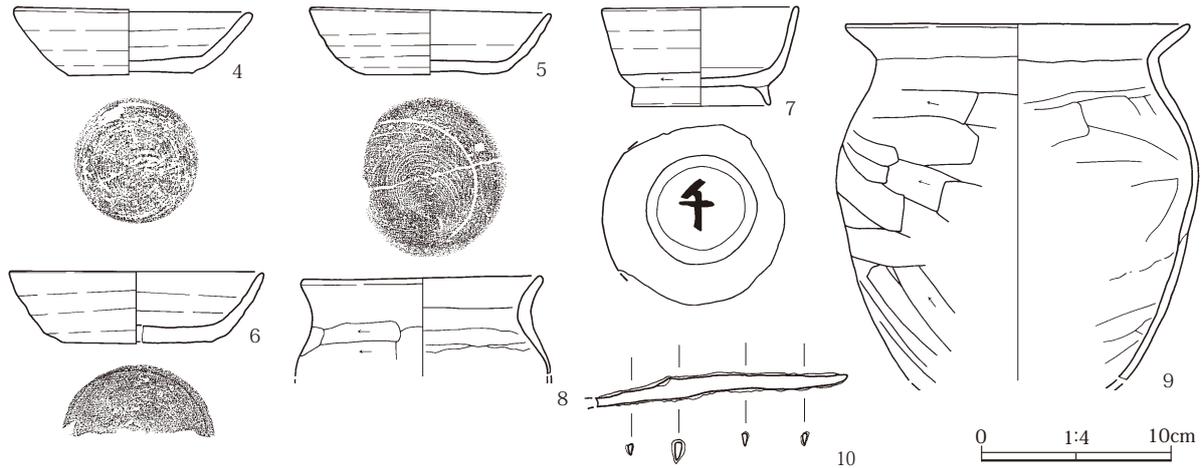
**貯蔵穴:** カマドの右側の住居南東コーナー付近にて径 50 × 30cm の楕円形を呈し、深さ 15cm を測る土坑跡が検出され、貯蔵穴となる可能性が高い。 **壁周溝:** 南東・南西コーナー部を除く壁際に、幅 16 ~ 30cm、深さ 2 ~ 8 cm を測る壁溝が巡る。

**重複遺構:** なし。 **掘り方:** カマドのみあり。 **出土遺物:** 床面直上では土師器杯 (No. 1) が、床面付近でほぼ完形の須恵器杯 (No. 4) が、埋土中から黒色土器杯 (No. 2) が出土している他、埋土中より土師器杯甕 (No. 8・9)、須恵器杯 (No. 3・5・6)・椀 (No. 7) 片が出土している。このうち須恵器椀 (No. 7) の底部には「千」の墨書文字が記されている。



第 499 図 8区8号住居跡掘り方平面図、カマド平・断面図、掘り方平面図、出土遺物

第3章 検出遺構と出土遺物



第500図 8区8号住居跡出土遺物図

8区8号住居跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考		
1	土師器 杯	床面直上 口縁部~底部 1/3	口径 12.8 底径 — 器高 4.1	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 暗赤灰(2.5YR 3/1)	外面：口縁部横ナデ、体部上半はナデ、下半~底部は手持ちへら削り。 内面：口縁部~体部横ナデ。			
2	黒色土器 杯	床面+21cm 体部~底部 1/2	口径 — 底径 9.0 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焰 良好 内面黒色処理 ③ にぶい橙 (5YR 7/4)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：体部回転ナデ。底部回転へら削り。 内面：体部横、底部格子状のへら磨き。			
3	須恵器 杯	床面+26cm 口縁部~底部 3/4	口径 10.9 底径 6.4 器高 4.1	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰 (7.5Y 5/1)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。			
4	須恵器 杯	床面+4cm ほぼ宍形	口径 12.2 底径 6.4 器高 3.7	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰 (7.5Y 6/1)	ロクロ整形。回転右回りか。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転糸切り後回転へら削り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	やや歪みあり。		
5	須恵器 杯	床面+30cm 口縁部~底部 2/3	口径 12.5 底径 7.6 器高 3.6	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰 (5Y 5/0)	ロクロ整形。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転糸切り後、底部周辺は回転へら削り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	外面に火漉が認められる。		
6	須恵器 杯	床面+31cm 口縁部~底部 1/2	口径 13.2 底径 7.8 器高 3.8	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰 (5Y 6/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転へら削り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。			
7	須恵器 椀	床面+8cm 口縁部~底部 2/3	口径 10.2 底径 7.0 器高 5.2	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 褐灰 (10YR 5/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部~体部回転ナデ。体部最下位回転へら削り。 底部へら調整。高台貼付。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	底部外面中央に「千」の墨書。		
8	土師器 甕	床面+6cm 口縁部~胴部 1/5	口径 12.4 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい赤褐(5YR 4/3)	輪積み 外面：口縁は横ナデ。頸部~胴部は横方向のへら削り。 内面：口縁はナデ、胴部は横方向のへらナデ。			
9	土師器 甕	床面+6cm 口縁部~胴部 1/5	口径 18.0 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 橙 (7.5YR 6/6)	輪積み 外面：口縁は横ナデ。胴部は上位横、中・下位は斜め方向のへら削り。 内面：ナデ。			
番号	種別	器種	状態	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	摘要
10	鉄器	刀子	柄端部欠損	13.2	1.2	0.8	11.0	錆化は進んでいるが残存状態は良好。

8区9号住居跡(旧称8区SJ-09)

位置：X=36,088 Y=-39,431 主軸方向：N-68° - E 規模：約3.8m×5.1m 平面形状：隅丸長方形

残存深度：52cm~63cm 埋没土：白色軽石・焼土・炭化物を含む暗赤褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。また、埋土中に8・9号溝跡の氾濫時にオーバーフローした、多量のにぶい黄褐色砂質土がブロック状に混入することから、本住居跡の埋没時期は溝跡の氾濫後と推察される。

床面：掘り方を持たないため、地山ローム面を床面とする。また、北東コーナー付近に他所よりやや高まったベッド状の平坦面が検出された。カマド：2基のカマド跡が検出された。カマド1は北西壁中央やや北寄りに位置する。両袖共に残り、燃焼部から煙道部にかけての使用面には焼土と炭化物を含んだ厚い灰層の堆積が認められた。煙道部は比較的長く緩やかで端部は急峻に立ち上がる。カマド2は南東壁の東コーナー付近に位置する。袖部は残らず、燃焼部より袖の心材とした礫が出土している。燃焼部では厚い灰層の堆積が認められ、灰層面とやや間層をはさみ淡黄色砂質シルト土の崩落天井部材が堆積していることから、カマドの使用停止後に一定期間をおいて天井部の崩落があったものと推

察される。以上の調査結果から、検出された2基のカマド跡は、同時に使用されたものではなく、カマド2を廃棄後にカマド1が造られ使用されたものと考えられる。**柱穴**：南東壁中央壁際に検出されたピットが柱穴となるものと考えられる。**貯蔵穴**：なし。

**壁周溝**：北東コーナー部とカマド周辺を除く壁際に、幅18～35cm、深さ1～6cmを測る壁溝が巡る。

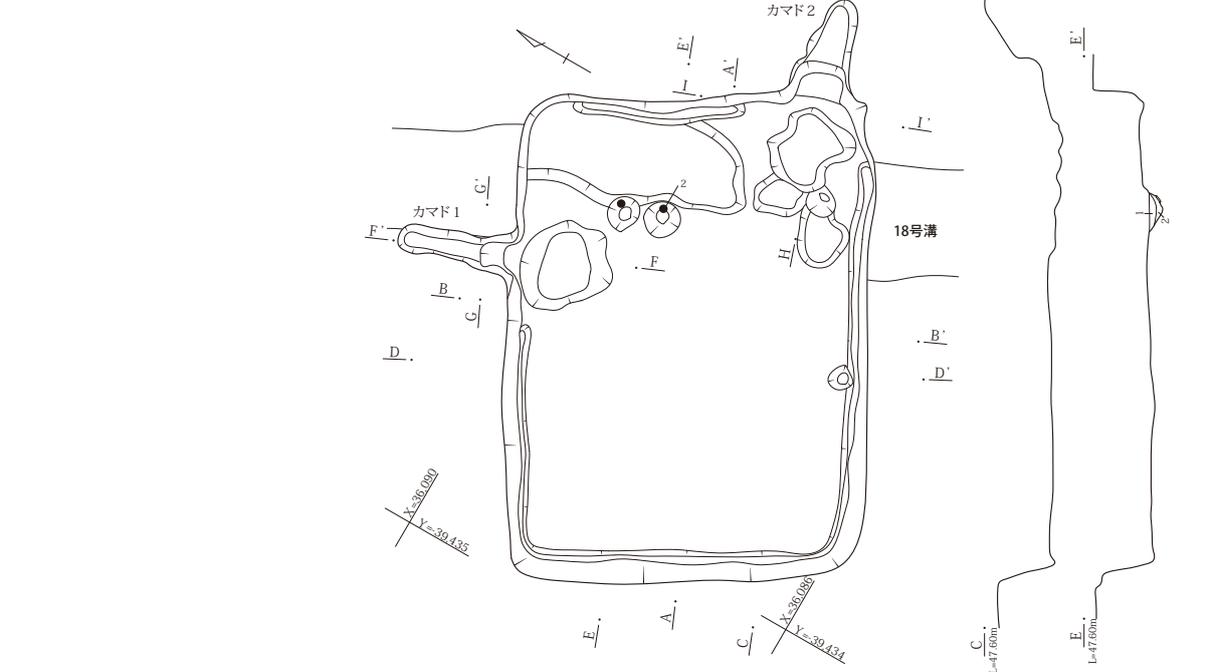
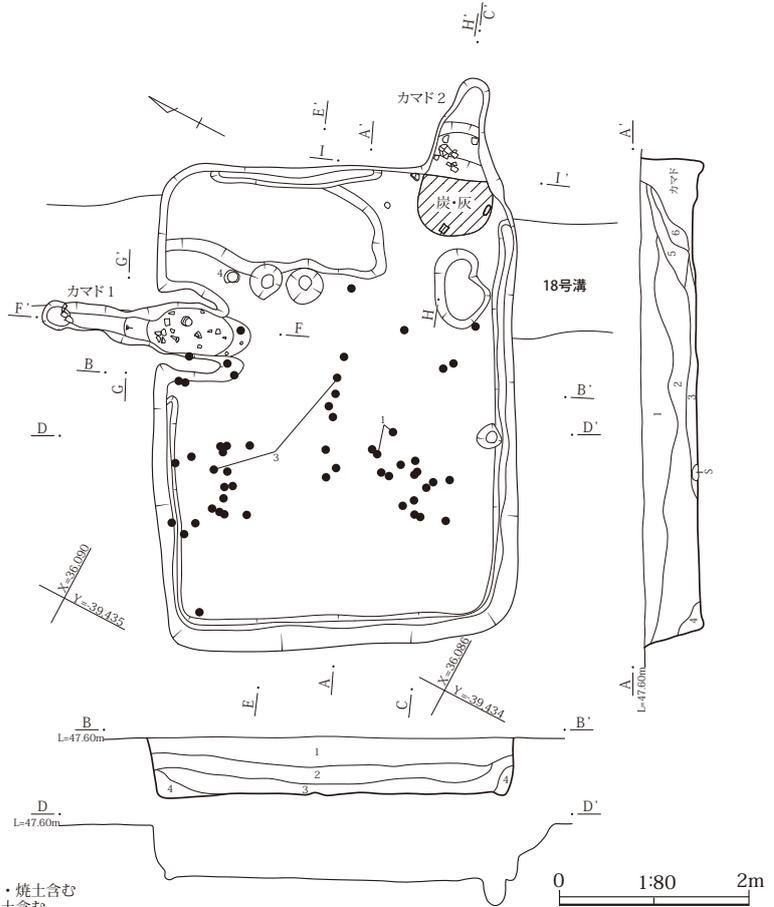
**重複遺構**：18号溝跡と重複し、遺構確認時の埋土の様相より、本住居跡の方が新しいものと判断された。

**掘り方**：カマドのみに掘り方を有する。

**出土遺物**：床面直上から土師器杯(No. 1)と須恵器蓋(No. 2)が出土した他、埋土中よりほぼ完形の須恵器杯(No. 3)や須恵器碗(No. 4)片が出土している。

9号住居 埋土

- 1層 暗赤褐色土(5YR 3/2) 白色軽石・炭化物・焼土含む
- 2層 暗赤褐色土(5YR 3/4) 黄色洪水ブロック少量含む 炭化物・焼土含む
- 3層 暗赤褐色土(5YR 3/6) 黄色洪水ブロック多い 炭化物・焼土含む
- 4層 にぶい橙褐色土(5YR 6/4) 黄色洪水ブロック多い 炭化物・焼土含む
- 5層 にぶい橙褐色土(5YR 6/3) 黄色洪水ブロック焼けている 炭化物・焼土含む
- 6層 赤褐色土(5 YR 4/6) 黄色洪水ブロック焼けている 炭化物・焼土含む
- \*黄色洪水ブロック=8・9号溝跡の氾濫～決壊によるオーバーフロー黄色砂質土

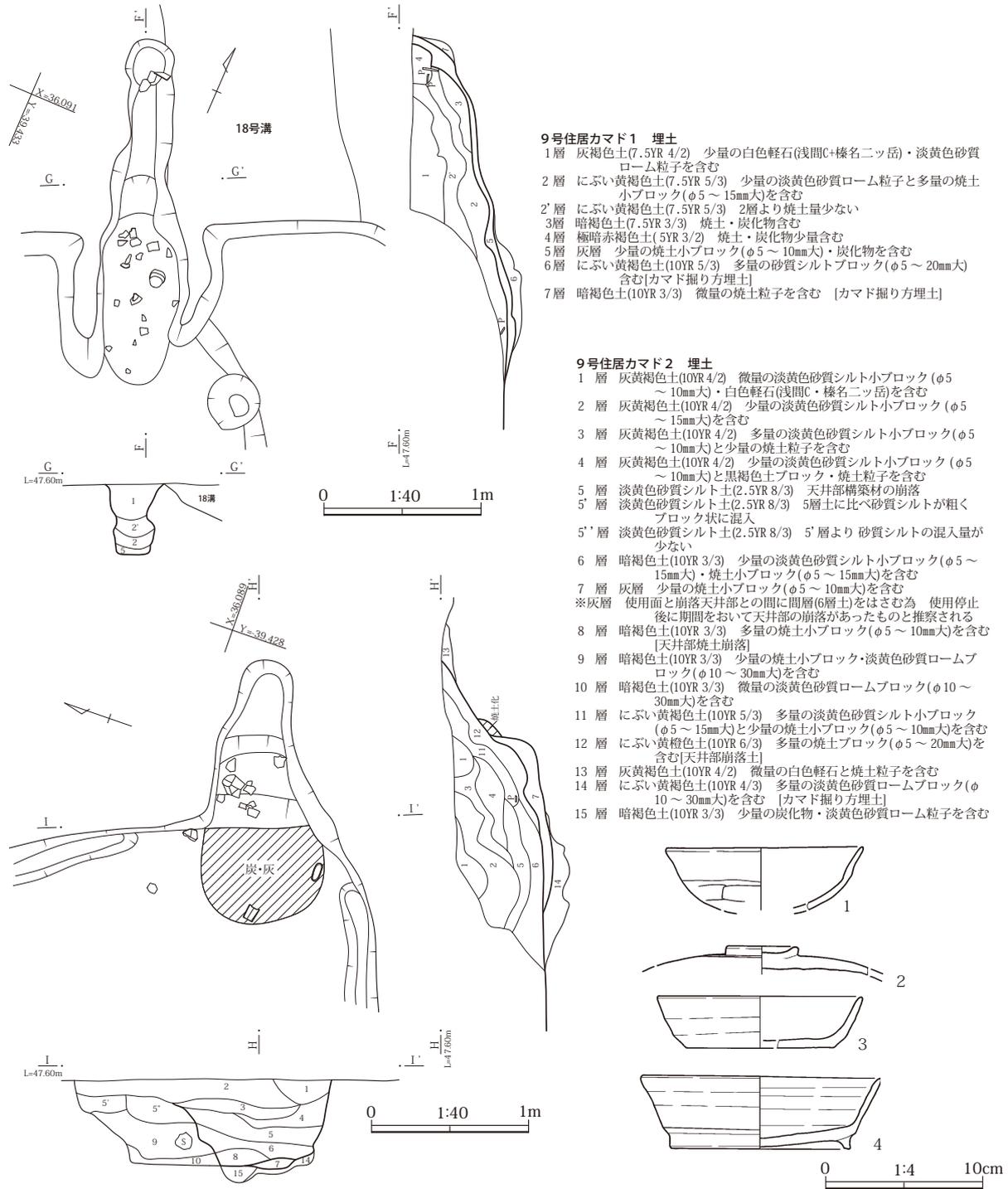


9号住居 埋土(E-E')

- 1層 黒褐色土(10YR 3/2) 少量の減黄色砂質シルトブロック(φ10～30mm大)を含む
- 2層 浅黄色土(2.5Y 7/4) 少量の黒褐色土を含む

第501図 8区9号住居跡平・断面図、掘り方平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物



第502図 8区9号住居跡カマド1・2平・断面図、出土遺物

8区9号住居出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	床面直上 口縁部~底部 1/6	口径 12.4 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 橙 (5YR 6/6)	口縁部外反。 外面：口縁部横ナデ、体部~底部はヘラ削り。 内面：口縁部~体部横ナデ。	
2	須恵器 杯蓋	床面直上 摘部~天井部上半 1/3	口径 — 摘径 4.4 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰白 (2.5Y 8/2)	ロクロ整形。 外面：天井部上半ヘラ削り。摘貼付。 内面：天井部上半回転ナデ。	
3	須恵器 杯	床面+3cm ほぼ完形	口径 12.8 底径 9.4 器高 3.3	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰白 (5Y 7/2)	ロクロ整形。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	
4	須恵器 椀	床面+8cm 口縁部~底部 2/3	口径 15.0 底径 11.4 器高 4.6	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白 (7.5Y 7/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。高台貼付。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	

8区10号住居跡(旧称8区SJ-10)

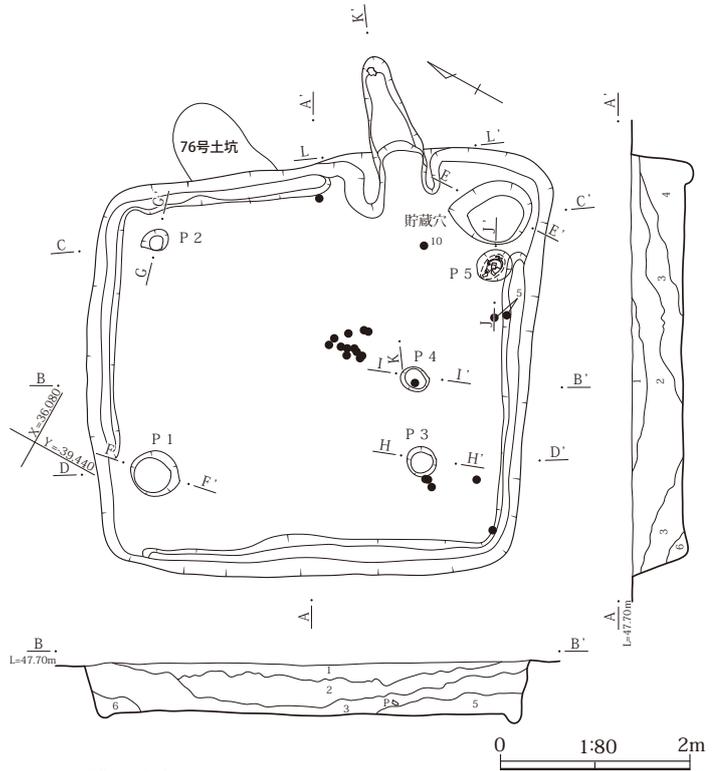
位置：X=36,078 Y=-39,438

主軸方向：N-65°-E 規模：約4.3m×4.6m

平面形状：歪んだ隅丸方形

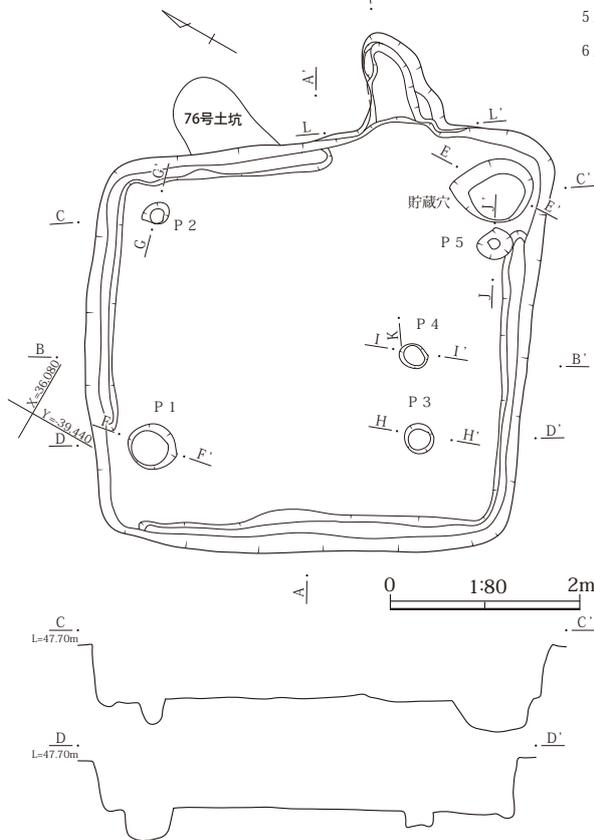
残存深度：50cm～61cm 埋没土：白色軽石・焼土粒・炭化物・ロームを含む暗褐色～灰黄褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。また、埋土中に8・9号溝跡の氾濫時にオーバーフローした、多量のにぶい黄褐色砂質土がブロック状に混入することから、本住居跡の埋没時期は溝跡の氾濫後と推察される。

床面：掘り方を持たないため、地山ローム面を床面とする。カマド：北東壁中央南東寄りに位置する。カマドの軸方向が住居主軸方向に対してやや北にずれる。遺存状況は比較的良好で、燃烧部から煙道部にかけての使用面には焼土を含んだ灰が厚く堆積し、灰層直上には天井部材の崩落が認



10号住居貯蔵穴 埋土

- 1層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 多量の焼土小ブロック(φ5～10mm大)・炭化物・砂質シルト小ブロック(φ5～10mm大)を含む
- 2層 にぶい黄褐色土(10YR 5/4) 多量の淡黄色砂質 ローム小ブロック(φ5～10mm大)を含む
- 3層 にぶい黄褐色土(10YR 5/4) 多量の淡黄色砂質 ローム小ブロック(φ5～10mm大)・少量の焼土粒子・炭化物を含む



10号住居 埋土

- 1層 暗褐色土(10YR 3/3) 多量の白色軽石(浅間(軽石+榛名ニツ岳軽石)・焼土粒子と少量の淡黄色砂質ローム粒子・炭化物を含む
- 2層 灰褐色土(7.5YR 4/2) 少量の淡黄色砂質ロームブロック(φ5～30mm大)・焼土粒子・白色軽石を含む
- 3層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 微量の白色軽石・淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5～10mm大)を含む
- 4層 にぶい黄褐色土(10YR 5/3) 少量の淡黄色砂質ロームブロック(φ5～30mm大)と黒褐色土ブロック(φ10～40mm大)を含む
- 5層 にぶい黄褐色土(10YR 5/4) 多量の淡黄色砂質ロームブロック(φ5～50mm大)と黒褐色土ブロック(φ10～50mm大)を含む
- 6層 にぶい黄褐色土(10YR 5/4) 多量の黒褐色土を含む

10号住居P1 埋土

- 1層 褐灰色土(10YR 4/1) 多量の淡黄色砂質ロームブロック(φ10～30mm大)を含む

10号住居P2・P3 埋土

- 1層 灰黄褐色土(10YR 5/2) 多量の淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5～20mm大)を含む
- 2層 にぶい黄褐色土(10YR 7/3) 褐灰色土を含む

10号住居P4 埋土

- 1層 にぶい黄褐色土(10YR 5/3) 多量の淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5～10mm大)・炭化物・焼土小ブロックを含む

められる。煙道部は緩やかに傾斜し、端部で急峻に立ち上がる。袖部は淡黄色砂質ロームを含むにぶい黄褐色土で構築されている。柱穴：5基のピットを検出し、径22～53cm 深さ12～38cmを測る。

貯蔵穴：カマドの右側にあたる住居東コーナー付近で検出され、径87×68cmの楕円形を呈し、深さ30cmを測る。

壁周溝：住居東コーナー～カマド付近、および西コーナー部を除く壁際に、幅25～38cm、深さ2～11cmを測る壁溝が巡る。

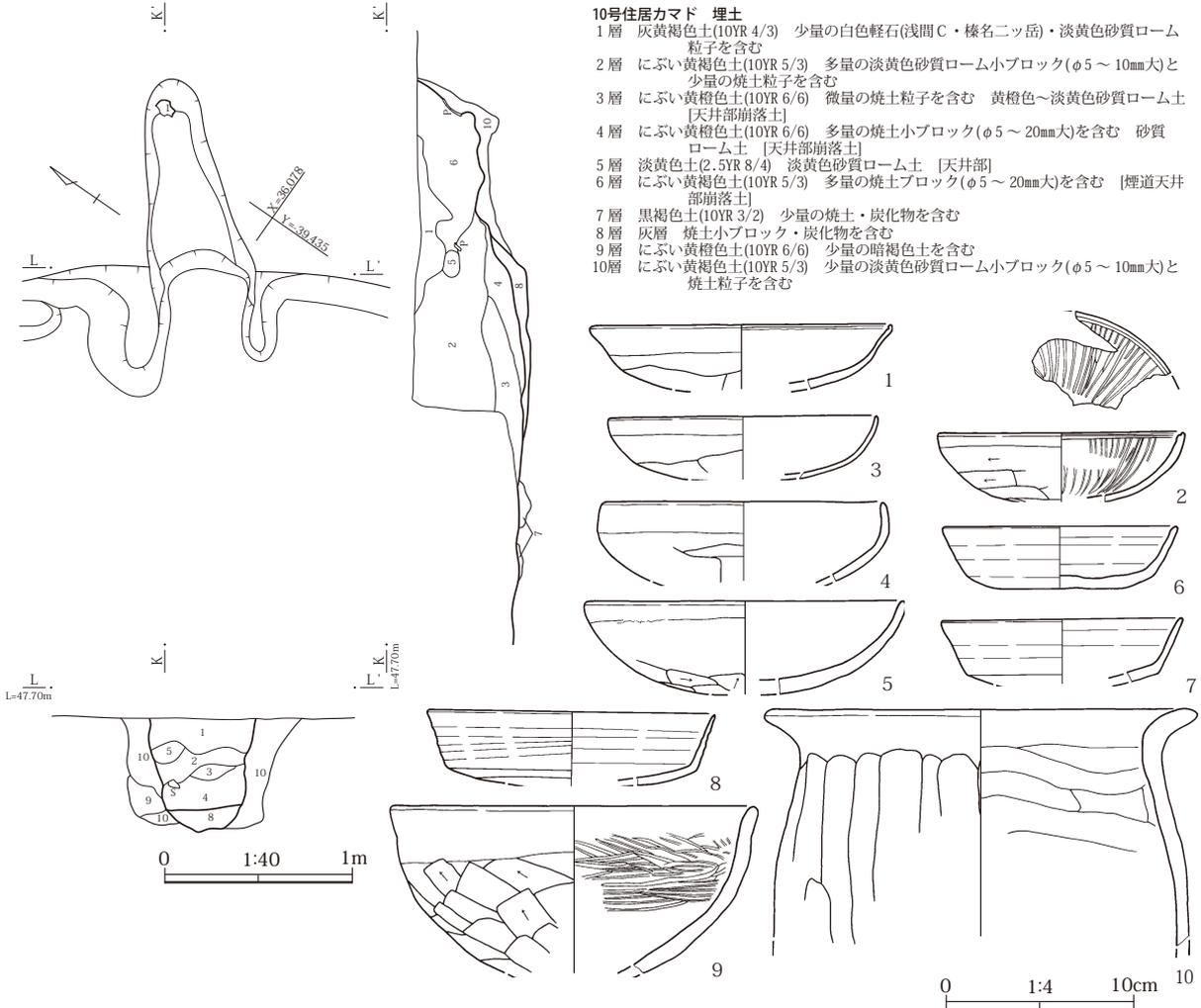
重複遺構：76号土坑跡と重複し、遺構確認～掘削時の埋土の様相より、本遺構の方が新しいものと判断される。掘り方：カマドのみに掘り方を有する。掘り方埋土

第503 8区10号住居跡平・断面図、掘り方平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物

(カマド壁・袖構築土)内には焼土が含まれ、修復の痕跡がうかがえる。**出土遺物**：貯蔵穴のすぐ脇にあるピット5からは口縁部が欠損した土師器甕 (No.10) 片が、床面直上では土師器杯 (No. 5) 片が出土している他、埋土中からは暗文のある土師器杯 (No. 1・2・3・4) や黒色土器鉢 (No. 9)、須恵器杯 (No. 6・7・8) が出土している。そのうち、黒色土器鉢 (No. 9) は9号溝埋土中出土のものと同接合される。

**所見**：前記の遺物の接合関係から、付近にある9号溝跡と近い時期に廃絶した可能性が考えられる。



- 10号住居カマド 埋土
- 1層 灰黄褐色土(10YR 4/3) 少量の白色軽石(浅間C・榛名二岳)・淡黄色砂質ローム粒子を含む
  - 2層 にぶい黄褐色土(10YR 5/3) 多量の淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5~10mm大)と少量の焼土粒子を含む
  - 3層 にぶい黄褐色土(10YR 6/6) 微量の焼土粒子を含む 黄褐色~淡黄色砂質ローム土 [天井部崩落土]
  - 4層 にぶい黄褐色土(10YR 6/6) 多量の焼土小ブロック(φ5~20mm大)を含む 砂質ローム土 [天井部崩落土]
  - 5層 淡黄色土(2.5YR 8/4) 淡黄色砂質ローム土 [天井部]
  - 6層 にぶい黄褐色土(10YR 5/3) 多量の焼土ブロック(φ5~20mm大)を含む [煙道天井部崩落土]
  - 7層 黒褐色土(10YR 3/2) 少量の焼土・炭化物を含む
  - 8層 灰層 焼土小ブロック・炭化物を含む
  - 9層 にぶい黄褐色土(10YR 6/6) 少量の暗褐色土を含む
  - 10層 にぶい黄褐色土(10YR 5/3) 少量の淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5~10mm大)と焼土粒子を含む

第 504 図 8区 10号住居跡カマド平・断面図、出土遺物

8区10号住居跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	埋土中 口縁部~底部 1/4	口径 15.7 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい橙 (7.5YR 6/4)	口縁部外反。 外面：口縁部横ナデ、体部はナデ、底部はヘラ削り。 内面：口縁部~体部ナデ。	
2	土師器 杯	埋土中 口縁部~底部 1/6	口径 13.0 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 明赤褐(2.5Y 5/6)	外面：口縁部横ナデ、体部横、底部手持ちヘラ削り。 内面：口縁部~体部横ナデ後、斜放射状ヘラ磨き。	
3	土師器 杯	埋土中 口縁部~底部 1/6	口径 14.1 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 明赤褐(2.5Y 5/6)	外面：口縁部横ナデ、体部はナデ、底部はヘラ削り。 内面：口縁部~体部横ナデ。	
4	土師器 杯	埋土中 口縁部~底部 1/6	口径 14.7 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 赤橙(10YR 6/6)	外面：口縁部横ナデ、胴部~底部はヘラ削り。 内面：口縁部~体部ナデ。	
5	土師器 杯	床面直上 口縁部~底部 1/3	口径 16.6 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 灰黄褐(10 YR 6/2)	外面：口縁部に輪積痕が残る。口縁部は上半が横ナデ、下半~体部ナデ。 内面：口縁部~体部ナデ。	
6	須恵器 杯	埋土中 口縁部~底部 1/2	口径 12.4 底径 6.3 器高 3.3	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰 (N 7/0)	ロク口整形。回転右回り。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	
7	須恵器 杯	埋土中 口縁部~底部 1/6	口径 12.7 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(5Y 7/1)	ロク口整形。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転ヘラ削りか。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
8	須恵器 杯	埋土中 口縁部～底部 1/5	口径 15.0 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰 (N 5/1)	ロク口整形。 外面：口縁部横ナデ。底部へラ削り。 内面：口縁部～底部ナデ。	
9	黒色土器 鉢	埋土中 口縁部～体部下 1/2	口径 19.2 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 内面黒色 処理 ③ にぶい黄橙 (10YR 7/3)	輪積み。 外面：口縁部回転ナデ。体部へラ削り。 内面：口縁部上半横ナデ、下半～体部に雑なへラ磨き。	9号溝埋土中の 破片と接合。
10	土師器 甕	床面+46cm 口縁部～胴部上半 破片	口径 22.0 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい橙(5YR 6/4)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ。胴部～底部へラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部～底部へラナデ。	

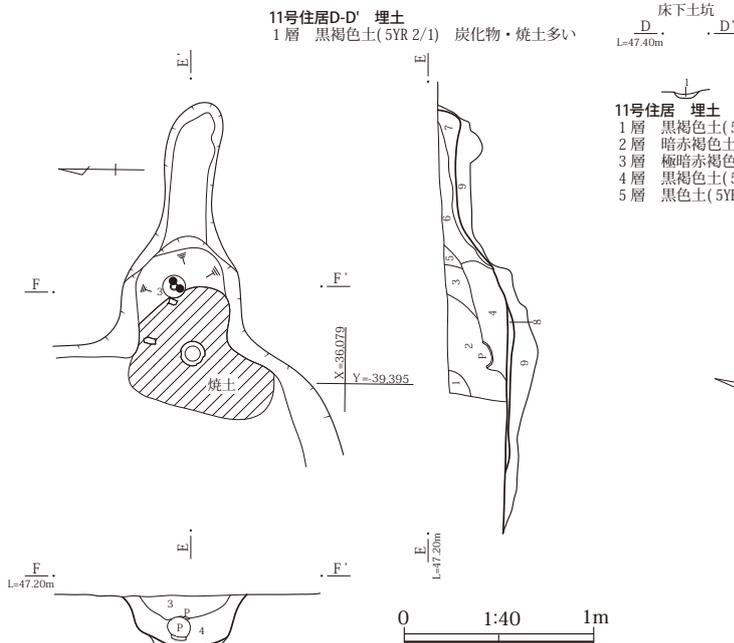
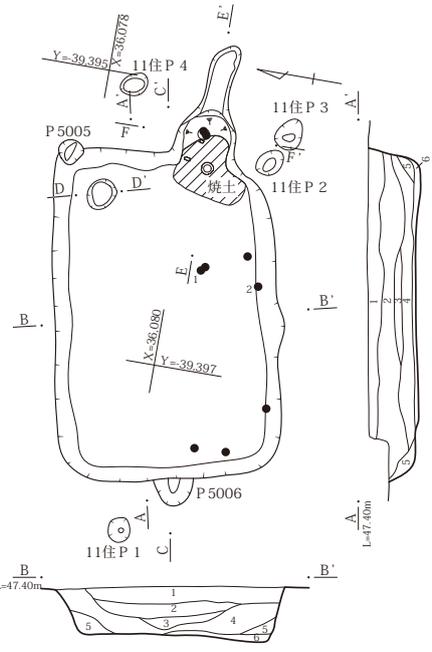
8区11号住居跡(旧称8区SJ-11)

位置：X=36,080 Y=-39,396 主軸方向：N-80° - E

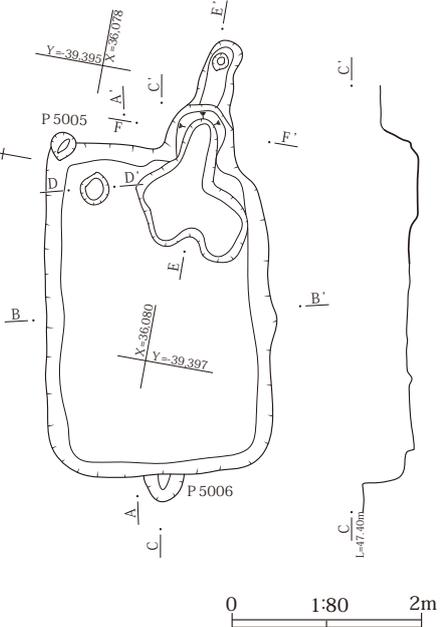
規模：約3.5m×2.3m 平面形状：隅丸長方形

残存深度：48cm～54cm 埋没土：白色軽石・焼土粒・炭化物を含む黒褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。また、埋土中に8・9号溝跡の氾濫時にオーバーフローした、多量のにぶい黄褐色砂質土がブロック状に混入することから、本住居跡の埋没時期は溝跡の氾濫後と推察される。床面：掘り方を持たないため、地山ローム面を床面とする。カマド：東壁の南コーナー部寄りに位置する。カマドの軸方向が住居主軸方向に対してやや南にずれる。遺存状態はあまり良くないが、燃焼部使用面には炭化物を含んだ灰が薄く堆積する。

柱穴：北東コーナー部に位置する5005号Pitが、壁柱穴となる可能性がある。貯蔵穴：住居の北東部で径34×30cm、深さ10cmを測り、埋土中に炭化物と焼土を多く含む土坑状の掘り込みが検出されるが、貯蔵穴と



- 11号住居カマド 埋土
- 1層 灰褐色土(10YR 4/2) 多量の淡黄色砂質ロームブロック(φ10～40mm)を含む
  - 2層 灰褐色土(10YR 4/2) 微量の淡黄色砂質ローム粒子を含む
  - 3層 灰褐色土(10YR 4/2) 少量の淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5～15mm)を含む
  - 4層 灰褐色土(10YR 4/2) 多量の淡黄色砂質ローム粒子・焼土ブロック(φ5～20mm)を含む
  - 5層 黄褐色土(10YR 8/8) 少量の淡黄色砂質ローム粒子・灰褐色土を含む
  - 6層 橙土(2.5YR 6/8) 微量の灰褐色土・焼土を含む
  - 7層 灰褐色土(10YR 4/2) 少量の淡黄色砂質ロームブロックを含む
  - 8層 灰層 多量の焼土小ブロック(φ5～10mm大)・炭化物を含む
  - 9層 にぶい黄褐色土(10YR 5/3) 多量の淡黄色砂質ロームブロック(φ5～30mm大)を含む [カマド掘り方埋土]

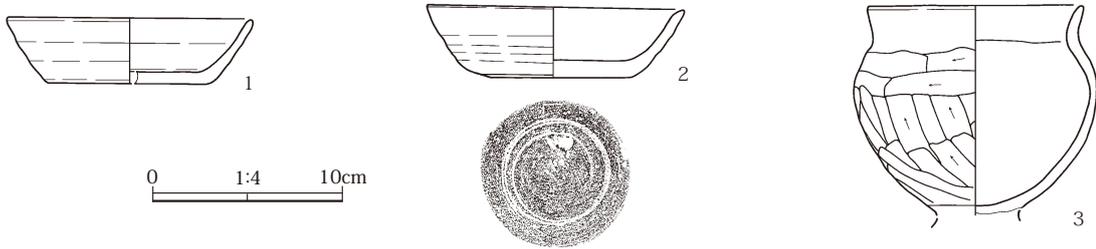


第505図 8区11号住居跡平・断面図、掘り方平・断面図、カマド平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物

は断定できない。壁周溝：なし。重複遺構：調査時に重複遺構として5005・5006号Pitとしたが、いずれも本遺構に伴うものと考えられ、5005号Pitは柱穴跡、5006号Pitは位置的に出入り口施設に伴うものと考えられる。

掘り方：カマドのみに掘り方を持つ。出土遺物：カマド内よりほぼ完形の須恵器杯（No. 2）と台部を欠失した土師器の台付甕（No. 3）が、また、埋土中から須恵器杯（No. 1）が出土している。



第506図 8区11号住居跡出土遺物

8区11号住居跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	床面+15cm 口縁部～底部 1/5	口径 12.6 底径 8.0 器高 3.4	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 不良 ③ 灰 (5Y 6/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部ヘラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
2	須恵器 杯	竈埋土中 ほぼ完形	口径 13.2 底径 8.0 器高 3.9	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 やや不良 ③ にぶい黄橙(10YR 6/3)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
3	土師器 台付甕	竈埋土中 口縁部～胴部 台部のみ欠損	口径 11.1 底径 4.2 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 褐灰(7.5YR 5/1)	輪積み。台部貼付。 外面：口縁部横ナデ。胴部上位横ヘラ削り、胴部中位・下 位縦ヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ、胴部～底部ナデ。一部指頭痕。	

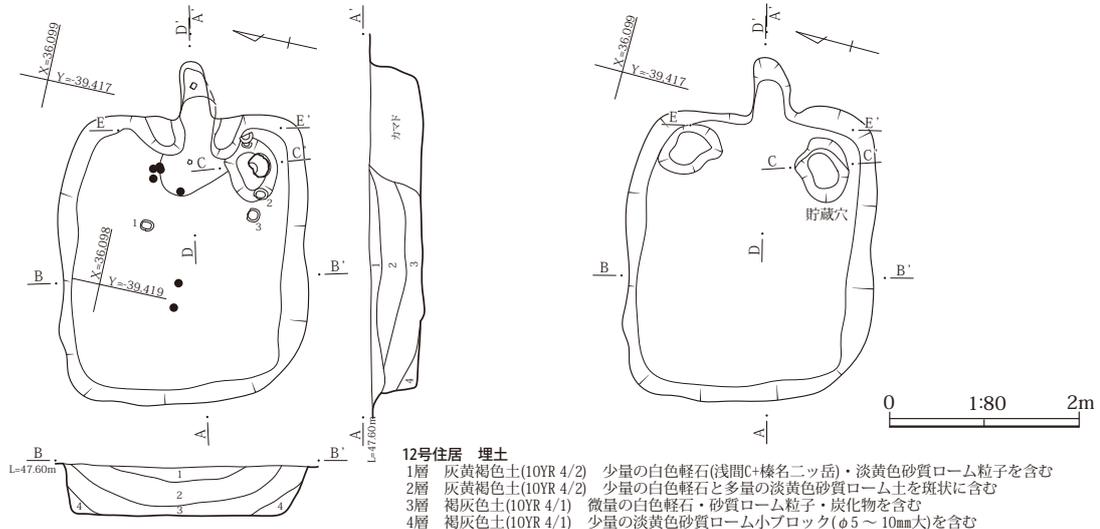
8区12号住居跡(旧称8区SJ-12)

位置：X=36,097 Y=-39,418 主軸方向：N-76° -E 規模：約3.1m×2.6m 平面形状：隅丸長方形

残存深度：48cm～59cm 埋没土：白色軽石・ローム粒を含む灰黄褐色～褐灰色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。また、埋土中に8・9号溝跡の氾濫時にオーバーフローした、多量のにぶい黄褐色砂質土が斑状に混入することから、本住居跡の埋没時期は溝跡の氾濫後と推察される。床面：掘り方を持たないため、地山ローム面を床面とする。カマド：北東壁のほぼ中央に位置する。燃烧部使用面には焼土と炭化物を含んだ灰層の厚い堆積が認められる。袖は淡黄色砂質ロームを用いて構築され、袖にしている。煙道部は比較的短く、端部は急峻に立ち上がる。

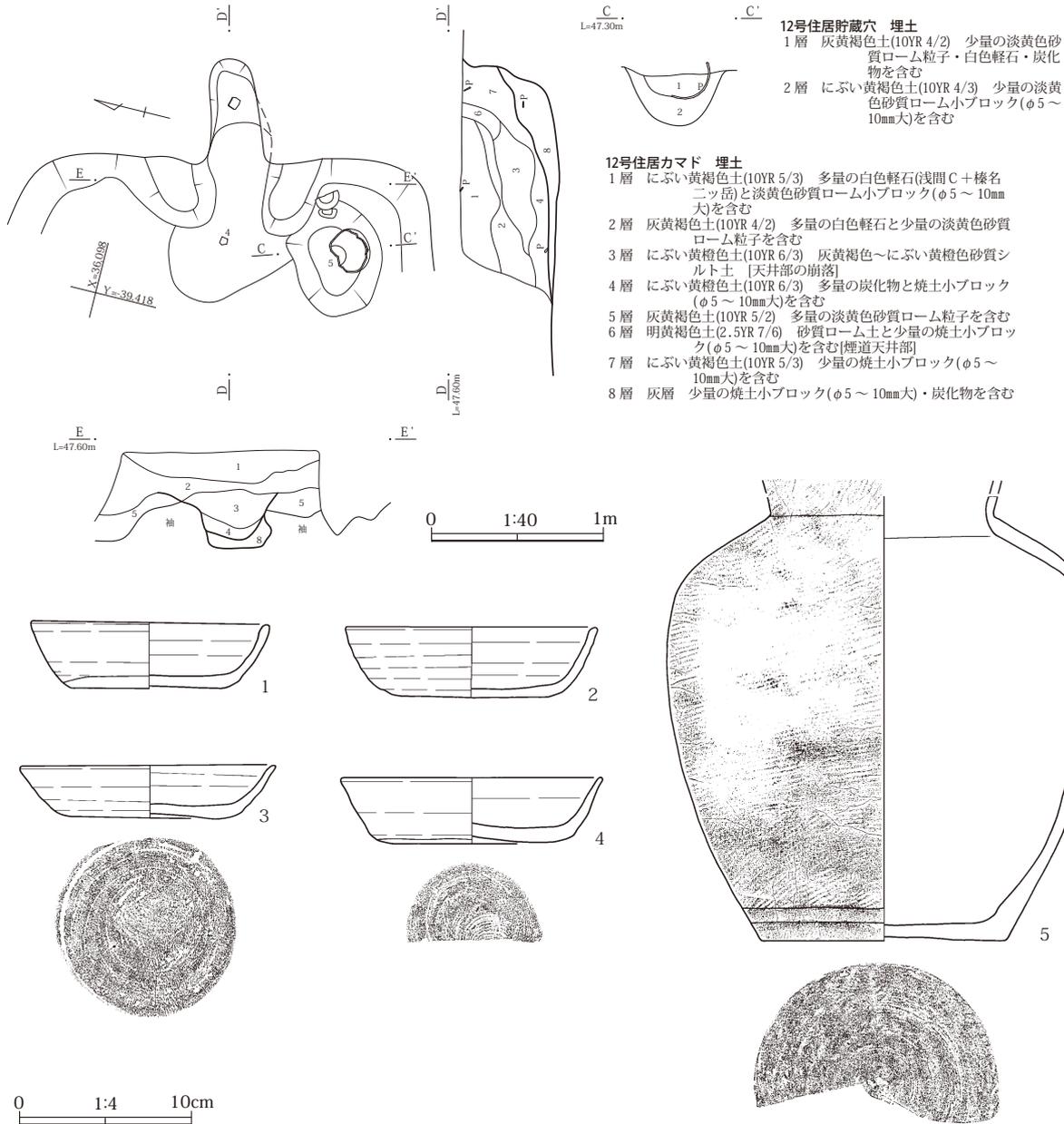
柱穴：なし。貯蔵穴：カマドの右側住居南東コーナー部にて、径70×50cm深さ34cmを測る貯蔵穴を検出する。

壁周溝：なし。重複遺構：なし。掘り方：カマドのみに掘り方を持つ。出土遺物：床面直上でほぼ完形の須恵器杯（No. 2）が出土した他、埋土中からほぼ完形の須恵器杯（No. 1）や、黒色土器の小片が出土している。また、貯蔵穴埋土内よりほぼ完形の須恵器杯（No. 3）と甕（No. 5）が、カマド内より須恵器杯（No. 4）が出土している



第507図 8区12号住居跡平・断面図、掘り方平面図

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物



第508図 8区12号住居跡カマド平・断面図、出土遺物

8区12号住居跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	床面+15cm ほぼ完形	口径 13.5 底径 8.4 器高 3.8	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰黄 (2.5Y 7/2)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り後、未調整。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
2	須恵器 杯	床面直上 ほぼ完形	口径 14.2 底径 9.1 器高 4.2	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰黄(2.5Y 6/2)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
3	須恵器 杯	貯蔵穴埋土中 ほぼ完形	口径 14.5 底径 8.3 器高 3.2	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白 (2.5Y 7/1)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り後周辺部を回転ヘラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	歪みあり。
4	須恵器 杯	竈埋土中 口縁部～底部 1/2	口径 14.8 底径 8.8 器高 3.8	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ にぶい黄橙(10YR 7/2)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り後周辺部を回転ヘラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
5	須恵器 甕	貯蔵穴埋土中 口縁部～底部 1/2	口径 — 底径 14.2 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰白 (5Y 7/2)	ロクロ整形。 外面：口縁部～胴部平行叩き目痕。底部回転ヘラ削り。 内面：口縁部～胴部上半回転ナデ調整。胴部下半ナデ調整、指頭痕あり。	底部外面中央に ヘラ記号「+」

第3章 検出遺構と出土遺物

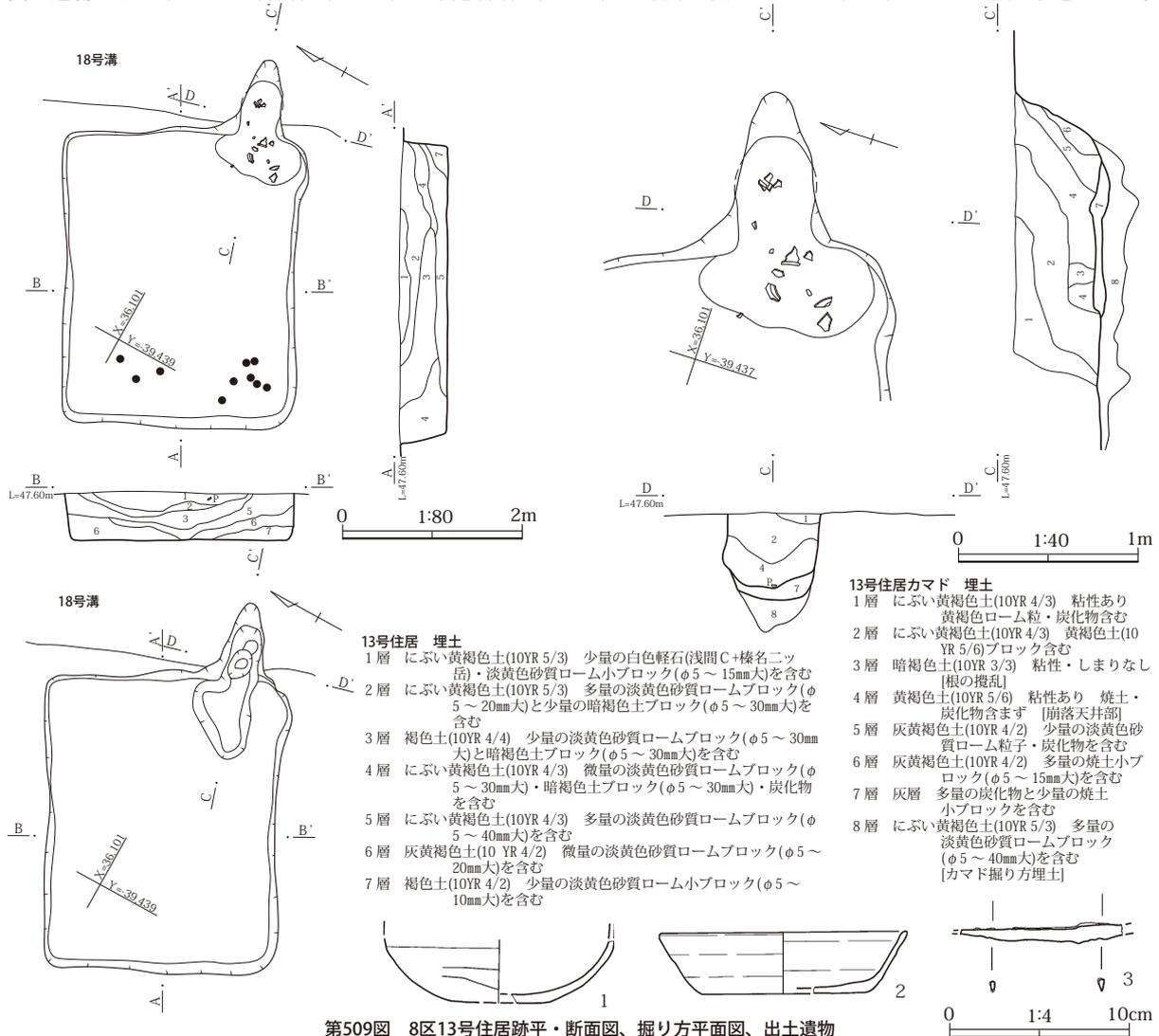
8区13号住居跡(旧称8区SJ-13)

位置：X=36,100 Y=-39,438 主軸方向：N-66°-E 規模：約3.3m×2.5m 平面形状：隅丸長方形

残存深度：47cm～53cm 埋没土：白色軽石・ロームブロックを含むにぶい黄褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。また、埋土中に8・9号溝跡の氾濫時にオーバーフローした、多量のにぶい黄褐色砂質土が斑状に混入することから、本住居跡の埋没時期は溝跡の氾濫後と推察される。床面：掘り方を持たないため、地山ローム面を床面とする。カマド：北東壁の南東コーナー寄りに位置する。燃烧部使用面には焼土と炭化物を含んだ灰層の堆積が認められ、この灰層直上には粘性のある天井部材が崩落している。煙道部は短く、急峻に立ち上がる。

柱穴：なし。貯蔵穴：なし。壁周溝：なし。重複遺構：18号溝跡と重複し、遺構確認時の埋土の様相より、本住居跡の方が新しいものと判断される。掘り方：カマドのみに掘り方を有する。

出土遺物：埋土中から土師器杯(No. 1)と須恵器杯(No. 2)の破片が出土している他は、わずかな出土状態である。



第509図 8区13号住居跡平・断面図、掘り方平面図、出土遺物

8区13号住居跡出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考		
1	土師器 椀	埋土中 口縁部～底部 1/6	口径 — 底径 5.4 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい赤褐 (2.5YR 4/3)	外面：口縁部横ナデ、体部～底部はヘラ削り。 内面：口縁部～体部横ナデ。			
2	須恵器 杯	埋土中 口縁部～底部 1/5	口径 13.5 底径 9.0 器高 3.4	① 細砂粒・粗砂粒・細礫・中礫 ② 還元焰 良好 ③ 青灰(5B 5/1)	口縁部整形。口縁部やや外反。 外面：底部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：底部回転ナデ調整。			
番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	摘要
3	鉄器	刀子	刃部大半欠損	8.9	1.1	0.4	6.0	錆化が進んでいる。

8区14号住居跡(旧称8区SJ-14)

位置：X=36,104 Y=-39,438 主軸方向：N-67°-E 規模：約3.1m×2.6m 平面形状：隅丸長方形

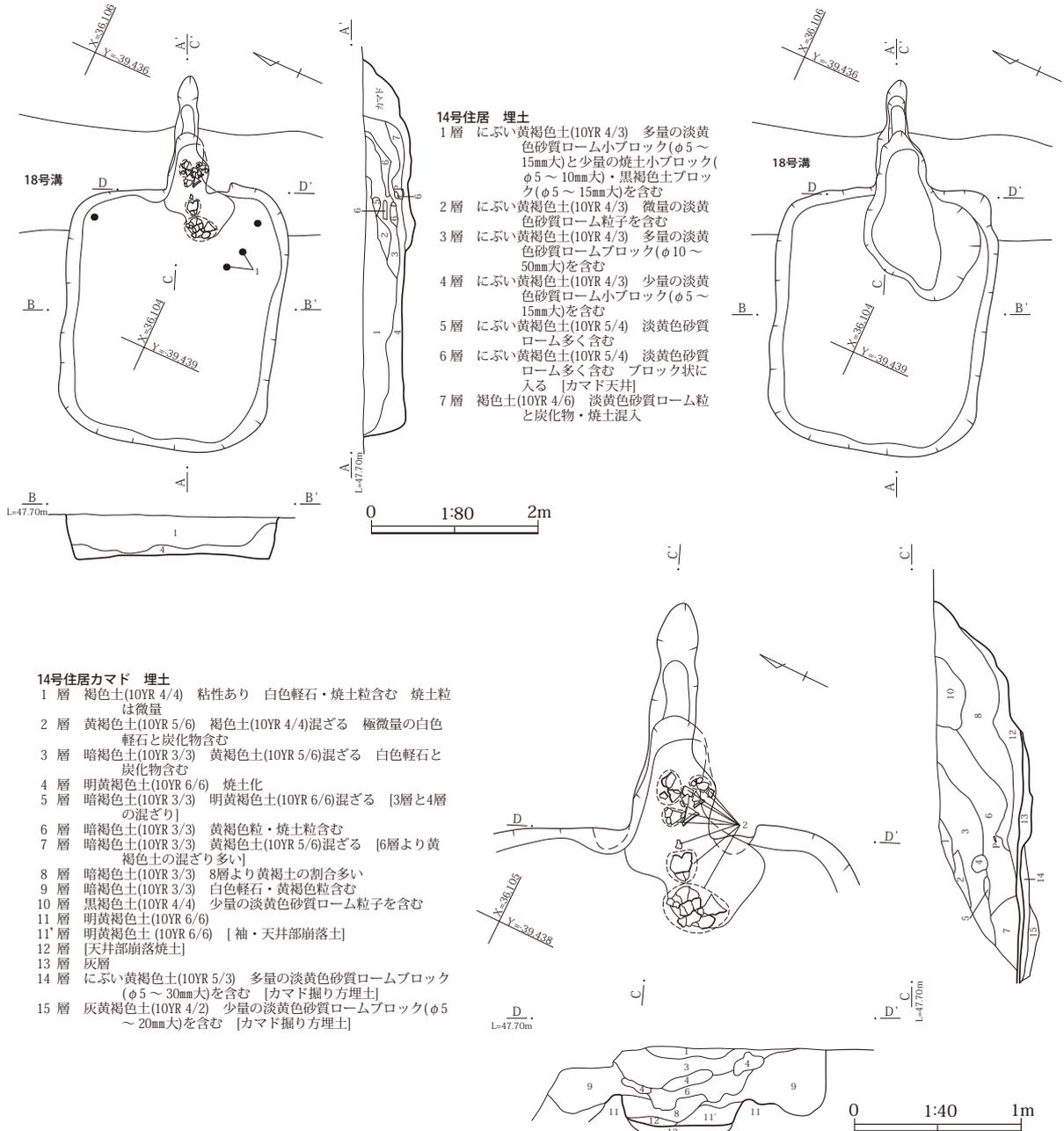
残存深度：38cm～54cm 埋没土：ロームブロック・黒褐色土ブロックなどを含むにぶい黄褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。また、埋土中に8・9号溝跡の氾濫時にオーバーフローした、多量のにぶい黄褐色砂質土が斑状に混入することから、本住居跡の埋没時期は溝跡の氾濫後と推察される。

床面：掘り方を持たないため、地山ローム面を床面とする。カマド：北東壁中央やや南東寄りに位置する。燃烧部使用面には灰層の堆積が認められ、灰層直上には焼土化した天井部材が崩落している。袖は砂質ロームで構築され、煙道部は長く緩やかに立ち上がる 柱穴：なし。 貯蔵穴：なし。 壁周溝：なし。

重複遺構：18号溝跡と重複し、遺構確認時の埋土の様相より、本住居跡の方が新しいものと判断される。

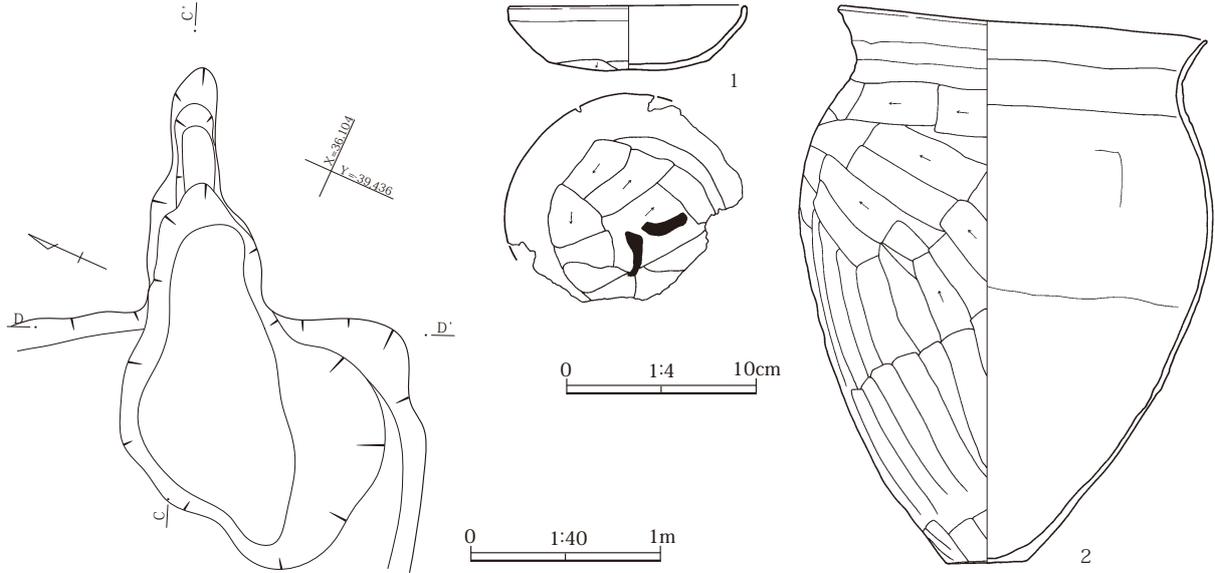
掘り方：カマドのみに掘り方を有する。 出土遺物：カマドで比較的多く出土したが、他はわずかな出土状態である。

カマド使用面で土師器甕(No. 2)のが、埋土中からは土師器杯(No. 1)が出土している。



第510図 8区14号住居跡平・断面図、掘り方平面図、カマド平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物



第511図 8区14号住居跡カマド掘り方平面図、出土遺物

8区14号住居跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	床面+32cm 口縁部~底部 1/2	口径 12.4 底径 — 器高 3.5	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい橙(7.5YR 6/4)	口縁部やや内湾。 外面：口縁部横ナデ、体部ナデ、底部は手持ちへら削り。 内面：口縁~底部横ナデ。	底部外面に墨書。
2	土師器 甕	竈使用面直上 口縁部~底部 3/4	口径 19.3 底径 4.2 器高 29.5	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 橙(7.5YR 7/6)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ。頸部は上位横方向のへら削り。中・下位斜め方向のへら削り。底部へら削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部~底部ナデ。	胴下半平面に黒斑あり。

8区15号住居跡(旧称8区SJ-15)

位置：X=36,121 Y=-39,425 主軸方向：N-82°-E

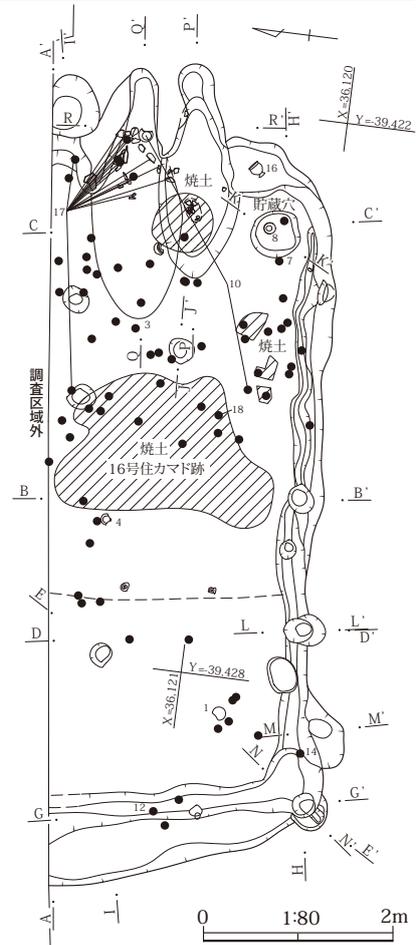
規模：約4.8×不明 平面形状：隅丸長方形か 残存深度：51cm~54cm

埋没土：白色軽石・黒褐色土ブロック・焼土粒・炭化物を含む灰黄褐色~褐灰色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。

床面：掘り方埋土であるロームを主体とした明黄褐色土で埋め固めて床面としている。カマド：東壁の中央南寄りに位置する。並行する2基のカマド跡が検出され、南側を南カマド、北側を北カマドと称した。南寄りにある南カマドは、その遺存状態から北カマドに先行して構築されたものと判断された。燃焼部使用面には良好な灰層の堆積が認められ、その直上には崩落した天井部が残る。燃焼部は平坦で、煙道部は急峻に立ち上がる。北側に位置する北カマドは、南カマドの崩落した天井部材をそのまま右袖部に転用していることなどから、南カマドの廃絶後これを埋め戻して北カマドを構築しているものと判断された。北カマドも燃焼部を中心に灰が厚く堆積しており、その直上には焼土化した天井部の崩落が認められた。燃焼部は平坦で、煙道部は急峻に立ち上がる。南・北の2基のカマド跡は、ほぼ規模を同じくし、構築方法も共通する。先行する南カマドの遺存状態から推察する限り、損傷したとしても修復して継続使用が可能な範囲と考えられ、廃絶し真横に新設する要因は明らかではない。

柱穴：南東コーナーから南西コーナーにかけての壁際にはほぼ等間隔で設けられたP1・2・3・4・6が壁柱穴になるものと思われる。

貯蔵穴：南カマドの右側、住居南東コーナー付近において、径54×50cm深



第512図 8区15号住居跡遺物出土図

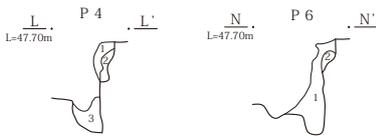
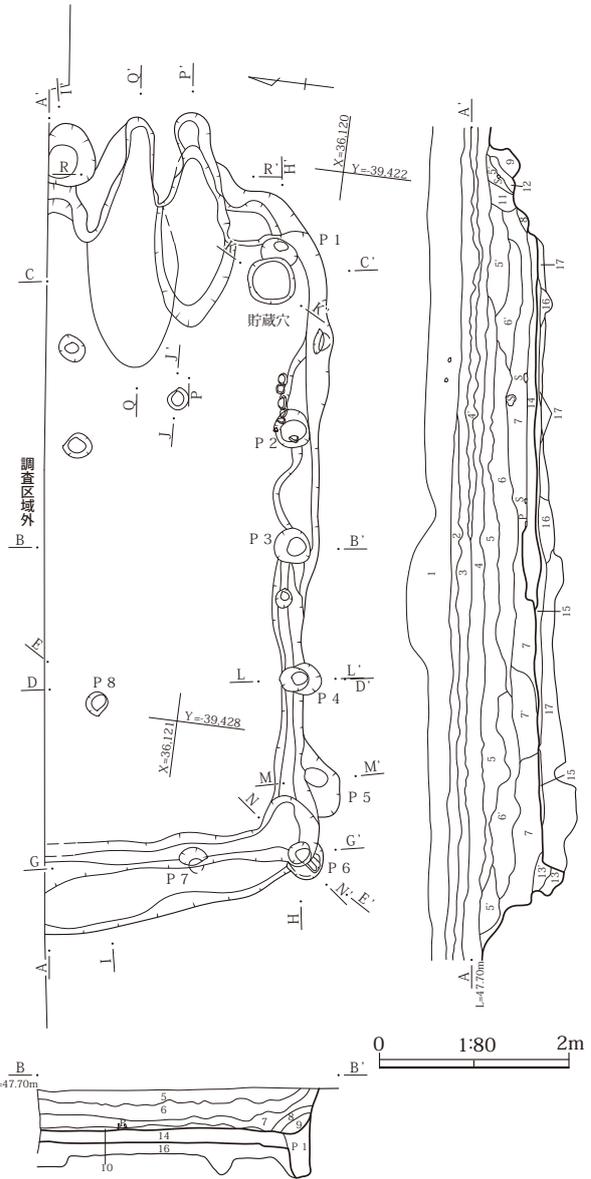
さは30cmを測る貯蔵穴が検出された。

**壁周溝：**南壁において幅23～43cm、深さ1～4cmを測る壁溝が検出され、後述の16号住居跡の壁溝を延長する形で設けられたものと考えられる。

**重複遺構：**本遺構のカマドの北側に土坑跡が1基検出され、遺構確認時の埋土の様相より本遺構よりも新しいと思われる。

**掘り方：**全体に4～18cmほど掘り窪める。

**出土遺物：**床面直上から須恵器長頸壺 (No.15) や石製紡錘車 (No.18)、カマド埋土内からほぼ完形の須恵器杯 (No.10)・杯 (No.13) や土師器甕 (No.17)、貯蔵穴埋土内より完形の須恵器杯 (No. 8)、埋土中から完形の土師器台付甕 (No.16)、ほぼ完形の須恵器杯 (No. 4)・蓋 (No. 2・3)、底部外面に「土」の墨書のある須恵器杯 (No.12) や須恵器蓋 (No. 1)、土師器鉢 (No.14)、掘り方埋土中から須恵器杯 (No. 6・7) 双耳杯 (No.11) などが出土した。また、住居南壁際直下で礫が6個連なって出土し、礫の径は大きいもので14cm、小さいものでは4cmを測る。



- 16号住居 P4・6 埋土**
- 1層 暗褐色土(10YR 3/3) 少量の白色軽石と淡黄色砂質ローム粒子を含む
  - 2層 暗褐色土(10YR 3/3) 多量の淡黄色砂質ロームブロック(φ5～20mm大)を含む
  - 3層 暗褐色土(10YR 3/3) 少量の炭化物を含む しまり弱

- 16号住居 P5 埋土**
- 1層 にぶい黄褐色土(10YR 6/4) 少量の白色軽石と焼土粒子を含む
  - 2層 にぶい黄褐色土(10YR 6/4) マンガン粒を含む



- 16号住居0-0' 埋土**
- 1層 黒褐色土(10YR 3/2) 微量の炭化物を含む
- 15号住居J-J' 埋土**
- 1層 褐灰色土(10YR 4/1) 少量の白色軽石・焼土粒子を含む
  - 2層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 多量の淡黄色砂質ローム粒子を含む
  - 3層 褐灰色弱粘質土 [住居掘り方埋土]



- 15・16号住居貯蔵穴 埋土**
- 1層 明黄褐色土(10YR 7/6) 微小の黄褐色の粒子を含む
  - 2層 褐灰色土(10YR 4/1)
  - 3層 明黄褐色土(10YR 7/6) 微小の褐灰色の粒子を含む φ10mm程度の焼土ブロックを少量含む
  - 4層 灰黄褐色土(10YR 4/2) φ10mm程度の炭化物のブロック・微小の明黄褐色の粒子を少量含む
  - 5層 黄褐色土(10YR 7/8) 明黄褐色の粒子・焼土を少し含む 砂質

- 15・16号住居 埋土**
- 1層 灰黄褐色砂質土(10YR 4/2) 表土 [現耕土]
  - 2層 赤褐色土(5YR 4/8) 多量の浅間B軽石を含み一部に純厚堆積を残す 酸化し変色する
  - 3層 黒褐色土(10YR 3/1) 多量の白色軽石(浅間C+榛名ニッ岳)を含む
  - 4層 灰黄褐色砂質土(10YR 6/2～4/2) 少量の白色軽石と微量の焼土小ブロック(φ5～10mm大)を含む
  - 4'層 灰黄褐色砂質土(10YR 6/2) 少量の白色軽石と微量の焼土小ブロック(φ5～10mm大)を含む
  - 5層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 多量の白色軽石(浅間C+榛名ニッ岳)と少量の黒褐色土ブロック(φ10～30mm大)・焼土粒子・炭化物を含む
  - 5'層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 5層土に類似 焼土粒子・炭化物を多く含む
  - 6層 にぶい黄褐色土(10YR 4/3) 多量の明黄褐色砂質ローム小ブロック(φ5～20mm大)と少量の黒褐色土ブロック(φ10～30mm大)・焼土粒子・炭化物・白色軽石を含む
  - 6'層 にぶい黄褐色土(10YR 4/3) 6層土に類似 焼土粒子をより多く含む
  - 7層 褐灰色土(10YR 4/1) 少量の白色軽石・焼土粒子・炭化物を含む
  - 7'層 にぶい黄褐色土(10YR 5/3) 少量の明黄褐色砂質ロームブロック(φ10～30mm大)・黒褐色土ブロック(φ10～30mm大)を含む
  - 8層 褐灰色土(10YR 4/1) 多量の明黄褐色砂質ロームブロック(φ10～30mm大)を含む
  - 9層 褐灰色土(10YR 4/1) 少量の明黄褐色砂質ローム粒子・焼土粒子を含む
  - 10層 褐灰色土(10YR 4/1) 多量の炭化物と少量の焼土小ブロック(φ5～15mm大)を含む
  - 11層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 多量の明黄褐色砂質ローム小ブロック(φ5～10mm大)と少量の白色軽石・焼土粒子を含む
  - 12層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 多量の明黄褐色砂質ローム小ブロック(φ5～10mm大)・焼土小ブロック(φ5～10mm大)を含む
  - 13層 にぶい黄褐色土(10YR 5/3) 多量の明黄褐色砂質ローム小ブロック(φ5～15mm大)を含む
  - 13'層 褐灰色土(10YR 4/1) 少量の明黄褐色砂質ローム小ブロック(φ5～15mm大)を含む
  - 14層 明黄褐色土(10YR 6/6) 明黄褐色砂質ローム土と灰黄褐色土の混土 [15号(SJ-15)掘り方埋土]
  - 15層 褐灰色土(10YR 4/1) 少量のローム粒子・焼土粒子を含む [貼り床土]
  - 16層 灰黄褐色土(10YR 5/2) 少量の焼土ブロック・灰を含む
  - 17層 にぶい黄褐色土(10YR 6/4) 多量の明黄褐色砂質ロームに灰黄褐色土ブロック(φ5～30mm大)・淡黄色砂質シルトブロック(φ5～30mm大)を含む [掘り方埋土]

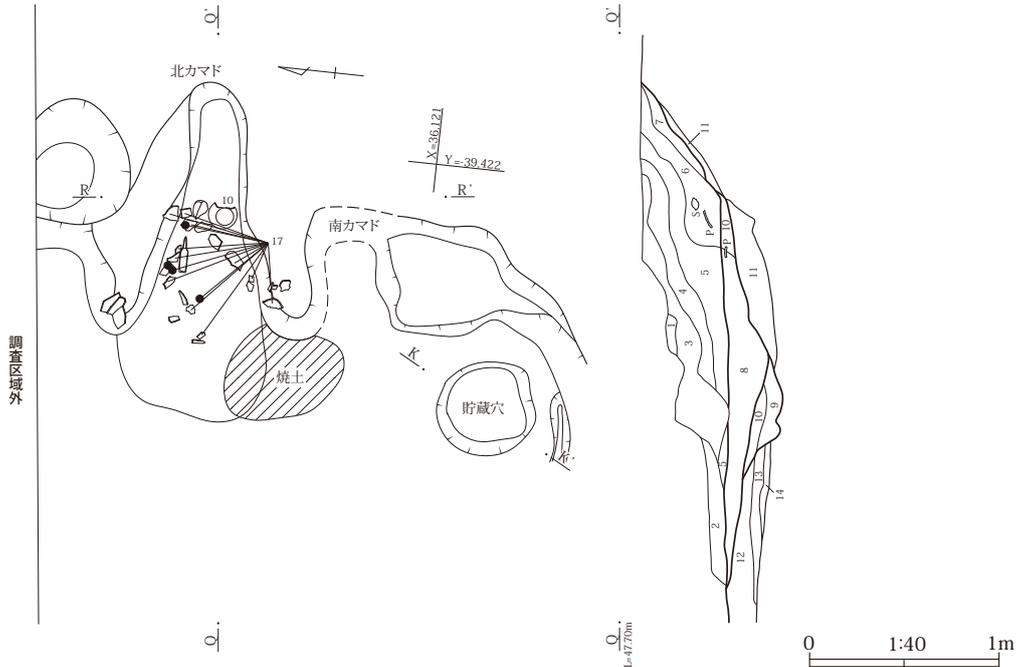
第513図 8区15号住居跡平・断面図

8区16号住居跡=15号住居拡張前  
(旧称8区SJ-16)

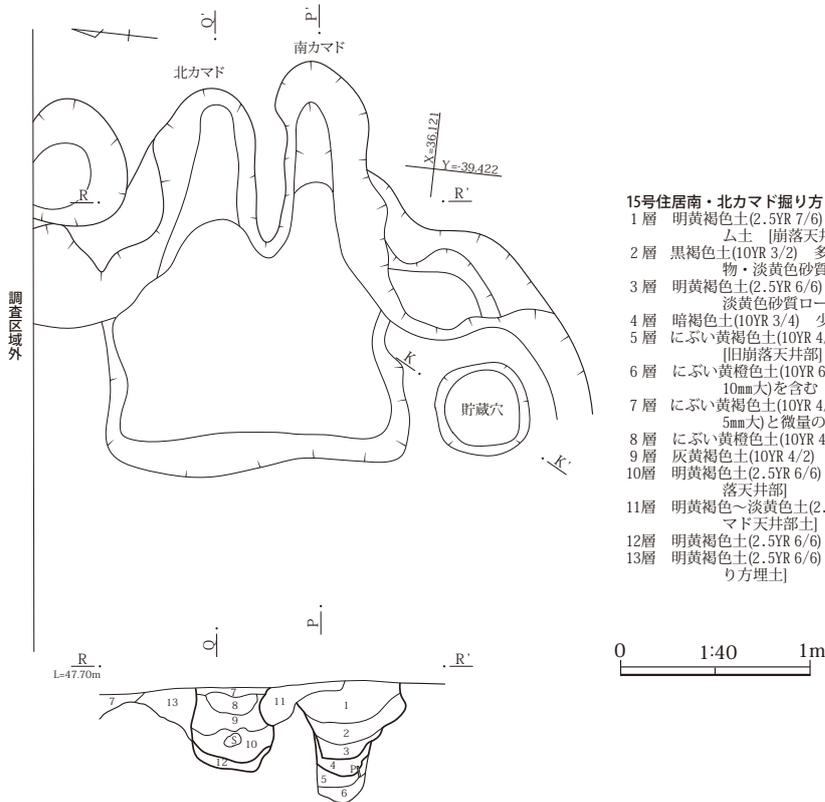
所見：15号住居跡調査時において、住居中央部付近の床面より多量の焼土・炭化物・灰が検出され、壊されたカマドの痕跡と判断し、15号住居跡以前の遺構として16号住居跡と命名された。重複遺構の可能性も考えられたが、床面に比高差があまりないこと、西壁および南壁西半部を共有していることなどから、カマドを壊して東側に拡張されたものと判断された。16号住居跡即ち拡張前の旧態として確認出来る部分は僅かで、西壁および南壁西半部において検出された幅22～37cm深さ7～21cmを測る壁溝と掘り方の一部にのみ旧態が認められる。



第514図 8区15号住居跡掘り方平・断面図、南カマド平・断面図

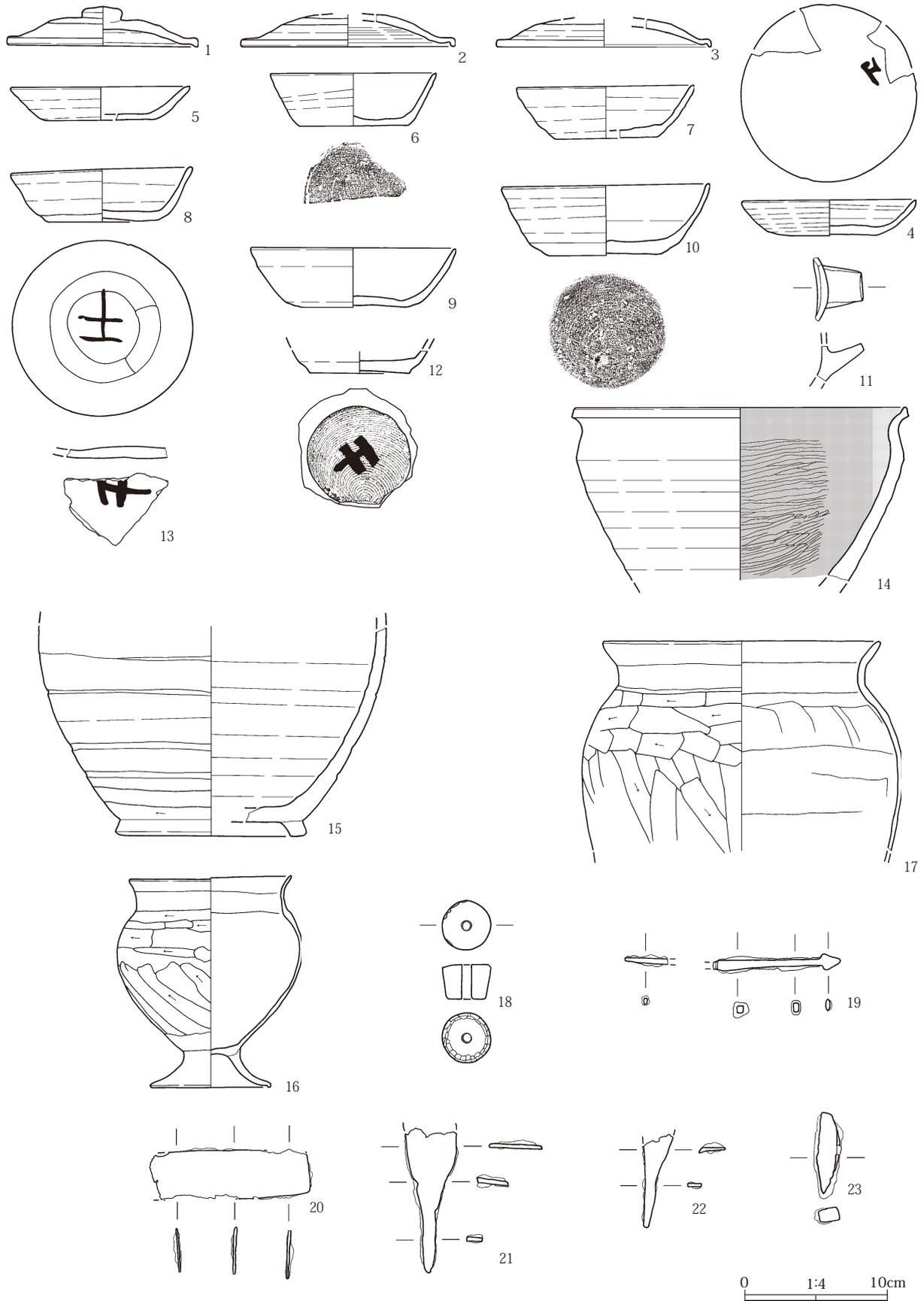


- 15号住居北カマド 埋土
- 1層 灰褐色土(10YR 4/2) 多量の淡黄色砂質ロームブロック(φ10～30mm大)を含む
  - 2層 にぶい黄褐色土(10YR 5/3) 多量の淡黄色砂質ローム粒子と少量の白色軽石・焼土粒子を含む
  - 3層 にぶい黄褐色土(10YR 4/3) 少量の淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5～15mm大)と微量の焼土粒子・炭化物を含む
  - 4層 にぶい黄褐色土(10YR 4/3) 多量の淡黄色ロームに少量の灰褐色土を含む
  - 5層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 微量の炭化物を含む
  - 6層 明黄褐色土(2.5YR 6/6) 多量の焼土小ブロック(φ5～15mm大)を含む [崩落天井部]
  - 7層 暗褐色土(10YR 3/4) 少量の焼土小ブロック(φ5～15mm大)を含む
  - 8層 灰層 少量の焼土小ブロック・炭化物を含む [使用面]
  - 9層 灰層 灰落としPit
  - 10層 明黄褐色土(2.5YR 6/6) 少量の焼土小ブロックを含む [崩落天井部]
  - 11層 明黄褐色土(2.5YR 6/6) 少量の焼土小ブロック(φ5～10mm大)を含む [掘り方埋土]
  - 12層 明黄褐色土(2.5YR 6/6) 多量の淡黄色砂質シルトブロック(φ5～20mm大)・焼土ブロックを含み硬化する [15住(SJ-15)貼り床]
  - 13層 灰層 [16住(SJ-16)に伴うカマド跡]
  - 14層 明黄褐色土(2.5YR 6/6) 少量の炭化物・焼土小ブロックを含む [16住(SJ-16)カマド掘り方]



- 15号住居南・北カマド掘り方 埋土
- 1層 明黄褐色土(2.5YR 7/6) 少量の焼土粒子を含む 淡黄～明黄褐色砂質ローム土 [崩落天井部]
  - 2層 黒褐色土(10YR 3/2) 多量の焼土小ブロック(φ5～10mm大)と少量の炭化物・淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5～15mm大)を含む
  - 3層 明黄褐色土(2.5YR 6/6) 多量の焼土小ブロック(φ5～10mm大)・炭化物・淡黄色砂質ロームブロック(φ5～30mm大)を含む
  - 4層 暗褐色土(10YR 3/4) 少量の焼土小ブロック(φ5～10mm大)を含む
  - 5層 にぶい黄褐色土(10YR 4/3) 多量の焼土ブロック(φ5～20mm大)を含む [旧崩落天井部]
  - 6層 にぶい黄褐色土(10YR 6/4) 少量の灰黄褐色土と焼土小ブロック(φ5～10mm大)を含む [構築時カマド掘り方埋土]
  - 7層 にぶい黄褐色土(10YR 4/3) 少量の淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5～5mm大)と微量の焼土粒子・炭化物を含む
  - 8層 にぶい黄褐色土(10YR 4/3) 多量の淡黄色ロームに少量の灰褐色土を含む
  - 9層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 微量の炭化物を含む
  - 10層 明黄褐色土(2.5YR 6/6) 多量の焼土小ブロック(φ5～15mm大)を含む [崩落天井部]
  - 11層 明黄褐色～淡黄色土(2.5YR 6/6～2.5Y 8/3) 淡黄色砂質ローム土 [北カマド天井部土]
  - 12層 明黄褐色土(2.5YR 6/6) 少量の焼土小ブロックを含む [崩落天井部]
  - 13層 明黄褐色土(2.5YR 6/6) 少量の焼土小ブロック(φ5～10mm大)を含む [掘り方埋土]

第515図 8区15号住居跡北カマド平・断面図、北・南カマド掘り方平・断面図



第516図 8区15号住居跡出土遺物

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

8区15号住居跡出土遺物

番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	石材	摘要
1	須恵器 杯蓋	床面+3cm 摘部~口縁部 4/5	口径 13.0 摘径 2.6 器高 2.7	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰黄 (2.5Y 7/2)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：天井部上半へラ削り。天井部下半~口縁部斜め方向のナデ。摘貼付。 内面：口縁部回転ナデ。天井部は乱方向のナデ。				
2	須恵器 杯蓋	埋土中 天井部上半~口縁部 1/5	口径 14.6 摘径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒・細礫・中礫 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰黄 (2.5Y 7/2)	ロクロ整形。 外面：天井部上半へラ削り。天井部下半横ナデ。 内面：天井部上半~口縁部回転ナデ。				
3	須恵器 杯蓋	床面+15cm 天井部上半~口縁部 1/4	口径 14.8 摘径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ オリーブ灰(2.5GY 6/1)	ロクロ整形。 外面：天井部上半へラ削り。天井部下半~口縁部横ナデ。 内面：天井部上半~口縁部回転ナデ。				
4	須恵器 杯	床面+7cm ほぼ完形	口径 12.0 底径 7.0 器高 2.5	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ オリーブ灰(2.5GY 6/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部手持ちへラ削り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。				底部外面に墨書。
5	須恵器 杯	埋土中 口縁部~底部 1/5	口径 12.2 底径 7.0 器高 2.3	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰 (N 6/0)	ロクロ整形。口縁部やや外反。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転へラ削り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。				
6	須恵器 杯	掘方埋土中 口縁部~底部 1/5	口径 11.2 底径 7.6 器高 3.7	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰白(7.5Y 7/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転糸切り後、へラ調整。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。				
7	須恵器 杯	床面-10cm 口縁部~底部 1/3	口径 12.2 底径 7.2 器高 3.7	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰 (N 4/0)	ロクロ整形。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転へラ削り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。				内面底部に火罨が認められる。
8	須恵器 杯	貯蔵穴埋土中 完形	口径 12.5 底径 7.7 器高 3.9	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白 (5Y 7/2)	ロクロ整形。回転右回り。口縁部やや外反。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転糸切り。底部周辺は回転へラ削り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。				底部外面に「土」の墨書。
9	須恵器 杯	埋土中 口縁部~底部 1/5	口径 14.0 底径 7.2 器高 4.2	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ にぶい橙(7.5YR 7/3)	ロクロ整形。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転糸切り後、へラ調整か。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。				内面底部に火罨が認められる。器面摩滅。
10	須恵器 杯	竈A埋土中 ほぼ完形	口径 14.3 底径 7.6 器高 4.9	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰黄(2.5Y 6/2)	ロクロ整形。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。				
11	須恵器 双耳杯	掘方埋土中 耳部	口径 - 底径 - 器高 -	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰オリーブ(5Y 6/2)	耳貼付。把手の長さ2.9cm、巾1.3cm、高さ2.5cm。 耳部へラ削り。				耳貼付。
12	須恵器 杯	床面+64cm 底部 底部のみ	口径 - 底径 7.0 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰白 (5Y 7/2)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：体部~底部回転ナデ調整。				底部外面に「土」の墨書。
13	須恵器 杯	竈A埋土中 底部 破片	口径 - 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰黄(2.5Y 6/1)	ロクロ整形。 外面：底部回転へラ削り。 内面：底部回転ナデ調整。				底部外面に「土」の墨書。
14	黒色土器 鉢	埋土中 口縁部~体部 破片	口径 22.9 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焰 良好 内面黒色処理 ③ にぶい黄橙(10YR 7/3)	輪積み。 外面：口縁部~体部横ナデ。輪積み痕あり。 内面：口縁部回転ナデ調整。体部へラ磨き。				
15	須恵器 長頸壺	床面直上 胴部~底部 1/6	口径 - 台径 12.7 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒・細礫・中礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰 (N 6/0)	ロクロ整形。台部貼付。 外面：口縁部~胴部回転ナデ。 内面：横ナデ。				
16	土師器 台付甕	床面+27cm ほぼ完形	口径 11.2 台径 8.4 器高 14.9	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 褐灰(7.5YR 4/1)	輪積み。台部貼付。 外面：口縁部横ナデ。胴部上半は横、下半は斜め方向へラ削り。台部横ナデ。 内面：口縁部横ナデ。胴部へラナデ。				
17	土師器 甕	カマドB埋土中 口縁部~胴部上半 1/3	口径 19.1 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい赤褐(5YR 5/4)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ。胴部上位横、中位斜め方向へラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部~底部へラナデ。				

番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	石材	摘要
18	石製品	紡錘車	完形	3.4	3.4	2.4	39	砥沢石	孔径0.6cm側面に加工時の痕跡が残る。
19	鉄器	鎌	茎部先端欠損	9.0	1.1	1.1	12.0		長頸腸挟(浅逆刺)三角形鎌の一種か。
20	鉄器	鎌	小片	4.3	3.4	0.4	7.0		錆化、腐食とも激しい。
21	鉄器	鎌	刃部片	7.8	3.5	0.5	20.0		錆化が進んでいる。
22	鉄器	不明	先端部欠損	10.3	3.6	0.9	27.0		用途不明。錆化が激しい。錆化、腐食とも激しい。
23	鉄器	不明	柄部片	6.6	2.1	0.9	8.0		用途不明。錆化が激しい。錆化、腐食とも激しい。

第3章 検出遺構と出土遺物

3、掘立柱建物跡

8区1号掘立柱建物跡(旧称8区SB-1)

位置: X=36088 Y=-39440

主軸方向: 北辺 N-104° -W

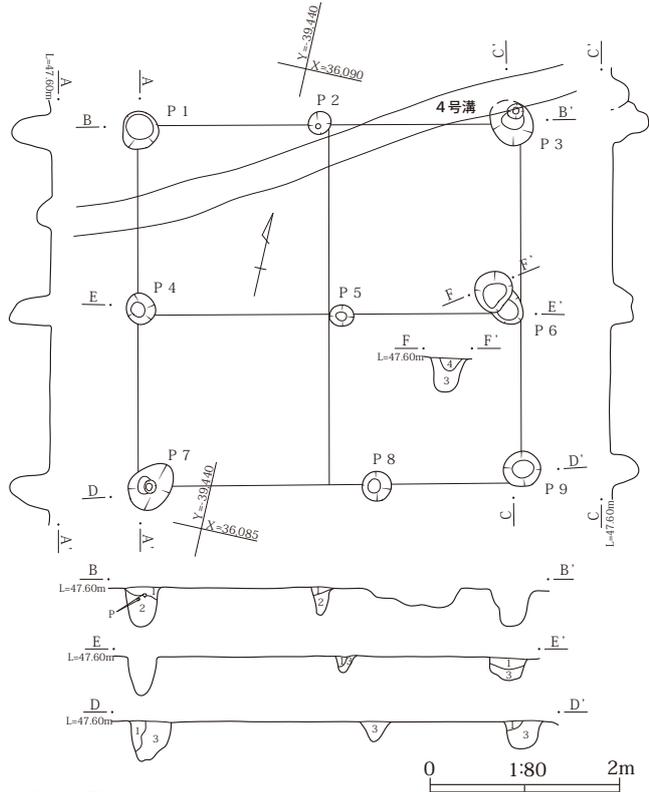
規模: 2間×2間 総柱建物。北辺(P1-P2-P3) 4.0m、南辺(P7-P8-P9) 4.0m、東辺(P9-P6-P3) 3.8m、西辺(P1-P4-P7) 3.8m

面積: 15.2㎡

柱穴径・深度: P1=径41×37cm 深さ42cm、P2=径25×23cm 深さ32cm、P3=径50×42cm 深さ58cm、P4=径33×31cm 深さ43cm、P5=径26×24cm 深さ29cm、P6=径42×32cm 深さ22cm、P7=径54×41cm 深さ53cm、P8=径32×32cm 深さ24cm、P9=径40×39cm 深さ31cm

重複遺構: 4号溝跡と重複し、遺構確認時の埋土の様相より本建物跡の方が古いものと判断される。

出土遺物: 付近から土師器甕の破片が1点出土しているが、遺構との関係は不明である。



1号掘立柱建物 埋土

- 1層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 少量の黄色砂質ローム粒子・ブロック(φ3~30mm大)を含む
- 2層 灰褐色土(7.5YR 4/2) 少量の黄色砂質ロームブロック(φ5~30mm大)を含む
- 2'層 灰褐色土(7.5YR 4/2) 2層土よりロームブロックの混入がやや多い
- 3層 灰褐色土(7.5YR 4/2) 少量の白色軽石(浅間C+榛名ニッ岳)・炭化物・焼土粒子を含む
- 4層 黒褐色土(7.5YR 3/2) 多量の白色軽石(浅間C+榛名ニッ岳)を含む

第517図 8区1号掘立柱建物跡平・断面図

8区2号掘立柱建物跡(旧称8区SB-2)

位置: X=36102 Y=-39427

主軸方向: 北辺 N-107° -W

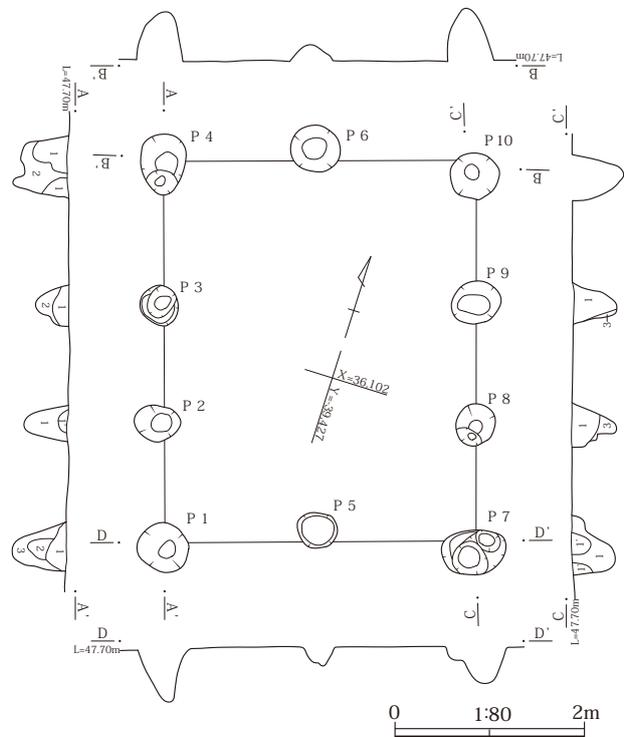
規模: 2間×3間。北辺(P10-P6-P4) 3.3m、南辺(P1-P5-P7) 3.3m、東辺(P7-P8-P9-P10) 4.0m、西辺(P4-P3-P2-P1) 4.0m

面積: 13.2㎡

柱穴径・深度: P1=径54×49cm 深さ56cm、P2=径49×38cm 深さ49cm、P3=径45×39cm 深さ25cm、P4=径64×47cm 深さ59cm、P5=径42×37cm 深さ20cm、P6=径53×49cm 深さ32cm、P7=径70×63cm 深さ45cm、P8=径46×40cm 深さ49cm、P9=径53×46cm 深さ46cm、P10=径51×49cm 深さ55cm

重複遺構: 74号Pit跡と重複し、相互の埋土の様相より本建物跡の方が新しいものと判断される。

出土遺物: P1埋土中から土師器甕と須恵器甕の破片が、P8埋土中からは土師器甕の破片が出土する。



2号掘立柱建物 埋土

- 1層 灰褐色土(7.5YR 4/2) 少量の白色軽石(浅間C+榛名ニッ岳)とローム粒子を含む
- 1'層 灰褐色土(7.5YR 4/2) 1層土+少量のローム小ブロック(φ5~10mm大)
- 2層 灰褐色土(7.5YR 4/2) 少量の淡黄色砂質ロームブロック(φ5~20mm大)と炭化物を含む
- 3層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 少量の淡黄色砂質ロームブロック(φ5~20mm大)を含む

第518図 8区2号掘立柱建物跡平・断面図

8区3号掘立柱建物跡 (旧称8区SB-3)

位置：X=36073 Y=-39434

主軸方向：北辺がN-114° -W

規模：2間×3間。北辺(P3-P2-P1) 3.6m、南辺(P11-P8-P9) 3.6m、東辺(P9-P7-P5-P3) 4.95m、西辺(P1-P4-P6-P11) 4.95m

面積：17.82㎡

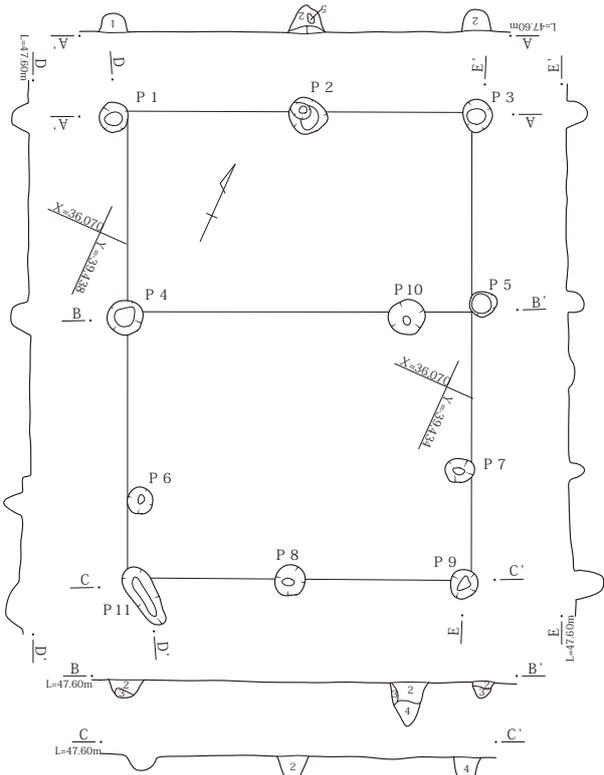
柱穴径・深度：P1=径32×30cm 深さ20cm、P2=径41×37cm 深さ37cm、P3=径37×31cm 深さ23cm、P4=径39×39cm 深さ19cm、P5=径30×27cm 深さ20cm、P6=径28×28cm 深さ22cm、P7=径30×25cm 深さ23cm、P8=径34×31cm 深さ30cm、P9=径32×28cm 深さ32cm、P10=径40×38cm 深さ48cm、P11=径68×28cm 深さ20cm 重複遺構：なし。

出土遺物：P9埋土中から土師器甕の破片が出土している。

3号掘立柱建物 埋土

- 1層 にぶい黄褐色土(10YR 6/3) 黄褐色土を含む 微細の火山軽石を微量含む
- 2層 灰黄褐色土(10YR 4/2) にぶい黄褐色土を含む
- 3層 にぶい黄褐色土(10YR 5/4) 黄褐色土を含む
- 4層 明黄褐色土(10YR 7/6) 褐灰色土を含む
- 5層 明黄褐色土(10YR 7/6) 褐灰色土を含む ブロック状 2層の中に入っている

0 1:80 2m



第519図 8区3号掘立柱建物跡平・断面図

8区4号掘立柱建物跡

(旧称8区SB-4)

位置：X=36107 Y=-39430

主軸方向：北辺がN-105° -W

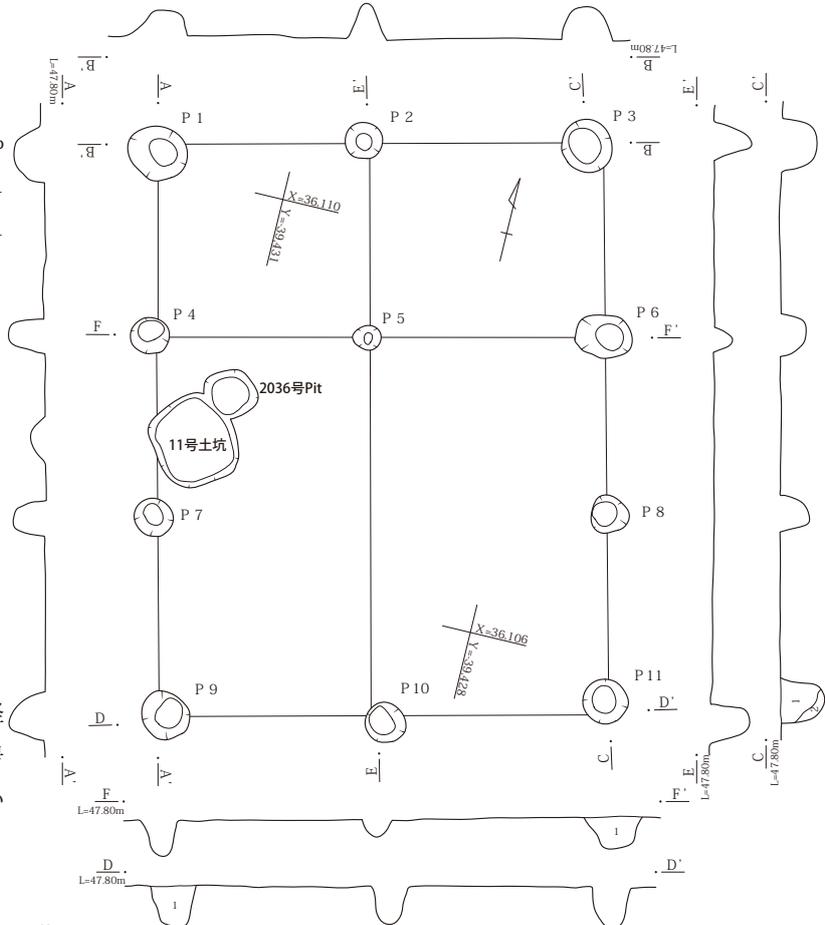
規模：2間×3間、総柱建物 北辺(P3-P2-P1) 4.7m、南辺(P9-P10-P11) 4.7m、東辺(P11-P8-P6-P3) 6.0m、西辺(P1-P4-P7-P9) 6.0m 面積：28.20㎡

柱穴径・深度：P1=径66×56cm 深さ29cm、P2=径40×38cm 深さ39cm、P3=径58×52cm 深さ37cm、P4=径40×38cm 深さ39cm、P5=径32×26cm 深さ19cm、P6=径62×45cm 深さ35cm、P7=径42×40cm 深さ36cm、P8=径40×40cm 深さ32cm、P9=径52×47cm 深さ41cm、P10=径43×43cm 深さ41cm、P11=径48×47cm 深さ47cm 重複遺構：11号土坑跡と重複する。直接的な切り合いがなく、新旧関係は不明。

出土遺物：なし。

4号掘立柱建物 埋土

- 1層 灰黄褐色砂質土(10YR 4/2) 少量の白色軽石(浅間C+榛名二ツ岳)と微量の焼土粒子・炭化物を含む
- 2層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 少量のローム粒子を含む



第520図 8区4号掘立柱建物跡平・断面図

0 1:80 2m

8区5号掘立柱建物跡(旧称8区SB-5)

位置: X=36123 Y=-39467 主軸方向: 北辺N-111°-W

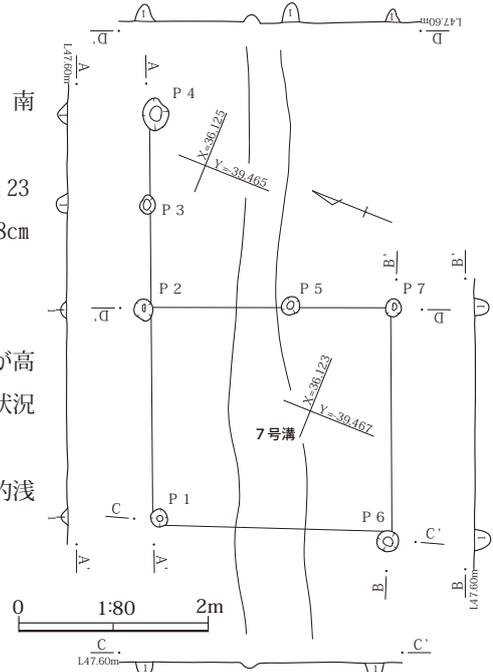
規模: 2間×4間、総柱建物 北辺(P4-P3-P2-P1)4.35m、南辺(P6-P7)2.35m、東辺 不明、西辺(P1-P6)2.5m

面積: 不明 柱穴径・深度: P1=径19×19cm 深さ18cm、P2=径23×20cm 深さ20cm、P3=径20×17cm 深さ13cm、P4=径34×28cm 深さ20cm、P5=径20×19cm 深さ23cm、P6=径24×23cm 深さ19cm、P7=径19×16cm 深さ17cm

重複遺構: 7号溝と重複する。検出レベルは37cmの高低差がある。溝が高い位置にあり、本遺構の検出時には溝の最深部がわずかに見えている状況である。よって、溝の方が新しい。 出土遺物: なし。

所見: 柱穴埋土中に8・9号溝跡洪水層土を含み、柱穴の深度も比較的にことから、洪水による倒壊・削平の可能性も考えられる。

5号掘立柱建物 埋土  
1層 黒色土 灰白土(洪水層)・微量の白色軽石含む



第520図 8区5号掘立柱建物跡平・断面図

8区6号掘立柱建物跡(旧称8区SB-6)

位置: X=36114 Y=-39434

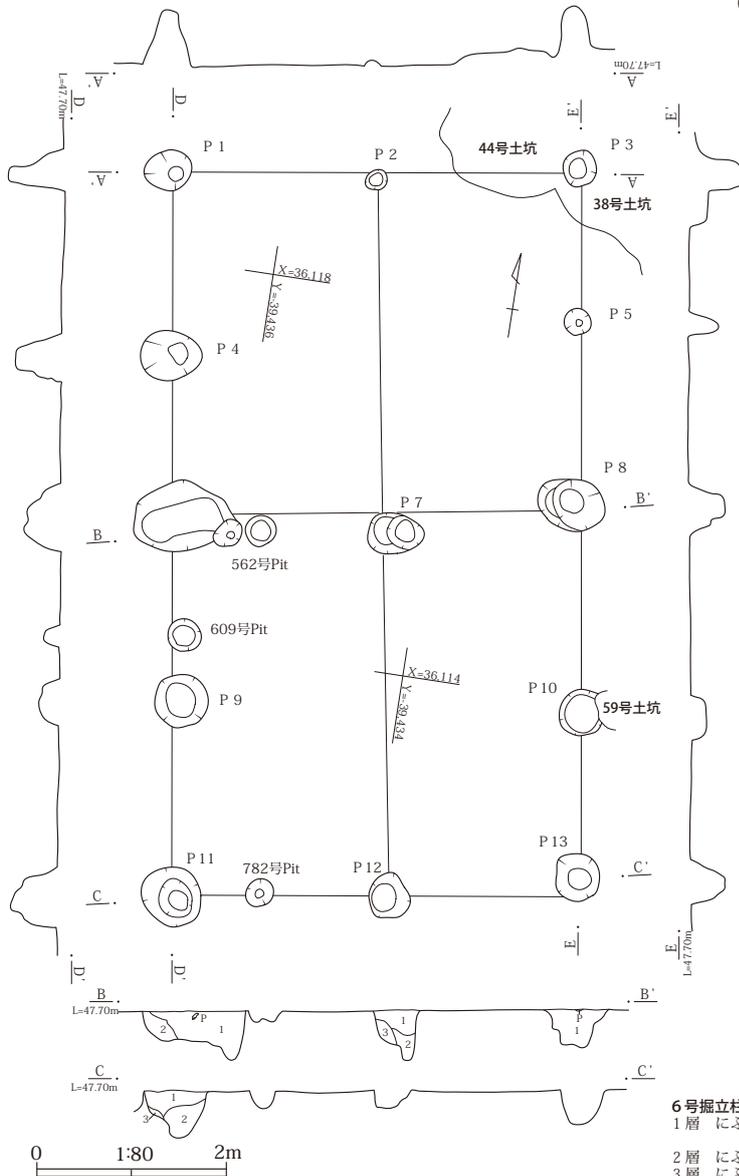
主軸方向: 北辺N-98°-W

規模: 2間×4間、総柱建物。北辺(P3-P2-P1)4.3m、南辺(P11-P12-P13)4.3m、東辺(P13-P10-P8-P5-P3)7.6m、西辺(P1-P4-P6-P9-P11)7.6m

面積: 32.68㎡ 柱穴径・深度: P1=径52×42cm 深さ60cm、P2=径25×22cm 深さ8cm、P3=径41×37cm 深さ48cm、P4=径65×53cm 深さ52cm、P5=径29×28cm 深さ33cm、P6=径105×72cm 深さ46cm、P7=径60×45cm 深さ51cm、P8=径73×55cm 深さ39cm、P9=径57×56cm 深さ24cm、P10=径48×48cm 深さ18cm、P11=径66×60cm 深さ51cm、P12=径49×46cm 深さ20cm、P13=径53×51cm 深さ37cm

重複遺構: 38・42・44・59号土坑跡、562・609・782と重複する。土坑跡は埋土の様相から土坑の方が新しいものと判断される。Pit跡とは直接的に切り合っていないため、新旧関係は不明である。 出土遺物: P8の埋土中から須恵杯の底部片が出土。

6号掘立柱建物 埋土  
1層 にぶい黄褐色土(10YR 5/3) 少量の白色軽石(浅間C+榛名二ツ岳)と淡黄色砂質ローム粒子を含む  
2層 にぶい黄褐色土(10YR 4/3) 微量の淡黄色砂質ローム粒子を含む  
3層 にぶい黄褐色土(10YR 4/3) 少量の淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5~10mm大)を含む



第521図 8区6号掘立柱建物跡平・断面図

8区7号掘立柱建物跡 (旧称8区SB-7)

位置：X=36099 Y=-39460

主軸方向：北辺がN-109° -W

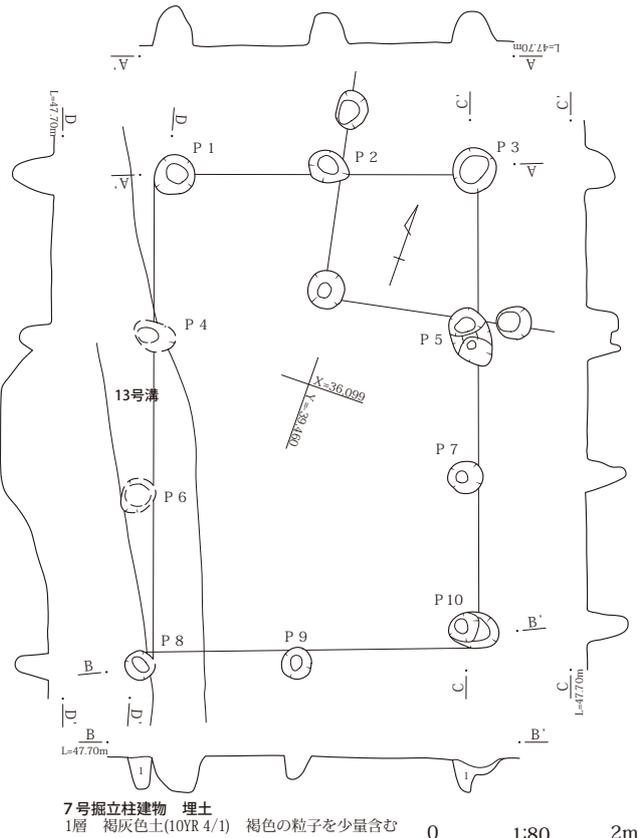
規模：2間×3間。北辺 (P3-P2-P1) 3.4m、南辺 (P8-P9-P10) 3.6m、東辺 (P10-P7-P5-P3) 5.0m、西辺 (P1-P4-P6-P8) 5.0m

面積：17.5㎡

柱穴径・深度：P1 = 径45×43cm 深さ43cm、P2 = 径44×35cm 深さ36cm、P3 = 径49×46cm 深さ33cm、P4 = 径不明×30cm 深さ41cm、P5 = 径63×41cm 深さ35cm、P6 = 径不明×不明 深さ41cm、P7 = 径37×33cm 深さ42cm、P8 = 径30×30cm 深さ42cm、P9 = 径33×31cm 深さ25cm、P10 = 径54×38cm 深さ45cm

重複遺構：8号掘立柱建物跡・13号溝跡と重複する。13号溝跡は埋土の様相より本掘立柱建物跡の方が古いものと判断される。8号掘立柱建物跡とは直接的に切り合っていないため、新旧関係は不明である。

出土遺物：なし。



第522図 8区7号掘立柱建物跡平・断面図

8区8号掘立柱建物跡 (旧称8区SB-8)

位置：X=36102 Y=-39458

主軸方向：北辺がN-102° -W

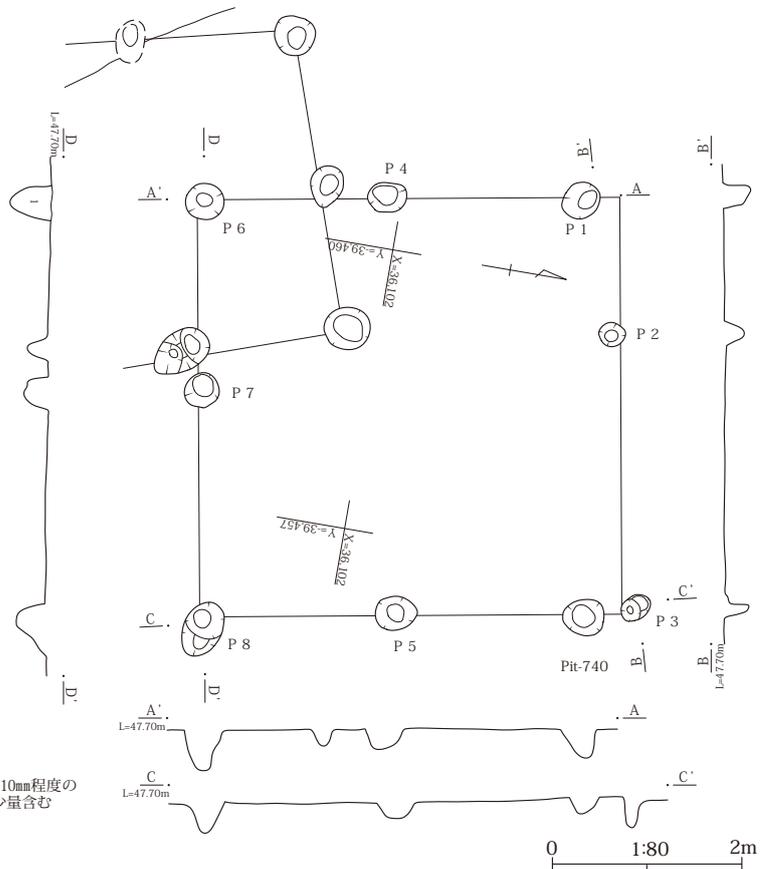
規模：2間×2間。北辺 (P3-P2-P1) 4.4m、南辺 (P6-P7-P8) 4.4m、東辺 (P8-P5-P3) 4.4m、西辺 (P1-P4-P6) 4.4m

面積：19.36㎡

柱穴径・深度：P1 = 径40×37cm 深さ30cm、P2 = 径28×25cm 深さ22cm、P3 = 径33×26cm 深さ34cm、P4 = 径39×31cm 深さ24cm、P5 = 径43×36cm 深さ26cm、P6 = 径39×38cm 深さ43cm、P7 = 径37×36cm 深さ25cm、P8 = 径59×40cm 深さ33cm

重複遺構：7号掘立柱建物跡・740号Pit跡と重複する。両遺構共に直接的な切り合いがないため、新旧関係は不明である。

出土遺物：なし。



第523図 8区8号掘立柱建物跡平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物

8区9号掘立柱建物跡(旧称8区SB-9)

位置: X=36106 Y=-39453

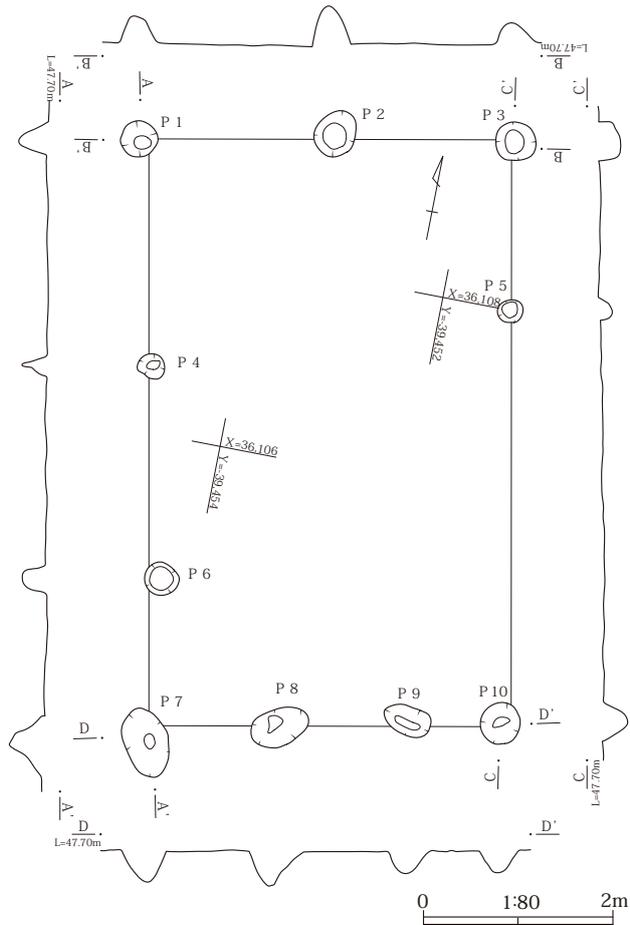
主軸方向: 北辺N-102°-W

規模: 2間×3間、北辺(P3、P2、P1) 3.8m、南辺(P7、P8、P9、P10) 3.8m、東辺(P10、P5、P3) 6.15m、西辺(P1、P4、P6、P7) 6.15m

面積: 23.37㎡

柱穴径・深度: P1=径38×38cm 深さ29cm、P2=径52×42cm 深さ43cm、P3=径44×43cm 深さ25cm、P4=径28×26cm 深さ25cm、P5=径26×24cm 深さ13cm、P6=径37×35cm 深さ25cm、P7=径74×46cm 深さ35cm、P8=径63×40cm 深さ38cm、P9=径50×30cm 深さ25cm、P10=径44×41cm 深さ25cm

重複遺構: なし。 出土遺物: なし。



第524図 8区9号掘立柱建物跡平・断面図

8区10号掘立柱建物跡(旧称8区SB-10)

位置: X=36084 Y=-39426

主軸方向: 北辺N-105°-W

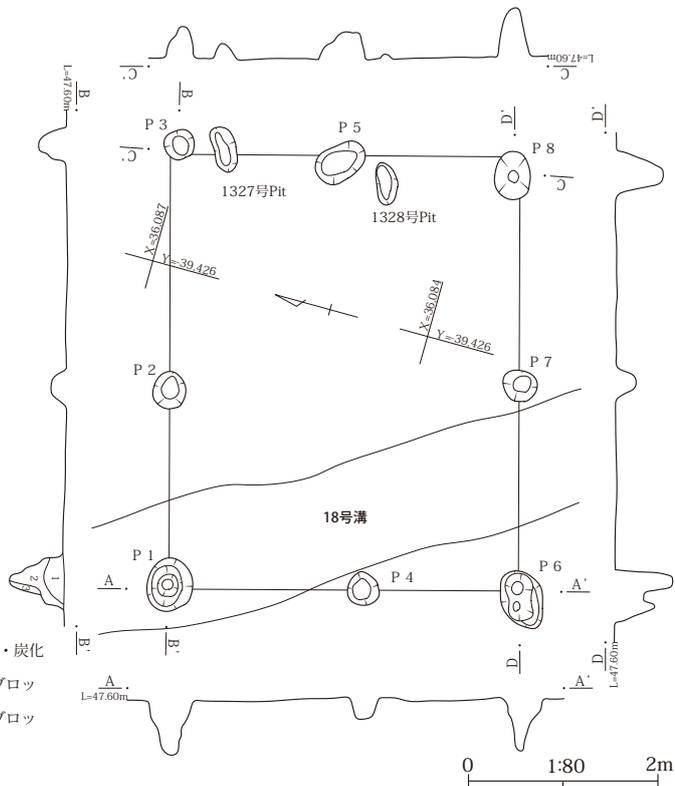
規模: 3間×2間、北辺(P3、P2、P1) 4.6m、南辺(P6、P7、P8) 4.6m、東辺(P8、P5、P3) 3.65m、西辺(P1、P4、P6) 3.65m

面積: 16.79㎡

柱穴径・深度: P1=径56×46cm 深さ52cm、P2=径40×34cm 深さ19cm、P3=径33×33cm 深さ33cm、P4=径36×33cm 深さ24cm、P5=径56×36cm 深さ30cm、P6=径65×44cm 深さ62cm、P7=径36×34cm 深さ49cm、P8=径50×40cm 深さ36cm

重複遺構: 18号溝、1327号Pit、1328号Pitが重複している。溝が前出である。1327号Pitと1328号Pitは柱穴と直接切り合わないことから新旧関係は不明である。

出土遺物: P3の埋土中から須恵器の杯の小片、P5からは土師器の甕の小片が出土している。



第525図 8区10号掘立柱建物跡平・断面図

10号掘立柱建物 埋土

- 1層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 少量の白色軽石・焼土粒子・炭化物粒を含む
- 2層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 少量の淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5~10mm大)を含む
- 3層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 多量の淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5~10mm大)を含む

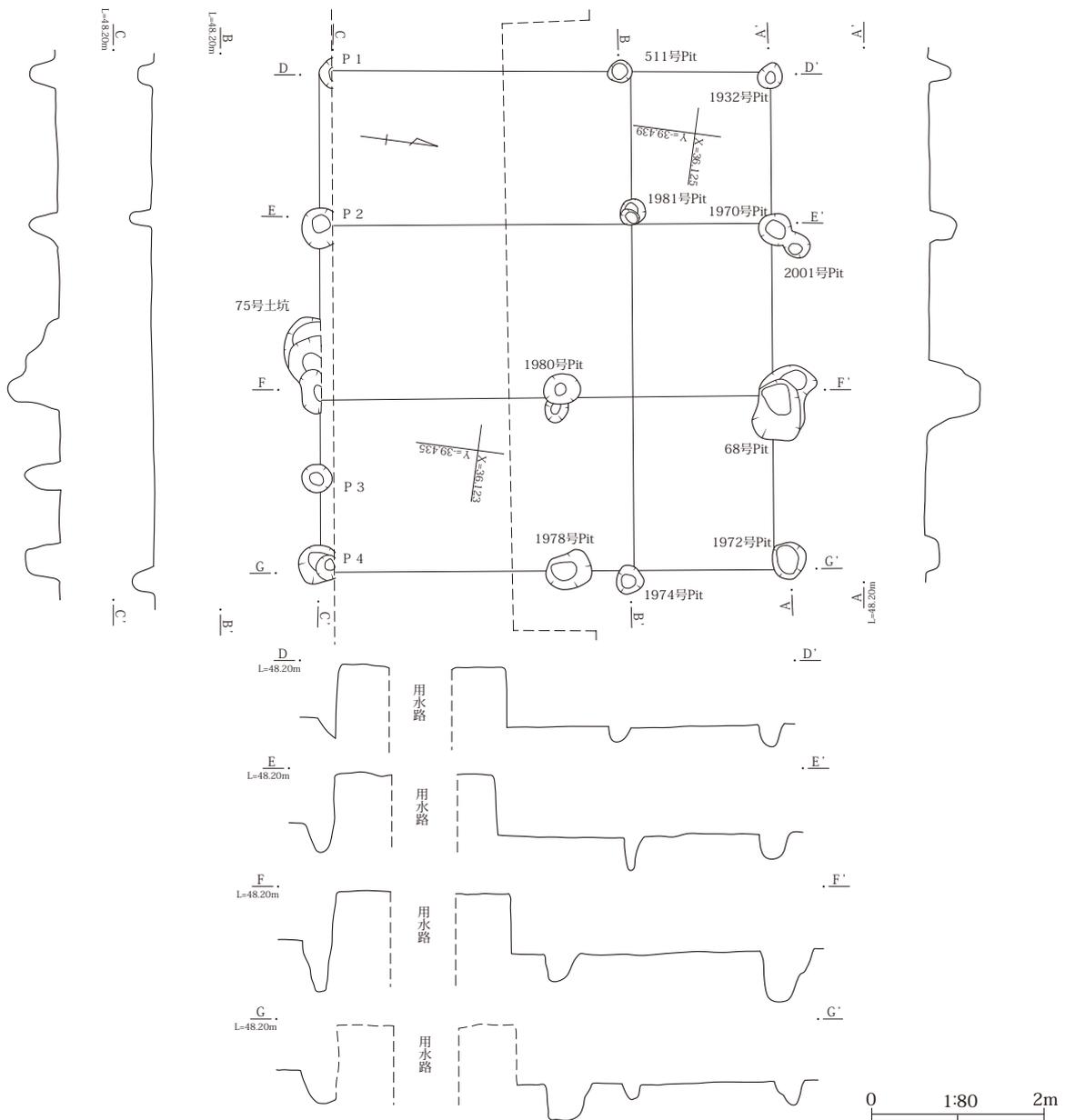
8区11号掘立柱建物跡 (旧称8区SB-11)

位置：X=36124 Y=-39436 主軸方向：北辺N-99°-W

規模：3間×3間、総柱建物。北辺 (P1972、SK69、P1970、P1932) 5.8m、南辺 (P 1、P 2、SK75、P 3、P 4) 5.8m、東辺 (P 4、P1978、P1974、P1972) 5.2m、西辺 (P1932、P511、P 1) 5.2m 面積：30.16㎡ 柱穴径・深度：P1932 = 径30×27cm 深さ30cm、P1970 = 径39×36cm 深さ31cm、SK69 = 径96×54cm 深さ61cm、P1972 = 径42×40cm 深さ32cm、P511 = 径28×27cm 深さ19cm、P1981 = 径32×29cm 深さ41cm、P1974 = 径33×31cm 深さ26cm、P1980 = 径42×35cm 深さ31cm、P1978 = 径55×40cm 深さ44cm、P 1 = 径不明×不明 深さ23cm、P 2 = 径47×不明 深さ36cm、SK75 = 径111×不明 深さ62cm、P 3 = 径35×34cm 深さ42cm、P 4 = 径不明×43cm 深さ54cm

重複遺構：なし。 出土遺物：なし。

※調査区端に位置し、調査時において、当初は用水路を跨ぐ掘立柱建物跡との認識なく、単独土坑・Pit跡とされたため、柱穴に土坑・Pit番号が付与された。原図等との整合性を保つため、報告時においてもその番号を踏襲した。



第526図 8区11号掘立柱建物跡平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物

8区12号掘立柱建物跡(旧称8区SB-12)

位置: X=36130 Y=-39437

主軸方向: 南辺N-101°-W

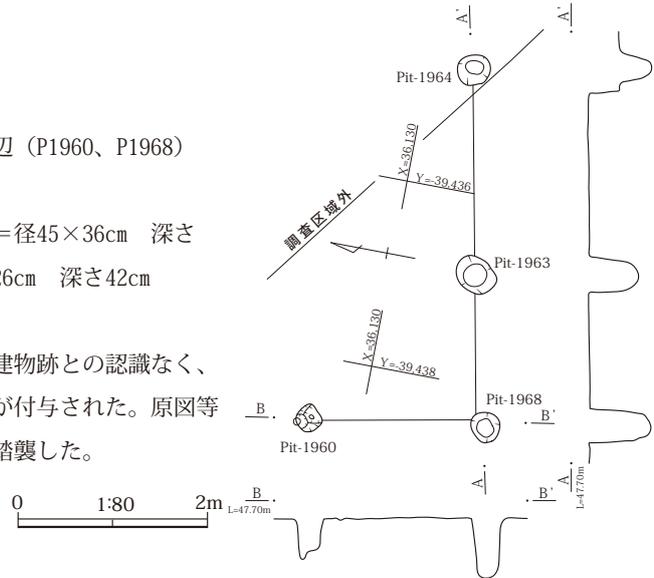
規模: 不明。南辺(P1968、P1963、P1964) 3.7m、西辺(P1960、P1968)

1.8m 面積: 不明

柱穴径・深度: P1968=径33×29cm 深さ64cm、P1963=径45×36cm 深さ53cm、P1964=径36×35cm 深さ66cm、P1960=径29×26cm 深さ42cm

重複遺構: なし。 出土遺物: なし。

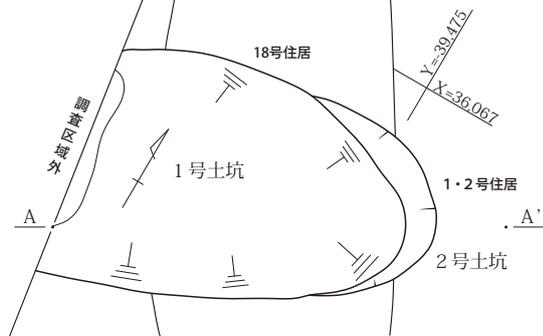
※調査区端に位置し、調査時において、当初は掘立柱建物跡との認識なく、単独土坑・Pit跡とされたため、柱穴に土坑・Pit番号が付与された。原図等との整合性を保つため、報告時においてもその番号を踏襲した。



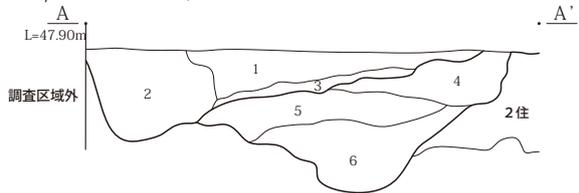
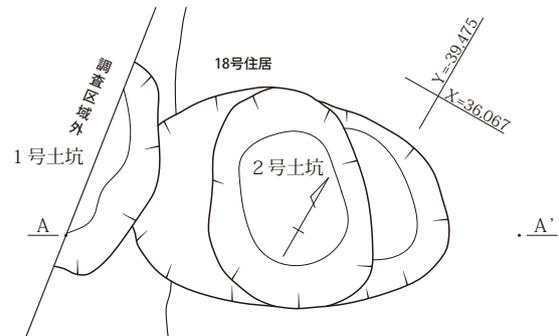
第527図 8区12号掘立柱建物跡平・断面図

4、土坑跡・Pit跡

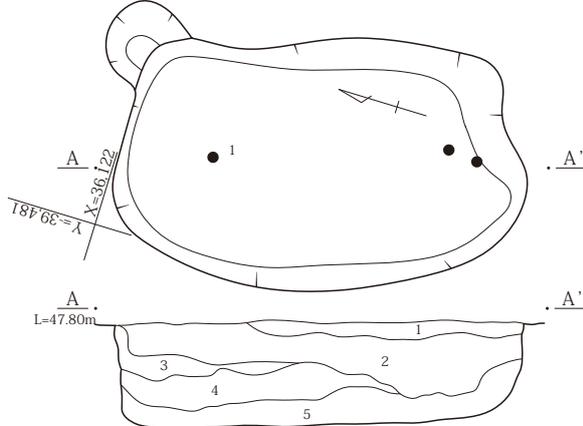
1・2号土坑(SK-1、2)



- 1号土坑 埋土**
- 1層 褐色砂質土(7.5YR 4/3) 少量の白色軽石(榛名山ニッ岳Fr-FA+浅間山As-c)と多量の炭化物粒・焼土粒子を含む
  - 2層 灰褐色砂質土(7.5YR 4/2) 多量の白色軽石(榛名山ニッ岳Fr-FA+浅間山As-c)と少量の焼土粒子を含む
  - 3層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 少量の白色軽石(榛名山ニッ岳Fr-FA+浅間山As-c)と多量の黄色砂質ロームブロック(φ10~30mm大)を含む
- 2号土坑 埋土**
- 4層 暗褐色土(10YR 3/4) 少量の白色軽石(榛名山ニッ岳Fr-FA+浅間山As-c)と黄色砂質ローム粒子・小ブロック(φ5~10mm大)を含む
  - 5層 暗褐色土(10YR 3/4) 少量の白色軽石と黄色砂質ローム粒子・小ブロック及び多量の焼土粒子・焼土小ブロック(φ5~10mm大)を含む
  - 6層 暗褐色土(10YR 3/4) 多量の褐灰色砂質土・黄色砂質ローム土・黒褐色土を斑状に含む

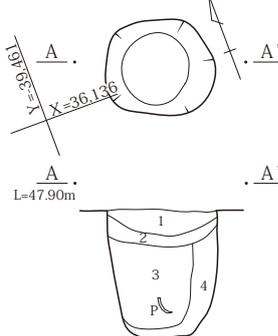


3号土坑(SK-3)



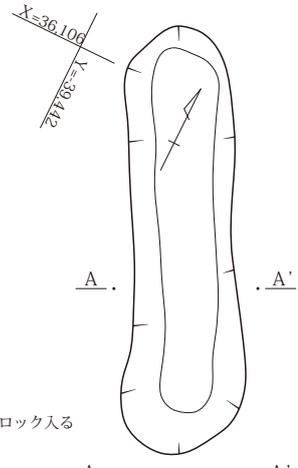
- 3号土坑 埋土**
- 1層 暗赤褐色土(5YR 3/3) 白色軽石粒含む やや砂質
  - 2層 暗赤褐色土(5YR 3/6) 炭化物・少量の白色軽石粒含む
  - 3層 黒褐色土(5YR 2/1) やや粘質・洪水土ブロック状に少量含む
  - 4層 にぶい赤褐色土(5YR 5/4) 粘質土・洪水土と小礫含む
  - 5層 黒褐色土(5YR 3/1) 粘質土・φ1~2mmの洪水土を含む

4号土坑(SK-4)



- 4号土坑 埋土**
- 1層 黒褐色土(10YR 3/2) 白色軽石含む
  - 2層 灰黄褐色土(10YR 6/2) 洪水層
  - 3層 黒褐色土(10YR 3/2)
  - 4層 暗褐色土(10YR 3/3) 褐色土(10YR 4/4)ブロック入る

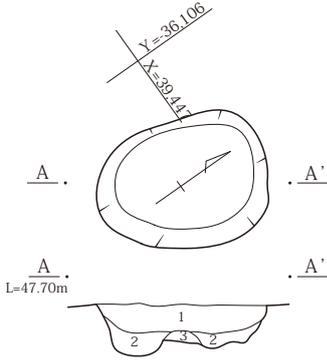
7号土坑(SK-7)



- 7号土坑 埋土**
- 1層 暗赤褐色土(5YR 3/3) 白色軽石
  - 2層 黒褐色土(5YR 2/2) 白色軽石多い

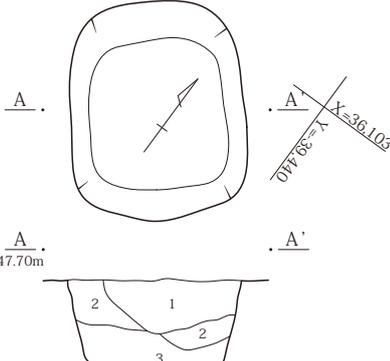
第528図 8区1~4・7号土坑跡平・断面図

5号土坑 (SK- 5)



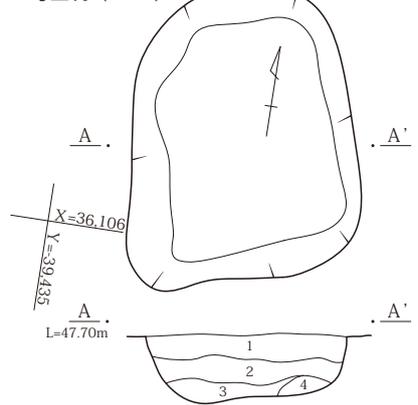
**5号土坑 埋土**  
 1層 暗赤褐色土(5YR 3/3) 洪水ブロック少量の白色軽石  
 2層 赤褐色土(5YR 4/6) 黄色の洪水ブロック・微量の炭化物  
 3層 にぶい褐色土(7.5YR 5/3) 洪水層ブロック

6号土坑 (SK- 6)



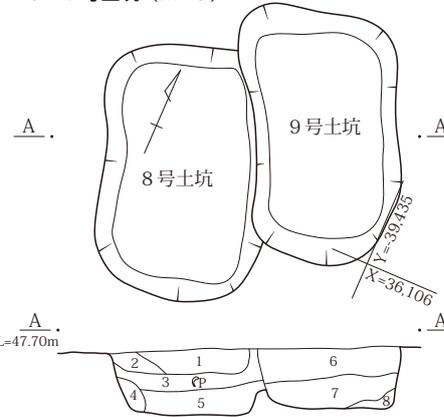
**6号土坑 埋土**  
 1層 にぶい黄褐色砂質土 多量の浅黄褐色砂質ロームブロック(φ5~20mm大)と少量の炭化物を含む  
 2層 にぶい黄褐色砂質土 少量の浅黄褐色砂質ロームブロック(φ5~20mm大)と少量の炭化物を含む  
 3層 にぶい黄褐色砂質土 微量の浅黄褐色砂質ロームブロック(φ5~20mm大)と少量の炭化物を含む

10号土坑 (SK-10)



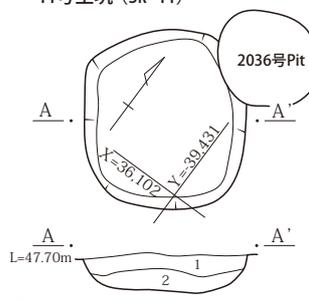
**10号土坑 埋土**  
 1層 灰黄褐色砂質土 微量の白色軽石(榛名ニッ岳・浅間)・浅黄褐色砂質ロームブロック(φ5~20mm大)・焼土粒子を含む  
 2層 灰黄褐色砂質土 微量の白色軽石(榛名ニッ岳・浅間)・焼土粒子・炭化物を含む  
 3層 暗褐色砂質土 微量の焼土粒子・炭化物を含む  
 4層 暗褐色砂質土 少量の浅黄褐色砂質ロームブロック(φ20mm大)を含む

8・9号土坑 (SK- 8)



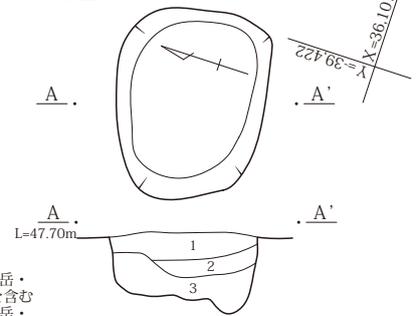
**8号土坑 埋土**  
 1層 にぶい黄褐色砂質土 多量の浅黄褐色砂質ロームブロック(φ5~20mm大)と少量の炭化物・白色軽石(榛名ニッ岳・浅間C)を含む  
 2層 にぶい黄褐色砂質土 多量の焼土ブロック(φ5~10mm大)を含む  
 3層 にぶい黄褐色砂質土 微量の浅黄褐色砂質ローム粒子・炭化物を含む  
 4層 にぶい黄褐色砂質土 多量の浅黄褐色砂質ロームブロック(φ3~10mm大)を含む  
 5層 にぶい黄褐色砂質土 少量の浅黄褐色砂質ローム粒子を含む  
**9号土坑 埋土**  
 6層 にぶい黄褐色砂質土 少量の浅黄褐色砂質ロームブロック(φ5~20mm大)・白色軽石(榛名ニッ岳・浅間C)を含む  
 7層 暗褐色砂質土 微量の浅黄褐色砂質ローム粒子・白色軽石(榛名ニッ岳・浅間C)を含む  
 8層 暗褐色砂質土 多量の浅黄褐色砂質ロームブロックを含む

11号土坑 (SK-11)



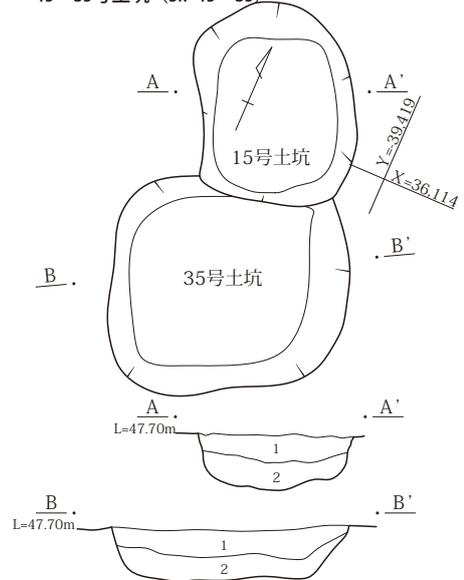
**11号土坑 埋土**  
 1層 灰黄褐色砂質土 多量の白色軽石(榛名ニッ岳・浅間C)と微量の炭化物・焼土粒子を含む  
 2層 灰黄褐色砂質土 微量の白色軽石(榛名ニッ岳・浅間C)と焼土粒子・炭化物を含む

12号土坑 (SK-12)



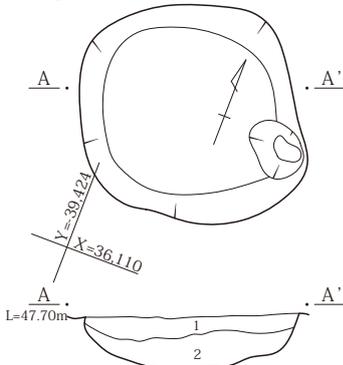
**12号土坑 埋土**  
 1層 暗褐色土(7.5YR 3/3) 洪水ブロック・少量の白色軽石  
 2層 暗褐色土(7.5YR 3/4) 洪水ブロック多い・少量の炭化物・白色軽石  
 3層 極暗褐色土(7.5YR 2/3) 炭化物・焼土を含む・微量の白色軽石

15・35号土坑 (SK-15・35)



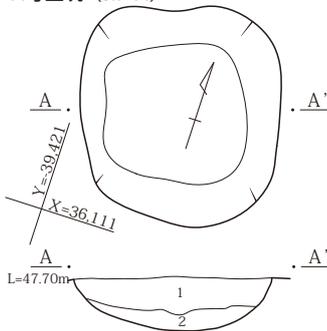
**15号土坑 埋土(A-A')**  
 1層 暗赤褐色(2.5YR 3/2) 白色軽石粒・炭化物を含む  
 2層 暗灰黄褐色土(2.5YR 3/3) 極少量の白色軽石粒を含む・洪水層少量  
**35号土坑 埋土(B-B')**  
 1層 灰黄褐色土 少量の白色軽石粒(浅間C・榛名)と微量の炭化物  
 2層 暗灰黄褐色土 1層より白色軽石粒少ない 焼土炭化物を含む

13号土坑 (SK-13)



**13号土坑 埋土**  
 1層 灰黄褐色土 少量の白色軽石粒(浅間C・榛名)と微量の炭化物  
 2層 暗灰黄褐色土 1層より白色軽石少ない 焼土・炭化物を含む

14号土坑 (SK-14)



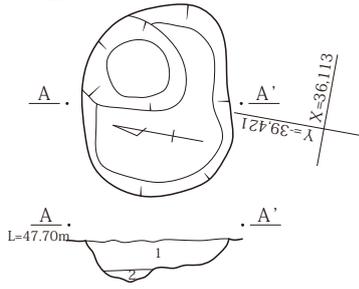
**14号土坑 埋土**  
 1層 灰黄褐色砂質土 多量の浅間C・榛名ニッ岳白色軽石と少量の焼土粒子・炭化物・浅黄褐色砂質ローム小ブロック(φ3~10mm大)を含む  
 2層 灰黄褐色砂質土 少量の浅黄褐色砂質ローム粒子・炭化物を含む



第529図 8区5・6・8・10~15・35号土坑跡平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物

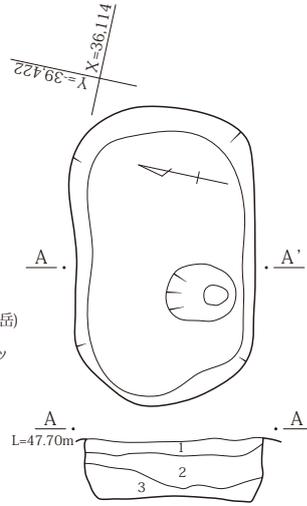
16号土坑 (SK-16)



16号土坑 埋土

- 1層 灰黄褐色砂質土 微量の白色軽石(浅間C+榛名二ツ岳)  
・炭化物を含む
- 2層 灰黄褐色砂質土 多量の浅黄褐色砂質ローム小ブ  
ック(φ5~15mm大)を含む

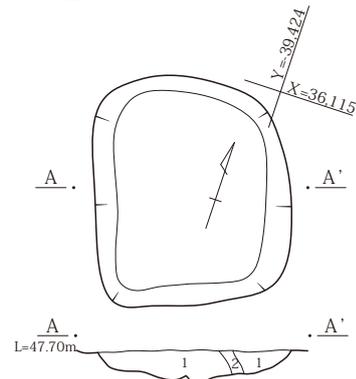
17号土坑 (SK-17)



17号土坑 埋土

- 1層 灰黄褐色砂質土 少量の白色軽石(浅間C+榛  
名二ツ岳)・浅黄褐色砂質ロ  
ームブロック(φ5~20mm大)・炭化物を含む
- 2層 暗灰黄色砂質土 微量の白色軽石・焼土粒子・  
炭化物を含む
- 3層 灰褐色砂質土 微量の白色軽石・焼土粒子・  
炭化物を含む

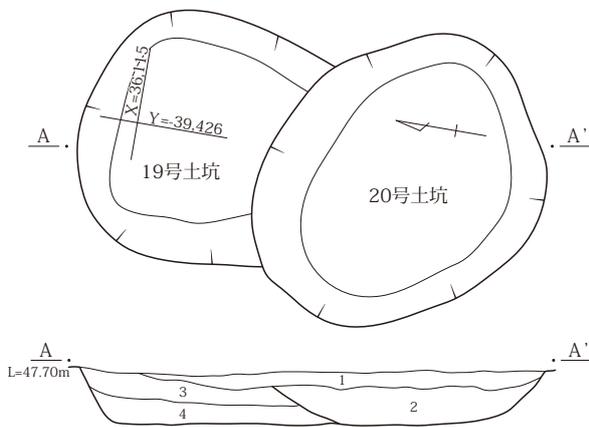
18号土坑 (SK-18)



18号土坑 埋土

- 1層 灰黄褐色砂質土(10YR 4/2) 少量の白色軽石(榛名  
二ツ岳+浅間C)と多量の焼土粒子・炭化  
物を含む

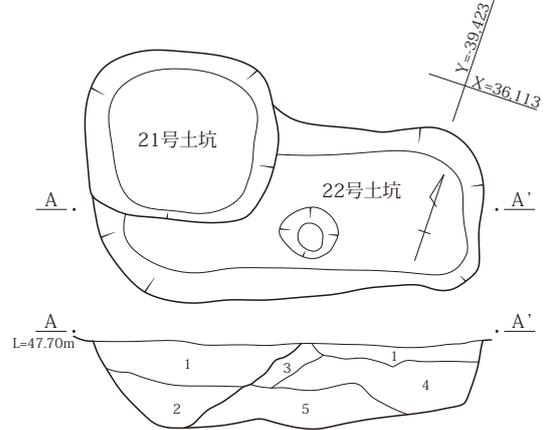
19・20号土坑 (SK-19・20)



19・20号土坑 埋土

- 1層 灰褐色砂質土 少量の白色軽石粒を含む
- 2層 暗灰褐色砂質土 少量の白色軽石粒を含む・微量の炭化物焼土
- 3層 暗灰褐色砂質土 微量の白色軽石粒を含む・微量の炭化物焼土  
・3層より洪水砂ブロック含む
- 4層 にぶい褐色砂質土 洪水砂ブロック含む

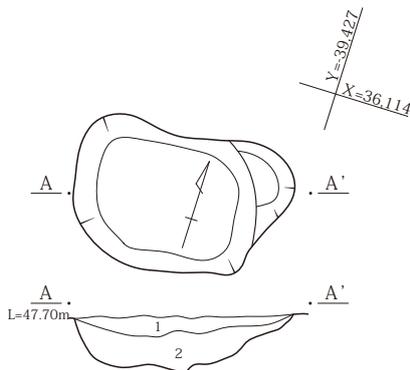
21・22号土坑 (SK-21・22)



21・22号土坑 埋土

- 1層 灰褐色砂質土 少量の浅間C+榛名二ツ岳白色軽石と焼土粒子・炭化物を含む
- 2層 灰褐色砂質土 微量の焼土粒子・炭化物を含む
- 3層 灰褐色砂質土 少量の浅黄褐色砂質ローム粒子・ブロック(φ5~20mm大)・焼  
土粒子・炭化物を含む
- 4層 灰褐色砂質土 少量の焼土粒子・炭化物を含む
- 5層 灰褐色砂質土 多量の浅黄褐色砂質ロームブロック(φ5~20mm大)と少量の焼  
土粒子・炭化物を含む

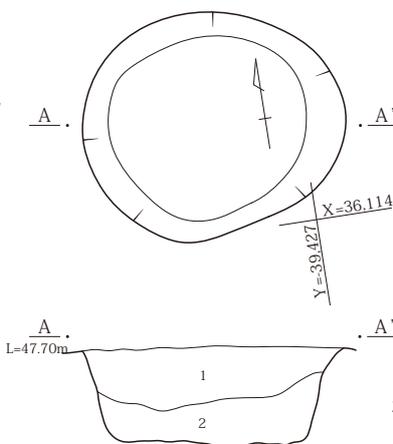
23号土坑 (SK-23)



23号土坑 埋土

- 1層 灰黄褐色砂質土 多量の浅黄褐色砂質ローム小  
ブロック(φ5~10mm大)と少量の炭化物を  
含む
- 2層 灰黄褐色砂質土 少量の浅黄褐色砂質ローム小  
ブロック(φ5~10mm大)・炭化物を含む

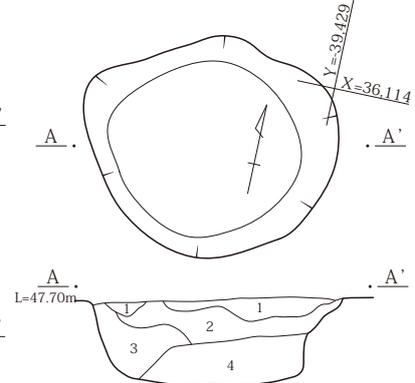
24号土坑 (SK-24)



24号土坑 埋土

- 1層 灰黄褐色砂質土 多量の浅黄褐色砂質ローム小  
ブロック(φ5~10mm大)・少量の炭化物を  
含む
- 2層 灰黄褐色砂質土 少量の浅黄褐色砂質ローム小  
ブロック(φ5~10mm大)・炭化物を含む

25号土坑 (SK-25)



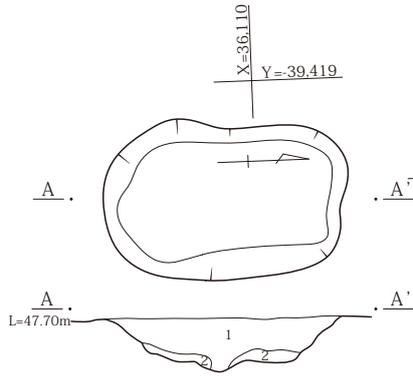
25号土坑 埋土

- 1層 にぶい黄褐色砂質土(10YR 5/3) 多量のローム小ブ  
ック(φ5~10mm大)と少量の焼土粒子・炭化物を  
含む
- 2層 暗灰黄色砂質土(2.5YR 4/2) 微量の炭化物を含む
- 3層 暗灰黄色砂質土(2.5YR 4/2) 少量の浅黄褐色砂質ロ  
ームブロック(φ10~40mm大)・炭化物を含む
- 4層 暗灰黄色砂質土(2.5YR 4/2) 多量の浅黄褐色砂質ロ  
ーム小ブロック(φ5~15mm大)と少量の炭化物を  
含む



第530図 8区16~25号土坑跡平・断面図

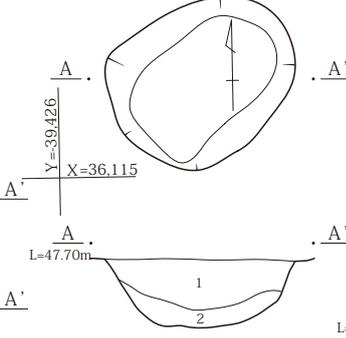
26号土坑 (SK-26)



26号土坑 埋土

- 1層 灰褐色砂質土(5YR 4/2) 少量の白石軽石(椋名ニッ岳+浅間C)と焼土粒子・炭化物を含む
- 2層 灰褐色砂質土(5YR 4/2) 多量の浅黄橙色砂質ロームブロック(φ5~30mm大)と少量の炭化物を含む

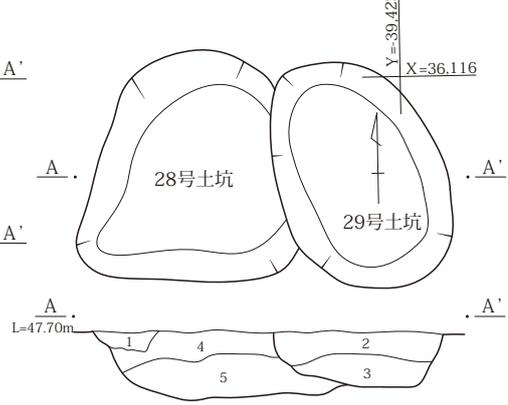
27号土坑 (SK-27)



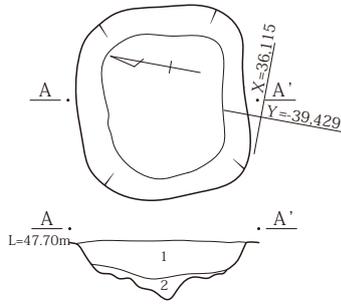
27・28・29号土坑 埋土

- 1層 にぶい黄褐色砂質土(10YR 5/3) 微量の白石軽石(椋名ニッ岳+浅間C)・焼土粒子を含む
- 2層 にぶい黄褐色砂質土(10YR 5/3) 少量の白石軽石(椋名ニッ岳+浅間C)・焼土粒子・炭化物を含む
- 3層 灰黄褐色砂質土(10YR 4/2) 少量の浅黄橙色砂質ローム粒子・焼土粒子・炭化物を含む
- 4層 灰黄褐色砂質土(10YR 5/2) 多量の浅黄橙色砂質ローム小ブロック(φ5~20mm大)・少量の白色軽石(椋名ニッ岳・浅間C)を含む
- 5層 暗赤褐色砂質土(5YR 3/2) 微量の焼土粒子・炭化物を含む

28・29号土坑 (SK-28・29)



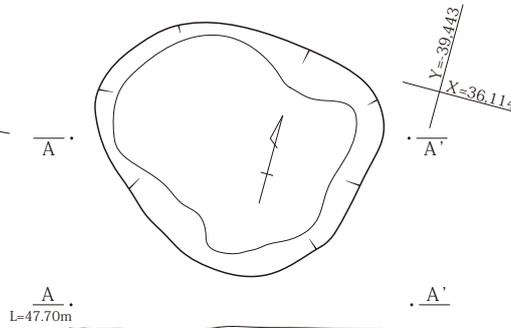
30号土坑 (SK-30)



30号土坑 埋土

- 1層 灰黄褐色砂質土(10YR 4/2) 微量の白色軽石(椋名ニッ岳+浅間C)と炭化物を含む
- 2層 灰黄褐色砂質土(10YR 4/2) 多量の浅黄橙色砂質ロームブロック(φ5~30mm大)と少量の炭化物を含む

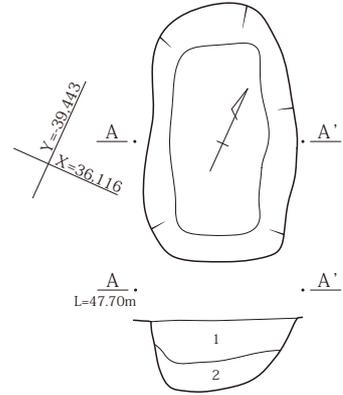
31号土坑 (SK-31)



31号土坑 埋土

- 1層 暗赤褐色土(2.5YR 3/2) 洪水砂ブロック含む
- 2層 にぶい褐色土(7.5YR 5/3) 洪水砂ブロック多い

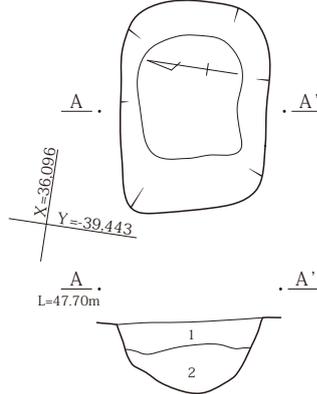
32号土坑 (SK-32)



32号土坑 埋土

- 1層 灰褐色砂質土 白色軽石粒・炭化物・焼土含む
- 2層 にぶい褐色砂質土 洪水砂ブロック含む

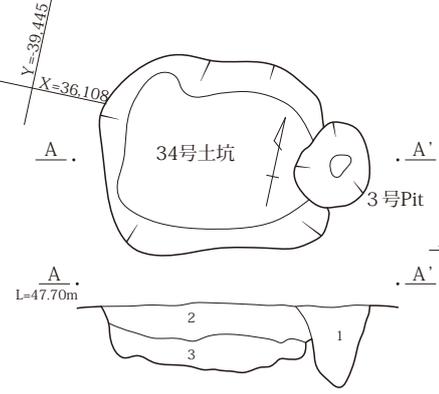
33号土坑 (SK-33)



33号土坑 埋土

- 1層 暗褐色砂質土(7.5YR 3/3) 多量の浅黄橙色砂質ローム小ブロック(φ5~10mm大)と少量の炭化物を含む
- 2層 暗褐色砂質土(7.5YR 3/3) 少量の浅黄橙色砂質ローム小ブロック(φ5~10mm大)を含む

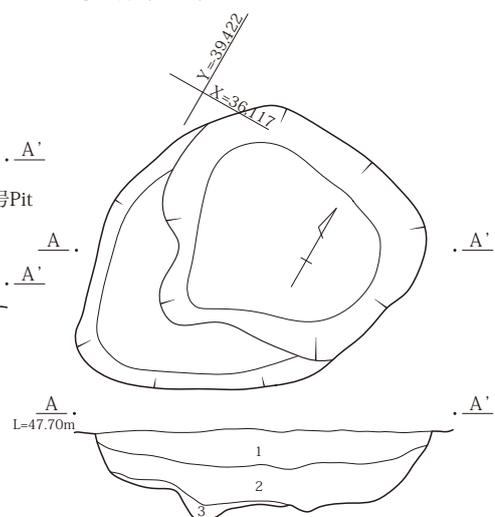
34号土坑 (SK-34)



34号土坑 埋土

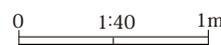
- 1層 暗褐色土(10YR 3/4) 白色軽石微量に含む
- 2層 灰黄褐色土 少量の白色軽石粒(浅間C・椋名)と微量の炭化物
- 3層 暗灰黄褐色土 2層より白色軽石粒少ない 焼土・炭化物含む

36号土坑 (SK-36)



36号土坑 埋土

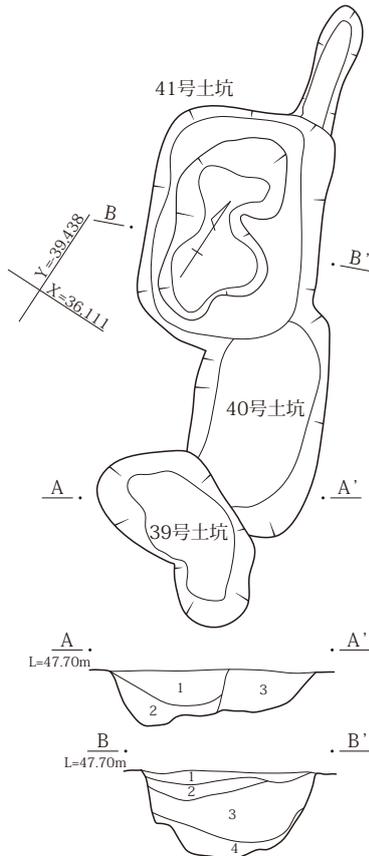
- 1層 黒褐色土(10YR 3/2) 白色軽石・焼土・炭化物含む
- 2層 黒褐色土(10YR 3/2) 白色軽石1層より多い
- 3層 暗褐色土(10YR 3/4) 黒褐土に灰黄褐色砂質土混ざる



第531図 8区26~34・36号土坑跡平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物

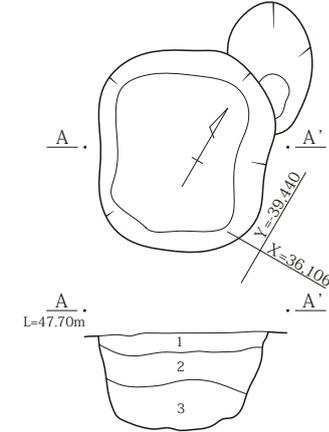
39～41号土坑 (SK-39～41)



**39・40号土坑(A-A') 埋土**  
 1層 暗灰黄色土(2.5Y 4/2) 多量のローム小ブロック(φ5～10mm大)と少量の白色軽石(浅間C+榛名ニッ岳)を含む  
 2層 暗灰黄色土(2.5Y 4/2) 少量のローム小ブロック(φ5～10mm大)と白色軽石(浅間C+榛名ニッ岳)を含む  
 3層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 微量の白色軽石(浅間C+榛名ニッ岳)とローム粒子を含む

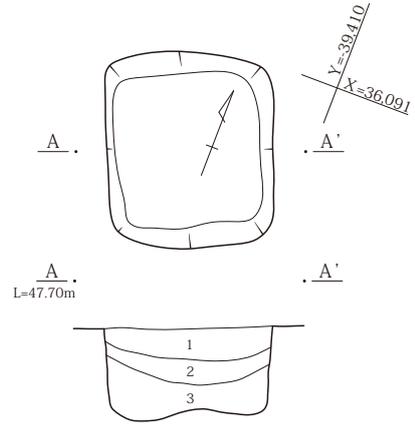
**41号土坑 埋土(B-B')**  
 1層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 少量のローム小ブロック(φ5～10mm大)と白色軽石(浅間C+榛名ニッ岳)を含む  
 2層 暗褐色砂質土(10YR 3/3) 多量のローム小ブロック(φ5～10mm大)と少量の炭化物・白色軽石を含む  
 3層 黒褐色土(10YR 3/2) 微量のローム粒子と炭化物を含む  
 4層 暗灰黄色土(2.5Y 5/2) 少量のローム粒子・ローム小ブロック(φ5～10mm大)を含む

43号土坑 (SK-43)



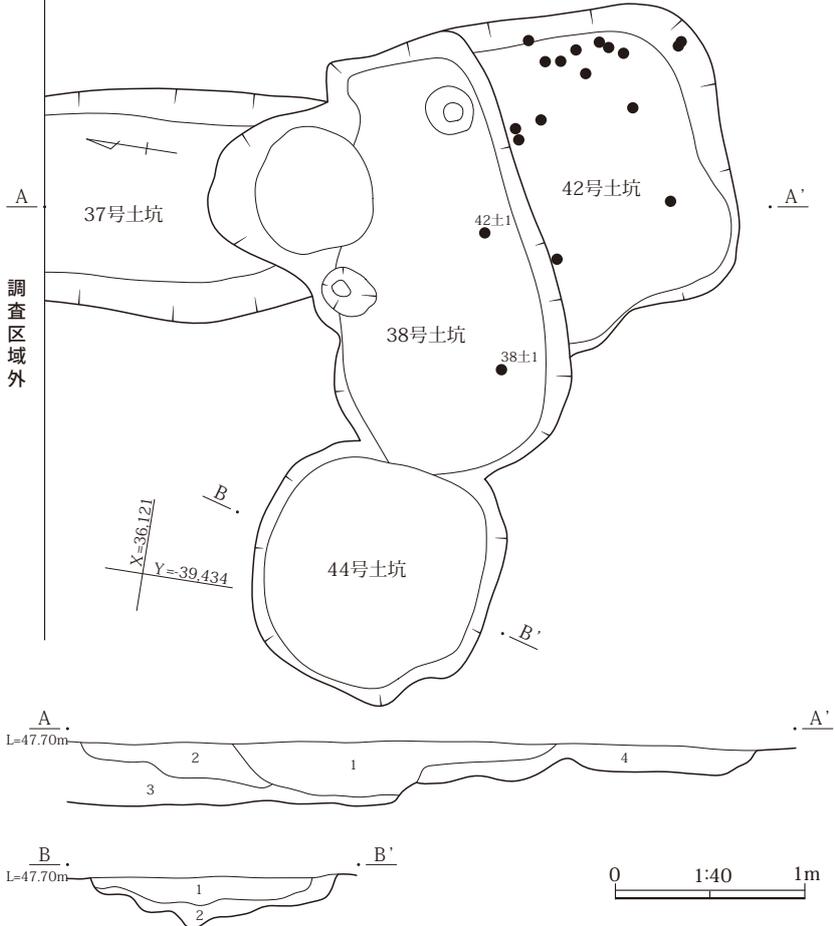
**43号土坑 埋土**  
 1層 暗灰黄色土(2.5Y 5/2) 多量の淡黄色砂質ローム粒子と少量の白色軽石(浅間C+榛名ニッ岳)を含む  
 2層 暗灰黄色土(2.5Y 4/2) 少量の淡黄色砂質ロームブロック(φ5～10mm大)と白色軽石(浅間C+榛名ニッ岳)を含む  
 3層 暗灰黄色土(2.5Y 4/2) 微量の淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5～10mm大)と白色軽石を含む

45号土坑 (SK-45)



**45号土坑 埋土**  
 1層 暗褐色砂質土(10YR 3/3) 多量の白色軽石(浅間C+榛名ニッ岳)と淡黄色砂質ローム粒子・淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5～10mm大)を含む  
 2層 暗褐色砂質土(10YR 3/3) 少量の白色軽石と淡黄色砂質ローム粒子を含む  
 3層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 多量の淡黄色砂質ローム粒子・ブロック(φ5～20mm大)と少量の炭化物を含む

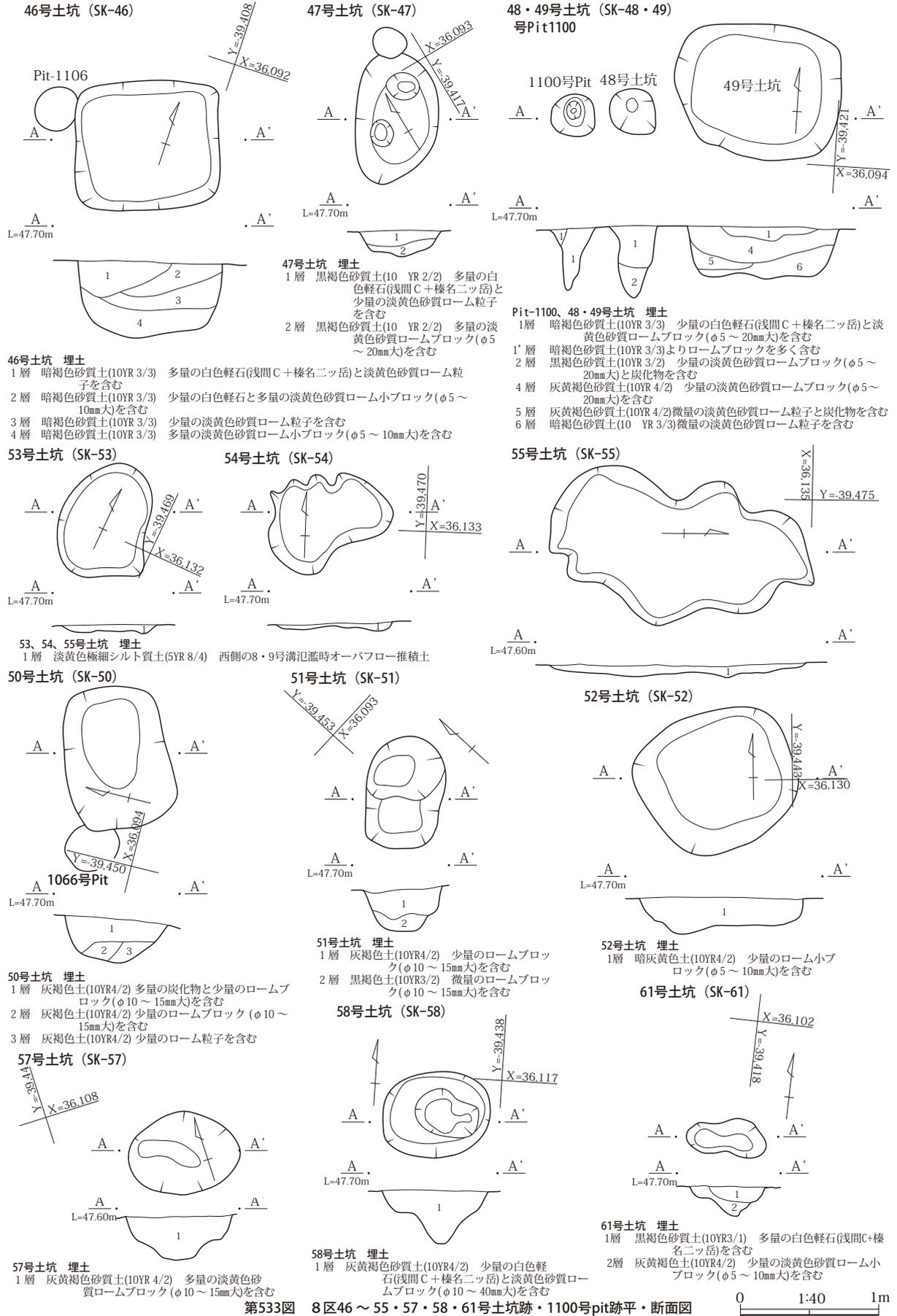
37・38・42・44号土坑 (SK-37・38・42・44)



**37・38・42号土坑(A-A') 埋土**  
 1層 にぶい黄褐色土(10YR 5/3) 多量の淡黄色砂質ロームブロック(φ5～50mm大)と微量の白色軽石(浅間C+榛名ニッ岳)を含む  
 2層 にぶい黄褐色土(10YR 5/3) 少量の淡黄色砂質ローム粒子・淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5～10mm大)を含む  
 3層 灰黄褐色土(10YR 5/2) 少量の淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5～10mm大)を含む  
 4層 にぶい黄褐色土(10YR 5/3) 多量の淡黄色砂質ロームブロック(φ5～50mm大)と微量の白色軽石(浅間C+榛名ニッ岳)を含む

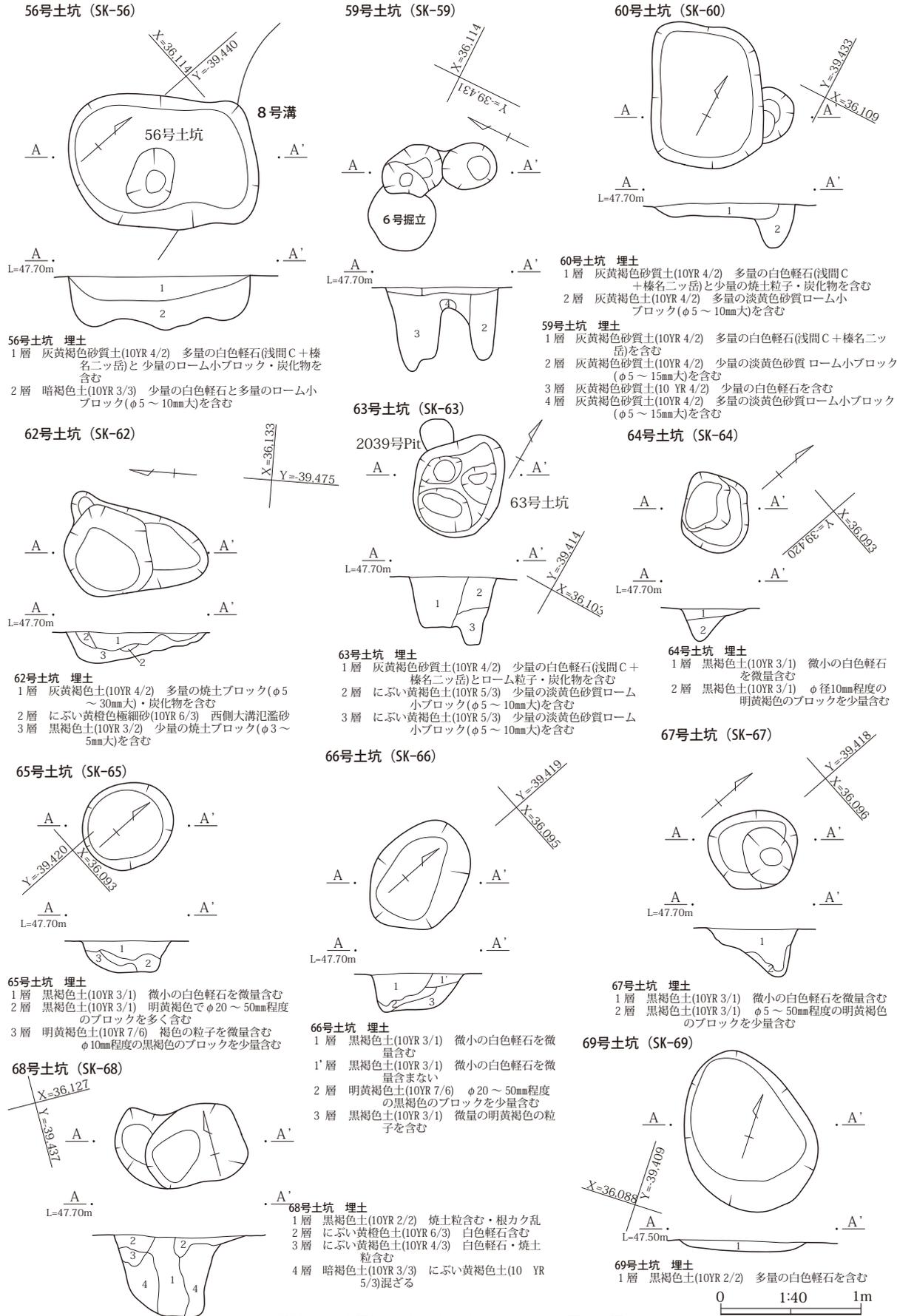
**44号土坑(B-B') 埋土**  
 1層 灰黄褐色土(10YR 5/2) 少量のローム粒子と白色軽石(浅間C+榛名ニッ岳)・微量の焼土粒子・炭化物を含む  
 2層 灰黄褐色土(10YR 5/2) 少量の淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5～20mm大)を含む

第532図 8区37～45号土坑跡平・断面図

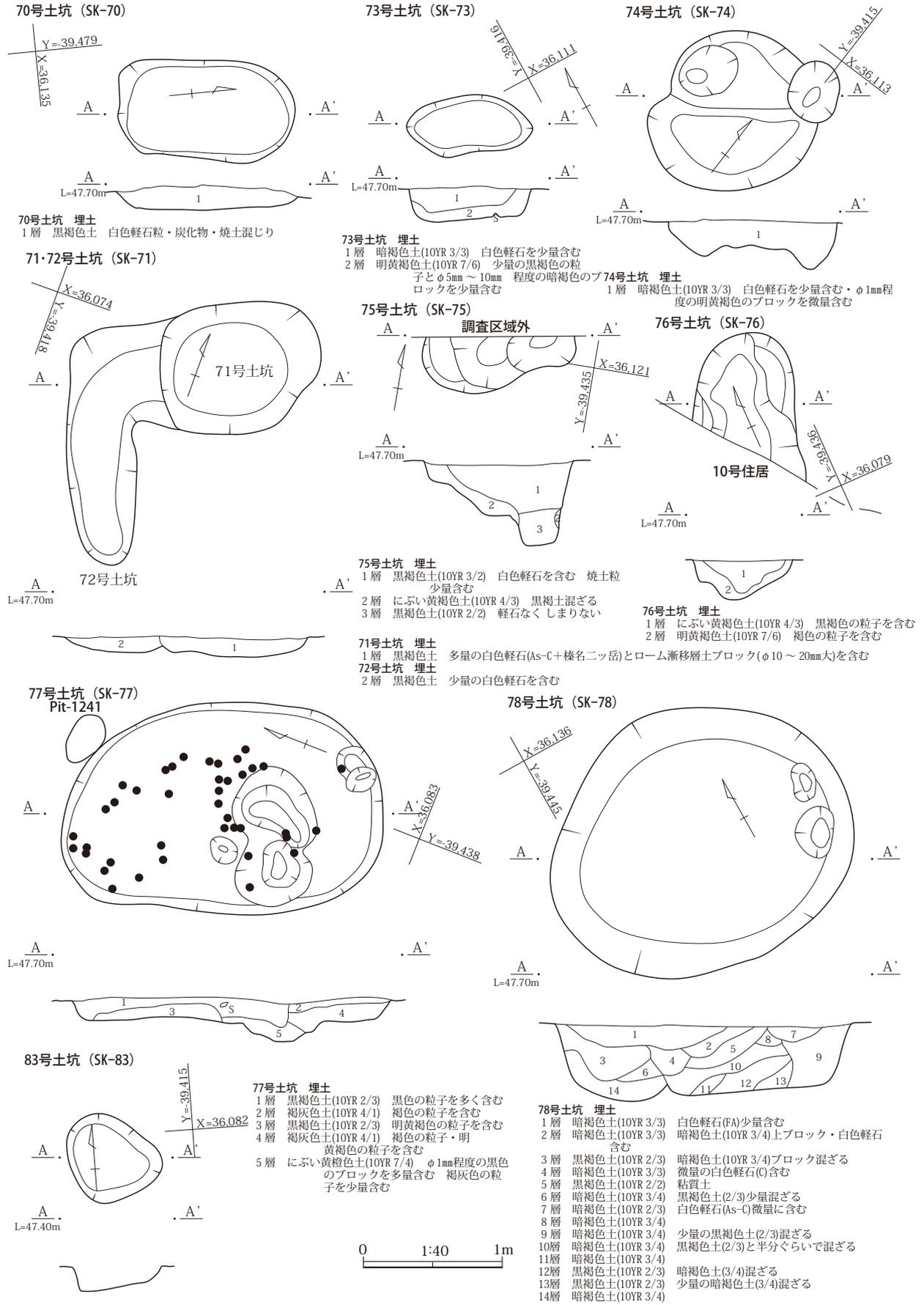


第533図 8区46~55・57・58・61号土坑跡・1100号pit跡平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物



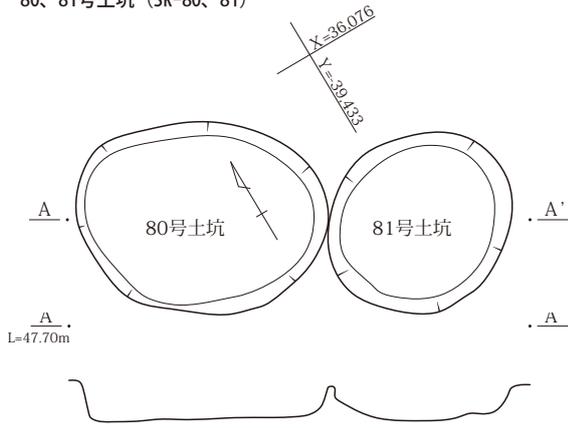
第534図 8区56・59・60・62~69号土坑跡平・断面図



第535図 8区70~78・83号土坑跡平・断面図

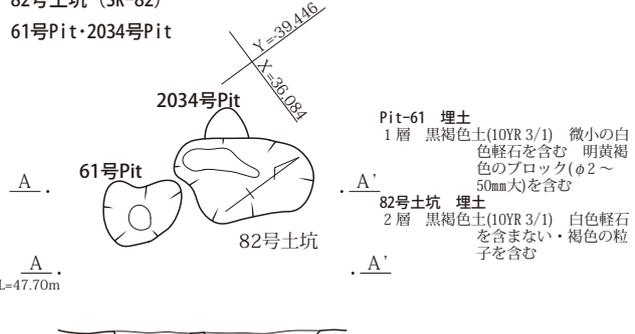
第3章 検出遺構と出土遺物

80、81号土坑 (SK-80、81)



82号土坑 (SK-82)

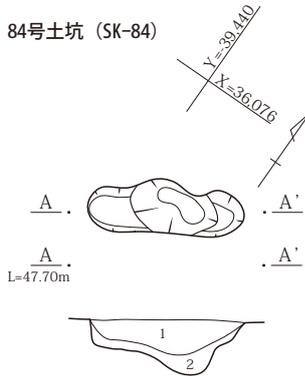
61号Pit・2034号Pit



Pit-61 埋土  
1層 黒褐色土(10YR 3/1) 微小の白色軽石を含む 明黄褐色のブロック(φ2~50mm大)を含む

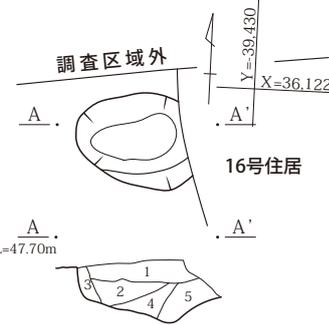
82号土坑 埋土  
2層 黒褐色土(10YR 3/1) 白色軽石を含まない・褐色の粒子を含む

84号土坑 (SK-84)



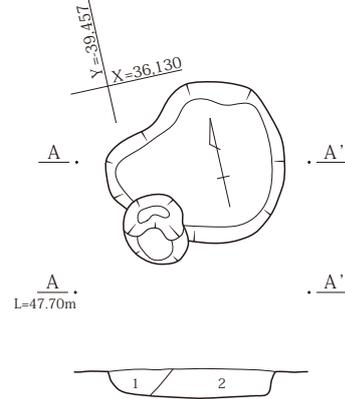
84号土坑 埋土  
1層 褐灰色土(10YR 4/1) 褐色の粒子を含む  
2層 褐灰色土(10YR 4/1) 明黄褐色の粒子を含む

85号土坑 (SK-85)



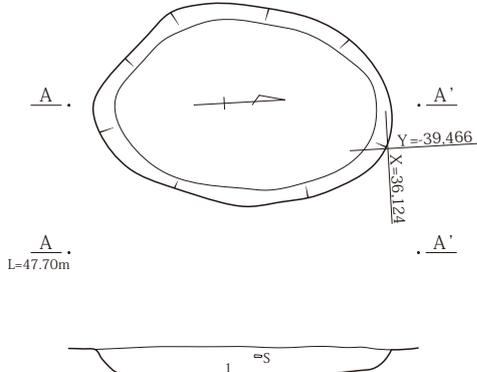
85号土坑 埋土  
1層 褐灰色土(10YR 5/1) 微小の白色軽石・焼土を微量含む 褐色の粒子を含む  
2層 にぶい黄褐色土(10YR 5/4) 褐灰色の粒子を含む  
3層 褐灰色土(10YR 5/1) 明黄褐色の粒子を少量含む  
4層 褐灰色土(10YR 5/1) 明黄褐色の粒子を多量含む  
5層 褐灰色土(10YR 4/1) φ30mm程度の明黄褐色のブロックを含む

86号土坑 (SK-86)



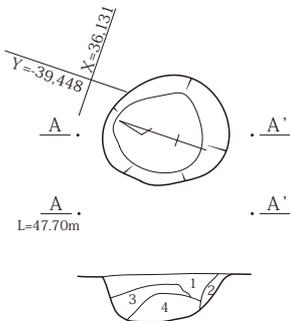
86号土坑 埋土  
1層 にぶい黄褐色土(10YR 5/4) 褐色の粒子を含む  
2層 暗褐色土(10YR 3/4) 黒褐色の粒子を含む

87号土坑 (SK-87)



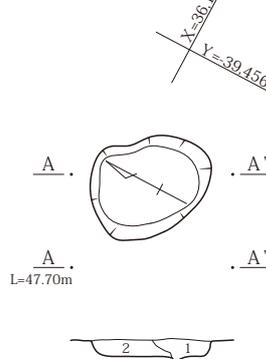
87号土坑 埋土  
1層 にぶい黄褐色土(10YR 5/4) φ5mmの褐色のブロックを少量含む

88号土坑 (SK-88)



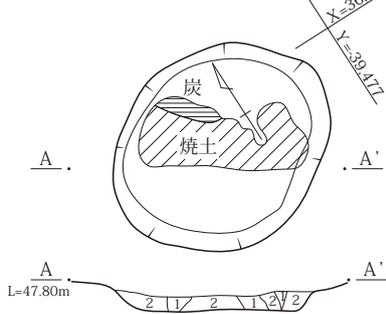
88号土坑 埋土  
1層 灰黄褐色土(10YR 4/2) φ1mmの暗褐色ブロックを多量含む  
2層 にぶい黄褐色土(10YR 7/4) 褐色の粒子を帯状に含む  
3層 黄褐色土(10YR 8/6) φ1mmの灰褐色ブロックを少量含む  
4層 灰黄褐色土(10YR 4/2) φ1mmの暗褐色ブロックを多量含む

89号土坑 (SK-89)



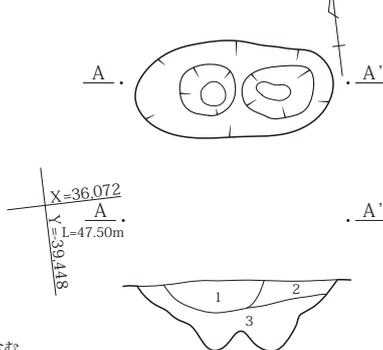
89号土坑 埋土  
1層 褐灰色土(10YR 4/1) φ50mm程度の明黄褐色ブロックを含む  
2層 灰黄褐色土(10YR 6/2) φ1mm程度の褐色ブロックを少量含む  
3層 にぶい黄褐色土(10YR 7/4) φ1mm程度の褐色ブロックを少量含む 灰褐色の粒子を含む

92号土坑 (SK-92)

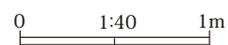


92号土坑 埋土  
1層 焼土  
2層 黒色土 砂含む

90号土坑 (SK-90)

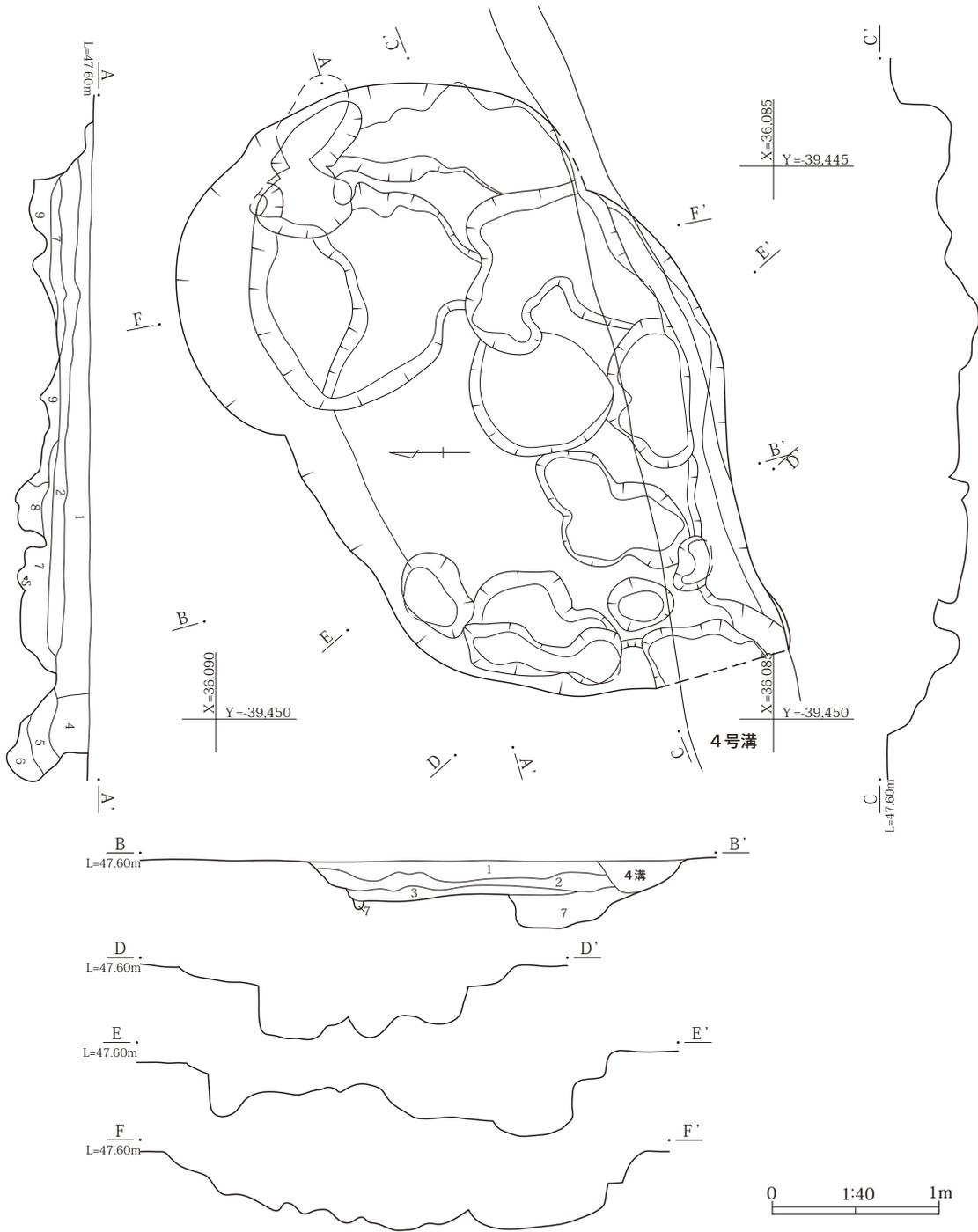


90号土坑 埋土  
1層 黒褐色土(10YR 3/1) にぶい黄褐色の粒子を含む  
2層 灰黄褐色土(10YR 4/2) φ1mm程度の にぶい黄褐色のブロックを少量含む  
3層 にぶい黄褐色土(10YR 5/4) 褐色の粒子を含む・φ5~20mm程度の黒褐色のブロックを多量含む



第536図 8区80~82・84~90・92号土坑跡61・2034Pit平・断面図

94号土坑 (SK-94)



94号土坑 埋土

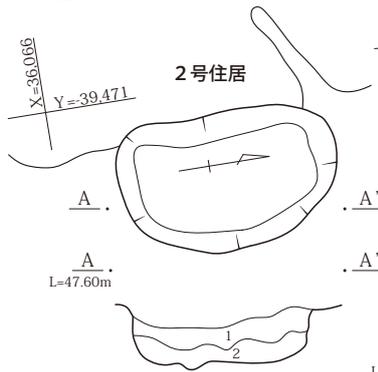
- 1層 極暗赤褐色土(2.5YR 2/3) 焼土・炭化物・白色軽石含む
- 2層 極暗赤褐色土(2.5YR 2/3) 1層より白色軽石少ない・洪水ブロック少量含む・焼土・炭化含む
- 3層 暗赤褐色土(2.5YR 3/3) 洪水ブロック多い
- 4層 暗褐色土(10YR 3/3) 少量の白色軽石含む
- 5層 にぶい赤褐色土(5YR 4/3) 洪水ブロック多い
- 6層 褐色土(10YR 4/4) 洪水ブロック5層より多い
- 7層 黒褐色土(7.5YR 3/1) 少量の白色軽石(浅間C+榛名ニッ岳)とロームブロック(φ5～30mm大)を含む
- 8層 黒褐色土(7.5YR 3/1) 少量の白色軽石と多量のロームブロック(φ5～50mm大)を含む
- 9層 黒褐色土(7.5YR 3/1) 少量の白色軽石とロームブロック(φ5～50mm大)を含む

※本遺構はプラン確認時に住居跡を想定し掘削したが、床面は検出できず、プランも不定形を呈していることから 掘り下げを行った結果、土坑群と判明一部淡黄色砂質ローム部分をえぐるように掘りぬいた痕跡も認められることから、土取り目的の土坑と思われる

第537図 8区94号土坑跡平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物

93号土坑 (SK-93)



93号土坑 埋土  
1層 黒色土 砂・焼土粒含む  
2層 黒色土 暗褐粘質土混ざる

2003号Pit 埋土

1層 黒褐色土(10YR 3/1) 褐色の粒子を含む

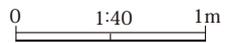
30号Pit 埋土

2層 灰黄褐色土(10YR 6/2) 黄橙色の粒子を含む

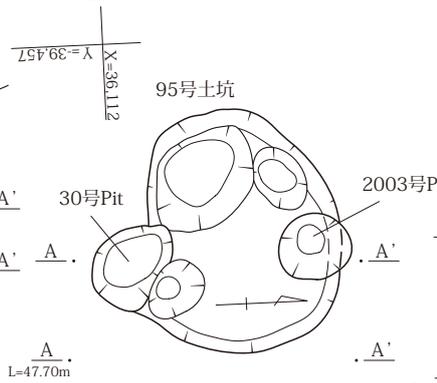
95号土坑 埋土

3層 灰黄褐色土(10YR 5/2) 黒褐色の粒子を含む

4層 にぶい黄橙色土(10YR 7/4) 灰黄褐色の粒子を含む



95号土坑 (SK-95)



100号土坑 埋土

1層 褐色砂質土(7.5YR 4/3) 少量の白色軽石(浅間C+榛名二ツ岳)と少量の炭化物・焼土粒子を含む

2層 褐色砂質土(7.5YR 4/3) 少量の白色軽石(浅間C+榛名二ツ岳)と多量の灰白色極細砂を含む

3層 褐色砂質土(7.5YR 4/3) 少量の白色軽石(浅間C+榛名二ツ岳)を含む

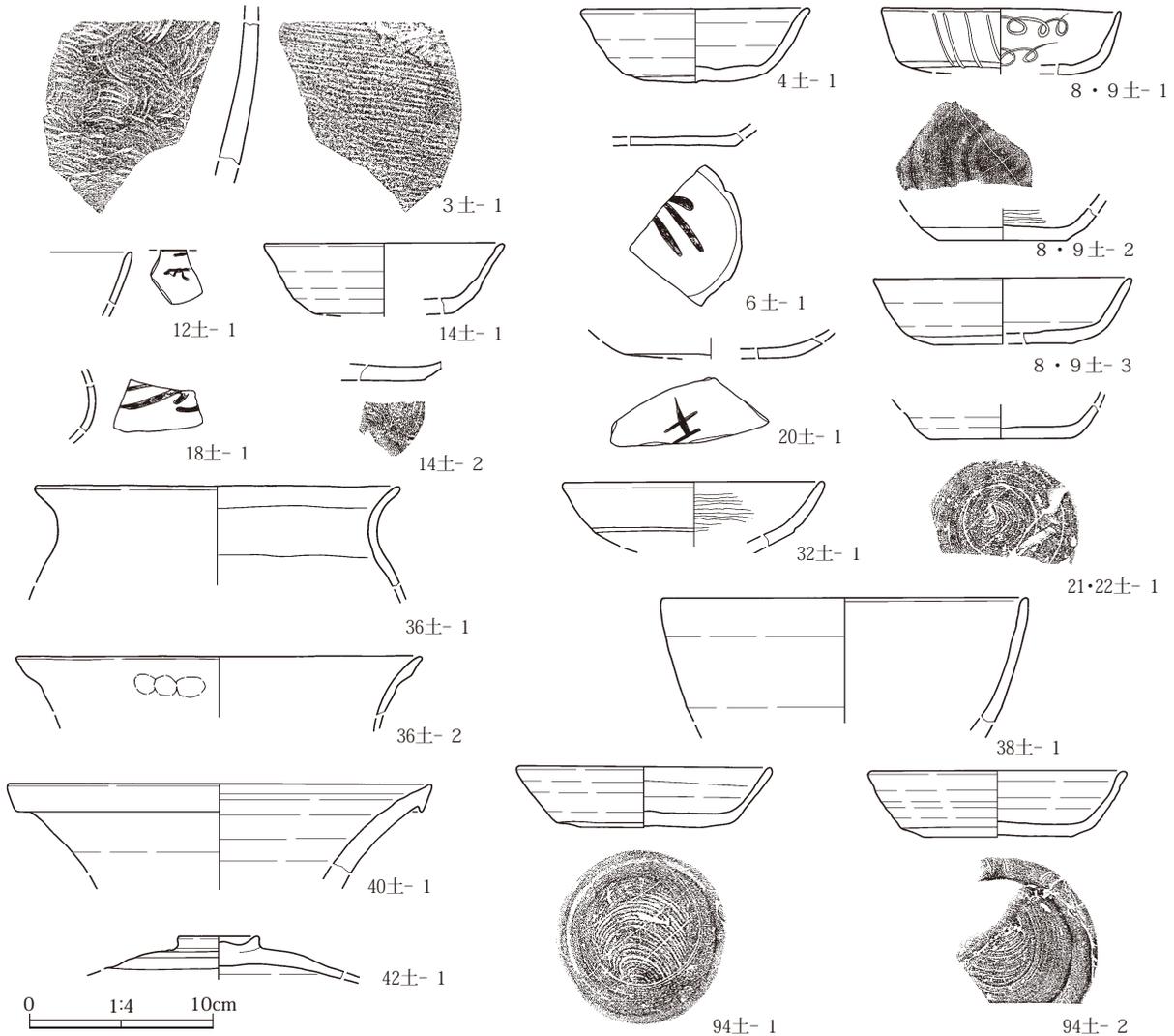
4層 黄色砂質ロームブロック

5層 褐色砂質土(7.5YR 4/3) 微量の白色軽石(浅間C+榛名二ツ岳)を含み黄色砂質ロームを斑状に含む

6層 暗褐色砂質土(10YR 3/4) 微量の白色軽石(浅間C+榛名二ツ岳)と少量の炭化物・焼土粒子を含む

7層 褐色砂質土(7.5YR 4/3) 微量の白色軽石(浅間C+榛名二ツ岳)と炭化物・焼土粒子を含む

第538図 8区93・95・100号土坑跡平・断面図



第539図 8区土坑跡出土遺物

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

8区3号土坑跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 甕	床面+40cm 胴部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰 (N 5/0)	ロクロ整形。 外面：胴部平行叩き痕。 内面：胴部同心円状当て具痕。	叩き痕、アテ具痕あり。

8区4号土坑跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	床面+13cm 口縁部～底部 1/3	口径 12.2 底径 6.8 器高 4.0	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白 (5Y 8/1)	ロクロ整形。回転右回り。口縁部外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転ヘラ起し。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	口縁部内面に油煙付着。

8区6号土坑跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	埋土中 底部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(5Y 7/1)	ロクロ整形。 外面：底部ヘラ削り。 内面：底部回転ナデ調整。	底部外面に墨書。

8区8・9号土坑跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	埋土中 口縁部～底部 1/6	口径 12.8 底径 9.0 器高 3.4	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 橙 (5YR 6/6)	口縁部やや外反。 外面：口縁部～体部横ナデ後、放射状ヘラ暗文。底部はヘラ削り。 内面：口縁部～体部横ナデ後、上下2段に螺旋状暗文。	箸の先端で付けた暗文あり。
2	黒色土器 椀	埋土中 底部 破片	口径 — 底径 6.9 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 内面黒色処理 ③ にぶい橙 (7.5YR 6/4)	ロクロ整形。 外面：底部ヘラ削り。 内面：底部、体部ヘラ磨き。	ロクロ土師器。底部外面にヘラ記号「+」。
3	須恵器 杯	埋土中 口縁部～底部 1/3	口径 13.8 底径 7.8 器高 3.6	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ 浅黄(2.5Y 7/3)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	8号と9号土坑は重複している。

8区12号土坑跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	埋土中 口縁部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰黄(2.5Y 7/2)	ロクロ整形か。 外面：回転ナデ。 内面：回転ナデ調整。	口縁部外面に墨書。

8区14号土坑跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	埋土中 口縁部～体部 破片	口径 12.8 底径 7.6 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰黄褐(10YR 5/2)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。 内面：口縁部～体部回転ナデ調整。	
2	須恵器 杯	埋土中 底部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ 褐灰(10YR 6/1)	ロクロ整形。 外面：底部回転糸切り後、ヘラ調整。 内面：底部回転ナデ調整。	

8区18号土坑跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	埋土中 体部下半 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰黄(2.5Y 6/2)	ロクロ整形。 外面：体部回転ナデ。 内面：胴部回転ナデ調整。	胴部外面に墨書。

8区20号土坑跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	埋土中 天井部上半 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰黄 (2.5Y 7/2)	ロクロ整形。 外面：底部回転ヘラ削り。 内面：天井部上半回転ナデ。	外面に「土」の墨書。

8区21・22号土坑跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	埋土中 胴部下半～底部 破片	口径 — 底径 8.0 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰 (5Y 6/1)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：体部回転ナデ。底部回転糸切り後、周辺部を回転ヘラ削り。 内面：底部回転ナデ調整。	21号土坑と22号土坑は重複している。

第3章 検出遺構と出土遺物

8区32号土坑跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	黒色土器 杯	埋土中 口縁部～底部 破片	口径 14.0 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 内面黒色 処理 ③ にぶい黄橙 (10 YR 7/4)	外面：体部回転ナデ。底部ヘラ調整。 内面：口縁部～体部回転ナデ調整。体部、底部ヘラ磨き。	ロクロ土師器。 稜線あり。

8区36号土坑跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 甗	埋土中 口縁部 破片	口径 19.6 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい褐(7.5YR 5/3)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ。胴部ヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。	
2	土師器 甗	埋土中 口縁部 破片	口径 21.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい赤褐(5YR 5/4)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ。指頭痕が残る。 内面：口縁部横ナデ。	口縁部に刺突帯 あり。

8区38号土坑跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 鉢	底面直上 口縁部～体部 破片	口径 19.7 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰黄(2.5Y 7/2)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。 内面：口縁部～体部回転ナデ調整。	

8区40号土坑跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 甗	埋土中 口縁部～胴部 破片	口径 22.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰黄(2.5Y 6/1)	外面：口縁部～胴部横ナデ調整。 内面：口縁部～胴部横ナデ調整。	

8区42号土坑跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯蓋	底面+12cm 摘部～天井部上半 破片	口径 — 摘径 4.2 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ にぶい黄(2.5 Y 6/3)	ロクロ整形。回転右回りか。 外面：天井部上半ヘラ削り。摘貼付。 内面：天井部上半回転ナデ。	

8区94号土坑跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	埋土中 口縁部～底部 1/3	口径 13.5 底径 8.7 器高 3.3	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ にぶい黄橙 (10YR 7/4)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り後、底部周 辺は回転ヘラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	底部外面にヘラ 記号「三」
2	須恵器 杯	埋土中 口縁部～底部 1/3	口径 13.6 底径 8.0 器高 3.6	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい橙(5YR 6/4)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り後、底部周 辺は回転ヘラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

8区 土抗一覧表

注) 計測値の( )は、推定値を示す

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	断面形状	出土遺物	埋土	備考
1号土抗跡	X=36066 Y=-39476	不明	48cm	不明	逆台形	なし	白色軽石と焼土粒を含んだ灰黄褐色砂質土。	
2号土抗跡	X=36066 Y=-39476	不明	75cm	不明	逆台形	なし	白色軽石と焼土粒、黄色砂質ローム粒子・小ブロックを含んだ暗褐色土。	
3号土抗跡	X=36121 Y=-39480	210×130cm	56cm	隅丸長方形	逆台形	須恵器甕胴部片	少量の白色軽石と炭化物、洪水土と小礫を含んだ黒褐色土。	9号溝と同じ埋土。
4号土抗跡	X=36136 Y=-39460	58×52cm	67cm	ほぼ円形	U字形	須恵器杯破片	白色軽石を含む黒褐色土。中間に灰黄褐色の洪水層がレンズ状に入る。	
5号土抗跡	X=36105 Y=-39443	90×70cm	25cm	楕円形	逆台形	なし	少量の白色軽石と黄色の洪水層ブロックを含む暗赤褐色土。	
6号土抗跡	X=36102 Y=-39441	115×90cm	48cm	隅丸長方形	逆台形	須恵器杯(墨書土器)	多量の浅黄褐色砂質ロームブロックと少量の炭化物を含むにぶい黄褐色砂質土。	
7号土抗跡	X=36105 Y=-39441	227×55cm	24cm	隅丸長方形	半円形	なし	白色軽石を含む暗赤褐色土。	
8号土抗跡	X=36106 Y=-39436	135×85cm	36cm	隅丸長方形	逆台形	土師器杯(黒色土器)、土師器杯(暗文あり)、須恵器杯	多量の浅黄褐色砂質ロームブロックと少量の炭化物、白色軽石を含むにぶい黄褐色砂質土。	
9号土抗跡	X=36107 Y=-39435	135×80cm	31cm	隅丸長方形	逆台形		少量の浅黄褐色砂質ロームブロックと白色軽石を含むにぶい黄褐色砂質土。	
10号土抗跡	X=36107 Y=-39434	155×120cm	34cm	不定形	逆台形	須恵器杯(黒色土器)、須恵器杯の底部片	微量の白色軽石と浅黄褐色砂質ロームブロック、焼土粒を含む灰黄褐色砂質土。	
11号土抗跡	X=36107 Y=-39434	98×85cm	19cm	隅丸長方形	逆台形	土師器杯・甕	多量の白色軽石と微量の炭化物、焼土粒を含む灰黄褐色砂質土。	
12号土抗跡	X=36108 Y=-39422	100×80cm	38cm	隅丸長方形	逆台形	須恵器杯(墨書土器)	少量の白色軽石と洪水ブロックを含む暗褐色土。	
13号土抗跡	X=36111 Y=-39424	113×113cm	28cm	隅丸正方形	半円形	土師器甕、須恵器杯・甕	少量の白色軽石と微量の炭化物を含む灰黄褐色土。	
14号土抗跡	X=36112 Y=-39420	110×110cm	29cm	隅丸正方形	半円形	須恵器杯	多量の白色軽石と少量の焼土粒、炭化物、浅黄褐色砂質ロームブロックを含む灰黄褐色砂質土。	
15号土抗跡	X=36114 Y=-39420	105×80cm	32cm	隅丸長方形	逆台形	土師器甕・蓋、須恵器杯、軟質土器	白色軽石と炭化物を含む暗赤褐色土。	
16号土抗跡	X=36114 Y=-39421	100×76cm	35cm	隅丸長方形	皿状	土師器甕口縁部片、須恵器杯・壺	微量の白色軽石と炭化物を含む灰黄褐色砂質土。	
17号土抗跡	X=36113 Y=-39423	160×95cm	56cm	隅丸長方形	逆台形	土師器甕口縁部片、須恵器杯・椀	少量の白色軽石と浅黄褐色砂質ロームブロック、炭化物含む灰黄褐色砂質土。	
18号土抗跡	X=36114 Y=-39424	120×100cm	15cm	隅丸長方形	皿状	須恵器杯(墨書土器)	少量の白色軽石と多量の焼土粒、炭化物を含む灰黄褐色砂質土。	
19号土抗跡	X=36113 Y=-39426	160×130cm	30cm	楕円形	逆台形	土師器甕、須恵器杯	少量の白色軽石を含む灰黄褐色砂質土。	
20号土抗跡	X=36114 Y=-39426	130cm×不明	28cm	不明	皿状	須恵器蓋(墨書土器)	微量の白色軽石と、焼土粒、炭化物、洪水砂ブロックを含んだにぶい褐色砂質土。	
21号土抗跡	X=36112 Y=-39424	100×90cm	48cm	隅丸正方形	U字形	須恵器杯	少量の白色軽石と、焼土粒、炭化物を含む灰褐色砂質土。	
22号土抗跡	X=36112 Y=-39423	205×90cm	53cm	隅丸長方形	逆台形		少量の白色軽石と、焼土粒、炭化物を含む灰褐色砂質土。	
23号土抗跡	X=36113 Y=-39428	115×70cm	29cm	不定形	皿状	土師器甕、須恵器杯	多量の浅黄褐色砂質ロームブロックと少量の炭化物を含む灰黄褐色砂質土。	
24号土抗跡	X=36115 Y=-39427	140×120cm	52cm	楕円形	逆台形	土師器杯	多量の浅黄褐色砂質ロームブロックと少量の炭化物を含む灰黄褐色砂質土。	
25号土抗跡	X=36114 Y=-39430	135×120cm	44cm	不定形	逆台形	須恵器杯	多量のローム小ブロック(径5～10mm大)と少量の焼土粒、炭化物を含むにぶい黄褐色砂質土。	
26号土抗跡	X=36110 Y=-39418	130×80cm	29cm	隅丸長方形	皿状	土師器杯(黒色土器)と須恵器杯	少量の白色軽石と焼土粒、炭化物を含む灰褐色砂質土。	
27号土抗跡	X=36115 Y=-39425	100×80cm	39cm	楕円形	U字形	須恵器杯・蓋	多量の浅黄褐色砂質ロームブロックと少量の白色軽石を含んだ灰黄褐色砂質土。	
28号土抗跡	X=36115 Y=-39424	120cm×不明	38cm	不定形	逆台形		多量の浅黄褐色砂質ロームブロックと少量の白色軽石を含んだ灰黄褐色砂質土。	
29号土抗跡	X=36115 Y=-39423	130×90cm	32cm	楕円形	逆台形		少量の白色軽石と焼土粒、炭化物を含んだにぶい黄褐色砂質土。	
30号土抗跡	X=36116 Y=-39431	105×90cm	30cm	隅長正方形	U字形	土師器甕	微量の白色軽石と炭化物を含む灰黄褐色砂質土。	
31号土抗跡	X=36113 Y=-39434	145×125cm	25cm	不定形	逆台形	土師器杯・甕	洪水砂ブロックを含む暗赤褐色土。	
32号土抗跡	X=36116 Y=-39442	135×75cm	35cm	隅丸長方形	U字形	土師器杯(黒色土器)	白色軽石、焼土粒、炭化物、洪水砂ブロックを含む灰褐色砂質土。	
33号土抗跡	X=36095 Y=-39446	115×75cm	40cm	隅丸長方形	半円形	土師器甕、須恵器杯	多量の浅黄褐色砂質ロームブロックと少量の炭化物を含んだ暗褐色砂質土。	
34号土抗跡	X=36108 Y=-39444	130×100cm	36cm	隅丸長方形	逆台形	なし	少量の白色軽石と微量の炭化物を含む灰黄褐色土。	

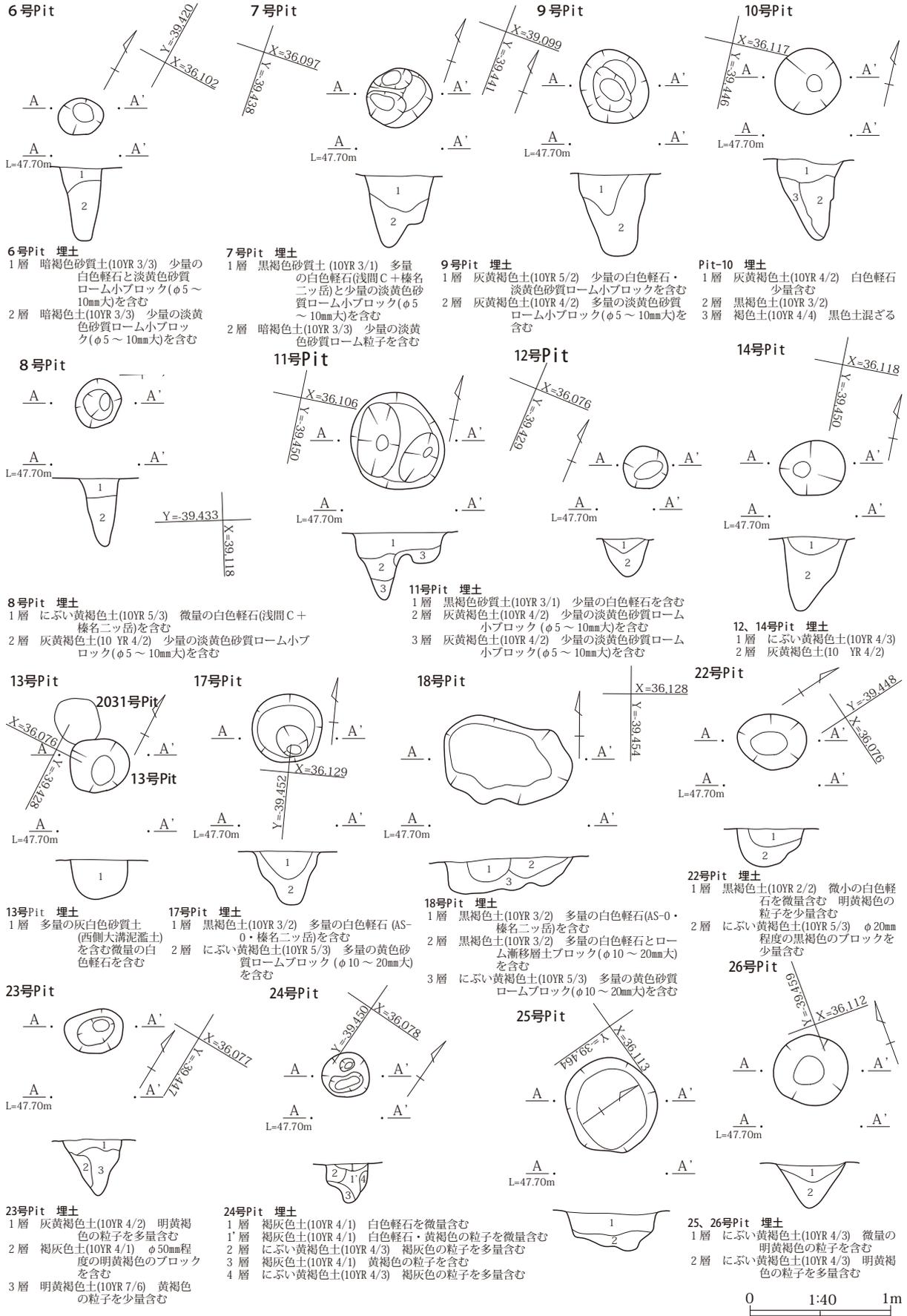
第3章 検出遺構と出土遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	断面形状	出土遺物	埋土	備考
35号土抗跡	X = 36113 Y = - 39420	125 × 115cm	28cm	隅丸長方形	逆台形	土師器杯・甕、須恵器杯	少量の白色軽石と微量の炭化物を含む灰黄褐色土。	
36号土抗跡	X = 36116 Y = - 39421	180 × 150cm	48cm	不定形	逆台形	土師器甕口縁部片	白色軽石と焼土粒、炭化物を含む黒褐色土。	
37号土抗跡	X = 36121 Y = - 39432	不明 × 120cm	36cm	不明	不明	なし	少量の浅黄色砂質ローム粒子と小ブロック含むにぶい黄褐色土。	
38号土抗跡	X = 36120 Y = - 39432	230 × 160cm	30cm	不定形	逆台形	底部直上から須恵器杯の破片	多量の浅黄色砂質ロームブロックと微量の白色軽石を含むにぶい黄褐色土。	
39号土抗跡	X = 36110 Y = - 39437	100 × 50cm	30cm	不定形	U字形	土師器甕	多量のローム小ブロックと少量の白色軽石を含む暗灰黄色土。	
40号土抗跡	X = 36111 Y = - 39437	120 × 70cm	26cm	隅丸長方形	逆台形	須恵器甕	微量の白色軽石とローム粒子を含む灰黄褐色土。	
41号土抗跡	X = 36112 Y = - 39437	120 × 90cm	47cm	隅丸長方形	半円形	土師器甕	少量のローム小ブロックと白色軽石、炭化物を含む灰黄褐色土。	
42号土抗跡	X = 36119 Y = - 39431	不明	26cm	不明	皿状	須恵器蓋破片	多量の浅黄色砂質ロームブロックと微量の白色軽石を含むにぶい黄褐色土。	
43号土抗跡	X = 36106 Y = - 39440	105 × 90cm	52cm	隅丸長方形	U字形	土師器杯、須恵器杯	多量の浅黄色砂質ローム粒子と少量の白色軽石を含む暗灰黄色土。	
44号土抗跡	X = 36120 Y = - 39434	130 × 130cm	30cm	円形	皿状	なし	少量のローム粒子、白色軽石、微量の焼土粒、炭化物を含む灰黄褐色土。	
45号土抗跡	X = 36090 Y = - 39410	102 × 87cm	49cm	隅丸長方形	逆台形	土師器甕	多量の白色軽石と浅黄色砂質ローム粒子、ローム小ブロックを含む暗褐色砂質土。	
46号土抗跡	X = 36091 Y = - 39408	105 × 92cm	55cm	隅丸長方形	U字形	土師器甕、須恵器杯の口縁部片	多量の白色軽石と浅黄色砂質ローム粒子を含む暗褐色砂質土。	
47号土抗跡	X = 36093 Y = - 39417	95 × 60cm	19cm	楕円形	皿状	なし	多量の白色軽石と少量の浅黄色砂質ローム粒子を含む黒褐色砂質土。	
48号土抗跡	X = 36093 Y = - 39423	38 × 33cm	67cm	ほぼ円形	U字形	なし	少量の白色軽石と浅黄色砂質ロームブロックを含む暗褐色砂質土。	柱穴の可能性が高い。
49号土抗跡	X = 36093 Y = - 39422	120 × 100cm	43cm	隅丸長方形	逆台形	なし	少量の白色軽石と浅黄色砂質ロームブロックを含む暗褐色砂質土。	
50号土抗跡	X = 36093 Y = - 39449	105 × 75cm	30cm	隅丸長方形	半円形	なし	多量の炭化物と少量のロームブロックを含んだ灰褐色土。	
51号土抗跡	X = 36092 Y = - 39453	80 × 55cm	80cm	隅丸長方形	半円形	土師器甕、須恵器杯の口縁部片	少量のロームブロックを含んだ灰褐色土。	柱穴の可能性が高い。
52号土抗跡	X = 36130 Y = - 39444	112 × 100cm	26cm	隅丸長方形	逆台形	なし	少量のローム小ブロックを含んだ暗灰黄色土。	
53号土抗跡	X = 36132 Y = - 39469	83 × 63cm	11cm	不定形	皿状	なし	8号溝の氾濫時オーバーフロー堆積土となる淡黄色極細シルト質土。	
54号土抗跡	X = 36133 Y = - 39471	92 × 60cm	8cm	不定形	皿状	なし	8号溝の氾濫時オーバーフロー堆積土となる淡黄色極細シルト質土。	
55号土抗跡	X = 36134 Y = - 39475	190 × 90cm	13cm	不定形	皿状	土師器甕、須恵器杯	8号溝の氾濫時オーバーフロー堆積土となる淡黄色極細シルト質土。	
56号土抗跡	X = 36114 Y = - 39440	135 × 95cm	68cm	隅丸長方形	逆台形	土師器甕底部片、須恵器蓋破片	多量の白色軽石と少量のローム小ブロック、炭化物を含む灰黄褐色砂質土。	
57号土抗跡	X = 36107 Y = - 39440	80 × 60cm	33cm	楕円形	U字形	なし	多量の淡黄色砂質ロームブロックを含む灰黄褐色砂質土。	
58号土抗跡	X = 36117 Y = - 39438	80 × 62cm	40cm	楕円形	U字形	なし	少量の白色軽石と淡黄色砂質ロームブロックを含む灰黄褐色砂質土。	
59号土抗跡	X = 36114 Y = - 39430	80 × 35cm	53cm	不定形	U字形	なし	多量の白色軽石を含む灰黄褐色砂質土。	1本の柱穴と重複している可能性あり。
60号土抗跡	X = 36109 Y = - 39434	100 × 75cm	12cm	隅丸長方形	皿状	なし	多量の白色軽石と少量の焼土粒、炭化物を含む灰黄褐色砂質土。	
61号土抗跡	X = 36101 Y = - 39418	60 × 25cm	26cm	不定形	U字形	なし	多量の白色軽石を含む黒褐色砂質土。	
62号土抗跡	X = 36134 Y = - 39475	100 × 65cm	27cm	不定形	皿状	土師器甕	多量の焼土ブロック、炭化物を含む灰黄褐色土。	埋土の一部に8号溝の氾濫時オーバーフロー堆積土が認められる。
63号土抗跡	X = 36103 Y = - 39415	78 × 63cm	53cm	不定形	逆台形	土師器甕	少量の白色軽石とローム粒子、炭化物、淡黄色砂質ローム小ブロックを含む灰黄褐色砂質土。	
64号土抗跡	X = 36092 Y = - 39421	55 × 48cm	24cm	不定形	U字形	なし	微量の白色軽石を含む黒褐色土。	
65号土抗跡	X = 36093 Y = - 39420	65 × 60cm	25cm	楕円形	逆台形	なし	微量の白色軽石を含む黒褐色土。	
66号土抗跡	X = 36094 Y = - 39419	85 × 63cm	31cm	不定形	逆台形	なし	微量の白色軽石を含む黒褐色土。	
67号土抗跡	X = 36095 Y = - 39418	60 × 55cm	39cm	不定形	U字形	なし	微量の白色軽石を含む黒褐色土。	

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

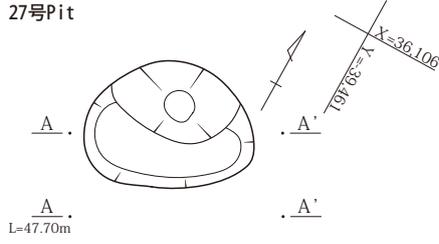
遺構名	位置	規模	深度	平面形状	断面形状	出土遺物	埋土	備考
68号土抗跡	X=36126 Y=-39436	100×55cm	61cm	不定形	U字形	なし	幅20cmほどの柱穴痕と思われる焼土粒を含んだ黒褐色土。	11号掘立柱建物に伴う柱穴の可能性はある。
69号土抗跡	X=36089 Y=-39408	120×90cm	9cm	楕円形	皿状	土師器甕	多量の白色軽石を含む黒褐色質土。	
70号土抗跡	X=36136 Y=-39478	126×70cm	14cm	隅丸長方形	皿状	なし	白色軽石、焼土粒、炭化物を含む黒褐色土。	
71号土抗跡	X=36074 Y=-39417	115×95cm	15cm	不定形	皿状	なし	少量の白色軽石、ロームブロックを含む黒褐色土。	
72号土抗跡	X=36073 Y=-39417	170×50cm	11cm	不定形	皿状	なし	少量の白色軽石を含む黒褐色土。	
73号土抗跡	X=36111 Y=-39417	90×40cm	54cm	楕円形	逆台形	なし	少量の白色軽石を含む暗褐色土。	
74号土抗跡	X=36112 Y=-39415	120×115cm	35cm	不定形	逆台形	なし	少量の白色軽石と微量の明黄褐色ブロックを含んだ暗褐色土。	
75号土抗跡	X=36121 Y=-39436	不明	62cm	不明	U字形	なし	白色軽石と少量の焼土粒を含む黒褐色土。	11号掘立柱建物に伴う柱穴の可能性が高い。本遺構の北側は調査区域外。
76号土抗跡	X=36080 Y=-39436	不明×75cm	30cm	不明	U字形	なし	黒褐色粒子を含むにぶい黄褐色土。	
77号土抗跡	X=36084 Y=-39438	232×155cm	30cm	隅丸長方形	皿状	なし	褐色粒子を含む褐灰色土。	
78号土抗跡	X=36135 Y=-39444	225×190cm	55cm	楕円形	逆台形	なし	少量の白色軽石を含んだ暗褐色土。	
79号土抗跡	X=36076 Y=-39424	125×80cm	10cm	隅丸長方形	皿状	なし	褐灰色粒子、にぶい黄褐色ブロックを含む灰黄褐色土。	
80号土抗跡	X=36076 Y=-39434	130×100cm	20cm	楕円形	逆台形	なし	不明	
81号土抗跡	X=36075 Y=-39433	103×92cm	20cm	楕円形	皿状	なし	不明	
82号土抗跡	X=36084 Y=-39445	62×45cm	35cm	不定形	逆台形	なし	褐色粒子を含む黒褐色土。	
83号土抗跡	X=36082 Y=-39415	65×60cm	17cm	不定形	逆台形	なし	不明	
84号土抗跡	X=36075 Y=-39440	82×28cm	33cm	不定形	U字形	なし	褐色粒子を含む褐灰色土。	
85号土抗跡	X=36122 Y=-39430	不明×50cm	28cm	不定形	U字形	なし	微量の白色軽石と焼土粒、褐色粒子を含む褐灰色土。	
86号土抗跡	X=36129 Y=-39457	95×85cm	14cm	不定形	逆台形	なし	褐色粒子と黒褐色粒子を含む暗褐色土。	
87号土抗跡	X=36123 Y=-39466	156×106cm	16cm	楕円形	逆台形	なし	径5mmの褐色ブロックを含むにぶい黄褐色土。	7号溝は本遺構よりも70cm上面で検出。
88号土抗跡	X=36130 Y=-39448	66×56cm	26cm	不定形	U字形	なし	多量の暗褐色ブロックを含んだ灰黄褐色土。	
89号土抗跡	X=36143 Y=-39457	65×50cm	14cm	不定形	皿状	なし	褐色ブロックと明黄褐色ブロックを含んだ灰黄褐色土。	
90号土抗跡	X=36075 Y=-39447	105×50cm	37cm	不定形	U字形	なし	にぶい黄褐色粒子とブロックを含む黒褐色土。	
91号土抗跡	X=36076 Y=-39424	107×80cm	110cm	楕円形	U字形	なし	黄褐色粒子を含む黒褐色土。自然石が大量に含まれる。	井戸の可能性
92号土抗跡	X=36149 Y=-39478	125×102cm	14cm	楕円形	逆台形	なし	焼土と炭、砂を含んだ黒色土。	
93号土抗跡	X=36067 Y=-39470	115×75cm	35cm	隅丸長方形	逆台形	なし	砂と焼土粒を含んだ黒色土。	
94号土抗跡	X=36083 Y=-39447	580×380cm	68cm	不定形	逆台形	須恵器杯破片(底部にヘラ記号「三」)	焼土、炭化物、白色軽石を含む極暗赤褐色土。中位に洪水ブロックを多く含む。	一部で淡黄色砂質ローム部をえぐるように掘っていることから、土取り目的の土坑と思われる。
95号土抗跡	X=36113 Y=-39456	130×100cm	20cm	不定形	逆台形	なし	黒褐色粒子を含む灰黄褐色土。	
100号土抗跡	X=36068 Y=-39471	145×90cm	52cm	不定形	U字形	なし	少量の白色軽石と炭化物、焼土粒を含んだ褐色粘質土。	
101号土抗跡	X=36186 Y=-3950	328×300cm	126cm	不定形	逆台形	須恵器杯(墨書土器)	白色軽石と少量の焼土粒を含む暗赤褐色砂質土。	調査時は1号不明遺構

第3章 検出遺構と出土遺物



第540図 8区6~14・17・18・22~26号Pit跡平・断面図

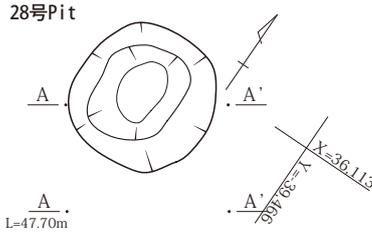
27号Pit



27号Pit 埋土

- 1層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 黒褐色の粒子を含む  
φ10mm～20mm程度の明黄褐色のブ  
ロックを少量含む
- 2層 明黄褐色土(10YR 7/6) 黒褐色の粒子・褐色  
の粒子を含む

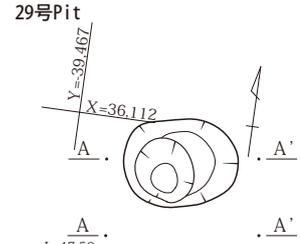
28号Pit



28号Pit 埋土

- 1層 灰黄褐色土(10YR 6/2)
- 2層 褐灰色土(10YR 4/1)
- 3層 褐灰色土(10YR 4/1) φ30mm程度のにぶい黄褐色の  
ブロックを含む
- 4層 灰黄褐色土(10YR 4/2) にぶい黄褐色の粒子を含む
- 5層 にぶい黄褐色土(10YR 7/4) ブロック

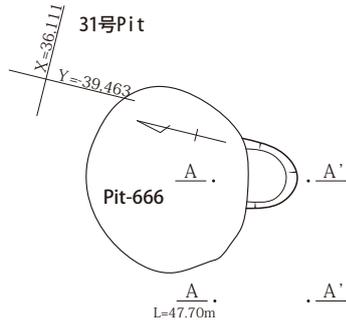
29号Pit



29号Pit 埋土

- 1層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 黒褐色の粒子を微量含む
- 2層 明黄褐色土(10YR 7/6) 黒褐色の粒子を微量含む
- 3層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 黒褐色の粒子を微量含む  
φ20mm～40mm程度の明黄褐色のブロックを  
含む

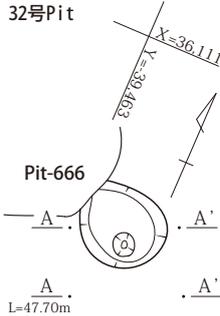
31号Pit



31号Pit 埋土

- 1層 褐灰色土(10YR 5/1) 微小の白石軽石・褐色の粒子を微量含む
- 2層 にぶい黄褐色土(10YR 5/3) 褐色の粒子を塊状に含む

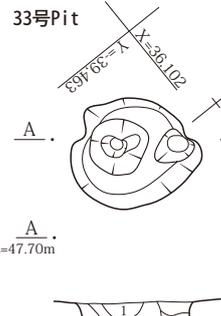
32号Pit



32号Pit 埋土

- 1層 にぶい黄褐色土(10YR 5/4) 灰黄褐色の粒子を少量含む
- 2層 灰黄褐色土(10YR 4/2) にぶい黄褐色の粒子を少量含む
- 3層 にぶい黄褐色土(10YR 5/4) 灰黄褐色の粒子を少量含む

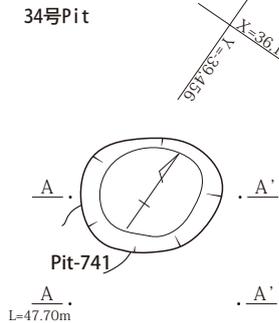
33号Pit



33号Pit 埋土

- 1層 灰黄褐色土(10YR 5/2) 微量の  
白石軽石を含む
- 2層 灰黄褐色土(10YR 5/2) 褐色の  
粒子を含む
- 3層 黒褐色土(10YR 3/2) 微量の白  
石軽石を含む
- 4層 にぶい黄褐色土(10YR 6/3)  
灰黄褐色の粒子を含む
- 5層 黒褐色土(10YR 3/2) φ1mm～  
5mm程度の明黄褐色のブ  
ロックを含む
- 6層 にぶい黄褐色土(10YR 6/4)  
φ10mm程度の灰黄褐色  
のブロックを含む
- 7層 灰黄褐色土(10YR 5/2) φ1mm程  
度の明黄褐色のブロッ  
クを少量含む
- 8層 明黄褐色土(10YR 7/6) 微小  
の灰黄褐色の粒子を含む
- 9層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 微小  
の明黄褐色の粒子を少量  
含む

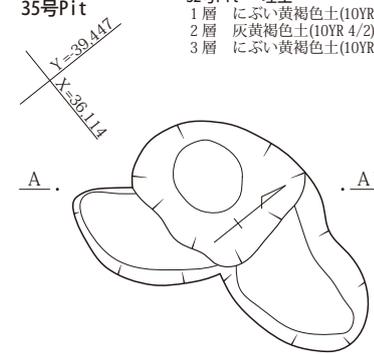
34号Pit



34号Pit 埋土

- 1層 にぶい黄褐色土(10YR 4/3) 褐色とにぶい黄褐色の  
粒子が含まれる
- 2層 にぶい黄褐色土(10YR 6/3) 褐色の粒子が含まれる

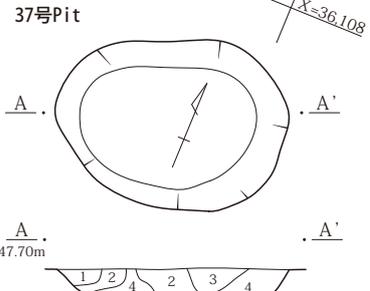
35号Pit



35号Pit 埋土

- 1層 灰黄褐色土(10YR 5/2) φ1mm程度の褐色の粒子を多量含む
- 2層 灰黄褐色土(10YR 5/2) 明黄褐色の粒子を含む
- 3層 灰黄褐色土(10YR 5/2) φ1mm程度の褐色の粒子を多く含むφ50mm程度  
の明黄褐色のブロックを含む
- 4層 明黄褐色土(10YR 7/6) 灰黄褐色のブロック(10mm～30mm)を多量含む
- 5層 灰黄褐色土(10YR 5/2) 明黄褐色のブロック(φ10mm程度)を少量含む

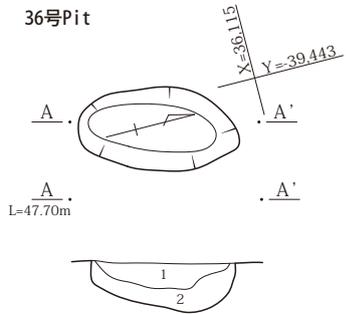
37号Pit



37号Pit 埋土

- 1層 褐灰色土(10YR 5/1) 褐色の粒子・明黄褐色のブロック(φ  
10mm)を少量含む
- 2層 灰黄褐色土(10YR 5/2) 褐色の粒子・明黄褐色のブロック  
(φ10mm)を少量含む
- 3層 にぶい黄褐色土(10YR 6/3) 褐色の粒子・明黄褐色のブロッ  
ク(φ20mm～40mm)を含む
- 4層 にぶい黄褐色土(10YR 7/4) 褐色のブロック(φ1mm程度)を  
多量含む 明黄褐色の粒子を少量含む

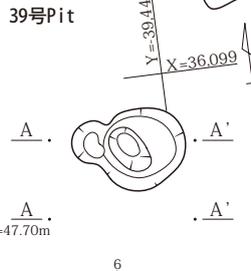
36号Pit



36号Pit 埋土

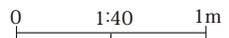
- 1層 褐灰色土(10YR 4/1) 褐色の粒子・明黄褐色のブロック  
(φ10mm～20mm)を含む φ1mm程度の礫を少量含む
- 2層 にぶい黄褐色土(10YR 7/4) 褐色の粒子を含む 褐灰色  
の粒子と斑状に混ざっている

39号Pit



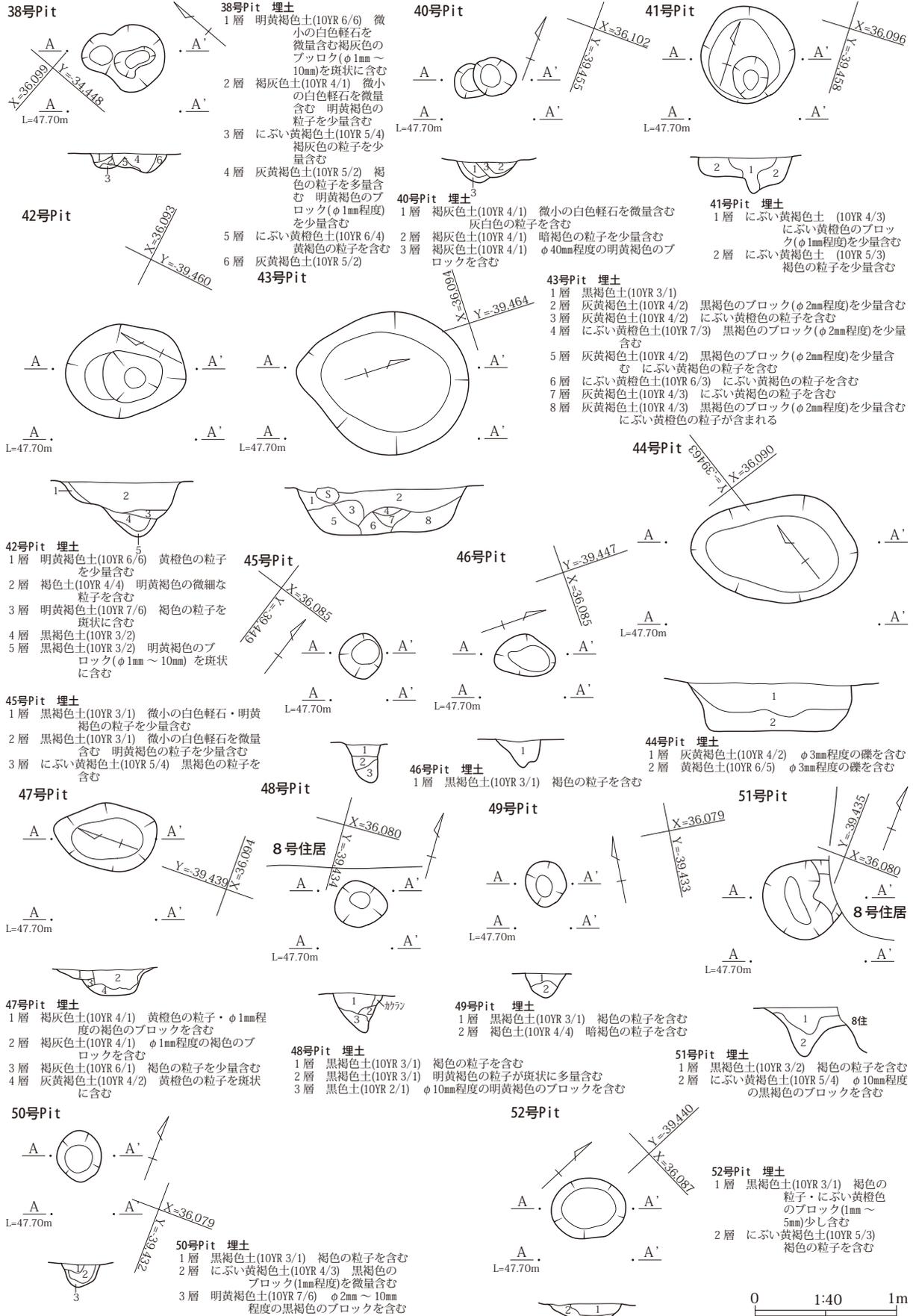
39号Pit 埋土

- 1層 黒褐色土(10YR 3/1) 微小の白色軽石を微量含む 褐色のブロック(φ5mm  
程度)を少量含む
- 2層 にぶい黄褐色土(10YR 5/4) 黒褐色土の粒子を少量含む
- 3層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 褐色の粒子を含む
- 4層 にぶい黄褐色土(10YR 5/3)
- 5層 にぶい黄褐色土(10YR 5/3) 明黄褐色のブロック(φ5mm程度)を少量含む
- 6層 にぶい黄褐色土(10YR 5/3) 黒褐色の粒子を少量含む
- 7層 にぶい黄褐色土(10YR 5/3) 褐色の粒子を帯状に含む
- 8層 にぶい黄褐色土(10YR 5/3)

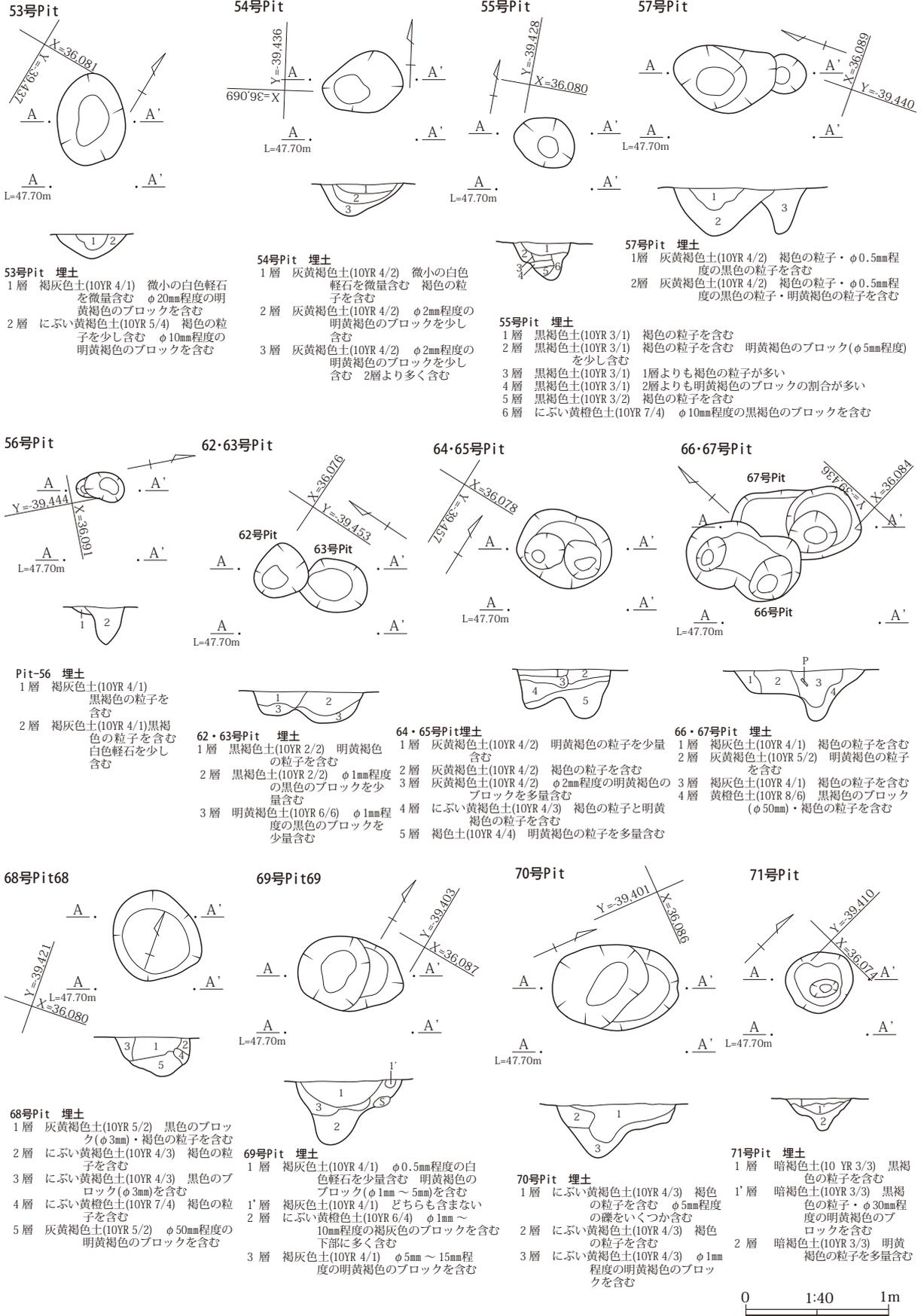


第541図 8区27～29・31～37・39号Pit跡平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物

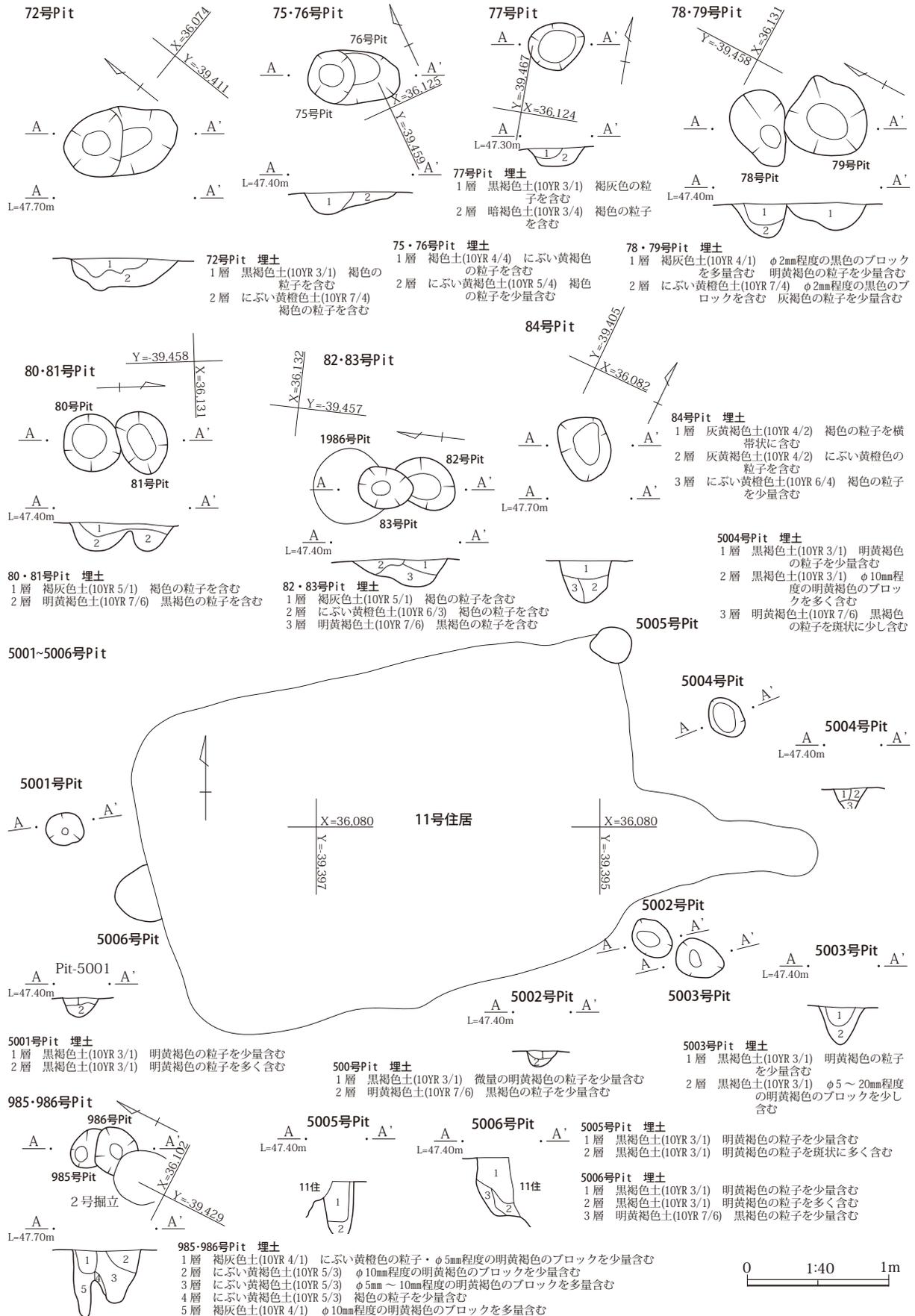


第542図 8区38・40~52号Pit跡平断面図



第543図 8区53~57・62~71号Pit跡平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物



第544図 8区72・75~84・985・986・5001~5006号Pit跡平・断面図

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

8区 Pit 一覧表

注) 計測値の ( ) は、推定値を示す

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
1号 Pit 跡	X = 36186 Y = -39508	65 × 55cm	81cm	楕円形	なし	埋土不明。	
2号 Pit 跡	X = 36138 Y = -39452	不明 × 35cm	不明	楕円形か	須恵器鍋把手部、須恵器杯、土師器甕	埋土不明。	
3号 Pit 跡	X = 36108 Y = -39443	45 × 45cm	48cm	不定形	なし	微量の白色軽石を含む。	
6号 Pit 跡	X = 36101 Y = -39420	65 × 55cm	81cm	楕円形	なし	少量の白色軽石を含む。	
7号 Pit 跡	X = 36097 Y = -39437	48 × 40cm	51cm	楕円形	なし	多量の白色軽石を含む。	
8号 Pit 跡	X = 36117 Y = -39434	40 × 35cm	50cm	楕円形	なし	微量の白色軽石を含む。	6号掘立柱建物の中にある (関係は不明)。
9号 Pit 跡	X = 36099 Y = -39441	52 × 50cm	62cm	円形	なし	少量の白色軽石を含む。	
10号 Pit 跡	X = 36117 Y = -39445	48 × 45cm	62cm	円形	なし	少量の白色軽石を含む。	
11号 Pit 跡	X = 36106 Y = -39449	70 × 68cm	50cm	円形	なし	多量の白色軽石を含む。	
12号 Pit 跡	X = 36076 Y = -39428	32 × 32cm	27cm	円形	なし	微量の白色軽石を含む。	8・9号溝の氾濫土が上位に堆積する。
13号 Pit 跡	X = 36076 Y = -39427	43 × 35cm	72cm	楕円形	なし	灰白色砂質土を含む。	8・9号溝の氾濫土が堆積する。
14号 Pit 跡	X = 36117 Y = -39450	47 × 37cm	53cm	楕円形	なし	微量の白色軽石を含む。	
15号 Pit 跡	X = 36128 Y = -39457	27 × 26cm	59cm	楕円形	なし	埋土不明。	
16号 Pit 跡	X = 36130 Y = -39450	43 × 34cm	18cm	円形	土師器杯・甕	埋土不明。	
17号 Pit 跡	X = 36129 Y = -39452	46 × 45cm	44cm	円形	なし	多量の白色軽石を含む。	
18号 Pit 跡	X = 36128 Y = -39455	90 × 60cm	23cm	不定形	なし	白色軽石を含む。	
22号 Pit 跡	X = 36075 Y = -39448	50 × 40cm	27cm	楕円形	なし	微量の白色軽石を含む。	
23号 Pit 跡	X = 36077 Y = -39447	43 × 30cm	40cm	楕円形	なし		
24号 Pit 跡	X = 36077 Y = -39450	33 × 33cm	34cm	円形	なし	微量の白色軽石を含む。	
25号 Pit 跡	X = 36113 Y = -39463	70 × 65cm	34cm	楕円形	なし		
26号 Pit 跡	X = 36112 Y = -39459	52 × 50cm	32cm	円形	なし		
27号 Pit 跡	X = 36105 Y = -39462	90 × 65cm	35cm	楕円形	なし		
28号 Pit 跡	X = 36113 Y = -39467	75 × 75cm	35cm	円形	なし		
29号 Pit 跡	X = 36112 Y = -39466	60 × 45cm	46cm	楕円形	なし		
30号 Pit 跡	X = 36112 Y = -39456	50 × 35cm	17cm	不定形	なし		
31号 Pit 跡	X = 36110 Y = -39463	(55) × 35cm	20cm	楕円形か	なし	微量の白色軽石を含む。	
32号 Pit 跡	X = 36110 Y = -39463	50 × 43cm	38cm	楕円形	なし		
33号 Pit 跡	X = 36102 Y = -39462	70 × 60cm	51cm	楕円形	なし	微量の白色軽石を含む。	
34号 Pit 跡	X = 36104 Y = -39456	75 × 60cm	31cm	楕円形	なし		
35号 Pit 跡	X = 36114 Y = -39446	100 × 80cm	45cm	不定形	なし		2基の Pit と重複か。
36号 Pit 跡	X = 36114 Y = -39443	86 × 45cm	30cm	楕円形	なし		
37号 Pit 跡	X = 36107 Y = -39428	125 × 90cm	20cm	不定形	なし		4号掘立柱建物の中にあるが、約 10cm 下面で検出。
38号 Pit 跡	X = 36099 Y = -39447	60 × 50cm	19cm	不定形	なし	微量の白色軽石を含む。	
39号 Pit 跡	X = 36099 Y = -39448	60 × 45cm	26cm	不定形	なし	微量の白色軽石を含む。	
40号 Pit 跡	X = 36101 Y = -39455	30 × 28cm	16cm	円形	なし	微量の白色軽石を含む。	Pit と重複 (40号 Pit の方が新しい)。
41号 Pit 跡	X = 36095 Y = -39458	70 × 67cm	36cm	円形	なし		
42号 Pit 跡	X = 36093 Y = -39461	83 × 67cm	47cm	楕円形	なし		
43号 Pit 跡	X = 36093 Y = -39464	120 × 102cm	32cm	不定形	なし	径 3 mm 程の礫を含む。	土坑か。
44号 Pit 跡	X = 36089 Y = -39463	118 × 76cm	36cm	不定形	なし	径 3 mm 程の礫を含む。	土坑か。
45号 Pit 跡	X = 36085 Y = -39448	33 × 30cm	31cm	円形	なし	少量の白色軽石を含む。	
46号 Pit 跡	X = 36084 Y = -39446	44 × 30cm	22cm	不定形	なし		
47号 Pit 跡	X = 36095 Y = -39446	70 × 50cm	20cm	不定形	なし		
48号 Pit 跡	X = 36080 Y = -39434	38 × 33cm	35cm	円形	なし		
49号 Pit 跡	X = 36079 Y = -39434	32 × 29cm	18cm	円形	なし		
50号 Pit 跡	X = 36079 Y = -39433	36 × 32cm	20cm	円形	なし		
51号 Pit 跡	X = 36080 Y = -39435	(65) × 55cm	36cm	不定形	なし		
52号 Pit 跡	X = 36086 Y = -39440	52 × 43cm	12cm	楕円形	なし		1号掘立柱建物の中にあるが、約 14cm 下面で検出。
53号 Pit 跡	X = 36081 Y = -39436	65 × 48cm	19cm	楕円形	なし	微量の白色軽石を含む。	
54号 Pit 跡	X = 36069 Y = -39435	57 × 42cm	27cm	不定形	なし		3号掘立柱建物の中にあるが、約 10cm 下面で検出。微量の白色軽石を含む。
55号 Pit 跡	X = 36080 Y = -39428	45 × 35cm	28cm	楕円形	なし		
56号 Pit 跡	X = 36091 Y = -39444	28 × 20cm	29cm	楕円形	なし	少量の白色軽石を含む。	1基の Pit と重複か。
57号 Pit 跡	X = 36090 Y = -39440	71 × 46cm	36cm	不定形	なし		1基の Pit と重複か。
61号 Pit 跡	X = 36083 Y = -39446	45 × 37cm	26cm	不定形	なし	微量の白色軽石を含む。	
62号 Pit 跡	X = 36076 Y = -39454	40 × 40cm	20cm	円形	なし		
63号 Pit 跡	X = 36076 Y = -39453	(47) × 38cm	22cm	楕円形	なし		
64号 Pit 跡	X = 36078 Y = -39456	45 × (35)cm	32cm	楕円形	なし		埋土は北西側から流れ込んでいる。
65号 Pit 跡	X = 36078 Y = -39456	45 × (35)cm	39cm	楕円形	なし		埋土は北西側から流れ込んでいる。
66号 Pit 跡	X = 36085 Y = -39436	不明 × (50)cm	16cm	楕円形	なし		
67号 Pit 跡	X = 36084 Y = -39436	50 × 53cm	39cm	円形	なし		
68号 Pit 跡	X = 36081 Y = -39420	66 × 60cm	32cm	不定形	なし		

第3章 検出遺構と出土遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
69号 Pit 跡	X = 36087 Y = -39403	72 × 53cm	54cm	楕円形	なし	少量の白色軽石を含む。	
70号 Pit 跡	X = 36085 Y = -39401	88 × 60cm	38cm	楕円形	なし		
71号 Pit 跡	X = 36074 Y = -39410	48 × 42cm	26cm	不定形	なし		
72号 Pit 跡	X = 36074 Y = -39412	81 × 47cm	21cm	不定形	なし		
73号 Pit 跡	X = 36083 Y = -39446	45 × 37cm	26cm	不定形	なし		
74号 Pit 跡	X = 36083 Y = -39446	45 × 37cm	26cm	不定形	なし		73号 Pit より新しい。
75号 Pit 跡	X = 36125 Y = -39459	38 × 35cm	17cm	円形	なし		
76号 Pit 跡	X = 36125 Y = -39459	不明 × 35cm	8cm	楕円形か	なし		
77号 Pit 跡	X = 36124 Y = -39465	40 × 34cm	14cm	円形	なし		5号掘立柱建物の中にあるが、約30cm下面で検出。7号溝よりも下層面で検出。
78号 Pit 跡	X = 36131 Y = -39458	58 × 40cm	32cm	不定形	なし		7号溝よりも下層面で検出。
79号 Pit 跡	X = 36130 Y = -39458	60 × 58cm	19cm	不定形	なし		7号溝よりも下層面で検出。
80号 Pit 跡	X = 36130 Y = -39457	40 × 40cm	20cm	円形	なし		7号溝よりも下層面で検出。
81号 Pit 跡	X = 36130 Y = -39457	45 × 35cm	20cm	楕円形	なし		7号溝よりも下層面で検出。
82号 Pit 跡	X = 36131 Y = -39457	(45) × 35cm	20cm	楕円形	なし		7号溝よりも下層面で検出。
83号 Pit 跡	X = 36131 Y = -39457	38 × 30cm	11cm	楕円形	なし		1986号 Pit より新しい。7号溝よりも下層面で検出。
84号 Pit 跡	X = 36081 Y = -39405	45 × 35cm	29cm	不定形	なし		
376号 Pit 跡	X = 36151 Y = -39470	36 × 34cm	13cm	ほぼ円形	なし		
377号 Pit 跡	X = 36150 Y = -39470	48 × 34cm	25cm	楕円形	なし		
378号 Pit 跡	X = 36150 Y = -39470	34 × 28cm	13cm	円形	なし		
379号 Pit 跡	X = 36149 Y = -39473	33 × 31cm	17cm	円形	なし		
380号 Pit 跡	X = 36148 Y = -39471	30 × 25cm	17cm	不定形	なし		
381号 Pit 跡	X = 36148 Y = -39470	34 × 30cm	57cm	円形	なし		
382号 Pit 跡	X = 36147 Y = -39469	50 × 43cm	33cm	ほぼ円形	なし		
383号 Pit 跡	X = 36147 Y = -39470	58 × 47cm	30cm	楕円形	なし		
384号 Pit 跡	X = 36145 Y = -39469	38 × 38cm	48cm	円形	なし		
385号 Pit 跡	X = 36141 Y = -39470	50 × 45cm	28cm	円形	なし		
386号 Pit 跡	X = 36140 Y = -39472	30 × 25cm	24cm	円形	なし		
387号 Pit 跡	X = 36141 Y = -39469	28 × 23cm	25cm	楕円形	なし		
388号 Pit 跡	X = 36141 Y = -39468	30 × 25cm	7cm	楕円形	なし		
389号 Pit 跡	X = 36140 Y = -39467	50 × 45cm	19cm	円形	なし		
390号 Pit 跡	X = 36138 Y = -39467	52 × 50cm	30cm	円形	なし	埋土不明。	
391号 Pit 跡	X = 36136 Y = -39467	27 × 26cm	35cm	ほぼ円形	なし		
392号 Pit 跡	X = 36136 Y = -39464	27 × 23cm	20cm	円形	なし		
393号 Pit 跡	X = 36135 Y = -39463	69 × 51cm	44cm	楕円形	なし		
394号 Pit 跡	X = 36136 Y = -39461	31 × 29cm	29cm	円形	なし		
395号 Pit 跡	X = 36138 Y = -39461	39 × 38cm	25cm	円形	なし		
396号 Pit 跡	X = 36144 Y = -39459	34 × 29cm	46cm	円形	なし	埋土不明。	
397号 Pit 跡	X = 36137 Y = -39457	25 × 23cm	27cm	楕円形	なし	埋土不明。	
398号 Pit 跡	X = 36136 Y = -39458	43 × 28cm	28cm	楕円形	なし	埋土不明。	
399号 Pit 跡	X = 36135 Y = -39458	77 × 53cm	40cm	楕円形	なし	埋土不明。	
400号 Pit 跡	X = 36134 Y = -39459	22 × 18cm	33cm	円形	なし	埋土不明。	
401号 Pit 跡	X = 36133 Y = -39459	18 × 16cm	14cm	円形	なし	埋土不明。	
402号 Pit 跡	X = 36133 Y = -39466	33 × 33cm	56cm	円形	なし	埋土不明。	
403号 Pit 跡	X = 36133 Y = -39467	30 × 24cm	23cm	楕円形	なし	埋土不明。	
404号 Pit 跡	X = 36135 Y = -39467	52 × 46cm	56cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
405号 Pit 跡	X = 36135 Y = -39470	61 × 48cm	30cm	楕円形	なし	埋土不明。	
406号 Pit 跡	X = 36134 Y = -39475	37 × 33cm	26cm	円形	なし	埋土不明。	
407号 Pit 跡	X = 36134 Y = -39475	46 × 37cm	21cm	楕円形	なし	埋土不明。	
408号 Pit 跡	X = 36133 Y = -39476	32 × 28cm	21cm	円形	なし	埋土不明。	
409号 Pit 跡	X = 36134 Y = -39476	36 × 25cm	21cm	楕円形	なし	埋土不明。	
410号 Pit 跡	X = 36134 Y = -39477	55 × 40cm	71cm	楕円形	なし	埋土不明。	
411号 Pit 跡	X = 36134 Y = -39477	43 × 39cm	14cm	円形	なし	埋土不明。	
412号 Pit 跡	X = 36133 Y = -39477	29 × 28cm	21cm	円形	なし	埋土不明。	
413号 Pit 跡	X = 36133 Y = -39477	32 × 27cm	19cm	円形	なし	埋土不明。	
414号 Pit 跡	X = 36132 Y = -39477	24 × 19cm	20cm	円形	なし	埋土不明。	
415号 Pit 跡	X = 36133 Y = -39476	33 × 31cm	24cm	円形	なし	埋土不明。	
416号 Pit 跡	X = 36132 Y = -39476	57 × 33cm	21cm	楕円形	なし	埋土不明。	
417号 Pit 跡	X = 36132 Y = -39476	24 × 21cm	21cm	円形	なし	埋土不明。	
418号 Pit 跡	X = 36132 Y = -39477	25 × 25cm	14cm	円形	なし	埋土不明。	
419号 Pit 跡	X = 36132 Y = -39477	18 × 16cm	17cm	円形	なし	埋土不明。	
420号 Pit 跡	X = 36132 Y = -39478	19 × 17cm	12cm	円形	なし	埋土不明。	
421号 Pit 跡	X = 36132 Y = -39478	27 × 25cm	17cm	円形	なし	埋土不明。	
422号 Pit 跡	X = 36132 Y = -39479	36 × 15cm	17cm	楕円形	なし	埋土不明。	
423号 Pit 跡	X = 36131 Y = -39479	31 × 30cm	18cm	円形	なし	埋土不明。	
424号 Pit 跡	X = 36129 Y = -39477	20 × 17cm	16cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
425号 Pit 跡	X = 36129 Y = -39477	31 × 30cm	25cm	円形	なし	埋土不明。	
426号 Pit 跡	X = 36129 Y = -39476	21 × 21cm	15cm	円形	なし	埋土不明。	
427号 Pit 跡	X = 36130 Y = -39476	33 × 28cm	17cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
428号 Pit 跡	X = 36129 Y = -39475	28 × 21cm	20cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
429号 Pit 跡	X = 36129 Y = -39476	33 × 22cm	21cm	楕円形	なし	埋土不明。	
430号 Pit 跡	X = 36126 Y = -39476	74 × 72cm	17cm	円形	なし	埋土不明。	
431号 Pit 跡	X = 36130 Y = -39468	30 × 23cm	28cm	楕円形	なし	埋土不明。	
432号 Pit 跡	X = 36130 Y = -39467	29 × 29cm	16cm	円形	なし	埋土不明。	
433号 Pit 跡	X = 36128 Y = -39466	54 × 41cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明。	
435号 Pit 跡	X = 36126 Y = -39464	37 × 29cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明。	
436号 Pit 跡	X = 36126 Y = -39462	45 × 37cm	32cm	楕円形	なし	埋土不明。	
437号 Pit 跡	X = 36123 Y = -39469	33 × 23cm	22cm	楕円形	なし	埋土不明。	
438号 Pit 跡	X = 36122 Y = -39470	30 × 25cm	12cm	楕円形	なし	埋土不明。	
439号 Pit 跡	X = 36121 Y = -39471	36 × 34cm	27cm	円形	なし	埋土不明。	
440号 Pit 跡	X = 36121 Y = -39470	34 × 33cm	23cm	円形	なし	埋土不明。	
441号 Pit 跡	X = 36121 Y = -39469	28 × 26cm	19cm	円形	なし	埋土不明。	
442号 Pit 跡	X = 36120 Y = -39471	39 × 35cm	21cm	円形	なし	埋土不明。	
443号 Pit 跡	X = 36119 Y = -39471	37 × 36cm	12cm	円形	なし	埋土不明。	
444号 Pit 跡	X = 36120 Y = -39469	67 × 50cm	6cm	不定形	なし	埋土不明。	
445号 Pit 跡	X = 36121 Y = -39469	54 × 47cm	10cm	楕円形	なし	埋土不明。	
446号 Pit 跡	X = 36120 Y = -39469	(26) × 22cm	9cm	円形	なし	埋土不明。	
447号 Pit 跡	X = 36120 Y = -39468	28 × 24cm	11cm	円形	なし	埋土不明。	
448号 Pit 跡	X = 36120 Y = -39467	96 × 79cm	38cm	不定形	なし	埋土不明。	
449号 Pit 跡	X = 36121 Y = -39467	65 × 56cm	24cm	楕円形	なし	埋土不明。	
450号 Pit 跡	X = 36121 Y = -39466	42 × 39cm	16cm	円形	なし	埋土不明。	
451号 Pit 跡	X = 36121 Y = -39465	45 × 44cm	10cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
452号 Pit 跡	X = 36121 Y = -39464	46 × 40cm	26cm	楕円形	なし	埋土不明。	
453号 Pit 跡	X = 36120 Y = -39463	22 × 19cm	11cm	円形	なし	埋土不明。	
454号 Pit 跡	X = 36121 Y = -39464	32 × 28cm	25cm	円形	なし	埋土不明。	
455号 Pit 跡	X = 36121 Y = -39462	87 × 48cm	31cm	不定形	なし	埋土不明。	もう1基の Pit と重複か。
456号 Pit 跡	X = 36123 Y = -39460	(42) × 37cm	20cm	円形	なし	埋土不明。	
457号 Pit 跡	X = 36123 Y = -39460	54 × 46cm	37cm	楕円形	なし	埋土不明。	
458号 Pit 跡	X = 36127 Y = -39460	25 × 23cm	10cm	円形	なし	埋土不明。	
459号 Pit 跡	X = 36127 Y = -39458	24 × 21cm	7cm	円形	なし	埋土不明。	
460号 Pit 跡	X = 36125 Y = -39458	61 × 49cm	40cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
461号 Pit 跡	X = 36124 Y = -39457	30 × 24cm	5cm	円形	なし	埋土不明。	
462号 Pit 跡	X = 36122 Y = -39457	45 × 32cm	7cm	楕円形	なし	埋土不明。	
463号 Pit 跡	X = 36122 Y = -39456	27 × 26cm	11cm	円形	なし	埋土不明。	住居よりも25cmほど下面で検出。
464号 Pit 跡	X = 36122 Y = -39456	25 × 22cm	23cm	円形	なし	埋土不明。	住居よりも25cmほど下面で検出。
465号 Pit 跡	X = 36123 Y = -39456	31 × (30)cm	16cm	円形	なし	埋土不明。	住居よりも25cmほど下面で検出。
466号 Pit 跡	X = 36124 Y = -39456	20 × 16cm	8cm	円形	なし	埋土不明。	住居よりも25cmほど下面で検出。
467号 Pit 跡	X = 36124 Y = -39456	(24) × 16cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明。	
468号 Pit 跡	X = 36125 Y = -39455	26 × 25cm	21cm	円形	なし	埋土不明。	
469号 Pit 跡	X = 36125 Y = -39455	21 × 17cm	12cm	円形	なし	埋土不明。	
470号 Pit 跡	X = 36126 Y = -39456	71 × 71cm	37cm	円形	なし	埋土不明。	
471号 Pit 跡	X = 36126 Y = -39454	(34) × 20cm	4cm	楕円形	なし	埋土不明。	
472号 Pit 跡	X = 36127 Y = -39454	44 × 40cm	17cm	円形	なし	埋土不明。	
473号 Pit 跡	X = 36128 Y = -39455	60 × 42cm	10cm	楕円形	なし	埋土不明。	
474号 Pit 跡	X = 36129 Y = -39457	39 × 31cm	22cm	不定形	なし	埋土不明。	
475号 Pit 跡	X = 36130 Y = -39456	29 × 26cm	21cm	円形	なし	埋土不明。	
476号 Pit 跡	X = 36130 Y = -39455	36 × 32cm	8cm	円形	なし	埋土不明。	
477号 Pit 跡	X = 36131 Y = -39453	77 × 50cm	11cm	不定形	なし	埋土不明。	
478号 Pit 跡	X = 36132 Y = -39454	72 × 48cm	39cm	不定形	なし	埋土不明。	
479号 Pit 跡	X = 36131 Y = -39457	31 × 27cm	39cm	円形	なし	埋土不明。	
480号 Pit 跡	X = 36134 Y = -39457	47 × 41cm	21cm	楕円形	なし	埋土不明。	
481号 Pit 跡	X = 36134 Y = -39457	30 × 26cm	12cm	円形	なし	埋土不明。	
482号 Pit 跡	X = 36134 Y = -39456	19 × 18cm	31cm	円形	なし	埋土不明。	
483号 Pit 跡	X = 36134 Y = -39456	19 × 17cm	14cm	円形	なし	埋土不明。	
484号 Pit 跡	X = 36135 Y = -39457	28 × 19cm	19cm	楕円形	なし	埋土不明。	
485号 Pit 跡	X = 36135 Y = -39457	70 × 47cm	15cm	楕円形	なし	埋土不明。	
486号 Pit 跡	X = 36135 Y = -39456	26 × 23cm	21cm	円形	なし	埋土不明。	
487号 Pit 跡	X = 36135 Y = -39456	21 × 20cm	14cm	円形	なし	埋土不明。	
488号 Pit 跡	X = 36135 Y = -39456	29 × 28cm	19cm	円形	なし	埋土不明。	
489号 Pit 跡	X = 36135 Y = -39455	26 × 21cm	19cm	円形	なし	埋土不明。	

第3章 検出遺構と出土遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
490号 Pit 跡	X = 36134 Y = -39453	48 × 41cm	27cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
491号 Pit 跡	X = 36131 Y = -39450	60 × 37cm	15cm	楕円形	なし	埋土不明。	
492号 Pit 跡	X = 36131 Y = -39449	38 × 33cm	12cm	円形	なし	埋土不明。	
493号 Pit 跡	X = 36137 Y = -39449	42 × 37cm	19cm	円形	なし	埋土不明。	
494号 Pit 跡	X = 36125 Y = -39452	24 × 22cm	46cm	円形	なし	埋土不明。	住居よりも 20cm ほど下面で検出。
495号 Pit 跡	X = 36125 Y = -39451	不明 × 38cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明。	住居よりも 20cm ほど下面で検出。
496号 Pit 跡	X = 36124 Y = -39450	13 × 10cm	11cm	楕円形	なし	埋土不明。	住居よりも 20cm ほど下面で検出。
497号 Pit 跡	X = 36124 Y = -39450	14 × 9cm	8cm	楕円形	なし	埋土不明。	
498号 Pit 跡	X = 36123 Y = -39450	44 × 39cm	24cm	楕円形	なし	埋土不明。	
499号 Pit 跡	X = 36122 Y = -39450	28 × 19cm	25cm	楕円形	なし	埋土不明。	
500号 Pit 跡	X = 36123 Y = -39449	39 × 36cm	14cm	円形	なし	埋土不明。	
501号 Pit 跡	X = 36123 Y = -39448	26 × 25cm	8cm	円形	なし	埋土不明。	
502号 Pit 跡	X = 36122 Y = -39447	49 × 46cm	18cm	円形	なし	埋土不明。	
503号 Pit 跡	X = 36125 Y = -39448	38 × 38cm	11cm	円形	なし	埋土不明。	
504号 Pit 跡	X = 36124 Y = -39447	50 × 33cm	17cm	不定形	なし	埋土不明。	
505号 Pit 跡	X = 36124 Y = -39446	54 × 53cm	21cm	円形	なし	埋土不明。	
506号 Pit 跡	X = 36125 Y = -39445	54 × 45cm	13cm	楕円形	なし	埋土不明。	
507号 Pit 跡	X = 36125 Y = -39443	38 × 30cm	13cm	楕円形	なし	埋土不明。	
508号 Pit 跡	X = 36125 Y = -39442	(30) × 27cm	9cm	楕円形	なし	埋土不明。	
509号 Pit 跡	X = 36127 Y = -39442	48 × 43cm	25cm	円形	なし	埋土不明。	
510号 Pit 跡	X = 36127 Y = -39438	42 × 37cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明。	
511号 Pit 跡	X = 36124 Y = -39440	28 × 28cm	19cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	11号掘立柱建物に伴う柱穴。
512号 Pit 跡	X = 36123 Y = -39439	49 × 41cm	14cm	円形	なし	埋土不明。	11号掘立柱建物より下面で検出。
513号 Pit 跡	X = 36126 Y = -39482	30 × 28cm	13cm	円形	なし	埋土不明。	
514号 Pit 跡	X = 36125 Y = -39482	35 × 29cm	33cm	円形	なし	埋土不明。	
515号 Pit 跡	X = 36125 Y = -39482	25 × 23cm	28cm	円形	なし	埋土不明。	
516号 Pit 跡	X = 36117 Y = -39482	33 × 27cm	29cm	楕円形	なし	埋土不明。	
517号 Pit 跡	X = 36110 Y = -39482	32 × 30cm	24cm	不定形	なし	埋土不明。	
518号 Pit 跡	X = 36110 Y = -39481	32 × 28cm	17cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
519号 Pit 跡	X = 36109 Y = -39479	92 × 29cm	5cm	不定形	なし	埋土不明。	
520号 Pit 跡	X = 36112 Y = -39476	28 × 20cm	28cm	楕円形	なし	埋土不明。	
521号 Pit 跡	X = 36112 Y = -39476	28 × 25cm	10cm	不定形	なし	埋土不明。	
522号 Pit 跡	X = 36113 Y = -39472	20 × 15cm	10cm	楕円形	なし	埋土不明。	
523号 Pit 跡	X = 36113 Y = -39472	30 × 29cm	14cm	不定形	なし	埋土不明。	
524号 Pit 跡	X = 36115 Y = -39469	63 × 50cm	19cm	楕円形	なし	埋土不明。	
525号 Pit 跡	X = 36114 Y = -39465	29 × 22cm	13cm	楕円形	なし	埋土不明。	
526号 Pit 跡	X = 36114 Y = -39465	29 × 24cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明。	
527号 Pit 跡	X = 36114 Y = -39465	22 × 21cm	14cm	円形	なし	埋土不明。	
528号 Pit 跡	X = 36114 Y = -39464	43 × 37cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明。	
529号 Pit 跡	X = 36113 Y = -39464	37 × 34cm	20cm	不定形	なし	埋土不明。	
530号 Pit 跡	X = 36116 Y = -39461	37 × 27cm	21cm	楕円形	なし	埋土不明。	
531号 Pit 跡	X = 36116 Y = -39461	30 × 25cm	22cm	不定形	なし	埋土不明。	
532号 Pit 跡	X = 36117 Y = -39461	27 × 26cm	23cm	円形	なし	埋土不明。	北側が調査区域外。
533号 Pit 跡	X = 36116 Y = -39459	27 × 24cm	23cm	円形	なし	埋土不明。	
534号 Pit 跡	X = 36115 Y = -39458	46 × 37cm	37cm	楕円形	なし	埋土不明。	
535号 Pit 跡	X = 36117 Y = -39457	52 × 30cm	30cm	楕円形	なし	埋土不明。	
536号 Pit 跡	X = 36117 Y = -39455	100 × 90cm	18cm	隅丸長方形	なし	埋土不明。	もう 1 基の Pit と重複か？
537号 Pit 跡	X = 36117 Y = -39454	35 × 31cm	17cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
538号 Pit 跡	X = 36117 Y = -39453	64 × 40cm	21cm	不定形	なし	埋土不明。	
539号 Pit 跡	X = 36118 Y = -39451	(36) × 33cm	16cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	北側が調査区域外。
540号 Pit 跡	X = 36119 Y = -39449	不明	43cm	不明	なし	埋土不明。	北側が調査区域外。
541号 Pit 跡	X = 36119 Y = -39448	不明 × 29cm	16cm	不明	なし	埋土不明。	北側が調査区域外。
542号 Pit 跡	X = 36119 Y = -39448	50 × 32cm	44cm	楕円形	なし	埋土不明。	543号 Pit より古い。
543号 Pit 跡	X = 36119 Y = -39447	40 × 33cm	40cm	楕円形	なし	埋土不明。	542号 Pit より新しい。
544号 Pit 跡	X = 36119 Y = -39447	31 × 27cm	21cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
545号 Pit 跡	X = 36118 Y = -39445	28 × 25cm	18cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
546号 Pit 跡	X = 36119 Y = -39444	35 × 29cm	14cm	楕円形	なし	埋土不明。	
547号 Pit 跡	X = 36118 Y = -39445	70 × 33cm	32cm	楕円形	なし	埋土不明。	
548号 Pit 跡	X = 36118 Y = -39443	38 × 35cm	20cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
549号 Pit 跡	X = 36118 Y = -39440	63 × 30cm	15cm	隅丸長方形	なし	埋土不明。	
550号 Pit 跡	X = 36118 Y = -39440	(41) × 41cm	32cm	不定形	なし	埋土不明。	
551号 Pit 跡	X = 36117 Y = -39440	53 × 45cm	30cm	不定形	なし	埋土不明。	
552号 Pit 跡	X = 36117 Y = -39440	39 × 37cm	48cm	円形	なし	埋土不明。	
553号 Pit 跡	X = 36117 Y = -39439	41 × (35)cm	22cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
554号 Pit 跡	X = 36117 Y = -39439	31 × 27cm	16cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
555号 Pit 跡	X = 36117 Y = -39438	30 × 29cm	30cm	円形	なし	埋土不明。	
556号 Pit 跡	X = 36118 Y = -39439	30 × 26cm	30cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
557号 Pit 跡	X = 36118 Y = -39439	40 × 30cm	41cm	楕円形	なし	埋土不明。	
558号 Pit 跡	X = 36118 Y = -39439	44 × 29cm	6cm	不定形	なし	埋土不明。	
559号 Pit 跡	X = 36118 Y = -39439	(30) × 30cm	33cm	円形	なし	埋土不明。	
560号 Pit 跡	X = 36119 Y = -39438	33 × 30cm	27cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
561号 Pit 跡	X = 36119 Y = -39436	26 × 23cm	18cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	6号掘立柱建物よりも12cm下面で検出。
562号 Pit 跡	X = 36119 Y = -39435	25 × 21cm	8cm	円形	なし	埋土不明。	6号掘立柱建物の PitB。
563号 Pit 跡	X = 36120 Y = -39435	22 × 22cm	8cm	円形	なし	埋土不明。	
565号 Pit 跡	X = 36121 Y = -39433	33 × 32cm	34cm	円形	なし	埋土不明。	
567号 Pit 跡	X = 36118 Y = -39429	55 × 35cm	51cm	不定形	なし	埋土不明。	
568号 Pit 跡	X = 36118 Y = -39428	32 × 25cm	22cm	不定形	なし	埋土不明。	
569号 Pit 跡	X = 36119 Y = -39428	30 × 27cm	34cm	円形	なし	埋土不明。	
570号 Pit 跡	X = 36119 Y = -39427	21 × 17cm	9cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
571号 Pit 跡	X = 36118 Y = -39427	45 × 30cm	15cm	不定形	なし	埋土不明。	
572号 Pit 跡	X = 36119 Y = -39426	27 × 25cm	35cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
573号 Pit 跡	X = 36119 Y = -39426	35 × 31cm	7cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
574号 Pit 跡	X = 36118 Y = -39425	33 × 29cm	15cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
575号 Pit 跡	X = 36118 Y = -39425	30 × 26cm	19cm	不定形	なし	埋土不明。	
576号 Pit 跡	X = 36119 Y = -39425	51 × 41cm	19cm	楕円形	なし	埋土不明。	
577号 Pit 跡	X = 36119 Y = -39425	37 × 29cm	15cm	楕円形	なし	埋土不明。	
578号 Pit 跡	X = 36119 Y = -39421	31 × 28cm	44cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
579号 Pit 跡	X = 36121 Y = -39421	19 × 16cm	15cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
580号 Pit 跡	X = 36121 Y = -39420	21 × 19cm	18cm	円形	なし	埋土不明。	
581号 Pit 跡	X = 36122 Y = -39420	30 × 27cm	18cm	円形	なし	埋土不明。	
582号 Pit 跡	X = 36122 Y = -39420	39 × 37cm	72cm	円形	なし	埋土不明。	
583号 Pit 跡	X = 36120 Y = -39420	40 × 31cm	24cm	不定形	なし	埋土不明。	
584号 Pit 跡	X = 36119 Y = -39421	29 × 27cm	32cm	不定形	なし	埋土不明。	
585号 Pit 跡	X = 36118 Y = -39420	32 × 32cm	18cm	円形	なし	埋土不明。	
586号 Pit 跡	X = 36118 Y = -39420	33 × 25cm	29cm	楕円形	なし	埋土不明。	
587号 Pit 跡	X = 36117 Y = -39420	20 × 19cm	21cm	円形	なし	埋土不明。	
588号 Pit 跡	X = 36118 Y = -39421	27 × 27cm	27cm	円形	なし	埋土不明。	
589号 Pit 跡	X = 36118 Y = -39421	21 × 18cm	16cm	円形	なし	埋土不明。	
590号 Pit 跡	X = 36117 Y = -39422	33 × 28cm	45cm	楕円形	なし	埋土不明。	
591号 Pit 跡	X = 36117 Y = -39422	31 × 27cm	47cm	楕円形	なし	埋土不明。	
592号 Pit 跡	X = 36117 Y = -39422	27 × 26cm	24cm	円形	なし	埋土不明。	
593号 Pit 跡	X = 36117 Y = -39422	17 × 15cm	6cm	円形	なし	埋土不明。	
594号 Pit 跡	X = 36117 Y = -39427	35 × 30cm	28cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
595号 Pit 跡	X = 36117 Y = -39429	69 × 53cm	17cm	楕円形	なし	埋土不明。	
596号 Pit 跡	X = 36117 Y = -39430	40 × 40cm	23cm	円形	なし	埋土不明。	
597号 Pit 跡	X = 36117 Y = -39432	27 × 27cm	37cm	円形	なし	埋土不明。	
598号 Pit 跡	X = 36117 Y = -39432	30 × 30cm	15cm	円形	なし	埋土不明。	
599号 Pit 跡	X = 36117 Y = -39432	35 × 33cm	18cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
600号 Pit 跡	X = 36116 Y = -39433	42 × 40cm	26cm	円形	なし	埋土不明。	6号掘立柱建物の中にあるが関係は不明。
601号 Pit 跡	X = 36118 Y = -39434	31 × 27cm	28cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	6号掘立柱建物の中にあるが関係は不明。
602号 Pit 跡	X = 36118 Y = -39434	21 × 18cm	19cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	6号掘立柱建物の中にあるが関係は不明。
603号 Pit 跡	X = 36117 Y = -39435	25 × 25cm	29cm	円形	なし	埋土不明。	6号掘立柱建物の中にあるが関係は不明。
604号 Pit 跡	X = 36117 Y = -39436	40 × 40cm	36cm	円形	なし	埋土不明。	6号掘立柱建物の中にあるが関係は不明。
605号 Pit 跡	X = 36117 Y = -39435	102 × 55cm	55cm	不定形	なし	埋土不明。	6号掘立柱建物の中にあるが関係は不明。
606号 Pit 跡	X = 36114 Y = -39434	21 × 20cm	14cm	円形	なし	埋土不明。	6号掘立柱建物の中にあるが関係は不明。
607号 Pit 跡	X = 36113 Y = -39435	23 × 23cm	26cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	6号掘立柱建物の中にあるが関係は不明。
608号 Pit 跡	X = 36114 Y = -39436	36 × 34cm	22cm	隅丸正方形	なし	埋土不明。	6号掘立柱建物の中にあるが関係は不明。
609号 Pit 跡	X = 36114 Y = -39436	35 × 34cm	23cm	円形	なし	埋土不明。	6号掘立柱建物の中にあるが関係は不明。
610号 Pit 跡	X = 36114 Y = -39437	35 × 30cm	18cm	楕円形	なし	埋土不明。	
611号 Pit 跡	X = 36114 Y = -39437	33 × 33cm	35cm	円形	なし	埋土不明。	
612号 Pit 跡	X = 36114 Y = -39437	40 × 33cm	34cm	楕円形	なし	埋土不明。	
613号 Pit 跡	X = 36114 Y = -39437	52 × 43cm	34cm	楕円形	なし	埋土不明。	
614号 Pit 跡	X = 36113 Y = -39438	35 × 35cm	18cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
615号 Pit 跡	X = 36113 Y = -39438	30 × 29cm	不明	円形	なし	埋土不明。	
616号 Pit 跡	X = 36113 Y = -39438	45 × 37cm	28cm	楕円形	なし	埋土不明。	
617号 Pit 跡	X = 36111 Y = -39440	28 × 25cm	19cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
618号 Pit 跡	X = 36111 Y = -39441	30 × 29cm	18cm	円形	なし	埋土不明。	
619号 Pit 跡	X = 36111 Y = -39442	26 × 20cm	14cm	楕円形	なし	埋土不明。	
620号 Pit 跡	X = 36112 Y = -39442	23 × 23cm	18cm	円形	なし	埋土不明。	
621号 Pit 跡	X = 36113 Y = -39443	30 × 28cm	35cm	円形	なし	埋土不明。	
622号 Pit 跡	X = 36113 Y = -39443	30 × 25cm	17cm	楕円形	なし	埋土不明。	
623号 Pit 跡	X = 36114 Y = -39442	25 × 23cm	14cm	円形	なし	埋土不明。	
624号 Pit 跡	X = 36114 Y = -39442	33 × 32cm	10cm	不定形	なし	埋土不明。	
625号 Pit 跡	X = 36115 Y = -39442	40 × 35cm	15cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	

第3章 検出遺構と出土遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
626号 Pit 跡	X = 36116 Y = -39444	29 × 25cm	11cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
627号 Pit 跡	X = 36116 Y = -39444	26 × 26cm	9cm	円形	なし	埋土不明。	
628号 Pit 跡	X = 36116 Y = -39445	32 × 28cm	19cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
629号 Pit 跡	X = 36118 Y = -39449	36 × 30cm	13cm	不定形	なし	埋土不明。	
630号 Pit 跡	X = 36118 Y = -39449	33 × 32cm	12cm	円形	なし	埋土不明。	
631号 Pit 跡	X = 36117 Y = -39450	35 × 35cm	20cm	円形	なし	埋土不明。	
632号 Pit 跡	X = 36117 Y = -39451	40 × 30cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明。	
633号 Pit 跡	X = 36116 Y = -39452	60 × 45cm	22cm	不定形	なし	埋土不明。	
634号 Pit 跡	X = 36116 Y = -39452	52 × 36cm	24cm	楕円形	なし	埋土不明。	
635号 Pit 跡	X = 36115 Y = -39453	36 × 29cm	18cm	不定形	なし	埋土不明。	
636号 Pit 跡	X = 36115 Y = -39453	42 × 36cm	29cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
637号 Pit 跡	X = 36116 Y = -39454	48 × 45cm	21cm	楕円形	なし	埋土不明。	
638号 Pit 跡	X = 36115 Y = -39455	40 × 40cm	28cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
639号 Pit 跡	X = 36114 Y = -39456	51 × 49cm	34cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
640号 Pit 跡	X = 36114 Y = -39457	37 × 32cm	35cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
641号 Pit 跡	X = 36114 Y = -39458	33 × 32cm	28cm	円形	なし	埋土不明。	
642号 Pit 跡	X = 36114 Y = -39458	26 × 25cm	20cm	不定形	なし	埋土不明。	
643号 Pit 跡	X = 36113 Y = -39459	18 × 16cm	10cm	円形	なし	埋土不明。	
644号 Pit 跡	X = 36113 Y = -39458	31 × 27cm	12cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
645号 Pit 跡	X = 36114 Y = -39461	33 × 25cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明。	
646号 Pit 跡	X = 36113 Y = -39461	25 × 23cm	17cm	不定形	なし	埋土不明。	
647号 Pit 跡	X = 36111 Y = -39461	27 × 25cm	30cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
648号 Pit 跡	X = 36111 Y = -39462	29 × 26cm	29cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
649号 Pit 跡	X = 36111 Y = -39463	103 × 101cm	13cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
650号 Pit 跡	X = 36110 Y = -39465	65 × 63cm	30cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
651号 Pit 跡	X = 36111 Y = -39466	61 × 53cm	38cm	楕円形	なし	埋土不明。	
652号 Pit 跡	X = 36110 Y = -39468	90 × 75cm	34cm	不定形	なし	埋土不明。	
653号 Pit 跡	X = 36112 Y = -39470	36 × 25cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明。	
654号 Pit 跡	X = 36112 Y = -39472	23 × 23cm	14cm	円形	なし	埋土不明。	8号・9号溝との新旧関係は不明。
655号 Pit 跡	X = 36110 Y = -39471	50 × 41cm	23cm	不定形	なし	埋土不明。	
656号 Pit 跡	X = 36109 Y = -39469	19 × 17cm	34cm	円形	なし	埋土不明。	
657号 Pit 跡	X = 36109 Y = -39471	56 × 40cm	18cm	楕円形	なし	埋土不明。	
658号 Pit 跡	X = 36109 Y = -39474	20 × 15cm	14cm	楕円形	なし	埋土不明。	
659号 Pit 跡	X = 36108 Y = -39474	25 × 23cm	17cm	円形	なし	埋土不明。	
660号 Pit 跡	X = 36106 Y = -39475	42 × 28cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明。	
661号 Pit 跡	X = 36103 Y = -39473	25 × 17cm	30cm	楕円形	なし	埋土不明。	
662号 Pit 跡	X = 36106 Y = -39470	36 × 31cm	36cm	楕円形	なし	埋土不明。	
663号 Pit 跡	X = 36107 Y = -39467	43 × 37cm	22cm	不定形	なし	埋土不明。	
664号 Pit 跡	X = 36108 Y = -39467	53 × 40cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明。	13号溝よりも 30cm 下面で検出。
665号 Pit 跡	X = 36108 Y = -39467	63 × 41cm	15cm	楕円形	なし	埋土不明。	13号溝よりも 30cm 下面で検出。
666号 Pit 跡	X = 36110 Y = -39463	100 × 85cm	17cm	楕円形	なし	埋土不明。	31号 Pit より新しい。
667号 Pit 跡	X = 36109 Y = -39463	63 × 63cm	36cm	円形	なし	埋土不明。	
668号 Pit 跡	X = 36109 Y = -39461	40 × 17cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明。	
669号 Pit 跡	X = 36110 Y = -39461	30 × 25cm	22cm	楕円形	なし	埋土不明。	
670号 Pit 跡	X = 36110 Y = -39460	29 × 25cm	18cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
671号 Pit 跡	X = 36110 Y = -39459	35 × 34cm	24cm	円形	なし	埋土不明。	
672号 Pit 跡	X = 36110 Y = -39459	25 × 23cm	19cm	円形	なし	埋土不明。	
673号 Pit 跡	X = 36110 Y = -39459	23 × 23cm	14cm	円形	なし	埋土不明。	
674号 Pit 跡	X = 36111 Y = -39458	25 × 23cm	17cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
675号 Pit 跡	X = 36112 Y = -39458	26 × 23cm	23cm	円形	なし	埋土不明。	
676号 Pit 跡	X = 36113 Y = -39456	24 × 22cm	13cm	円形	なし	埋土不明。	
677号 Pit 跡	X = 36110 Y = -39456	28 × 22cm	13cm	楕円形	なし	埋土不明。	
678号 Pit 跡	X = 36111 Y = -39456	29 × 26cm	18cm	円形	なし	埋土不明。	
679号 Pit 跡	X = 36111 Y = -39455	45 × 40cm	21cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
680号 Pit 跡	X = 36111 Y = -39454	33 × 31cm	32cm	円形	なし	埋土不明。	
681号 Pit 跡	X = 36111 Y = -39453	40 × 37cm	22cm	円形	なし	埋土不明。	
682号 Pit 跡	X = 36112 Y = -39454	29 × 25cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明。	
683号 Pit 跡	X = 36112 Y = -39454	45 × 42cm	19cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
684号 Pit 跡	X = 36112 Y = -39455	45 × 43cm	24cm	円形	なし	埋土不明。	
685号 Pit 跡	X = 36113 Y = -39454	31 × 30cm	13cm	円形	なし	埋土不明。	
686号 Pit 跡	X = 36112 Y = -39452	41 × 38cm	26cm	円形	なし	埋土不明。	
687号 Pit 跡	X = 36112 Y = -39452	28 × 26cm	17cm	円形	なし	埋土不明。	
688号 Pit 跡	X = 36113 Y = -39451	35 × 33cm	16cm	円形	なし	埋土不明。	
689号 Pit 跡	X = 36112 Y = -39450	107 × 93cm	13cm	楕円形	なし	埋土不明。	
690号 Pit 跡	X = 36113 Y = -39449	50 × 38cm	15cm	楕円形	なし	埋土不明。	
691号 Pit 跡	X = 36112 Y = -39444	20 × 18cm	12cm	円形	なし	埋土不明。	
692号 Pit 跡	X = 36111 Y = -39444	79 × 73cm	22cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
693号 Pit 跡	X = 36111 Y = -39444	18 × 13cm	8cm	楕円形	なし	埋土不明。	
694号 Pit 跡	X = 36111 Y = -39445	30 × 25cm	15cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
695号 Pit 跡	X = 36111 Y = -39446	41 × 40cm	31cm	円形	なし	埋土不明。	
696号 Pit 跡	X = 36111 Y = -39446	26 × 26cm	14cm	円形	なし	埋土不明。	
697号 Pit 跡	X = 36110 Y = -39447	46 × 45cm	20cm	円形	なし	埋土不明。	
698号 Pit 跡	X = 36110 Y = -39449	35 × 30cm	30cm	楕円形	なし	埋土不明。	
699号 Pit 跡	X = 36110 Y = -39450	49 × 39cm	13cm	楕円形	なし	埋土不明。	
700号 Pit 跡	X = 36110 Y = -39450	31 × 25cm	13cm	楕円形	なし	埋土不明。	
701号 Pit 跡	X = 36109 Y = -39452	36 × 30cm	30cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	9号掘立柱建物よりも30cmほど下面で検出。
702号 Pit 跡	X = 36110 Y = -39453	63 × 31cm	60cm	楕円形	なし	埋土不明。	
703号 Pit 跡	X = 36110 Y = -39454	53 × 27cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明。	
704号 Pit 跡	X = 36109 Y = -39453	51 × 41cm	43cm	楕円形	なし	埋土不明。	9号掘立柱建物に伴う柱穴。
705号 Pit 跡	X = 36109 Y = -39453	50 × 47cm	35cm	円形	なし	埋土不明。	9号掘立柱建物の中にあるが、関係は不明。
706号 Pit 跡	X = 36109 Y = -39454	33 × 29cm	29cm	円形	なし	埋土不明。	9号掘立柱建物の中にあるが、関係は不明。
707号 Pit 跡	X = 36108 Y = -39454	290 × 59cm	25cm	不定形	なし	埋土不明。	畠跡か。
708号 Pit 跡	X = 36107 Y = -39454	31 × 30cm	26cm	円形	なし	埋土不明。	9号掘立柱建物の中にあるが、関係は不明。
709号 Pit 跡	X = 36106 Y = -39453	42 × 40cm	34cm	円形	なし	埋土不明。	9号掘立柱建物の中にあるが、関係は不明。
710号 Pit 跡	X = 36105 Y = -39453	65 × 60cm	30cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	9号掘立柱建物の中にあるが、関係は不明。
711号 Pit 跡	X = 36106 Y = -39454	30 × 28cm	25cm	不定形	なし	埋土不明。	9号掘立柱建物の中にあるが、関係は不明。
712号 Pit 跡	X = 36106 Y = -39457	38 × 35cm	58cm	円形	なし	埋土不明。	
713号 Pit 跡	X = 36106 Y = -39458	27 × 26cm	24cm	円形	なし	埋土不明。	
714号 Pit 跡	X = 36106 Y = -39459	41 × 40cm	32cm	円形	なし	埋土不明。	
715号 Pit 跡	X = 36105 Y = -39458	27 × 25cm	20cm	円形	なし	埋土不明。	
716号 Pit 跡	X = 36105 Y = -39460	28 × 23cm	22cm	不定形	なし	埋土不明。	
717号 Pit 跡	X = 36106 Y = -39460	27 × 23cm	15cm	楕円形	なし	埋土不明。	
718号 Pit 跡	X = 36106 Y = -39462	30 × 25cm	21cm	不定形	なし	埋土不明。	
719号 Pit 跡	X = 36105 Y = -39461	27 × 23cm	16cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
720号 Pit 跡	X = 36105 Y = -39462	24 × 21cm	23cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
721号 Pit 跡	X = 36104 Y = -39464	45 × 43cm	50cm	円形	なし	埋土不明。	
722号 Pit 跡	X = 36104 Y = -39465	27 × 24cm	19cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
723号 Pit 跡	X = 36104 Y = -39468	56 × 43cm	27cm	楕円形	なし	埋土不明。	
724号 Pit 跡	X = 36103 Y = -39469	18 × 18cm	9cm	円形	なし	埋土不明。	
725号 Pit 跡	X = 36101 Y = -39468	28 × 24cm	8cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
726号 Pit 跡	X = 36101 Y = -39465	22 × 20cm	15cm	円形	なし	埋土不明。	
727号 Pit 跡	X = 36100 Y = -39465	48 × 42cm	33cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
728号 Pit 跡	X = 36099 Y = -39465	95 × 75cm	40cm	楕円形	なし	埋土不明。	
729号 Pit 跡	X = 36100 Y = -39464	26 × 24cm	16cm	円形	なし	埋土不明。	
730号 Pit 跡	X = 36101 Y = -39462	35 × 33cm	34cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
731号 Pit 跡	X = 36102 Y = -39463	30 × 25cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明。	13号溝よりも30cm下面で検出。
732号 Pit 跡	X = 36103 Y = -39463	53 × 47cm	32cm	楕円形	なし	埋土不明。	
733号 Pit 跡	X = 36102 Y = -39461	29 × 25cm	17cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
734号 Pit 跡	X = 36103 Y = -39460	27 × 23cm	11cm	楕円形	なし	埋土不明。	7号掘立柱建物の中にあるが、関係は不明。
735号 Pit 跡	X = 36102 Y = -39459	63 × 43cm	27cm	楕円形	なし	埋土不明。	7号掘立柱建物の中にあるが、関係は不明。
736号 Pit 跡	X = 36102 Y = -39459	30 × 27cm	28cm	円形	なし	埋土不明。	7号掘立柱建物の中にあるが、関係は不明。
737号 Pit 跡	X = 36103 Y = -39458	29 × 24cm	27cm	楕円形	なし	埋土不明。	7号掘立柱建物の中にあるが、関係は不明。
738号 Pit 跡	X = 36103 Y = -39457	62 × 38cm	40cm	楕円形	なし	埋土不明。	7号掘立柱建物の中にあるが、関係は不明。
739号 Pit 跡	X = 36103 Y = -39457	41 × 34cm	21cm	楕円形	なし	埋土不明。	7号掘立柱建物の中にあるが、関係は不明。
740号 Pit 跡	X = 36104 Y = -39456	42 × 39cm	57cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	8号掘立柱建物の中にあるが、関係は不明。
741号 Pit 跡	X = 36103 Y = -39456	70 × 38cm	21cm	不定形	なし	埋土不明。	
742号 Pit 跡	X = 36103 Y = -39454	36 × 35cm	27cm	円形	なし	埋土不明。	
743号 Pit 跡	X = 36104 Y = -39455	85 × 55cm	18cm	楕円形	なし	埋土不明。	
744号 Pit 跡	X = 36104 Y = -39453	66 × 35cm	25cm	楕円形	なし	埋土不明。	9号掘立柱建物の中にあるが、関係は不明。
745号 Pit 跡	X = 36104 Y = -39453	30 × 30cm	17cm	円形	なし	埋土不明。	9号掘立柱建物の中にあるが、関係は不明。
746号 Pit 跡	X = 36105 Y = -39453	47 × 37cm	40cm	不定形	なし	埋土不明。	9号掘立柱建物の中にあるが、関係は不明。
747号 Pit 跡	X = 36104 Y = -39452	29 × 25cm	46cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	9号掘立柱建物の中にあるが、関係は不明。
748号 Pit 跡	X = 36104 Y = -39452	33 × 29cm	28cm	円形	なし	埋土不明。	9号掘立柱建物の中にあるが、関係は不明。
749号 Pit 跡	X = 36107 Y = -39450	34 × 30cm	28cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
750号 Pit 跡	X = 36108 Y = -39450	25 × 24cm	13cm	円形	なし	埋土不明。	
751号 Pit 跡	X = 36108 Y = -39449	50 × 50cm	21cm	円形	なし	埋土不明。	
752号 Pit 跡	X = 36108 Y = -39449	37 × 31cm	28cm	楕円形	なし	埋土不明。	
753号 Pit 跡	X = 36108 Y = -39448	67 × 63cm	23cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
754号 Pit 跡	X = 36107 Y = -39447	48 × 34cm	29cm	楕円形	なし	埋土不明。	
755号 Pit 跡	X = 36108 Y = -39447	55 × 55cm	27cm	円形	なし	埋土不明。	
756号 Pit 跡	X = 36108 Y = -39446	60 × 34cm	44cm	不定形	なし	埋土不明。	
757号 Pit 跡	X = 36108 Y = -39445	76 × 69cm	19cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
758号 Pit 跡	X = 36108 Y = -39444	40 × 35cm	23cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	

第3章 検出遺構と出土遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
759号 Pit 跡	X = 36108 Y = -39442	65 × 65cm	21cm	円形	なし	埋土不明。	
760号 Pit 跡	X = 36109 Y = -39441	117 × 104cm	31cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
761号 Pit 跡	X = 36108 Y = -39440	28 × 25cm	29cm	円形	なし	埋土不明。	
762号 Pit 跡	X = 36107 Y = -39442	173 × 25cm	15cm	不定形	なし	埋土不明。	畠跡か。
763号 Pit 跡	X = 36108 Y = -39441	22 × 15cm	8cm	楕円形	なし	埋土不明。	
764号 Pit 跡	X = 36107 Y = -39440	70 × 43cm	30cm	楕円形	なし	埋土不明。	43号土抗よりも15cmほど下面で検出。
765号 Pit 跡	X = 36107 Y = -39439	33 × 27cm	21cm	円形	なし	埋土不明。	
766号 Pit 跡	X = 36107 Y = -39437	24 × 23cm	不明	円形	なし	埋土不明。	18号溝との新旧関係は不明。
767号 Pit 跡	X = 36107 Y = -39437	60 × 47cm	33cm	楕円形	なし	埋土不明。	
768号 Pit 跡	X = 36108 Y = -39436	34 × 32cm	31cm	円形	なし	埋土不明。	
769号 Pit 跡	X = 36107 Y = -39435	29 × 25cm	7cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
770号 Pit 跡	X = 36108 Y = -39435	28 × 26cm	29cm	円形	なし	埋土不明。	
771号 Pit 跡	X = 36109 Y = -39435	23 × 20cm	35cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
772号 Pit 跡	X = 36109 Y = -39435	30 × 29cm	50cm	円形	なし	埋土不明。	
773号 Pit 跡	X = 36109 Y = -39433	33 × 28cm	31cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
774号 Pit 跡	X = 36111 Y = -39434	68 × 60cm	17cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
775号 Pit 跡	X = 36111 Y = -39434	30 × 29cm	11cm	円形	なし	埋土不明。	
776号 Pit 跡	X = 36111 Y = -39434	23 × 23cm	8cm	円形	なし	埋土不明。	
777号 Pit 跡	X = 36111 Y = -39434	27 × 27cm	6cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
778号 Pit 跡	X = 36111 Y = -39434	30 × 27cm	13cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
779号 Pit 跡	X = 36110 Y = -39435	50 × 30cm	13cm	不定形	なし	埋土不明。	
780号 Pit 跡	X = 36111 Y = -39435	29 × 20cm	18cm	楕円形	なし	埋土不明。	
781号 Pit 跡	X = 36111 Y = -39435	25 × 25cm	12cm	円形	なし	埋土不明。	
782号 Pit 跡	X = 36112 Y = -39435	30 × 28cm	21cm	円形	なし	埋土不明。	6号掘立柱建物に伴う柱穴。
783号 Pit 跡	X = 36112 Y = -39435	33 × 30cm	22cm	円形	なし	埋土不明。	6号掘立柱建物の中にあるが関係は不明。
784号 Pit 跡	X = 36112 Y = -39435	28 × 28cm	22cm	円形	なし	埋土不明。	6号掘立柱建物の中にあるが関係は不明。
785号 Pit 跡	X = 36112 Y = -39436	49 × 45cm	20cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	6号掘立柱建物の中にあるが関係は不明。
786号 Pit 跡	X = 36114 Y = -39431	39 × 39cm	25cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
787号 Pit 跡	X = 36115 Y = -39430	29 × 27cm	20cm	円形	なし	埋土不明。	
788号 Pit 跡	X = 36115 Y = -39429	31 × 28cm	16cm	円形	なし	埋土不明。	
789号 Pit 跡	X = 36115 Y = -39428	29 × 27cm	28cm	円形	なし	埋土不明。	
790号 Pit 跡	X = 36114 Y = -39428	42 × 40cm	27cm	不定形	なし	埋土不明。	
791号 Pit 跡	X = 36114 Y = -39428	35 × 30cm	13cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
792号 Pit 跡	X = 36112 Y = -39430	30 × 29cm	13cm	円形	なし	埋土不明。	
793号 Pit 跡	X = 36111 Y = -39428	40 × 33cm	29cm	楕円形	なし	埋土不明。	4号掘立柱建物の中にあるが関係は不明。
794号 Pit 跡	X = 36112 Y = -39427	88 × 65cm	24cm	不定形	なし	埋土不明。	
795号 Pit 跡	X = 36111 Y = -39426	27 × 23cm	30cm	楕円形	なし	埋土不明。	
796号 Pit 跡	X = 36115 Y = -39423	33 × 30cm	23cm	円形	なし	埋土不明。	
797号 Pit 跡	X = 36115 Y = -39420	31 × 29cm	62cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
798号 Pit 跡	X = 36112 Y = -39421	30 × 29cm	39cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
799号 Pit 跡	X = 36112 Y = -39419	42 × 37cm	25cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
800号 Pit 跡	X = 36113 Y = -39417	52 × 48cm	39cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
801号 Pit 跡	X = 36113 Y = -39416	40 × 32cm	30cm	楕円形	なし	埋土不明。	
802号 Pit 跡	X = 36112 Y = -39416	47 × 43cm	28cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
803号 Pit 跡	X = 36112 Y = -39414	(53) × (38)cm	42cm	楕円形か	なし	埋土不明。	北側は調査区域外。
804号 Pit 跡	X = 36111 Y = -39415	55 × 45cm	55cm	不定形	なし	埋土不明。	
805号 Pit 跡	X = 36109 Y = -39416	38 × 36cm	19cm	不定形	なし	埋土不明。	
806号 Pit 跡	X = 36107 Y = -39418	56 × 53cm	24cm	円形	なし	埋土不明。	
807号 Pit 跡	X = 36109 Y = -39420	125 × 70cm	17cm	不定形	なし	埋土不明。	
808号 Pit 跡	X = 36110 Y = -39422	40 × 35cm	32cm	円形	なし	埋土不明。	
809号 Pit 跡	X = 36107 Y = -39424	22 × 19cm	12cm	円形	なし	埋土不明。	
810号 Pit 跡	X = 36109 Y = -39426	20 × 19cm	10cm	円形	なし	埋土不明。	
811号 Pit 跡	X = 36109 Y = -39427	20 × 19cm	16cm	円形	なし	埋土不明。	
812号 Pit 跡	X = 36109 Y = -39431	50 × 42cm	12cm	楕円形	なし	埋土不明。	
813号 Pit 跡	X = 36108 Y = -39433	33 × 27cm	11cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
814号 Pit 跡	X = 36107 Y = -39432	30 × 24cm	41c m	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
815号 Pit 跡	X = 36106 Y = -39432	18 × 17cm	13c m	円形	なし	埋土不明。	
816号 Pit 跡	X = 36105 Y = -39432	19 × 16cm	13c m	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
817号 Pit 跡	X = 36105 Y = -39432	69 × 65cm	27c m	円形	なし	埋土不明。	
818号 Pit 跡	X = 36105 Y = -39433	50 × 42cm	21c m	楕円形	なし	埋土不明。	
819号 Pit 跡	X = 36104 Y = -39432	28 × 25cm	22c m	円形	なし	埋土不明。	
820号 Pit 跡	X = 36104 Y = -39433	25 × 25cm	9c m	円形	なし	埋土不明。	
821号 Pit 跡	X = 36104 Y = -39434	38 × 34cm	41c m	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
822号 Pit 跡	X = 36104 Y = -39436	24 × 23cm	19c m	円形	なし	埋土不明。	
823号 Pit 跡	X = 36102 Y = -39434	43 × 35cm	12c m	楕円形	なし	埋土不明。	

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
824号 Pit 跡	X = 36101 Y = -39440	30 × 28cm	14cm	円形	なし	埋土不明。	
825号 Pit 跡	X = 36102 Y = -39441	38 × 33cm	21cm	楕円形	なし	埋土不明。	
826号 Pit 跡	X = 36101 Y = -39442	42 × 40cm	18cm	円形	なし	埋土不明。	
827号 Pit 跡	X = 36102 Y = -39442	33 × 30cm	15cm	楕円形	なし	埋土不明。	
828号 Pit 跡	X = 36103 Y = -39442	39 × 35cm	26cm	楕円形	なし	埋土不明。	
829号 Pit 跡	X = 36104 Y = -39442	59 × 50cm	25cm	楕円形	なし	埋土不明。	
830号 Pit 跡	X = 36103 Y = -39444	43 × 30cm	29cm	楕円形	なし	埋土不明。	
831号 Pit 跡	X = 36105 Y = -39445	40 × 36cm	40cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
832号 Pit 跡	X = 36101 Y = -39444	80 × 37cm	33cm	不定形	なし	埋土不明。	
833号 Pit 跡	X = 36102 Y = -39444	43 × 35cm	58cm	不定形	なし	埋土不明。	5号住居よりも10cmほど下面で検出。
834号 Pit 跡	X = 36105 Y = -39450	46 × 30cm	19cm	楕円形	なし	埋土不明。	
835号 Pit 跡	X = 36104 Y = -39449	30 × 22cm	15cm	不定形	なし	埋土不明。	
836号 Pit 跡	X = 36103 Y = -39450	46 × 43cm	28cm	円形	なし	埋土不明。	
837号 Pit 跡	X = 36103 Y = -39450	27 × 27cm	9cm	円形	なし	埋土不明。	
838号 Pit 跡	X = 36103 Y = -39451	30 × 30cm	28cm	円形	なし	埋土不明。	
839号 Pit 跡	X = 36102 Y = -39451	27 × 27cm	23cm	円形	なし	埋土不明。	
840号 Pit 跡	X = 36103 Y = -39452	23 × 13cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明。	
841号 Pit 跡	X = 36103 Y = -39452	25 × 14cm	12cm	楕円形	なし	埋土不明。	
842号 Pit 跡	X = 36102 Y = -39451	31 × 29cm	12cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
843号 Pit 跡	X = 36101 Y = -39451	39 × 28cm	26cm	楕円形	なし	埋土不明。	
844号 Pit 跡	X = 36102 Y = -39452	30 × 30cm	38cm	円形	なし	埋土不明。	
845号 Pit 跡	X = 36101 Y = -39452	25 × 25cm	32cm	円形	なし	埋土不明。	
846号 Pit 跡	X = 36101 Y = -39454	45 × 40cm	22cm	不定形	なし	埋土不明。	
847号 Pit 跡	X = 36101 Y = -39454	26 × 23cm	15cm	円形	なし	埋土不明。	
848号 Pit 跡	X = 36102 Y = -39455	44 × 36cm	23cm	楕円形	なし	埋土不明。	
849号 Pit 跡	X = 36101 Y = -39455	22 × 20cm	13cm	円形	なし	埋土不明。	
850号 Pit 跡	X = 36100 Y = -39455	28 × 25cm	22cm	円形	なし	埋土不明。	
851号 Pit 跡	X = 36100 Y = -39455	30 × 28cm	21cm	円形	なし	埋土不明。	
852号 Pit 跡	X = 36099 Y = -39457	40 × 38cm	43cm	円形	なし	埋土不明。	853号 Pit より新しい。
853号 Pit 跡	X = 36099 Y = -39457	40 × 33cm	15cm	円形	なし	埋土不明。	852号 Pit より古い。
854号 Pit 跡	X = 36098 Y = -39457	35 × 31cm	41cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
855号 Pit 跡	X = 36099 Y = -39459	55 × 36cm	31cm	不定形	なし	埋土不明。	7号掘立柱建物の中にあるが関係は不明。
856号 Pit 跡	X = 36099 Y = -39459	46 × 42cm	27cm	楕円形	なし	埋土不明。	7号掘立柱建物の中にあるが関係は不明。
857号 Pit 跡	X = 36099 Y = -39461	43 × 39cm	26cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	7号掘立柱建物の中にあるが関係は不明。
858号 Pit 跡	X = 36097 Y = -39460	65 × 45cm	33cm	楕円形	なし	埋土不明。	7号掘立柱建物の中にあるが関係は不明。
859号 Pit 跡	X = 36096 Y = -39459	33 × 28cm	26cm	長方形	なし	埋土不明。	7号掘立柱建物の中にあるが関係は不明。
860号 Pit 跡	X = 36097 Y = -39465	78 × 75cm	31cm	不定形	なし	埋土不明。	
861号 Pit 跡	X = 36097 Y = -39467	60 × 45cm	21cm	楕円形	なし	埋土不明。	
862号 Pit 跡	X = 36096 Y = -39467	23 × 22cm	10cm	円形	なし	埋土不明。	
863号 Pit 跡	X = 36096 Y = -39466	50 × 50cm	16cm	不定形	なし	埋土不明。	
864号 Pit 跡	X = 36095 Y = -39466	25 × 20cm	14cm	楕円形	なし	埋土不明。	
865号 Pit 跡	X = 36095 Y = -39466	25 × 19cm	9cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
866号 Pit 跡	X = 36095 Y = -39465	65 × 43cm	25cm	楕円形	なし	埋土不明。	
867号 Pit 跡	X = 36095 Y = -39462	54 × 48cm	26cm	楕円形	なし	埋土不明。	
868号 Pit 跡	X = 36095 Y = -39462	28 × 26cm	21cm	円形	なし	埋土不明。	
869号 Pit 跡	X = 36095 Y = -39459	32 × 30cm	18cm	円形	なし	埋土不明。	
870号 Pit 跡	X = 36096 Y = -39457	42 × 29cm	21cm	楕円形	なし	埋土不明。	
871号 Pit 跡	X = 36098 Y = -39456	29 × 28cm	20cm	円形	なし	埋土不明。	
872号 Pit 跡	X = 36098 Y = -39455	40 × 35cm	32cm	楕円形	なし	埋土不明。	
873号 Pit 跡	X = 36099 Y = -39454	32 × 27cm	30cm	楕円形	なし	埋土不明。	
874号 Pit 跡	X = 36099 Y = -39454	27 × 25cm	21cm	円形	なし	埋土不明。	
875号 Pit 跡	X = 36099 Y = -39454	35 × 33cm	28cm	円形	なし	埋土不明。	
876号 Pit 跡	X = 36100 Y = -39454	22 × 21cm	25cm	円形	なし	埋土不明。	
877号 Pit 跡	X = 36100 Y = -39454	26 × 22cm	21cm	楕円形	なし	埋土不明。	
878号 Pit 跡	X = 36100 Y = -39453	27 × 23cm	24cm	円形	なし	埋土不明。	
879号 Pit 跡	X = 36100 Y = -39453	29 × 23cm	14cm	楕円形	なし	埋土不明。	
880号 Pit 跡	X = 36101 Y = -39452	38 × 23cm	24cm	楕円形	なし	埋土不明。	
881号 Pit 跡	X = 36100 Y = -39452	37 × 23cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明。	
882号 Pit 跡	X = 36100 Y = -39452	30 × 23cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明。	
883号 Pit 跡	X = 36101 Y = -39452	52 × 40cm	30cm	楕円形	なし	埋土不明。	
884号 Pit 跡	X = 36099 Y = -39452	40 × 36cm	13cm	不定形	なし	埋土不明。	
885号 Pit 跡	X = 36100 Y = -39451	52 × 41cm	45cm	楕円形	なし	埋土不明。	
886号 Pit 跡	X = 36100 Y = -39451	29 × 23cm	19cm	楕円形	なし	埋土不明。	
887号 Pit 跡	X = 36099 Y = -39450	72 × 56cm	41cm	楕円形	なし	埋土不明。	

第3章 検出遺構と出土遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
888号 Pit 跡	X = 36099 Y = -39450	30 × 28cm	12cm	円形	なし	埋土不明。	
889号 Pit 跡	X = 36098 Y = -39451	22 × 20cm	12cm	円形	なし	埋土不明。	
890号 Pit 跡	X = 36099 Y = -39452	50 × 48cm	28cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
891号 Pit 跡	X = 36098 Y = -39452	30 × 30cm	14cm	円形	なし	埋土不明。	
892号 Pit 跡	X = 36097 Y = -39452	38 × 37cm	25cm	円形	なし	埋土不明。	
893号 Pit 跡	X = 36097 Y = -39453	49 × 35cm	36cm	楕円形	なし	埋土不明。	
894号 Pit 跡	X = 36096 Y = -39453	26 × 26cm	31cm	円形	なし	埋土不明。	
895号 Pit 跡	X = 36096 Y = -39453	30 × 30cm	32cm	円形	なし	埋土不明。	
896号 Pit 跡	X = 36096 Y = -39452	41 × 40cm	25cm	円形	なし	埋土不明。	897号 Pit より新しい。
897号 Pit 跡	X = 36096 Y = -39452	(40) × 36cm	17cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	896号 Pit より古い。
898号 Pit 跡	X = 36095 Y = -39450	63 × 42cm	31cm	楕円形	なし	埋土不明。	
899号 Pit 跡	X = 36096 Y = -39450	74 × 46cm	41cm	楕円形	なし	埋土不明。	
900号 Pit 跡	X = 36096 Y = -39449	74 × 55cm	17cm	楕円形	なし	埋土不明。	
901号 Pit 跡	X = 36097 Y = -39450	52 × 39cm	23cm	楕円形	なし	埋土不明。	
902号 Pit 跡	X = 36098 Y = -39449	37 × 36cm	26cm	円形	なし	埋土不明。	1基の Pit と重複する。
903号 Pit 跡	X = 36099 Y = -39448	(26) × 22cm	34cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	904号 Pit より古い。
904号 Pit 跡	X = 36099 Y = -39448	30 × 30cm	19cm	円形	なし	埋土不明。	903号 Pit より新しい。
905号 Pit 跡	X = 36099 Y = -39447	33 × 28cm	31cm	不定形	なし	埋土不明。	
906号 Pit 跡	X = 36107 Y = -39447	34 × 30cm	12cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
907号 Pit 跡	X = 36106 Y = -39448	21 × 16cm	10cm	楕円形	なし	埋土不明。	
908号 Pit 跡	X = 36105 Y = -39448	300 × 16cm	13cm	溝状	なし	埋土不明。	畝跡か。
909号 Pit 跡	X = 36106 Y = -39446	34 × 32cm	20cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
910号 Pit 跡	X = 36107 Y = -39445	30 × 27cm	23cm	円形	なし	埋土不明。	
911号 Pit 跡	X = 36108 Y = -39445	45 × 32cm	17cm	不定形	なし	埋土不明。	
912号 Pit 跡	X = 36108 Y = -39444	38 × 34cm	26cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
913号 Pit 跡	X = 36108 Y = -39444	32 × 30cm	33cm	円形	なし	埋土不明。	
914号 Pit 跡	X = 36109 Y = -39443	32 × 32cm	18cm	円形	なし	埋土不明。	
915号 Pit 跡	X = 36108 Y = -39442	31 × 28cm	26cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
916号 Pit 跡	X = 36106 Y = -39443	35 × 31cm	18cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
917号 Pit 跡	X = 36105 Y = -39444	43 × 34cm	28cm	不定形	なし	埋土不明。	4号住居に伴う屋外 Pit の可能性あり。
918号 Pit 跡	X = 36105 Y = -39443	40 × 35cm	19cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	4号住居に伴う屋外 Pit の可能性あり。
919号 Pit 跡	X = 36106 Y = -39443	35 × 32cm	26cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	4号住居に伴う屋外 Pit の可能性あり。
920号 Pit 跡	X = 36106 Y = -39442	39 × 35cm	23cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	4号住居に伴う屋外 Pit の可能性あり。
921号 Pit 跡	X = 36106 Y = -39441	31 × 28cm	24cm	円形	なし	埋土不明。	4号住居に伴う屋外 Pit の可能性あり。
922号 Pit 跡	X = 36106 Y = -39441	27 × 26cm	11cm	円形	なし	埋土不明。	4号住居に伴う屋外 Pit の可能性あり。
923号 Pit 跡	X = 36096 Y = -39440	53 × 50cm	76cm	不定形	なし	埋土不明。	
924号 Pit 跡	X = 36098 Y = -39440	31 × 29cm	17cm	円形	なし	埋土不明。	
925号 Pit 跡	X = 36099 Y = -39439	47 × 42cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明。	
926号 Pit 跡	X = 36097 Y = -39438	35 × 23cm	49cm	楕円形	なし	埋土不明。	
927号 Pit 跡	X = 36097 Y = -39438	43 × 35cm	18cm	楕円形	なし	埋土不明。	
928号 Pit 跡	X = 36098 Y = -39438	25 × 22cm	15cm	円形	なし	埋土不明。	
929号 Pit 跡	X = 36098 Y = -39438	50 × 41cm	46cm	楕円形	なし	埋土不明。	
930号 Pit 跡	X = 36095 Y = -39437	40 × 36cm	39cm	楕円形	なし	埋土不明。	
931号 Pit 跡	X = 36097 Y = -39435	32 × 29cm	23cm	楕円形	なし	埋土不明。	
932号 Pit 跡	X = 36098 Y = -39436	40 × 32cm	18cm	楕円形	なし	埋土不明。	
933号 Pit 跡	X = 36099 Y = -39436	40 × 36cm	48cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
934号 Pit 跡	X = 36103 Y = -39432	29 × 27cm	46cm	正方形	なし	埋土不明。	
935号 Pit 跡	X = 36102 Y = -39431	365 × 27cm	14cm	溝状	なし	埋土不明。	畝跡か。
936号 Pit 跡	X = 36103 Y = -39431	25 × 22cm	15cm	円形	なし	埋土不明。	
937号 Pit 跡	X = 36104 Y = -39432	73 × 33cm	10cm	楕円形	なし	埋土不明。	
938号 Pit 跡	X = 36105 Y = -39431	23 × 22cm	13cm	円形	なし	埋土不明。	
939号 Pit 跡	X = 36105 Y = -39430	58 × 31cm	39cm	不定形	なし	埋土不明。	4号掘立柱建物との関係は不明。
940号 Pit 跡	X = 36106 Y = -39428	75 × 68cm	30cm	楕円形	なし	埋土不明。	4号掘立柱建物との関係は不明。
941号 Pit 跡	X = 36106 Y = -39427	27 × 22cm	11cm	楕円形	なし	埋土不明。	4号掘立柱建物との関係は不明。
942号 Pit 跡	X = 36106 Y = -39427	23 × 21cm	9cm	不定形	なし	埋土不明。	4号掘立柱建物との関係は不明。
943号 Pit 跡	X = 36107 Y = -39427	47 × 44cm	15cm	正方形	なし	埋土不明。	4号掘立柱建物との関係は不明。
944号 Pit 跡	X = 36104 Y = -39424	25 × 22cm	18cm	楕円形	なし	埋土不明。	
945号 Pit 跡	X = 36105 Y = -39423	50 × 47cm	13cm	楕円形	なし	埋土不明。	
946号 Pit 跡	X = 36105 Y = -39433	40 × 27cm	29cm	不定形	なし	埋土不明。	
947号 Pit 跡	X = 36104 Y = -39432	17 × 16cm	15cm	円形	なし	埋土不明。	
948号 Pit 跡	X = 36105 Y = -39432	37 × 31cm	17cm	楕円形	なし	埋土不明。	
949号 Pit 跡	X = 36105 Y = -39419	30 × 29cm	30cm	楕円形	なし	埋土不明。	
950号 Pit 跡	X = 36106 Y = -39418	30 × 30cm	21cm	円形	なし	埋土不明。	
951号 Pit 跡	X = 36106 Y = -39417	29 × 28cm	37cm	円形	なし	埋土不明。	
952号 Pit 跡	X = 36106 Y = -39417	30 × 26cm	29cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	

## 第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
953号 Pit 跡	X = 36107 Y = -39415	25 × 25cm	35c m	円形	なし	埋土不明。	
954号 Pit 跡	X = 36108 Y = -39414	42 × 28cm	20c m	楕円形	なし	埋土不明。	
955号 Pit 跡	X = 36109 Y = -39414	35 × 32cm	26cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
956号 Pit 跡	X = 36111 Y = -39413	52 × 46cm	37cm	不定形	なし	埋土不明。	
957号 Pit 跡	X = 36110 Y = -39413	22 × 21cm	22cm	円形	なし	埋土不明。	
958号 Pit 跡	X = 36109 Y = -39413	28 × 26cm	24cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
959号 Pit 跡	X = 36108 Y = -39412	20 × 20cm	15cm	円形	なし	埋土不明。	
960号 Pit 跡	X = 36107 Y = -39412	24 × 20cm	16cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
961号 Pit 跡	X = 36108 Y = -39412	28 × 27cm	28cm	円形	なし	埋土不明。	
962号 Pit 跡	X = 36108 Y = -39412	35 × 34cm	45cm	円形	なし	埋土不明。	
963号 Pit 跡	X = 36108 Y = -39413	36 × 23cm	27cm	楕円形	なし	埋土不明。	
964号 Pit 跡	X = 36105 Y = -39413	45 × 34cm	22cm	楕円形	なし	埋土不明。	
965号 Pit 跡	X = 36103 Y = -39413	32 × 23cm	37cm	楕円形	なし	埋土不明。	
966号 Pit 跡	X = 36103 Y = -39413	28 × 25cm	25cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
967号 Pit 跡	X = 36102 Y = -39416	30 × 30cm	46cm	円形	なし	埋土不明。	
968号 Pit 跡	X = 36104 Y = -39417	52 × 50cm	26cm	円形	なし	埋土不明。	
969号 Pit 跡	X = 36105 Y = -39418	30 × 28cm	33cm	円形	なし	埋土不明。	
970号 Pit 跡	X = 36103 Y = -39418	76 × 70cm	14cm	隅丸長方形	なし	埋土不明。	
971号 Pit 跡	X = 36102 Y = -39418	23 × 23cm	9cm	円形	なし	埋土不明。	
972号 Pit 跡	X = 36101 Y = -39418	24 × 22cm	11cm	円形	なし	埋土不明。	
973号 Pit 跡	X = 36101 Y = -39419	48 × 26cm	43cm	不定形	なし	埋土不明。	
974号 Pit 跡	X = 36102 Y = -39423	32 × 27cm	27cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
975号 Pit 跡	X = 36102 Y = -39425	27 × 23cm	11cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
976号 Pit 跡	X = 36102 Y = -39425	22 × 21cm	12cm	円形	なし	埋土不明。	
977号 Pit 跡	X = 36103 Y = -39426	23 × 19cm	14cm	楕円形	なし	埋土不明。	2号掘立柱建物との関係は不明。
978号 Pit 跡	X = 36104 Y = -39427	25 × 21cm	11cm	楕円形	なし	埋土不明。	2号掘立柱建物との関係は不明。
979号 Pit 跡	X = 36104 Y = -39428	(38) × 30cm	27cm	楕円形	なし	埋土不明。	2号掘立柱建物より古い。
980号 Pit 跡	X = 36103 Y = -39428	32 × 31cm	21cm	円形	なし	埋土不明。	2号掘立柱建物との関係は不明。
981号 Pit 跡	X = 36104 Y = -39429	35 × 30cm	25cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
982号 Pit 跡	X = 36104 Y = -39429	27 × (23)cm	27cm	楕円形	なし	埋土不明。	2号掘立柱建物より古い。
983号 Pit 跡	X = 36103 Y = -39430	24 × 22cm	25cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
984号 Pit 跡	X = 36102 Y = -39430	31 × 29cm	49cm	円形	なし	埋土不明。	
985号 Pit 跡	X = 36102 Y = -39429	(30) × (25)cm	51cm	楕円形	なし	埋土不明。	986号 Pit よりも古い。
986号 Pit 跡	X = 36102 Y = -39429	(40) × 32cm	38cm	楕円形	なし	埋土不明。	985号 Pit より新しい。
987号 Pit 跡	X = 36102 Y = -39428	25 × 22cm	15cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	2号掘立柱建物との関係は不明。
988号 Pit 跡	X = 36102 Y = -39428	30 × 27cm	44cm	円形	なし	埋土不明。	2号掘立柱建物との関係は不明。
989号 Pit 跡	X = 36102 Y = -39428	24 × 20cm	7cm	楕円形	なし	埋土不明。	2号掘立柱建物との関係は不明。
990号 Pit 跡	X = 36102 Y = -39429	32 × (27)cm	53cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	2号掘立柱建物より古い。
991号 Pit 跡	X = 36101 Y = -39429	21 × 17cm	8cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
992号 Pit 跡	X = 36098 Y = -39430	40 × 38cm	24cm	円形	なし	埋土不明。	
993号 Pit 跡	X = 36097 Y = -39429	30 × 20cm	27cm	楕円形	なし	埋土不明。	
994号 Pit 跡	X = 36099 Y = -39426	39 × 35cm	19cm	円形	なし	埋土不明。	
995号 Pit 跡	X = 36099 Y = -39426	71 × 36cm	23cm	楕円形	なし	埋土不明。	
996号 Pit 跡	X = 36100 Y = -39426	34 × 32cm	26cm	円形	なし	埋土不明。	
997号 Pit 跡	X = 36101 Y = -39427	30 × 26cm	13cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	2号掘立柱建物との関係は不明。
998号 Pit 跡	X = 36101 Y = -39426	40 × 40cm	33cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	2号掘立柱建物との関係は不明。
999号 Pit 跡	X = 36098 Y = -39425	30 × 27cm	11cm	円形	なし	埋土不明。	
1000号 Pit 跡	X = 36098 Y = -39424	38 × 35cm	16cm	円形	なし	埋土不明。	
1001号 Pit 跡	X = 36098 Y = -39424	52 × 42cm	17cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1002号 Pit 跡	X = 36099 Y = -39423	21 × 18cm	9cm	円形	なし	埋土不明。	
1003号 Pit 跡	X = 36100 Y = -39422	35 × 26cm	17cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1004号 Pit 跡	X = 36100 Y = -39421	26 × 23cm	12cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1005号 Pit 跡	X = 36100 Y = -39416	30 × 30cm	25cm	円形	なし	埋土不明。	
1006号 Pit 跡	X = 36099 Y = -39415	53 × 38cm	54cm	不定形	なし	埋土不明。	
1007号 Pit 跡	X = 36103 Y = -39413	38 × 32cm	50cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1008号 Pit 跡	X = 36100 Y = -39413	40 × 36cm	26cm	円形	なし	埋土不明。	
1009号 Pit 跡	X = 36099 Y = -39412	42 × 36cm	21cm	円形	なし	埋土不明。	
1010号 Pit 跡	X = 36101 Y = -39409	36 × 35cm	22cm	円形	なし	埋土不明。	
1011号 Pit 跡	X = 36101 Y = -39408	42 × 41cm	21cm	円形	なし	埋土不明。	
1012号 Pit 跡	X = 36099 Y = -39410	32 × 28cm	23cm	円形	なし	埋土不明。	
1013号 Pit 跡	X = 36098 Y = -39410	25 × 22cm	18cm	円形	なし	埋土不明。	
1014号 Pit 跡	X = 36096 Y = -39409	25 × 20cm	7cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1015号 Pit 跡	X = 36096 Y = -39415	50 × 40cm	28cm	不定形	なし	埋土不明。	
1017号 Pit 跡	X = 36089 Y = -39478	23 × 20cm	10cm	円形	なし	埋土不明。	
1018号 Pit 跡	X = 36088 Y = -39478	39 × 28cm	19cm	楕円形	なし	埋土不明。	

第3章 検出遺構と出土遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
1019号Pit跡	X = 36084 Y = -39474	33 × 31cm	32cm	円形	なし	埋土不明。	
1020号Pit跡	X = 36085 Y = -39473	21 × 21cm	31cm	円形	なし	埋土不明。	
1021号Pit跡	X = 36085 Y = -39474	32 × 25cm	34cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1022号Pit跡	X = 36088 Y = -39474	23 × 18cm	22cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1023号Pit跡	X = 36088 Y = -39469	33 × 31cm	20cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1024号Pit跡	X = 36089 Y = -39469	26 × 26cm	18cm	円形	なし	埋土不明。	
1025号Pit跡	X = 36089 Y = -39468	50 × 30cm	31cm	楕円形	なし	埋土不明。	8・9号溝との新旧関係は不明。
1026号Pit跡	X = 36088 Y = -39468	37 × 34cm	69cm	円形	なし	埋土不明。	
1027号Pit跡	X = 36089 Y = -39464	36 × 34cm	21cm	円形	なし	埋土不明。	
1028号Pit跡	X = 36091 Y = -39464	45 × 35cm	29cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1029号Pit跡	X = 36091 Y = -39463	50 × 49cm	32cm	不定形	なし	埋土不明。	
1030号Pit跡	X = 36091 Y = -39463	46 × 42cm	19cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1031号Pit跡	X = 36092 Y = -39464	42 × 37cm	23cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1032号Pit跡	X = 36091 Y = -39465	19 × 15cm	13cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1033号Pit跡	X = 36093 Y = -39465	22 × 20cm	11cm	円形	なし	埋土不明。	
1034号Pit跡	X = 36093 Y = -39466	35 × 28cm	37cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1035号Pit跡	X = 36093 Y = -39465	39 × 33cm	17cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1036号Pit跡	X = 36094 Y = -39465	67 × 26cm	29cm	不定形	なし	埋土不明。	
1037号Pit跡	X = 36094 Y = -39463	43 × 30cm	34cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1038号Pit跡	X = 36094 Y = -39463	43 × 31cm	35cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1039号Pit跡	X = 36093 Y = -39462	27 × 25cm	13cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1040号Pit跡	X = 36094 Y = -39462	27 × 24cm	15cm	円形	なし	埋土不明。	
1041号Pit跡	X = 36094 Y = -39461	50 × 43cm	20cm	不定形	なし	埋土不明。	
1042号Pit跡	X = 36093 Y = -39463	43 × 40cm	38cm	楕円形	なし	埋土不明。	1043号Pitより古い。
1043号Pit跡	X = 36093 Y = -39463	28 × 25cm	19cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	1042号Pitより新しい。
1044号Pit跡	X = 36090 Y = -39462	25 × 25cm	14cm	円形	なし	埋土不明。	
1045号Pit跡	X = 36090 Y = -39462	41 × 35cm	25cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1046号Pit跡	X = 36088 Y = -39460	32 × 28cm	18cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1047号Pit跡	X = 36089 Y = -39459	41 × 39cm	21cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1048号Pit跡	X = 36088 Y = -39458	30 × 23cm	13cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1049号Pit跡	X = 36089 Y = -39458	25 × 21cm	16cm	円形	なし	埋土不明。	
1050号Pit跡	X = 36091 Y = -39458	35 × 30cm	21cm	円形	なし	埋土不明。	
1051号Pit跡	X = 36091 Y = -39459	31 × 27cm	13cm	円形	なし	埋土不明。	
1052号Pit跡	X = 36092 Y = -39456	46 × 40cm	43cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1053号Pit跡	X = 36092 Y = -39453	67 × 60cm	70cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1054号Pit跡	X = 36092 Y = -39454	48 × 38cm	22cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1055号Pit跡	X = 36092 Y = -39455	28 × 27cm	19cm	円形	なし	埋土不明。	
1056号Pit跡	X = 36093 Y = -39455	51 × 38cm	25cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1057号Pit跡	X = 36094 Y = -39456	42 × 40cm	23cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1058号Pit跡	X = 36095 Y = -39455	150 × 91cm	43cm	不定形	なし	埋土不明。	
1059号Pit跡	X = 36094 Y = -39453	35 × 30cm	28cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1060号Pit跡	X = 36093 Y = -39452	38 × 38cm	13cm	円形	なし	埋土不明。	
1061号Pit跡	X = 36093 Y = -39452	70 × 15cm	25cm	不定形	なし	埋土不明。	畠跡か。
1062号Pit跡	X = 36094 Y = -39452	40 × 33cm	22cm	不定形	なし	埋土不明。	1063号Pitより新しい。
1063号Pit跡	X = 36094 Y = -39452	(44) × 34cm	不明	楕円形	なし	埋土不明。	1062号Pitより古い。
1064号Pit跡	X = 36094 Y = -39451	32 × 29cm	42cm	不定形	なし	埋土不明。	
1065号Pit跡	X = 36094 Y = -39450	31 × 26cm	18cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1066号Pit跡	X = 36093 Y = -39450	39 × 33cm	27cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1067号Pit跡	X = 36092 Y = -39448	27 × 25cm	22cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1068号Pit跡	X = 36092 Y = -39446	41 × 35cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1069号Pit跡	X = 36094 Y = -39445	23 × 18cm	19cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1070号Pit跡	X = 36094 Y = -39444	28 × 23cm	29cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1071号Pit跡	X = 36092 Y = -39446	49 × 36cm	28cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1072号Pit跡	X = 36093 Y = -39444	35 × 29cm	25cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1073号Pit跡	X = 36092 Y = -39444	49 × 40cm	34cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1074号Pit跡	X = 36092 Y = -39445	30 × 29cm	24cm	円形	なし	埋土不明。	
1075号Pit跡	X = 36091 Y = -39446	45 × 26cm	13cm	不定形	なし	埋土不明。	
1076号Pit跡	X = 36091 Y = -39445	29 × 24cm	40cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1077号Pit跡	X = 36091 Y = -39445	41 × 31cm	21cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1078号Pit跡	X = 36090 Y = -39444	48 × 35cm	57cm	不定形	なし	埋土不明。	
1079号Pit跡	X = 36089 Y = -39443	20 × 20cm	14cm	円形	なし	埋土不明。	
1080号Pit跡	X = 36061 Y = -39443	126 × 70cm	43cm	不定形	なし	埋土不明。	
1081号Pit跡	X = 36092 Y = -39439	50 × 44cm	31cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1082号Pit跡	X = 36091 Y = -39439	32 × 30cm	35cm	円形	なし	埋土不明。	
1083号Pit跡	X = 36092 Y = -39439	45 × 39cm	27cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1084号Pit跡	X = 36093 Y = -39438	38 × 35cm	18cm	円形	なし	埋土不明。	
1085号Pit跡	X = 36093 Y = -39438	43 × 38cm	24cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
1086号Pit跡	X = 36093 Y = -39438	40 × 37cm	24cm	円形	なし	埋土不明。	
1087号Pit跡	X = 36094 Y = -39437	37 × 36cm	24cm	円形	なし	埋土不明。	
1088号Pit跡	X = 36094 Y = -39435	28 × 25cm	20cm	円形	なし	埋土不明。	
1089号Pit跡	X = 36094 Y = -39435	25 × 23cm	23cm	円形	なし	埋土不明。	
1090号Pit跡	X = 36093 Y = -39435	40 × 40cm	24cm	円形	なし	埋土不明。	
1091号Pit跡	X = 36092 Y = -39436	40 × 37cm	16cm	円形	なし	埋土不明。	
1092号Pit跡	X = 36091 Y = -39435	53 × 50cm	40cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1093号Pit跡	X = 36092 Y = -39434	21 × 20cm	25cm	円形	なし	埋土不明。	
1094号Pit跡	X = 36092 Y = -39434	48 × 45cm	21cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1095号Pit跡	X = 36094 Y = -39429	30 × 28cm	23cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1096号Pit跡	X = 36092 Y = -39428	30 × 26cm	15cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1097号Pit跡	X = 36093 Y = -39427	30 × 27cm	23cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1098号Pit跡	X = 36093 Y = -39424	45 × 40cm	16cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1099号Pit跡	X = 36092 Y = -39423	22 × 19cm	15cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1100号Pit跡	X = 36093 Y = -39423	32 × 31cm	62cm	ほぼ円形	なし	埋土は少量の白色軽石を含む暗褐色砂質土。	
1101号Pit跡	X = 36094 Y = -39420	26 × 26cm	7cm	円形	なし	埋土不明。	
1102号Pit跡	X = 36094 Y = -39415	30 × 29cm	12cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1103号Pit跡	X = 36093 Y = -39413	31 × 29cm	9cm	円形	なし	埋土不明。	
1104号Pit跡	X = 36093 Y = -39412	30 × 25cm	7cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1105号Pit跡	X = 36093 Y = -39410	30 × 27cm	20cm	円形	なし	埋土不明。	
1106号Pit跡	X = 36091 Y = -39409	33 × 30cm	26cm	円形	なし	埋土不明。	
1107号Pit跡	X = 36093 Y = -39404	63 × 45cm	17cm	不定形	なし	埋土不明。	
1108号Pit跡	X = 36089 Y = -39402	57 × 35cm	19cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1109号Pit跡	X = 36089 Y = -39406	170 × 27cm	14cm	不定形	なし	埋土不明。	畠跡か。
1110号Pit跡	X = 36090 Y = -39407	26 × 19cm	9cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1111号Pit跡	X = 36088 Y = -39407	31 × 29cm	22cm	円形	なし	埋土不明。	
1112号Pit跡	X = 36090 Y = -39409	30 × 28cm	28cm	円形	なし	埋土不明。	
1113号Pit跡	X = 36089 Y = -39410	31 × 30cm	51cm	円形	なし	埋土不明。	
1114号Pit跡	X = 36088 Y = -39413	35 × 35cm	42cm	円形	なし	埋土不明。	
1115号Pit跡	X = 36090 Y = -39413	44 × 34cm	41cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1116号Pit跡	X = 36089 Y = -39415	37 × 30cm	15cm	不定形	なし	埋土不明。	
1117号Pit跡	X = 36088 Y = -39415	40 × 35cm	42cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1118号Pit跡	X = 36087 Y = -39416	104 × 52cm	41cm	不定形	なし	埋土不明。	
1119号Pit跡	X = 36088 Y = -39417	23 × 23cm	不明	円形	なし	埋土不明。	
1120号Pit跡	X = 36088 Y = -39418	35 × 33cm	16cm	円形	なし	埋土不明。	
1121号Pit跡	X = 36090 Y = -39423	75 × 72cm	15cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1122号Pit跡	X = 36091 Y = -39424	38 × 30cm	10cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1123号Pit跡	X = 36089 Y = -39423	35 × 35cm	24cm	不定形	なし	埋土不明。	
1124号Pit跡	X = 36089 Y = -39423	23 × 21cm	28cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1125号Pit跡	X = 36089 Y = -39424	55 × 42cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1126号Pit跡	X = 36087 Y = -39426	33 × 29cm	9cm	円形	なし	埋土不明。	
1127号Pit跡	X = 36088 Y = -39426	33 × 30cm	16cm	円形	なし	埋土不明。	
1128号Pit跡	X = 36088 Y = -39427	28 × 26cm	6cm	円形	なし	埋土不明。	
1129号Pit跡	X = 36087 Y = -39427	34 × 27cm	18cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1130号Pit跡	X = 36087 Y = -39426	40 × 35cm	27cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1131号Pit跡	X = 36086 Y = -39427	42 × 30cm	18cm	楕円形	なし	埋土不明。	10号掘立柱建物との新旧関係は不明。
1132号Pit跡	X = 36086 Y = -39428	21 × 21cm	23cm	円形	なし	埋土不明。	10号掘立柱建物との新旧関係は不明。
1133号Pit跡	X = 36086 Y = -39427	65 × 31cm	18cm	不定形	なし	埋土不明。	10号掘立柱建物との新旧関係は不明。
1134号Pit跡	X = 36085 Y = -39427	26 × 25cm	14cm	円形	なし	埋土不明。	10号掘立柱建物との新旧関係は不明。
1135号Pit跡	X = 36085 Y = -39428	30 × 27cm	24cm	円形	なし	埋土不明。	10号掘立柱建物との新旧関係は不明。
1136号Pit跡	X = 36085 Y = -39428	18 × 17cm	10cm	円形	なし	埋土不明。	10号掘立柱建物との新旧関係は不明。
1137号Pit跡	X = 36084 Y = -39429	25 × 22cm	15cm	円形	なし	埋土不明。	
1138号Pit跡	X = 36084 Y = -39430	31 × 28cm	23cm	円形	なし	埋土不明。	
1139号Pit跡	X = 36084 Y = -39431	28 × 27cm	18cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1140号Pit跡	X = 36085 Y = -39432	21 × 20cm	11cm	円形	なし	埋土不明。	
1141号Pit跡	X = 36085 Y = -39432	51 × 35cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1142号Pit跡	X = 36085 Y = -39432	40 × 40cm	23cm	円形	なし	埋土不明。	
1143号Pit跡	X = 36087 Y = -39435	46 × 29cm	19cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1144号Pit跡	X = 36087 Y = -39436	52 × 36cm	30cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1145号Pit跡	X = 36088 Y = -39435	53 × 31cm	25cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1146号Pit跡	X = 36088 Y = -39436	87 × 38cm	30cm	不定形	なし	埋土不明。	
1147号Pit跡	X = 36090 Y = -39435	30 × 28cm	23cm	円形	なし	埋土不明。	1148号Pitより新しい。
1148号Pit跡	X = 36090 Y = -39435	29 × 25cm	19cm	円形	なし	埋土不明。	1147号Pitより古い。
1149号Pit跡	X = 36090 Y = -39436	45 × 43cm	23cm	隅丸正方形	なし	埋土不明。	
1150号Pit跡	X = 36089 Y = -39437	33 × 29cm	11cm	円形	なし	埋土不明。	1号掘立柱建物より15cmほど下面で検出。
1151号Pit跡	X = 36089 Y = -39438	28 × 28cm	30cm	円形	なし	埋土不明。	1号掘立柱建物より15cmほど下面で検出。

第3章 検出遺構と出土遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
1152号 Pit 跡	X = 36090 Y = -39438	60 × 30cm	17cm	不定形	なし	埋土不明。	1号掘立柱建物より15cmほど下面で検出。
1153号 Pit 跡	X = 36089 Y = -39439	35 × 30cm	25cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	1号掘立柱建物より15cmほど下面で検出。
1154号 Pit 跡	X = 36089 Y = -39439	28 × 26cm	25cm	円形	なし	埋土不明。	1号掘立柱建物より15cmほど下面で検出。
1155号 Pit 跡	X = 36088 Y = -39440	20 × 17cm	12cm	円形	なし	埋土不明。	1号掘立柱建物より15cmほど下面で検出。
1156号 Pit 跡	X = 36089 Y = -39441	28 × 25cm	26cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	1号掘立柱建物より15cmほど下面で検出。
1157号 Pit 跡	X = 36088 Y = -39441	36 × 28cm	25cm	楕円形	なし	埋土不明。	1号掘立柱建物より15cmほど下面で検出。
1158号 Pit 跡	X = 36090 Y = -39441	49 × 43cm	15cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1159号 Pit 跡	X = 36090 Y = -39442	27 × 24cm	10cm	円形	なし	埋土不明。	
1160号 Pit 跡	X = 36089 Y = -39442	27 × 25cm	26cm	円形	なし	埋土不明。	
1161号 Pit 跡	X = 36088 Y = -39443	47 × 34cm	30cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1162号 Pit 跡	X = 36088 Y = -39443	30 × 23cm	27cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1163号 Pit 跡	X = 36088 Y = -39442	32 × 31cm	29cm	円形	なし	埋土不明。	
1164号 Pit 跡	X = 36087 Y = -39443	29 × 24cm	28cm	不定形	なし	埋土不明。	
1165号 Pit 跡	X = 36087 Y = -39442	48 × 37cm	43cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1166号 Pit 跡	X = 36086 Y = -39443	92 × 74cm	25cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1167号 Pit 跡	X = 36086 Y = -39443	28 × 22cm	22cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1168号 Pit 跡	X = 36086 Y = -39445	48 × 47cm	31cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	2028号 Pit より新しい。
1169号 Pit 跡	X = 36084 Y = -39444	34 × 25cm	29cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1170号 Pit 跡	X = 36084 Y = -39445	42 × 28cm	28cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1171号 Pit 跡	X = 36084 Y = -39445	30 × 30cm	14cm	円形	なし	埋土不明。	
1172号 Pit 跡	X = 36084 Y = -39445	50 × 30cm	14cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1173号 Pit 跡	X = 36084 Y = -39446	23 × 20cm	21cm	円形	なし	埋土不明。	
1174号 Pit 跡	X = 36083 Y = -39446	20 × 18cm	10cm	円形	なし	埋土不明。	
1175号 Pit 跡	X = 36083 Y = -39447	31 × 30cm	30cm	不定形	なし	埋土不明。	
1176号 Pit 跡	X = 36084 Y = -39448	40 × 30cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1177号 Pit 跡	X = 36084 Y = -39449	61 × 49cm	21cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1178号 Pit 跡	X = 36084 Y = -39451	32 × 25cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1179号 Pit 跡	X = 36085 Y = -39451	30 × 27cm	29cm	円形	なし	埋土不明。	
1180号 Pit 跡	X = 36085 Y = -39452	30 × 23cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1181号 Pit 跡	X = 36091 Y = -39450	40 × 30cm	19cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1182号 Pit 跡	X = 36090 Y = -39452	73 × 45cm	17cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1183号 Pit 跡	X = 36088 Y = -39453	36 × 30cm	25cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1184号 Pit 跡	X = 36088 Y = -39455	50 × 40cm	26cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1185号 Pit 跡	X = 36088 Y = -39455	208 × 18cm	13cm	溝状	なし	埋土不明。	畝跡か。
1186号 Pit 跡	X = 36087 Y = -39457	33 × 31cm	19cm	円形	なし	埋土不明。	
1187号 Pit 跡	X = 36086 Y = -39457	25 × 25cm	19cm	円形	なし	埋土不明。	
1188号 Pit 跡	X = 36085 Y = -39458	65 × 50cm	32cm	不定形	なし	埋土不明。	
1189号 Pit 跡	X = 36086 Y = -39458	39 × 31cm	21cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1190号 Pit 跡	X = 36086 Y = -39461	25 × 21cm	12cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1191号 Pit 跡	X = 36086 Y = -39462	32 × 30cm	9cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1192号 Pit 跡	X = 36084 Y = -39459	38 × 37cm	9cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1193号 Pit 跡	X = 36083 Y = -39460	25 × 25cm	11cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1194号 Pit 跡	X = 36082 Y = -39460	28 × 25cm	12cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1195号 Pit 跡	X = 36082 Y = -39459	45 × 36cm	26cm	不定形	なし	埋土不明。	
1196号 Pit 跡	X = 36081 Y = -39460	35 × 35cm	10cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1197号 Pit 跡	X = 36076 Y = -39470	20 × 20cm	29cm	円形	なし	埋土不明。	
1198号 Pit 跡	X = 36076 Y = -39474	47 × 30cm	9cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1199号 Pit 跡	X = 36073 Y = -39472	16 × 15cm	25cm	円形	なし	埋土不明。	
1200号 Pit 跡	X = 36073 Y = -39470	35 × 30cm	36cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1201号 Pit 跡	X = 36080 Y = -39459	24 × 23cm	9cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1202号 Pit 跡	X = 36079 Y = -39459	26 × 22cm	10cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1203号 Pit 跡	X = 36081 Y = -39457	28 × 22cm	26cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1204号 Pit 跡	X = 36081 Y = -39456	27 × 23cm	33cm	円形	なし	埋土不明。	
1205号 Pit 跡	X = 36081 Y = -39456	24 × 22cm	19cm	円形	なし	埋土不明。	
1206号 Pit 跡	X = 36081 Y = -39455	34 × 34cm	32cm	円形	なし	埋土不明。	
1207号 Pit 跡	X = 36083 Y = -39456	24 × 23cm	20cm	円形	なし	埋土不明。	
1208号 Pit 跡	X = 36083 Y = -39455	22 × 19cm	13cm	円形	なし	埋土不明。	
1209号 Pit 跡	X = 36084 Y = -39453	60 × 27cm	28cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1210号 Pit 跡	X = 36082 Y = -39450	43 × 38cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1211号 Pit 跡	X = 36082 Y = -39450	41 × 31cm	24cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1212号 Pit 跡	X = 36082 Y = -39449	32 × 29cm	24cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1213号 Pit 跡	X = 36082 Y = -39449	35 × 25cm	18cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1214号 Pit 跡	X = 36082 Y = -39449	25 × 19cm	12cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1215号 Pit 跡	X = 36082 Y = -39448	45 × 35cm	32cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1216号 Pit 跡	X = 36082 Y = -39447	90 × 58cm	54cm	不定形	なし	埋土不明。	
1217号 Pit 跡	X = 36081 Y = -39445	28 × 24cm	40cm	円形	なし	埋土不明。	
1218号 Pit 跡	X = 36081 Y = -39443	36 × 31cm	33cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
1219号Pit跡	X = 36082 Y = -39444	52 × 40cm	26cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1220号Pit跡	X = 36081 Y = -39442	23 × 22cm	21cm	円形	なし	埋土不明。	
1221号Pit跡	X = 36082 Y = -39442	42 × 30cm	15cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1222号Pit跡	X = 36082 Y = -39442	50 × 44cm	26cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1223号Pit跡	X = 36082 Y = -39441	46 × 31cm	18cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1224号Pit跡	X = 36083 Y = -39441	42 × 33cm	19cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1225号Pit跡	X = 36083 Y = -39442	35 × 30cm	32cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1226号Pit跡	X = 36084 Y = -39443	25 × 25cm	28cm	円形	なし	埋土不明。	
1227号Pit跡	X = 36084 Y = -39442	82 × 40cm	28cm	不定形	なし	埋土不明。	
1228号Pit跡	X = 36084 Y = -39441	24 × 23cm	16cm	円形	なし	埋土不明。	
1229号Pit跡	X = 36084 Y = -39442	32 × 30cm	20cm	円形	なし	埋土不明。	
1230号Pit跡	X = 36085 Y = -39442	30 × 27cm	16cm	円形	なし	埋土不明。	
1231号Pit跡	X = 36085 Y = -39441	34 × 28cm	35cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1232号Pit跡	X = 36086 Y = -39441	41 × 27cm	27cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1233号Pit跡	X = 36084 Y = -39440	31 × 27cm	9cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1234号Pit跡	X = 36085 Y = -39440	24 × 22cm	26cm	円形	なし	埋土不明。	
1235号Pit跡	X = 36086 Y = -39439	27 × 23cm	24cm	円形	なし	埋土不明。	1号掘立柱建物より15cmほど下面で検出。
1236号Pit跡	X = 36087 Y = -39440	27 × 27cm	39cm	円形	なし	埋土不明。	1号掘立柱建物より15cmほど下面で検出。
1237号Pit跡	X = 36087 Y = -39440	23 × 22cm	16cm	円形	なし	埋土不明。	1号掘立柱建物より15cmほど下面で検出。
1238号Pit跡	X = 36086 Y = -39438	20 × 20cm	6cm	円形	なし	埋土不明。	1号掘立柱建物より15cmほど下面で検出。
1239号Pit跡	X = 36086 Y = -39438	(32) × 25cm	13cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	1号掘立柱建物より15cmほど下面で検出。
1240号Pit跡	X = 36086 Y = -39437	30 × 30cm	23cm	円形	なし	埋土不明。	1号掘立柱建物より15cmほど下面で検出。
1241号Pit跡	X = 36085 Y = -39438	36 × 24cm	11cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1242号Pit跡	X = 36085 Y = -39434	25 × 24cm	14cm	円形	なし	埋土不明。	
1243号Pit跡	X = 36084 Y = -39434	24 × 20cm	10cm	円形	なし	埋土不明。	
1244号Pit跡	X = 36084 Y = -39436	50 × 34cm	24cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1245号Pit跡	X = 36083 Y = -39437	36 × 30cm	17cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1246号Pit跡	X = 36082 Y = -39437	38 × 37cm	14cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1247号Pit跡	X = 36081 Y = -39438	52 × 30cm	28cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1248号Pit跡	X = 36081 Y = -39440	27 × 21cm	19cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1249号Pit跡	X = 36082 Y = -39440	52 × 48cm	21cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1250号Pit跡	X = 36077 Y = -39434	43 × 33cm	29cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1251号Pit跡	X = 36078 Y = -39434	26 × 21cm	9cm	円形	なし	埋土不明。	
1252号Pit跡	X = 36079 Y = -39434	56 × 45cm	23cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1253号Pit跡	X = 36080 Y = -39433	(50) × 41cm	15cm	不定形	なし	埋土不明。	
1254号Pit跡	X = 36080 Y = -39432	32 × 28cm	13cm	円形	なし	埋土不明。	
1255号Pit跡	X = 36080 Y = -39431	43 × 38cm	25cm	円形	なし	埋土不明。	
1256号Pit跡	X = 36081 Y = -39430	27 × 27cm	22cm	円形	なし	埋土不明。	
1257号Pit跡	X = 36080 Y = -39430	50 × 36cm	39cm	円形	なし	埋土不明。	
1258号Pit跡	X = 36079 Y = -39429	27 × 25cm	9cm	円形	なし	埋土不明。	
1259号Pit跡	X = 36079 Y = -39428	25 × 24cm	14cm	円形	なし	埋土不明。	
1260号Pit跡	X = 36080 Y = -39429	41 × 37cm	29cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1261号Pit跡	X = 36081 Y = -39429	82 × 47cm	30cm	不定形	なし	埋土不明。	
1262号Pit跡	X = 36082 Y = -39429	20 × 17cm	16cm	円形	なし	埋土不明。	
1263号Pit跡	X = 36081 Y = -39427	27 × 25cm	19cm	円形	なし	埋土不明。	
1264号Pit跡	X = 36081 Y = -39427	31 × 25cm	15cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1265号Pit跡	X = 36080 Y = -39427	33 × 30cm	11cm	円形	なし	埋土不明。	
1266号Pit跡	X = 36080 Y = -39427	53 × 47cm	18cm	円形	なし	埋土不明。	
1267号Pit跡	X = 36079 Y = -39427	29 × 27cm	38cm	円形	なし	埋土不明。	
1268号Pit跡	X = 36079 Y = -39427	(42) × 30cm	22cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1269号Pit跡	X = 36079 Y = -39427	42 × 30cm	19cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1270号Pit跡	X = 36078 Y = -39427	51 × 26cm	19cm	不定形	なし	埋土不明。	
1271号Pit跡	X = 36078 Y = -39425	28 × 26cm	23cm	円形	なし	埋土不明。	
1272号Pit跡	X = 36078 Y = -39425	28 × 26cm	30cm	円形	なし	埋土不明。	
1273号Pit跡	X = 36077 Y = -39425	25 × 24cm	27cm	円形	なし	埋土不明。	
1274号Pit跡	X = 36076 Y = -39426	30 × 26cm	22cm	円形	なし	埋土不明。	
1275号Pit跡	X = 36075 Y = -39427	29 × 27cm	17cm	円形	なし	埋土不明。	
1276号Pit跡	X = 36075 Y = -39430	37 × 33cm	35cm	円形	なし	埋土不明。	
1277号Pit跡	X = 36073 Y = -39428	28 × 25cm	19cm	円形	なし	埋土不明。	
1278号Pit跡	X = 36071 Y = -39428	49 × 24cm	11cm	不定形	なし	埋土不明。	
1279号Pit跡	X = 36070 Y = -39428	22 × 20cm	14cm	円形	なし	埋土不明。	
1280号Pit跡	X = 36070 Y = -39428	39 × 31cm	29cm	円形	なし	埋土不明。	
1281号Pit跡	X = 36071 Y = -39427	34 × 27cm	25cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1282号Pit跡	X = 36068 Y = -39428	(136) × (64) cm	29cm	不定形	なし	埋土不明。	南側は調査区域外。
1283号Pit跡	X = 36070 Y = -39425	62 × 48cm	36cm	不定形	なし	埋土不明。	
1284号Pit跡	X = 36070 Y = -39425	53 × 45cm	23cm	不定形	なし	埋土不明。	

第3章 検出遺構と出土遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
1285号Pit跡	X = 36072 Y = -39425	30 × 28cm	18cm	円形	なし	埋土不明。	
1286号Pit跡	X = 36071 Y = -39424	111 × 60cm	24cm	不定形	なし	埋土不明。	
1287号Pit跡	X = 36071 Y = -39423	30 × 30cm	44cm	円形	なし	埋土不明。	
1288号Pit跡	X = 36072 Y = -39424	28 × 25cm	17cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1289号Pit跡	X = 36073 Y = -39424	18 × 17cm	13cm	円形	なし	埋土不明。	
1290号Pit跡	X = 36074 Y = -39424	24 × 21cm	21cm	円形	なし	埋土不明。	
1291号Pit跡	X = 36073 Y = -39423	22 × 19cm	13cm	円形	なし	埋土不明。	
1292号Pit跡	X = 36074 Y = -39422	23 × 21cm	12cm	円形	なし	埋土不明。	
1293号Pit跡	X = 36073 Y = -39422	22 × 20cm	13cm	円形	なし	埋土不明。	
1294号Pit跡	X = 36073 Y = -39422	32 × 25cm	25cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1295号Pit跡	X = 36073 Y = -39422	18 × 15cm	13cm	円形	なし	埋土不明。	
1296号Pit跡	X = 36073 Y = -39421	60 × 45cm	12cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1297号Pit跡	X = 36072 Y = -39420	40 × 32cm	23cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1298号Pit跡	X = 36071 Y = -39421	31 × 29cm	16cm	円形	なし	埋土不明。	
1299号Pit跡	X = 36071 Y = -39419	45 × 40cm	20cm	円形	なし	埋土不明。	
1300号Pit跡	X = 36072 Y = -39420	42 × 32cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1301号Pit跡	X = 36073 Y = -39420	44 × 36cm	31cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1302号Pit跡	X = 36073 Y = -39419	83 × 76cm	17cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1303号Pit跡	X = 36074 Y = -39420	43 × 36cm	21cm	円形	なし	埋土不明。	
1304号Pit跡	X = 36074 Y = -39420	29 × 24cm	13cm	円形	なし	埋土不明。	
1305号Pit跡	X = 36074 Y = -39421	32 × 31cm	26cm	円形	なし	埋土不明。	
1306号Pit跡	X = 36073 Y = -39421	30 × 25cm	13cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1307号Pit跡	X = 36076 Y = -39421	53 × 42cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1308号Pit跡	X = 36076 Y = -39422	33 × 31cm	11cm	円形	なし	埋土不明。	
1309号Pit跡	X = 36076 Y = -39422	41 × 40cm	10cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1310号Pit跡	X = 36078 Y = -39422	65 × 50cm	54cm	不定形	なし	埋土不明。	
1311号Pit跡	X = 36078 Y = -39422	50 × 47cm	28cm	円形	なし	埋土不明。	
1312号Pit跡	X = 36079 Y = -39423	23 × 22cm	18cm	円形	なし	埋土不明。	
1313号Pit跡	X = 36080 Y = -39424	26 × 26cm	26cm	円形	なし	埋土不明。	
1314号Pit跡	X = 36081 Y = -39424	30 × 29cm	20cm	円形	なし	埋土不明。	
1315号Pit跡	X = 36082 Y = -39425	35 × 34cm	24cm	円形	なし	埋土不明。	
1316号Pit跡	X = 36082 Y = -39427	24 × 24cm	19cm	円形	なし	埋土不明。	
1317号Pit跡	X = 36082 Y = -39426	30 × 28cm	16cm	円形	なし	埋土不明。	
1318号Pit跡	X = 36082 Y = -39425	54 × 38cm	18cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1319号Pit跡	X = 36084 Y = -39426	125 × 32cm	15cm	不定形	なし	埋土不明。	Pitになるか不明。
1320号Pit跡	X = 36083 Y = -39427	46 × 32cm	27cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1321号Pit跡	X = 36082 Y = -39428	26 × 20cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1322号Pit跡	X = 36084 Y = -39428	(29) × 26cm	28cm	円形	なし	埋土不明。	
1323号Pit跡	X = 36084 Y = -39427	50 × 26cm	29cm	楕円形	なし	埋土不明。	10号掘立柱建物との新旧関係は不明。
1324号Pit跡	X = 36085 Y = -39427	27 × 23cm	18cm	楕円形	なし	埋土不明。	10号掘立柱建物との新旧関係は不明。
1325号Pit跡	X = 36085 Y = -39427	57 × 40cm	19cm	楕円形	なし	埋土不明。	10号掘立柱建物との新旧関係は不明。
1326号Pit跡	X = 36085 Y = -39426	44 × 36cm	13cm	不定形	なし	埋土不明。	10号掘立柱建物との新旧関係は不明。
1327号Pit跡	X = 36086 Y = -39424	49 × 22cm	17cm	楕円形	なし	埋土不明。	10号掘立柱建物との新旧関係は不明。
1328号Pit跡	X = 36085 Y = -39424	46 × 21cm	11cm	楕円形	なし	埋土不明。	10号掘立柱建物との新旧関係は不明。
1329号Pit跡	X = 36086 Y = -39422	27 × 26cm	20cm	円形	なし	埋土不明。	
1330号Pit跡	X = 36085 Y = -39422	46 × 42cm	9cm	円形	なし	埋土不明。	
1331号Pit跡	X = 36085 Y = -39421	38 × 38cm	13cm	円形	なし	埋土不明。	
1332号Pit跡	X = 36087 Y = -39420	36 × 35cm	13cm	円形	なし	埋土不明。	
1333号Pit跡	X = 36086 Y = -39419	52 × 40cm	21cm	不定形	なし	埋土不明。	
1334号Pit跡	X = 36085 Y = -39419	40 × 33cm	22cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1335号Pit跡	X = 36085 Y = -39418	53 × 47cm	26cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1336号Pit跡	X = 36082 Y = -39421	49 × 20cm	9cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1337号Pit跡	X = 36080 Y = -39421	33 × 31cm	30cm	円形	なし	埋土不明。	
1338号Pit跡	X = 36079 Y = -39421	45 × 36cm	10cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1339号Pit跡	X = 36078 Y = -39421	20 × 19cm	19cm	円形	なし	埋土不明。	
1340号Pit跡	X = 36080 Y = -39419	37 × 34cm	19cm	円形	なし	埋土不明。	
1341号Pit跡	X = 36080 Y = -39419	35 × 27cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1342号Pit跡	X = 36078 Y = -39419	40 × 34cm	10cm	円形	なし	埋土不明。	
1343号Pit跡	X = 36078 Y = -39418	54 × 46cm	23cm	円形	なし	埋土不明。	
1344号Pit跡	X = 36076 Y = -39417	42 × 40cm	60cm	円形	なし	埋土不明。	
1345号Pit跡	X = 36075 Y = -39417	32 × 26cm	8cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1346号Pit跡	X = 36071 Y = -39416	100 × 68cm	36cm	不定形	なし	埋土不明。	
1347号Pit跡	X = 36074 Y = -39415	30 × 27cm	36cm	円形	なし	埋土不明。	
1348号Pit跡	X = 36075 Y = -39414	30 × 27cm	32cm	円形	なし	埋土不明。	
1349号Pit跡	X = 36076 Y = -39415	35 × 35cm	34cm	円形	なし	埋土不明。	
1350号Pit跡	X = 36077 Y = -39415	42 × 32cm	48cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1351号Pit跡	X = 36079 Y = -39418	50 × 43cm	29cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
1352号Pit跡	X = 36079 Y = -39417	51 × 30cm	10cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1353号Pit跡	X = 36079 Y = -39416	24 × 21cm	15cm	円形	なし	埋土不明。	
1354号Pit跡	X = 36080 Y = -39417	84 × 40cm	28cm	不定形	なし	埋土不明。	
1355号Pit跡	X = 36081 Y = -39417	125 × 29cm	13cm	不定形	なし	埋土不明。	
1356号Pit跡	X = 36083 Y = -39417	51 × 41cm	22cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1357号Pit跡	X = 36081 Y = -39415	20 × 20cm	24cm	円形	なし	埋土不明。	
1358号Pit跡	X = 36081 Y = -39415	31 × 27cm	7cm	円形	なし	埋土不明。	
1359号Pit跡	X = 36081 Y = -39415	32 × 30cm	18cm	円形	なし	埋土不明。	
1360号Pit跡	X = 36081 Y = -39414	30 × 28cm	26cm	円形	なし	埋土不明。	
1361号Pit跡	X = 36081 Y = -39414	48 × 35cm	25cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1362号Pit跡	X = 36083 Y = -39411	57 × 41cm	26cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1363号Pit跡	X = 36083 Y = -39410	35 × 32cm	23cm	円形	なし	埋土不明。	
1364号Pit跡	X = 36085 Y = -39410	41 × 33cm	29cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1365号Pit跡	X = 36086 Y = -39410	33 × 32cm	23cm	円形	なし	埋土不明。	
1366号Pit跡	X = 36085 Y = -39407	53 × 37cm	50cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1367号Pit跡	X = 36084 Y = -39407	43 × 35cm	52cm	不定形	なし	埋土不明。	
1368号Pit跡	X = 36084 Y = -39407	45 × 37cm	27cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1369号Pit跡	X = 36083 Y = -39407	21 × 21cm	23cm	円形	なし	埋土不明。	
1370号Pit跡	X = 36083 Y = -39407	32 × 28cm	48cm	円形	なし	埋土不明。	
1371号Pit跡	X = 36082 Y = -39409	41 × 33cm	36cm	不定形	なし	埋土不明。	
1372号Pit跡	X = 36079 Y = -39410	133 × 43cm	26cm	不定形	なし	埋土不明。	畠跡か。
1373号Pit跡	X = 36077 Y = -39411	27 × 24cm	19cm	円形	なし	埋土不明。	
1374号Pit跡	X = 36077 Y = -39409	30 × 28cm	16cm	円形	なし	埋土不明。	
1375号Pit跡	X = 36077 Y = -39409	32 × 30cm	25cm	円形	なし	埋土不明。	
1376号Pit跡	X = 36076 Y = -39410	50 × 45cm	24cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1377号Pit跡	X = 36074 Y = -39411	25 × 24cm	16cm	円形	なし	埋土不明。	
1378号Pit跡	X = 36073 Y = -39409	42 × 38cm	25cm	円形	なし	埋土不明。	
1379号Pit跡	X = 36072 Y = -39407	27 × 27cm	18cm	円形	なし	埋土不明。	
1380号Pit跡	X = 36075 Y = -39408	31 × 29cm	14cm	円形	なし	埋土不明。	
1381号Pit跡	X = 36077 Y = -39407	30 × 28cm	25cm	円形	なし	埋土不明。	
1382号Pit跡	X = 36078 Y = -39406	32 × 30cm	49cm	円形	なし	埋土不明。	
1383号Pit跡	X = 36079 Y = -39407	30 × 25cm	29cm	円形	なし	埋土不明。	
1384号Pit跡	X = 36079 Y = -39407	38 × 33cm	39cm	円形	なし	埋土不明。	
1385号Pit跡	X = 36079 Y = -39407	33 × 28cm	21cm	円形	なし	埋土不明。	
1386号Pit跡	X = 36079 Y = -39407	43 × 39cm	30cm	円形	なし	埋土不明。	
1387号Pit跡	X = 36080 Y = -39407	37 × 33cm	33cm	円形	なし	埋土不明。	
1388号Pit跡	X = 36081 Y = -39407	29 × 29cm	17cm	円形	なし	埋土不明。	
1389号Pit跡	X = 36082 Y = -39406	28 × 27cm	35cm	円形	なし	埋土不明。	
1390号Pit跡	X = 36082 Y = -39406	29 × 29cm	19cm	円形	なし	埋土不明。	
1391号Pit跡	X = 36084 Y = -39406	38 × 35cm	45cm	円形	なし	埋土不明。	
1392号Pit跡	X = 36086 Y = -39404	47 × 30cm	44cm	不定形	なし	埋土不明。	
1393号Pit跡	X = 36085 Y = -39402	47 × 37cm	48cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1394号Pit跡	X = 36084 Y = -39400	47 × 35cm	19cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1395号Pit跡	X = 36083 Y = -39400	24 × 17cm	14cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1396号Pit跡	X = 36082 Y = -39401	19 × 17cm	12cm	円形	なし	埋土不明。	
1397号Pit跡	X = 36082 Y = -39401	27 × 25cm	16cm	円形	なし	埋土不明。	
1398号Pit跡	X = 36082 Y = -39401	33 × 28cm	13cm	円形	なし	埋土不明。	
1399号Pit跡	X = 36082 Y = -39401	45 × 44cm	25cm	円形	なし	埋土不明。	
1400号Pit跡	X = 36081 Y = -39402	19 × 18cm	17cm	円形	なし	埋土不明。	
1401号Pit跡	X = 36083 Y = -39402	19 × 19cm	16cm	円形	なし	埋土不明。	
1402号Pit跡	X = 36083 Y = -39403	29 × 28cm	12cm	円形	なし	埋土不明。	
1403号Pit跡	X = 36083 Y = -39403	47 × 45cm	28cm	円形	なし	埋土不明。	
1404号Pit跡	X = 36082 Y = -39404	37 × 30cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1405号Pit跡	X = 36081 Y = -39399	66 × 43cm	40cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1406号Pit跡	X = 36079 Y = -39401	56 × 52cm	61cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1407号Pit跡	X = 36079 Y = -39401	80 × 74cm	22cm	不定形	なし	埋土不明。	
1408号Pit跡	X = 36079 Y = -39402	70 × 35cm	39cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1409号Pit跡	X = 36077 Y = -39402	37 × 35cm	28cm	円形	なし	埋土不明。	
1410号Pit跡	X = 36077 Y = -39402	25 × 20cm	14cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1411号Pit跡	X = 36077 Y = -39405	(30) × 29cm	18cm	円形	なし	埋土不明。	
1412号Pit跡	X = 36077 Y = -39405	30 × 29cm	29cm	円形	なし	埋土不明。	
1413号Pit跡	X = 36077 Y = -39403	44 × 37cm	20cm	円形	なし	埋土不明。	
1414号Pit跡	X = 36076 Y = -39403	25 × 25cm	17cm	円形	なし	埋土不明。	
1415号Pit跡	X = 36075 Y = -39403	29 × 25cm	10cm	円形	なし	埋土不明。	
1416号Pit跡	X = 36074 Y = -39403	38 × 30cm	28cm	円形	なし	埋土不明。	
1417号Pit跡	X = 36073 Y = -39404	25 × 23cm	9cm	円形	なし	埋土不明。	

第3章 検出遺構と出土遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
1418号Pit跡	X = 36072 Y = -39404	41 × 39cm	19cm	円形	なし	埋土不明。	
1419号Pit跡	X = 36073 Y = -39403	24 × 23cm	13cm	円形	なし	埋土不明。	
1420号Pit跡	X = 36073 Y = -39402	31 × 26cm	19cm	円形	なし	埋土不明。	
1421号Pit跡	X = 36074 Y = -39401	26 × 22cm	26cm	円形	なし	埋土不明。	
1422号Pit跡	X = 36072 Y = -39400	32 × 24cm	15cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1423号Pit跡	X = 36073 Y = -39400	30 × 28cm	15cm	円形	なし	埋土不明。	
1424号Pit跡	X = 36076 Y = -39401	28 × 25cm	29cm	円形	なし	埋土不明。	
1425号Pit跡	X = 36076 Y = -39402	28 × 26cm	30cm	円形	なし	埋土不明。	
1426号Pit跡	X = 36076 Y = -39398	25 × 24cm	19cm	円形	なし	埋土不明。	
1427号Pit跡	X = 36076 Y = -39398	50 × 31cm	44cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1428号Pit跡	X = 36075 Y = -39398	30 × 30cm	46cm	円形	なし	埋土不明。	
1429号Pit跡	X = 36075 Y = -39398	37 × 30cm	44cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1430号Pit跡	X = 36075 Y = -39397	44 × 43cm	43cm	円形	なし	埋土不明。	
1431号Pit跡	X = 36076 Y = -39397	42 × 36cm	36cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1432号Pit跡	X = 36078 Y = -39397	34 × 30cm	24cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1433号Pit跡	X = 36078 Y = -39397	28 × 25cm	20cm	円形	なし	埋土不明。	
1434号Pit跡	X = 36077 Y = -39396	39 × 33cm	21cm	円形	なし	埋土不明。	
1435号Pit跡	X = 36074 Y = -39394	34 × 32cm	19cm	円形	なし	埋土不明。	
1436号～1500号Pitは欠番							
1501号Pit跡	X = 36158 Y = -39478	30 × 27cm	25cm	円形	なし	埋土不明。	
1502号Pit跡	X = 36156 Y = -39480	15 × 13cm	7cm	円形	なし	埋土不明。	
1503号Pit跡	X = 36156 Y = -39480	28 × 23cm	19cm	不定形	なし	埋土不明。	
1504号Pit跡	X = 36156 Y = -39479	19 × 16cm	10cm	円形	なし	埋土不明。	
1505号Pit跡	X = 36156 Y = -39478	49 × 37cm	39cm	不定形	なし	埋土不明。	
1506号Pit跡	X = 36156 Y = -39477	34 × 25cm	35cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1507号Pit跡	X = 36156 Y = -39477	36 × 25cm	25cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1508号Pit跡	X = 36156 Y = -39477	36 × 34cm	21cm	円形	なし	埋土不明。	
1509号Pit跡	X = 36156 Y = -39477	46 × 32cm	34cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1510号Pit跡	X = 36155 Y = -39477	24 × 18cm	19cm	不定形	なし	埋土不明。	
1511号Pit跡	X = 36154 Y = -39478	19 × 18cm	15cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1512号Pit跡	X = 36154 Y = -39477	27 × 22cm	14cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1513号Pit跡	X = 36154 Y = -39475	25 × 22cm	16cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1514号Pit跡	X = 36153 Y = -39475	(40) × 30cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1515号Pit跡	X = 36152 Y = -39478	23 × 20cm	13cm	円形	なし	埋土不明。	
1516号Pit跡	X = 36152 Y = -39472	28 × 22cm	13cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1517号Pit跡	X = 36152 Y = -39471	23 × 19cm	8cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1518号Pit跡	X = 36151 Y = -39470	20 × 17cm	9cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1519号Pit跡	X = 36152 Y = -39469	31 × 24cm	9cm	不定形	なし	埋土不明。	
1520号Pit跡	X = 36149 Y = -39475	25 × 24cm	17cm	円形	なし	埋土不明。	
1521号Pit跡	X = 36149 Y = -39473	33 × 27cm	25cm	円形	なし	埋土不明。	
1522号Pit跡	X = 36149 Y = -39470	37 × 34cm	37cm	円形	なし	埋土不明。	
1523号Pit跡	X = 36149 Y = -39469	66 × 25cm	32cm	不定形	なし	埋土不明。	
1524号～1700号Pitは欠番							
1701号Pit跡	X = 36192 Y = -39488	58 × 40cm	10cm	不定形	なし	埋土不明。	
1702号Pit跡	X = 36192 Y = -39487	63 × 50cm	18cm	不定形	なし	埋土不明。	
1703号Pit跡	X = 36190 Y = -39489	24 × 23cm	15cm	円形	なし	埋土不明。	
1704号Pit跡	X = 36190 Y = -39490	56 × 48cm	21cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1705号Pit跡	X = 36189 Y = -39488	30 × 27cm	15cm	円形	なし	埋土不明。	
1706号Pit跡	X = 36190 Y = -39486	21 × 18cm	11cm	円形	なし	埋土不明。	
1707号Pit跡	X = 36191 Y = -39486	17 × 14cm	11cm	円形	なし	埋土不明。	
1708号Pit跡	X = 36191 Y = -39486	16 × (14)cm	11cm	円形	なし	埋土不明。	
1710号Pit跡	X = 36188 Y = -39489	29 × 28cm	15cm	円形	なし	埋土不明。	
1711号Pit跡	X = 36172 Y = -39485	30 × 28cm	22cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1712号Pit跡	X = 36172 Y = -39484	28 × 25cm	14cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1713号Pit跡	X = 36172 Y = -39484	15 × 13cm	11cm	円形	なし	埋土不明。	
1714号Pit跡	X = 36172 Y = -39483	20 × 18cm	11cm	円形	なし	埋土不明。	
1715号Pit跡	X = 36171 Y = -39484	29 × 23cm	12cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1716号Pit跡	X = 36171 Y = -39485	28 × 25cm	15cm	円形	なし	埋土不明。	
1717号Pit跡	X = 36172 Y = -39483	45 × 39cm	27cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1718号Pit跡	X = 36170 Y = -39481	30 × 27cm	15cm	円形	なし	埋土不明。	
1719号Pit跡	X = 36170 Y = -39481	35 × 28cm	21cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1720号Pit跡	X = 36169 Y = -39481	37 × 33cm	28cm	円形	なし	埋土不明。	
1721号Pit跡	X = 36169 Y = -39482	40 × 32cm	28cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1722号Pit跡	X = 36169 Y = -39482	18 × (16)cm	9cm	円形	なし	埋土不明。	
1723号Pit跡	X = 36169 Y = -39482	30 × 25cm	25cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1724号Pit跡	X = 36169 Y = -39482	57 × 34cm	28cm	不定形	なし	埋土不明。	
1725号Pit跡	X = 36168 Y = -39484	29 × 23cm	23cm	楕円形	なし	埋土不明。	

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
1726号Pit跡	X = 36161 Y = -39481	45 × 30cm	25cm	不定形	なし	埋土不明。	
1730号Pit跡	X = 36122 Y = -39479	26 × 19cm	12cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1731号Pit跡	X = 36122 Y = -39479	29 × 27cm	23cm	円形	なし	埋土不明。	
1732号Pit跡	X = 36122 Y = -39479	26 × 20cm	20cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1733号Pit跡	X = 36123 Y = -39480	28 × 26cm	16cm	円形	なし	埋土不明。	
1734号Pit跡	X = 36124 Y = -39481	38 × 20cm	21cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1740号Pit跡	X = 36140 Y = -39479	30 × 28cm	23cm	円形	なし	埋土不明。	
1741号Pit跡	X = 36139 Y = -39479	37 × 36cm	18cm	円形	なし	埋土不明。	
1742号Pit跡	X = 36137 Y = -39478	40 × 37cm	25cm	不定形	なし	埋土不明。	
1743号Pit跡	X = 36137 Y = -39473	34 × 29cm	25cm	円形	なし	埋土不明。	
1744号Pit跡	X = 36136 Y = -39473	32 × 22cm	14cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1745号Pit跡	X = 36136 Y = -39474	28 × 25cm	18cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1746号Pit跡	X = 36135 Y = -39473	30 × 19cm	18cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1747号Pit跡	X = 36132 Y = -39473	32 × 28cm	21cm	円形	なし	埋土不明。	
1748号Pit跡	X = 36131 Y = -39473	30 × 22cm	16cm	不定形	なし	埋土不明。	
1749号Pit跡	X = 36139 Y = -39472	28 × 26cm	22cm	円形	なし	埋土不明。	
1751号Pit跡	X = 36139 Y = -39467	21 × 19cm	17cm	円形	なし	埋土不明。	
1752号Pit跡	X = 36134 Y = -39471	22 × 18cm	16cm	円形	なし	埋土不明。	
1753号Pit跡	X = 36137 Y = -39469	29 × 27cm	23cm	円形	なし	埋土不明。	
1754号Pit跡	X = 36139 Y = -39466	30 × 29cm	21cm	円形	なし	埋土不明。	
1755号Pit跡	X = 36138 Y = -39465	29 × 29cm	20cm	円形	なし	埋土不明。	
1756号Pit跡	X = 36140 Y = -39466	24 × 23cm	9cm	円形	なし	埋土不明。	
1757号Pit跡	X = 36140 Y = -39463	22 × 18cm	12cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1758号Pit跡	X = 36139 Y = -39463	22 × 19cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1759号Pit跡	X = 36140 Y = -39463	36 × 27cm	31cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1760号Pit跡	X = 36139 Y = -39464	43 × 40cm	23cm	円形	なし	埋土不明。	
1761号Pit跡	X = 36138 Y = -39464	28 × 25cm	17cm	円形	なし	埋土不明。	
1762号Pit跡	X = 36138 Y = -39463	33 × 28cm	22cm	円形	なし	埋土不明。	
1763号Pit跡	X = 36138 Y = -39462	26 × 24cm	13cm	円形	なし	埋土不明。	
1764号Pit跡	X = 36137 Y = -39462	36 × 28cm	28cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1765号Pit跡	X = 36140 Y = -39461	36 × 30cm	25cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1766号Pit跡	X = 36139 Y = -39461	32 × 30cm	24cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1767号Pit跡	X = 36139 Y = -39460	36 × 32cm	22cm	円形	なし	埋土不明。	
1768号Pit跡	X = 36139 Y = -39460	35 × 33cm	12cm	円形	なし	埋土不明。	
1769号Pit跡	X = 36140 Y = -39459	28 × 23cm	9cm	円形	なし	埋土不明。	
1770号Pit跡	X = 36141 Y = -39463	54 × 40cm	13cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1771号Pit跡	X = 36140 Y = -39465	40 × 35cm	13cm	不定形	なし	埋土不明。	
1772号Pit跡	X = 36142 Y = -39465	25 × 23cm	34cm	円形	なし	埋土不明。	
1773号Pit跡	X = 36141 Y = -39466	48 × 39cm	26cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1774号Pit跡	X = 36141 Y = -39466	42 × 32cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1775号Pit跡	X = 36141 Y = -39466	25 × 25cm	29cm	円形	なし	埋土不明。	
1776号Pit跡	X = 36142 Y = -39468	37 × 24cm	18cm	不定形	なし	埋土不明。	
1777号Pit跡	X = 36142 Y = -39474	35 × 23cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1778号Pit跡	X = 36144 Y = -39469	68 × 50cm	19cm	不定形	なし	埋土不明。	
1779号Pit跡	X = 36144 Y = -39468	23 × 22cm	15cm	円形	なし	埋土不明。	
1780号Pit跡	X = 36142 Y = -39467	44 × 38cm	36cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1781号Pit跡	X = 36143 Y = -39462	32 × 29cm	11cm	円形	なし	埋土不明。	
1782号Pit跡	X = 36144 Y = -39462	27 × 25cm	10cm	円形	なし	埋土不明。	
1783号Pit跡	X = 36143 Y = -39460	35 × 32cm	32cm	円形	なし	埋土不明。	
1784号Pit跡	X = 36143 Y = -39460	35 × 32cm	32cm	円形	なし	埋土不明。	
1785号Pit跡	X = 36143 Y = -39459	40 × 38cm	33cm	円形	なし	埋土不明。	
1786号Pit跡	X = 36145 Y = -39464	28 × 24cm	25cm	円形	なし	埋土不明。	
1787号Pit跡	X = 36144 Y = -39467	86 × 47cm	27cm	不定形	なし	埋土不明。	1 基の Pit と重複か。
1788号Pit跡	X = 36144 Y = -39468	32 × 30cm	10cm	円形	なし	埋土不明。	
1789号Pit跡	X = 36145 Y = -39473	40 × 35cm	15cm	円形	なし	埋土不明。	
1790号Pit跡	X = 36146 Y = -39470	33 × 30cm	25cm	円形	なし	埋土不明。	
1791号Pit跡	X = 36146 Y = -39466	不明 × 34cm	14cm	不明	なし	埋土不明。	
1792号Pit跡	X = 36146 Y = -39462	31 × 28cm	29cm	円形	なし	埋土不明。	
1793号Pit跡	X = 36147 Y = -39462	23 × 20cm	29cm	円形	なし	埋土不明。	
1794号Pit跡	X = 36146 Y = -39460	33 × 32cm	33cm	円形	なし	埋土不明。	
1795号Pit跡	X = 36148 Y = -39460	50 × 28cm	24cm	不定形	なし	埋土不明。	
1796号Pit跡	X = 36146 Y = -39466	23 × 20cm	15cm	円形	なし	埋土不明。	
1797号Pit跡	X = 36137 Y = -39460	23 × 20cm	14cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	

第3章 検出遺構と出土遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
1798号Pit跡	X = 36137 Y = -39460	34 × 30cm	25cm	円形	なし	埋土不明。	
1799号Pit跡	X = 36135 Y = -39461	26 × 25cm	12cm	円形	なし	埋土不明。	
1800号Pit跡	X = 36135 Y = -39462	24 × 23cm	16cm	円形	なし	埋土不明。	
1801号Pit跡	X = 36135 Y = -39463	28 × 25cm	14cm	円形	なし	埋土不明。	
1802号Pit跡	X = 36135 Y = -39464	20 × 20cm	13cm	円形	なし	埋土不明。	
1803号Pit跡	X = 36135 Y = -39464	23 × 22cm	25cm	円形	なし	埋土不明。	
1804号Pit跡	X = 36136 Y = -39465	26 × 25cm	15cm	円形	なし	埋土不明。	
1805号Pit跡	X = 36135 Y = -39466	31 × 27cm	20cm	円形	なし	埋土不明。	
1806号Pit跡	X = 36135 Y = -39467	16 × 13cm	10cm	円形	なし	埋土不明。	
1807号Pit跡	X = 36135 Y = -39467	20 × 19cm	19cm	円形	なし	埋土不明。	
1808号Pit跡	X = 36135 Y = -39468	34 × 32cm	26cm	不定形	なし	埋土不明。	
1809号Pit跡	X = 36135 Y = -39477	34 × 30cm	12cm	円形	なし	埋土不明。	
1810号Pit跡	X = 36134 Y = -39479	184 × 68cm	12cm	不定形	なし	埋土不明。	土抗か。
1811号Pit跡	X = 36133 Y = -39475	28 × 26cm	22cm	円形	なし	埋土不明。	
1812号Pit跡	X = 36133 Y = -39468	38 × 28cm	19cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1813号Pit跡	X = 36133 Y = -39468	25 × 25cm	15cm	円形	なし	埋土不明。	
1814号Pit跡	X = 36133 Y = -39466	29 × 27cm	30cm	円形	なし	埋土不明。	
1815号Pit跡	X = 36132 Y = -39466	38 × 30cm	17cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1816号Pit跡	X = 36132 Y = -39466	22 × 20cm	10cm	円形	なし	埋土不明。	
1817号Pit跡	X = 36131 Y = -39466	20 × 12cm	9cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1818号Pit跡	X = 36132 Y = -39465	32 × 25cm	25cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1819号Pit跡	X = 36131 Y = -39467	16 × 16cm	8cm	円形	なし	埋土不明。	
1820号Pit跡	X = 36131 Y = -39467	23 × 19cm	12cm	円形	なし	埋土不明。	
1821号Pit跡	X = 36133 Y = -39464	28 × 25cm	7cm	円形	なし	埋土不明。	
1822号Pit跡	X = 36132 Y = -39464	20 × 18cm	12cm	円形	なし	埋土不明。	
1823号Pit跡	X = 36132 Y = -39463	34 × 30cm	17cm	円形	なし	埋土不明。	
1824号Pit跡	X = 36133 Y = -39459	21 × 19cm	8cm	円形	なし	埋土不明。	
1825号Pit跡	X = 36131 Y = -39459	45 × 30cm	26cm	不定形	なし	埋土不明。	
1826号Pit跡	X = 36131 Y = -39459	21 × 17cm	14cm	円形	なし	埋土不明。	
1827号Pit跡	X = 36131 Y = -39460	50 × 47cm	38cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1828号Pit跡	X = 36130 Y = -39460	36 × 32cm	31cm	円形	なし	埋土不明。	
1829号Pit跡	X = 36129 Y = -39459	27 × 25cm	19cm	円形	なし	埋土不明。	
1830号Pit跡	X = 36128 Y = -39461	27 × 24cm	30cm	円形	なし	埋土不明。	
1831号Pit跡	X = 36129 Y = -39461	29 × 27cm	30cm	円形	なし	埋土不明。	
1832号Pit跡	X = 36131 Y = -39463	20 × 18cm	9cm	円形	なし	埋土不明。	
1833号Pit跡	X = 36131 Y = -39464	25 × 25cm	22cm	円形	なし	埋土不明。	
1834号Pit跡	X = 36130 Y = -39463	23 × 23cm	18cm	円形	なし	埋土不明。	
1835号Pit跡	X = 36130 Y = -39463	20 × 19cm	10cm	円形	なし	埋土不明。	
1836号Pit跡	X = 36130 Y = -39464	31 × 26cm	19cm	円形	なし	埋土不明。	
1837号Pit跡	X = 36130 Y = -39464	19 × 18cm	10cm	円形	なし	埋土不明。	
1838号Pit跡	X = 36129 Y = -39468	27 × 26cm	26cm	円形	なし	埋土不明。	
1839号Pit跡	X = 36130 Y = -39468	35 × 26cm	8cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1840号Pit跡	X = 36128 Y = -39459	49 × 40cm	26cm	不定形	なし	埋土不明。	
1841号Pit跡	X = 36127 Y = -39459	52 × 40cm	15cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1842号Pit跡	X = 36126 Y = -39459	55 × 43cm	28cm	不定形	なし	埋土不明。	
1843号Pit跡	X = 36127 Y = -39460	39 × 28cm	17cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1844号Pit跡	X = 36126 Y = -39460	34 × 29cm	25cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1845号Pit跡	X = 36126 Y = -39460	28 × 24cm	10cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1846号Pit跡	X = 36128 Y = -39462	34 × 31cm	29cm	円形	なし	埋土不明。	
1847号Pit跡	X = 36128 Y = -39464	40 × 36cm	22cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1848号Pit跡	X = 36128 Y = -39464	22 × 18cm	13cm	円形	なし	埋土不明。	
1849号Pit跡	X = 36127 Y = -39464	30 × 29cm	24cm	円形	なし	埋土不明。	
1850号Pit跡	X = 36126 Y = -39465	23 × 23cm	20cm	円形	なし	埋土不明。	
1851号Pit跡	X = 36127 Y = -39466	27 × 21cm	14cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1852号Pit跡	X = 36127 Y = -39467	30 × 24cm	26cm	不定形	なし	埋土不明。	
1853号Pit跡	X = 36128 Y = -39467	35 × 32cm	40cm	円形	なし	埋土不明。	
1854号Pit跡	X = 36127 Y = -39468	25 × 22cm	18cm	円形	なし	埋土不明。	
1855号Pit跡	X = 36126 Y = -39470	26 × 23cm	11cm	円形	なし	埋土不明。	
1856号Pit跡	X = 36127 Y = -39472	23 × 20cm	16cm	円形	なし	埋土不明。	
1858号Pit跡	X = 36123 Y = -39472	22 × 18cm	15cm	円形	なし	埋土不明。	
1859号Pit跡	X = 36125 Y = -39466	30 × 26cm	25cm	円形	なし	埋土不明。	
1862号Pit跡	X = 36125 Y = -39463	27 × 26cm	29cm	円形	なし	埋土不明。	
1863号Pit跡	X = 36125 Y = -39463	27 × 26cm	10cm	円形	なし	埋土不明。	

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
1864号Pit跡	X = 36124 Y = -39460	58 × 50cm	53cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1865号Pit跡	X = 36122 Y = -39460	39 × 39cm	37cm	円形	なし	埋土不明。	
1866号Pit跡	X = 36122 Y = -39460	52 × 42cm	24cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1867号Pit跡	X = 36122 Y = -39459	27 × 24cm	18cm	円形	なし	埋土不明。	
1868号Pit跡	X = 36121 Y = -39459	25 × 20cm	20cm	円形	なし	埋土不明。	
1871号Pit跡	X = 36119 Y = -39478	45 × 30cm	23cm	不定形	なし	埋土不明。	
1872号Pit跡	X = 36120 Y = -39471	22 × 22cm	22cm	円形	なし	埋土不明。	
1873号Pit跡	X = 36120 Y = -39468	24 × 22cm	16cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1874号Pit跡	X = 36120 Y = -39466	30 × 30cm	18cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1875号Pit跡	X = 36144 Y = -39458	30 × 25cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1876号Pit跡	X = 36143 Y = -39458	31 × 27cm	27cm	円形	なし	埋土不明。	
1877号Pit跡	X = 36142 Y = -39458	27 × 24cm	14cm	円形	なし	埋土不明。	
1878号Pit跡	X = 36141 Y = -39458	31 × 25cm	18cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1879号Pit跡	X = 36139 Y = -39454	23 × 21cm	12cm	円形	なし	埋土不明。	
1880号Pit跡	X = 36139 Y = -39454	25 × 25cm	12cm	円形	なし	埋土不明。	
1881号Pit跡	X = 36140 Y = -39454	32 × 25cm	21cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1882号Pit跡	X = 36139 Y = -39450	24 × 24cm	15cm	円形	なし	埋土不明。	
1883号Pit跡	X = 36137 Y = -39455	不明 × 65cm	37cm	不定形	なし	埋土不明。	
1884号Pit跡	X = 36138 Y = -39451	27 × 25cm	16cm	円形	なし	埋土不明。	
1885号Pit跡	X = 36135 Y = -39442	28 × 26cm	30cm	円形	なし	埋土不明。	
1886号Pit跡	X = 36136 Y = -39452	30 × 25cm	17cm	円形	なし	埋土不明。	
1887号Pit跡	X = 36135 Y = -39452	26 × 22cm	9cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1888号Pit跡	X = 36134 Y = -39453	31 × 25cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1889号Pit跡	X = 36134 Y = -39452	24 × 22cm	28cm	円形	なし	埋土不明。	
1890号Pit跡	X = 36135 Y = -39453	36 × 32cm	32cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1891号Pit跡	X = 36135 Y = -39454	33 × 26cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1892号Pit跡	X = 36136 Y = -39455	27 × 25cm	11cm	円形	なし	埋土不明。	
1893号Pit跡	X = 36133 Y = -39452	26 × 25cm	47cm	円形	なし	埋土不明。	
1894号Pit跡	X = 36134 Y = -39454	40 × 28cm	41cm	不定形	なし	埋土不明。	
1895号Pit跡	X = 36134 Y = -39459	22 × 21cm	14cm	円形	なし	埋土不明。	
1896号Pit跡	X = 36132 Y = -39456	60 × 50cm	44cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1897号Pit跡	X = 36131 Y = -39455	21 × 20cm	11cm	円形	なし	埋土不明。	
1898号Pit跡	X = 36131 Y = -39456	92 × 45cm	19cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1899号Pit跡	X = 36132 Y = -39456	29 × 22cm	13cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1900号Pit跡	X = 36132 Y = -39455	24 × 20cm	15cm	円形	なし	埋土不明。	
1901号Pit跡	X = 36133 Y = -39455	18 × 18cm	12cm	円形	なし	埋土不明。	
1902号Pit跡	X = 36133 Y = -39455	22 × 20cm	10cm	円形	なし	埋土不明。	
1903号Pit跡	X = 36132 Y = -39453	38 × 25cm	12cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1904号Pit跡	X = 36132 Y = -39452	53 × 46cm	64cm	円形	なし	埋土不明。	
1905号Pit跡	X = 36132 Y = -39452	45 × 33cm	41cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1906号Pit跡	X = 36132 Y = -39451	42 × 32cm	22cm	楕円形	なし	埋土不明。	もう1基のPitと重複か。
1907号Pit跡	X = 36131 Y = -39450	37 × 32cm	37cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1908号Pit跡	X = 36131 Y = -39448	27 × 22cm	12cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1909号Pit跡	X = 36131 Y = -39447	51 × 33cm	11cm	不定形	なし	埋土不明。	
1910号Pit跡	X = 36131 Y = -39447	30 × 25cm	8cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1911号Pit跡	X = 36132 Y = -39446	25 × 21cm	10cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1912号Pit跡	X = 36132 Y = -39446	28 × 24cm	11cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1913号Pit跡	X = 36131 Y = -39443	53 × 38cm	23cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1914号Pit跡	X = 36131 Y = -39439	30 × 16cm	11cm	不定形	なし	埋土不明。	
1915号Pit跡	X = 36129 Y = -39442	77 × 47cm	31cm	不定形	なし	埋土不明。	
1916号Pit跡	X = 36130 Y = -39450	34 × 31cm	28cm	円形	なし	埋土不明。	
1917号Pit跡	X = 36129 Y = -39455	33 × 29cm	20cm	円形	なし	埋土不明。	
1918号Pit跡	X = 36128 Y = -39459	45 × 27cm	34cm	不定形	なし	埋土不明。	
1919号Pit跡	X = 36128 Y = -39458	28 × 25cm	18cm	円形	なし	埋土不明。	
1920号Pit跡	X = 36127 Y = -39457	20 × 19cm	24cm	円形	なし	埋土不明。	
1921号Pit跡	X = 36129 Y = -39457	24 × 17cm	11cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1922号Pit跡	X = 36127 Y = -39456	32 × 31cm	22cm	円形	なし	埋土不明。	
1923号Pit跡	X = 36127 Y = -39455	45 × 30cm	26cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1924号Pit跡	X = 36127 Y = -39453	25 × 23cm	19cm	円形	なし	埋土不明。	
1925号Pit跡	X = 36127 Y = -39452	28 × 23cm	15cm	円形	なし	埋土不明。	
1926号Pit跡	X = 36128 Y = -39451	48 × 35cm	12cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1927号Pit跡	X = 36128 Y = -39448	54 × 40cm	44cm	不定形	なし	埋土不明。	
1928号Pit跡	X = 36128 Y = -39447	41 × 40cm	64cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1929号Pit跡	X = 36128 Y = -39444	76 × 69cm	16cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1931号Pit跡	X = 36127 Y = -39443	31 × 30cm	22cm	円形	なし	埋土不明。	

第3章 検出遺構と出土遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
1932号Pit跡	X = 36126 Y = -39440	29 × 26cm	30cm	ほぼ円形	なし		11号掘立柱建物に伴う柱穴。
1933号Pit跡	X = 36126 Y = -39443	49 × 45cm	14cm	円形	なし	埋土不明。	
1934号Pit跡	X = 36125 Y = -39449	24 × 23cm	27cm	円形	なし	埋土不明。	
1935号Pit跡	X = 36126 Y = -39449	30 × 23cm	21cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1936号Pit跡	X = 36125 Y = -39450	47 × 46cm	45cm	不定形	なし	埋土不明。	
1937号Pit跡	X = 36126 Y = -39451	33 × 28cm	27cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1938号Pit跡	X = 36125 Y = -39451	38 × 32cm	46cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1939号Pit跡	X = 36126 Y = -39452	30 × 25cm	20cm	円形	なし	埋土不明。	
1940号Pit跡	X = 36126 Y = -39452	43 × 39cm	21cm	円形	なし	埋土不明。	
1941号Pit跡	X = 36127 Y = -39455	24 × 15cm	26cm	不定形	なし	埋土不明。	
1942号Pit跡	X = 36127 Y = -39456	23 × 17cm	7cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1943号Pit跡	X = 36126 Y = -39456	28 × 27cm	37cm	円形	なし	埋土不明。	
1944号Pit跡	X = 36127 Y = -39459	16 × 14cm	41cm	円形	なし	埋土不明。	
1945号Pit跡	X = 36125 Y = -39457	28 × 27cm	20cm	円形	なし	埋土不明。	
1946号Pit跡	X = 36124 Y = -39458	52 × 45cm	29cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1947号Pit跡	X = 36124 Y = -39457	40 × 30cm	50cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1948号Pit跡	X = 36123 Y = -39457	28 × 25cm	20cm	円形	なし	埋土不明。	
1949号Pit跡	X = 36123 Y = -39459	60 × 53cm	16cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1950号Pit跡	X = 36122 Y = -39458	32 × 23cm	23cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1951号Pit跡	X = 36122 Y = -39458	33 × 26cm	25cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1952号Pit跡	X = 36123 Y = -39458	17 × 15cm	23cm	円形	なし	埋土不明。	
1953号Pit跡	X = 36123 Y = -39457	16 × 16cm	8cm	円形	なし	埋土不明。	
1954号Pit跡	X = 36123 Y = -39442	27 × 22cm	14cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1955号Pit跡	X = 36123 Y = -39442	不明 × 30cm	28cm	楕円形か	なし	埋土不明。	南側は調査区域外。
1957号Pit跡	X = 36121 Y = -39457	20 × 19cm	15cm	円形	なし	埋土不明。	
1958号Pit跡	X = 36121 Y = -39457	17 × 16cm	36cm	円形	なし	埋土不明。	
1959号Pit跡	X = 36122 Y = -39456	45 × 27cm	9cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1960号Pit跡	X = 36130 Y = -39438	30 × 26cm	42cm	円形	なし		12号掘立柱建物に伴う柱穴。
1961号Pit跡	X = 36130 Y = -39438	43 × 35cm	21cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	12号掘立柱建物の中にあるが関係は不明。
1962号Pit跡	X = 36130 Y = -39438	43 × 42cm	18cm	円形	なし	埋土不明。	12号掘立柱建物の中にあるが関係は不明。
1963号Pit跡	X = 36129 Y = -39437	45 × 36cm	53cm	円形	なし		12号掘立柱建物に伴う柱穴。
1964号Pit跡	X = 36129 Y = -39434	35 × 33cm	35cm	円形	なし		12号掘立柱建物に伴う柱穴。
1965号Pit跡	X = 36127 Y = -39432	(46) × 43cm	44cm	円形	なし	埋土不明。	北東側は調査区域外。
1966号Pit跡	X = 36128 Y = -39434	27 × 26cm	11cm	円形	なし	埋土不明。	
1967号Pit跡	X = 36128 Y = -39435	32 × 29cm	34cm	円形	なし	埋土不明。	
1968号Pit跡	X = 36128 Y = -39438	33 × 29cm	64cm	円形	なし		12号掘立柱建物に伴う柱穴。
1969号Pit跡	X = 36126 Y = -39437	20 × 17cm	14cm	円形	なし	埋土不明。	
1970号Pit跡	X = 36126 Y = -39438	38 × 36cm	31cm	ほぼ円形	なし		11号掘立柱建物に伴う柱穴。
1971号Pit跡	X = 36125 Y = -39437	20 × 19cm	9cm	円形	なし	埋土不明。	11号掘立柱建物との新旧関係は不明。
1972号Pit跡	X = 36127 Y = -39434	42 × 38cm	32cm	ほぼ円形	なし		11号掘立柱建物に伴う柱穴。
1973号Pit跡	X = 36125 Y = -39433	29 × 25cm	17cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1974号Pit跡	X = 36125 Y = -39434	32 × 30cm	26cm	ほぼ円形	なし		11号掘立柱建物に伴う柱穴。
1975号Pit跡	X = 36126 Y = -39431	28 × 25cm	13cm	円形	なし	埋土不明。	
1976号Pit跡	X = 36126 Y = -39431	87cm × 不明	55cm	不明	なし	埋土不明。	北東側は調査区域外。
1977号Pit跡	X = 36124 Y = -39433	31 × 27cm	27cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1978号Pit跡	X = 36124 Y = -39434	54 × 40cm	43cm	不定形	なし		11号掘立柱建物に伴う柱穴。
1979号Pit跡	X = 36124 Y = -39435	25 × 25cm	13cm	円形	なし	埋土不明。	11号掘立柱建物との新旧関係は不明。
1980号Pit跡	X = 36124 Y = -39436	42 × 35cm	31cm	楕円形	なし		11号掘立柱建物に伴う柱穴。
1981号Pit跡	X = 36124 Y = -39438	32 × 28cm	41cm	楕円形	なし		11号掘立柱建物に伴う柱穴。
1982号Pit跡	X = 36124 Y = -39439	35 × 27cm	12cm	楕円形	なし	埋土不明。	11号掘立柱建物より下面で検出。
1983号Pit跡	X = 36145 Y = -39469	94 × 25cm	15cm	不定形	なし		
1984号Pit跡	X = 36148 Y = -39469	40 × 30cm	10cm	不定形	なし		
1987号Pit跡	X = 36135 Y = -39458	25 × 24cm	10cm	円形	なし	埋土不明。	
1988号Pit跡	X = 36129 Y = -39457	40 × 27cm	19cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1989号Pit跡	X = 36129 Y = -39457	38 × 30cm	22cm	不定形	なし	埋土不明。	
1990号Pit跡	X = 36132 Y = -39455	22 × 21cm	13cm	円形	なし	埋土不明。	
1991号Pit跡	X = 36132 Y = -39455	22 × 20cm	11cm	円形	なし	埋土不明。	
1992号Pit跡	X = 36132 Y = -39454	58 × 50cm	39cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1993号Pit跡	X = 36134 Y = -39454	40 × 24cm	42cm	不定形	なし	埋土不明。	
1994号Pit跡	X = 36134 Y = -39453	(48) × 41cm	14cm	不定形	なし	埋土不明。	
1995号Pit跡	X = 36134 Y = -39453	34 × 26cm	17cm	不定形	なし	埋土不明。	
1996号Pit跡	X = 36134 Y = -39453	36 × 20cm	16cm	不定形	なし	埋土不明。	
1997号Pit跡	X = 36120 Y = -39469	28 × 27cm	13cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
1998号Pit跡	X=36123 Y=-39448	27×27cm	不明	円形	なし	埋土不明。	
1999号Pit跡	X=36125 Y=-39442	45×44cm	15cm	円形	なし	埋土不明。	
2000号Pit跡	X=36130 Y=-39438	(24)×22cm	10cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	12号掘立柱建物の中にあるが関係は不明。
2001号Pit跡	X=36126 Y=-39438	28×28cm	18cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	11号掘立柱建物に伴う柱穴。
2002号Pit跡	X=36076 Y=-39451	21×21cm	26cm	円形	なし	埋土不明。	
2003号Pit跡	X=36113 Y=-39456	40×35cm	9cm	楕円形	なし	微量の白色軽石を含む。	
2004号Pit跡	X=36094 Y=-39405	40×38cm	25cm	円形	なし	埋土不明。	
2005号Pit跡	X=36095 Y=-39413	33×31cm	9cm	円形	なし	埋土不明。	
2006号Pit跡	X=36095 Y=-39416	31×27cm	21cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
2007号Pit跡	X=36094 Y=-39420	25×23cm	6cm	円形	なし	埋土不明。	
2008号Pit跡	X=36093 Y=-39417	25×21cm	19cm	円形	なし	埋土不明。	
2009号Pit跡	X=36094 Y=-39426	54×28cm	14cm	不定形	なし	埋土不明。	
2010号Pit跡	X=36094 Y=-39436	31×25cm	23cm	不定形	なし	埋土不明。	
2011号Pit跡	X=36094 Y=-39444	45×38cm	19cm	楕円形	なし	埋土不明。	
2012号Pit跡	X=36095 Y=-39447	58×27cm	28cm	不定形	なし	埋土不明。	もう1基のPitと重複か。
2013号Pit跡	X=36091 Y=-39442	30×27cm	17cm	楕円形	なし	埋土不明。	
2014号Pit跡	X=36095 Y=-39451	27×23cm	16cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
2015号Pit跡	X=36094 Y=-39451	36×35cm	21cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
2016号Pit跡	X=36095 Y=-39451	56×38cm	25cm	楕円形	なし	埋土不明。	
2017号Pit跡	X=36095 Y=-39452	35×31cm	25cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
2018号Pit跡	X=36095 Y=-39452	22×18cm	26cm	円形	なし	埋土不明。	
2019号Pit跡	X=36095 Y=-39452	50×38cm	33cm	楕円形	なし	埋土不明。	
2020号Pit跡	X=36095 Y=-39454	28×21cm	25cm	不定形	なし	埋土不明。	
2021号Pit跡	X=36095 Y=-39456	45×43cm	22cm	円形	なし	埋土不明。	
2022号Pit跡	X=36095 Y=-39462	36×30cm	15cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
2023号Pit跡	X=36095 Y=-39465	42×36cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明。	
2024号Pit跡	X=36096 Y=-39459	33×32cm	25cm	円形	なし	埋土不明。	7号掘立柱建物のPitL。
2025号Pit跡	X=36119 Y=-39449	不明×22cm	24cm	不明	なし	埋土不明。	北側が調査区域外。
2026号Pit跡	X=36101 Y=-39448	37×32cm	21cm	楕円形	なし	埋土不明。	
2027号Pit跡	X=36085 Y=-39446	57×55cm	26cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	947号土抗より新しい。
2028号Pit跡	X=36086 Y=-39445	(26)×22cm	21cm	楕円形	なし	埋土不明。	1168号Pitより古い。
2029号Pit跡	X=36081 Y=-39430	46×23cm	24cm	不定形	なし	埋土不明。	もう1基のPitと重複か。
2030号Pit跡	X=36083 Y=-39431	50×(40)cm	52cm	楕円形	なし	埋土不明。	
2032号Pit跡	X=36083 Y=-39413	25×23cm	31cm	円形	なし		
2033号Pit跡	X=36101 Y=-39448	42×(32)cm	20cm	楕円形か	なし		5号住居よりも15cmほど下面で検出。
2034号Pit跡	X=36084 Y=-39446	(30)×(24)cm	13cm	楕円形か	なし		
2035号Pit跡	X=36099 Y=-39439	(26)×21cm	11cm	円形	なし	埋土不明。	
2036号Pit跡	X=36108 Y=-39431	52×50cm	13cm	不定形	なし	埋土不明。	
2037号Pit跡	X=36080 Y=-39429	(34)×26cm	13cm	楕円形	なし	埋土不明。	
2038号Pit跡	X=36085 Y=-39429	33×25cm	24cm	楕円形	なし	埋土不明。	
2039号Pit跡	X=36103 Y=-39415	(25)×23cm	13cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
2040号Pit跡	X=36135 Y=-39478	27×22cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明。	
2041号Pit跡	X=36102 Y=-39453	33×32cm	19cm	円形	なし	埋土不明。	
2041号Pit跡	X=36102 Y=-39453	33×32cm	19cm	円形	なし	埋土不明。	
2042号Pit跡	X=36069 Y=-39434	28×27cm	26cm	円形	なし	埋土不明。	3号掘立柱建物より15cmほど下面で検出。
2043号Pit跡	X=36083 Y=-39444	41×30cm	23cm	楕円形	なし	埋土不明。	
2044号Pit跡	X=36069 Y=-39434	55×33cm	17cm	不定形	なし	埋土不明。	3号掘立柱建物より15cmほど下面で検出。
2045号Pit跡	X=36070 Y=-39435	30×17cm	7cm	不定形	なし	埋土不明。	3号掘立柱建物より15cmほど下面で検出。
2046号Pit跡	X=36070 Y=-39435	46×25cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明。	3号掘立柱建物より15cmほど下面で検出。
2047号Pit跡	X=36070 Y=-39436	65×64cm	9cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	3号掘立柱建物より15cmほど下面で検出。
2048号Pit跡	X=36071 Y=-39436	27×23cm	10cm	楕円形	なし	埋土不明。	3号掘立柱建物より15cmほど下面で検出。
2049号Pit跡	X=36075 Y=-39436	51×45cm	24cm	円形	なし	埋土不明。	
2050号Pit跡	X=36076 Y=-39435	66×47cm	30cm	不定形	なし	埋土不明。	
2051号Pit跡	X=36074 Y=-39435	77×53cm	49cm	楕円形	なし	埋土不明。	
2052号Pit跡	X=36072 Y=-39434	36×33cm	36cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
2053号Pit跡	X=36071 Y=-39433	37×30cm	23cm	楕円形	なし	埋土不明。	
2054号Pit跡	X=36071 Y=-39433	36×34cm	21cm	円形	なし	埋土不明。	
2055号Pit跡	X=36069 Y=-39433	43×26cm	19cm	不定形	なし	埋土不明。	
2056号Pit跡	X=36068 Y=-39432	31×24cm	32cm	楕円形	なし	埋土不明。	
2057号Pit跡	X=36070 Y=-39430	47×40cm	34cm	楕円形	なし	埋土不明。	
2058号Pit跡	X=36070 Y=-39431	48×25cm	16cm	不定形	なし	埋土不明。	
2059号Pit跡	X=36073 Y=-39431	47×39cm	25cm	楕円形	なし	埋土不明。	
2060号Pit跡	X=36075 Y=-39432	32×31cm	18cm	円形	なし	埋土不明。	

第3章 検出遺構と出土遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
2061号Pit跡	X = 36077 Y = -39434	28 × 25cm	14cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
2062号Pit跡	X = 36077 Y = -39433	35 × 30cm	22cm	円形	なし	埋土不明。	
2063号Pit跡	X = 36076 Y = -39442	30 × 24cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明。	
2064号Pit跡	X = 36076 Y = -39443	21 × 21cm	18cm	円形	なし	埋土不明。	
2065号Pit跡	X = 36075 Y = -39446	27 × 25cm	32cm	円形	なし	埋土不明。	
2066号Pit跡	X = 36074 Y = -39447	25 × 25cm	14cm	円形	なし	埋土不明。	
2067号Pit跡	X = 36074 Y = -39448	18 × 18cm	13cm	円形	なし	埋土不明。	
2068号Pit跡	X = 36074 Y = -39447	58 × 53cm	32cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
2069号Pit跡	X = 36080 Y = -39448	23 × 23cm	15cm	円形	なし	埋土不明。	
2070号Pit跡	X = 36080 Y = -39449	52 × 40cm	40cm	楕円形	なし	埋土不明。	
2071号Pit跡	X = 36079 Y = -39451	48 × 40cm	12cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
2072号Pit跡	X = 36078 Y = -39452	54 × 44cm	7cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
2073号Pit跡	X = 36078 Y = -39452	24 × 20cm	21cm	円形	なし	埋土不明。	
2074号Pit跡	X = 36077 Y = -39454	62 × 49cm	25cm	不定形	なし	埋土不明。	
2075号Pit跡	X = 36078 Y = -39458	40 × 35cm	13cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
2076号Pit跡	X = 36077 Y = -39457	42 × 42cm	25cm	円形	なし	埋土不明。	
2077号Pit跡	X = 36076 Y = -39456	48 × 35cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明。	
2078号Pit跡	X = 36076 Y = -39456	60 × 38cm	37cm	楕円形	なし	埋土不明。	
2079号Pit跡	X = 36075 Y = -39455	40 × 40cm	25cm	円形	なし	埋土不明。	
2080号Pit跡	X = 36074 Y = -39456	40 × 27cm	26cm	楕円形	なし	埋土不明。	
2081号Pit跡	X = 36074 Y = -39455	32 × 27cm	18cm	楕円形	なし	埋土不明。	
2082号Pit跡	X = 36073 Y = -39459	25 × 22cm	16cm	円形	なし	埋土不明。	8・9号溝より新しい。
2083号Pit跡	X = 36072 Y = -39459	44 × 39cm	13cm	円形	なし	埋土不明。	8・9号溝より新しい。
2084号Pit跡	X = 36065 Y = -39462	29 × 28cm	10cm	円形	なし	埋土不明。	
2085号Pit跡	X = 36067 Y = -39455	47 × 20cm	24cm	楕円形	なし	埋土不明。	8・9号溝より新しい。
2086号Pit跡	X = 36072 Y = -39454	24 × 23cm	17cm	円形	なし	埋土不明。	
2087号Pit跡	X = 36072 Y = -39454	57 × 50cm	24cm	楕円形	なし	埋土不明。	
2088号Pit跡	X = 36073 Y = -39452	34 × 28cm	21cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
2089号Pit跡	X = 36071 Y = -39454	30 × 25cm	27cm	円形	なし	埋土不明。	8・9号溝より新しい。
2090号Pit跡	X = 36071 Y = -39454	29 × 27cm	16cm	円形	なし	埋土不明。	
2091号Pit跡	X = 36070 Y = -39454	37 × 32cm	22cm	円形	なし	埋土不明。	8・9号溝より新しい。
2092号Pit跡	X = 36069 Y = -39452	26 × 25cm	20cm	円形	なし	埋土不明。	
2093号Pit跡	X = 36067 Y = -39452	28 × 27cm	21cm	円形	なし	埋土不明。	
2094号Pit跡	X = 36067 Y = -39451	31 × 25cm	15cm	楕円形	なし	埋土不明。	
2095号Pit跡	X = 36067 Y = -39451	24 × 20cm	21cm	円形	なし	埋土不明。	
2096号Pit跡	X = 36066 Y = -39450	31 × 30cm	16cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
2097号Pit跡	X = 36069 Y = -39448	47 × 37cm	24cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
2098号Pit跡	X = 36073 Y = -39445	81 × 80cm	58cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
2099号Pit跡	X = 36073 Y = -39444	31 × 30cm	29cm	円形	なし	埋土不明。	
2100号Pit跡	X = 36072 Y = -39444	20 × 19cm	17cm	円形	なし	埋土不明。	
2101号Pit跡	X = 36071 Y = -39444	31 × 25cm	37cm	楕円形	なし	埋土不明。	
2102号Pit跡	X = 36073 Y = -39440	65 × 45cm	27cm	不定形	なし	埋土不明。	
2103号Pit跡	X = 36072 Y = -39440	44 × 40cm	56cm	円形	なし	埋土不明。	
2104号Pit跡	X = 36072 Y = -39439	54 × 49cm	53cm	楕円形	なし	埋土不明。	
2105号Pit跡	X = 36071 Y = -39441	35 × 35cm	68cm	円形	なし	埋土不明。	
2106号Pit跡	X = 36070 Y = -39440	38 × 36cm	17cm	不定形	なし	埋土不明。	
2107号Pit跡	X = 36070 Y = -39439	37 × 35cm	41cm	円形	なし	埋土不明。	
2108号Pit跡	X = 36068 Y = -39440	37 × 36cm	24cm	円形	なし	埋土不明。	
2109号Pit跡	X = 36068 Y = -39438	40 × 34cm	26cm	楕円形	なし	埋土不明。	
2110号Pit跡	X = 36068 Y = -39438	31 × 26cm	22cm	不定形	なし	埋土不明。	
2111号Pit跡	X = 36067 Y = -39434	28 × 19cm	17cm	不定形	なし	埋土不明。	
2112号Pit跡	X = 36068 Y = -39435	48 × 19cm	23cm	不定形	なし	埋土不明。	3号掘立柱建物との関係は不明。
2113号～5000号Pitは欠番							
5001号Pit跡	X = 36080 Y = -39399	26 × 23cm	30cm	円形	なし		
5002号Pit跡	X = 36079 Y = -39395	31 × 25cm	14cm	楕円形	なし		
5003号Pit跡	X = 36079 Y = -39396	34 × 28cm	28cm	不定形	なし		
5004号Pit跡	X = 36081 Y = -39394	30 × 23cm	13cm	楕円形	なし		
5005号Pit跡	X = 36081 Y = -39395	30 × 25cm	33cm	不定形	なし		
5006号Pit跡	X = 36080 Y = -39398	不明 × 40cm	44cm	円形か	なし		

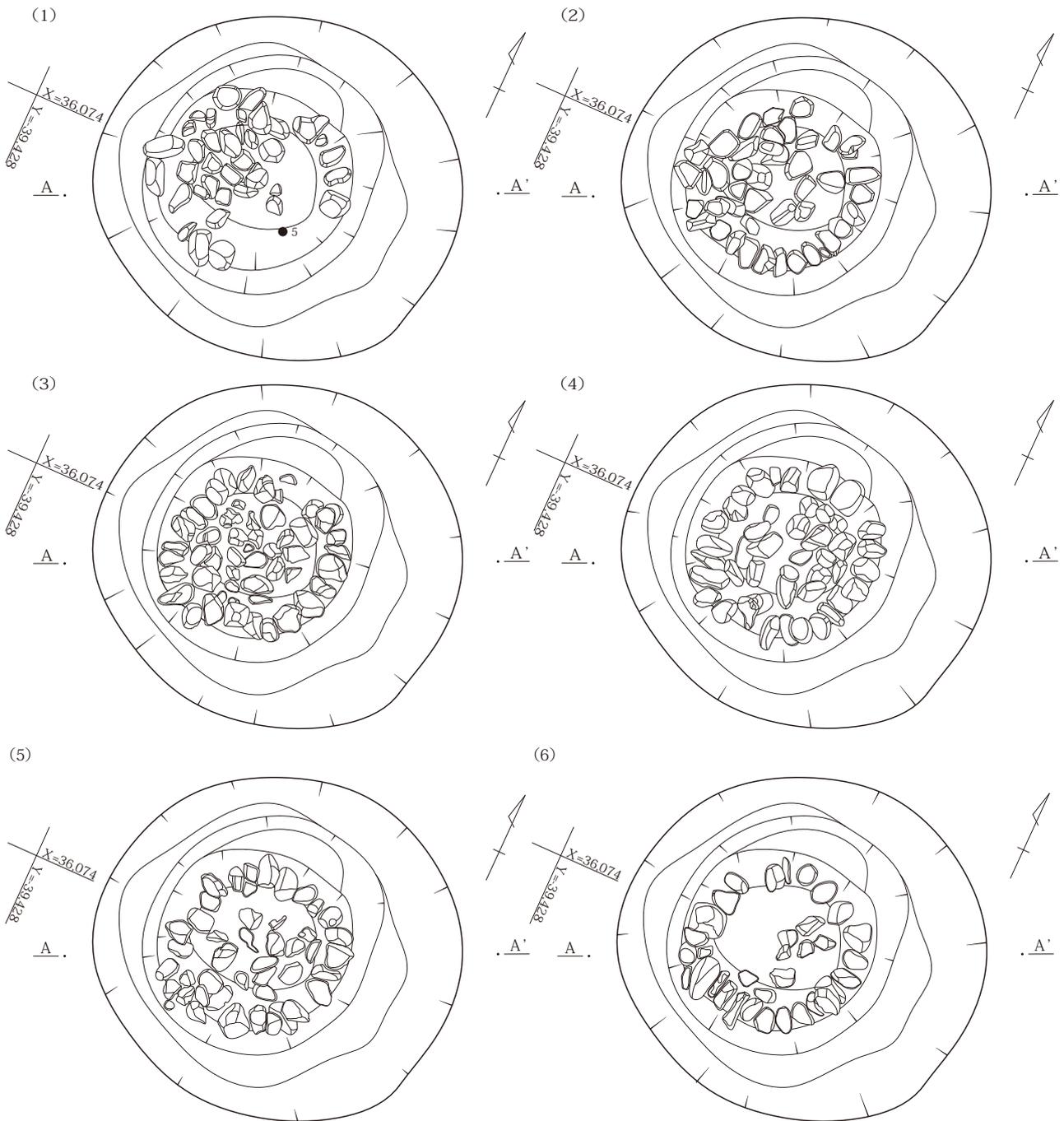
5 井戸跡

8区1号井戸(旧称=8区SE-1)

位置：X=36074 Y=-39426 規模：235×220cm 深度：183cm 面積：4.06㎡ 形状：楕円形(石組み部は円形)

重複遺構：なし。 出土遺物：埋土中より暗文土師器杯や土師器鉢、須恵器杯、転用硯などが出土。

所見：径20～25cmほどの自然石を用いて円形に石組みされた井戸跡である。地表下2mほどと比較的浅い掘削深度に湧水層となる砂礫層が存在する。井戸の周囲には上屋を支える柱穴は検出されず、後記の91号土坑跡の存在から、汲上げ方法として「撥ね釣瓶」と考えられるため、本井戸には上屋は存在しなかったものと思われる。

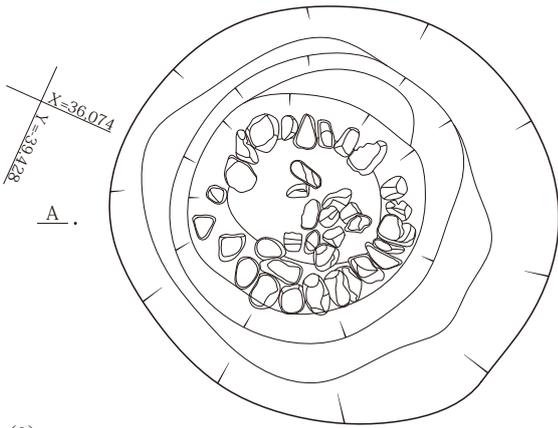


第545図 8区1号井戸跡平面図(1)

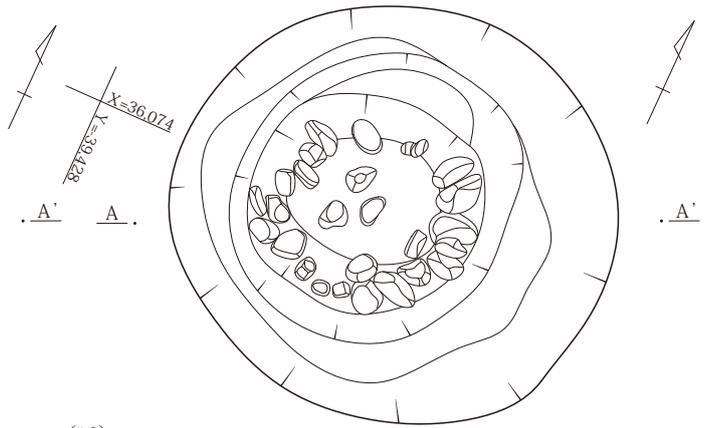
0 1:40 1m

第3章 検出遺構と出土遺物

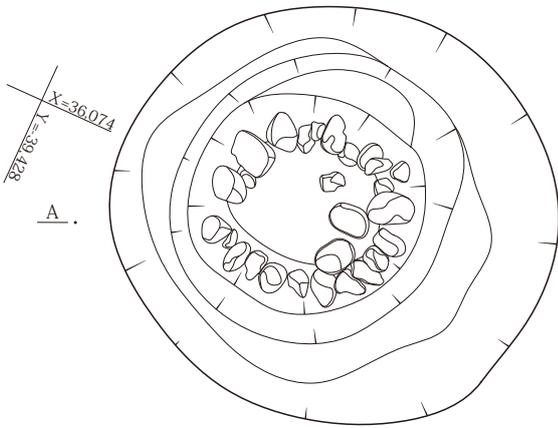
(7)



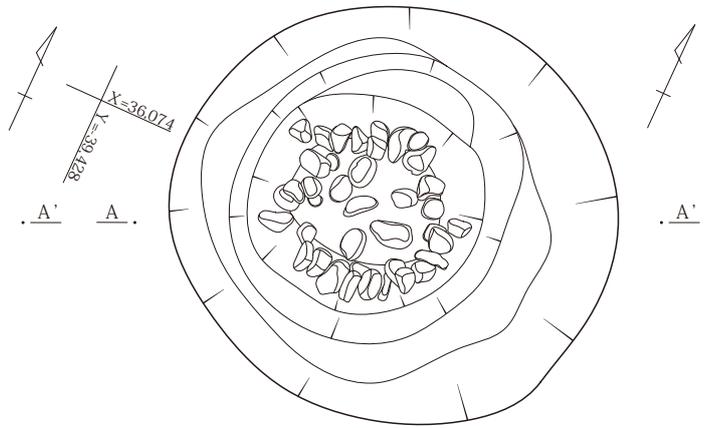
(8)



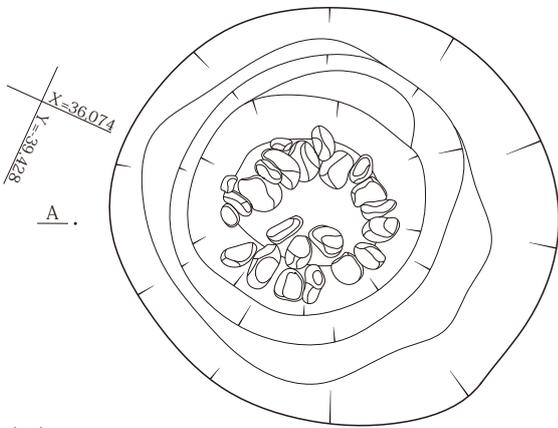
(9)



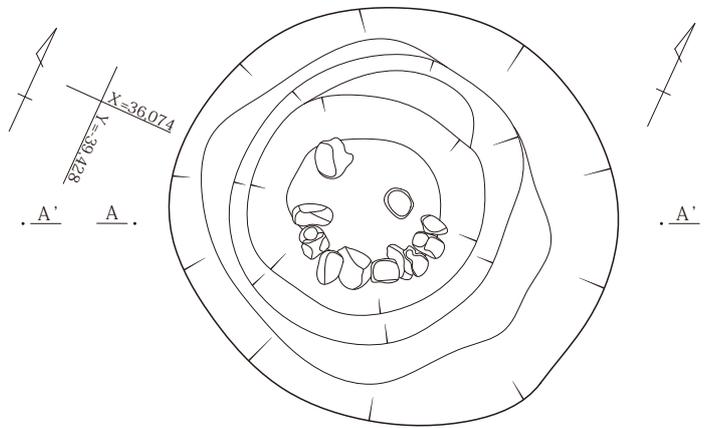
(10)



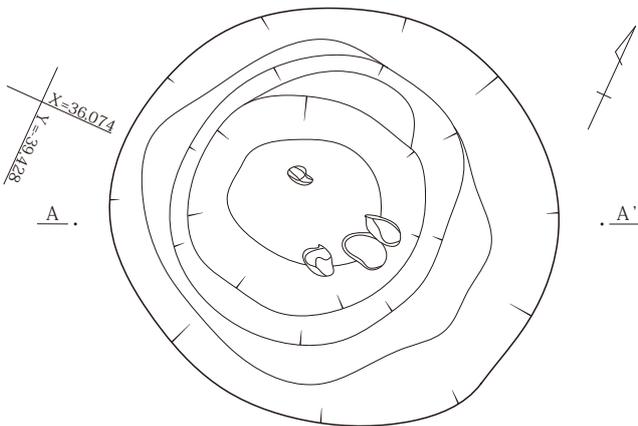
(12)



(13)



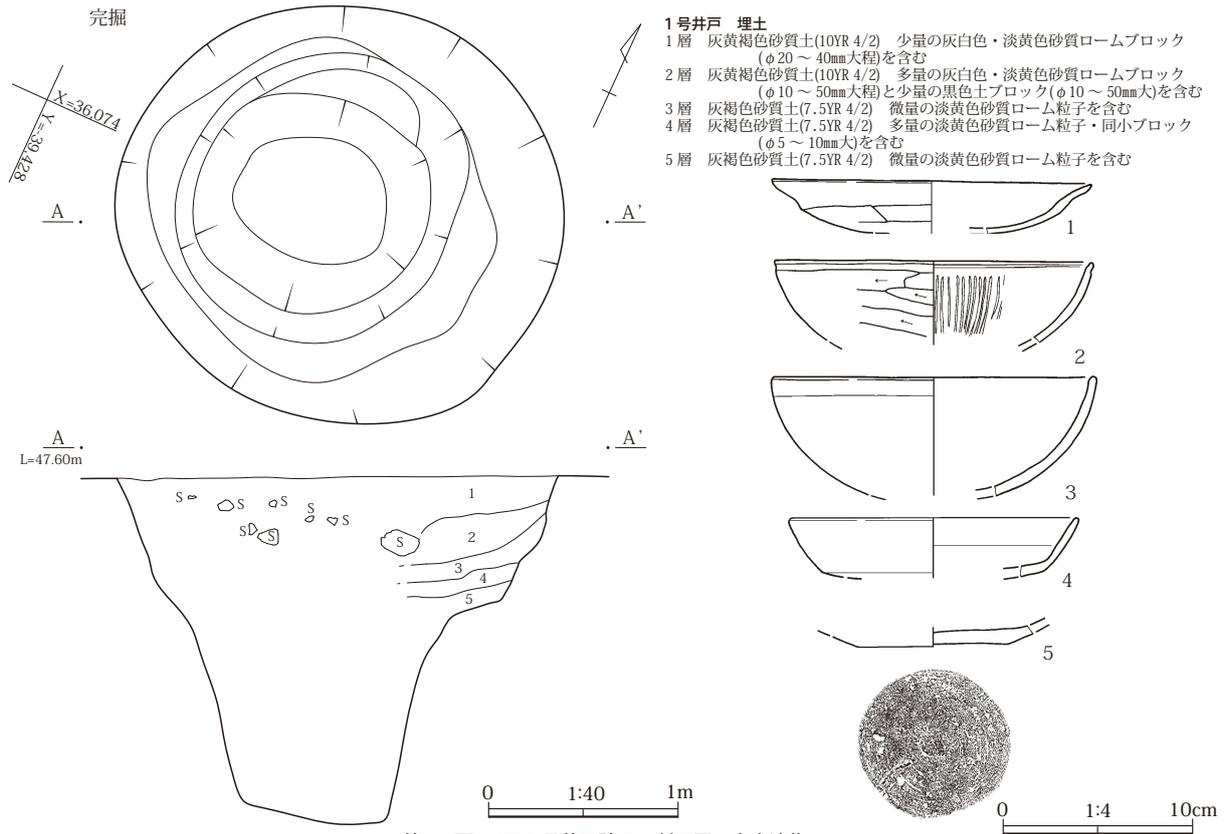
(14)



0 1:40 1m

第546図 8区1号井戸跡平面図(2)

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物



第547図 8区1号井戸跡平・断面図、出土遺物

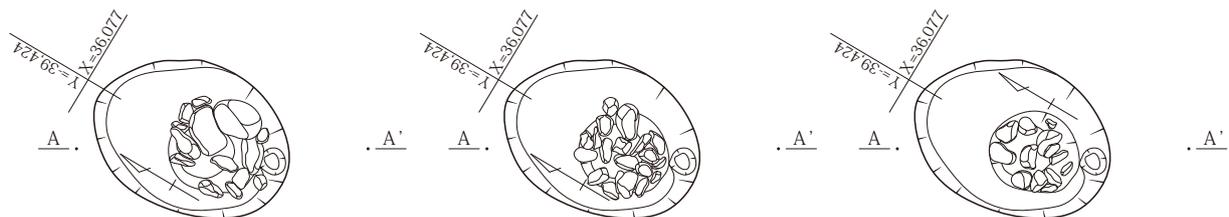
8区1号井戸跡遺構出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	埋土中 口縁部～底部 1/4	口径 16.7 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 橙 (7.5 YR 6/6)	口縁部外反。 外面：口縁部横ナデ、体部～底部ヘラ削り。 内面：口縁部～体部横ナデ。底部ナデ。	
2	土師器 杯	埋土中 口縁部～体部 破片	口径 16.4 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 橙 (5 YR 6/6)	外面：口縁部横ナデ、体部はヘラ削り。 内面：口縁部～体部横ナデ後、斜放射状暗文。	内外面口唇端部に凹線が巡る。
3	土師器 椀	埋土中 口縁部～体部 1/3	口径 16.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 明赤褐(5 YR 5/6)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ、体部ナデ、底部ヘラ削り。器面摩滅のため単位不明。 内面：口縁部～体部横ナデ。底部ナデ。	
4	須恵器 杯	埋土中 口縁部～底部 破片	口径 15.0 底径 11.5 器高 3.1	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 黄灰 (2.5 Y 5/1)	ロクロ整形。 外面：体部回転ナデ。底部ヘラ調整。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
5	須恵器 転用硯	底面+177cm 底部 底部完形	口径 — 底径 7.8 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 ③ 褐灰(10 YR 4/1)	ロクロ整形。回転右回り。内外面共に硯使用によって擦れている。 外面：底部回転ヘラ削り。 内面：底部回転ナデ。	杯の底部を転用。

8区91号土坑跡(旧称=8区SK-79・91)

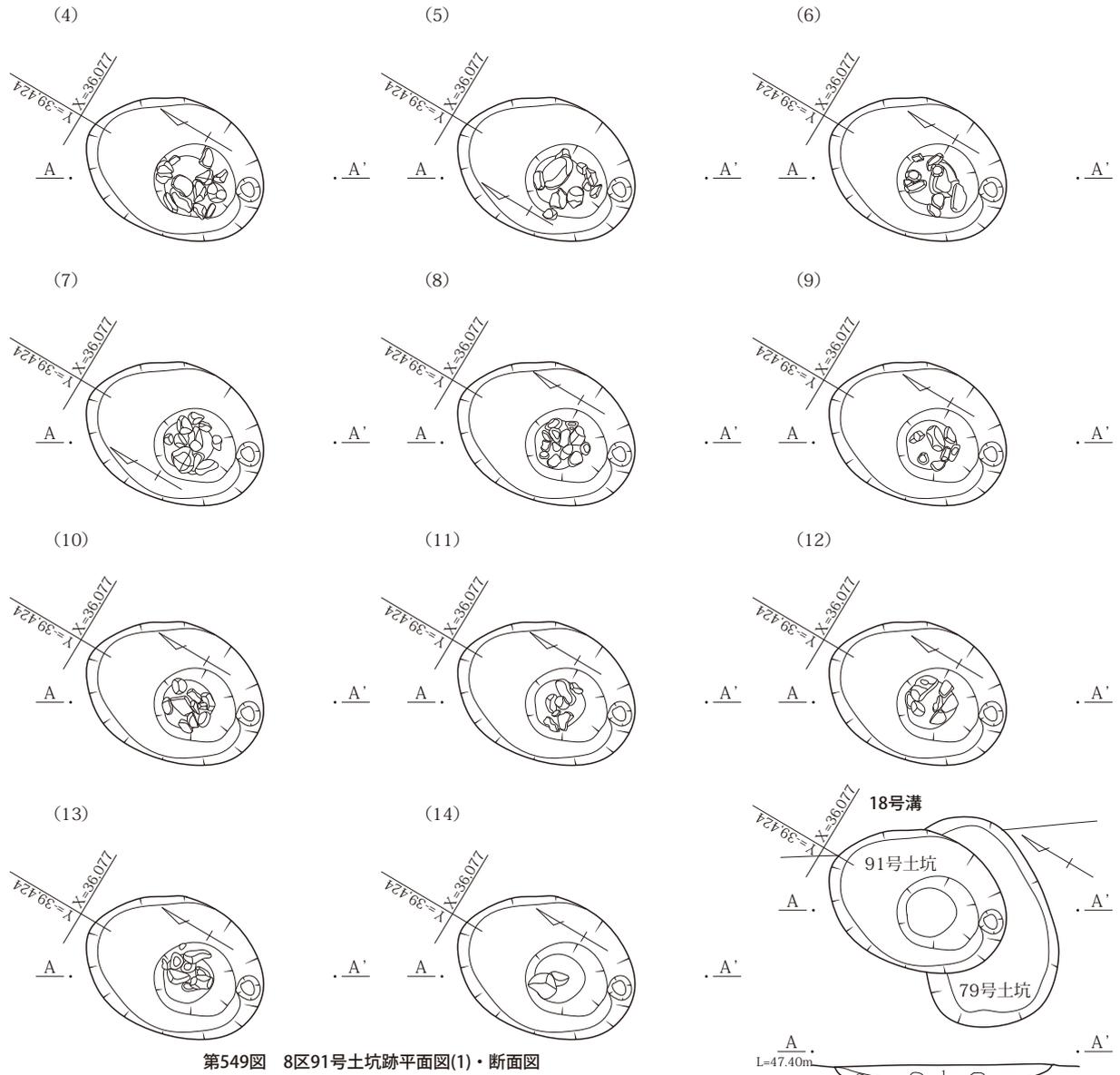
位置：X=36,076 Y=-39,424 規模：125×80cm 深度：110cm 形状：円形 重複遺構：なし。

出土遺物：なし。 所見：1号井戸跡の北東3.3mに位置し、井戸枠の石組み同様に小円礫を積み地業とする。その構造と位置的な関係から1号井戸跡に付随する「撥ね釣瓶」の支柱跡と考えられる。なお、調査時に本土坑跡の重複遺構として考えられた79号土坑は、本土坑跡の上層部であるとの判断から、整理時に欠番扱いとした。

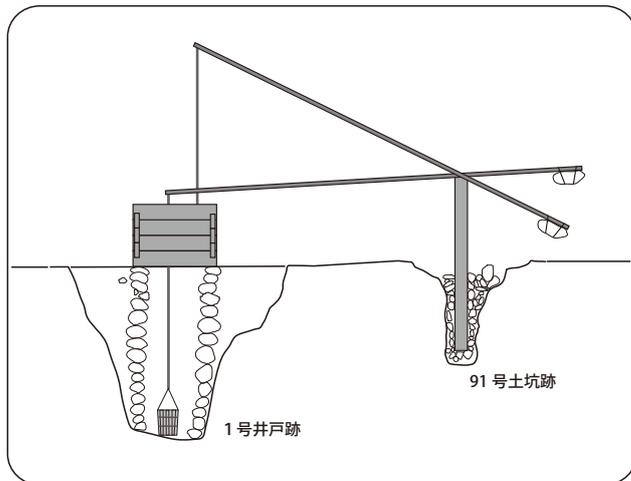


第548図 8区91号土坑跡平面図(1)

第3章 検出遺構と出土遺物



第549図 8区91号土坑跡平面図(1)・断面図



撥ね釣瓶井戸想像図 S=1/80

第550図 8区撥ね釣瓶井戸想像図

91号土坑 埋土  
 1層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 褐灰色の粒子を含む  
 φ1mm程度のにぶい黄褐色のブロックを少量含む  
 2層 黒褐色土(10YR 3/2) 黄褐色の粒子を含む  
 3層 にぶい黄褐色土(10YR 6/4) 黒褐色の粒子を含む



6、その他の遺構

8区2号不明遺構

位置：X=36080 Y=-39475

規模：不明。(西側は調査区域外)

深度：80cmほど。 平面形状：不定形

埋没土：不明 重複遺構：2号住居跡と重複し、遺構確認時の埋土の様相より、本遺構の方が古いものと判断される。

出土遺物：埋土中から、底部にヘラ記号のある須恵器杯破片が出土。

所見：調査区南西端に位置する。形状は折り重なる土坑状の掘り込みの集合体で、地山黄褐色シルト質土の採掘坑の可能性も考えられる。



第551図 2号不明遺構平面図、出土遺物

第3章 検出遺構と出土遺物

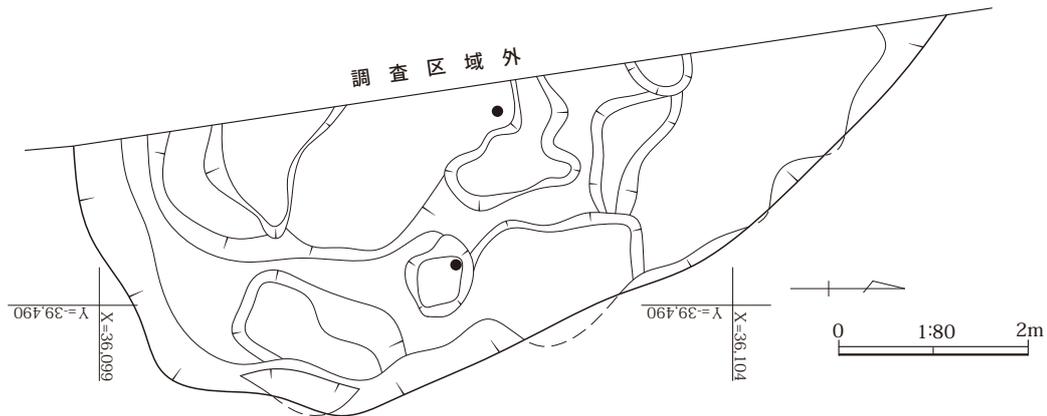
8区2号不明遺構出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	埋土中 体部～底部 1/3	口径 — 底径 6.7 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰 (10Y6/1)	ロクロ整形。回転左回り。 外面：体部回転ナデ。底部回転糸切り後周辺部から体部下 位にかけて回転ヘラ削り。 内面：体部～底部回転ナデ調整。	底部外面にヘラ 記号「一」
2	須恵器 杯	埋土中 底部 1/2	口径 — 底径 9.4 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰 (5Y4/1)	ロクロ整形。 外面：底部回転糸切り後周辺部を回転ヘラ削り。 内面：底部回転ナデ調整。	

8区3号不明遺構

位置：X=36102 Y=-39481 規模：不明。 深度：70cmほど。 平面形状：不明。(西側は調査区域外)

埋没土：不明 重複遺構：なし 出土遺物：土師器甕・須恵器甕破片が出土。 所見 調査区西端に位置する。2号不明遺構同様に、形状は折り重なる土坑状の堀り込みの集合体で、地山黄褐色シルト質土の採掘坑の可能性も考えられる。



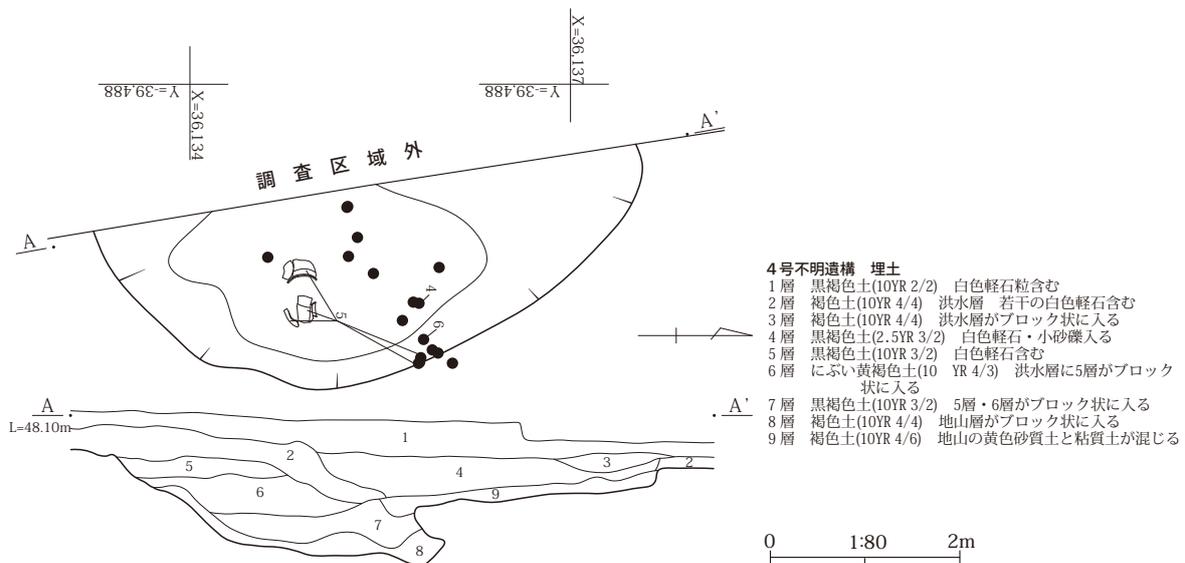
第552図 8区3号不明遺構平面図

8区4号不明遺構

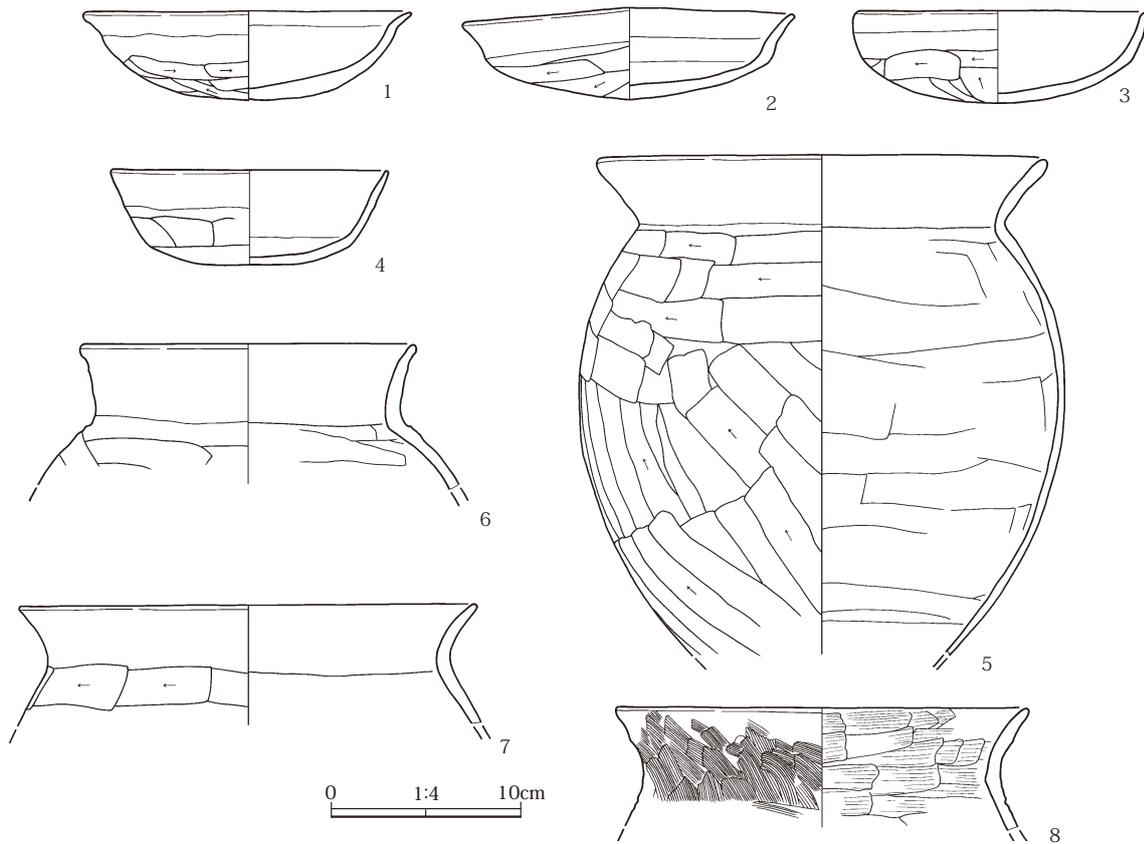
位置：X=36135 Y=-39486 規模：不明。(西側は調査区域外) 深度：80cmほど。 平面形状：不明

埋没土：上位は白色軽石を含んだ黒褐色土、中位は溝跡洪水氾濫土、下位はロームブロックを含む土が堆積する。

重複遺構：9号溝跡と重複し、埋土中に溝跡洪水氾濫土の堆積が見られることから、溝跡氾濫時には使用目的を終え、中位まで埋没していたものと考えられる。 出土遺物：埋土中からほぼ完形の土師器杯が2个体出土した他、土師器杯・甕の破片が出土している。 所見：調査区西端に位置する。2・3号不明遺構同様に、地山黄褐色シルト質土の採掘坑の可能性も考えられる。



第553図 8区4号不明遺構平・断面図



第554図 8区4号不明遺構出土遺物

8区4号不明遺構出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	埋土中 ほぼ完形	口径 16.8 底径 — 器高 4.6	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい橙 (7.5 YR 6/4)	口縁部外反。 外面：口縁部横ナデ、底部手持ちヘラ削り。 内面：口縁部～体部横ナデ。底部ナデ。	
2	土師器 杯	埋土中 口縁部～底部 4/5	口径 17.1 底径 — 器高 4.7	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 橙 (5 YR 7/6)	口縁部外反。 外面：口縁部横ナデ、稜ナデ、底部手持ちヘラ削り。 内面：口縁部～体部横ナデ。底部ナデ。	稜線あり。
3	土師器 杯	埋土中 ほぼ完形	口径 14.9 底径 — 器高 4.8	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 橙 (7.5 YR 7/6)	外面：口縁部横ナデ、体部ナデ～底部手持ちヘラ削り。 内面：口縁部～底部横ナデ。	
4	土師器 杯	底面+38cm 口縁部～底部 1/4	口径 14.4 底径 — 器高 5.0	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 橙 (7.5 YR 7/6)	外面：口縁部横ナデ、体部～底部ヘラ削り。体部上位わずかにナデ部分が残る。 内面：口縁部横ナデ。体部～底部ナデ。	
5	土師器 甕	底面+27cm 口縁部～胴部 3/4	口径 23.6 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 橙 (5 YR 6/6)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ。胴部上位横、中位・下位斜め方向ヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。	
6	土師器 甕	底面+19cm 口縁部～胴部 破片	口径 17.4 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 明赤褐(5 YR 5/6)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ。胴部横方向ヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。	
7	土師器 甕	埋土中 口縁部～胴部 破片	口径 23.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 橙 (5 YR 6/6)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ。胴部上位は横方向ヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。	
8	土師器 甕	埋土中 口縁部～胴部 破片	口径 21.4 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 灰 (5 Y 4/1)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ後ハケ目調整。胴部ヘラ削り後ハケ目調整。 内面：口縁部横ナデ後、ハケ目調整。胴部ハケ目調整。	

第3章 検出遺構と出土遺物

第6項 溝跡

竪穴住居跡等の遺構は便宜的に調査区毎の記載としたが、溝跡は調査区を越えて続くものが多いため、本稿で遺跡全体の溝跡を扱うものとした。

調査区を越える溝として8・9号の二条の溝跡があげられる。両溝跡は、北は3区より1・2・4・6・7区を経て南は8区南端へと、延長420mほどを測り遺跡内を大きく縦断する形で検出された。この二条の溝跡の時期として、全ての調査区において、重複する竪穴住居跡が一軒も無いことから集落に先行し、かつ、埋土上位層に浅間B軽石層の堆積が認められることから、テフラ降下時には埋没・廃絶状態にあったものと判断される。

両溝跡の埋土は、砂と礫・水性堆積ローム土が主体であり、また、3区～2区にかけて8号溝跡の大規模な氾濫・決壊跡が検出されたことから、両溝跡は大河川（渡良瀬川）に直結した古代用水路跡と判断された。二条の溝跡は重複部の観察から、同時に存在したものではなく、9号溝跡が河川氾濫の影響を受けて埋没後、復旧困難であった為か、隣接して同規模の8号溝跡を新設していることが判明した。その規模や大規模工事を要してまでも復旧を実施した重要性から、遺跡地南の水田域に水を供給するための基幹用水路と推察され、この基幹用水路から取水・分水したと考えられる溝跡もいくつか検出されている。なお、両溝跡の延長が、北は1・2区に接する築前遺跡4区にて、また、南は8区南東100m程にある東今泉鹿島遺跡2・3・18区で遺跡を越えて検出されている。

1・2区中央付近を南北に貫き4区に連なる16号溝跡は、重複する全ての住居跡より古いもので、集落形成に先行する遺構と判断される。

6区・7区の調査区を東西に貫通し検出された平行する二条の溝跡は、東山道駅路の側溝跡と考えられ、西側は大道東・大道西・ハケ入遺跡へと、約1kmにおよび直線で結ばれていることが判明した。

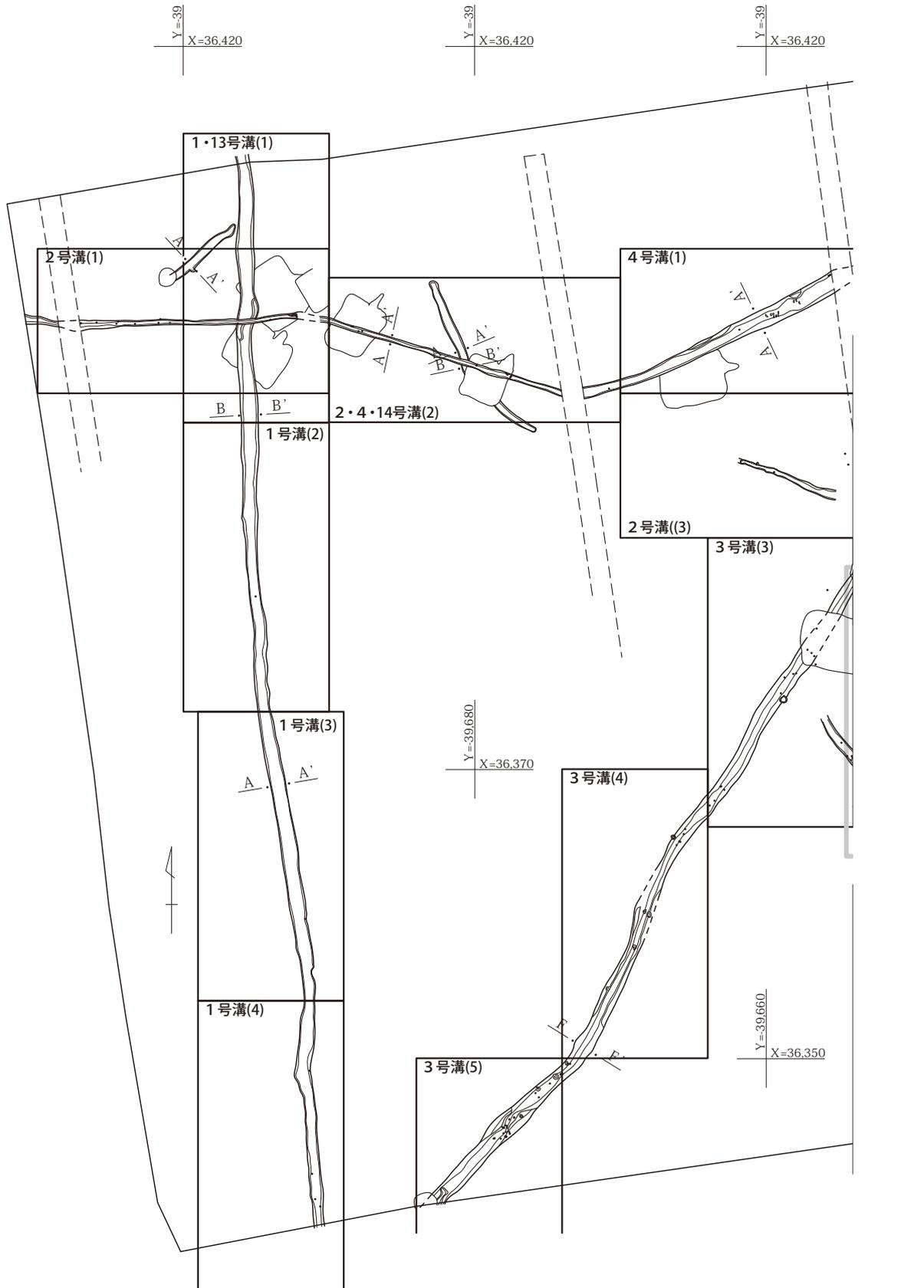
溝跡一覧表

遺構名	走向	延長	標高(高)	標高(低)	上巾	深度	用途	断面形状	重複遺構	備考
1・2区 1号溝跡	北→南	74m	49.17m	49.09m	110cm	39cm	用水路	皿状	〔新〕1・2区2溝〔旧〕2・14住	北端は隣接する築前遺跡4区7号溝跡に接続。
1・2区 2号溝跡	西→東	45m	49.36m	48.87m	40cm	30cm	用水路	U字状	〔旧〕2・4・6・14住、1・14溝	他の検出溝と走向が異なる。
1・2区 3号溝跡	北→南西	90m	48.75m	48.64m	200cm	67cm	用水路	U字状	〔新〕21住、13・42土〔旧〕15溝	北端は築前遺跡に接続。
1・2区 4号溝跡	西→北東	26m	49.36m	48.87m	130m	43cm	用水路	皿状	〔新〕10住〔旧〕2畠	
1・2区 5号溝跡	北→南	31.2m	49.09m	48.93m	80cm	13cm	用水路	皿状	〔旧〕10溝	1・2区5号溝⇔4区19号溝
4区 19号溝跡	北→南	4m	48.45m	48.43m	120cm	25cm	用水路	皿状	〔旧〕17住	
1・2区 7号溝跡	北→南	38m	49.17m	49.01m	90cm	14cm	用水路	皿状	〔新〕6溝〔旧〕34住、10溝	
1・2区 6号溝跡	西→南	8.5m	49.03m	48.93m	100cm	8cm	用水路	皿状	〔旧〕5・7溝	1・2区6号溝⇔4区20号溝に続く可能性あり。
4区 20号溝跡	北→南	6.2m	48.61m	48.53m	50cm	10cm	用水路	U字状		
1・2区 8号溝跡	北→南	65m	47.50m	47.48m	310cm	115cm	用水路	皿状	〔新〕6溝〔旧〕34住、10溝	1区～8区まで延びる。
4区 8号溝跡	北→南	75m	47.30m	46.76m	910cm	170cm	用水路	皿状	1溝と重複	
6区 8号溝跡	北→南	12.1m	46.91m	46.51m	500cm	207cm	用水路	皿状	〔新〕氾濫跡	
7区 8号溝跡	北→南	12.2m	48.19m	47.96m	—	—	用水路	—		
8区 8号溝跡	北→南	134m	46.71m	46.39m	480cm	128cm	用水路	皿状		
1・2区 9号溝跡	北→南	99m	48.01m	47.15m	290cm	118cm	用水路	皿状	〔旧〕16溝	北端は隣接する築前遺跡4区1号溝跡に接続。4区～8区へ延びている。
4区 9号溝跡	北→南	76m	47.35m	46.98m	510cm	173cm	用水路	皿状	1溝と重複	
6区 9号溝跡	北→南	76.50m	46.84m	46.84m	445cm	171cm	用水路	皿状	〔新〕氾濫跡	
8区 9号溝跡	北→南	112m	46.68m	46.44m	320cm	130cm	用水路	皿状	1・3・4・7・9・10・12溝と重複	
1・2区 10号溝跡	北→南	80m	48.68m	48.70m	90cm	14cm	不明	皿状	〔新〕11溝〔旧〕5・7・12溝、20土、1掘立、1井	北端は隣接する築前遺跡4区8号溝跡に接続。ほぼ傾斜なし。
4区 21号溝跡	北→南	6m	48.75m	48.64m	100cm	20cm	用水路	皿状		
1・2区 12号溝跡	北→南	80m	48.79m	48.32m	140cm	32cm	区画溝	皿状	〔旧〕10溝	北端は隣接する築前遺跡4区10号溝跡に接続。4区10号溝と接続。
4区 10号溝跡	東→西→北	52m	48.38m	48.29m	170cm	26cm	区画溝	皿状	〔新〕152土、2集石〔旧〕4・6・11・13・24溝	
1・2区 11号溝跡	北→南	6.3m	48.77m	48.72m	60cm	18cm	不明	皿状	〔新〕6・10溝	
1・2区 13号溝跡	北東→南西	5.5m	49.09m	49.08m	65cm	23cm	不明	箱状	〔新〕ビット〔旧〕8土	
1・2区 14号溝跡	北→南東	13m	49.17m	49.15m	70cm	6cm	不明	皿状	〔新〕6住、2溝	
1・2区 15号溝跡	北→南	5.2m	48.86m	48.76m	50cm	12cm	用水路	皿状		北端は隣接する築前遺跡4区12号溝と接続。
1・2区 16号溝跡	北東→南西	72m	47.99m	47.55m	250cm	69cm	用水路	皿状	〔新〕17住	4区4・6・11号溝と接続。 溝底の比高差はほとんどなく緩やかな傾斜で一部逆転する所もある。
4区 4号溝跡	北←南	66m	47.46m	47.97m	295cm	38cm	用水路	皿状		溝底の比高差はほとんどなく緩やかな傾斜で一部逆転する所もある。
4区 6号溝跡	北←南	44m	47.39m	47.47m	120cm	95cm	用水路	皿状		

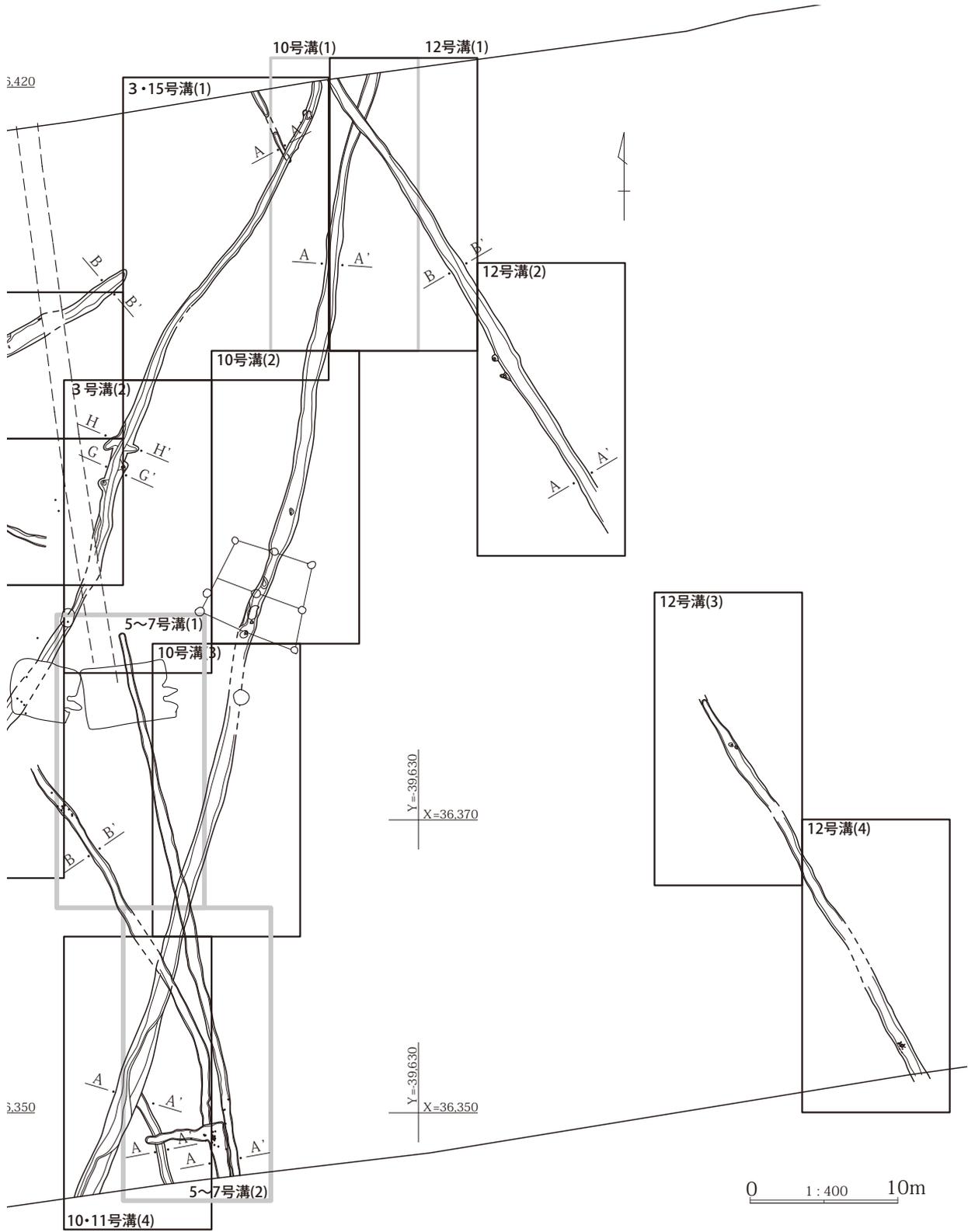
第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

遺構名	走向	延長	標高 (高)	標高 (低)	上巾	深度	用途	断面 形状	重複遺構	備考
4区11号溝跡	北←南	66m	47.46m	47.97m	315cm	60cm	用水路	皿状		溝底の比高差はほとんどなく緩やかな傾斜で一部逆転する所もある。
1・2区17号溝跡	東←南西	13m	47.78m	47.91m	60cm	14cm	区画溝?	皿状		
3区16号溝跡	北←南	23.5m	48.35m	48.39m	50cm	9cm	用水路	皿状		
4区1号溝跡	西→東	19.5m	47.41m	47.35m	100cm	92cm	取水	U字状		南北に併走する8・9号溝を結び東に延びる。9号溝より取水。
4区2号溝跡	東→西	12.8m	48.55m	48.51m	60cm	24cm	不明	U字状		
4区3号溝跡	北東→南西	16.4m	48.34m	48.35m	60cm	20cm	不明	U字状		
4区5号溝跡	北東←南西	不明	48.35m	48.43m	不明	10cm	不明	皿状		
4区7号溝跡	北東→南西	9.3m	48.28m	48.26m	120cm	5cm	不明	皿状		
4区12号溝跡	北←南	12.4m	48.33m	48.36m	55cm	12cm	不明	皿状		
4区13号溝跡	北東→南西	16.8m	48.47m	48.17m	70cm	20cm	不明	U字状		
4区14号溝跡	東→西	7m	47.98m	47.80m	170cm	54cm	北側側溝	不明		東山道駅路北側側溝。9号溝と氾濫跡によって切られる。
6区1号溝跡	東→西	20m	47.90m	47.70m	290cm	92cm	北側側溝	皿状		
6区15号溝跡	西→東	13m	47.97m	47.62m	100cm	10cm	北側側溝	皿状		
7区2号溝跡	西←東	56m	47.45m	47.42m	180cm	40cm	北側側溝	不定形	(新)3井戸〔旧〕4溝、10土、氾濫跡	
4区15号溝跡	東→西	7m	47.88m	47.76m	不明	53cm	不明	皿状	14号溝跡	
4区16号溝跡	北東→南西	5.4m	48.30m	48.33m	20cm	6cm	不明	皿状	15号溝跡	
4区17号溝跡	北東→南西	7m	48.37m	48.33m	20cm	8cm	不明	皿状		
4区18号溝跡	北西←南東	11m	48.31m	48.28m	40cm	7cm	不明	皿状		調査区北壁で確認できたのみである。
4区22号溝跡	不明	不明	不明	不明	65cm	22cm	不明	U字状		
4区23号溝跡	北←南	2.2m	48.73m	48.75m	42cm	18cm	不明	U字状	(新)10溝	
4区24号溝跡	北東→南西	不明	48.50m	48.41m	95cm	21cm	不明	その他		
4区25号溝跡	北→南	5m	48.82m	48.76m	40cm	13cm	不明	不明	(新)5・6・7溝、氾濫跡	
6区2号溝跡	東→西	16.6m	48.10m	47.90m	160cm	46cm	用水路	皿状		東側は氾濫跡によって切られる。
6区3号溝跡	東→西	24m	47.10m	47.86m	230cm	64cm	用水路	皿状		東側は氾濫跡によって切られる。
6区4号溝跡	東←西	25.6m	47.90m	47.68m	240cm	96cm	用水路	皿状	(旧)1溝	
6区5号溝跡	北←南	6.5m	48.13m	48.09m	140cm	18cm	不明	皿状	(旧)1溝	
7区1号溝跡	西←東	73m	47.56m	47.36m	190cm	57cm	南側側溝	V字状	(新)3溝	東西に延びる東山道駅路南側側溝
6区6号溝跡	東→西	12m	48.19m	48.05m	190cm	8cm	南側側溝	皿状	(新)氾濫跡〔旧〕1溝	
6区7号溝跡	北←南	20m	47.91m	47.85m	290cm	92cm	不明	不明		
6区10号溝跡	北東←南西	14.7m	48.23m	48.21m	130cm	11cm	不明	皿状		
6区11号溝跡	北東→南西	4.2m	48.32m	48.26m	60cm	10cm	不明	皿状		
6区12号溝跡	北東→南西	18.2m	48.34m	48.21m	250cm	10cm	不明	不明	(新)2・4溝	
6区13号溝跡	北東→南西	22m	48.16m	48.07m	45cm	12cm	不明	皿状	(新)3溝	
6区14号溝跡	西→東	4m	47.87m	47.78m	30cm	15cm	不明	U字状	(新)氾濫跡	
7区3号溝跡	西←東	22.2m	47.93m	47.90m	90cm	28cm	用水路	V字状	(新)2・3溝	
7区4号溝跡	北→南	23.4m	48.10m	48.02m	60cm	18cm	区画溝	箱状	(新)12土	用水路か。
7区5号溝跡	北→南	22m	47.63m	47.57m	240cm	24cm	不明	不明	(新)1井戸	用水路か。
7区6号溝跡	北→南	26.5m	47.63m	47.60m	290cm	40cm	不明	不明	(旧)2号Pit	区画溝の可能性あり。
7区7号溝跡	西→南西	18m	47.23m	46.86m	150cm	38cm	区画溝	不明		
7区11号溝跡	北東→南西	53m	47.17m	47.05m	160cm	71cm	不明	不明		
7区10号溝跡	北東→南西	7m	47.19m	47.04m	270cm	34cm	不明	不明	(新)3・4・8・9溝	
8区1号溝跡	北←南	66m	47.41m	47.22m	90cm	30cm	用水路	U字状	(新)1溝	
8区2号溝跡	北→南	41m	47.70m	47.52m	80cm	28cm	用水路	皿状	(新)1・8・9溝〔旧〕4溝	12号溝との新旧関係は不明である。
8区3号溝跡	北東→南西	26.5m	47.56m	47.49m	60cm	31cm	用水路	箱状	(新)1・3・8・9溝〔旧〕6.13.14.15.18号溝、1号掘、94土	5号溝との新旧関係は不明である。
8区4号溝跡	北東←南西	74m	47.32m	47.25m	100cm	36cm	用水路	箱状		4号溝との新旧関係は不明である。
8区5号溝跡	西←東	5.8m	47.49m	47.43m	70cm	33cm	不明	箱状	(新)4溝	溝底の傾斜はほとんどない。
8区6号溝跡	西←東	3.8m	47.64m	47.64m	40cm	25cm	不明	箱状	(新)8・9溝〔旧〕11溝、5号掘、87土、2号Pit	
8区7号溝跡	北東←南西	33m	47.57m	47.52m	100cm	41cm	用水路	V字状		8号溝と重複。
8区10号溝跡	北西←南東	35m	47.69m	47.67m	80cm	39cm	用水路	V字状	(新)7溝	
8区11号溝跡	北東→南西	3.2m	47.63m	47.57m	60cm	18cm	不明	箱状		3・8・9号溝と重複。8・9号溝とは同時期。3号溝との新旧関係は不明である。
8区12号溝跡	北東←南西	1.4m	47.51m	47.50m	40cm	16cm	用水路	皿状	(新)4・8・9溝、耕作痕〔旧〕7掘	8・9号溝より取水。
8区13号溝跡	北東←南西	56.5m	47.17m	46.97m	90cm	78cm	取水	皿状	(新)4溝	東今泉鹿島遺跡に続く。
8区14号溝跡	西←東	3.7m	47.52m	47.46m	40cm	9cm	島の柵	皿状	(新)4溝	溝底の比高差はほとんどなく緩やかに傾斜する。東今泉鹿島遺跡に続く。
8区15号溝跡	西→東	6.8m	47.46m	47.43m	40cm	13cm	島の柵	皿状		溝底の比高差はほとんどなく緩やかに傾斜する。東今泉鹿島遺跡に続く。
8区16号溝跡	西←東	7.3m	47.44m	47.43m	30cm	8cm	島の柵	皿状		溝底の比高差はほとんどなく緩やかに傾斜する。東今泉鹿島遺跡に続く。
8区17号溝跡	西←東	6.4m	47.40m	47.40m	30cm	8cm	島の柵	皿状	(新)9・13・14住、56土、10号掘〔旧〕78・91土	調査区南部で枝分かれている。
8区18号溝跡	北→南	74m	47.23m	47.15m	140cm	39cm	用水路	皿状		

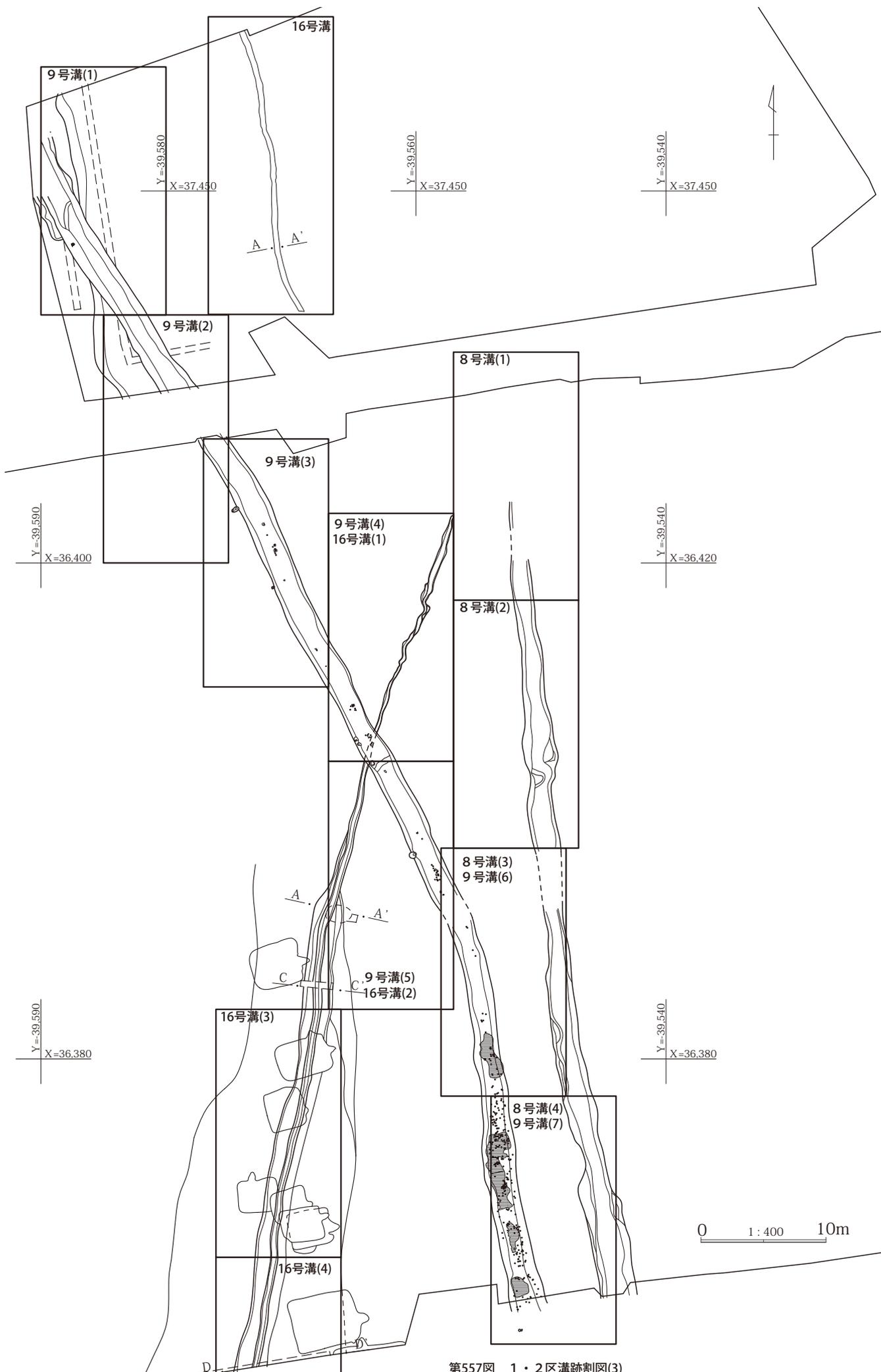
1・2区溝跡割図



第555図 1・2区溝跡割図(1)

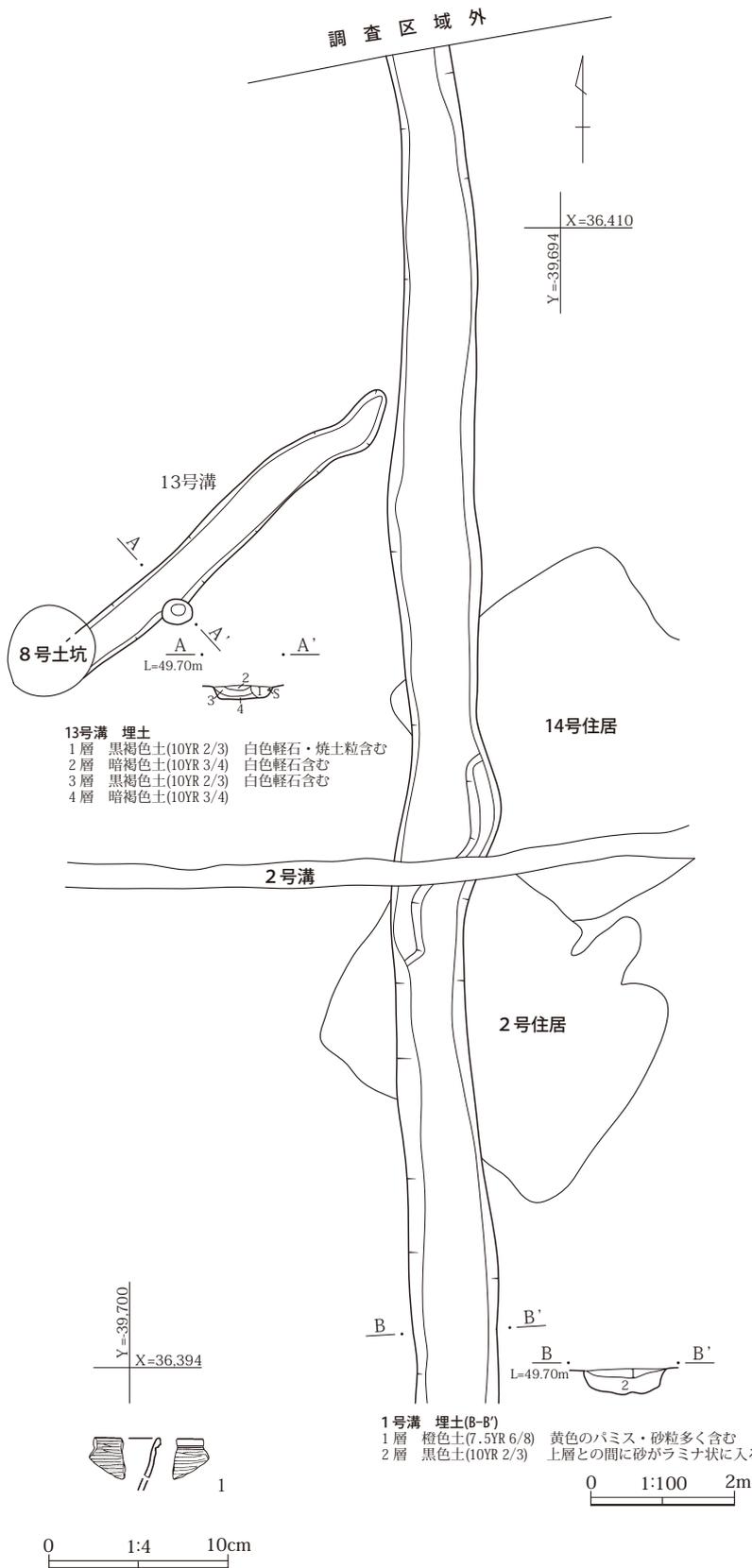


第556図 1・2区溝跡割図(2)

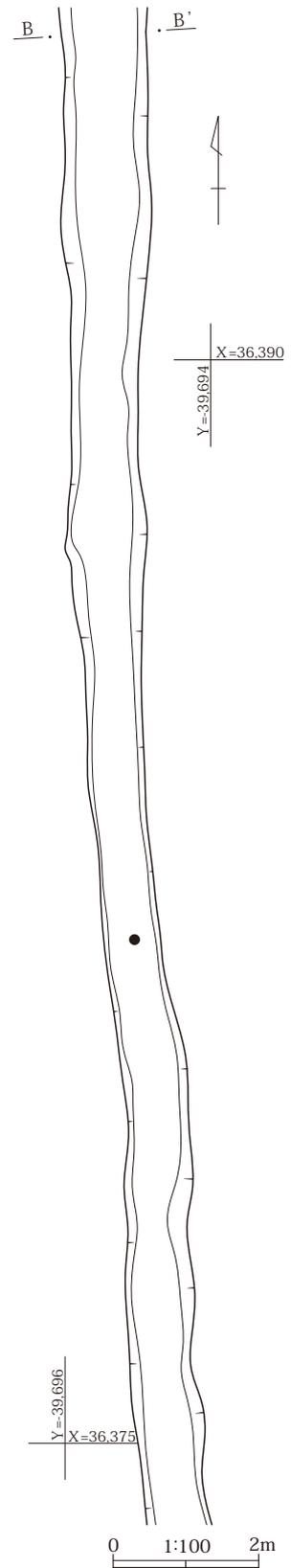


第557图 1·2区沟迹剖图(3)

1・2区1・13号溝(1)

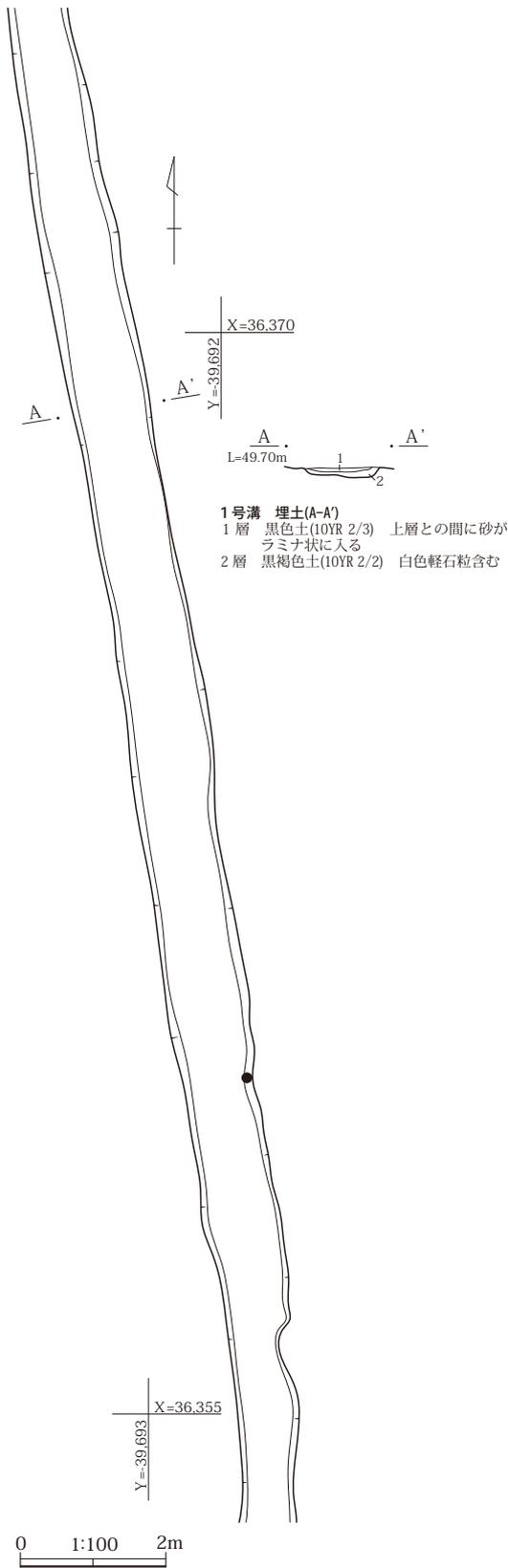


1号溝(2)

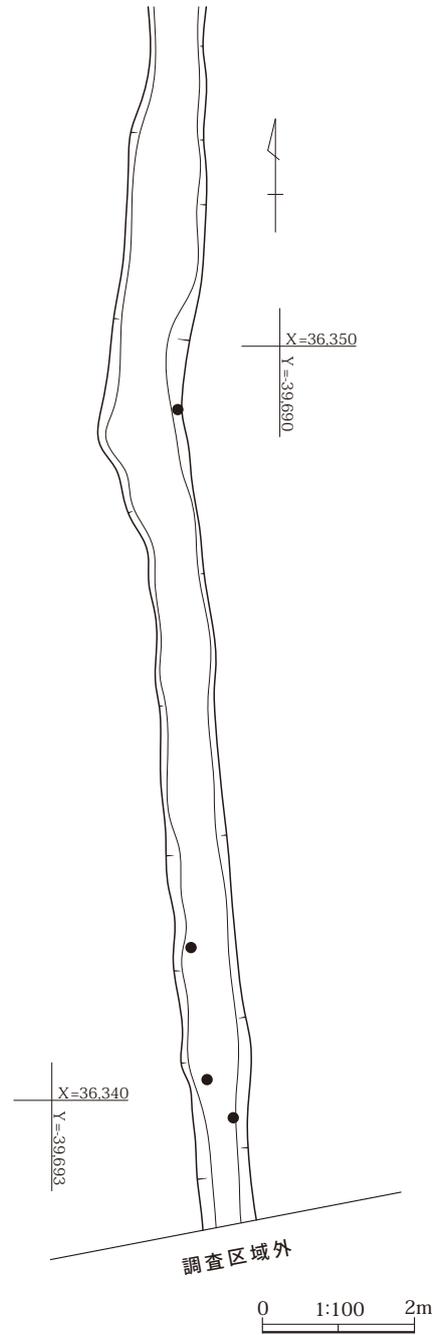


第558図 1・2区1号溝跡平・断面図(1)・(2)、出土遺物

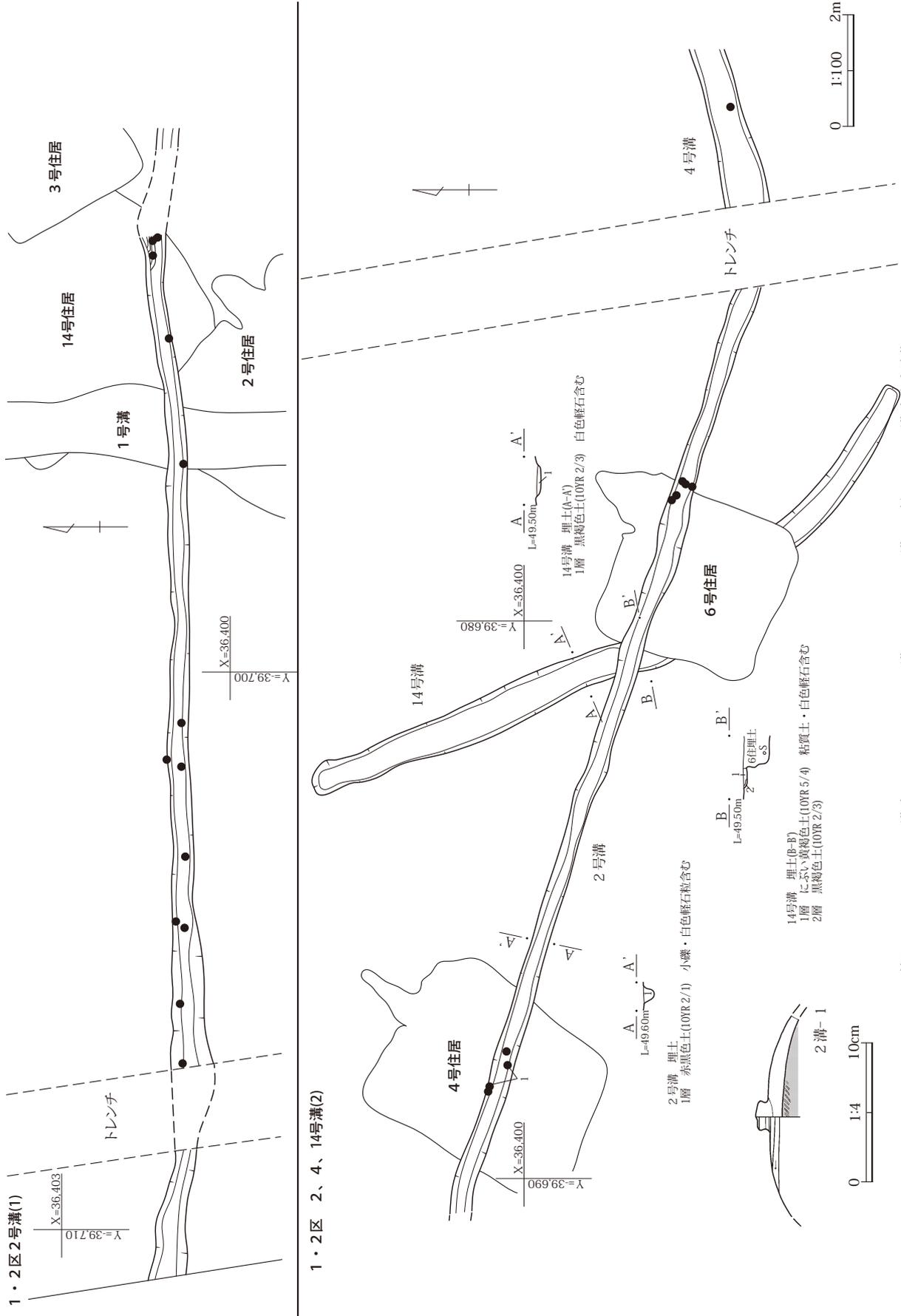
1・2区1号溝(3)



1・2区1号溝(4)

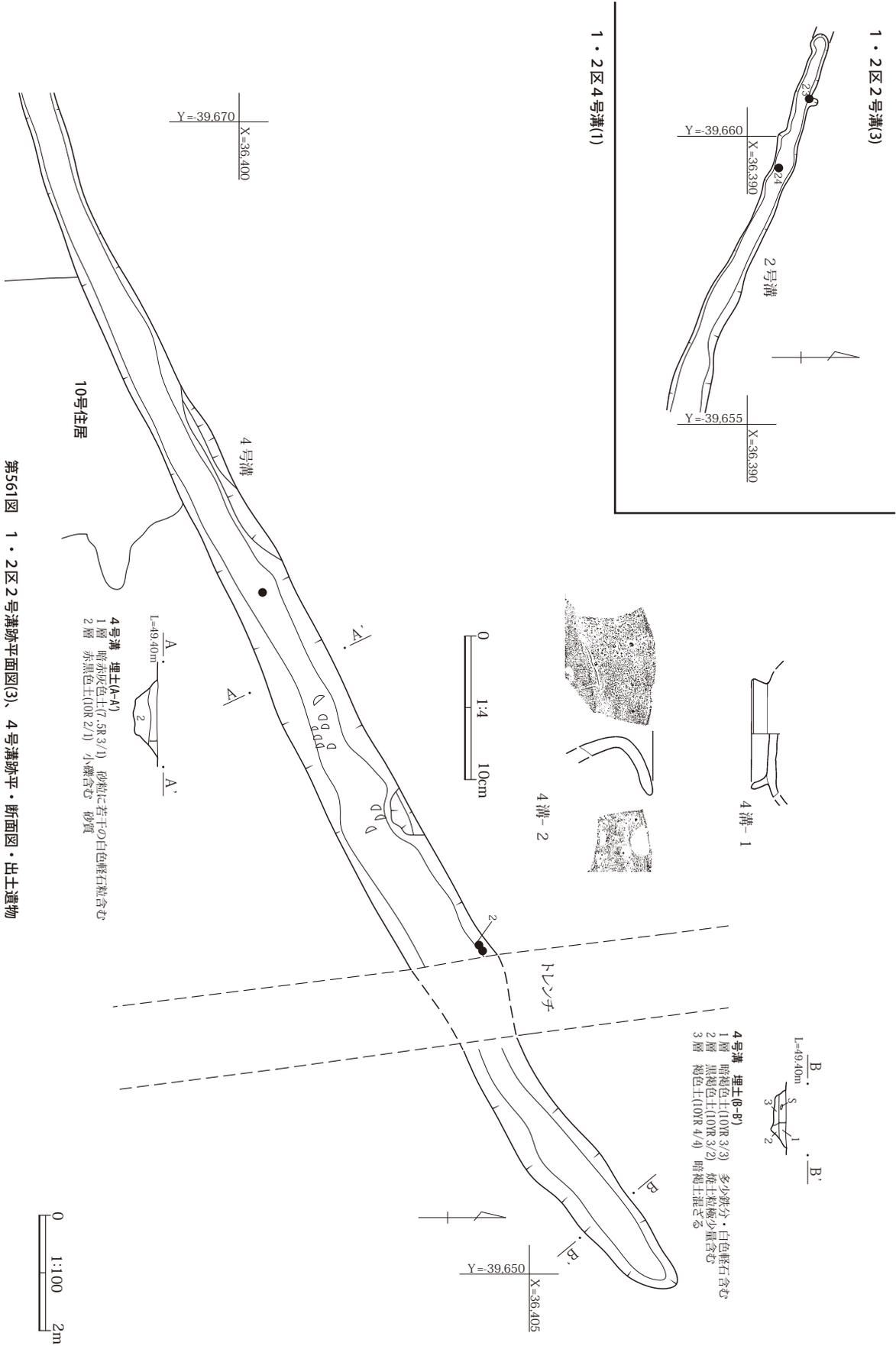


第559図 1・2区1号溝跡平面図(3)・(4)



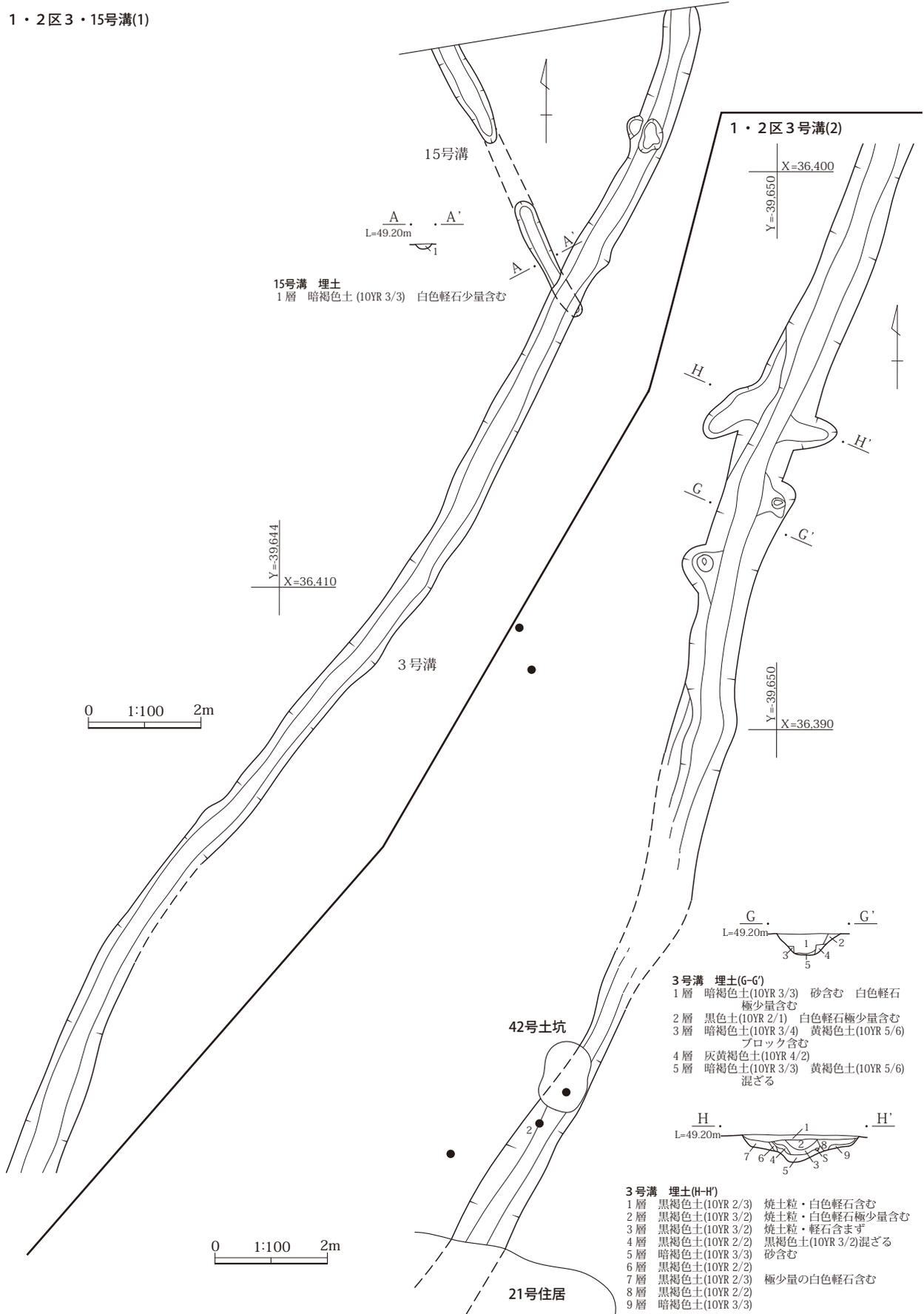
1・2区 2、4、14号溝(2)

第560図 1・2区2号溝跡平面図(1)・(2)、4号溝平面図、14号溝平・断面図、2号溝跡出土遺物



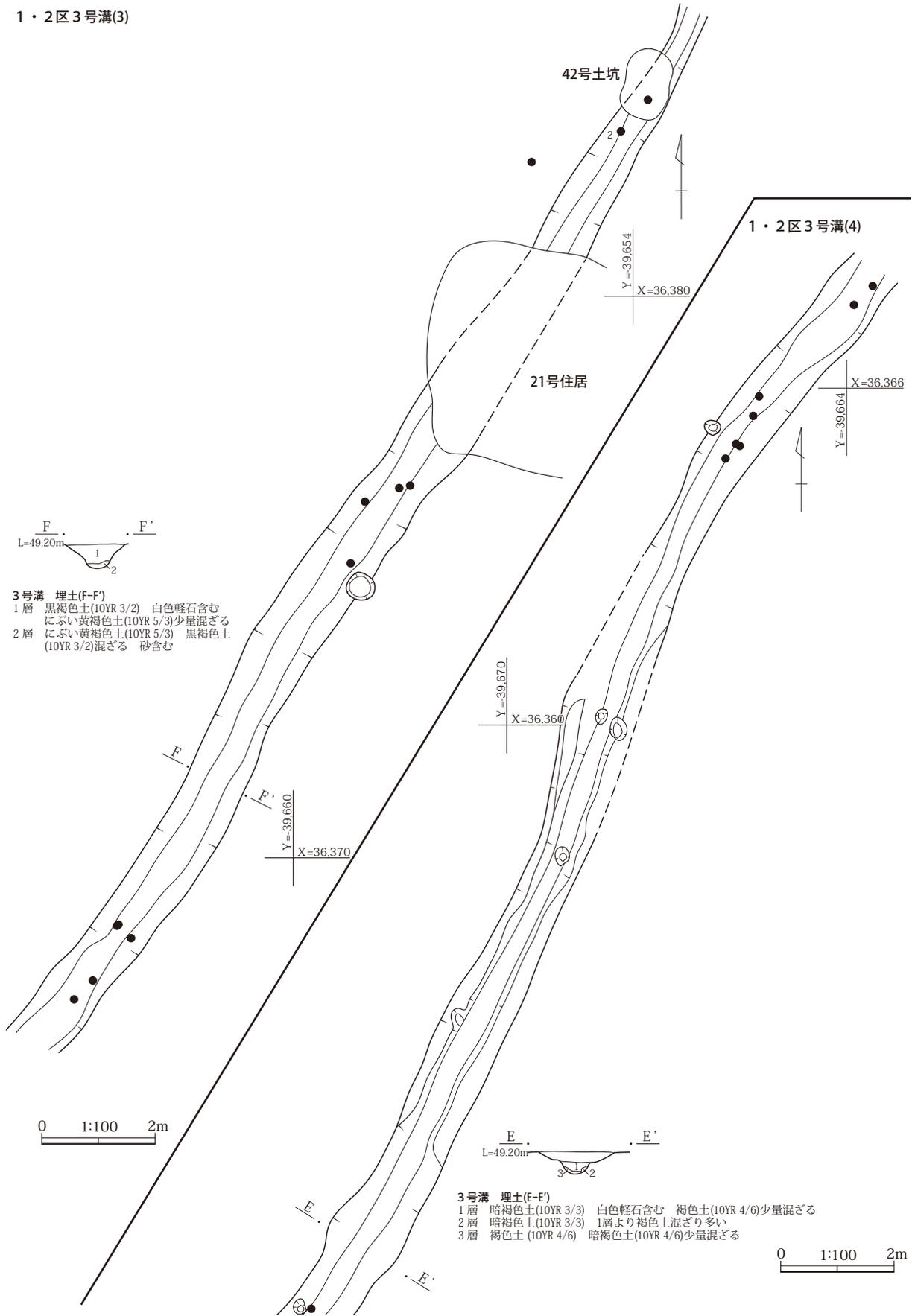
第561図 1・2区2号溝跡平面図(3)、4号溝跡平・断面図・出土遺物

1・2区3・15号溝(1)



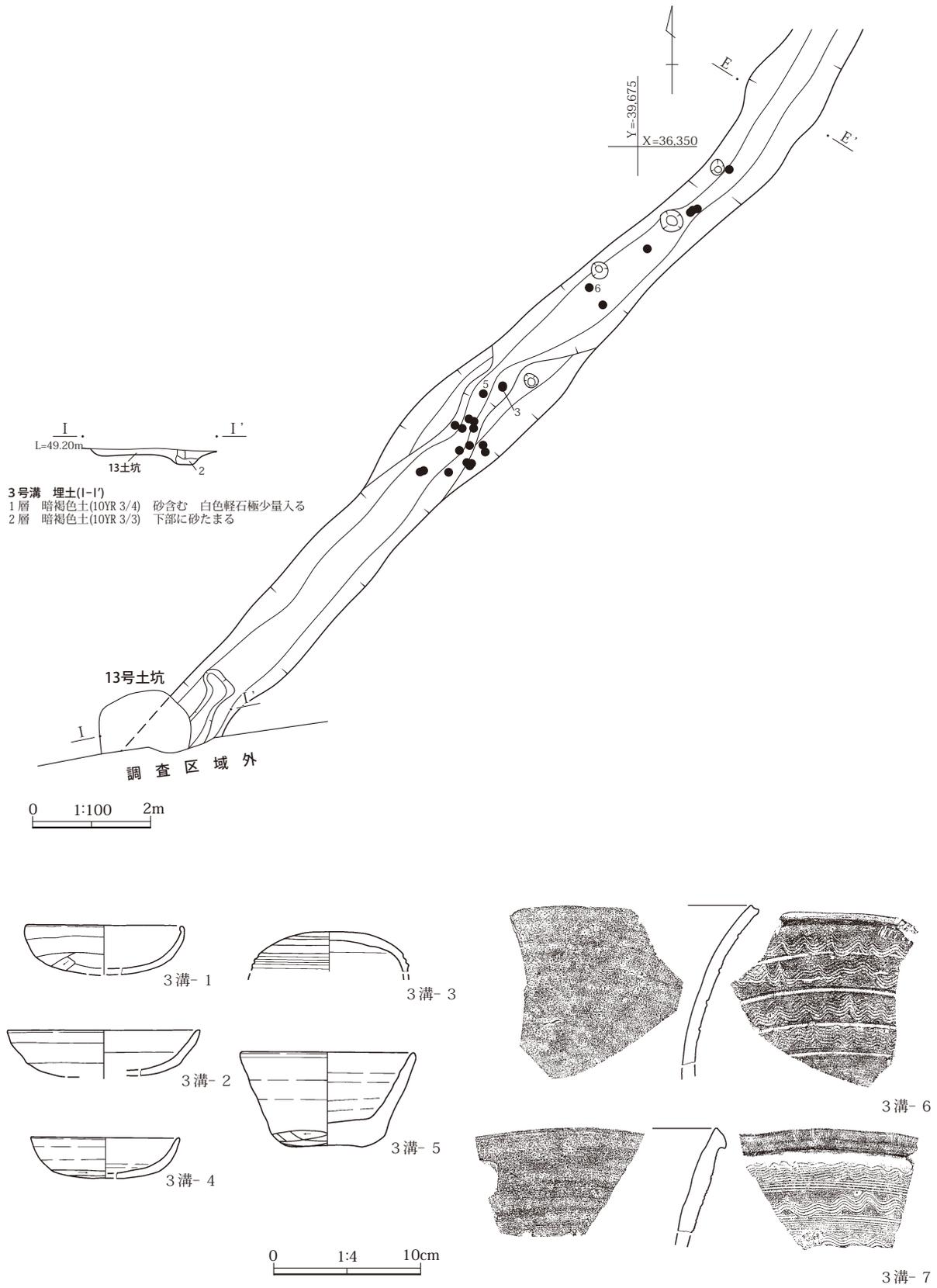
第562図 1・2区3号・15号溝跡平・断面図(1)・(2)

1・2区3号溝(3)



第563図 1・2区3号溝跡平・断面図(3)・(4)

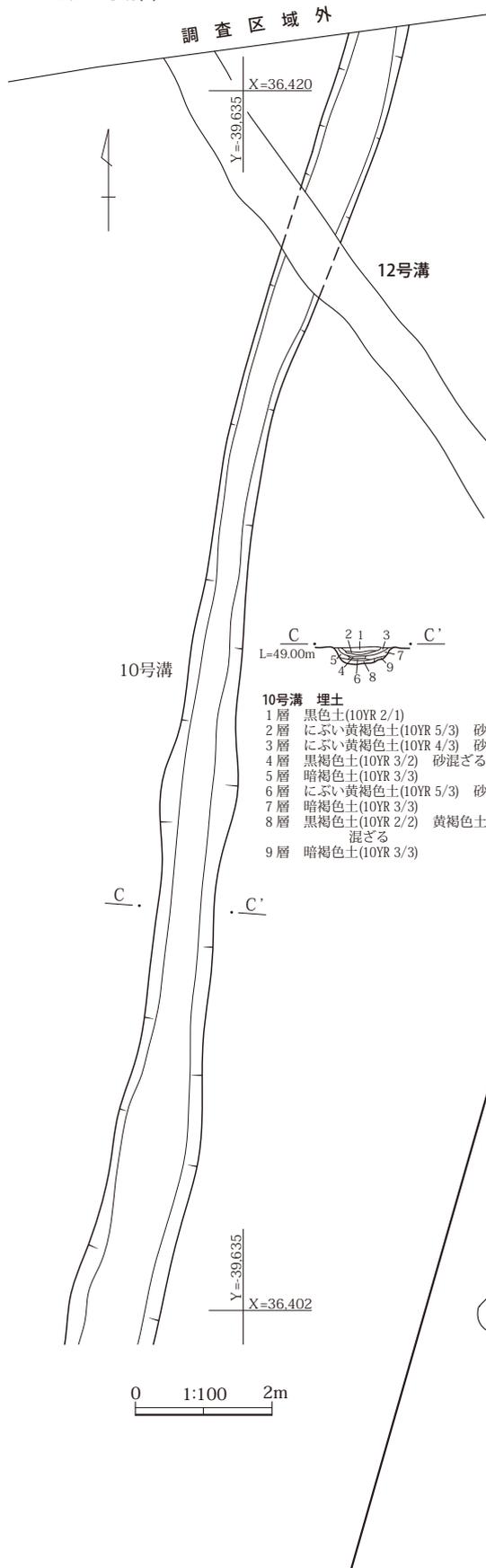
1・2区3号溝(5)



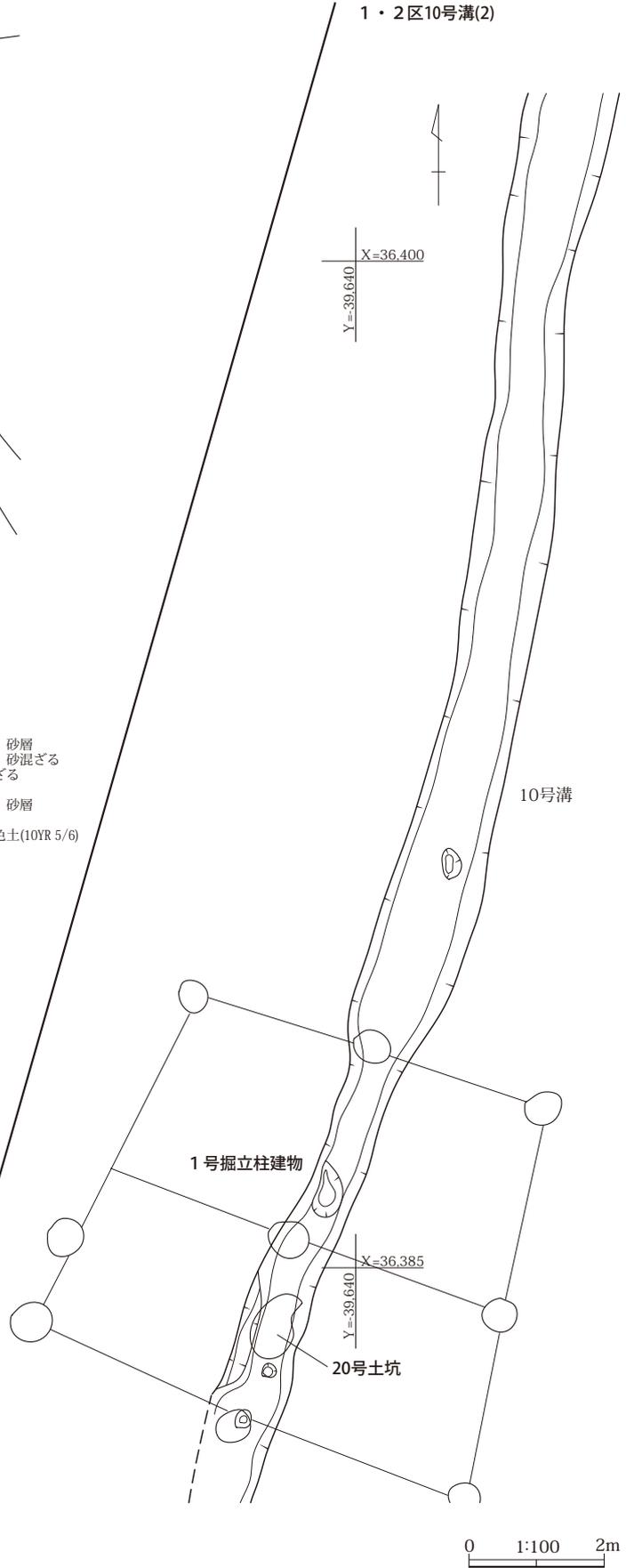
第564図 1・2区3号溝跡平・断面図(5)・出土遺物

第3章 検出遺構と出土遺物

1・2区10号溝(1)

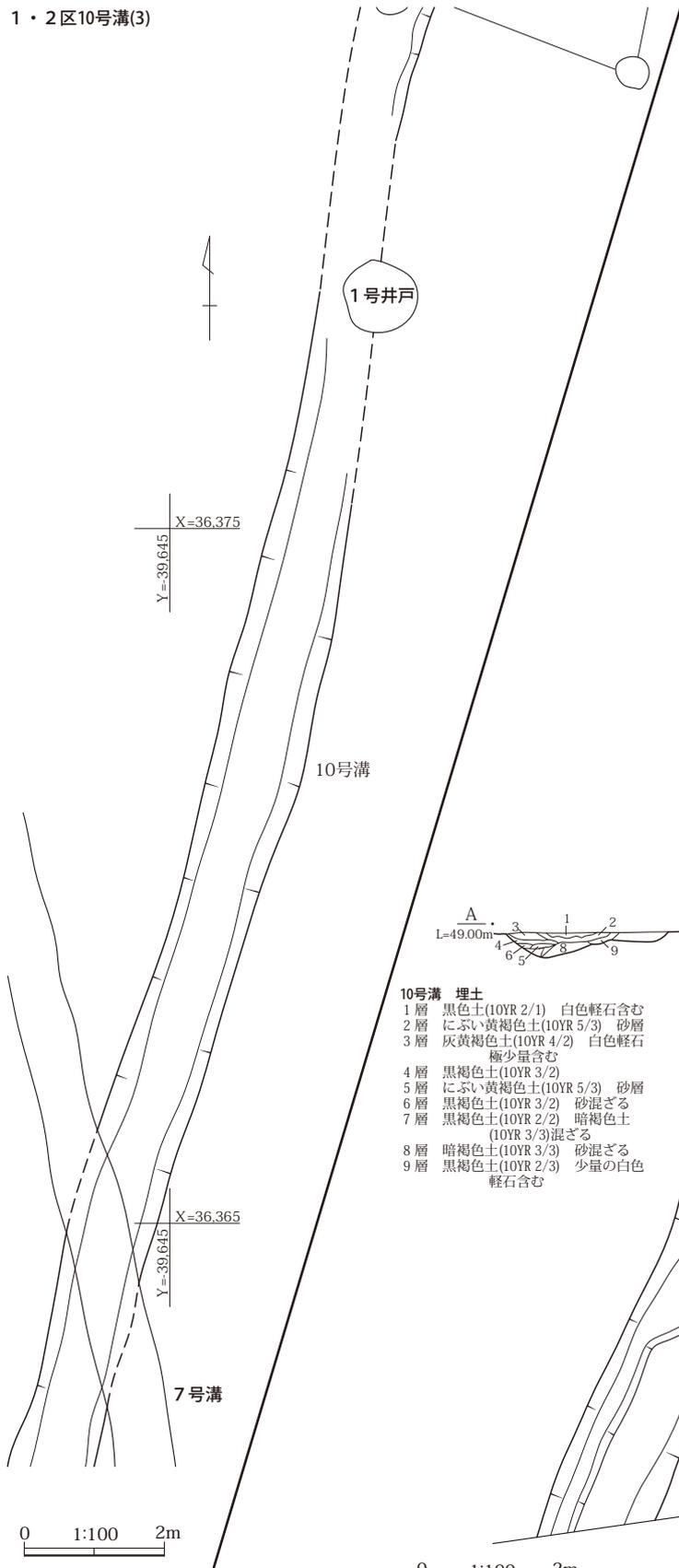


1・2区10号溝(2)

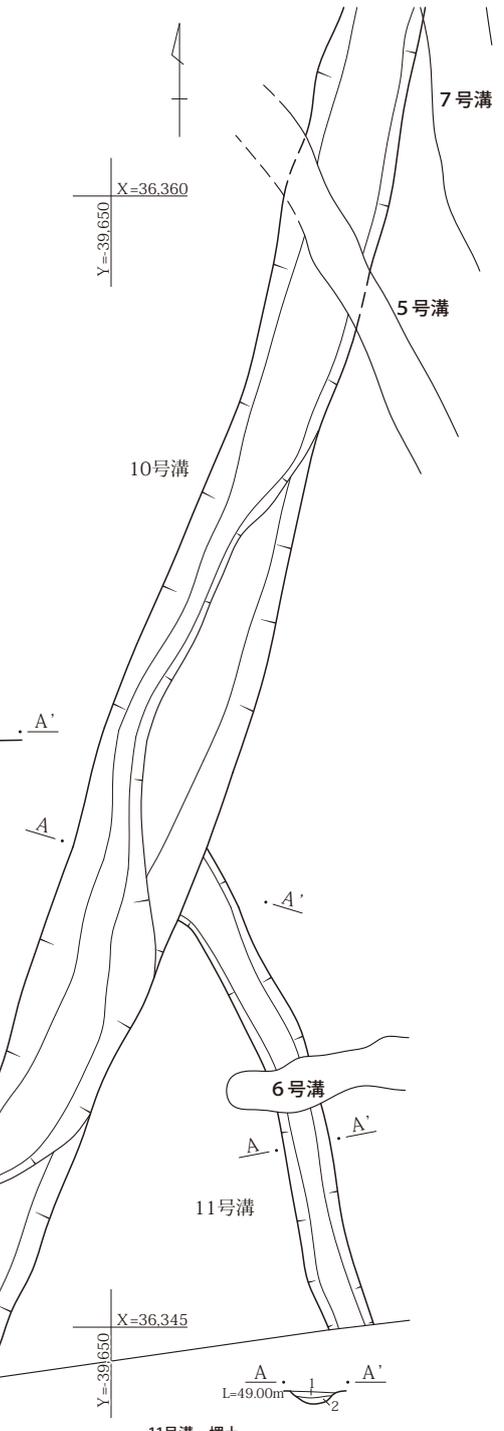


第565図 1・2区10号溝跡平・断面図(1)・(2)

1・2区10号溝(3)



1・2区10号溝(4)・11号溝(1)



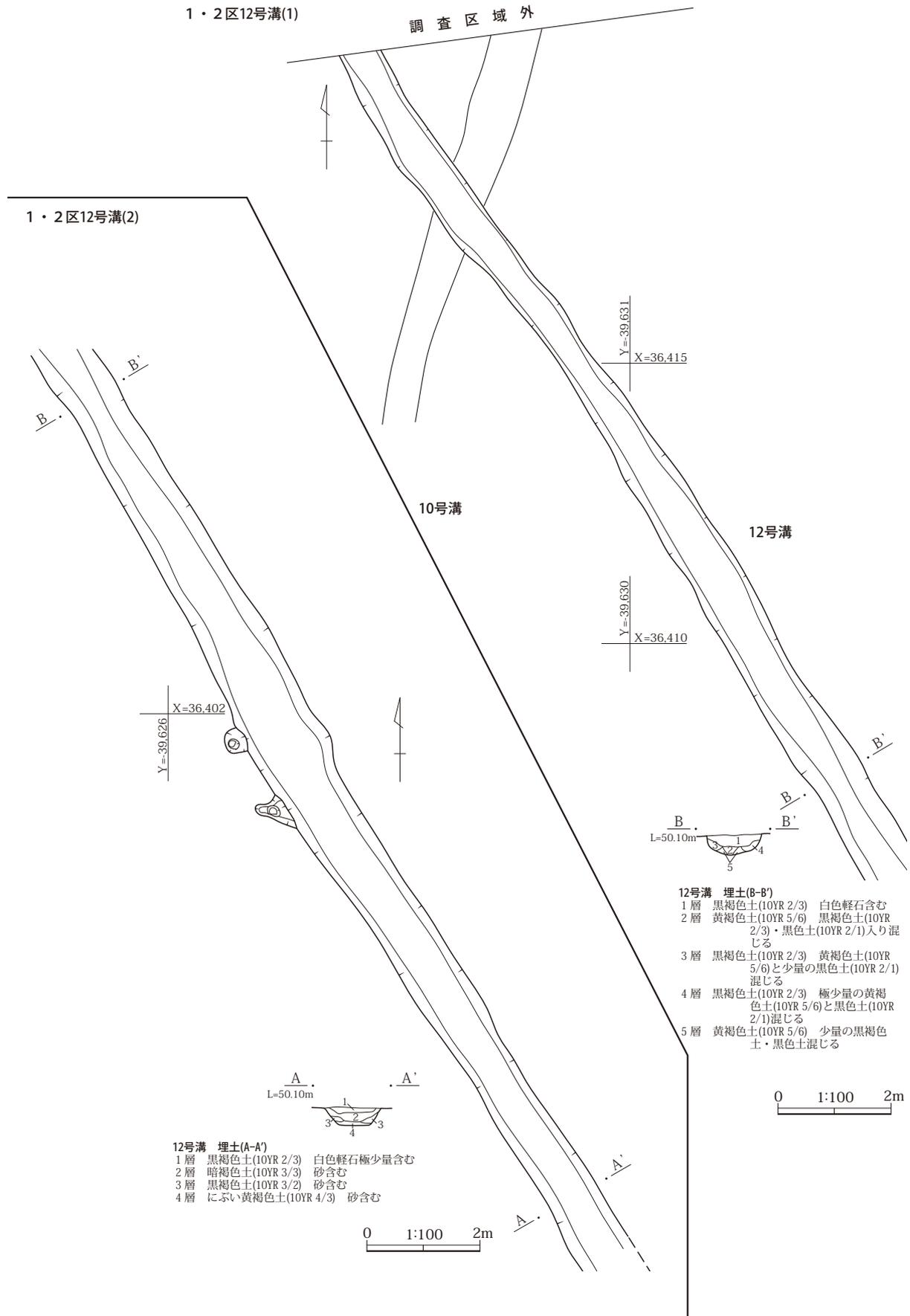
10号溝 埋土

- 1層 黒色土(10YR 2/1) 白色軽石含む
- 2層 にぶい黄褐色土(10YR 5/3) 砂層
- 3層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 白色軽石  
極少量含む
- 4層 黒褐色土(10YR 3/2)
- 5層 にぶい黄褐色土(10YR 5/3) 砂層
- 6層 黒褐色土(10YR 3/2) 砂混ざる
- 7層 黒褐色土(10YR 2/2) 暗褐色土  
(10YR 3/3)混ざる
- 8層 暗褐色土(10YR 3/3) 砂混ざる
- 9層 黒褐色土(10YR 2/3) 少量の白色  
軽石含む

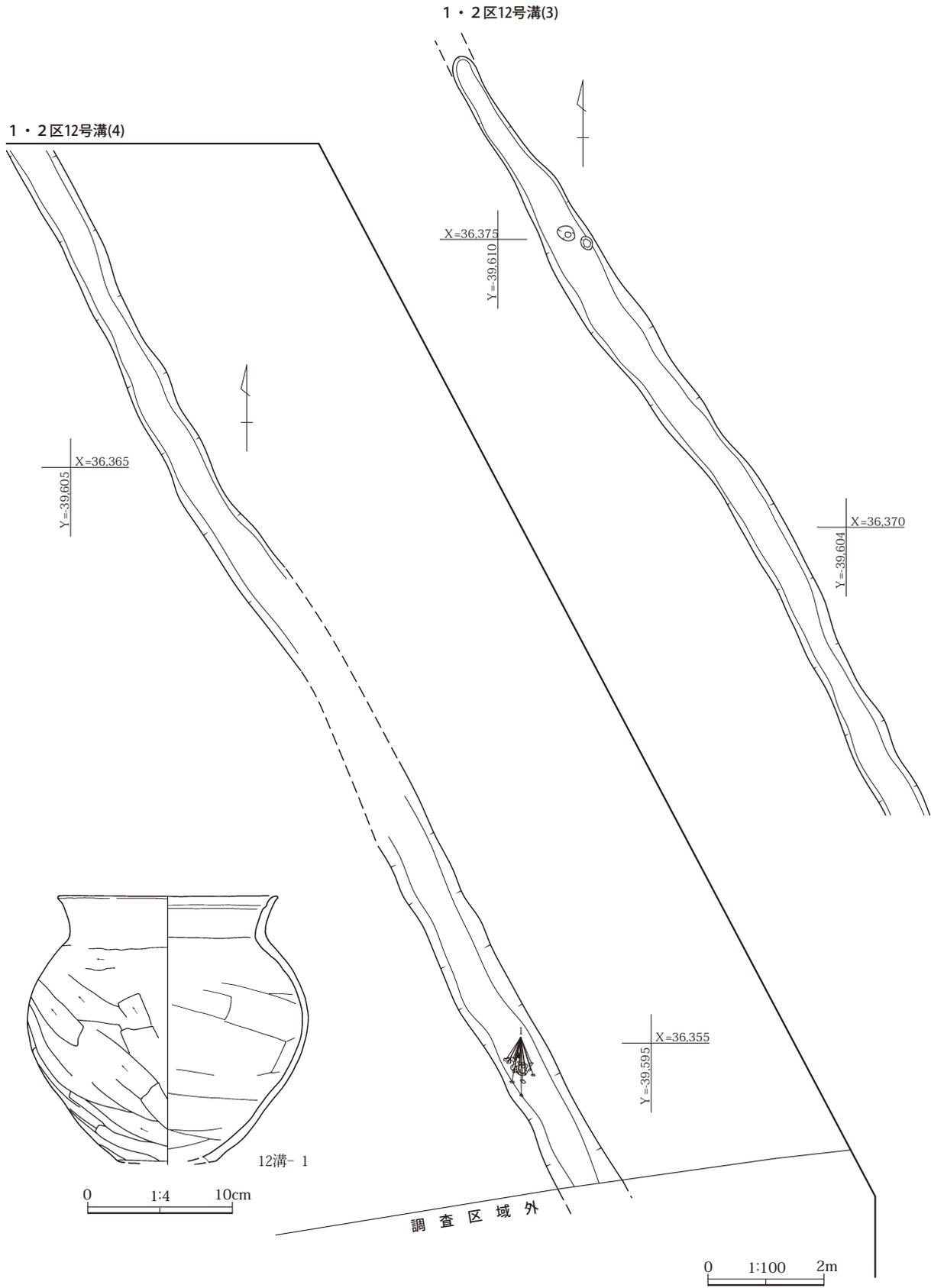
11号溝 埋土

- 1層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 洪水層 砂含む
- 2層 黒褐色土(10YR 2/3) 砂含む

第566図 1・2区10号溝跡平・断面図(3)・(4)、11号溝跡平面図



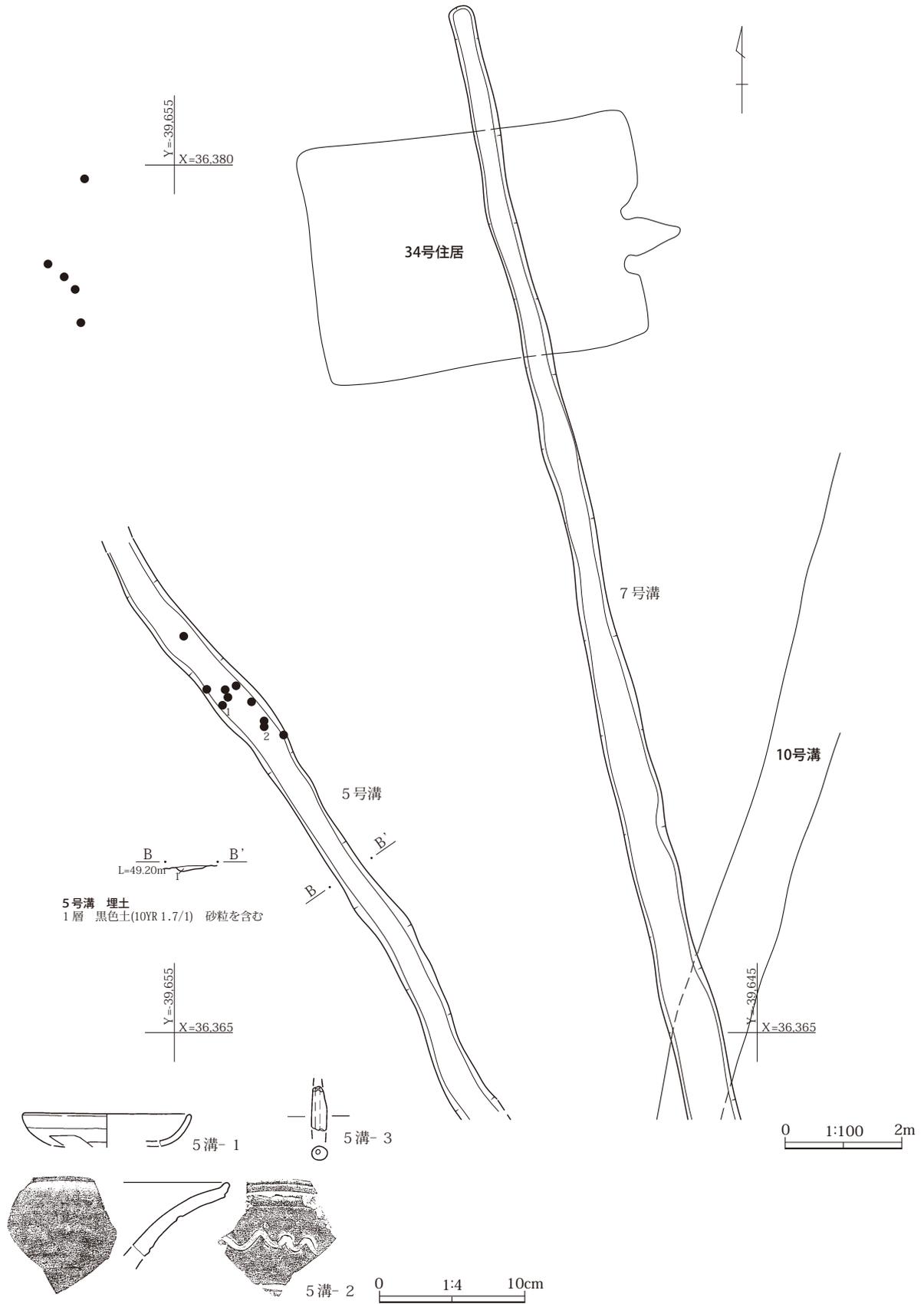
第567図 1・2区12号溝跡平・断面図(1)・(2)



第568図 1・2区12号溝跡平面図(3)・(4)・出土遺物

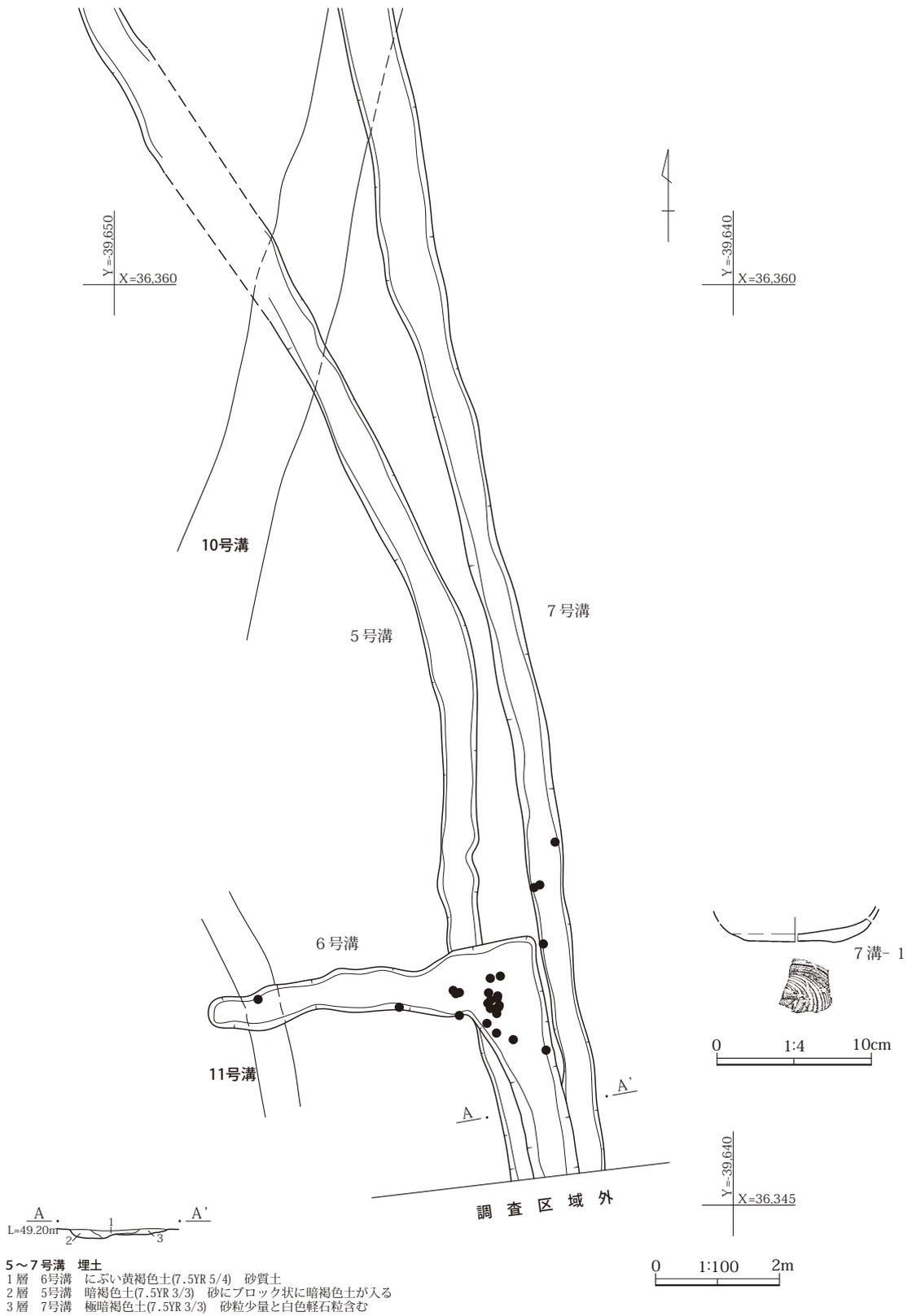
第3章 検出遺構と出土遺物

1・2区5・7号溝(1)



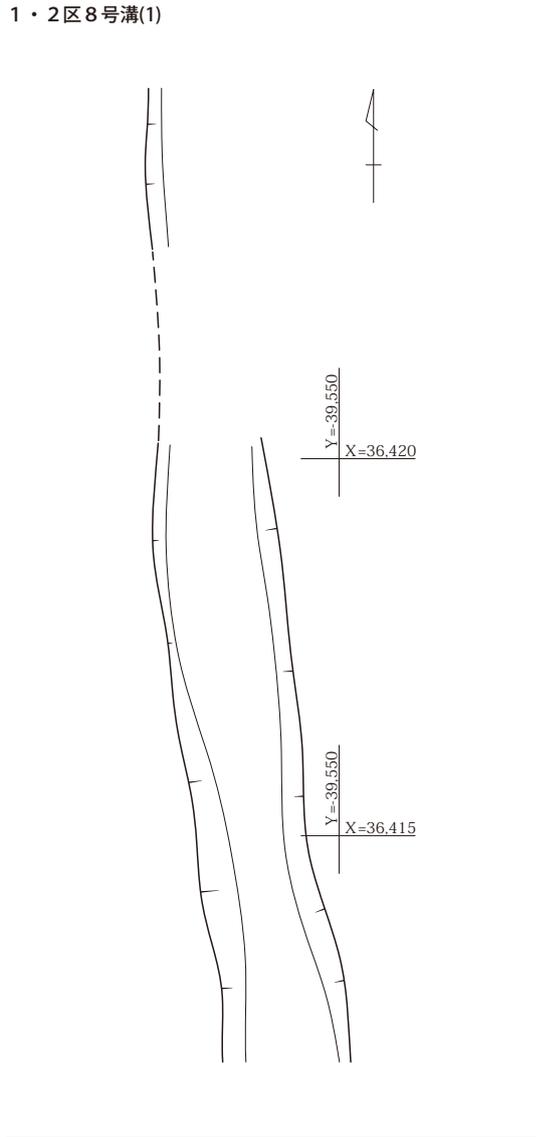
第569図 1・2区5・7号溝跡平・断面図(1)・出土遺物

1・2区5(2)・6・7号溝(2)

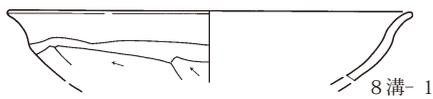
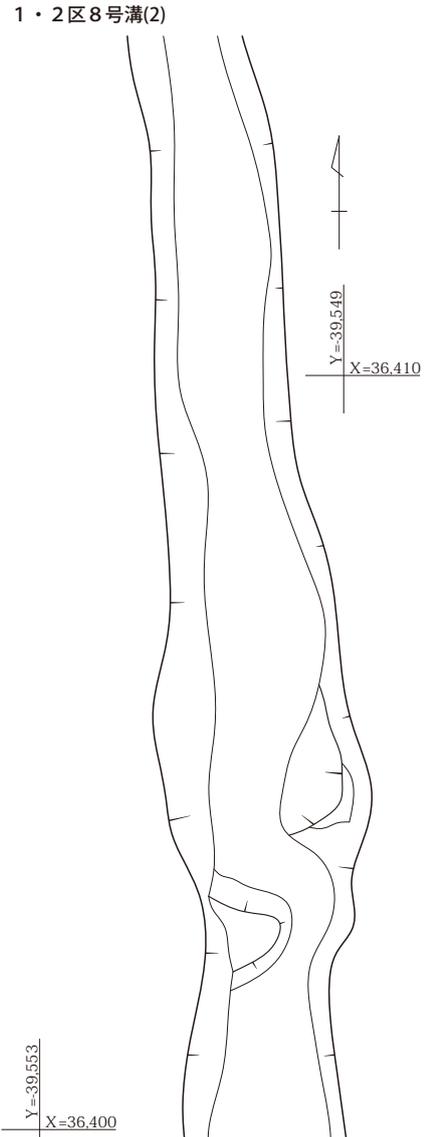


第570図 1・2区6～7号溝跡平・断面図(2)・出土遺物

1・2区8号溝(1)



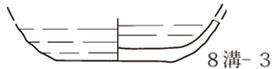
1・2区8号溝(2)



8溝-1



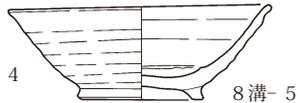
8溝-2



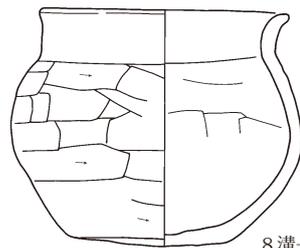
8溝-3



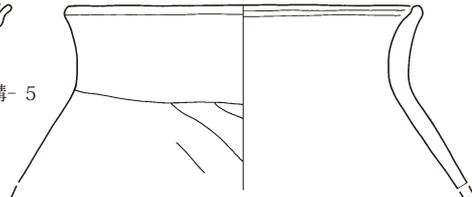
8溝-4



8溝-5



8溝-6



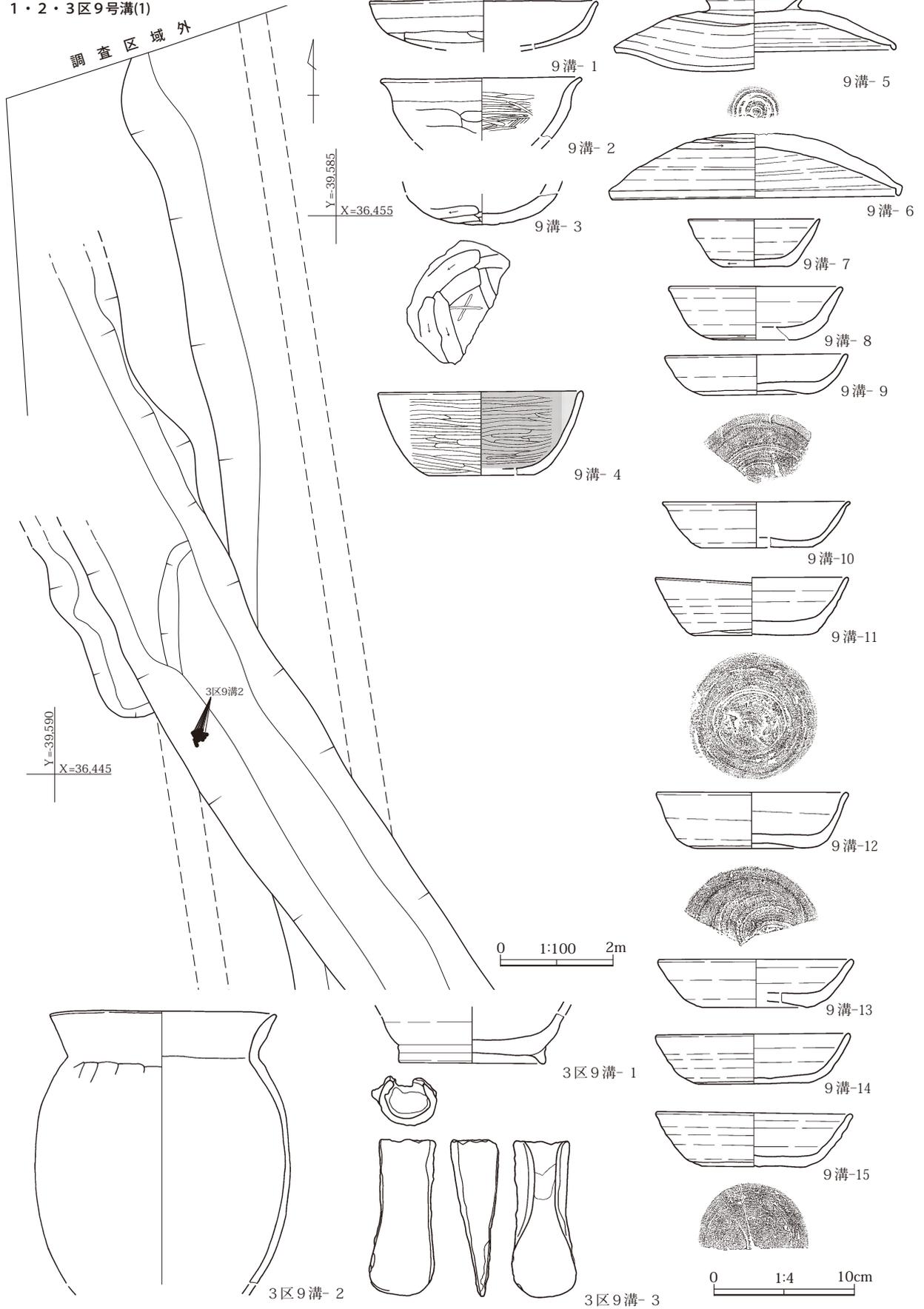
8溝-7

0 1:4 10cm

0 1:100 2m

第571図 1・2区8号溝跡平面図(1)・(2)、出土遺物

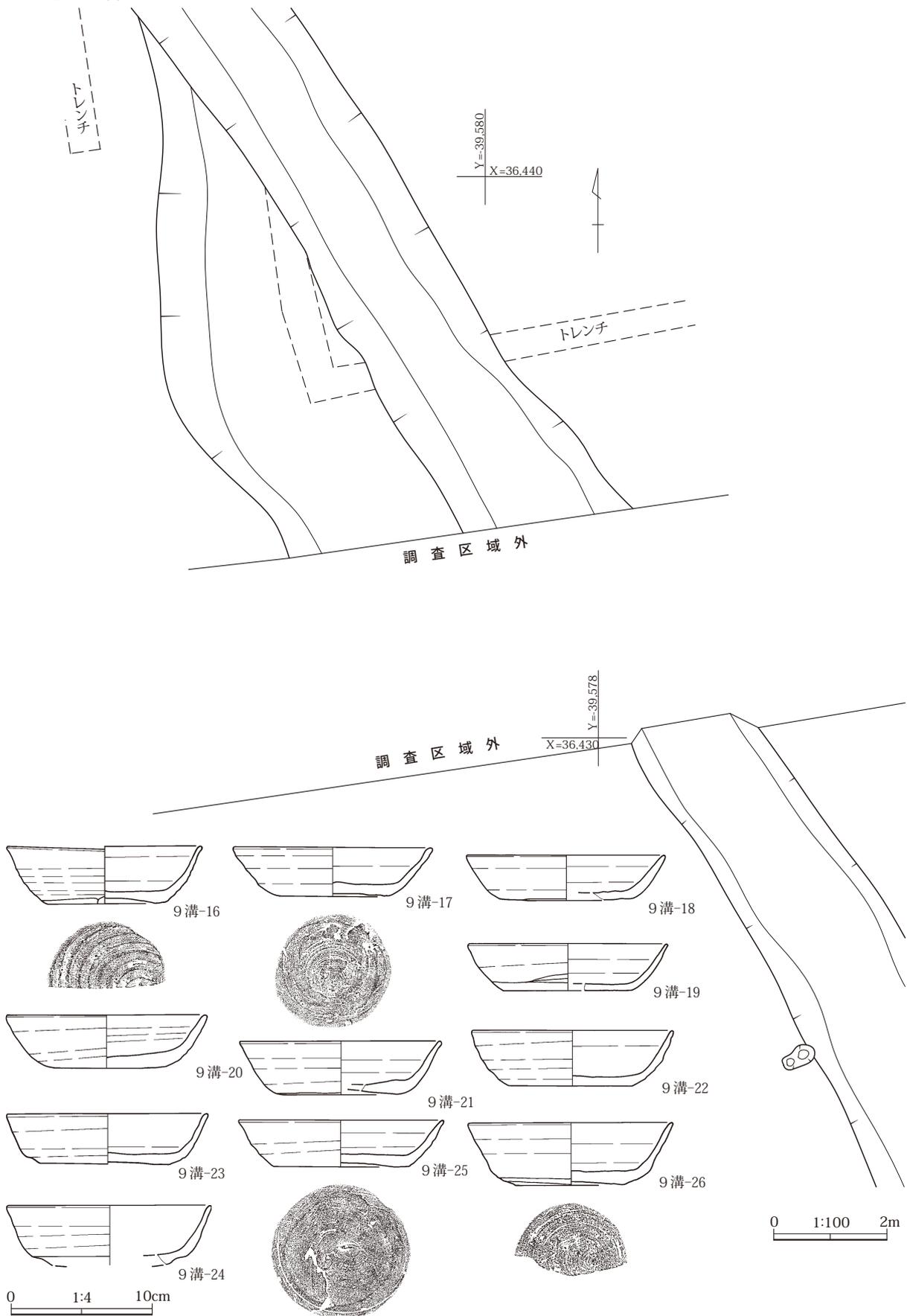
1・2・3区9号溝(1)



第572図 3区9号溝跡平面図(1)、出土遺物(1)

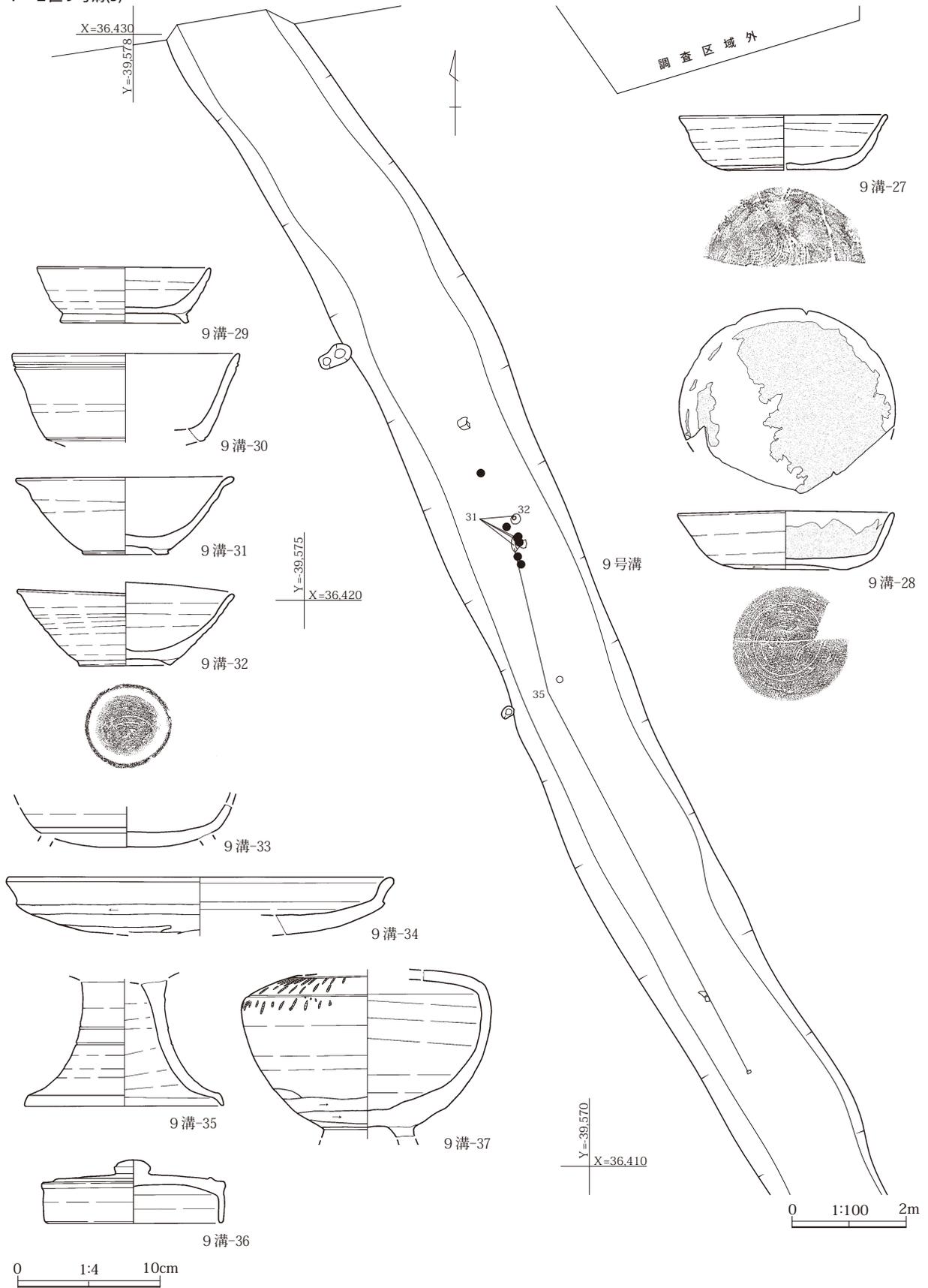
第3章 検出遺構と出土遺物

1～3区9号溝(2)



第573図 1～3区9号溝跡平面図(2)、出土遺物(2)

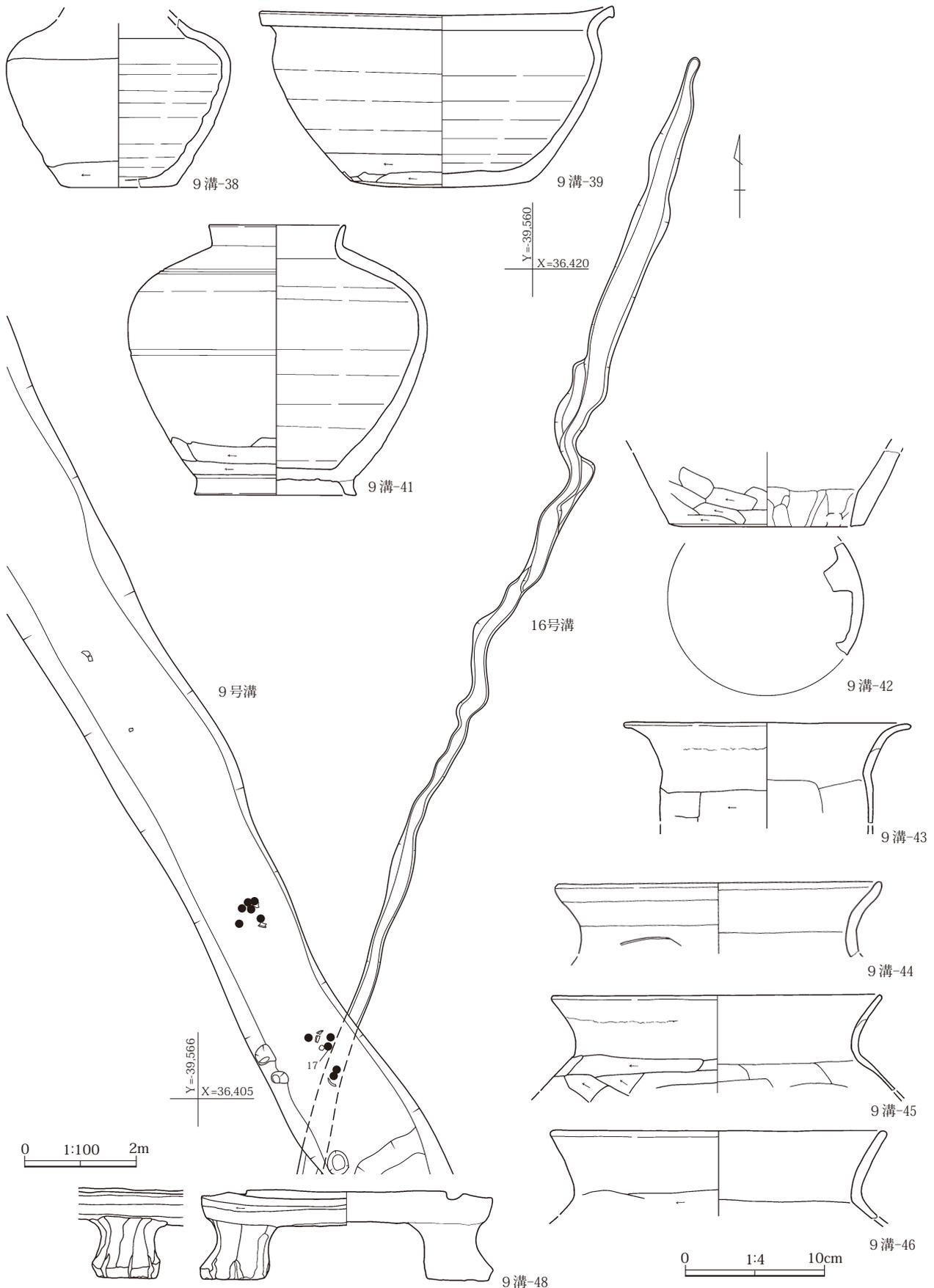
1・2区9号溝(3)



第574図 1・2区9号溝跡平面図(3)、出土遺物(3)

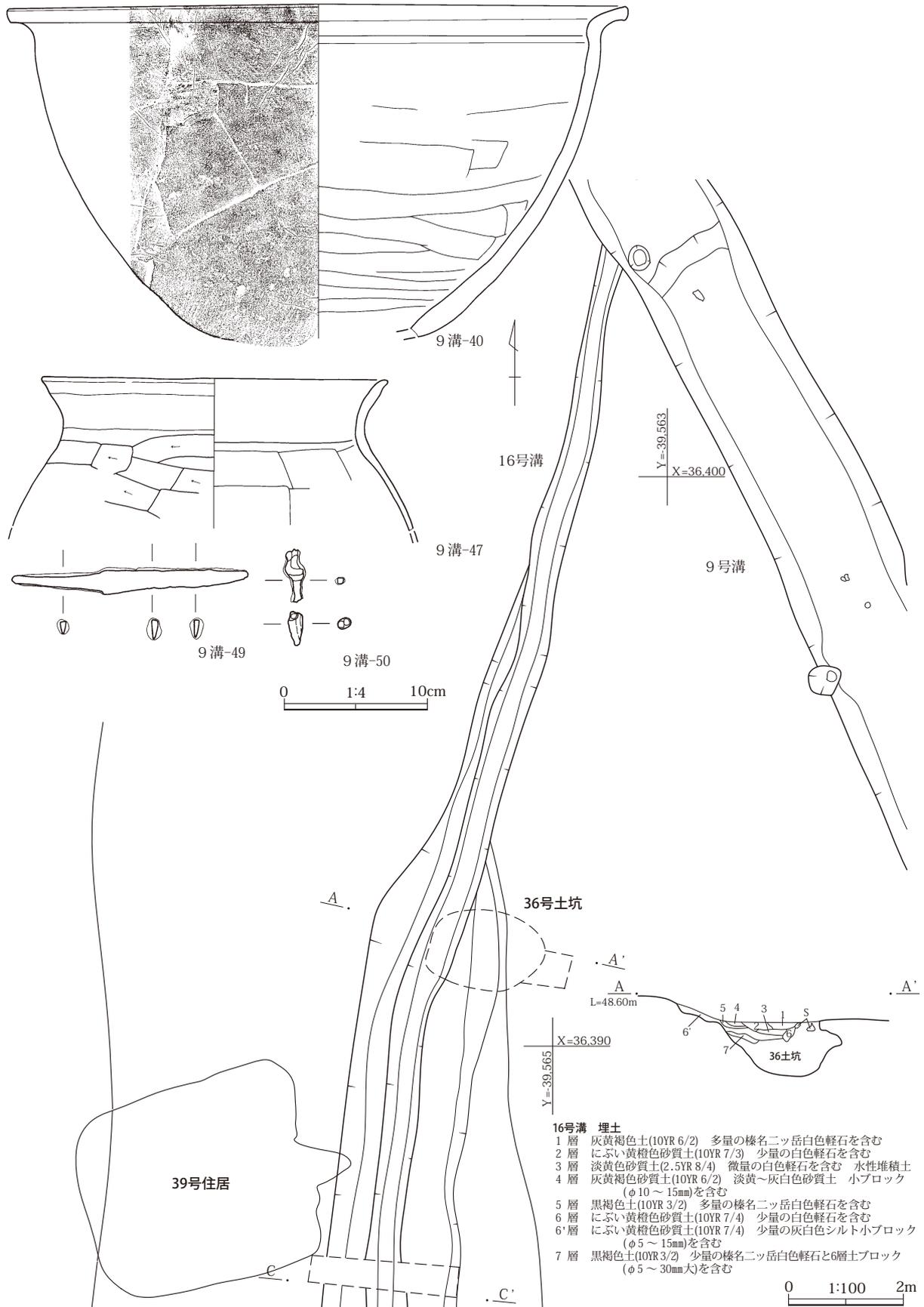
第3章 検出遺構と出土遺物

1・2区9号溝(4) 16号溝(1)



第575図 1・2区9号溝跡平面図(4)、16号溝平面図(1)、出土遺物(4)

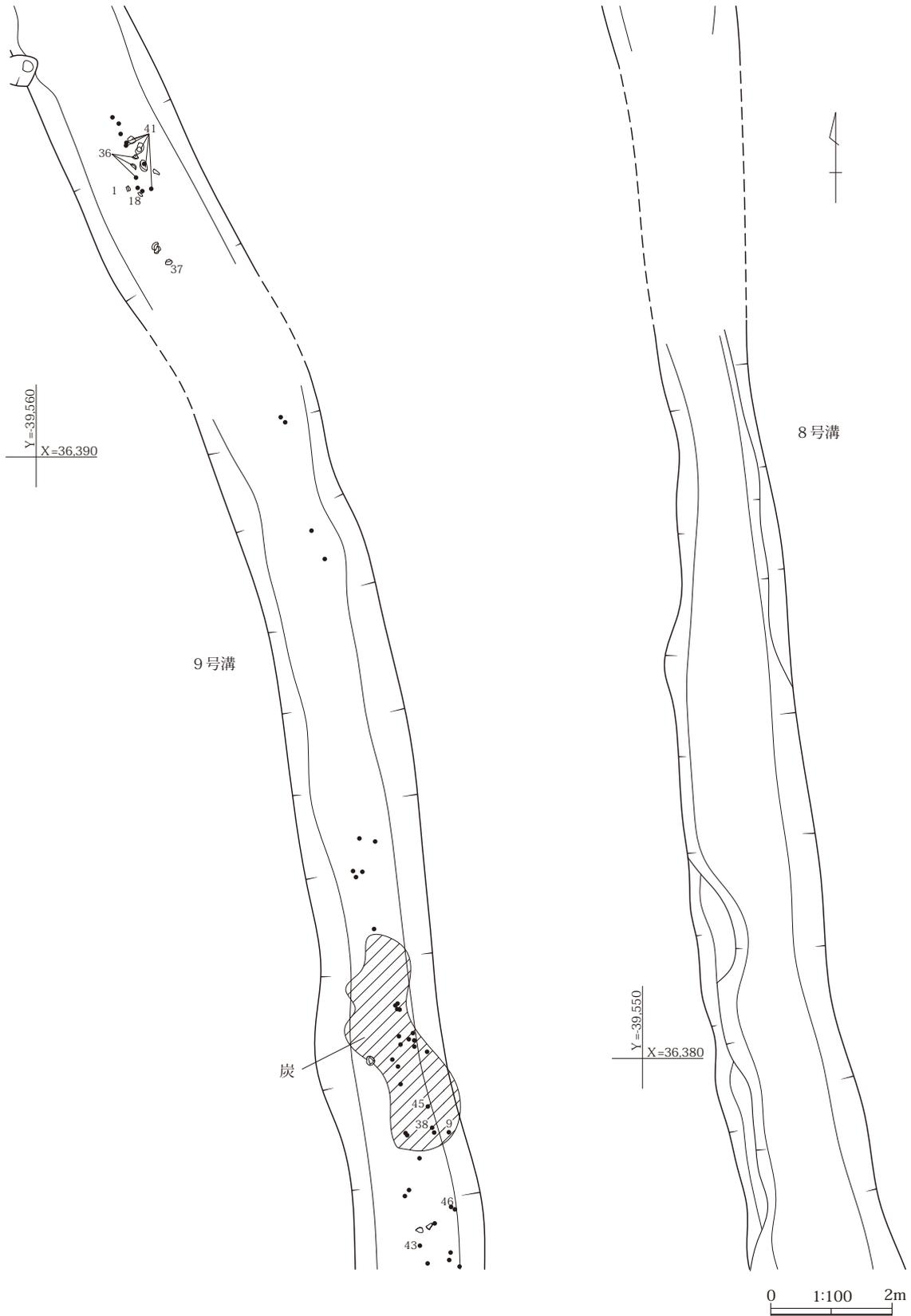
1・2区9号溝(5) 16号溝(2)



第576図 1・2区9号溝跡平面図(5)、16号溝平・断面図(2)、出土遺物(5)

第3章 検出遺構と出土遺物

1・2区9号溝(6) 8号溝(3)



第577図 1・2区9号溝跡平面図(6)、8号溝跡平面図(3)

1・2区9号溝(7) 8号溝(4)

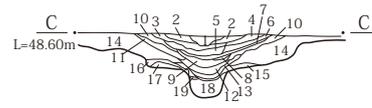


3

第578図 1・2区9号溝跡平面図(6)、8号溝跡平面図(3)

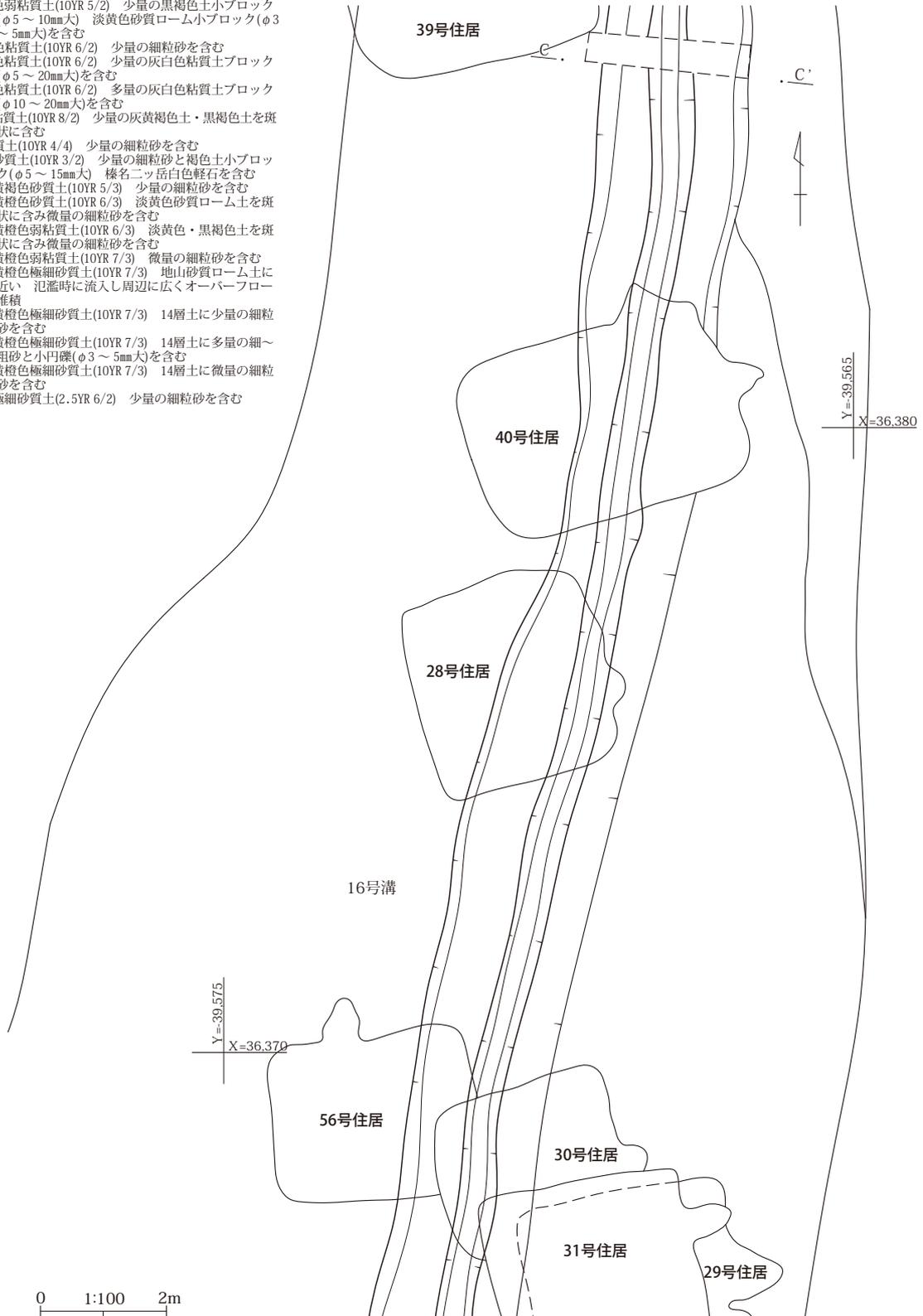
### 第3章 検出遺構と出土遺物

#### 1・2区16号溝(3)



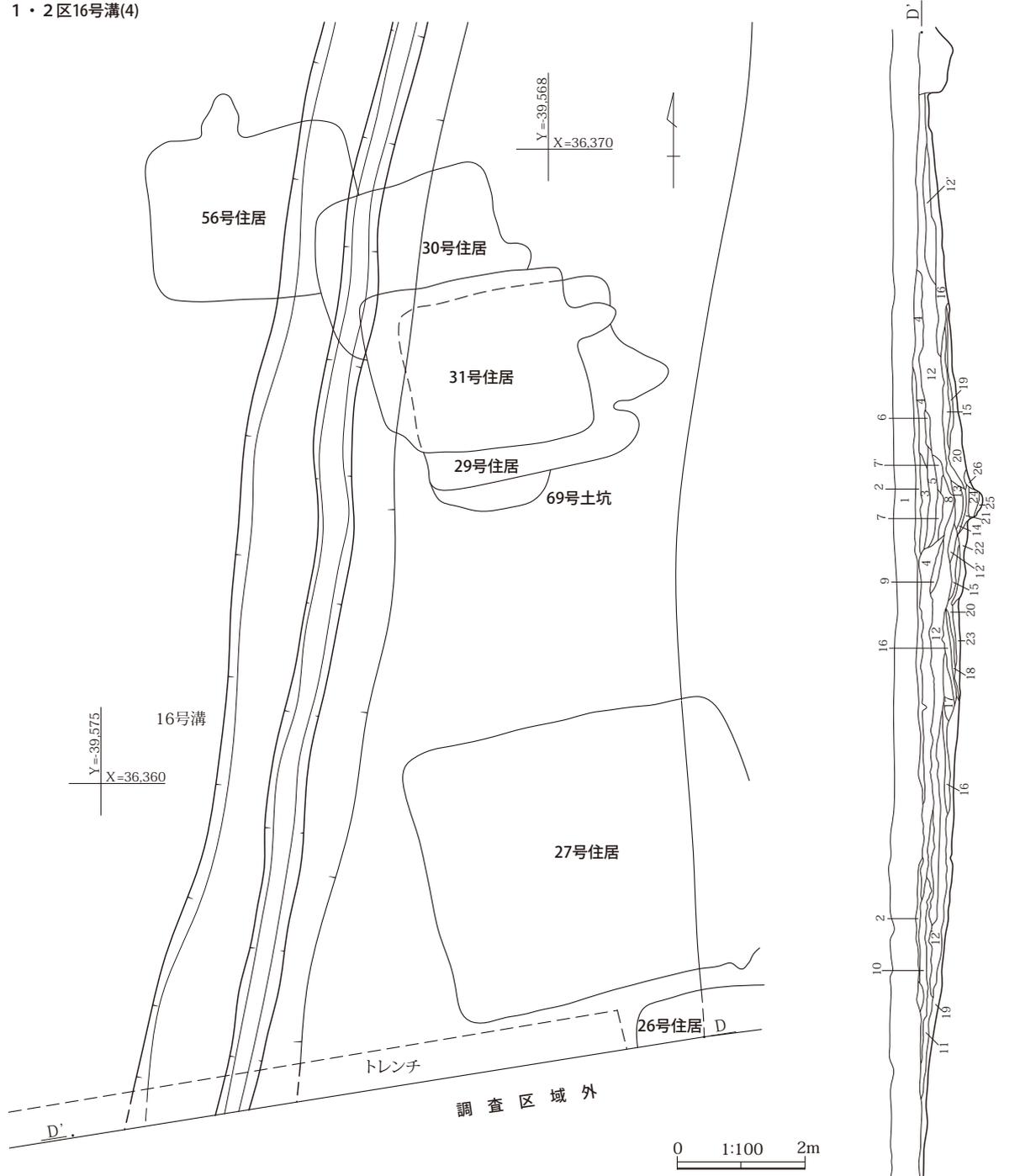
#### 16号溝 埋土(C-C')

- 1層 にぶい黄褐色砂質土(10YR 5/3) 多量の細粒砂を含む
- 2層 にぶい黄褐色砂質土(10YR 6/3) 少量の細粒砂を含む
- 3層 灰黄褐色弱粘質土(10YR 5/2) 少量の黒褐色土小ブロック(φ3~5mm大)を含む 淡黄色砂質ローム小ブロック(φ3~5mm大)を含む
- 4層 灰黄褐色粘質土(10YR 6/2) 少量の細粒砂を含む
- 5層 灰黄褐色粘質土(10YR 6/2) 少量の灰白色粘質土ブロック(φ5~20mm大)を含む
- 6層 灰黄褐色粘質土(10YR 6/2) 多量の灰白色粘質土ブロック(φ10~20mm大)を含む
- 7層 灰白色粘質土(10YR 8/2) 少量の灰黄褐色土・黒褐色土を斑状に含む
- 8層 褐色砂質土(10YR 4/4) 少量の細粒砂を含む
- 9層 黒褐色砂質土(10YR 3/2) 少量の細粒砂と褐色土小ブロック(φ5~15mm大) 椽名ニッ岳白色軽石を含む
- 10層 にぶい黄褐色砂質土(10YR 5/3) 少量の細粒砂を含む
- 11層 にぶい黄褐色砂質土(10YR 6/3) 淡黄色砂質ローム土を斑状に含み微量の細粒砂を含む
- 12層 にぶい黄褐色弱粘質土(10YR 6/3) 淡黄色・黒褐色土を斑状に含み微量の細粒砂を含む
- 13層 にぶい黄褐色弱粘質土(10YR 7/3) 微量の細粒砂を含む
- 14層 にぶい黄褐色極細砂質土(10YR 7/3) 地山砂質ローム土に近い 氾濫時に流入し周辺に広くオーバーフロー堆積
- 15層 にぶい黄褐色極細砂質土(10YR 7/3) 14層土に少量の細粒砂を含む
- 16層 にぶい黄褐色極細砂質土(10YR 7/3) 14層土に多量の細~粗砂と小円礫(φ3~5mm大)を含む
- 17層 にぶい黄褐色極細砂質土(10YR 7/3) 14層土に微量の細粒砂を含む
- 18層 灰黄色極細砂質土(2.5YR 6/2) 少量の細粒砂を含む



第579図 1・2区16号溝平・断面図(3)

1・2区16号溝(4)



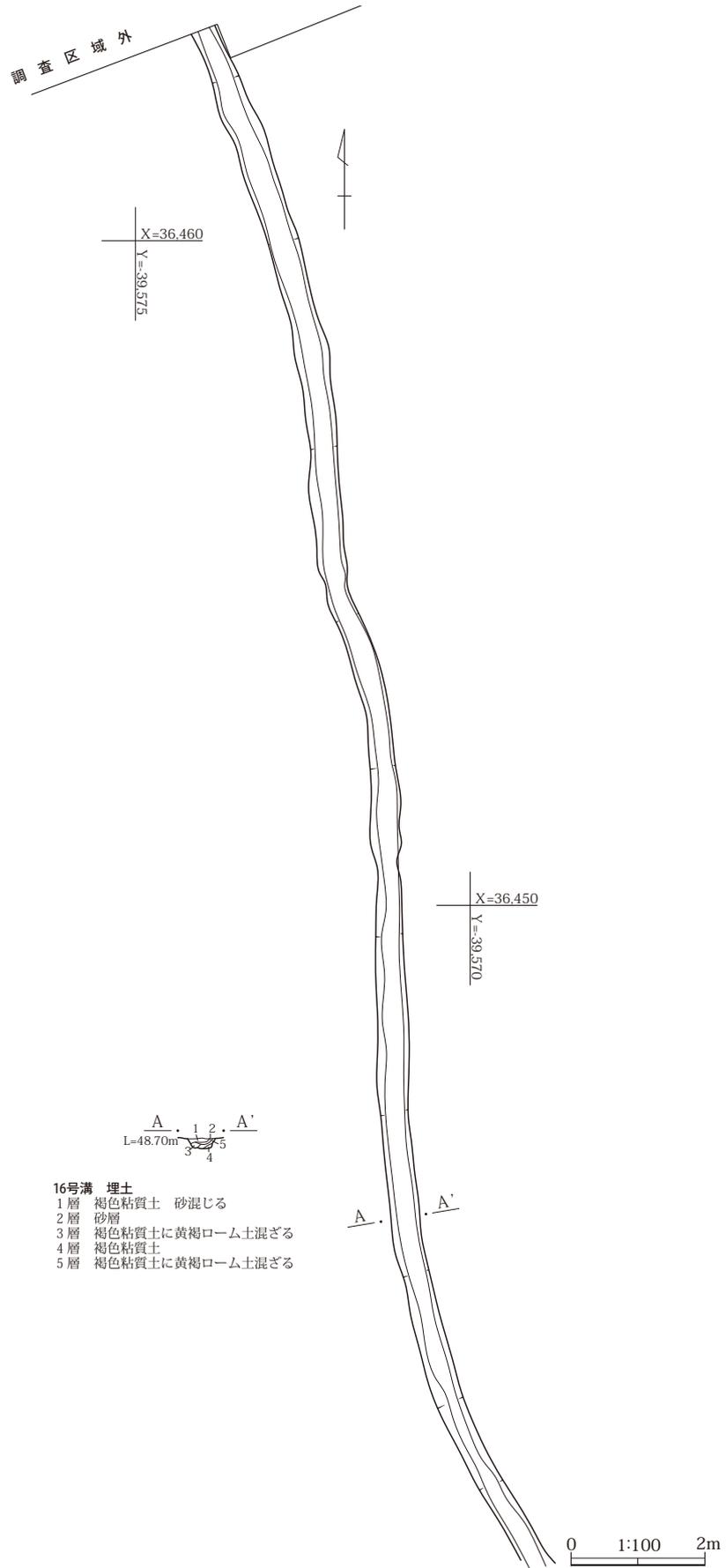
16号溝 埋土(D-D')

- |  |   |
|--|---|
| 1層 表土  | 13層 にぶい黄褐色弱粘質土(10YR 4/3) 微量の細粒砂を含む      |
| 2層 灰黄褐色砂質土(10YR 5/2) 微量の榛名ニッ岳白色軽石・焼土粒子を含む            | 14層 褐灰色弱粘質土(10YR 4/1) 微量の細粒砂を含む         |
| 3層 黒褐色砂質土(10YR 3/2) 多量の榛名ニッ岳白色軽石を含む                  | 15層 水性堆積細粒砂層                            |
| 4層 灰黄褐色砂質土(10YR 4/2) 多量の榛名ニッ岳白色軽石を含む                 | 16層 灰褐色弱粘質土(5YR 5/2)                    |
| 5層 にぶい黄褐色砂質土(10YR 5/3) 少量の粗粒砂を含む                     | 17層 にぶい黄褐色粘質土(10YR 7/2)                 |
| 6層 暗灰黄色砂質土(2.5YR 4/3) 少量の粗粒砂を含む                      | 18層 黒色弱粘質土(10YR 2/1) 微量の浅間白色軽石(As-C)を含む |
| 7層 褐灰色弱粘質土(10YR 4/1) 灰白色粘質土を斑状に含む                    | 19層 灰白色粘質土(10YR 8/2) 微量の細粒砂を含む          |
| 7層 褐灰色弱粘質土(10YR 4/1) 7層土より色調やや明るい                    | 20層 灰黄褐色粘質土(10YR 5/2) 微量の細粒砂を含む         |
| 8層 黒褐色弱粘質土(10YR 3/2) 多量の榛名ニッ岳白色軽石を含む                 | 21層 にぶい黄褐色弱粘質土(10YR 7/3) 微量の細粒砂を含む      |
| 9層 灰黄褐色砂質土(10YR 4/2) 多量の粗粒砂・小円礫を含む                   | 22層 灰黄褐色砂層(10YR 5/2) 少量の小円礫・粗粒砂を含む      |
| 10層 にぶい黄褐色砂質土(10YR 5/3) 微量の榛名ニッ岳白色軽石を含む              | 23層 細～粗粒砂層                              |
| 11層 にぶい黄褐色弱粘質土(10YR 5/3) 微量の榛名ニッ岳白色軽石を含む             | 24層 灰黄褐色弱粘質土(10YR 5/2) 少量の細粒砂を含む        |
| 12層 にぶい黄褐色細砂質土(10YR 7/3) 微量の榛名ニッ岳白色軽石を含む=泥濘オーバーロー堆積土 | 25層 灰黄褐色弱粘質土(10YR 5/2) 多量の細粒砂を含む        |
| 12層 にぶい黄褐色細砂質土(10YR 7/3) 12層土と16層土の混土                |   |

第580図 1・2区16号溝平・断面図(4)

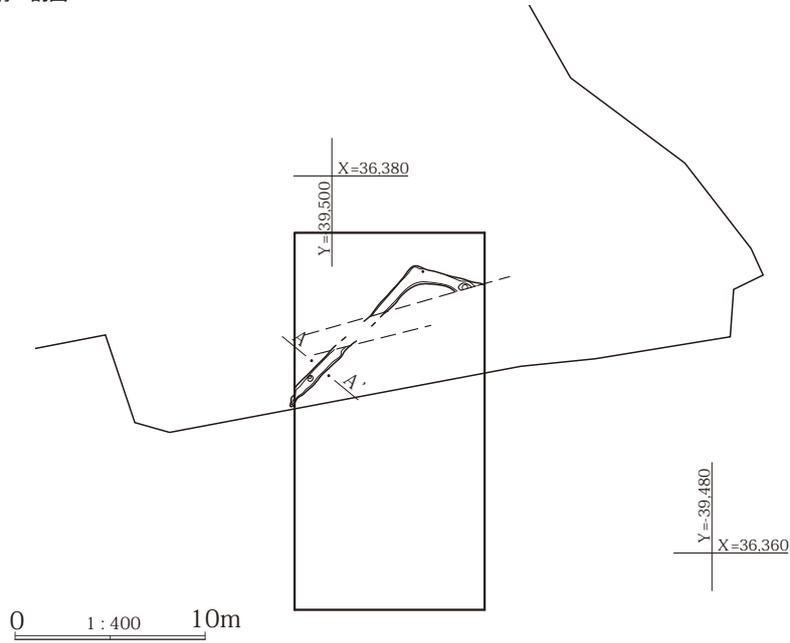
第3章 検出遺構と出土遺物

3区16号溝

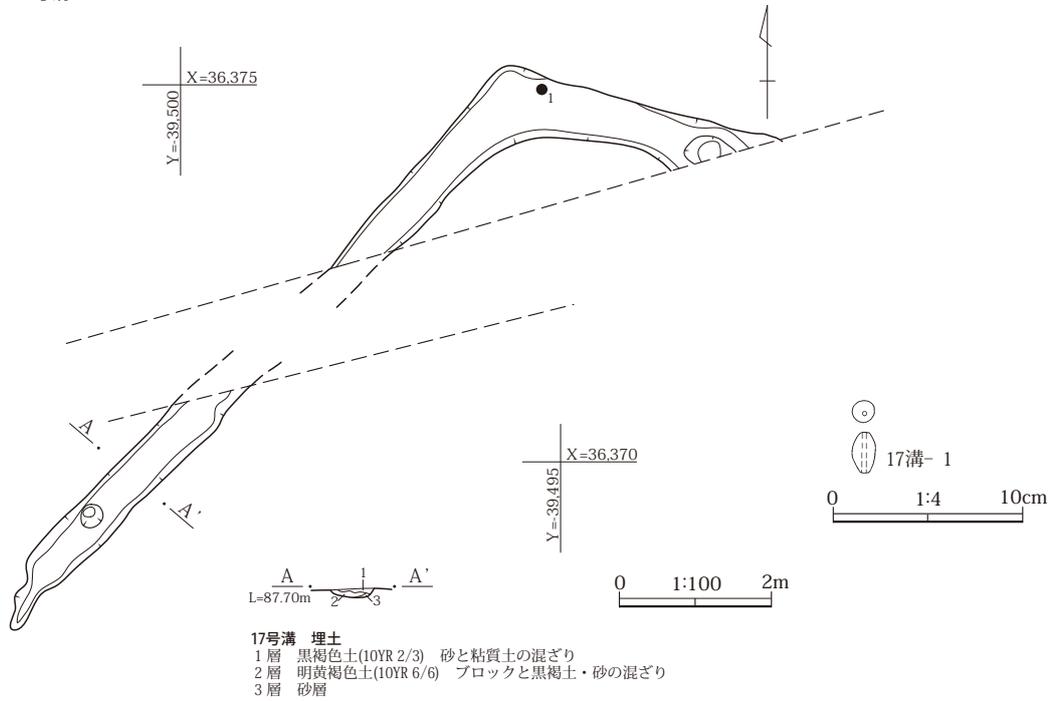


第581図 3区16号溝跡平・断面図

1・2区17号溝 割図



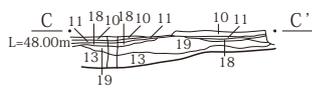
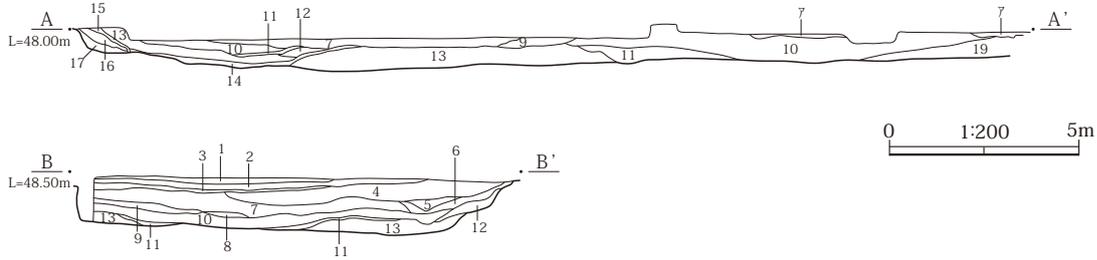
1・2区17号溝



第582図 1・2区17号溝跡平・断面図、出土遺物

### 第3章 検出遺構と出土遺物

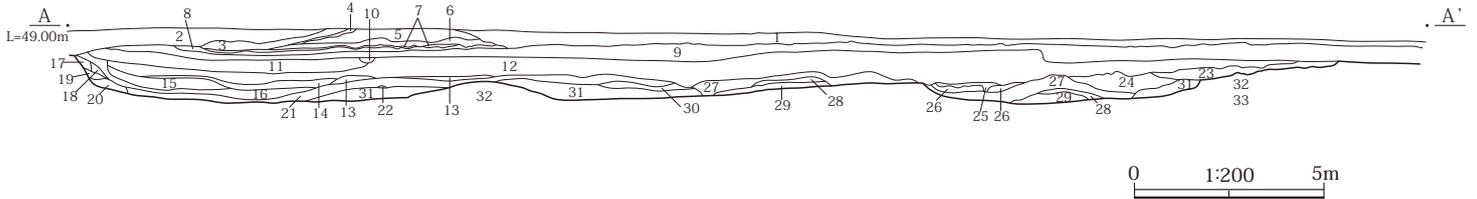
#### 1・2区 氾濫跡



#### 氾濫沢 埋土

- 1層 浅間B軽石層 氾濫後、時間経過の後の窪地に降下推積したものと思われ、水による影響は受けるものの灰色・灰赤色のアッシュをラミナ状に伴うことから、一次推積に極めて近い状態と考えられる。
- 2層 黒褐色土(10YR 3/1) 氾濫後の推積土壌(氾濫とAs-B降下時までの間層)
- 3層 にぶい黄褐色砂質土(10YR 6/3) 少量の細粒砂を含む
- 4層 にぶい黄褐色砂質土(10YR 6/3) 少量の小円礫(φ20～40mm大)を含む
- 5層 にぶい黄褐色砂質土(10YR 5/3)
- 6層 浅黄色砂質土(2.5Y 7/3)
- 7層 灰黄色砂質土(2.5Y 6/2)
- 8層 浅黄色シルト質土(2.5Y 7/3)
- 9層 細～粗粒砂層
- 10層 灰黄色砂質土(2.5Y 6/2) 極細粒砂を含む
- 11層 灰黄色シルト土(2.5Y 7/2)
- 12層 明黄褐色土(2.5Y 7/6) 多量の細粒砂を含む
- 13層 灰オリーブ砂質土(5Y 6/2) 細粒砂層をラミナ状に含む
- 14層 灰黄色シルト質土(2.5Y 7/2)
- 15層 灰オリーブ砂質土(5Y 6/2) 多量の褐色砂質土ブロックを含む
- 16層 褐灰色砂質土(10YR 6/1)
- 17層 褐灰色シルト質土(10YR 6/1)
- 18層 灰黄色砂質土(2.5Y 6/2)
- 19層 砂礫層 細～粗粒砂と粗砂・小円礫層・相互推積層
- ア層 灰黄色砂質土(2.5Y 6/2) 多量の黒褐色砂質土ブロックを含む

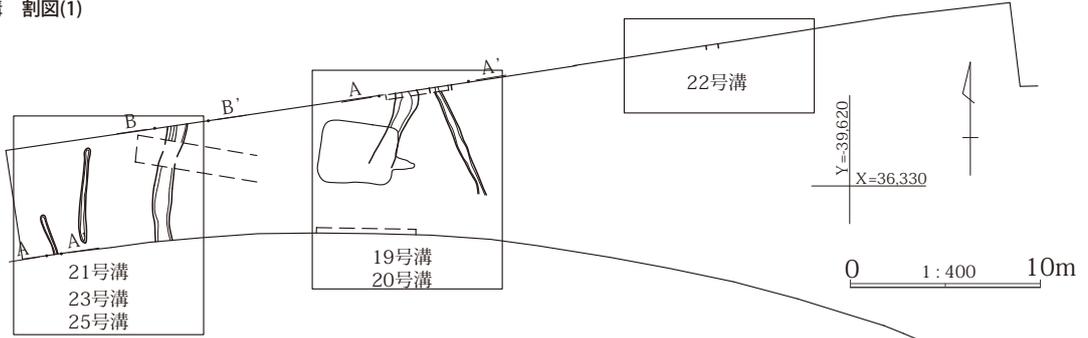
#### 3区 氾濫跡



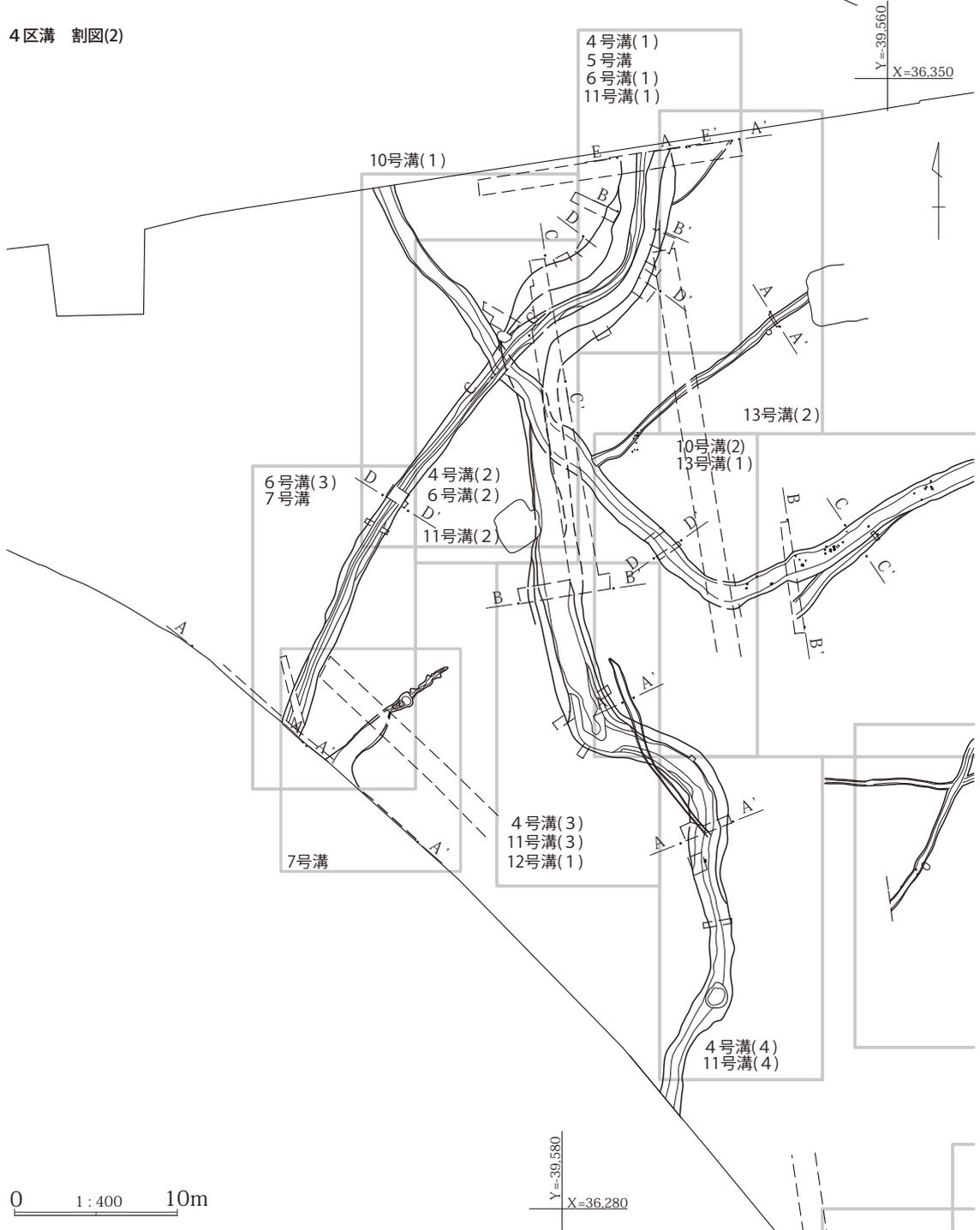
- 1層 現代耕作土
- 2層 現代耕作土
- 3層 褐灰色土(10YR 5/2) 白色軽石(As-C)・暗褐色土粒子を含む
- 4層 褐灰色土(10YR 5/2) 暗褐色土粒子を含む
- 5層 黒褐色土(10YR 3/2) 少量の礫を含む
- 6層 黒褐色土(10YR 3/2) 少量の礫を含む 浅黄褐色土粒子を含む
- 7層 褐灰色土(10YR 2/1) 白色軽石(As-B)を帯状含む
- 8層 褐灰色土(10YR 2/1) As-B層
- 9層 褐灰色土(10YR 2/1) 粘質土
- 10層 にぶい黄褐色砂質土(10YR 4/3)
- 11層 にぶい黄褐色砂質土(10YR 5/3) 暗褐色土粒子を含む
- 12層 にぶい黄褐色砂質土(10YR 5/3) 褐色土粒子を含む
- 13層 にぶい黄褐色砂質土 砂の粒子を多く含む
- 14層 にぶい黄褐色砂質土(10YR 6/3) 砂の粒子・褐色土粒子を含む
- 15層 にぶい黄褐色砂質土(10YR 6/3) 砂の粒子・褐色土粒子を多く含む
- 16層 にぶい黄褐色砂質土(10YR 6/3) 砂の粒子・褐色土粒子を多く含む
- 17層 にぶい黄褐色砂質土(10YR 6/3) 黒色土粒子を含む
- 18層 にぶい黄褐色砂質土(10YR 6/3) 黒色土粒子を含む
- 19層 にぶい黄褐色砂質土(10YR 6/3) ローム粒子を含む
- 20層 黒褐色粘質土(10YR 3/4) ロームを多く含む
- 21層 砂利層
- 22層 砂利層 灰黄褐色砂質土粒子を含む
- 23層 砂利層 褐色砂質土粒子を含む 黒褐色砂質土粒子を帯状に含む
- 24層 砂礫層 φ5～20mmの礫を含む
- 25層 砂利層
- 26層 灰黄褐色砂質土(10YR 4/2) にぶい黄褐色土粒子・褐色土砂質土粒子を含む 粘質性
- 27層 砂層 褐色砂質土粒子を含む 黒色砂質土粒子を帯状に含む
- 28層 砂礫層 φ5～10mmの礫を含む
- 29層 にぶい黄褐色砂質土(10YR 5/3) 褐色砂質土粒子を多く含む 下部に砂利を帯状に含む
- 30層 砂礫層 φ1～5mmの礫を含む
- 31層 にぶい黄褐色砂質土(10YR 7/2) 褐色砂質土粒子を含む 黒褐色砂質土粒子を帯状に含む
- 32層 礫層
- 33層 砂礫層

第583図 1・2・3区氾濫・決潰跡断面図

4区 溝 割図(1)

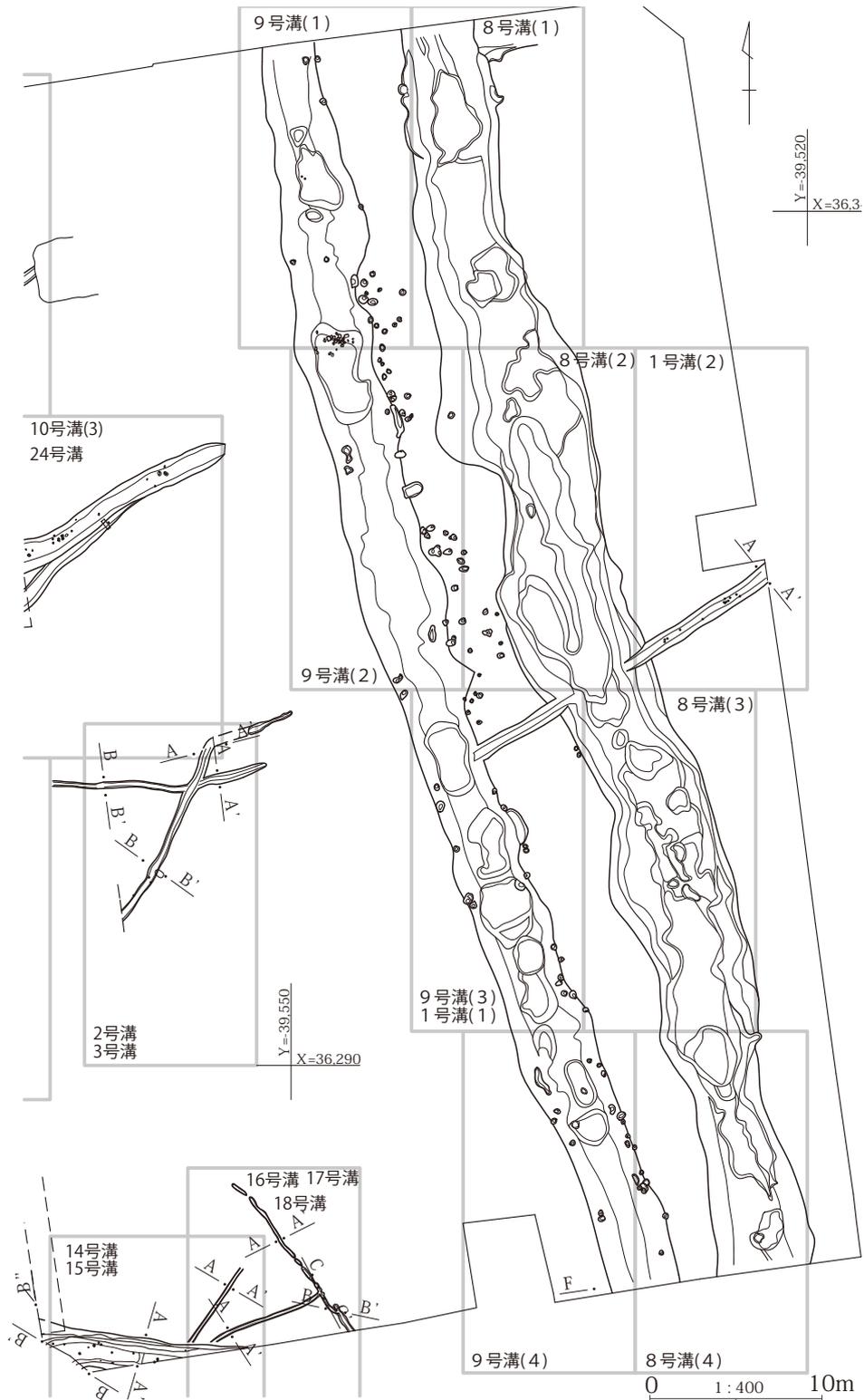


4区 溝 割図(2)



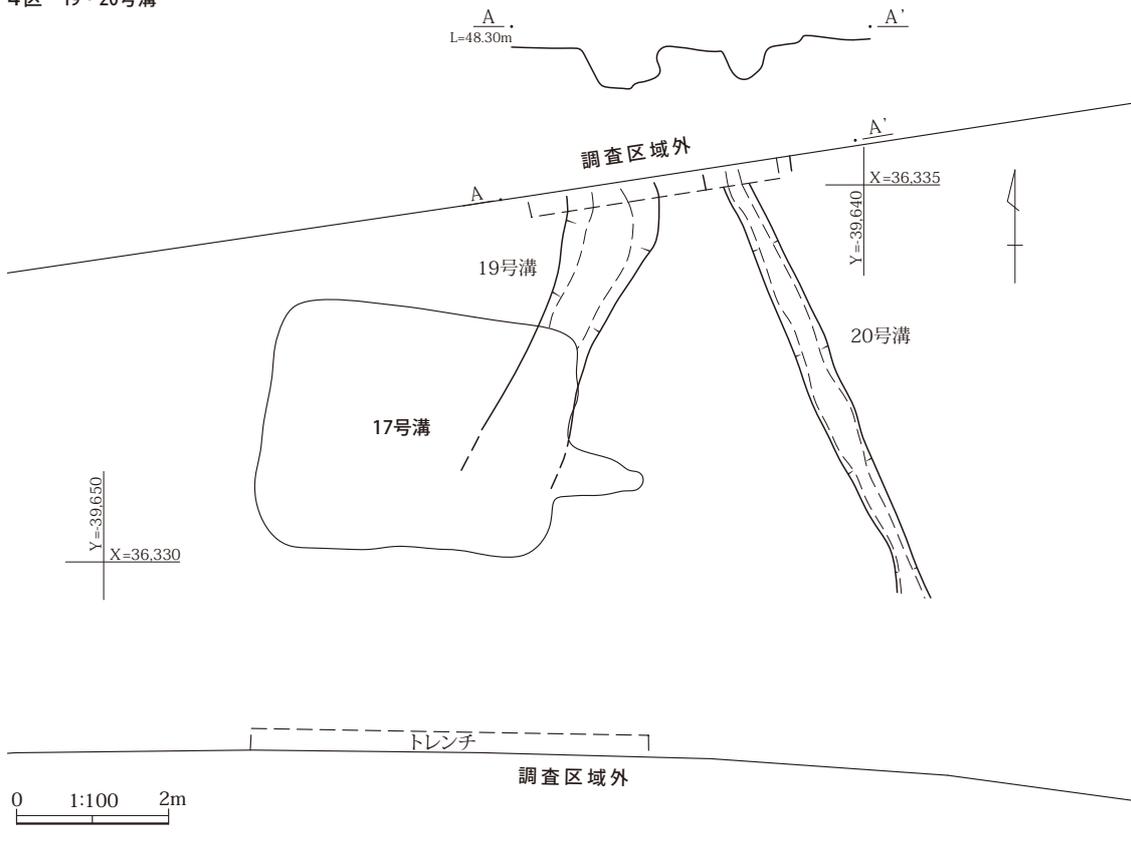
第584図 4区溝跡割図(1)・(2)

4区溝 割図(3)

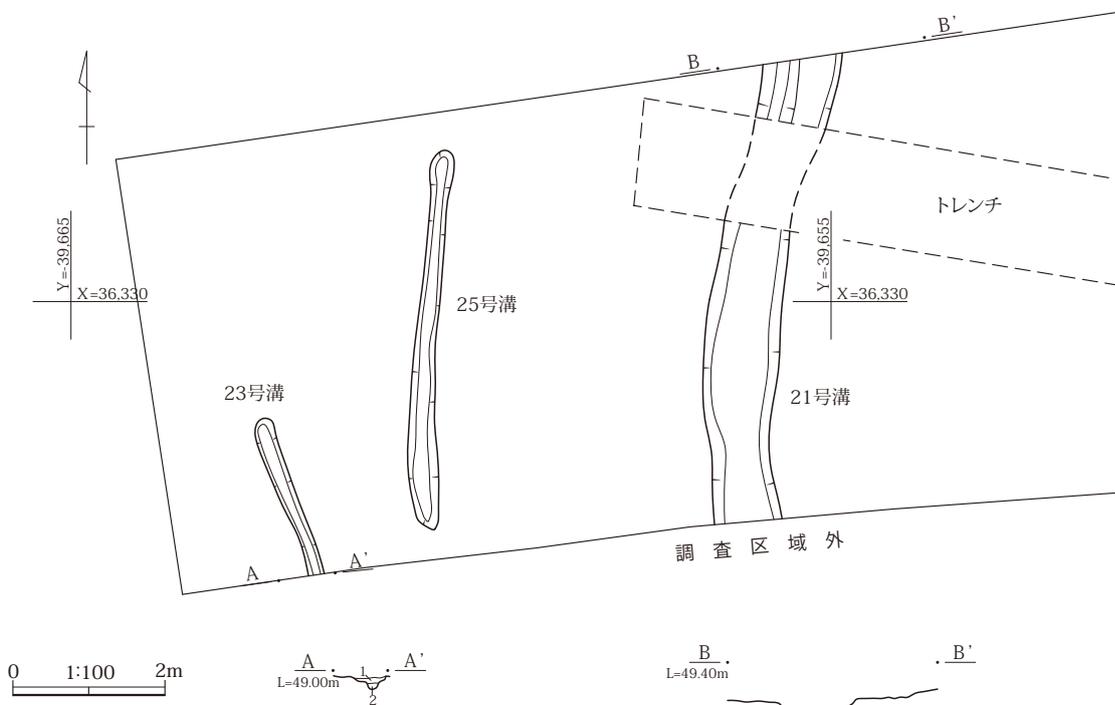


第585图 4区溝跡割図(3)

4区 19・20号溝



4区 21・23・25号溝

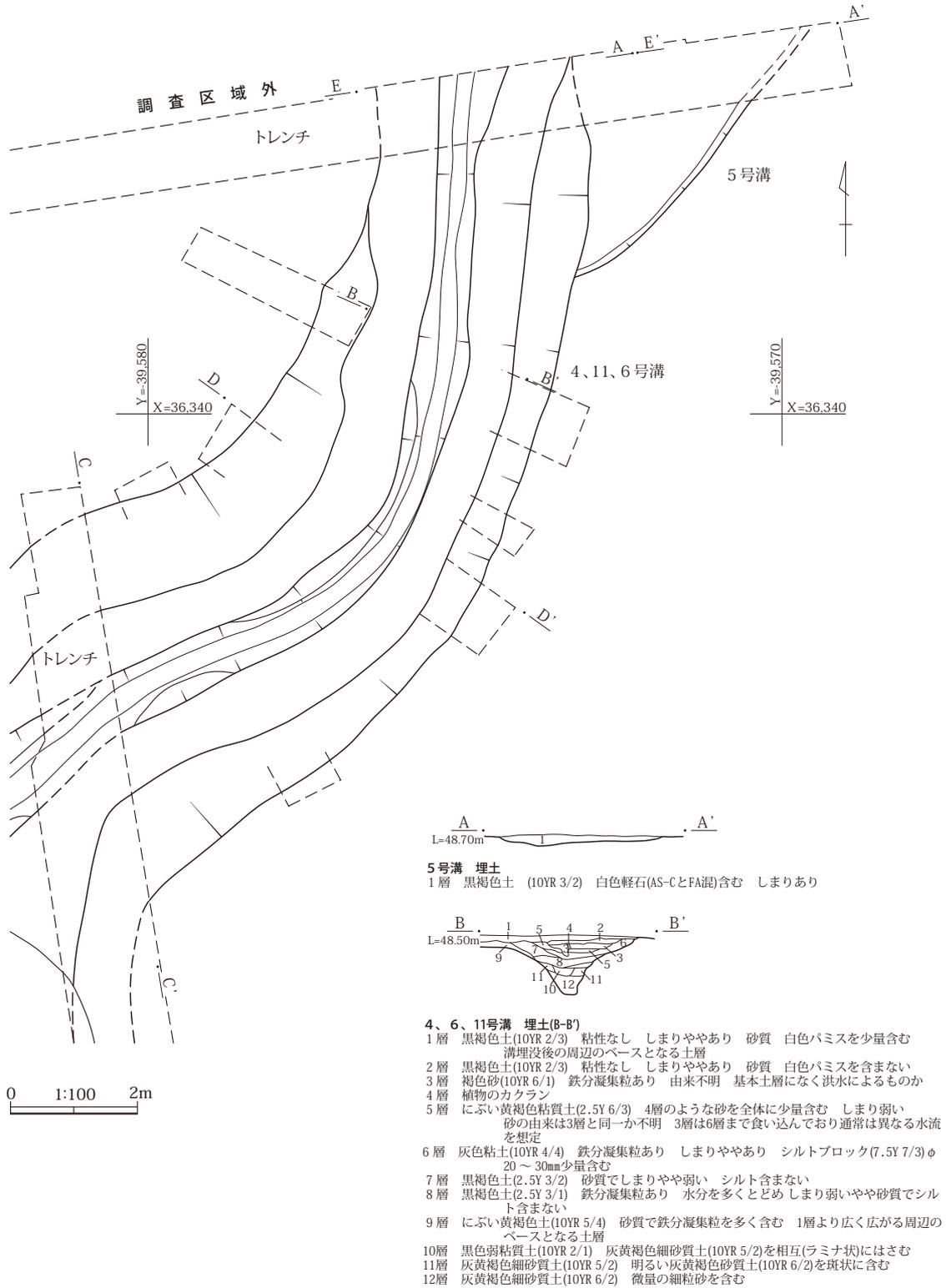


- 23号溝 埋土  
 1層 黒褐色土(10YR 2/2) 白色軽石・黒色土ブロック(φ2mm)を少量含む ロームブロック(φ5mm)を含む  
 2層 黒褐色土(10YR 2/2) 暗褐色土粒子を少量含む

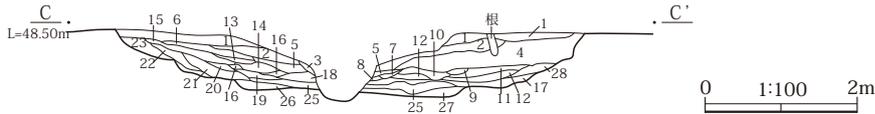
第586図 4区19・20・21・23・25号溝跡平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物

4区 4号溝(1)・5号溝・6号溝(1)・11号溝(1)

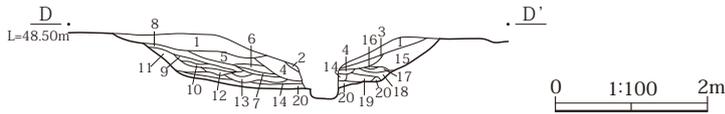


第587図 4区4号溝跡平・断面図(1)、5・6号溝平・断面図(1)、11号溝跡平・断面図(1)



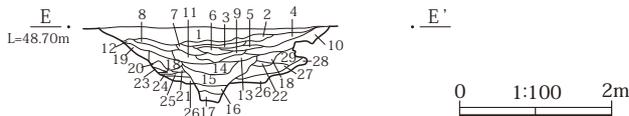
11号溝 埋土(C-C')

- 1層 黒褐色土(2.5Y 3/2) 粘性なし しまりあり φ5mm以下の礫とφ1mm程のパミスを微量含む
- 2層 暗灰黄色土(2.5Y 4/2) 粘性なし しまりやや弱い
- 3層 黒褐色土(2.5Y 3/1) 粘性なし しまりややあり Dラインの2層相当 6溝の掘り残しか
- 4層 暗灰黄色土(2.5Y 4/2) 2層に類似するが黄味が強い
- 5層 黒褐色土(2.5Y 3/2) 粘性なし しまりやや弱い 暗灰黄色粗砂・細砂を全体に多量含む
- 6層 黄灰色土(2.5Y 4/1) 粘性なし しまりやや弱い 暗灰黄色粗砂・細砂を全体に多量含む
- 7層 暗灰黄色粗砂を主体に細砂少量含む しまりやや弱い
- 8層 7層にφ5mm以下の礫をやや多量含む
- 9層 黄灰色土(2.5Y 4/1) 粘性なし しまりやや弱い
- 10層 灰黄色土(5Y 4/1) シルト質 しまり弱い 4層土ブロックφ20mm以下少量含む
- 11層 黄灰色土(2.5Y 4/1) 粘性なし しまりややあり シルト質
- 12層 灰黄色土(5Y 4/1) しまりやや弱い 灰黄色粘土(2.5Y 7/2)で全体に汚れる
- 13層 暗灰黄色土(2.5Y 5/2) 浅黄色(2.5Y 7/4)粗砂・粗砂を全体に多量含む
- 14層 暗灰黄色土(2.5Y 5/2) 13層に類似 砂が多(50%)
- 15層 暗灰黄色土(2.5Y 5/2) 13層に類似 砂やや多量
- 16層 黄灰色土(2.5Y 4/1)を中心とした粗砂・細砂
- 17層 黄灰色土(2.5Y 4/1) 粘性なし しまりやや弱い
- 18層 黄灰色土(2.5Y 4/1) 17層に類似 暗灰黄色粗砂・細砂を全体にやや多量含む
- 19層 灰黄色土(5Y 4/1) 浅黄色(2.5Y 7/3)粘土 φ10mm程少量含む
- 20層 19層の黄色粘土微量
- 21層 灰黄色細砂 しまりやや弱い
- 22層 暗灰黄色土(2.5Y 4/2) 粘性なし しまりややあり
- 23層 暗灰黄色土(2.5Y 4/2) 22層に類似 やや黄味が強い
- 24層 暗灰黄色土(2.5Y 4/2) 22層に類似 白色味が強い
- 25層 灰黄色土(2.5Y 4/1) しまりややあり シルト質
- 26層 灰黄色細砂(2.5Y 6/2)とφ10mm以下の礫・粗砂の混層
- 27層 灰黄色土(5Y 4/1) 粗砂を主体にφ20mm以下の礫やや多量含む
- 28層 黄灰色土(2.5Y 4/1) 11層に類似 ややキメ粗い



11号溝 埋土(D-D')

- 1層 黒褐色土(2.5Y 3/2) 粘性なし しまりあり φ5mm以下の礫とφ1mm程のパミスを微量含む
- 2層 黒褐色土(2.5Y 3/1) 粘性なし しまりややあり やや砂質 4層の土で全体が少し汚れる
- 3層 暗灰黄色土 粘性なし しまりあり
- 4層 暗灰黄色土(2.5Y 5/2) 粘性なし しまりややあり 灰黄色粘土(2.5Y 7/2)粒φ10mm以下少量含む
- 5層 黄灰色土(2.5Y 4/1) 粘性なし しまりややあり
- 6層 黒褐色土(2.5Y 3/1) 粘性なし しまりやや弱い
- 7層 灰黄色土(5Y 4/1) 粘性なし しまりやや弱い
- 8層 暗灰黄色土(2.5Y 4/2) 粘性なし しまりやや弱い オリーブ褐色細砂ブロックφ50mm以下やや多量含む この砂で全体にうすく汚れる
- 9層 灰黄色土(5Y 4/1) 7層に類似 キメが細かい
- 10層 灰黄色土(5Y 4/1) 9層より更にキメが細かくシルト質
- 11層 黒褐色土(2.5Y 3/1) 粘性なし しまりややあり 同色細砂を全体的にやや多量含む
- 12層 黄灰色土(2.5Y 4/1) 細砂主体に粗砂やや多量含む φ5mm以下の礫微量含む
- 13層 黄灰色土(2.5Y 4/1) 粘土 しまり弱い φ10mm以下の礫・粗砂をφ40～50mmのブロック状にやや多量含む
- 14層 暗灰黄色土(2.5Y 5/2) 粘性なし しまり弱い 全体に粗砂を少量含む
- 15層 灰黄色土(2.5Y 6/2) 粘性なし しまりあり
- 16層 暗灰黄色土 3層に類似 やや黒味が強い
- 17層 灰黄色土(5Y 4/1) 同色粗砂・細砂を全体に多量含む
- 18層 灰オリーブ細砂 粗砂を全体に少量含む
- 19層 黄灰色土(2.5Y 4/1) 13層に類似 φ30mm以下の礫・灰黄色粗砂・細砂の混合
- 20層 暗灰黄色土 シルト質土 しまり弱い



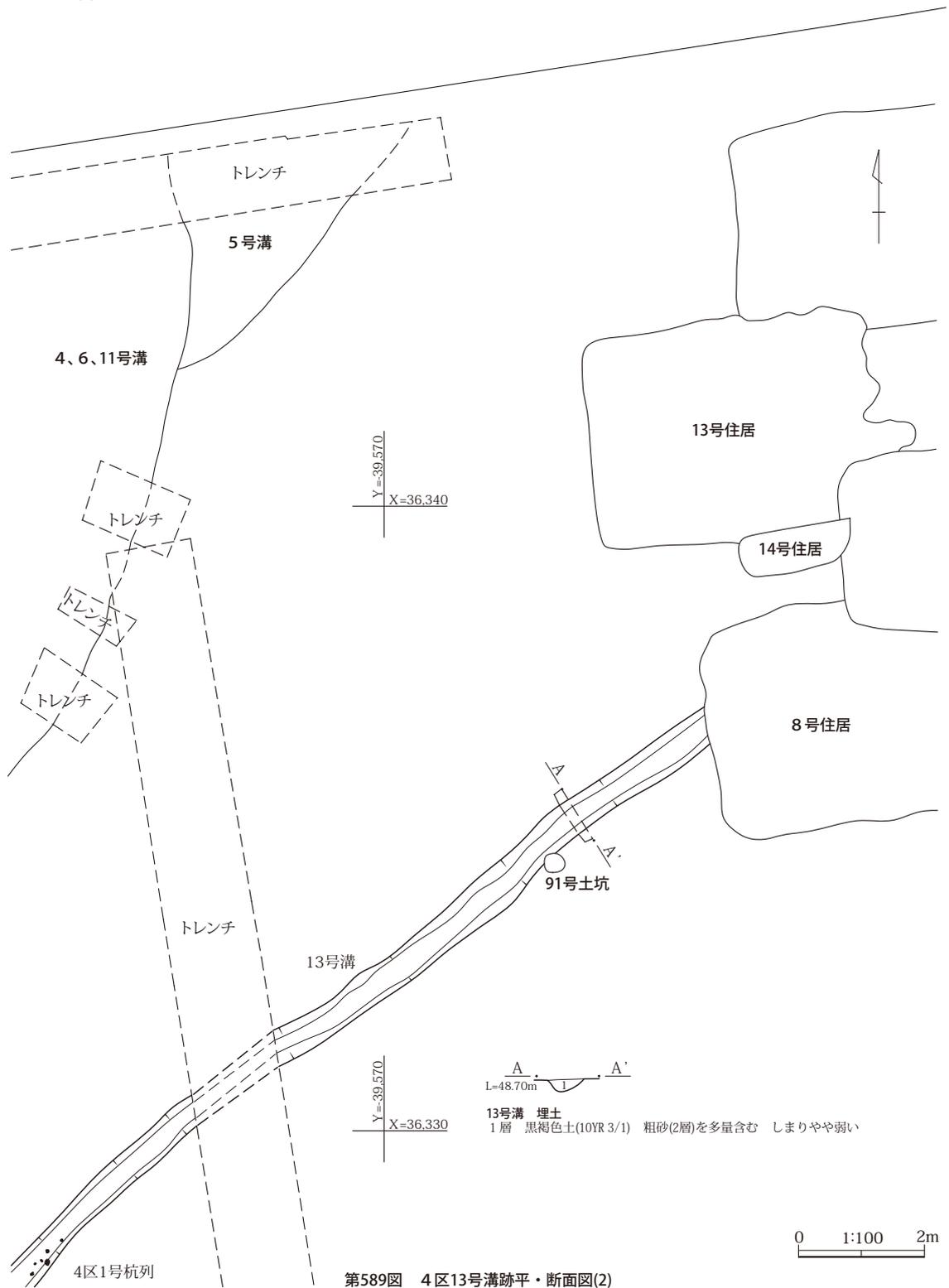
4、6、11号溝 埋土(E-E')

- 1層 黒褐色土(10YR 2/3) 粘性なし しまりあり 上層2/3層にφ50mm以下の白色パミスを少量含む φ10mm以下の明黄褐色土(10YR 6/6)・φ10mm以下のぶい黄褐色土(10YR 7/3)を微量含む
- 2層 暗褐色土(10YR 3/3) 粘性なし しまりあり 粗砂・細砂をφ50mm程のブロック状に多量含む
- 3層 暗灰黄色土(2.5Y 4/2) 粘性ややあり しまりやや弱い 浅黄色粘土(5Y 7/3)ブロックφ20mm以下を多量に含む この土で全体が汚れる
- 4層 浅黄色土(5Y 7/3) 粘性ややあり しまりあり 3層の粘土で全体が汚れる 白色パミスφ1mm程を微量含む
- 5層 浅黄色土(5Y 7/3) 4層に類似 黒味が強く3層の粘土粒φ10mm程少量含む
- 6層 灰白色土(7.5Y 7/2) 粘性ややあり しまりややあり 3層の粘土で全体がうすく汚れる
- 7層 オリーブ黒色土(5Y 3/1) 粘性なし しまりややあり φ1mm程の白色パミスを微量含む
- 8層 黒褐色土(2.5Y 3/1) 白色パミスφ1mm程を微量含む 地山砂質土で全体がうすく汚れる
- 9層 黒色土(2.5Y 2/1) 粘性なし しまりやや弱い 白色パミスφ1mm程を微量含む
- 10層 暗灰黄色土(2.5Y 4/2) 粘性ややあり しまりややあり 白色パミスφ1mm程を微量含む
- 11層 黄灰色土(2.5Y 4/1) 粘性なし しまりややあり 地山砂質土でうすく汚れる
- 12層 暗灰黄色土(2.5Y 4/2) 粘性なし しまりややあり 地山砂質土で全体が強く汚れる
- 13層 暗灰黄色土(2.5Y 4/2) 12層に類似 白味が強い
- 14層 黄灰色土(2.5Y 4/1) 粘性なし しまりあり にぶい黄色土(2.5Y 6/3)粒φ10mm以下少量含む
- 15層 黄灰色土(2.5Y 4/1) 4層に類似 白味が強い やや粘質
- 16層 黄灰色土(2.5Y 4/1) やや粘質 しまり弱い 全体に細砂主体粗砂混じりを多量含む 灰黄褐色弱粘質土(10YR 5/2)細粒砂を含む
- 17層 黄灰色土(2.5Y 4/1) やや粘質 しまりやや弱い
- 18層 灰黄色土(7.5Y 6/1) 粘性なし しまりややあり
- 19層 灰黄色土(7.5Y 6/1) 18層に類似 やや黒味が強い
- 20層 灰黄色土(7.5Y 6/1) 19層に類似 やや黒味が強い
- 21層 灰黄色土
- 22層 φ10mm以下の礫・粗砂・細砂の混合
- 23層 灰黄色土(7.5Y 4/1) 粘性なし しまりややあり シルト質
- 24層 灰黄色土(7.5Y 4/1) 23層に類似 やや黒味が強い
- 25層 灰黄色土 21層に類似 ややキメ細かい
- 26層 φ10mm以下の礫・粗砂・細砂の混合
- 27層 粗砂・細砂にφ5mm程の礫を少量含む
- 28層 灰黄色土(5Y 4/1) やや粘質 しまり弱い
- 29層 27層に類似 粗砂の割合が多く 砂質

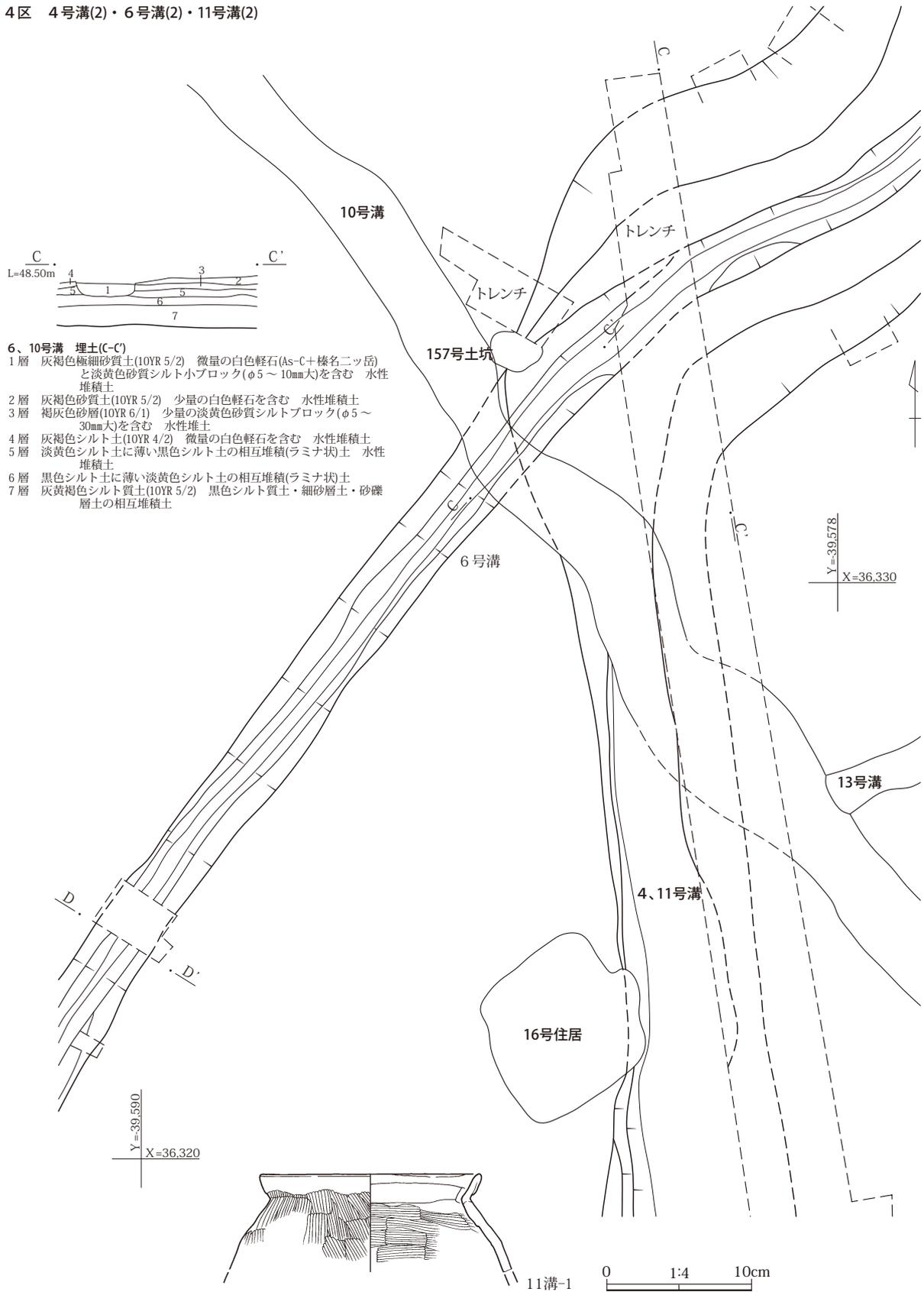
第588図 4区4・5・6・11号溝跡断面図

第3章 検出遺構と出土遺物

4区 13号溝(2)



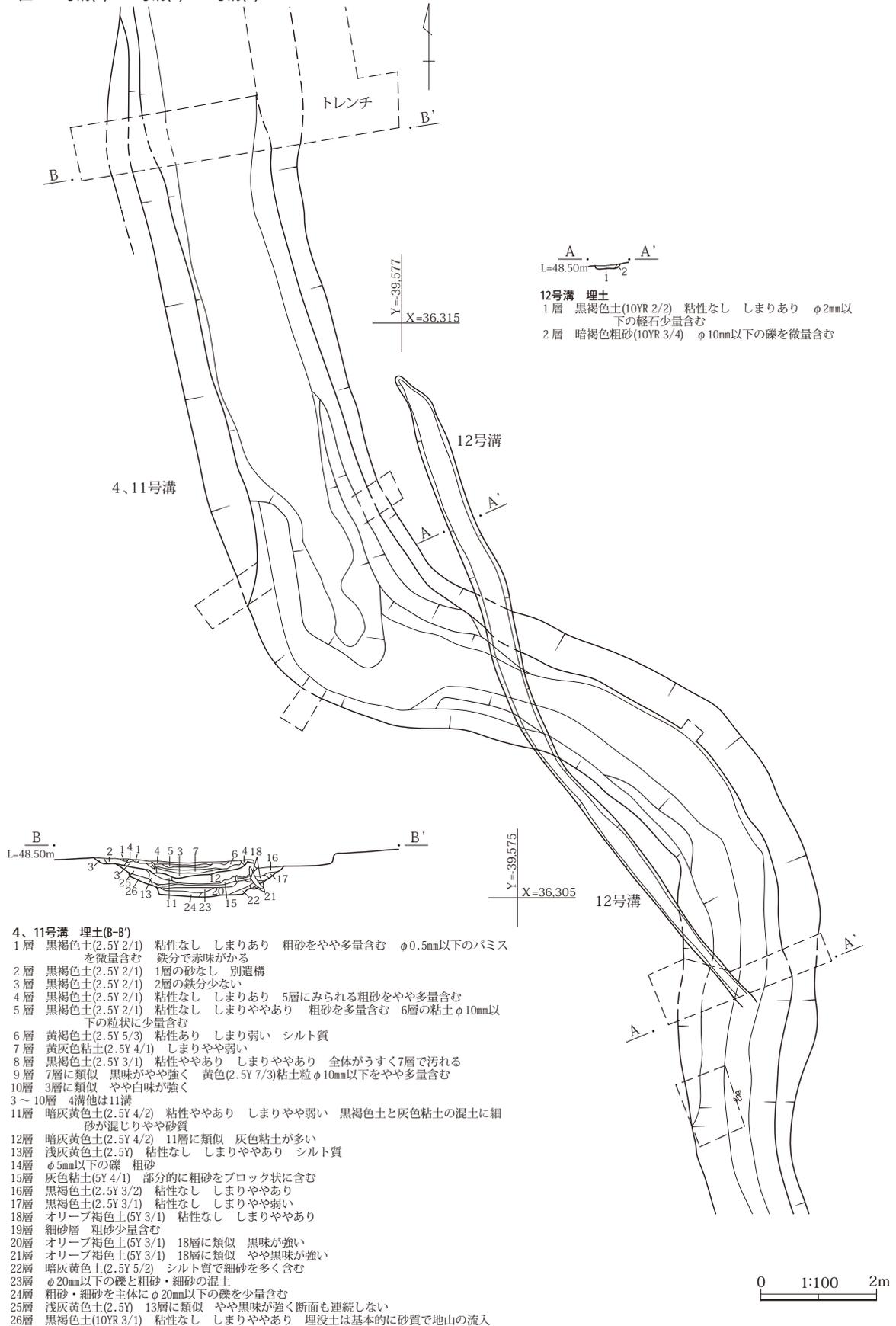
4区 4号溝(2)・6号溝(2)・11号溝(2)



第590図 4区4号溝跡平面図(2)、6号溝平・断面図(2)、11号溝跡平面図(2)、11号溝跡出土遺物

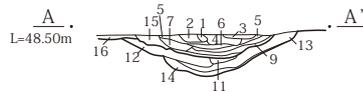
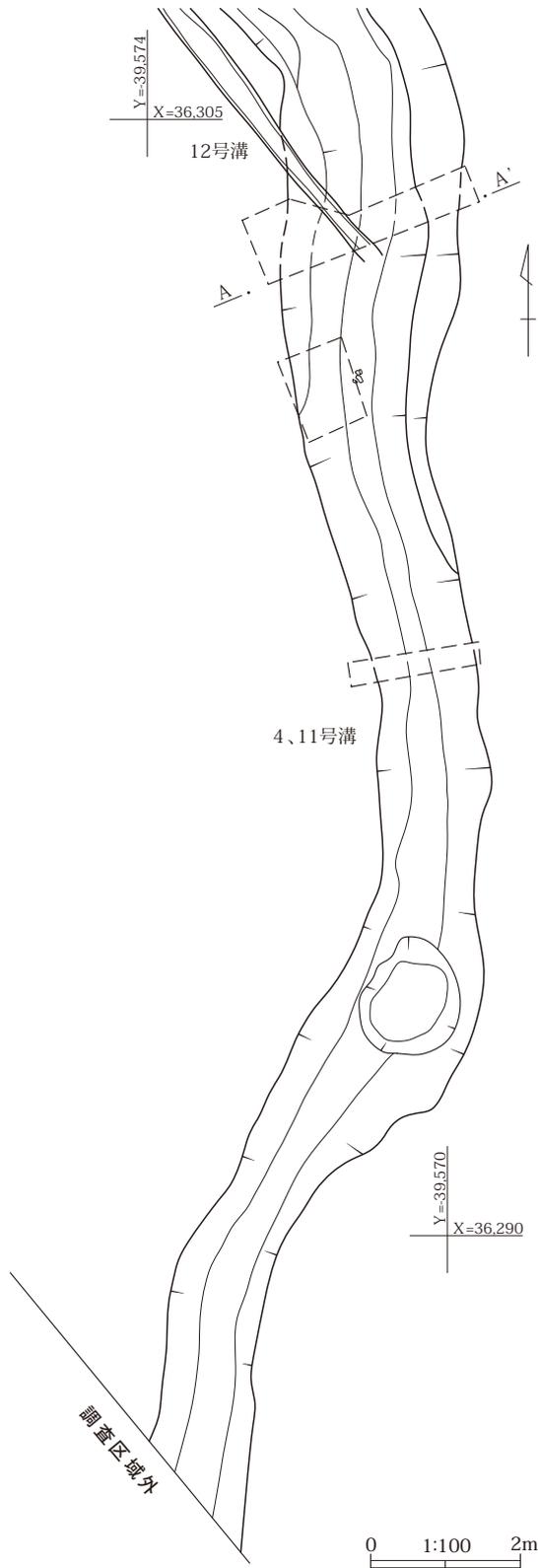
第3章 検出遺構と出土遺物

4区 4号溝(3)・11号溝(3)・12号溝(1)



第591図 4区4号溝跡平・断面図(3)、11号溝跡平・断面図(3)、12号溝跡平・断面図(1)

4区 4号溝(4)・11号溝(4)・12号溝(2)



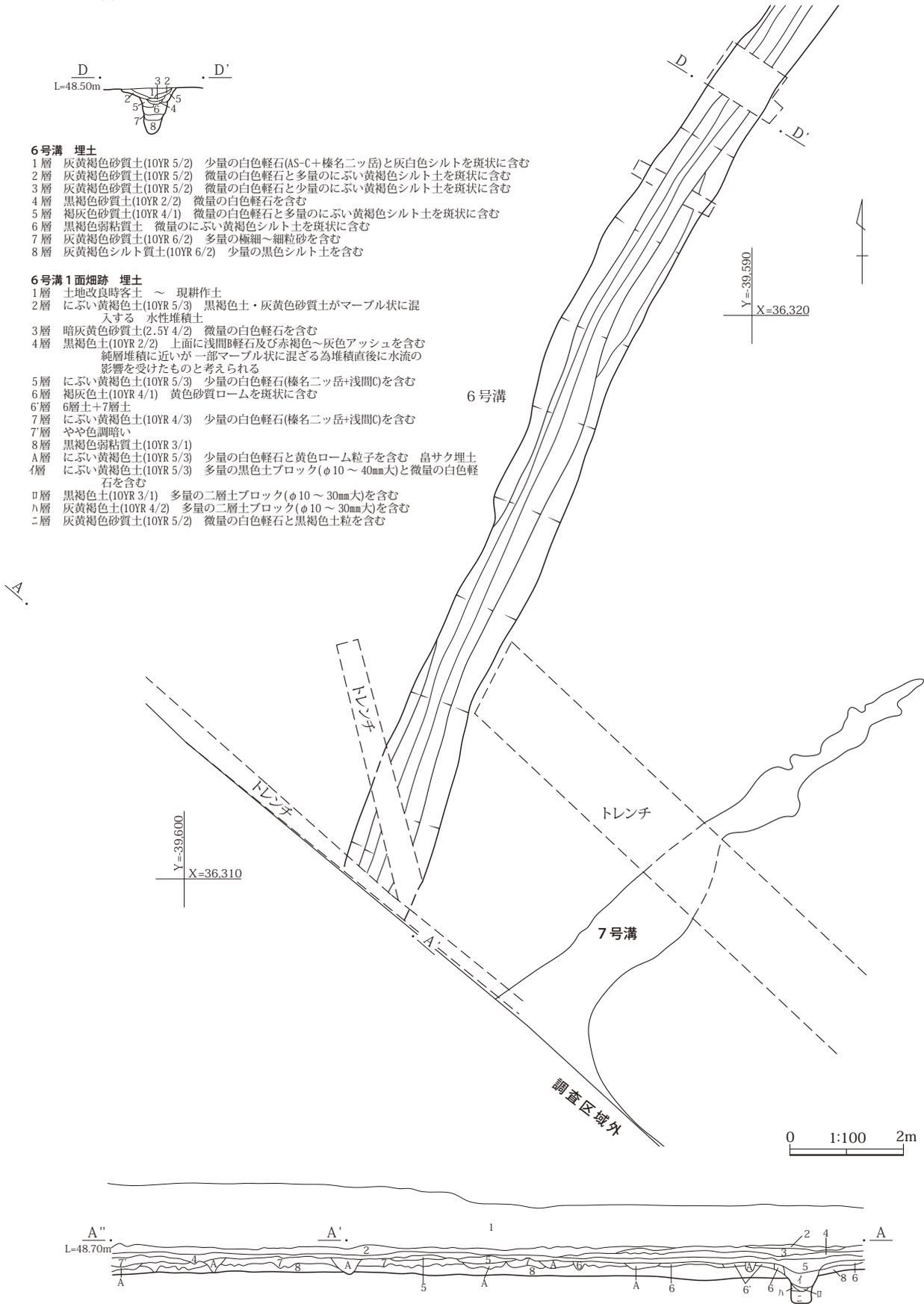
4、11、12号溝 埋土

- 1層 黒褐色土(10YR 2/2) 粘性なし しまりあり 白色のよく発泡した軽石φ5mm以下少量含む  
粗砂・細砂混合多量含む
- 2層 黒褐色土(10YR 2/2) 粘性なし しまりややあり 1層の軽石と砂を全体に微量含む
- 3層 黒褐色土(10YR 2/3) 粘性なし しまりあり 粗砂・細砂混合を多量含む白色発泡軽石φ5mm  
以下を微量含む
- 4層 黒褐色土(10YR 2/3) 粘性なし しまりややあり 3層の砂と軽石を全体に少量含む
- 5層 黒褐色土(10YR 2/3) 4層類似 砂と軽石が微量
- 6層 黒褐色土(10YR 3/2) 粘性なし しまりややあり 軽石φ2mm以下を微量含む
- 7層 黒褐色土(2.5Y 3/1) 粘性あり しまりややあり 灰オーリーブ(5Y 6/2)粘土ブロック φ2mm  
以下を少量含む この土で全体が汚れる
- 8層 灰オーリーブ色土(5Y 6/2) 粘土主体で黒褐色土(10YR 2/3)粘性なししまりややありとφ30mm  
ブロック状や厚1cmのしま状に混じる
- 9層 灰オーリーブ色土(5Y 6/2) 粘土と黒褐色土(10YR 2/3)粘性なし しまりややありの混土で  
一部粘土が厚1cmの带状濃い部分がある
- 10層 黒褐色土(10YR 2/2) 粘性なし しまりやや弱い 白色軽石φ5mm以下微量含む 12層の混土  
で全体にうすく汚れる
- 11層 黒褐色土(2.5Y 3/1) 粘性なし しまりややあり 砂質 12層の混土で10層より強く汚れる
- 12層 黒褐色土(2.5Y 3/2) 粘性なし しまりややあり 砂質 にぶい黄褐色 砂質土と黒褐色土  
の混土 にぶい黄褐色砂質土70% 黒色土30%
- 13層 (2.5Y 4/1.5) 粘土 砂質が強い 12層ブロックφ2mm以下少量含む 黒褐色土で全体にうす  
く汚れ 上層に鉄分凝集粒が目立つ
- 14層 黒褐色土(2.5Y 3/1) 粘性なし しまりなし 砂質 下層の一部を含む φ50mm以下の礫と  
粗砂が厚1cm以下の带状に堆積
- 15層 黒褐色土(2.5Y 3/1) 粘性なし しまりややあり 白色軽石φ2mm 以下微量含む 7層の粘  
土で全体にうすく汚れる
- 16層 黒褐色土(2.5Y 3/1) 粘性なし しまりややあり 砂質 にぶい黄褐色 砂質土で全体が汚  
れる

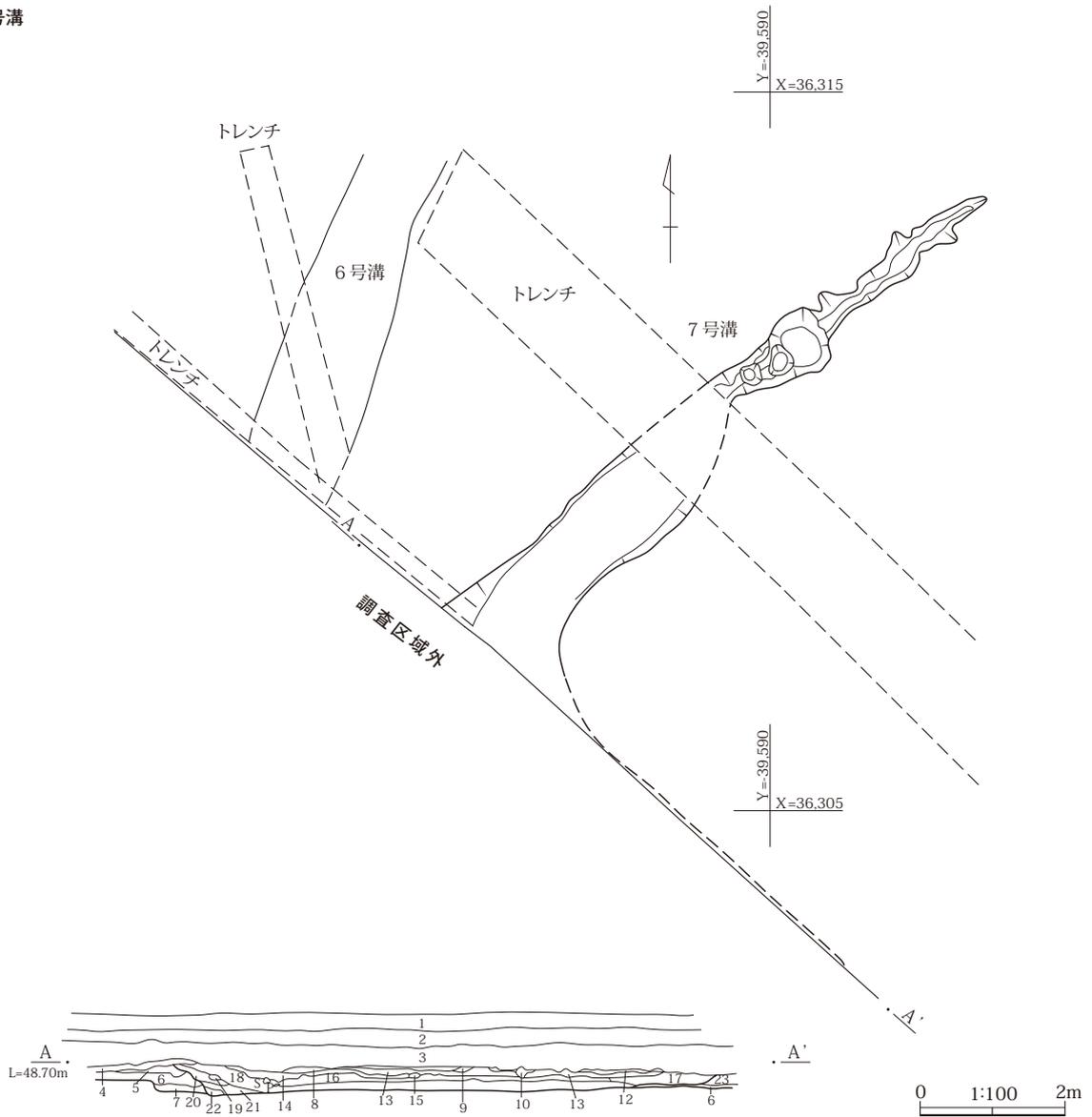
第592図 4区4号溝跡平・断面図(4)、11号溝跡平・断面図(4)、12号溝跡平・断面図(2)

### 第3章 検出遺構と出土遺物

#### 4区 6号溝(3)



4区7号溝



7号溝 埋土

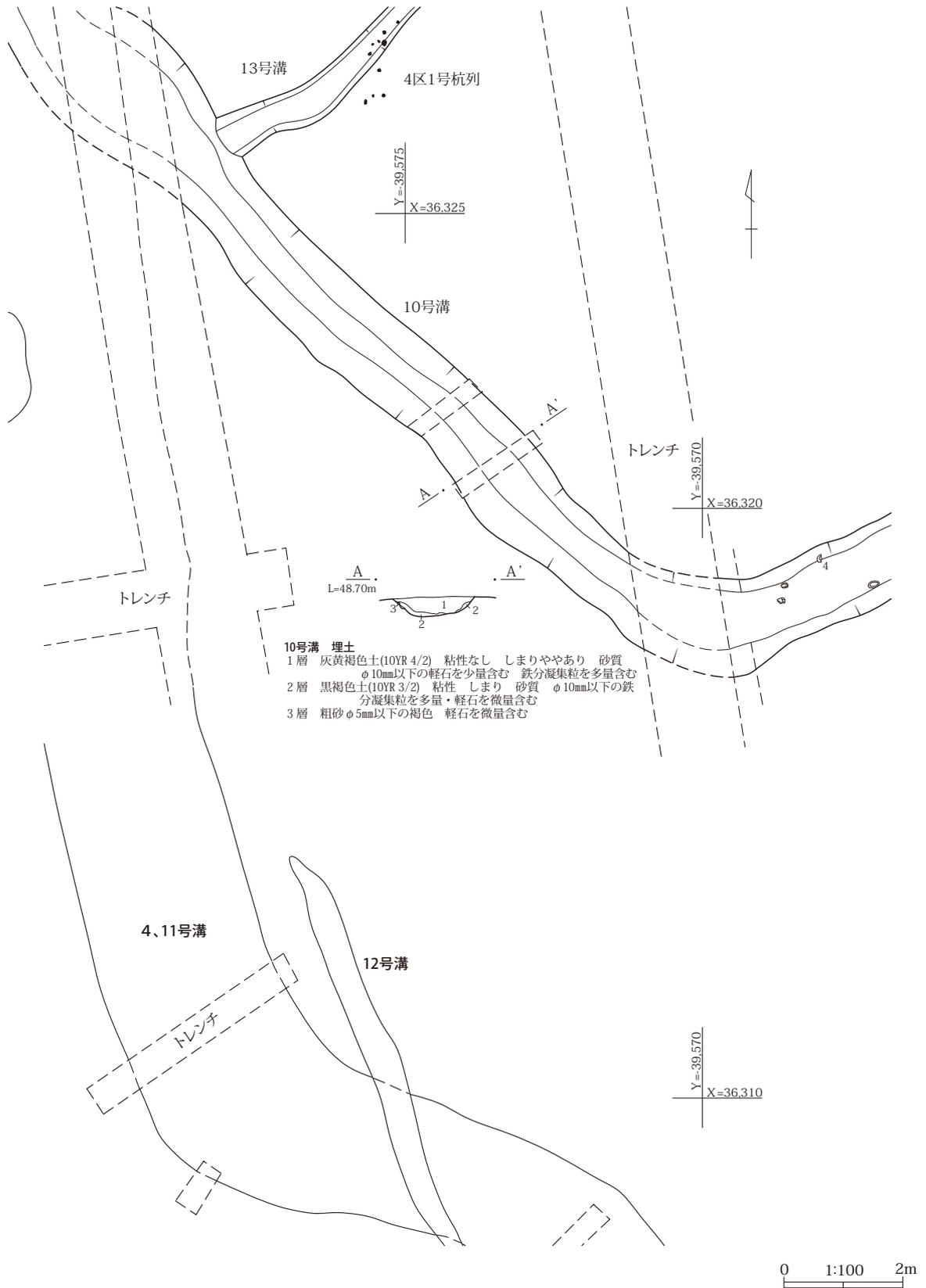
- 1層 水田耕作土 現状は平地 1～3層圃場整備
- 2層 黒褐色土(7.5YR 2/2) 砂質 粘性なし しまりあり 上面に鉄分凝集粒が密な厚4cm程の層を形成 φ50mm以下の河床礫を微量含む
- 3層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 粘性なし しまりあり 砂質 φ50mm以下の河床礫を微量含む 黒褐色土(10YR 3/1)粘性なし しまりありを層状・ブロック状に少量含む 土がかきまわされた様子がうかがえる
- 4層 黄灰色土(2.5Y 4/1) 粘性なし しまりあり 砂質でキメ細かい 鉄分凝集粒φ10mm程を少量含む 木片が1片みられA'のポイントの北1.5cm程で 黒色土とローム混土と乱れたラインで接しており場整備の土であろう
- 5層 にぶい黄褐色土(10YR 4/3) 砂質土 粗砂を多量含む
- 6層 黒褐色土(10YR 3/1) 粘性なし しまりあり
- 7層 にぶい黄褐色土(10YR 5/4) やや粘質でしまり少し弱い 水成状
- 5～7層 7溝の地山
- 8層 灰色砂(5Y 4/1) しまりやや弱い 鉄分凝集粒φ10mm以下をやや多量含む
- 9層 灰色砂(5Y 4/1) 8層と13層の中間の色 他8層と同じ
- 10層 灰色粘土(2.5Y 4/1) 由来不明 圃場整備か
- 11層 オリーブ黄砂 キメ細かく部分的にシルト状 鉄分凝集粒φ5mm以下を微量含む
- 12層 灰オリーブ砂(5/2) キメ細かいが部分的に粗砂 層をやや多量含む ラミナ状堆積 鉄分凝集粒φ5mm以下を少量含む
- 13層 灰オリーブ砂(5/2) 12層に同じだがラミナ堆積の粗砂が少量
- 14層 暗オリーブ灰色砂(2.5G 4/1) キメ細かくシルト質 鉄分凝集粒を含む 粗砂ブロックφ40mm程を少量含む
- 15層 暗灰黄色砂粗砂(2.5Y 5/2) しまりやや弱い
- 16層 暗灰黄色砂(2.5Y 4/2) しまりやや強い 粗砂を中心にφ50mm以下の礫・暗灰黄色(2.5Y 5/2)シルト・土ブロックφ30mm程を少量含む
- 17層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 粗砂 しまりあり φ5mm以下の礫土を少量含む 鉄分凝集で全体に赤味が強い
- 18層 黒褐色砂(10YR 3/1) しまりあり 粗砂を中心にφ50mm以下の礫をやや多量含む
- 19層 褐灰粗砂(10YR 4/1) しまりあり 20層を切り込む
- 20層 黄灰色土(2.5Y 4/1) しまりやや強い やや粘質 φ30mm程の粗砂ブロック微量含む
- 21層 黒褐色粗砂(2.5Y 3/2) しまりやや弱い φ20mm以下の礫少量含む
- 22層 黄灰色土(2.5Y 4/1) しまりやや弱い やや粘質 φ10mm以下の礫少量含む
- 23層 暗灰黄色土(2.5Y 5/2) しまりあり やや粘質

8～18層 7溝の埋没土  
8～16層は 水成堆積の砂

第594図 4区7号溝跡平・断面図



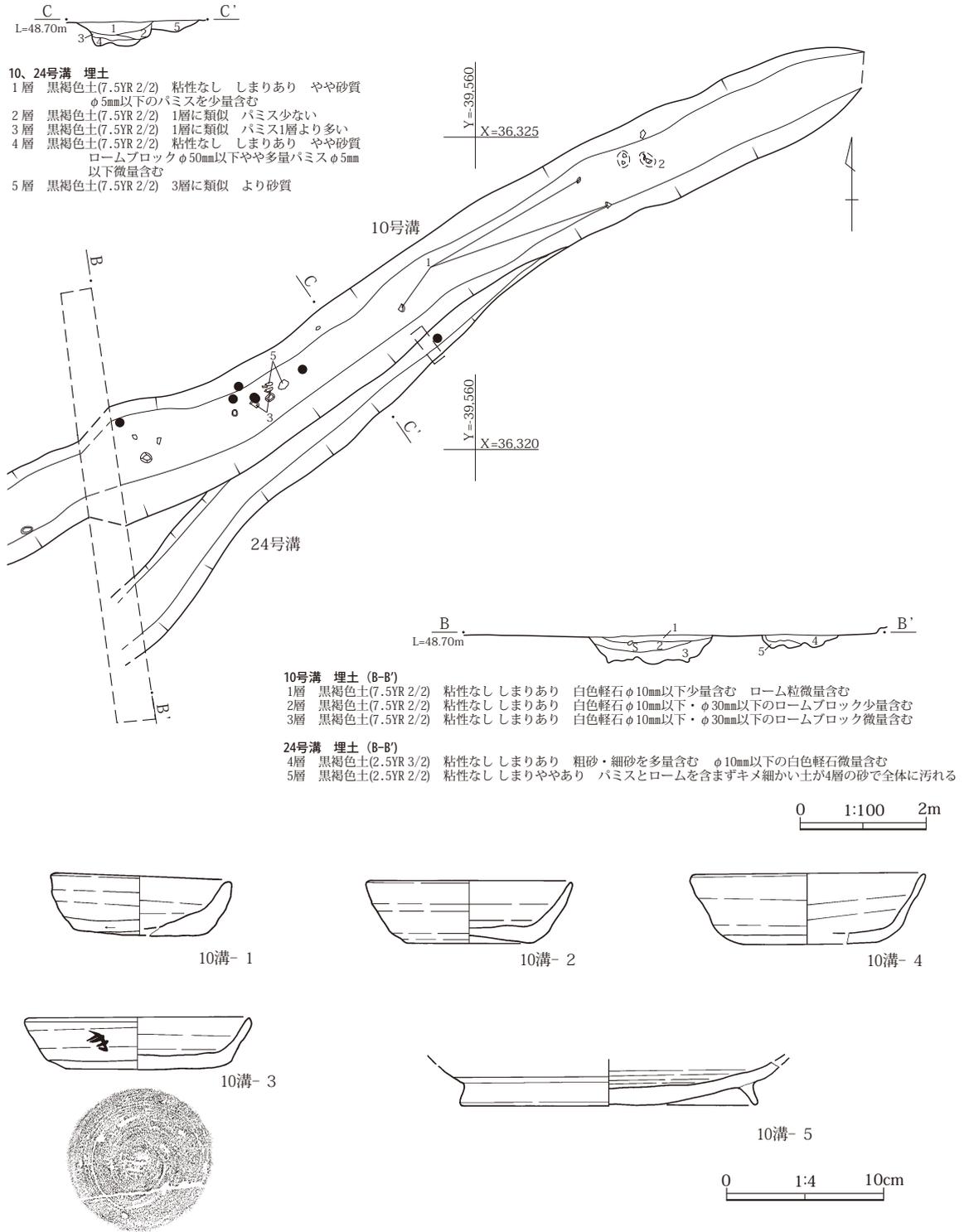
4区10号溝 (2) 13号溝(1)



第596図 4区10号溝跡平・断面図(2)、13号溝跡平面図(1)

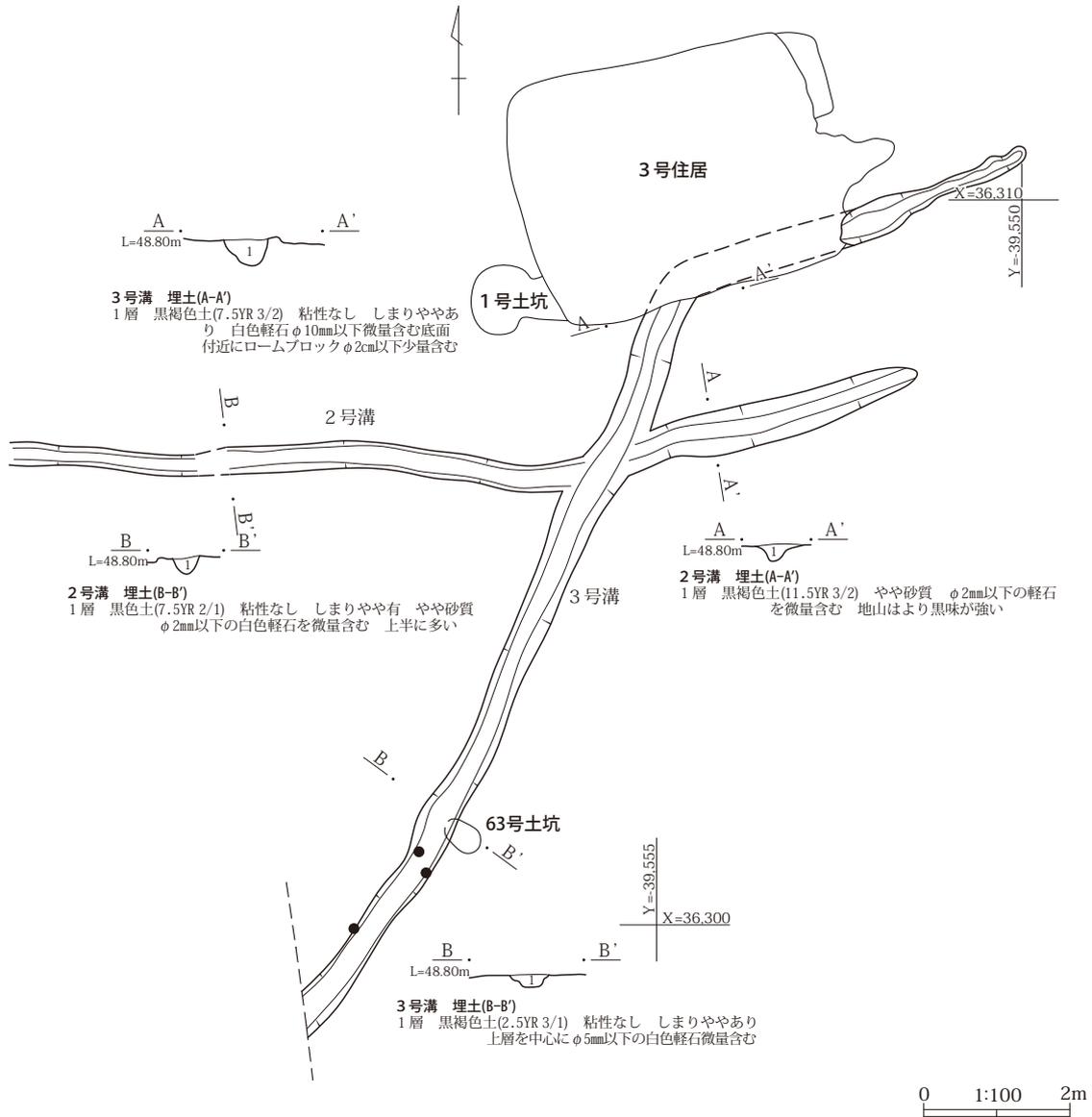
### 第3章 検出遺構と出土遺物

#### 4区10号溝(3)24号溝



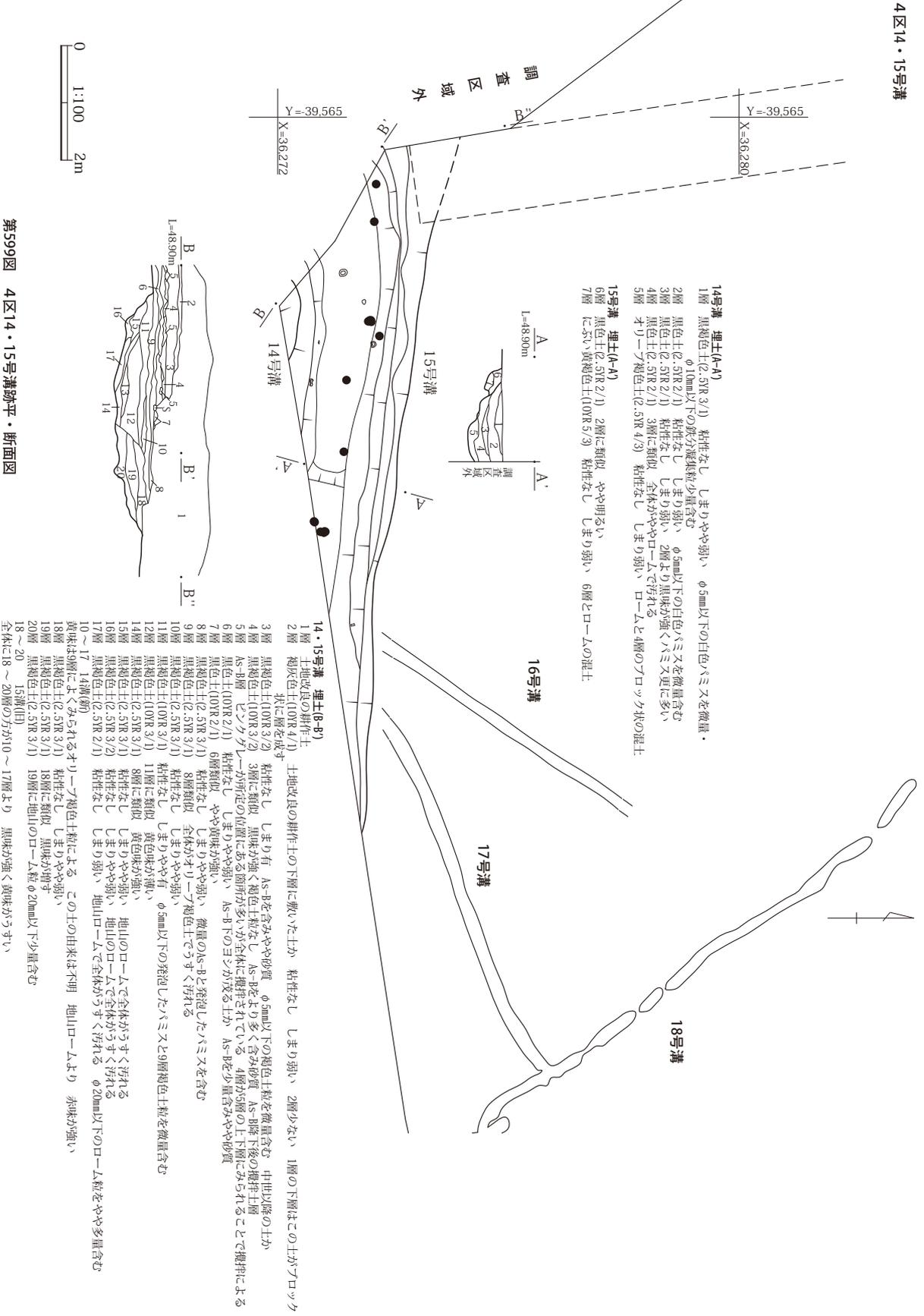
第597図 4区10号溝跡平・断面図(3)・出土遺物、24号溝跡平・断面図

4区2・3号溝

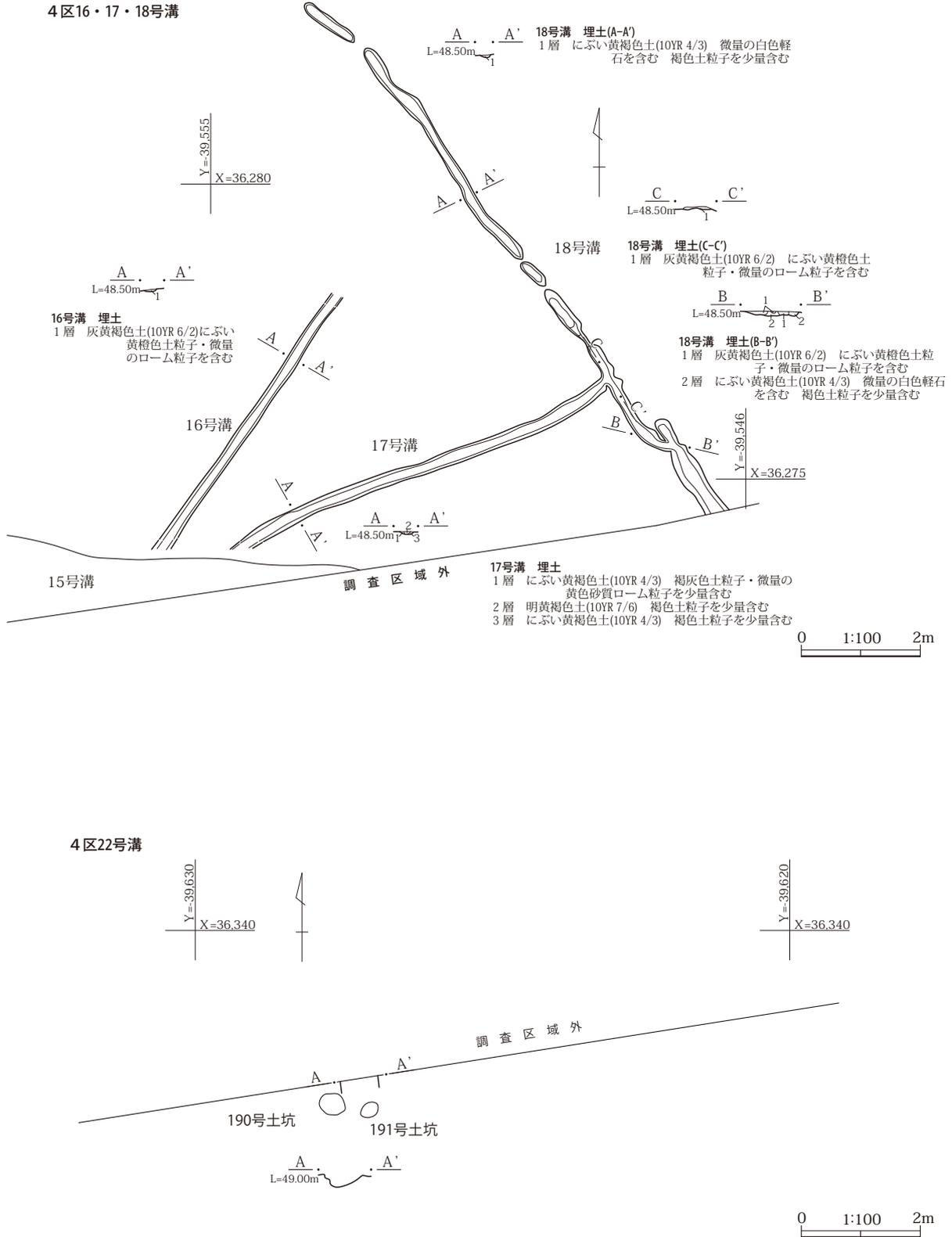


第598図 4区2・3号溝跡平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物

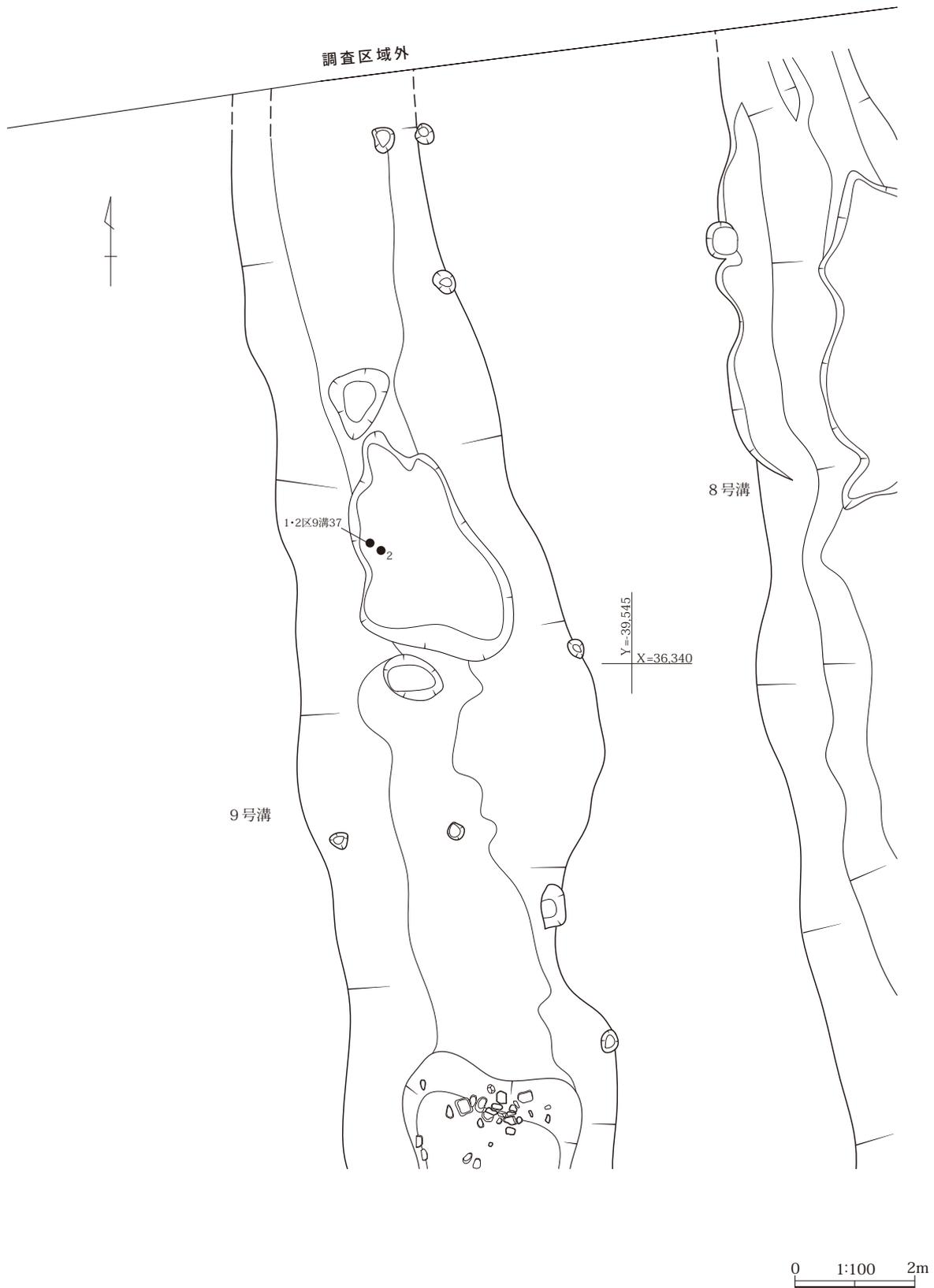


第599図 4区14・15号溝跡平・断面図



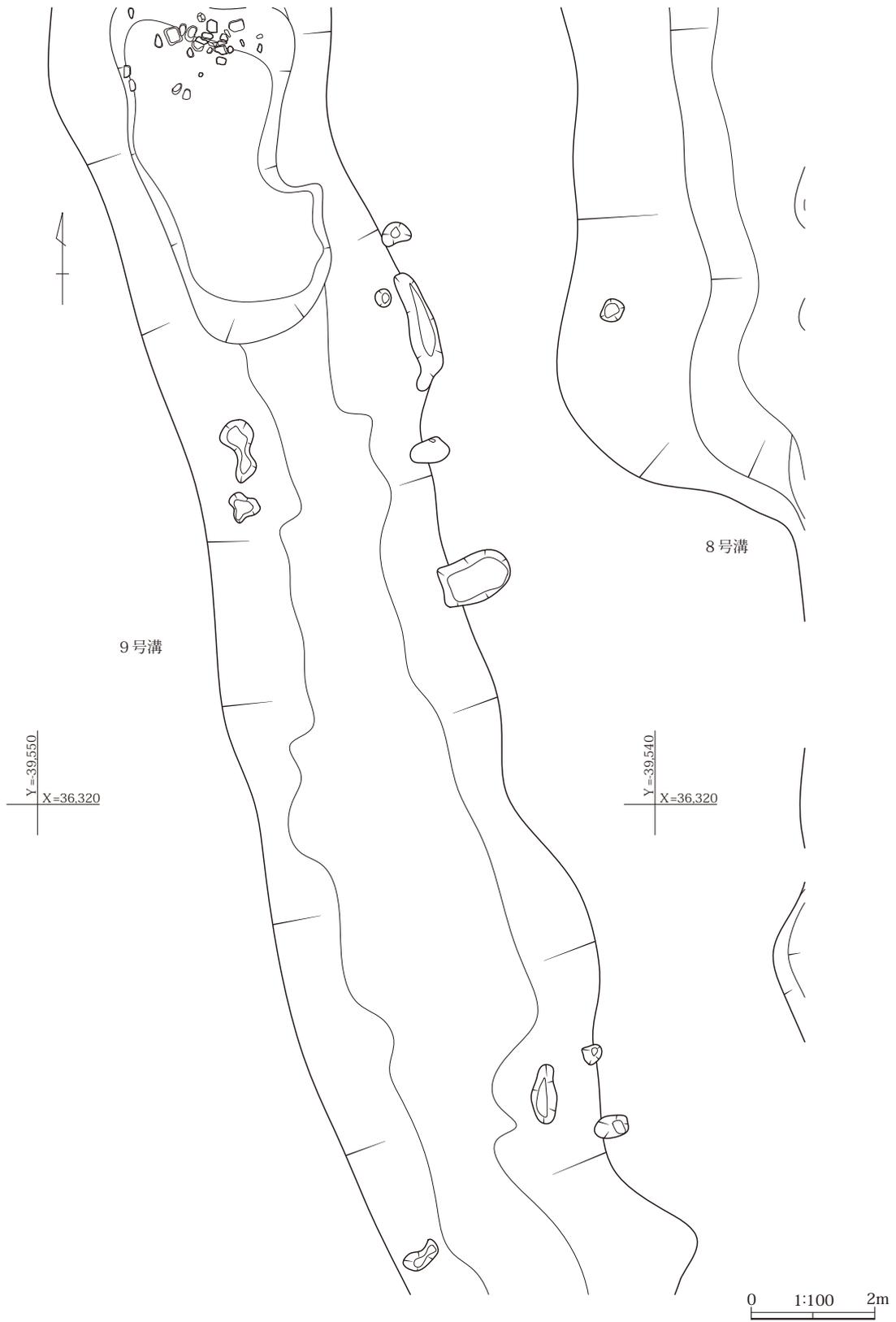
第600図 4区16・17・18・22号溝跡平・断面図

4区9号溝(1)



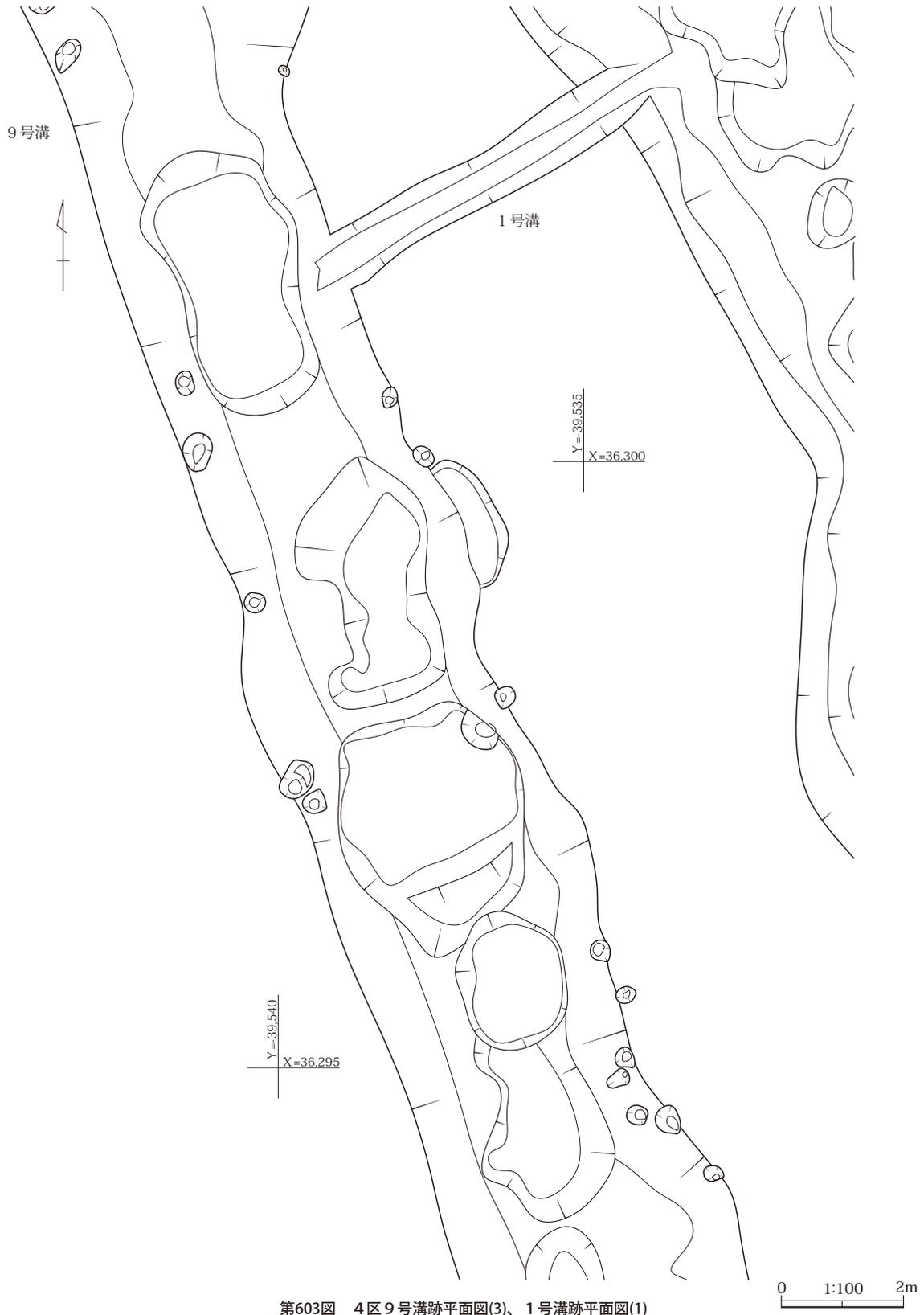
第601図 4区9号溝跡平面図(1)

4区 9号溝(2)



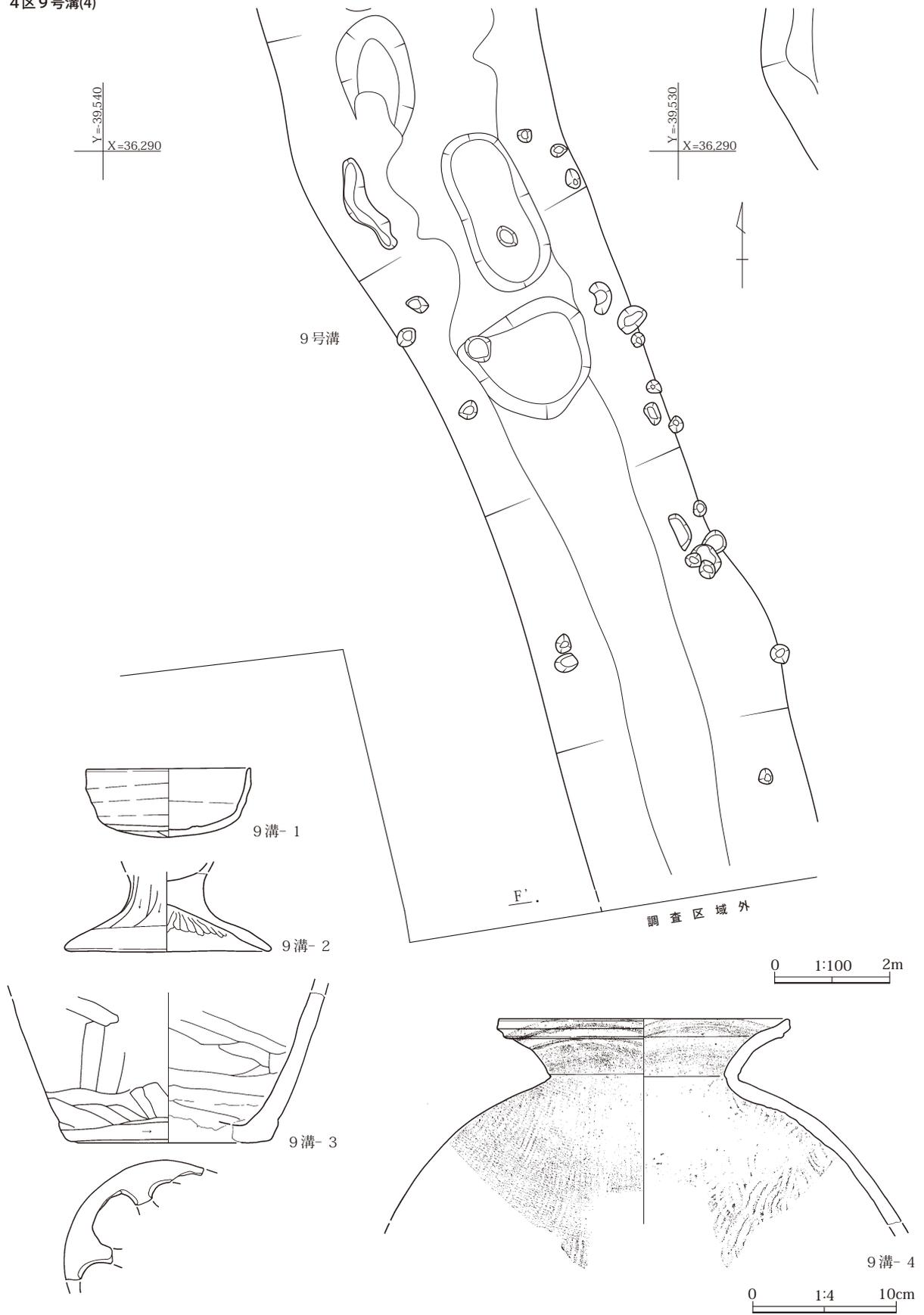
第602図 4区9号溝跡平面図(2)

4区9号溝(3) 1号溝(1)



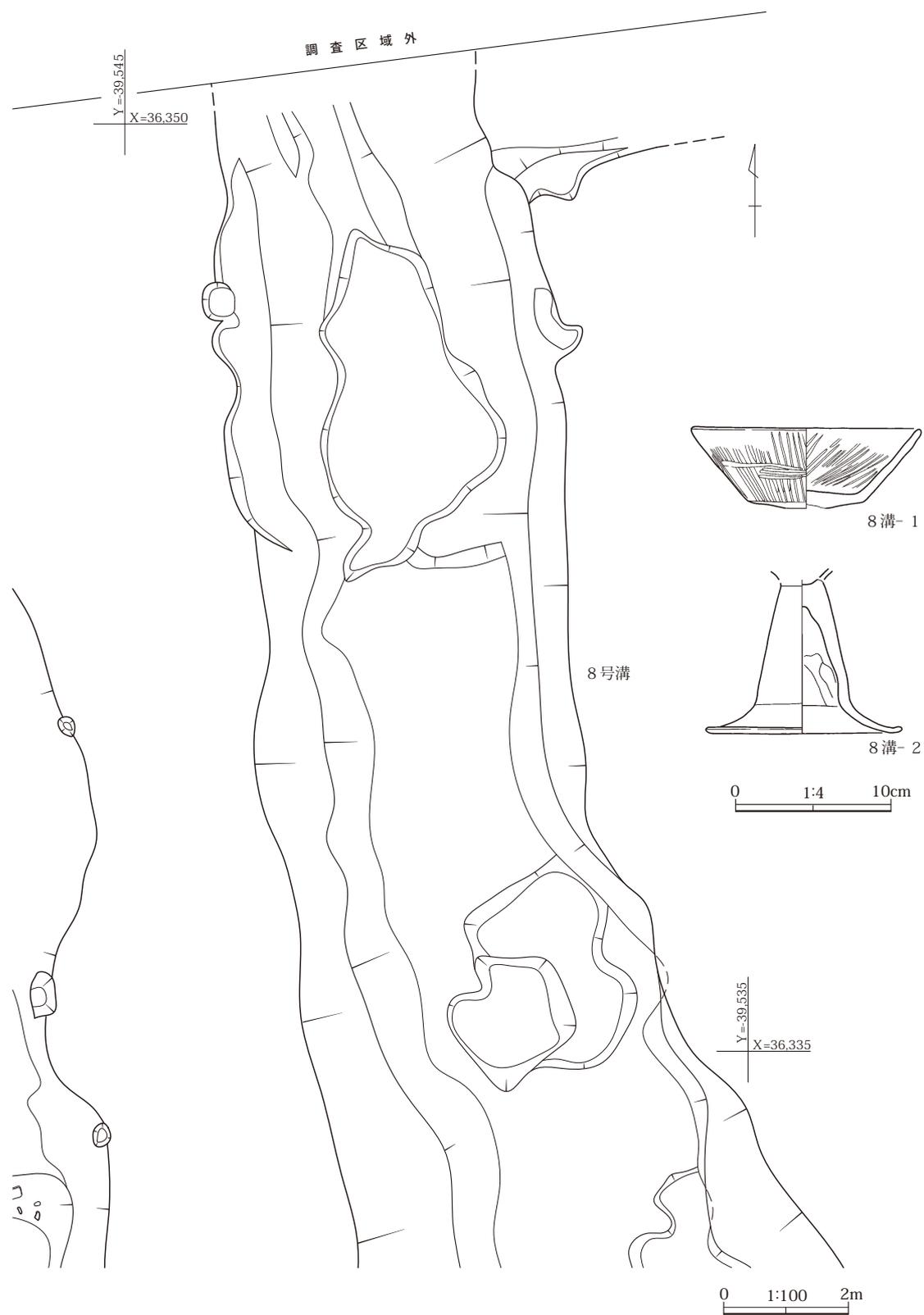
第603図 4区9号溝跡平面図(3)、1号溝跡平面図(1)

4区9号溝(4)



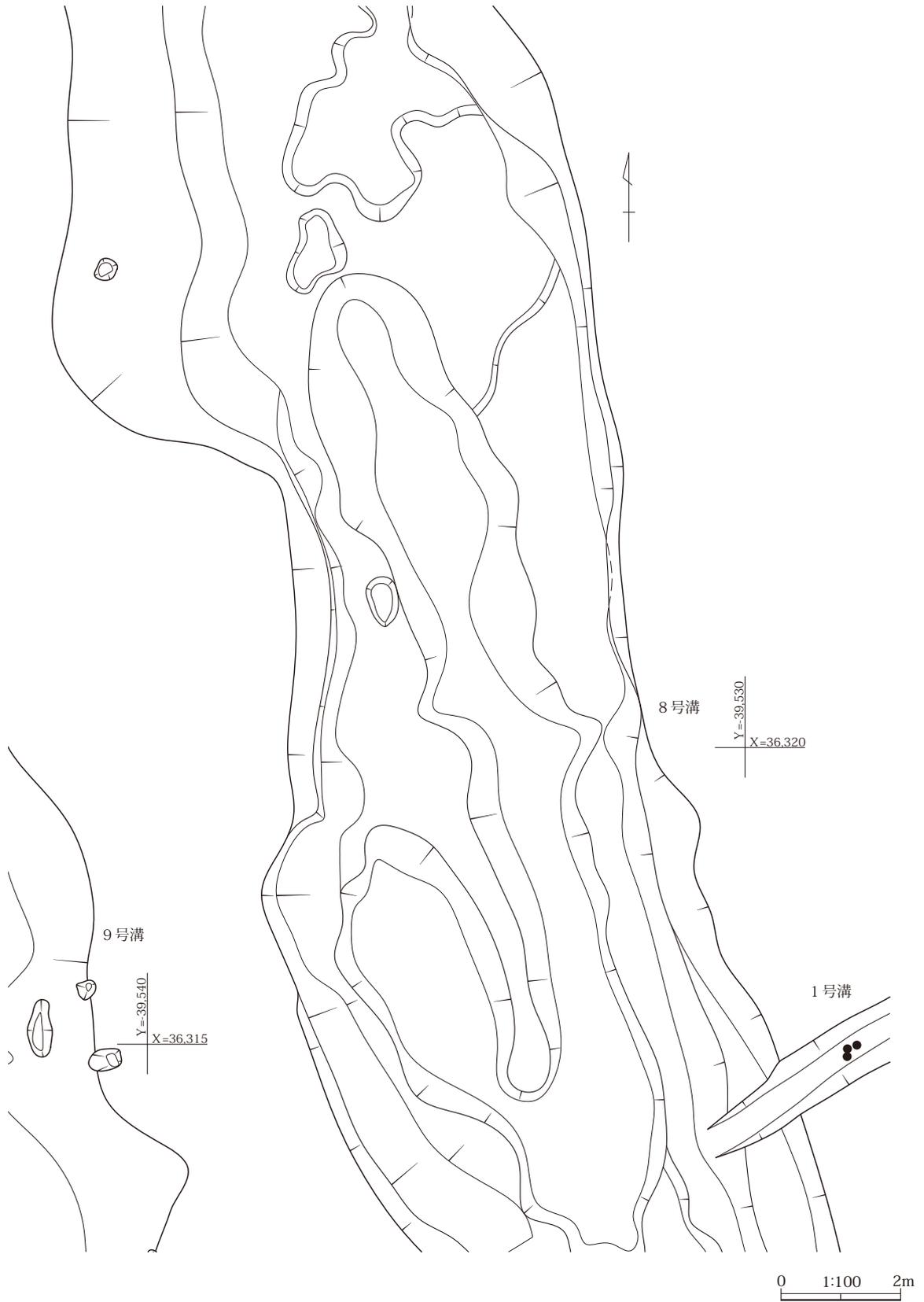
第604図 4区9号溝跡平面図(4)、出土遺物(1)

4区8号溝(1)



第605図 4区8号溝跡平面図(1)、出土遺物(1)

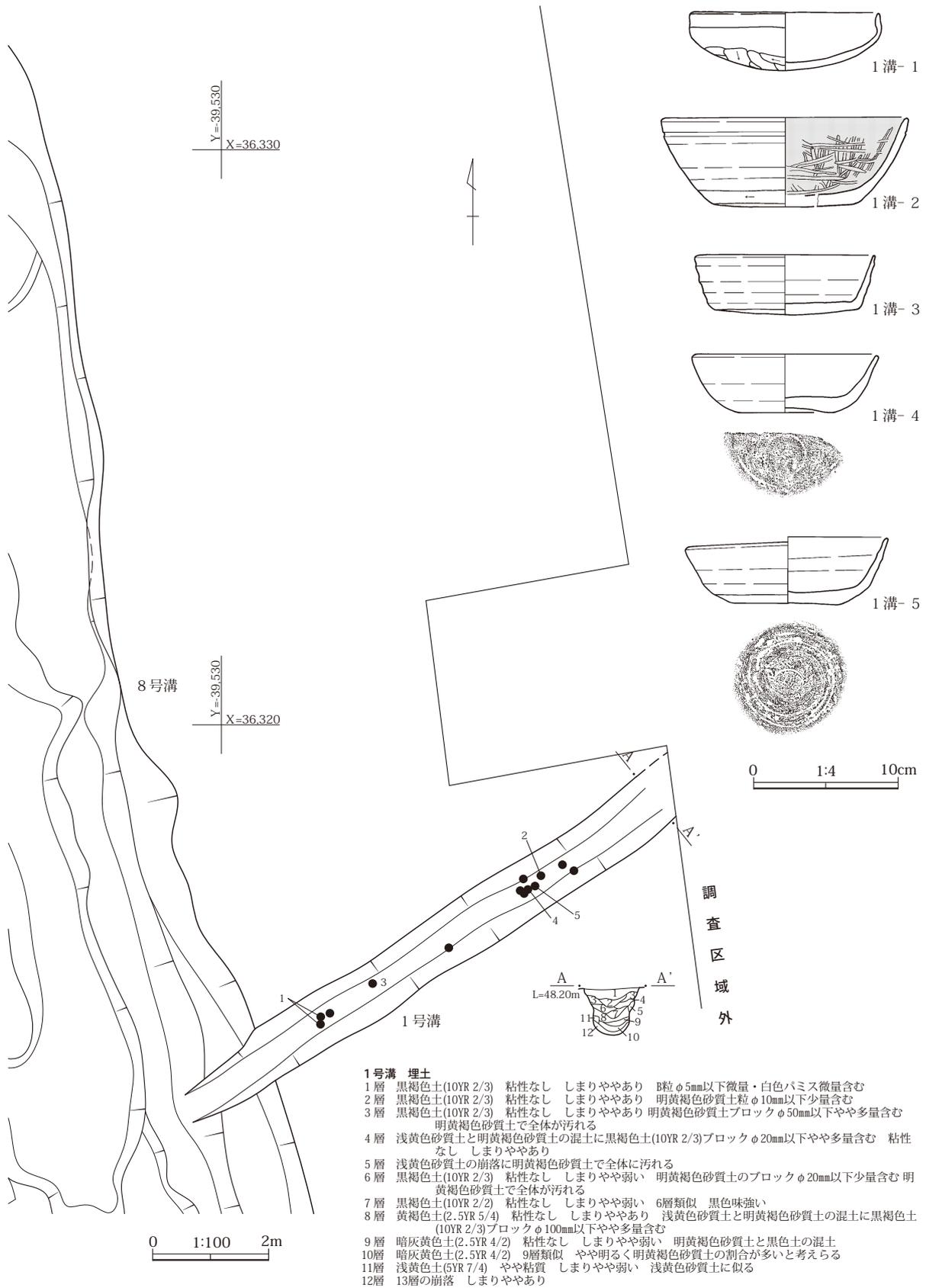
4区8号溝(2)



第606図 4区8号溝跡平面図(2)

第3章 検出遺構と出土遺物

4区1号溝(2)



第607図 4区1号溝跡平・断面図・出土遺物

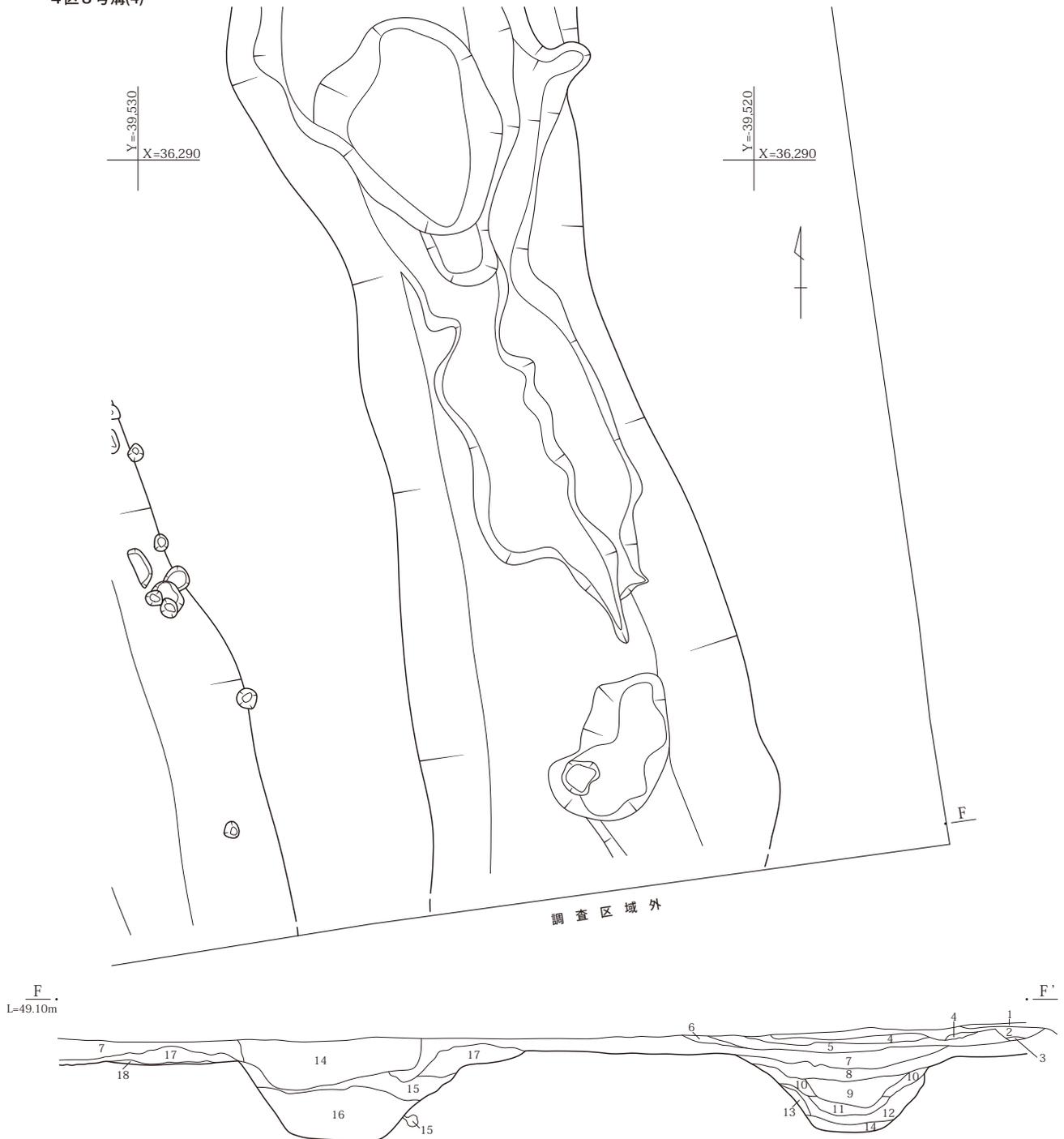
4区8号溝(3)



第608図 4区8号溝跡平面図(3)

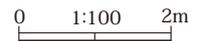
第3章 検出遺構と出土遺物

4区8号溝(4)



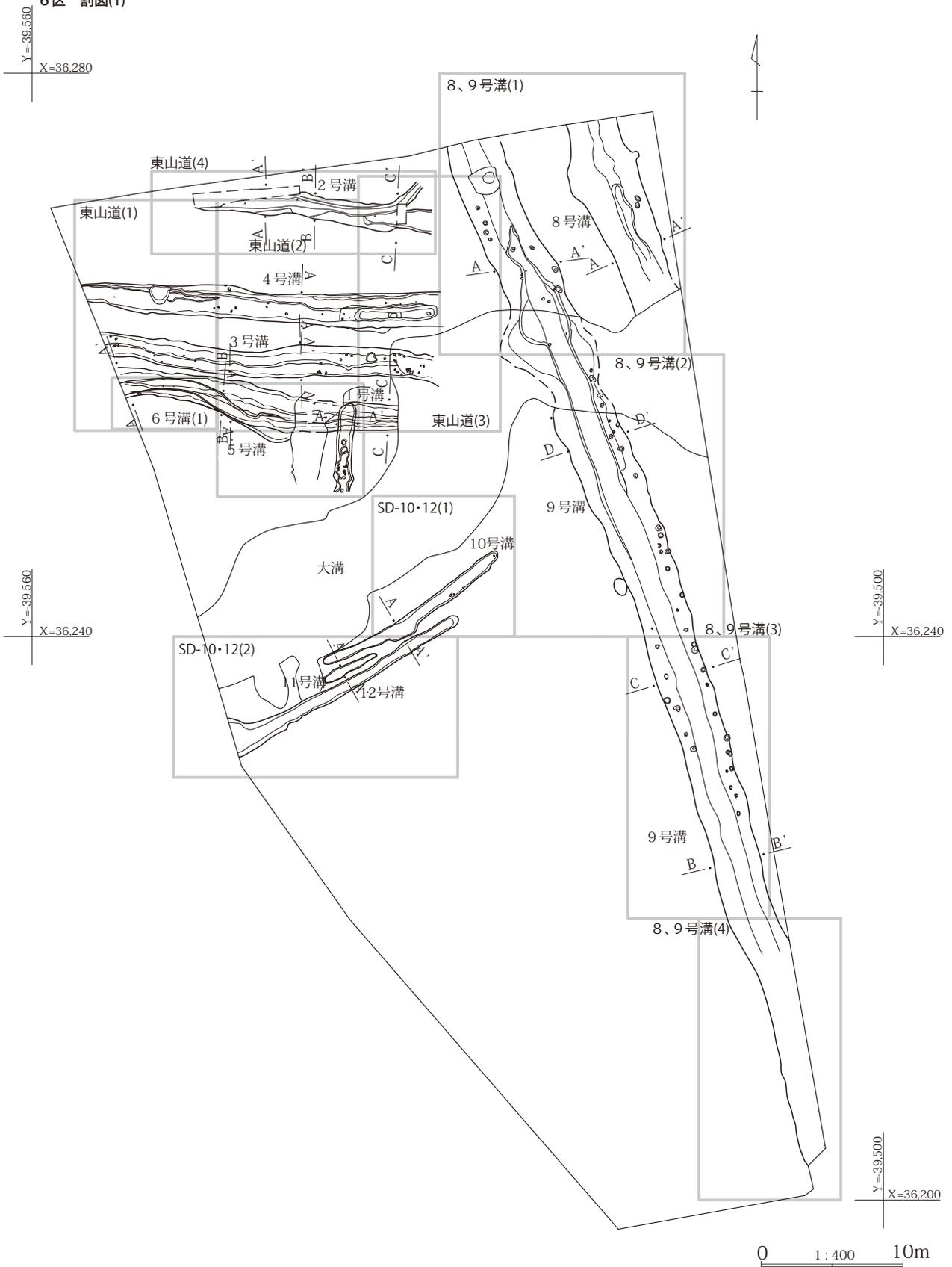
8、9号溝南壁 埋土

- 1層 黒褐色砂質土(10YR 3/1) ローム小ブロック・灰色シルトブロック等を含む 客土
- 2層 黒褐色砂質土(10YR 3/1) 浅間B軽石混土
- 3層 暗褐色砂質土(10YR 3/3) 浅間B軽石とローム粒子を含む (浅間B軽石以降溝跡か?)
- 4層 浅間B軽石 純層
- 5層 黒褐色土(10YR 3/1) 白色軽石(浅間C+榛名ニツ岳)を含む
- 6層 褐灰色土(10YR 4/1) 白色軽石(浅間C+榛名ニツ岳)を含む
- 7層 にぶい黄橙色土(10YR 6/3)～浅黄橙色土(10YR 8/3) 極細砂質土・浅黄褐色砂質ローム土ベースの氾濫オーバーフロー堆積土
- 8層 灰黄褐色砂質土(10YR 4/2) 多量の白色軽石(榛名ニツ岳軽石+浅間C軽石)を含む
- 9層 黒褐色砂質土(10YR 3/1) 少量の白色軽石(榛名ニツ岳軽石+浅間C軽石)を含む
- 10層 褐灰色砂質土(10YR 4/1) 少量の白色軽石(榛名ニツ岳軽石+浅間C軽石)を含む
- 11層 灰黄褐色砂質土(10YR 4/2) 少量の白色軽石(榛名ニツ岳軽石+浅間C軽石)を含む
- 12層 灰黄褐色砂質土(10YR 5/2) 少量の白色軽石(榛名ニツ岳軽石+浅間C軽石)を含む
- 13層 黒褐色砂質土(10YR 3/1) 少量の白色軽石(榛名ニツ岳軽石+浅間C軽石)を含む
- 14層 褐灰色土(10YR 6/1)～灰色土(5Y 6/1) 砂礫層土・細粗粒砂・小円礫(φ5～15mm)・浅黄褐色砂質ロームを含む
- 15層 にぶい黄橙色土(10YR 6/3)～浅黄橙色土(10YR 8/3) 7層土に類似 浅黄褐色砂質ローム土に細・粗粒砂+小円礫を含む
- 16層 褐灰色土(10YR 6/1)～灰色砂礫土(5Y 6/1) 細・粗粒砂層・小円礫(φ5～20mm大)層の互層堆積
- 17層 褐灰色土(10YR 4/1) 少量の7層土ブロック(φ5～15mm大)を含む
- 18層 褐灰色土(10YR 4/1) 多量の7層土ブロック(φ5～20mm大)を含む



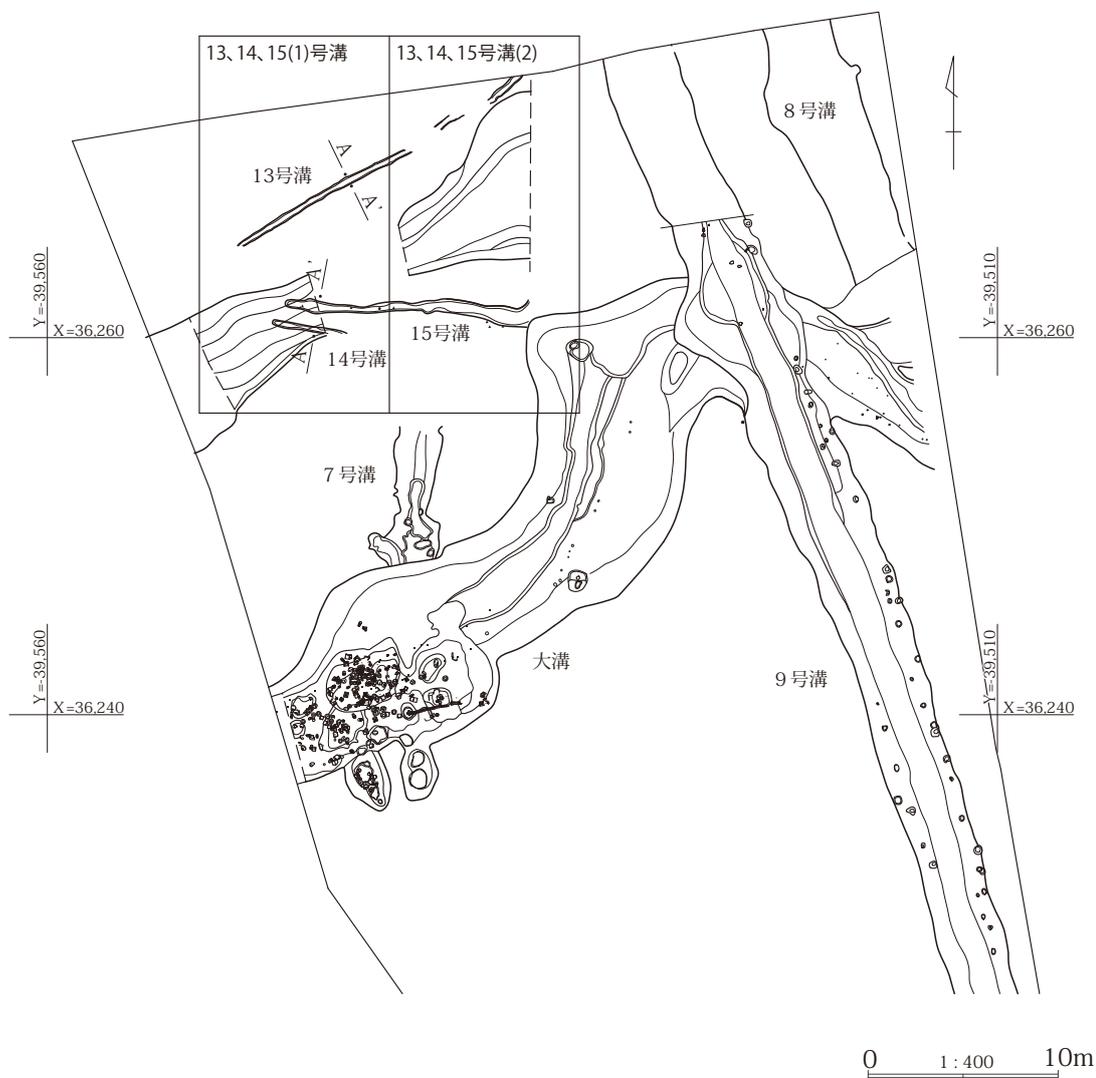
第609図 4区8号溝跡平・断面図(4)

6区 割図(1)



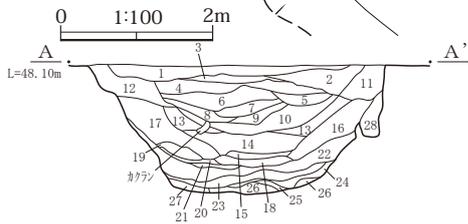
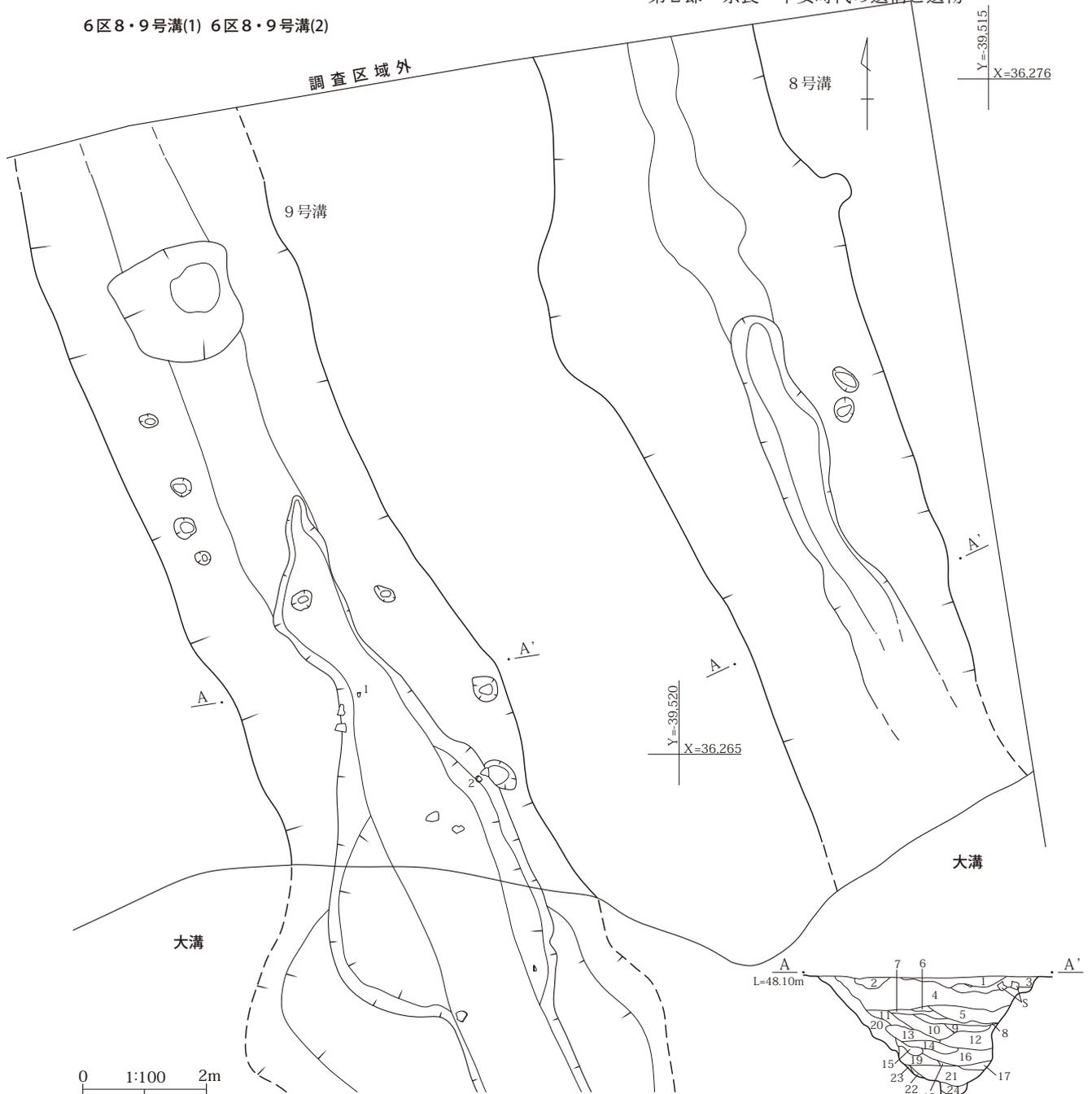
第610図 6区溝跡割図(1)

6区 割図(2)



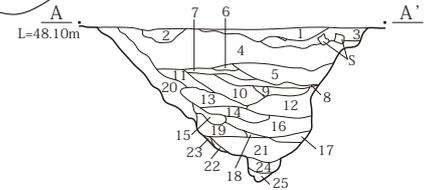
第611図 6区溝跡割図(2)

6区8・9号溝(1) 6区8・9号溝(2)



**9号溝 埋土**

- 1層 黒褐色土(10YR 2/2) 黒褐色土と灰黄色砂質土が互層に水平堆積
- 2層 黒褐色土(10YR 3/2) 黒褐色土と灰褐色砂が橋状に水平堆積・白色軽石粒少量
- 3層 黒褐色土(10YR 3/2) 褐色砂・白色軽石粒
- 4層 黒褐色土(10YR 2/2) 褐色砂・灰黄色砂が筋状に入る 白色軽石粒多量
- 5層 褐灰色土(10YR 4/1) 砂質土・白色軽石粒や多い 焼土粒
- 6層 褐灰色土(10YR 4/1) 褐色砂とローム小ブロック・黒褐色土・炭化物・焼土粒の混土が互層に堆積
- 7層 青灰色土(5PB 5/1) 細砂粒主体 黄褐色砂・粗砂が筋状に堆積
- 8層 明青灰色土(5PB 7/1) 細砂粒主体 黄褐色砂が筋状に堆積
- 9層 褐灰色土(10YR 4/1) 灰色砂とローム粒・黒褐色土の混土
- 10層 明黄褐色土(10YR 7/6) ローム土・ロームブロック主体 褐灰色土と互層(土壁の崩落土か)
- 11層 黒褐色土(2.5Y 3/1) 黒褐色土と褐灰色砂質土の互層



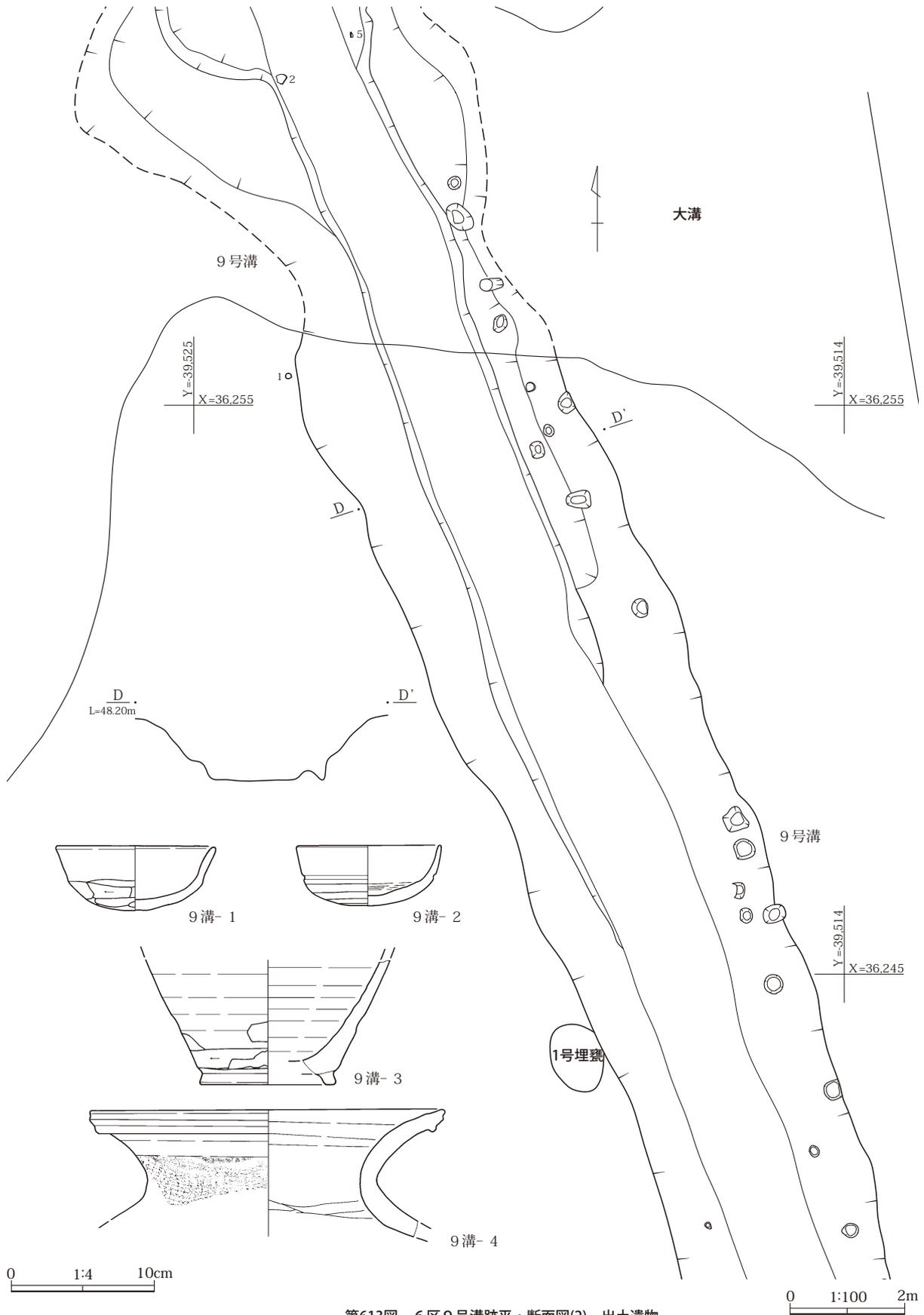
**8号溝 埋土**

- 1層 褐色土 粘性強い 砂少量含む
- 2層 砂層 小石含む
- 3層 礫層 砂・小石・褐色土含む
- 4層 砂層
- 5層 小石層 砂・褐色土含む
- 6層 褐色土 粘性あり
- 7層 砂層
- 8層 小石層 砂含む
- 9層 砂層 小石含む 黄褐色軽石含む
- 10層 砂層
- 11層 砂層 (境界に黒色土層入る)
- 12層 小石層 砂含む
- 13層 小石層 12層より粒大きい
- 14層 砂層 小石少量含む
- 15層 小石層 鉄分のような赤褐色
- 16層 砂層
- 17層 砂層 鉄分含む
- 18層 小石層
- 19層 小石層 18層より粒大きい
- 20層 黒色砂層
- 21層 砂層
- 22層 黒色砂層 鉄分含む
- 23層 褐色土 砂含む
- 24層 小石層
- 25層 砂層

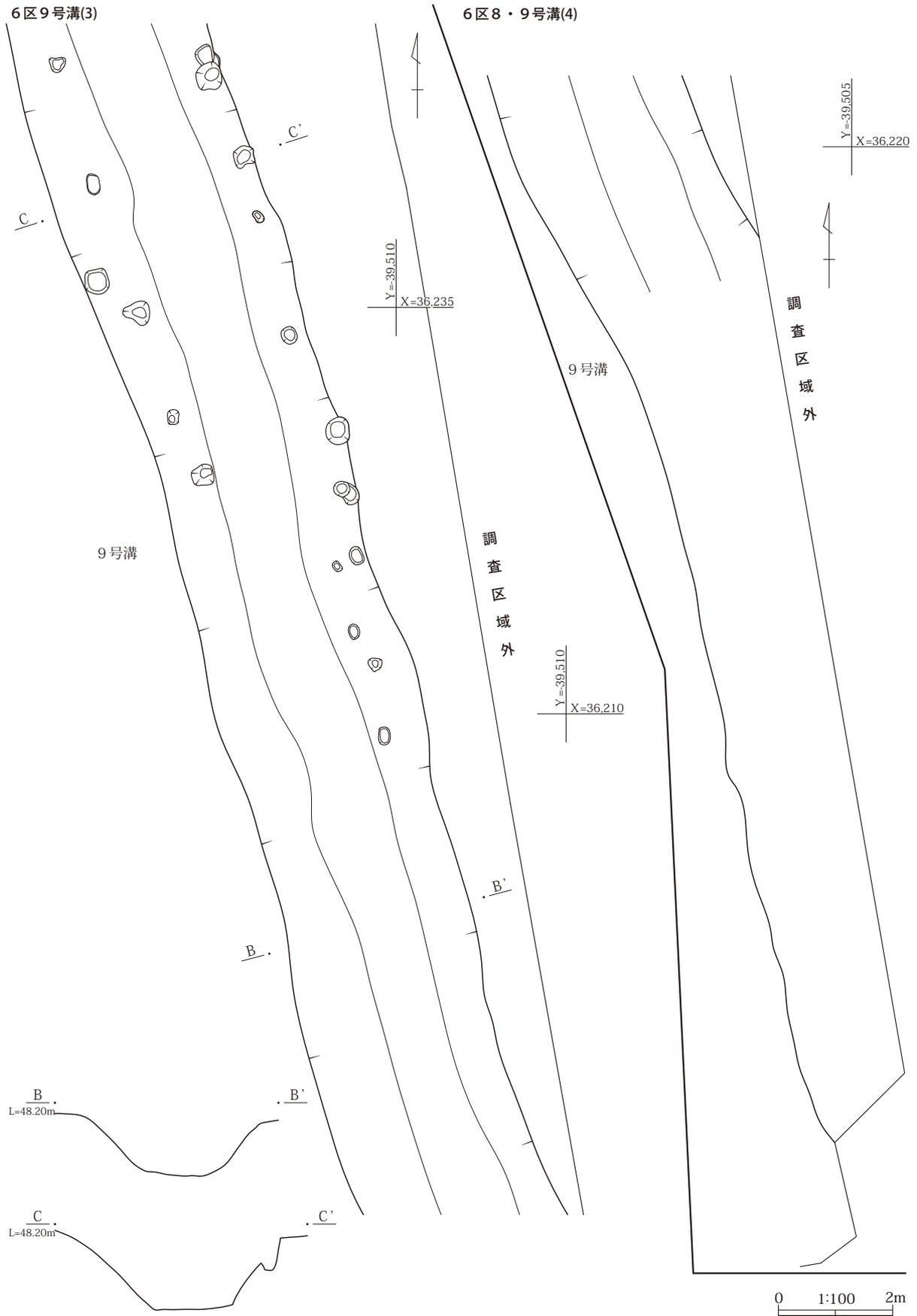
※1層～12層までに白色軽石粒は混入している

第612図 6区8・9号溝跡平・断面図(1)

6区8・9号溝(2)



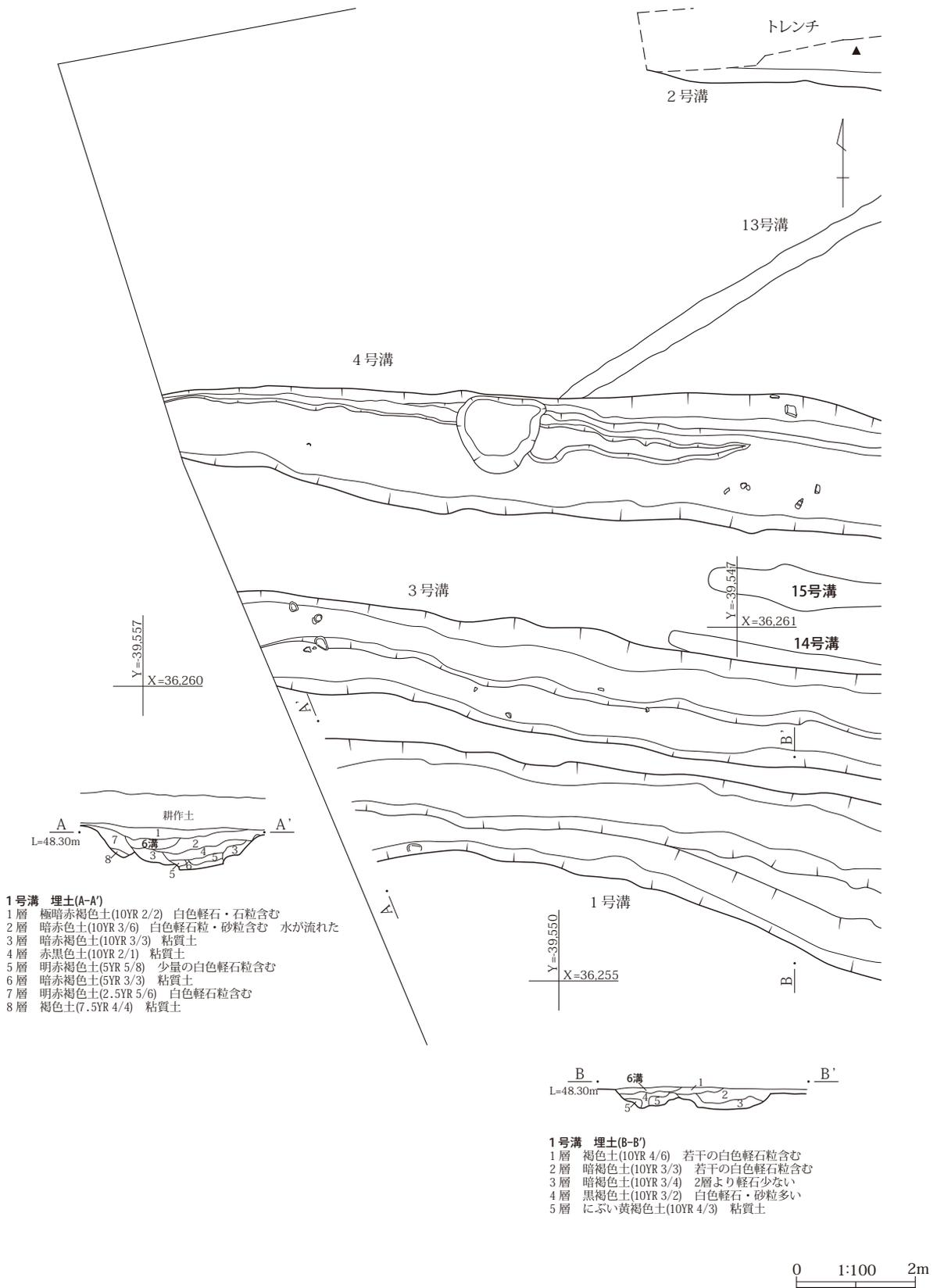
第613図 6区9号溝跡平・断面図(2)、出土遺物



第614図 6区8・9号溝跡平・断面図(3)・(4)

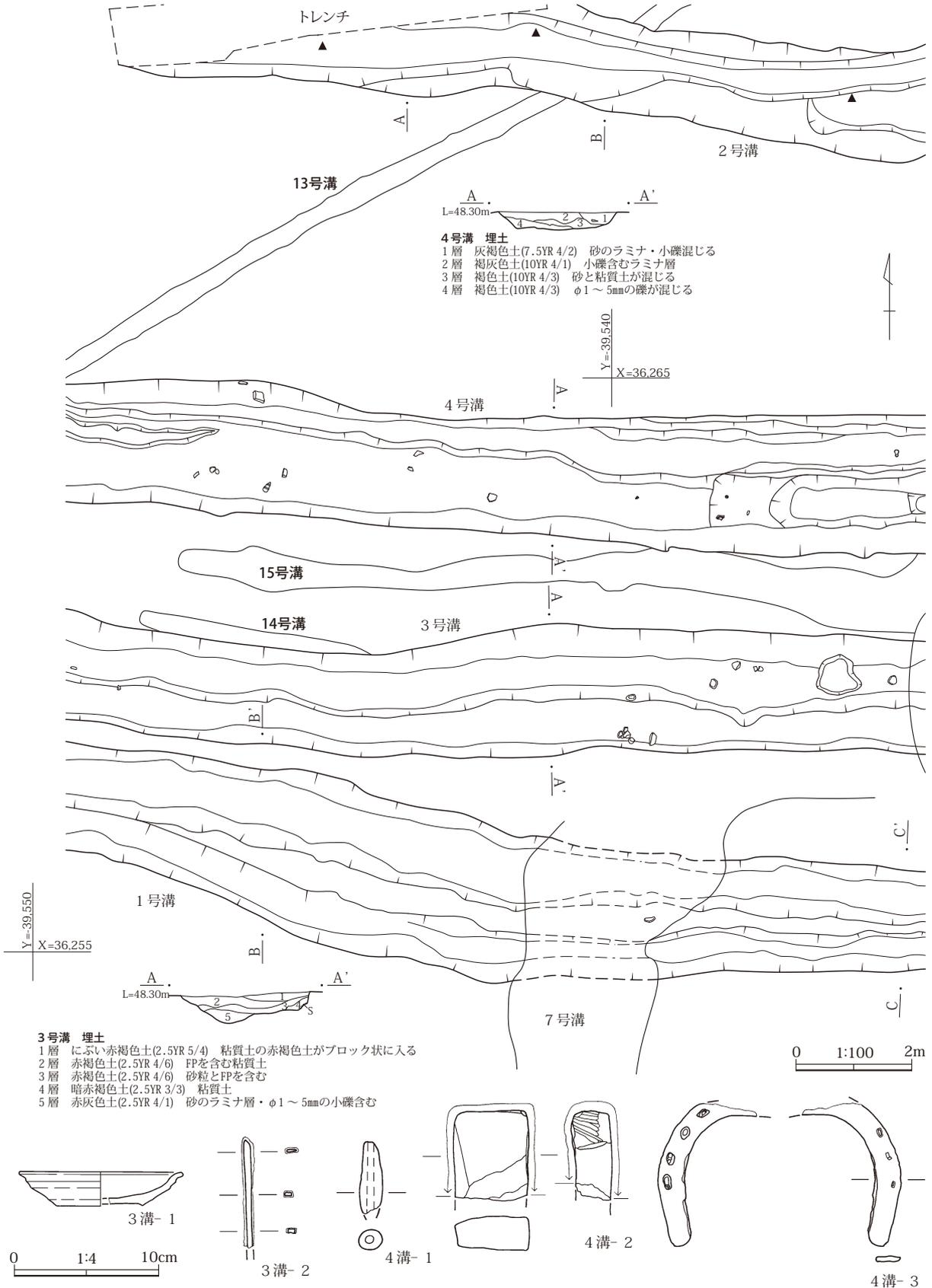
第3章 検出遺構と出土遺物

6区1・2・3・4号溝(1)



第615図 6区1・2(道路側溝)・3・4号溝跡平・断面図(1)

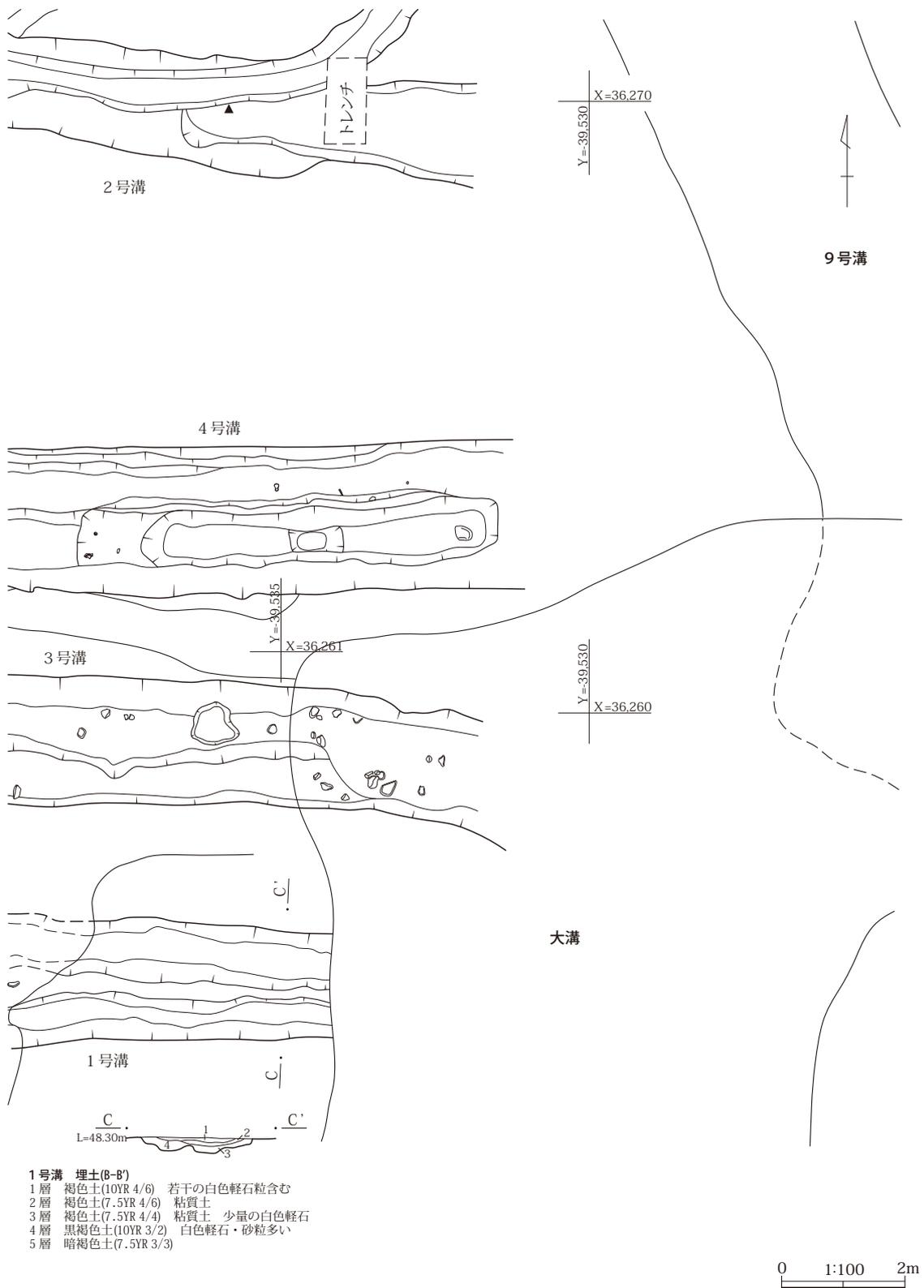
6区1・2・3・4号溝(2)



第616図 6区1・2(道路側溝)・3・4号溝跡平断面図(2)、3・4号溝跡出土遺物

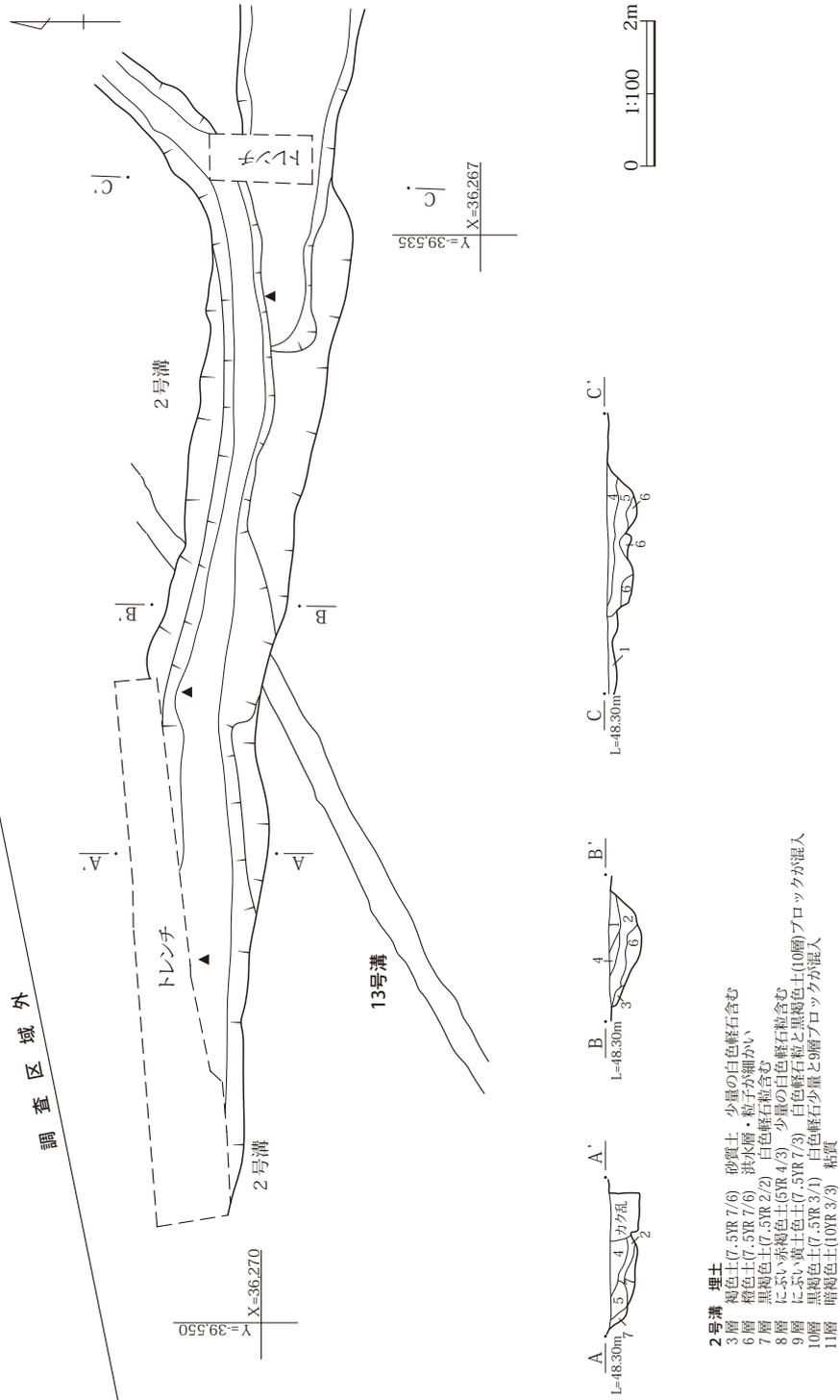
第3章 検出遺構と出土遺物

6区1・2・3・4号溝(3)



第617図 6区1・2(道路側溝)・3・4号溝跡平・断面図(3)

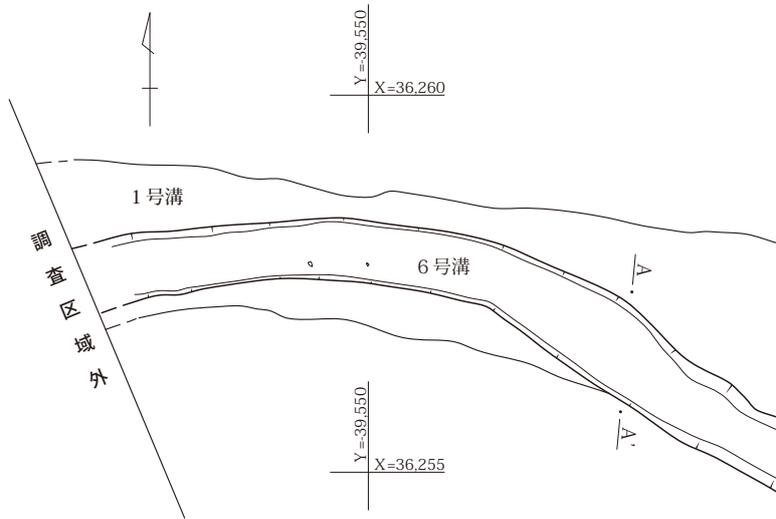
6区2号溝(4)



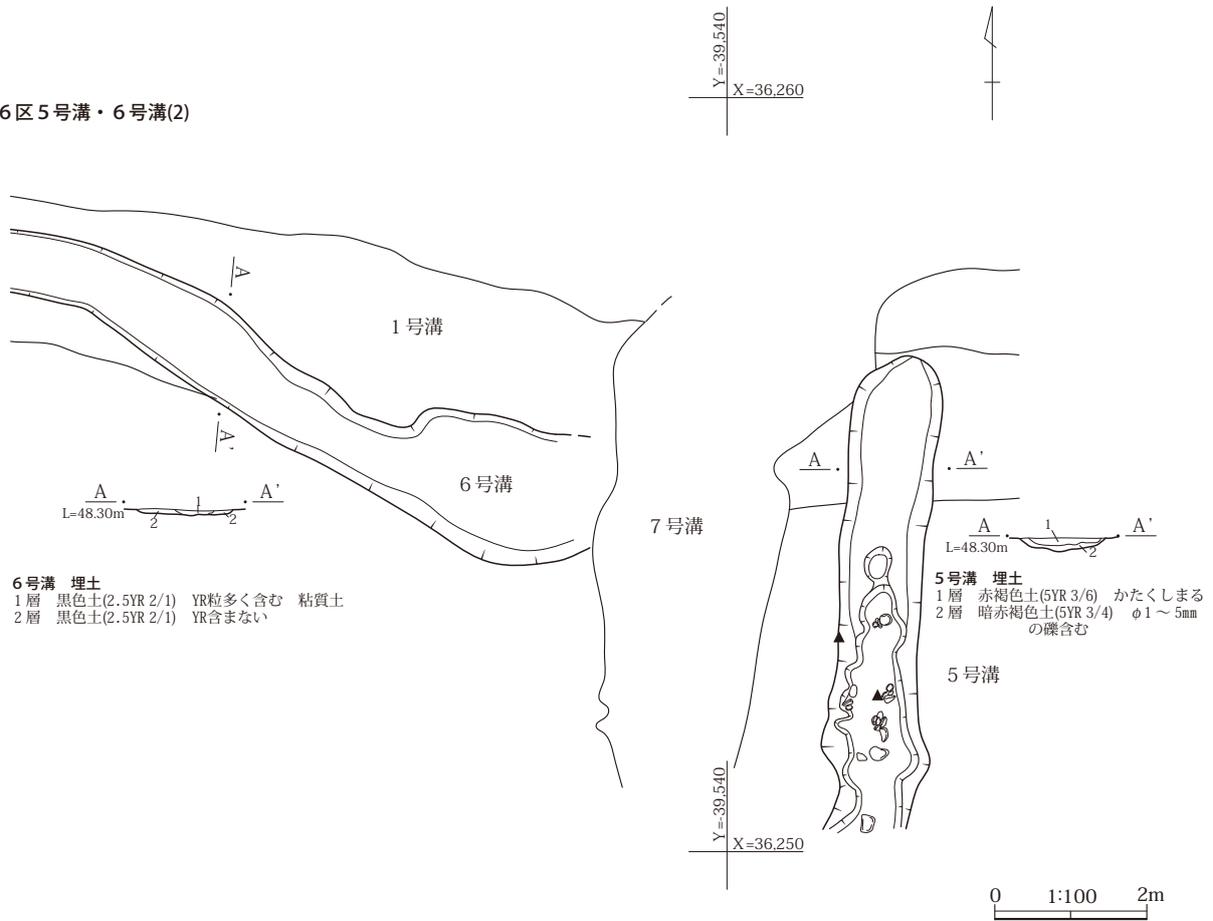
第618図 6区2(道路側溝)号溝跡平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物

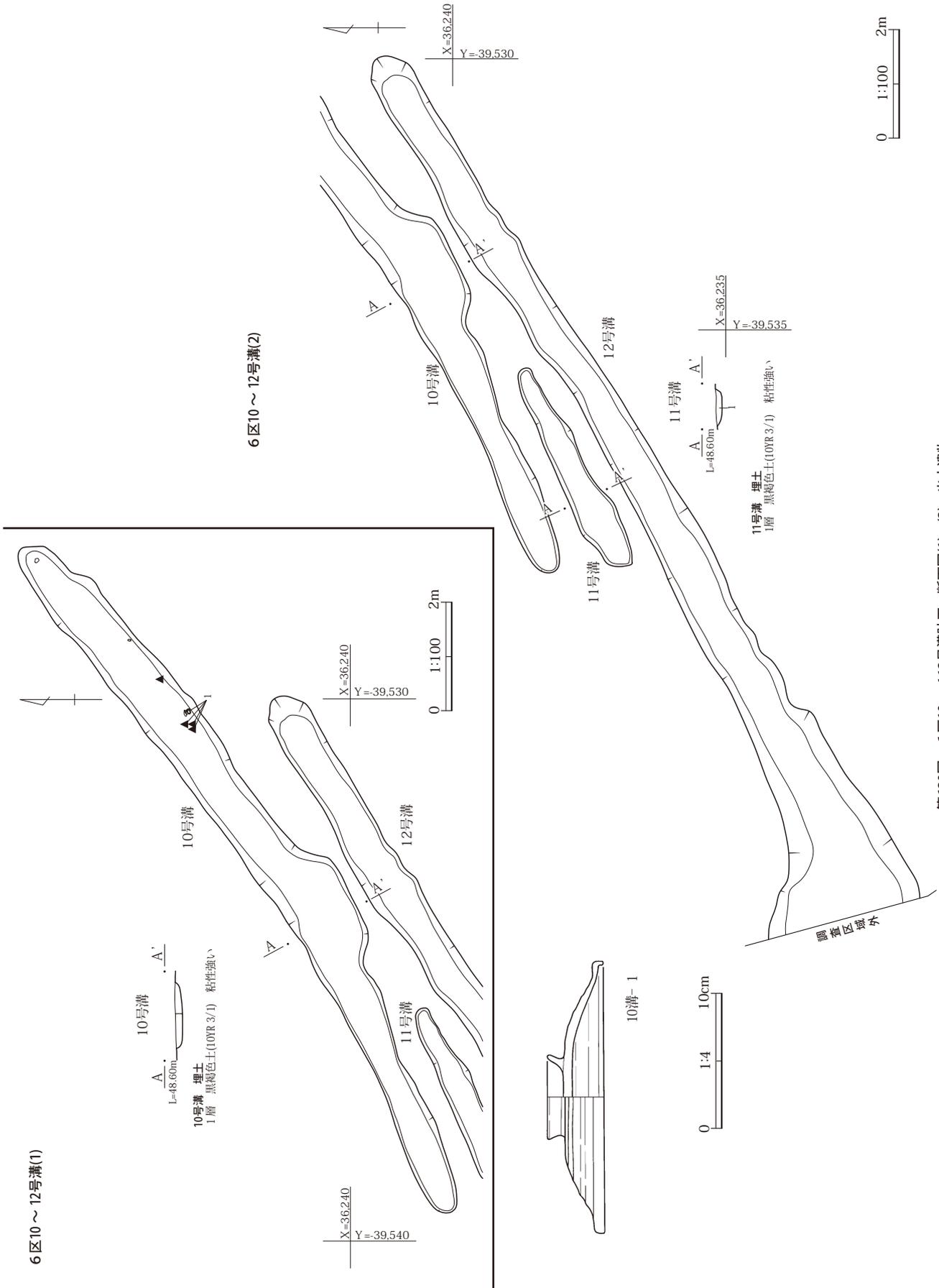
6区6号溝(1)



6区5号溝・6号溝(2)

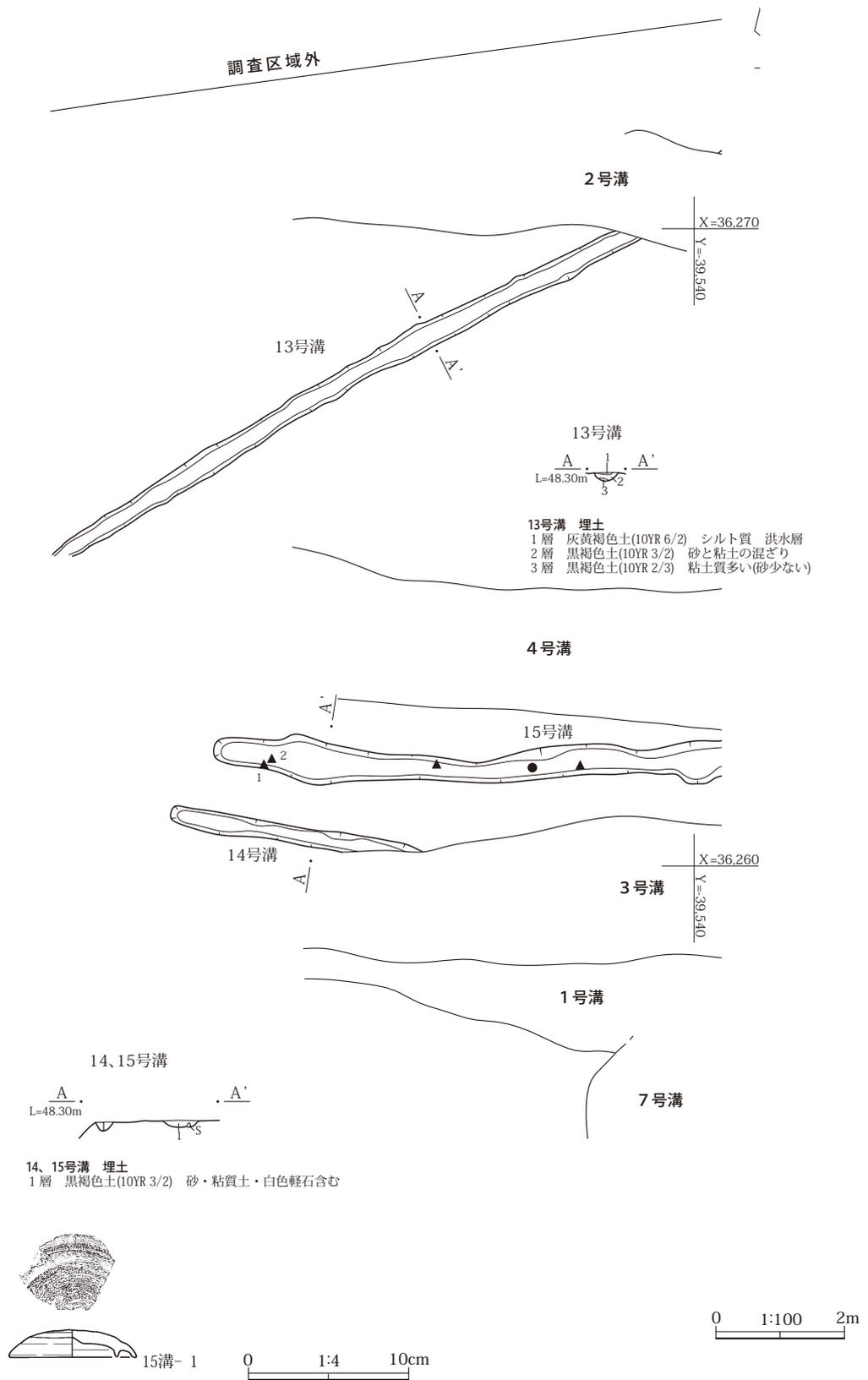


第619図 6区6号溝跡平・断面図(1)・(2)、5号溝跡平・断面図

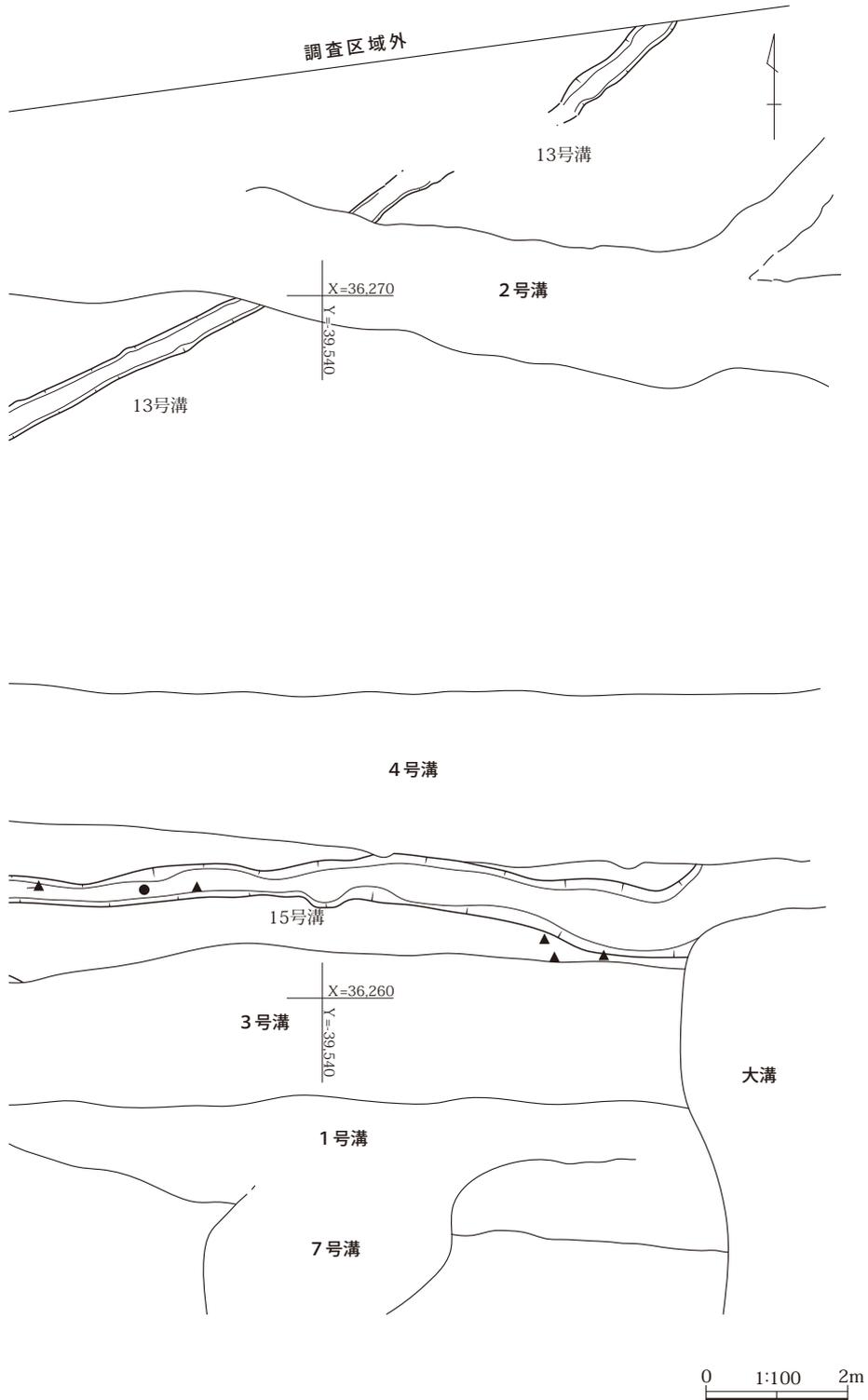


第620図 6区10～112号溝跡平・断面図(1)・(2)、出土遺物

6区13・14・15号溝(1)

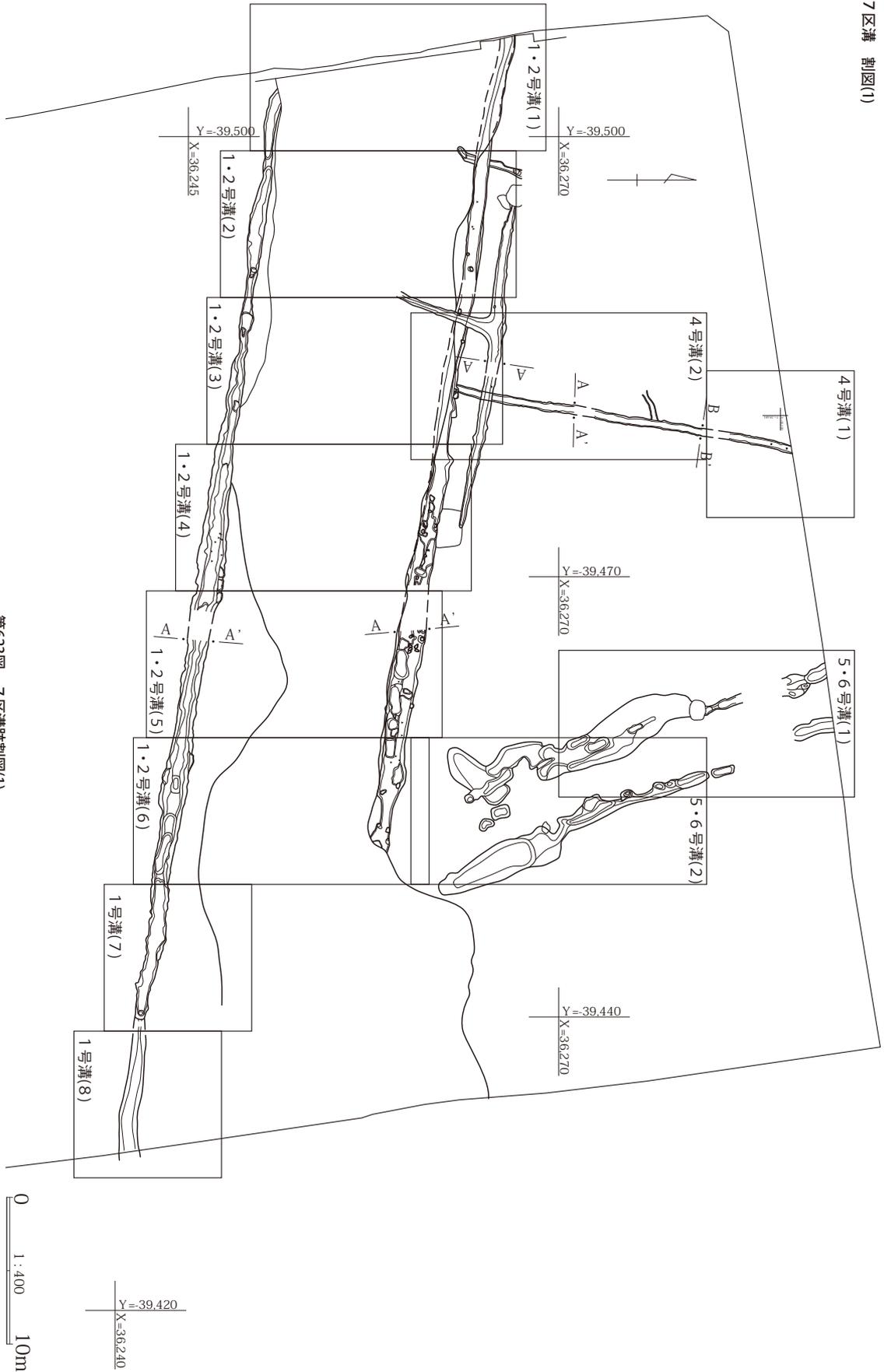


6区13・15号溝(2)

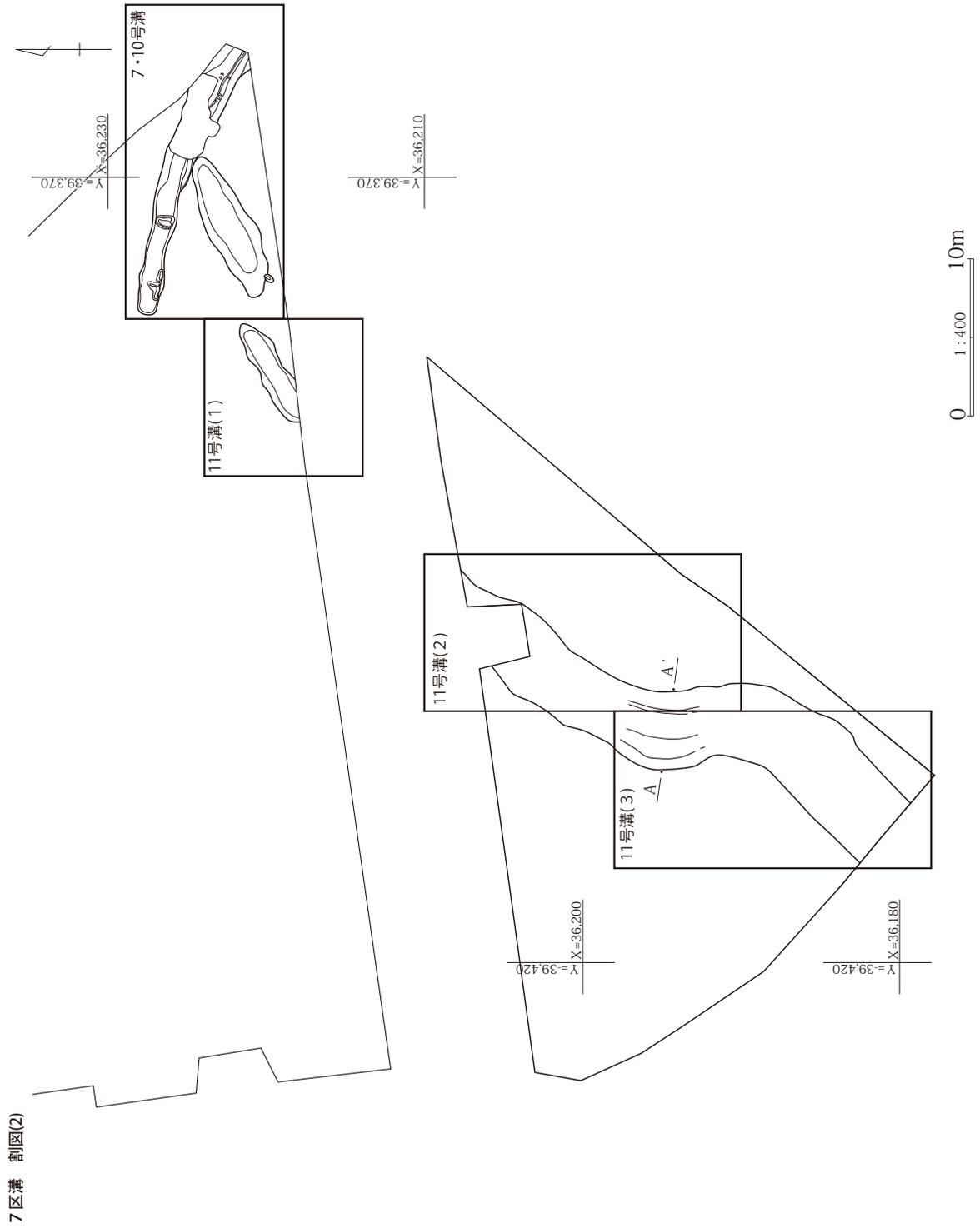


第622図 6区13・14・15号溝跡平面(2)

7区溝 剖面(1)



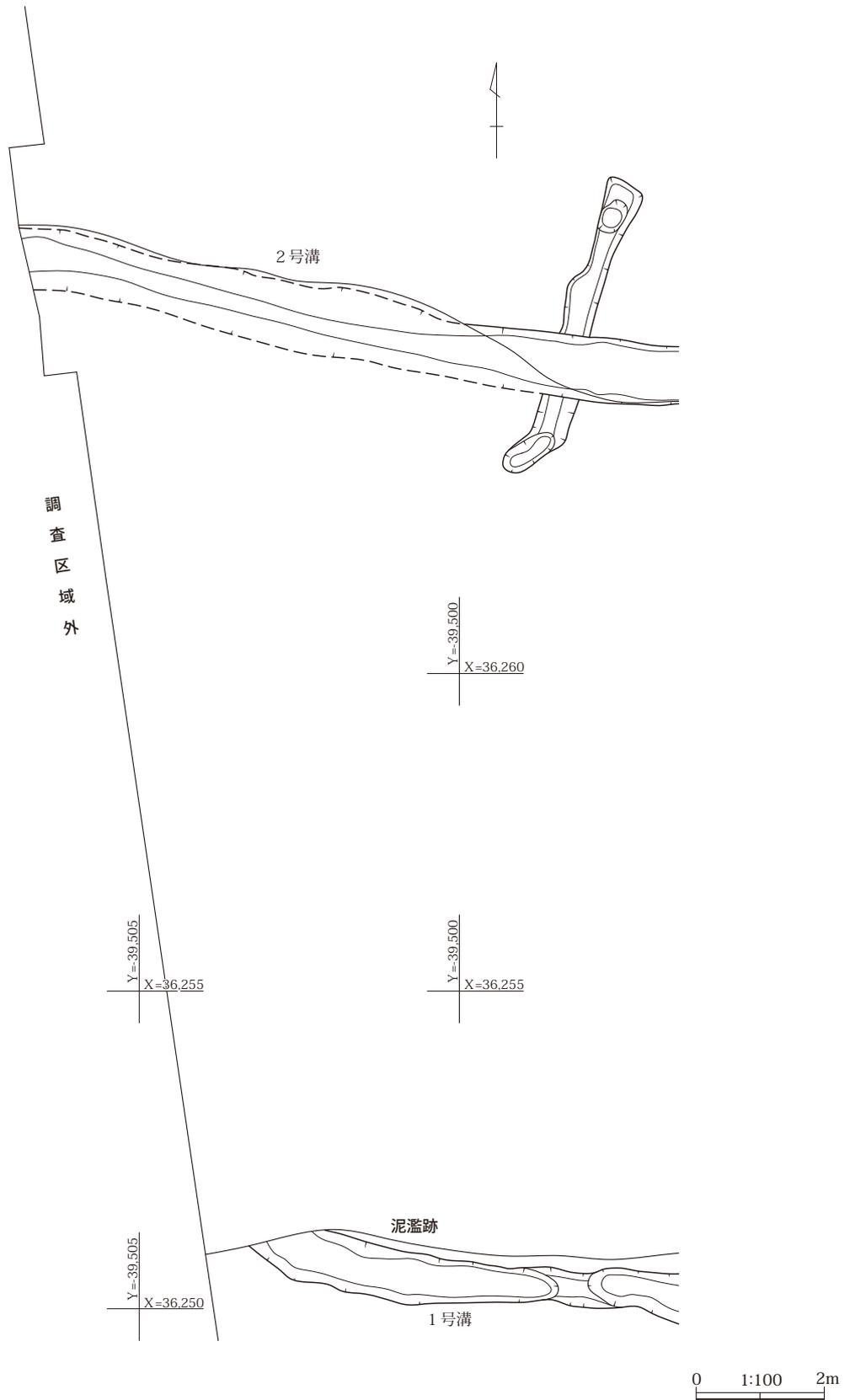
第623图 7区溝跡剖面(1)



第624図 7区溝跡剖面(2)

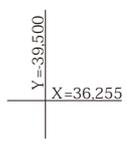
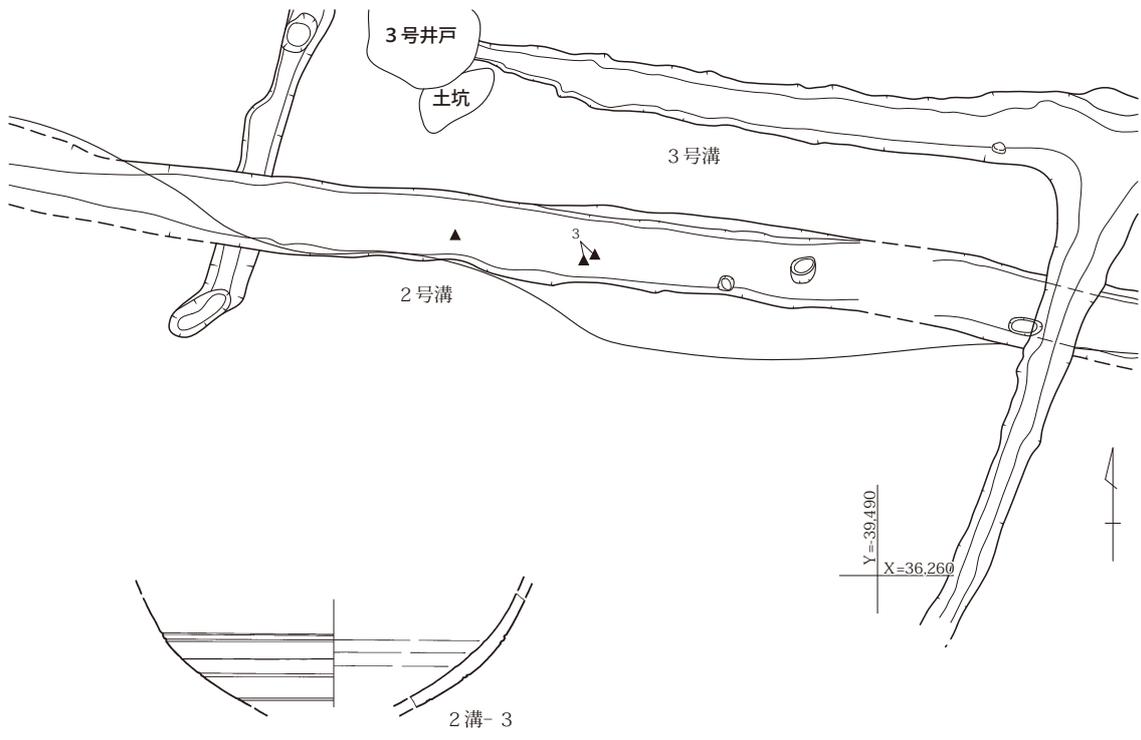
第3章 検出遺構と出土遺物

7区 1・2号溝(1)

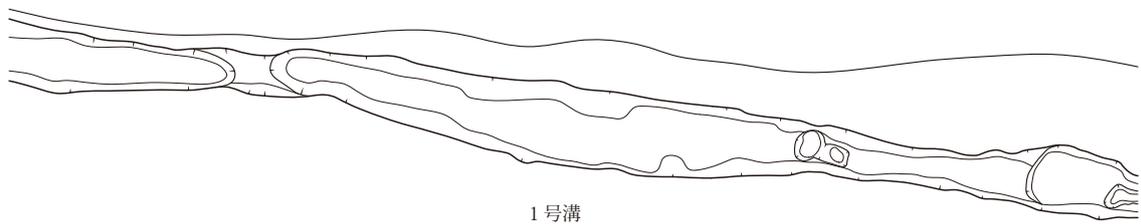


第625図 7区 1・2号溝跡 [道路側溝跡] 平面図(1)

7区 1・2・3号溝(2)



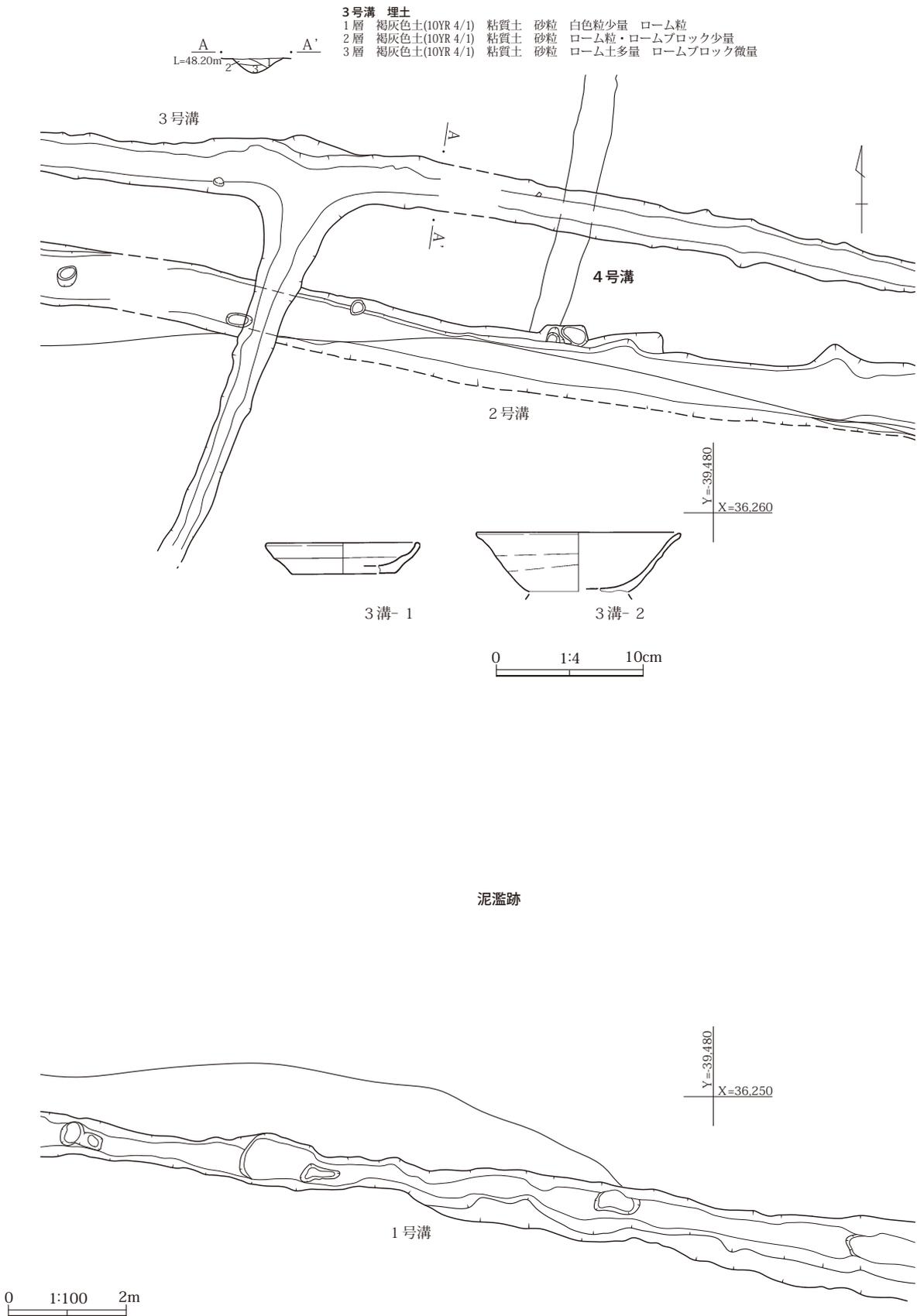
泥濘跡



第626図 7区1・2号溝跡 [道路側溝跡] 平面図(2)、3号溝跡(1)、2号溝跡出土遺物

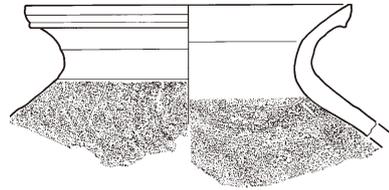
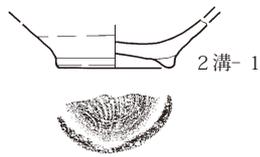
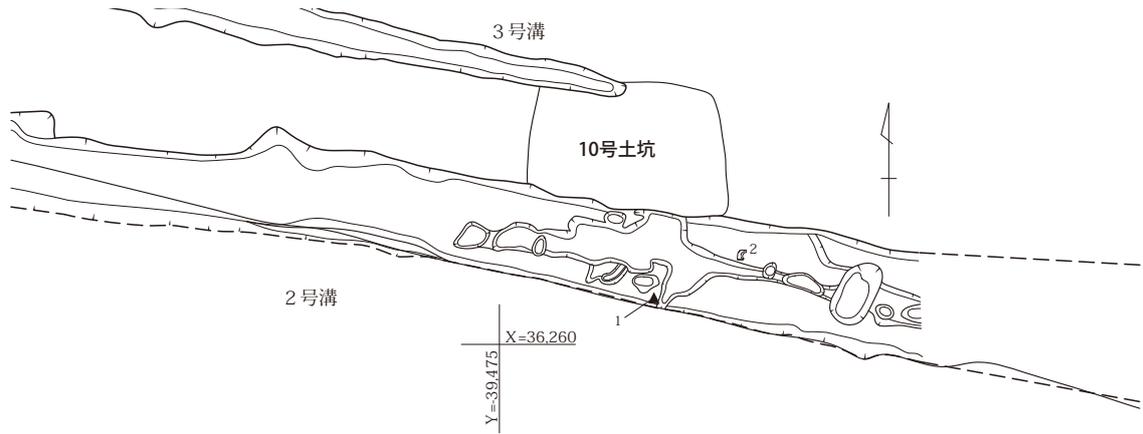
第3章 検出遺構と出土遺物

7区1・2号溝(3)・3号溝(2)



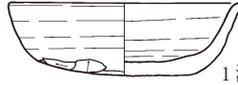
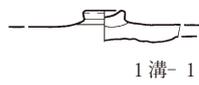
第627図 7区1・2号溝跡 [道路側溝跡] 平面図(3)、3号溝跡平・断面図(2)、出土遺物

7区1・2号溝(4)・3号溝(3)

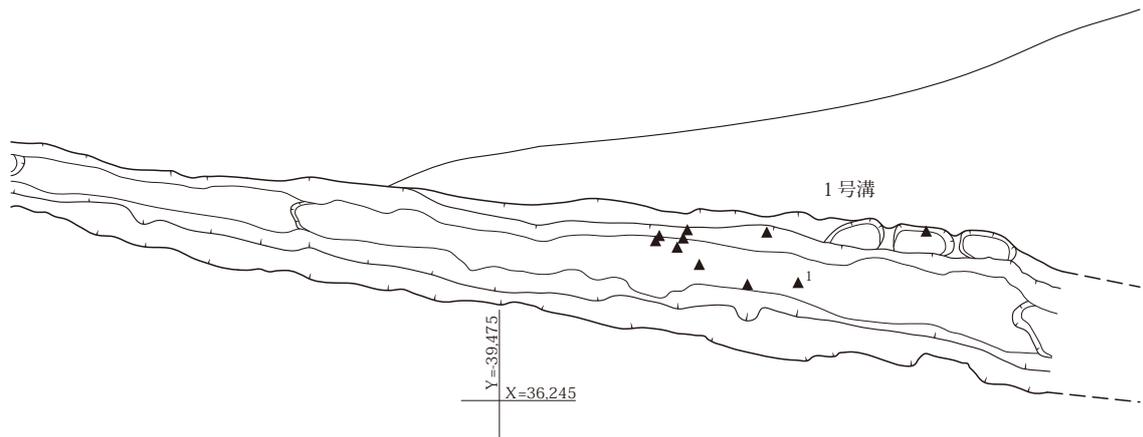


0 1:4 10cm

泥濘跡



0 1:4 10cm

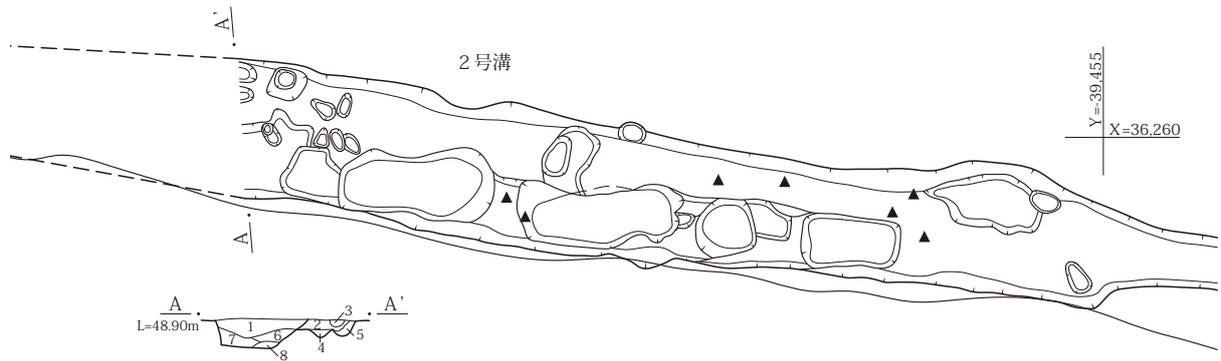


0 1:100 2m

第628図 7区1・2号溝跡 [道路側溝跡] 平面図(4)、3号溝跡(3)平面図、1・2号溝跡出土遺物

### 第3章 検出遺構と出土遺物

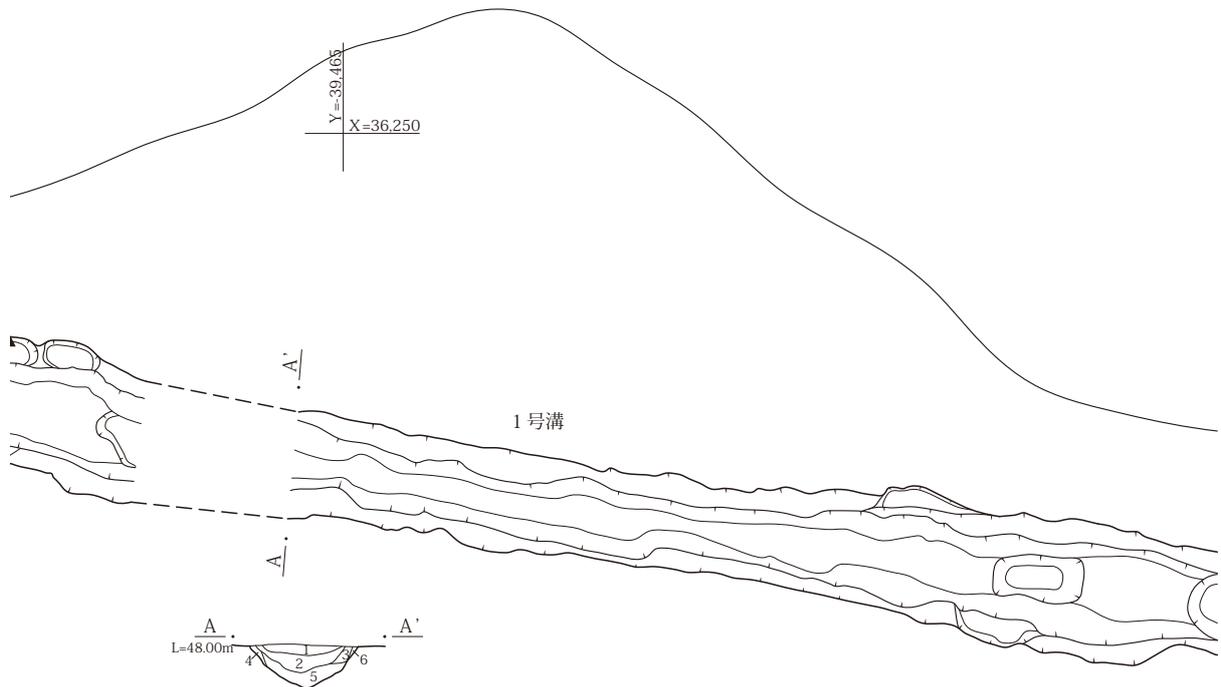
#### 7区1・2号溝(5)



#### 2号溝 埋土

- 1層 暗褐色土(10YR 3/3) 白色軽石(粒)やや多い ローム土
- 2層 明黄褐色土(2.5YR 7/6) ローム主体 褐色粒多量
- 3層 暗褐色土(10YR 3/3) 白色軽石(粒)・ローム粒・炭化物少量
- 4層 にぶい黄褐色土(10YR 5/3) ロームブロック・ローム土多量 炭化物微量
- 5層 にぶい黄褐色土(10YR 5/3) ロームブロック・ローム土多量 煤ブロック少量
- 6層 にぶい黄褐色土(10YR 5/3) 粘質土・ローム土多量 ローム小ブロック多量
- 7層 黒褐色土(10YR 3/1) 粘質土・ローム土・ロームブロック多量 白色軽石(粒)少量
- 8層 黒褐色土(10YR 3/1) 粘質土・ローム土多

#### 泥濘跡



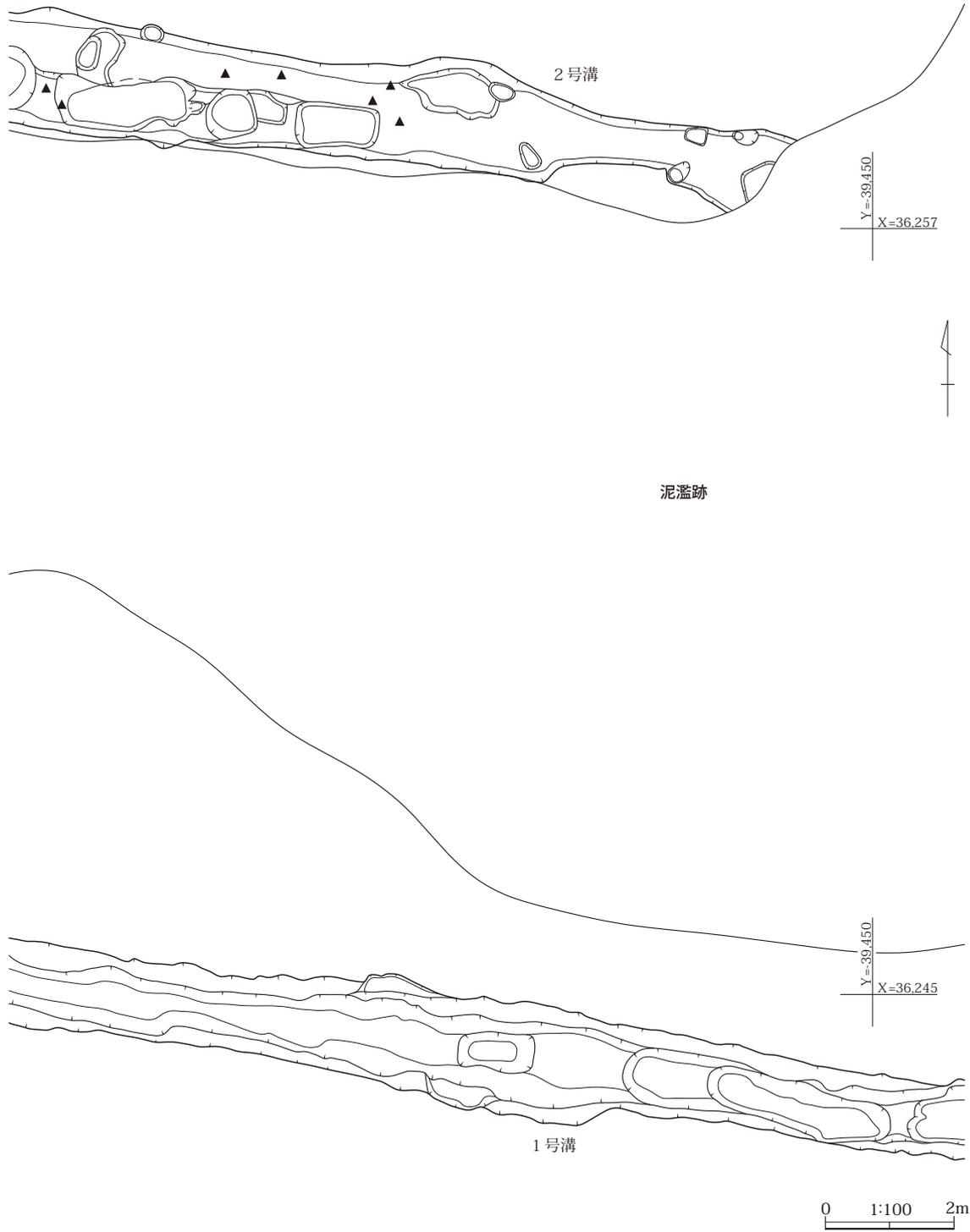
#### 1号溝 埋土

- 1層 暗褐色土(10YR 3/3) 粘質土・砂・白色軽石(粒)多量 しまる
- 2層 暗褐色土(10YR 3/3) 粘質土・砂・白色軽石(粒)少量 ローム土ブロック・焼土粒微量
- 3層 暗褐色土(10YR 3/3) 粘質土・ローム土多量 ローム小ブロック
- 4層 暗褐色土(10YR 3/3) 粘質土・ローム土多量
- 5層 暗褐色土(10YR 3/3) 粘質土・ローム土多量 黒褐色土ブロック
- 6層 暗褐色土(10YR 3/3) 粘質土・ローム土多量



第629図 7区1・2号溝跡 [道路側溝跡] 平・断面図(5)

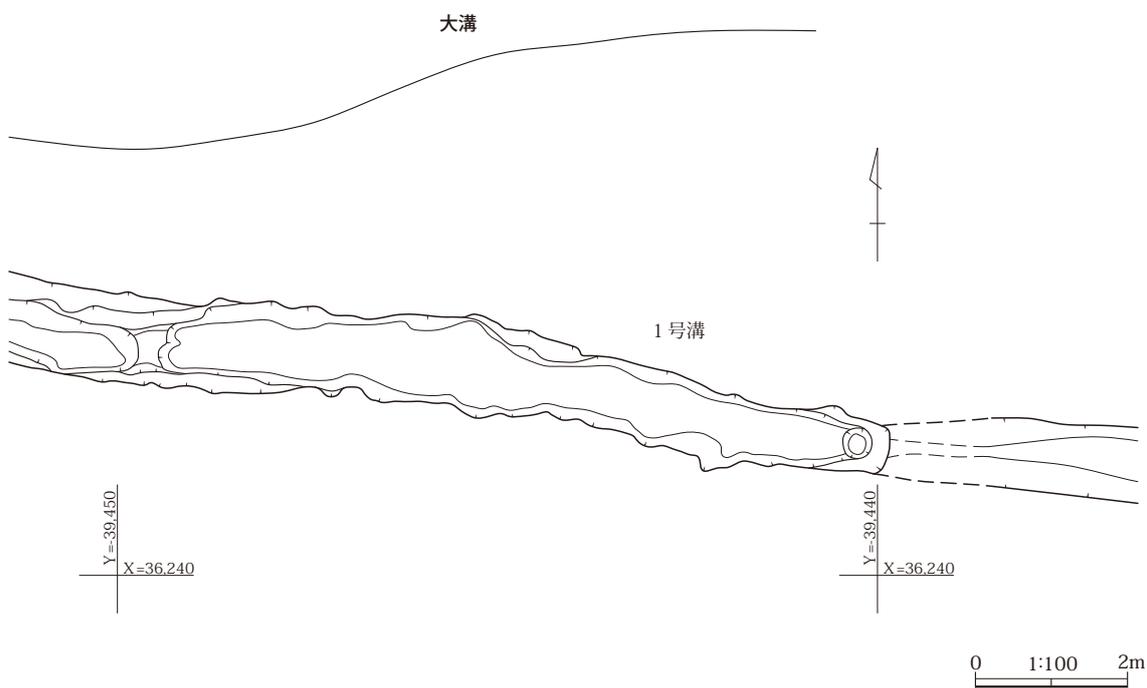
7区1・2号溝(6)



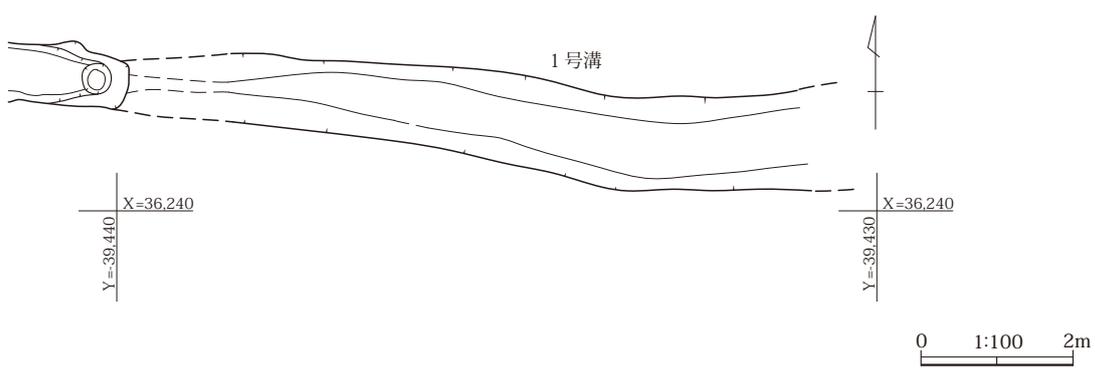
第630図 7区1・2号溝跡 [道路側溝跡] 平面図(6)

第3章 検出遺構と出土遺物

7区1号溝(7)

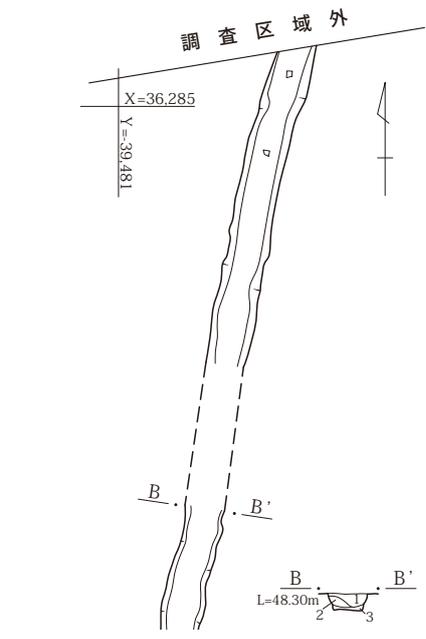


7区1号溝(8)



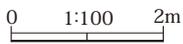
第631図 7区1・2号溝跡 [道路側溝跡] 平面図(7)・(8)

7区4号溝(1)

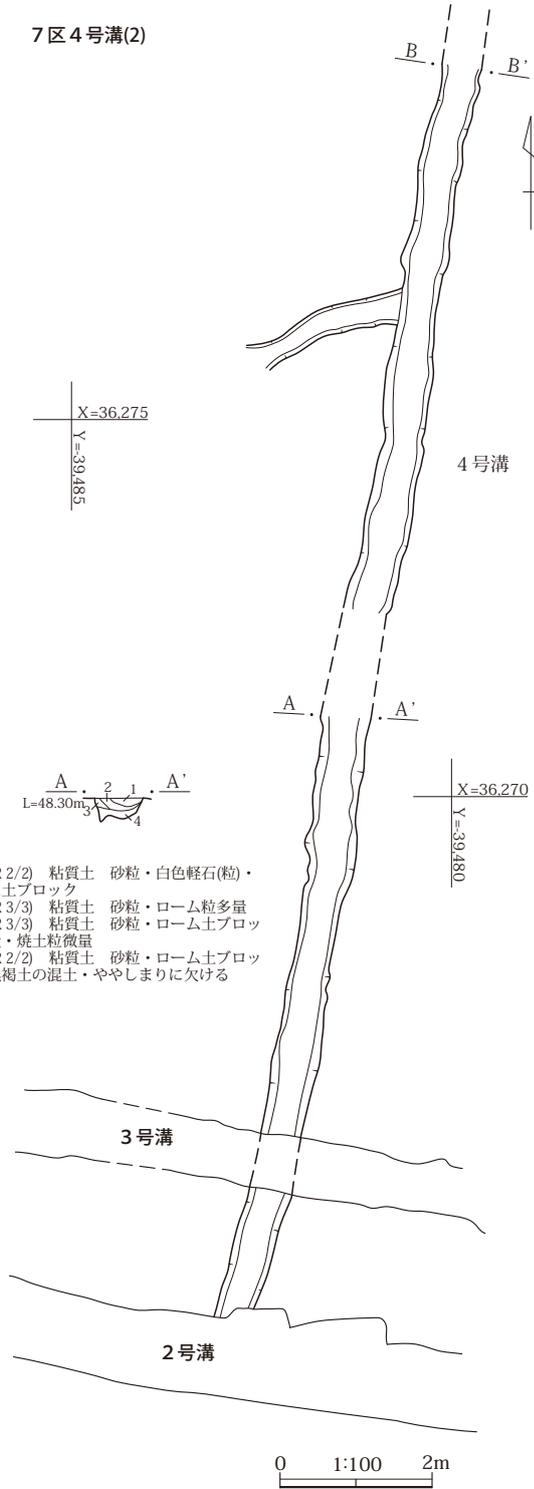


4号溝 埋土

- 1層 黒褐色土(10YR 2/2) 粘質土 砂粒・白色軽石(粒)・ローム土ブロック
- 2層 暗褐色土(10YR 3/3) 粘質土 砂粒・ローム土ブロック多量・焼土粒微量
- 3層 黒褐色土(10YR 2/2) 粘質土 砂粒・ローム土ブロックと黒褐色土の混土・ややしまりに欠ける



7区4号溝(2)



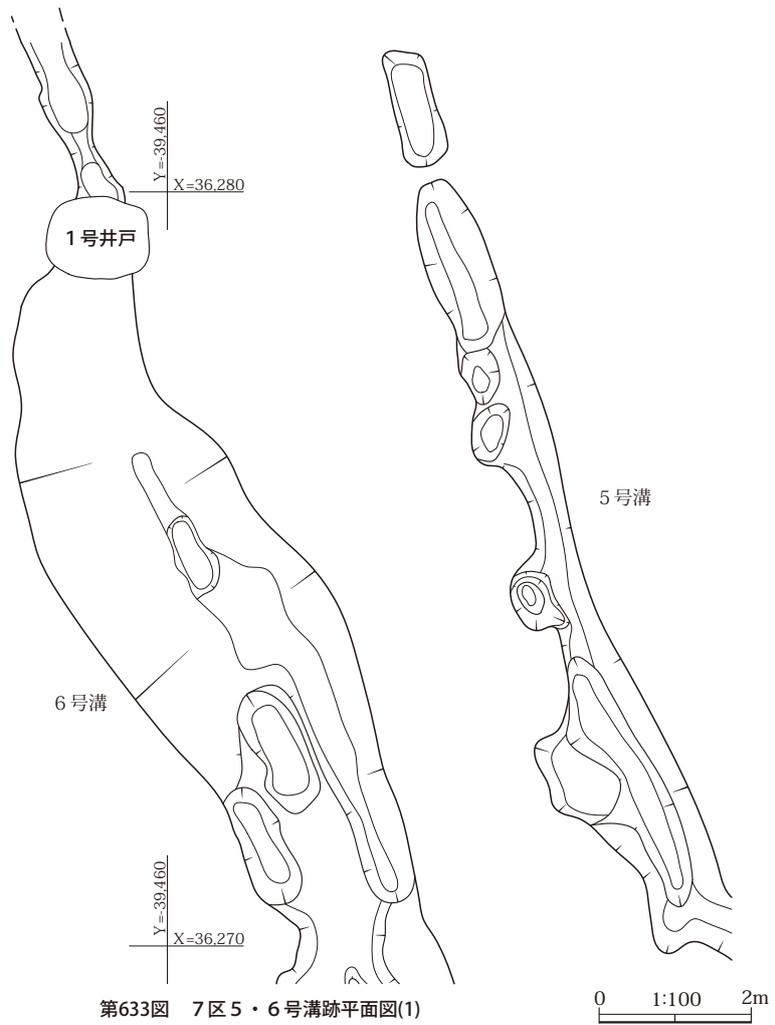
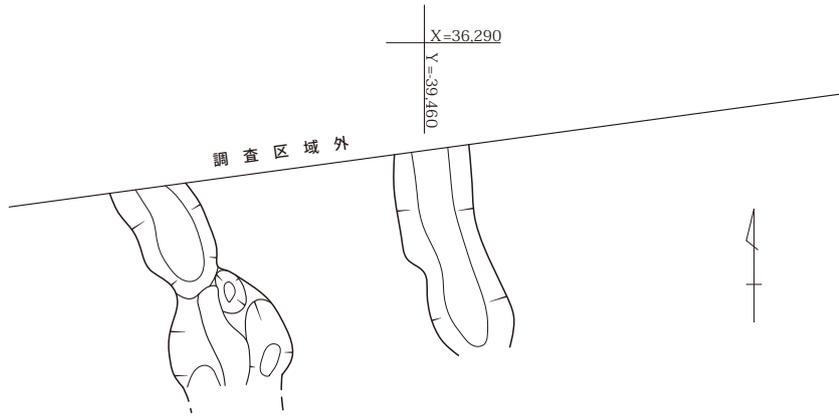
4号溝 埋土(A-A')

- 1層 黒褐色土(10YR 2/2) 粘質土 砂粒・白色軽石(粒)・ローム土ブロック
- 2層 暗褐色土(10YR 3/3) 粘質土 砂粒・ローム粒多量
- 3層 暗褐色土(10YR 3/3) 粘質土 砂粒・ローム土ブロック多量・焼土粒微量
- 4層 黒褐色土(10YR 2/2) 粘質土 砂粒・ローム土ブロックと黒褐色土の混土・ややしまりに欠ける

第632図 7区4号溝跡平・断面図(1)・(2)

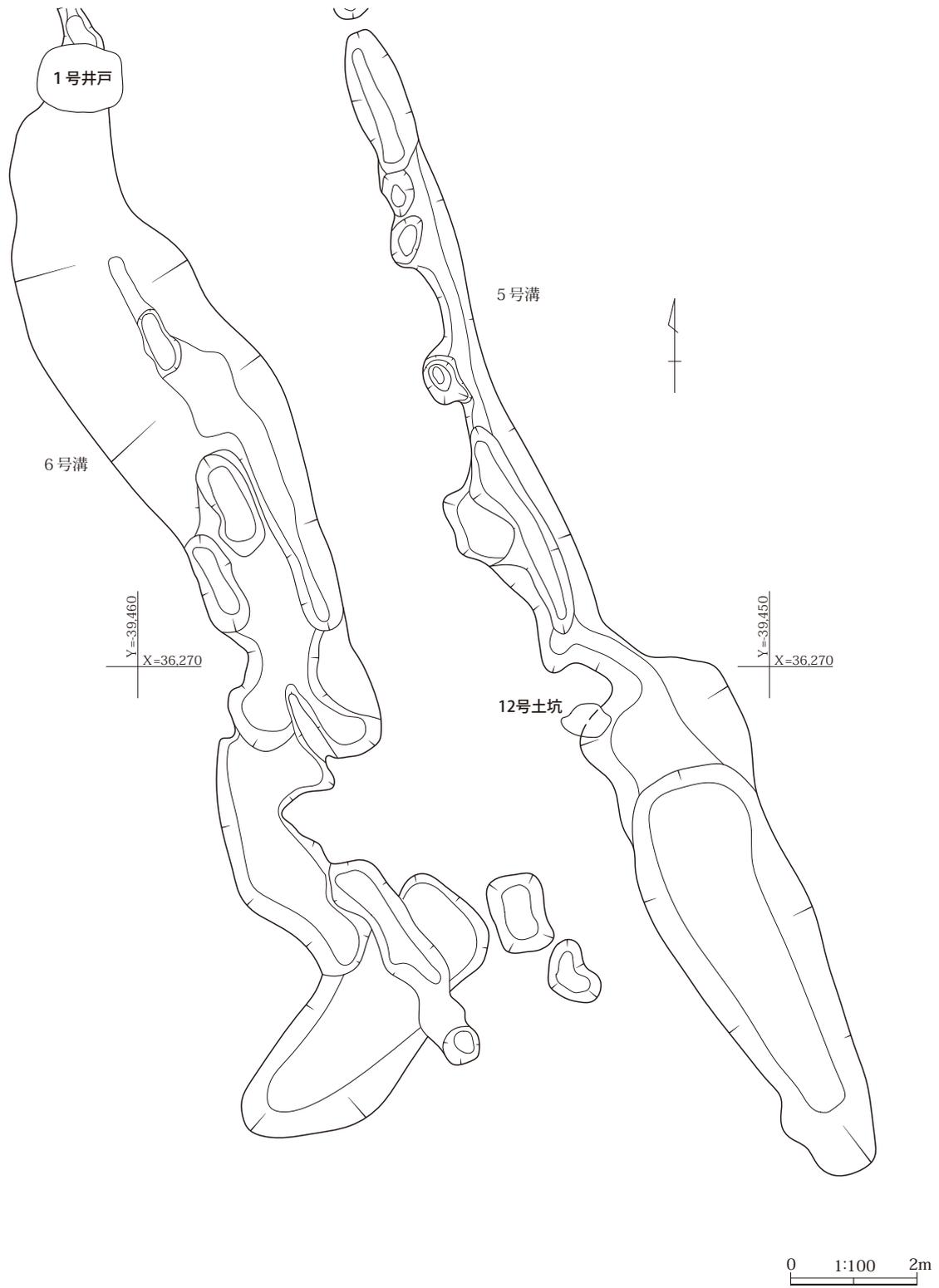
第3章 検出遺構と出土遺物

7区5・6号溝(1)



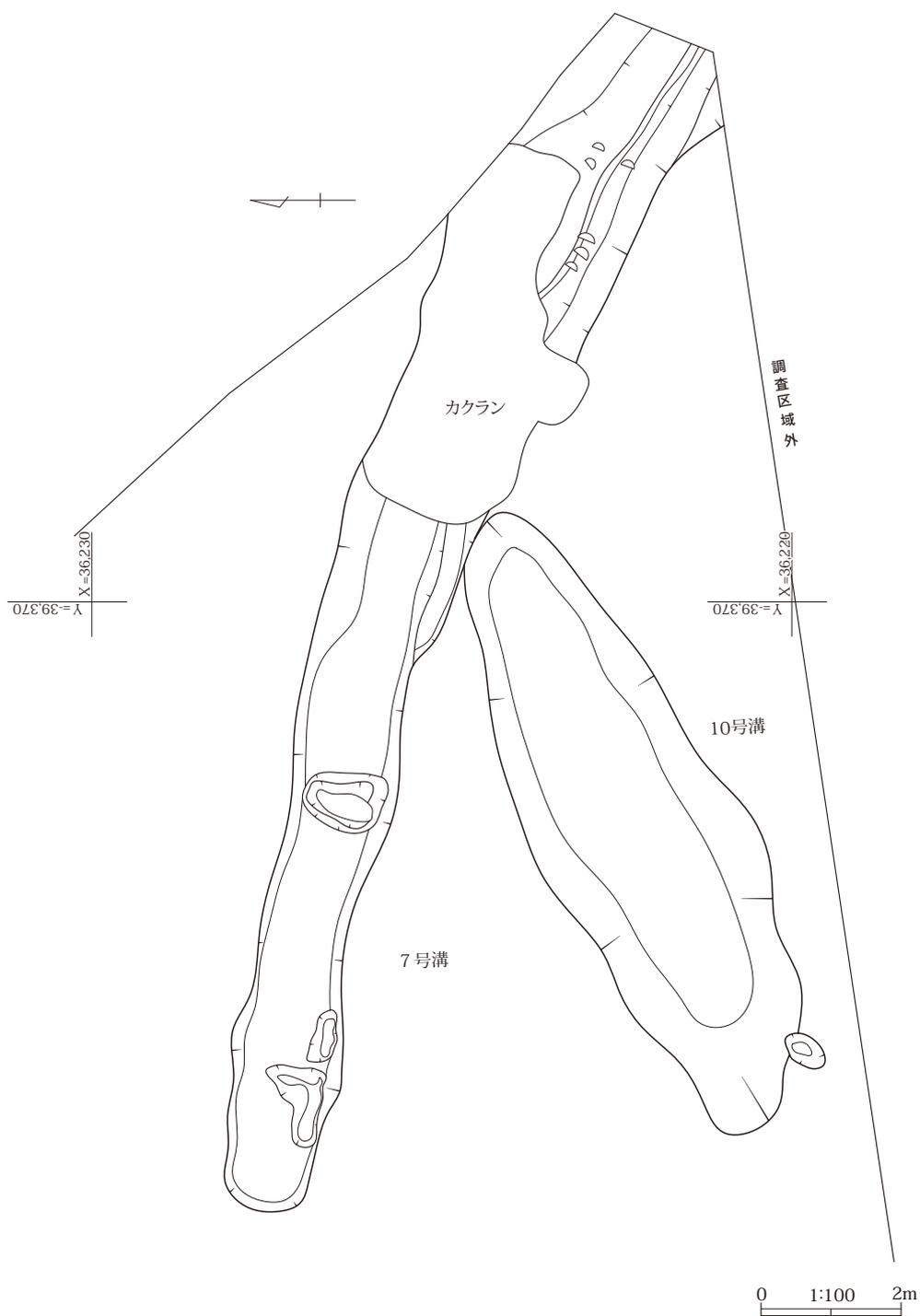
第633図 7区5・6号溝跡平面図(1)

7区5・6号溝(2)



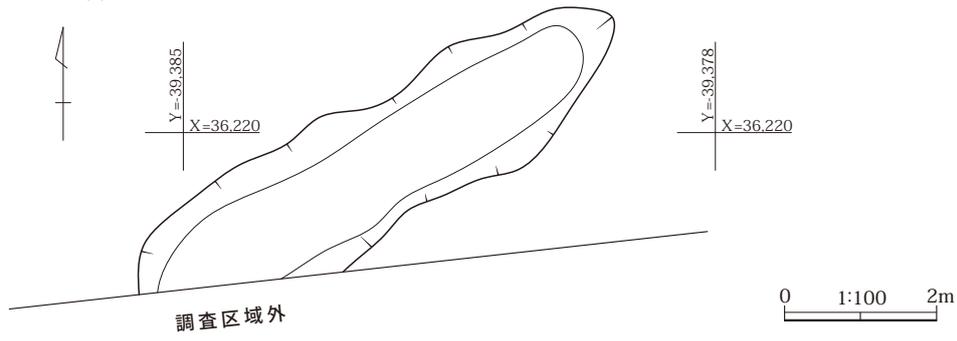
第634図 7区5・6号溝跡平面図(2)

7区7・10号溝

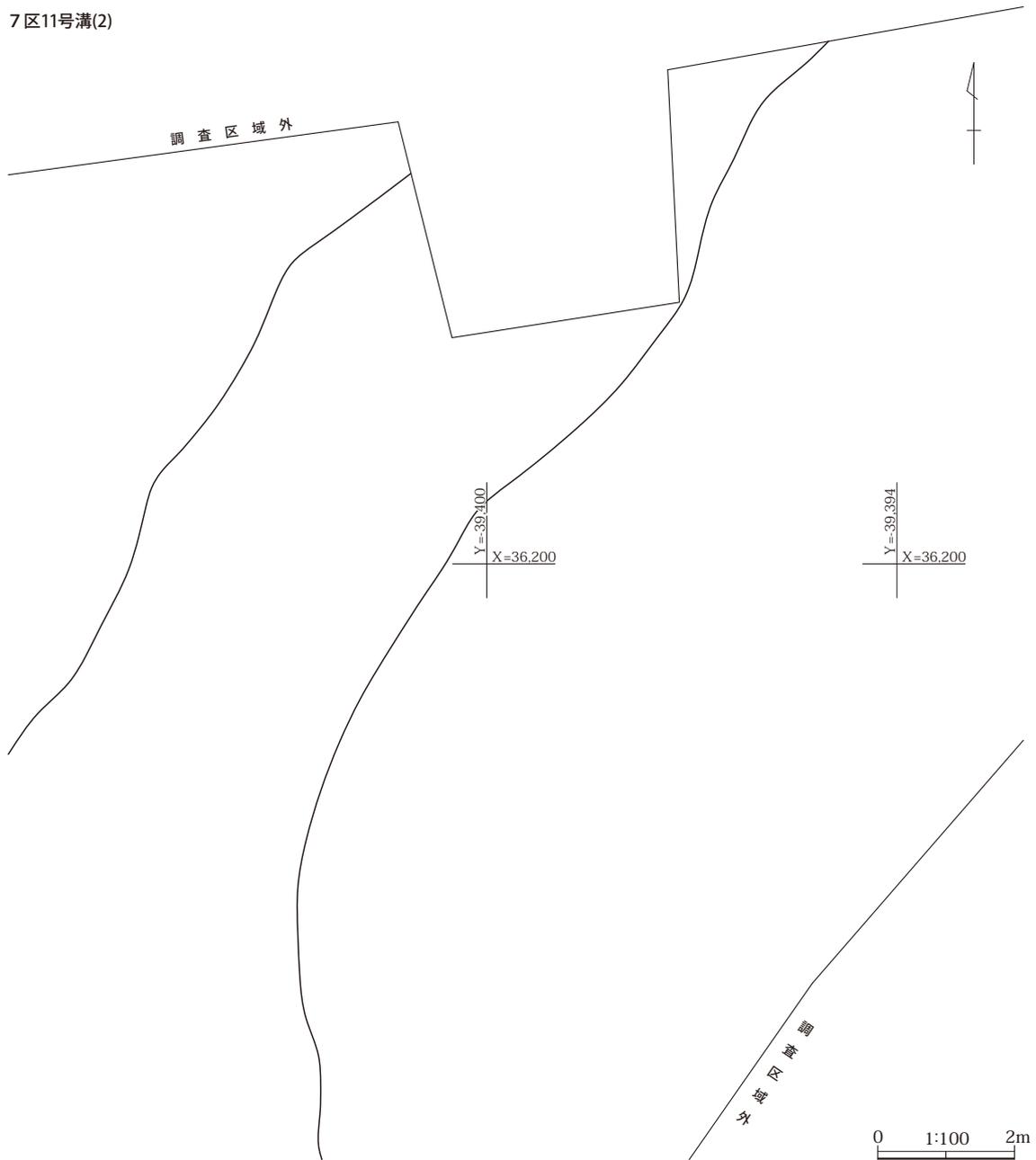


第635図 7区7・10号溝跡平面図

7区11号溝(1)

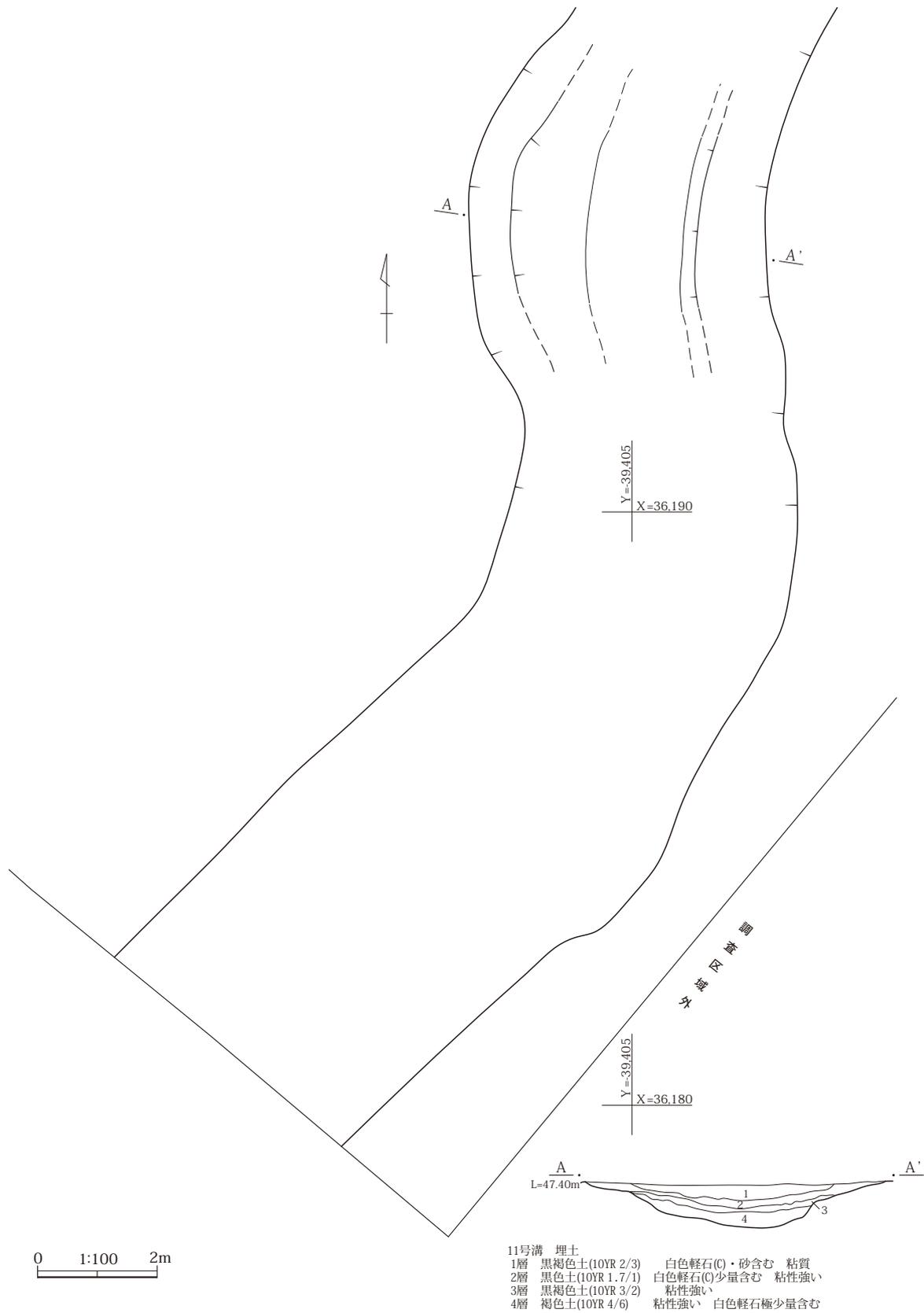


7区11号溝(2)

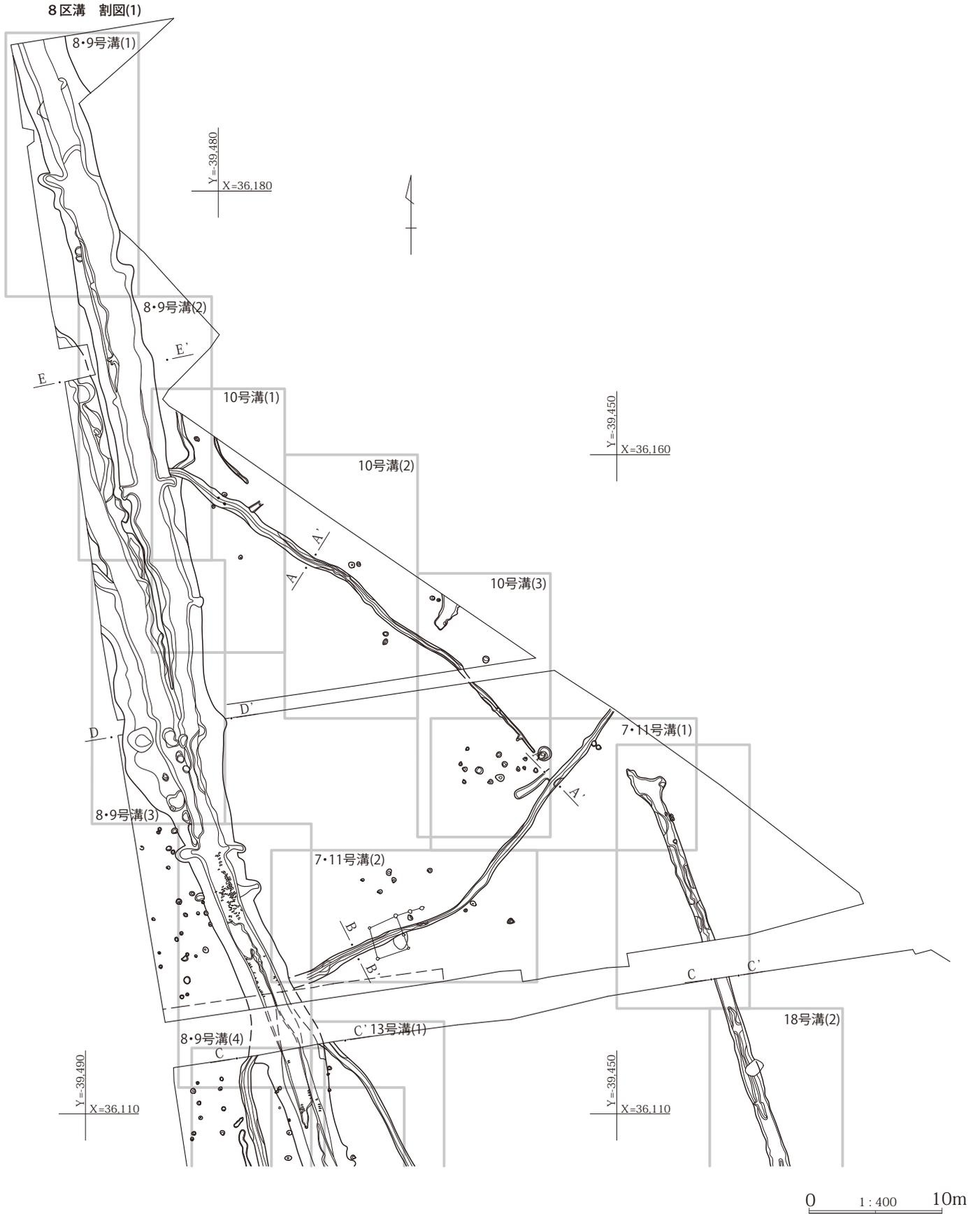


第636図 7区11号溝跡平面図(1)・(2)

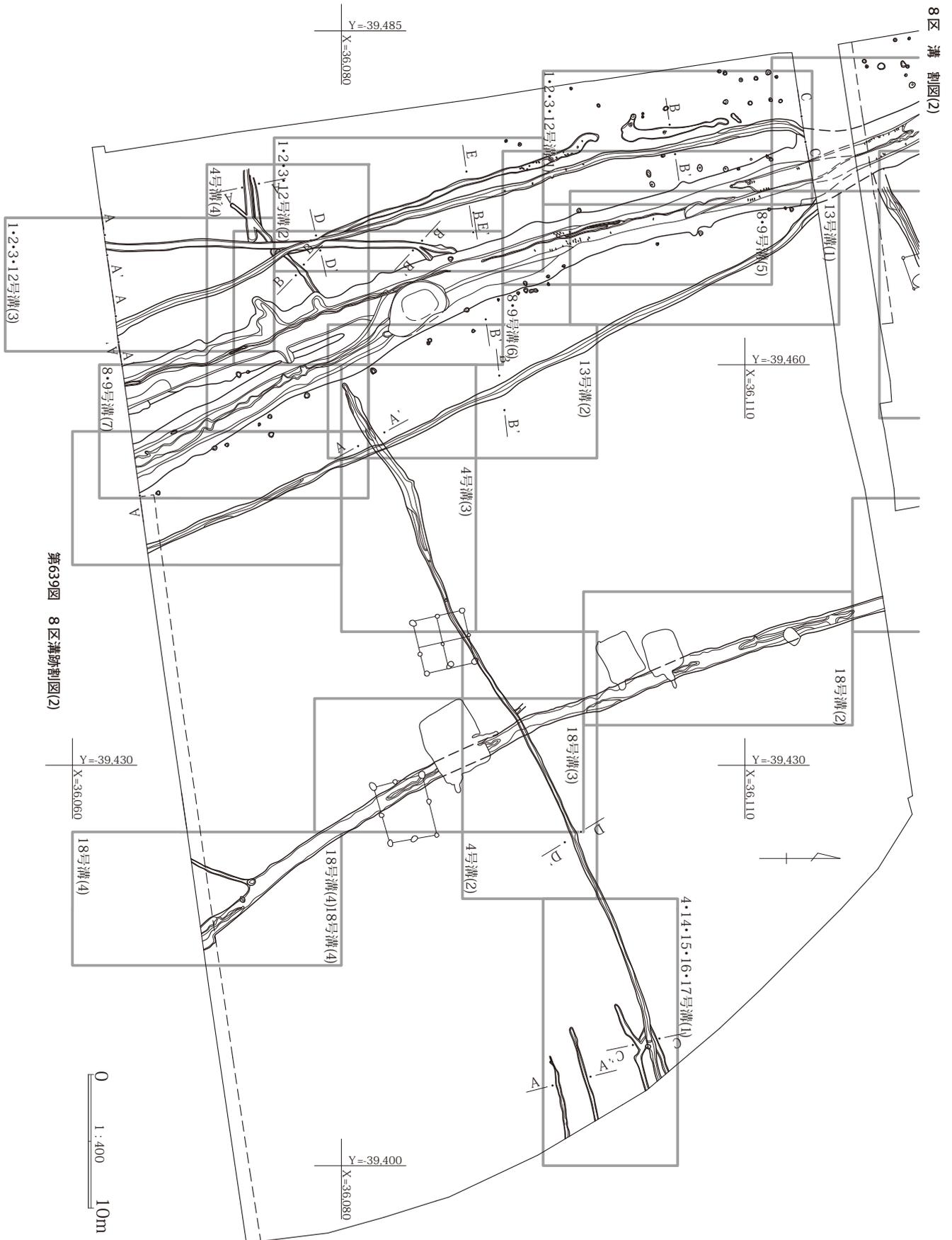
7区11号溝(3)



第637図 7区11号溝跡平・断面図(3)

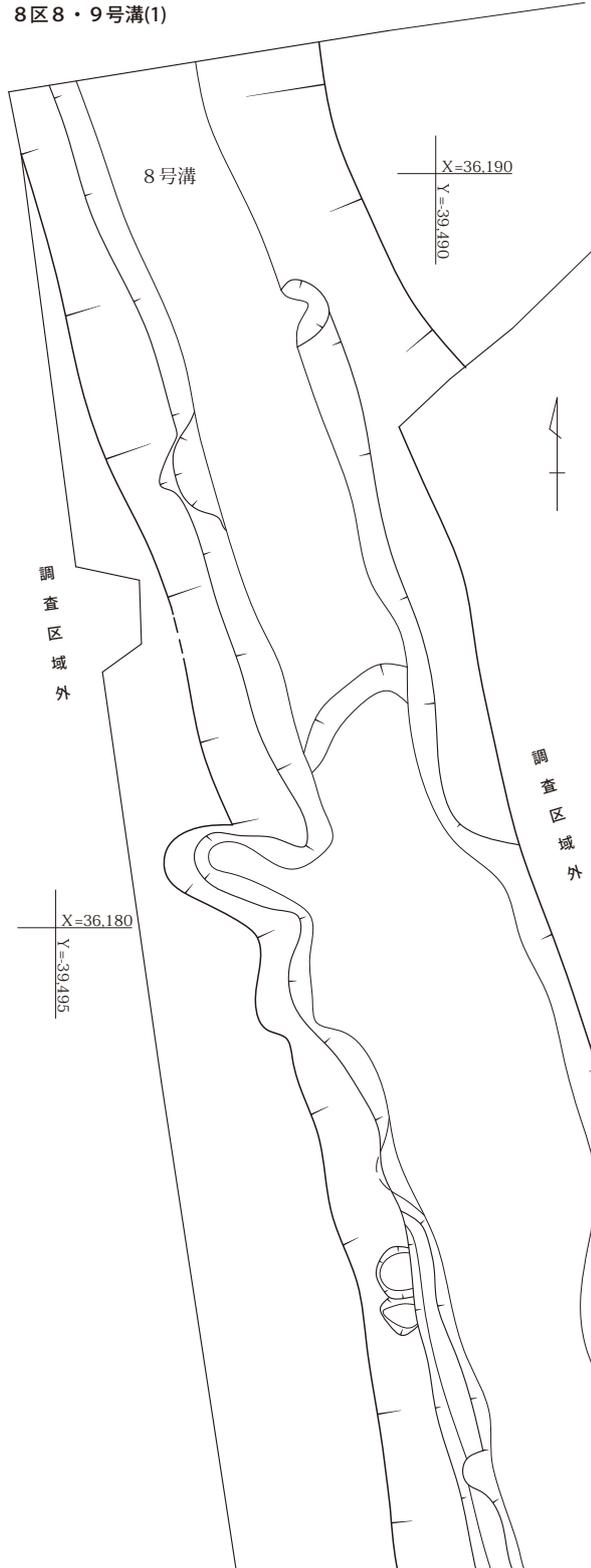


第638図 8区溝跡割図(1)

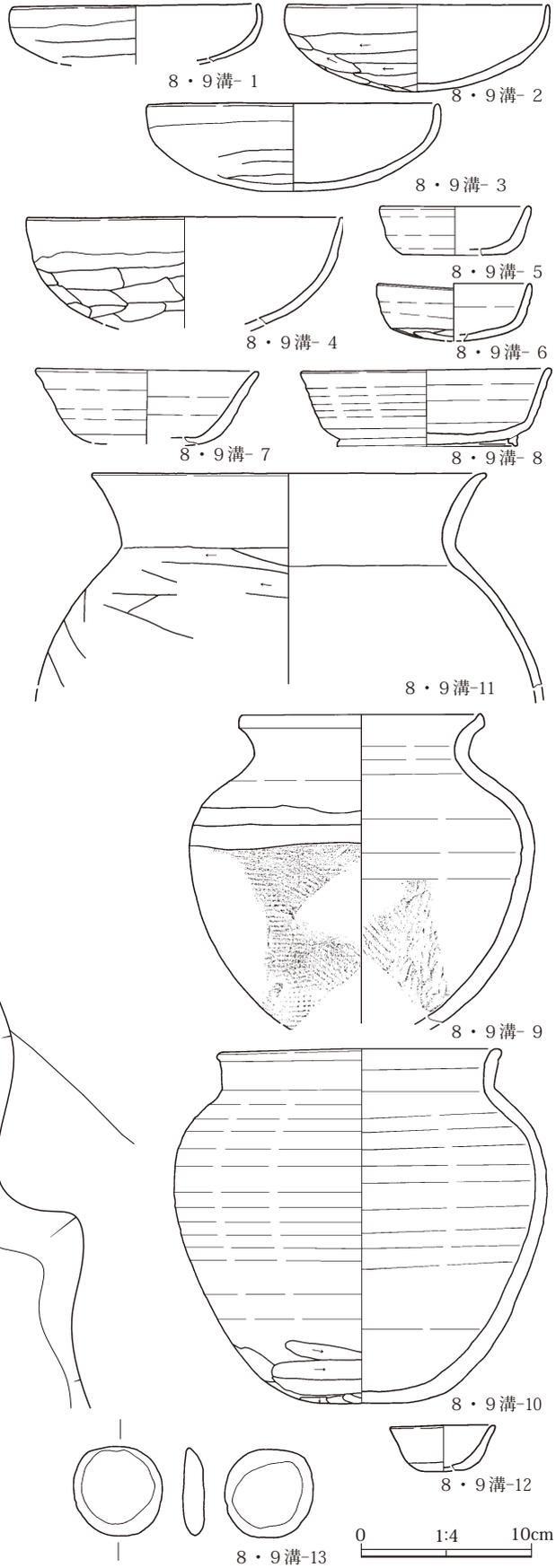


第639図 8区溝跡図(2)

8区8・9号溝(1)



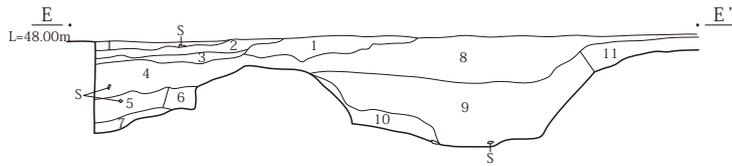
0 1:100 2m



第640図 8区8・9号溝跡平面図(1)、出土遺物

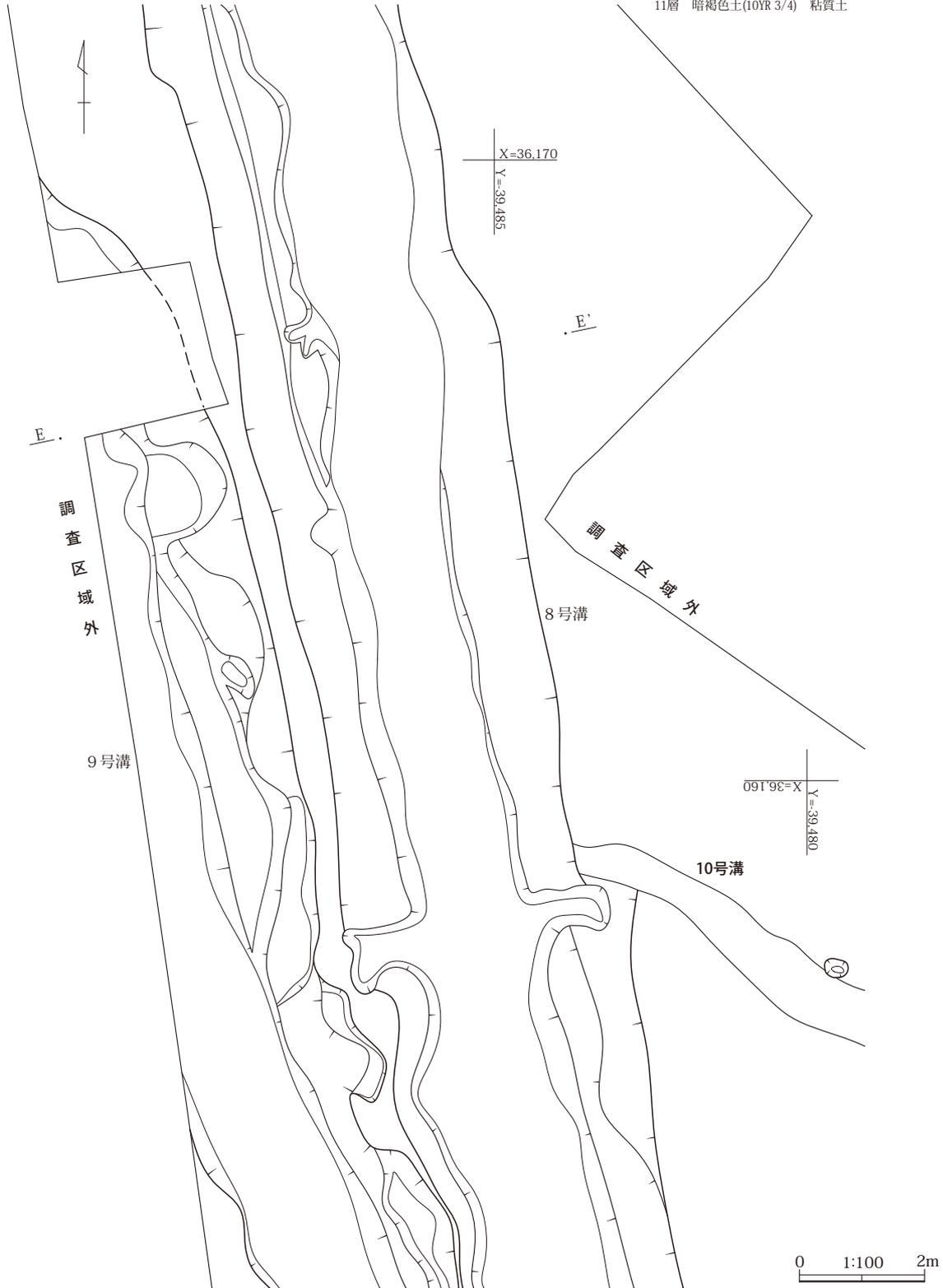
第3章 検出遺構と出土遺物

8区8・9号溝(2)



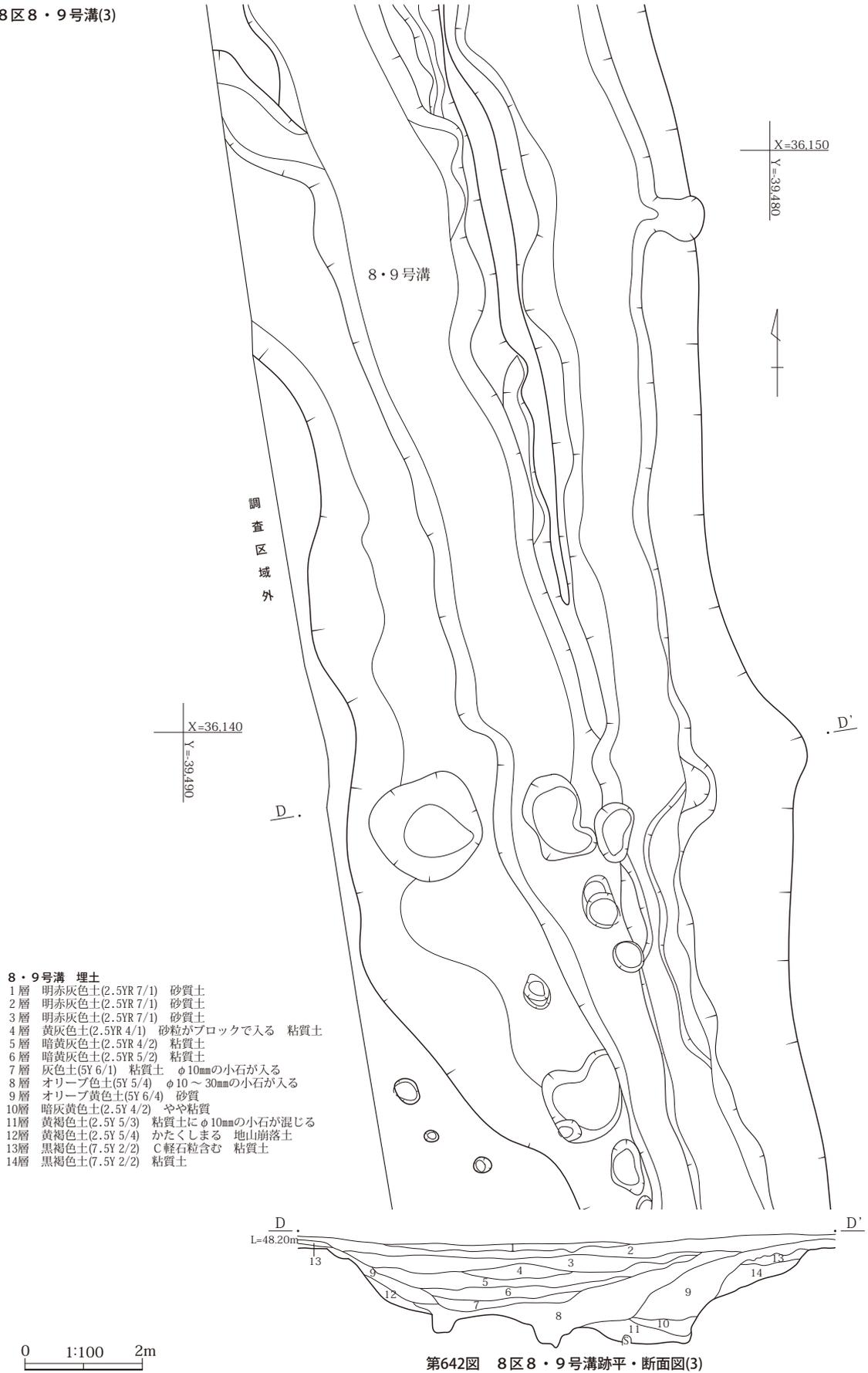
8・9号溝 埋土

- 1層 明赤灰色土(2.5YR 7/1) 砂質土
- 2層 明赤灰色土(2.5YR 7/1) 砂質土
- 3層 明黄褐色土(10YR 6/6) 砂質土にFP含む
- 4層 暗褐色土(10YR 3/3) やや粘質 FP含む
- 5層 暗褐色土(10YR 3/3) やや粘質
- 6層 にぶい黄褐色土(10YR 6/4) 砂質
- 7層 黒褐色土(10YR 3/2) 粘質土
- 8層 にぶい黄褐色土(10YR 6/3) 砂質土
- 9層 灰黄褐色土(10YR 6/2) 砂質土に粘質土ブロックが入る
- 10層 暗褐色土(10YR 3/3) 粘質土
- 11層 暗褐色土(10YR 3/4) 粘質土

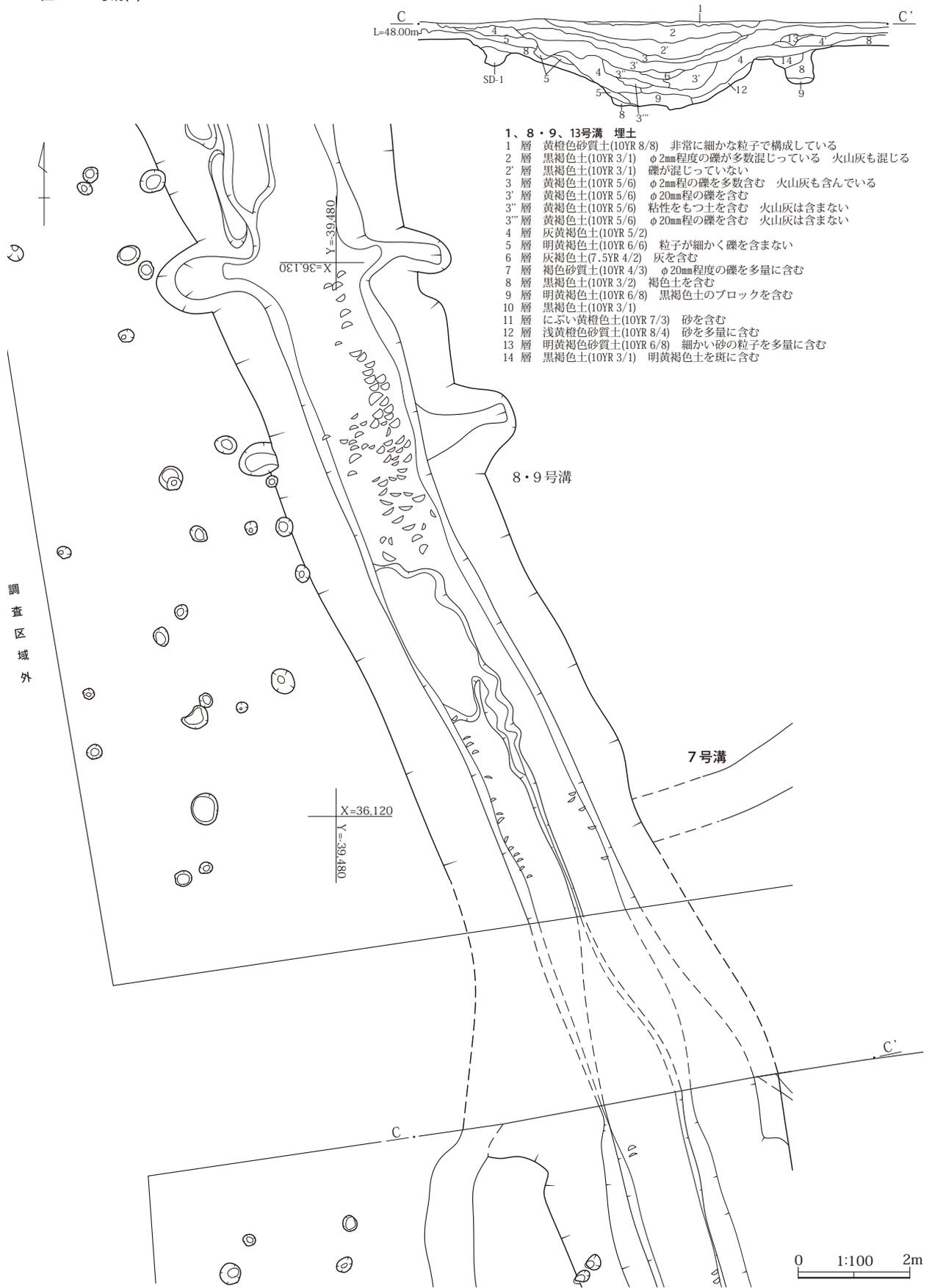


第641図 8区8・9号溝跡平・断面図(2)

8区8・9号溝(3)

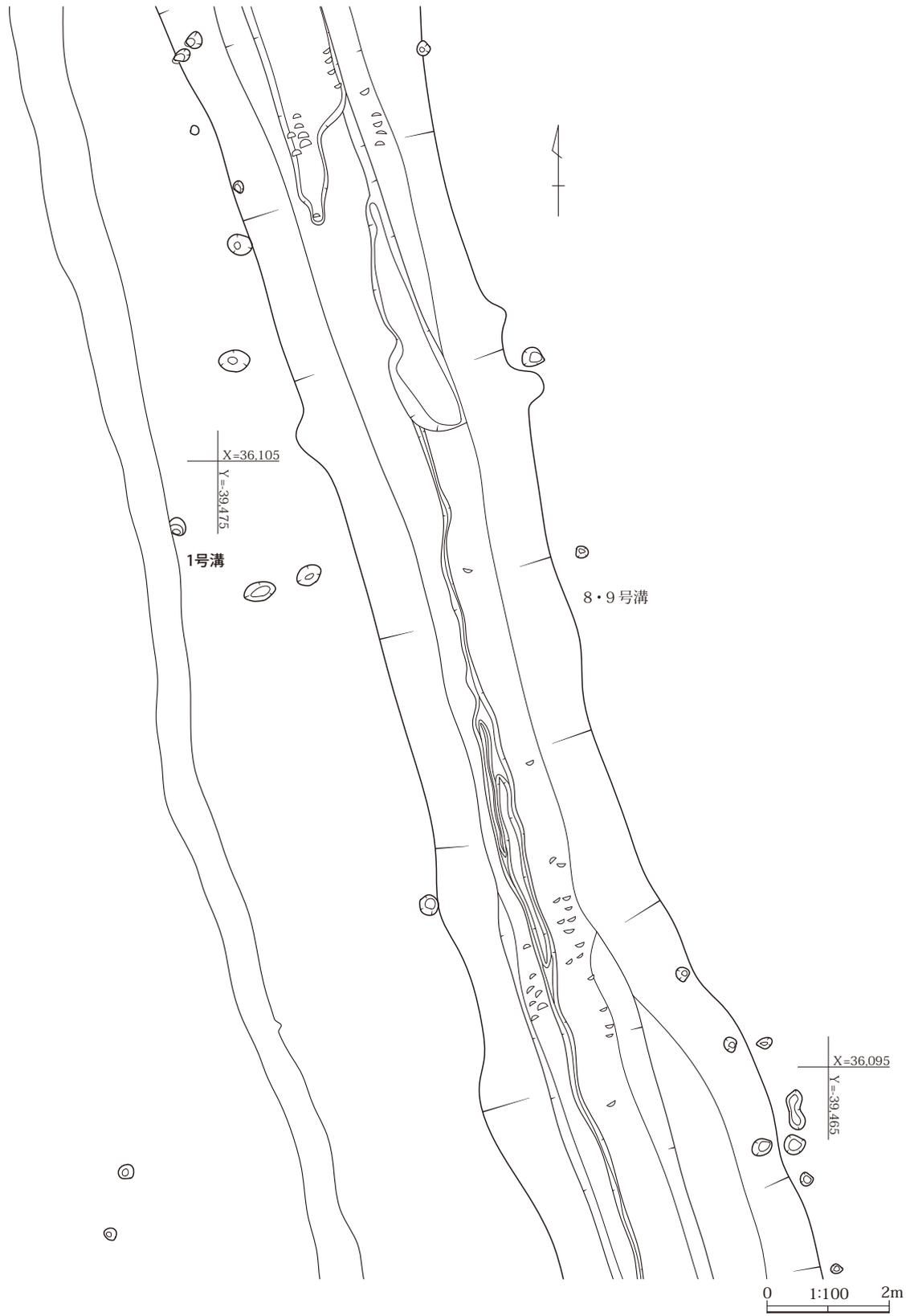


8区8・9号溝(4)



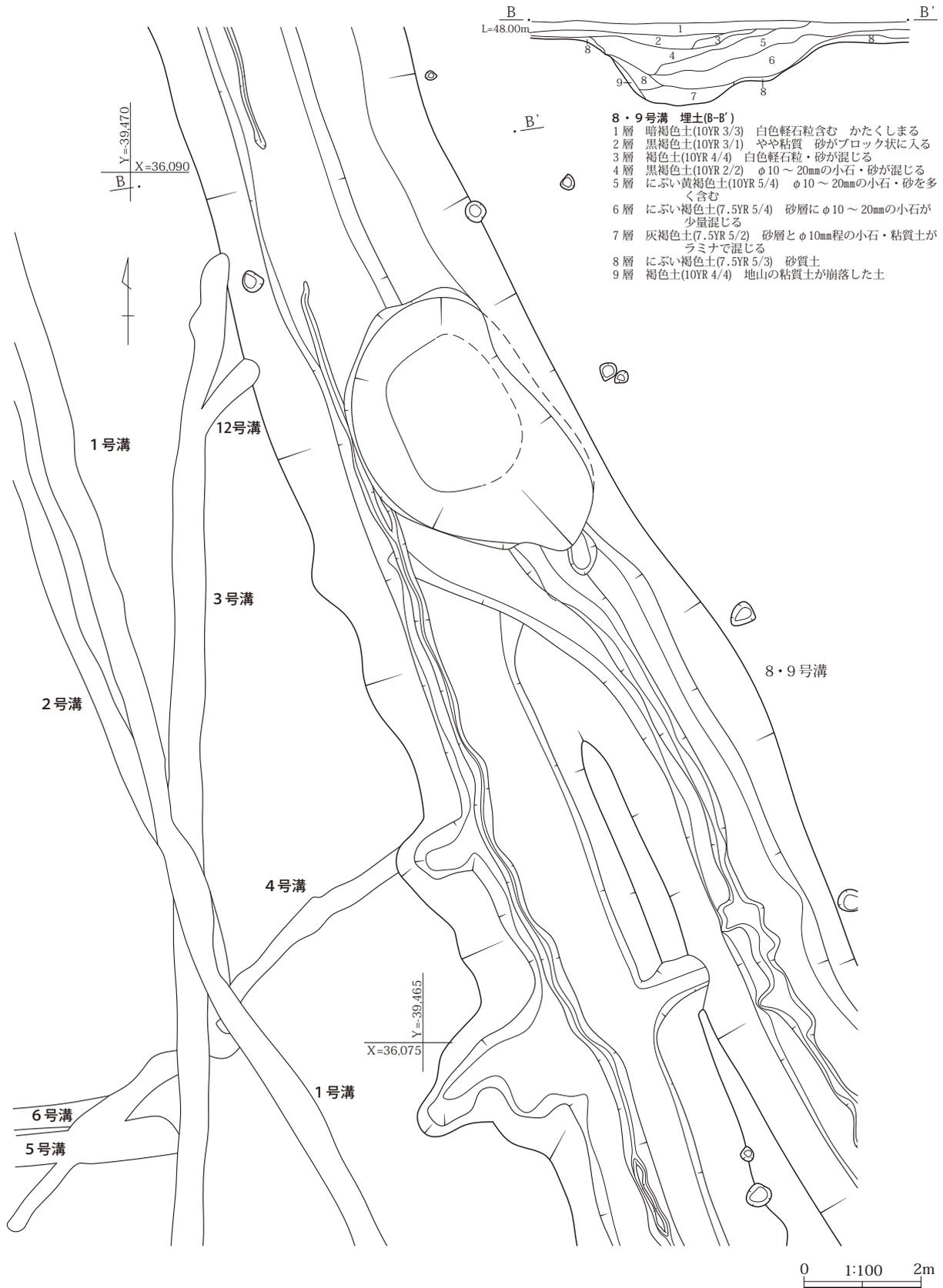
第643図 8区8・9号溝跡平・断面図(4)

8区8・9号溝(5)

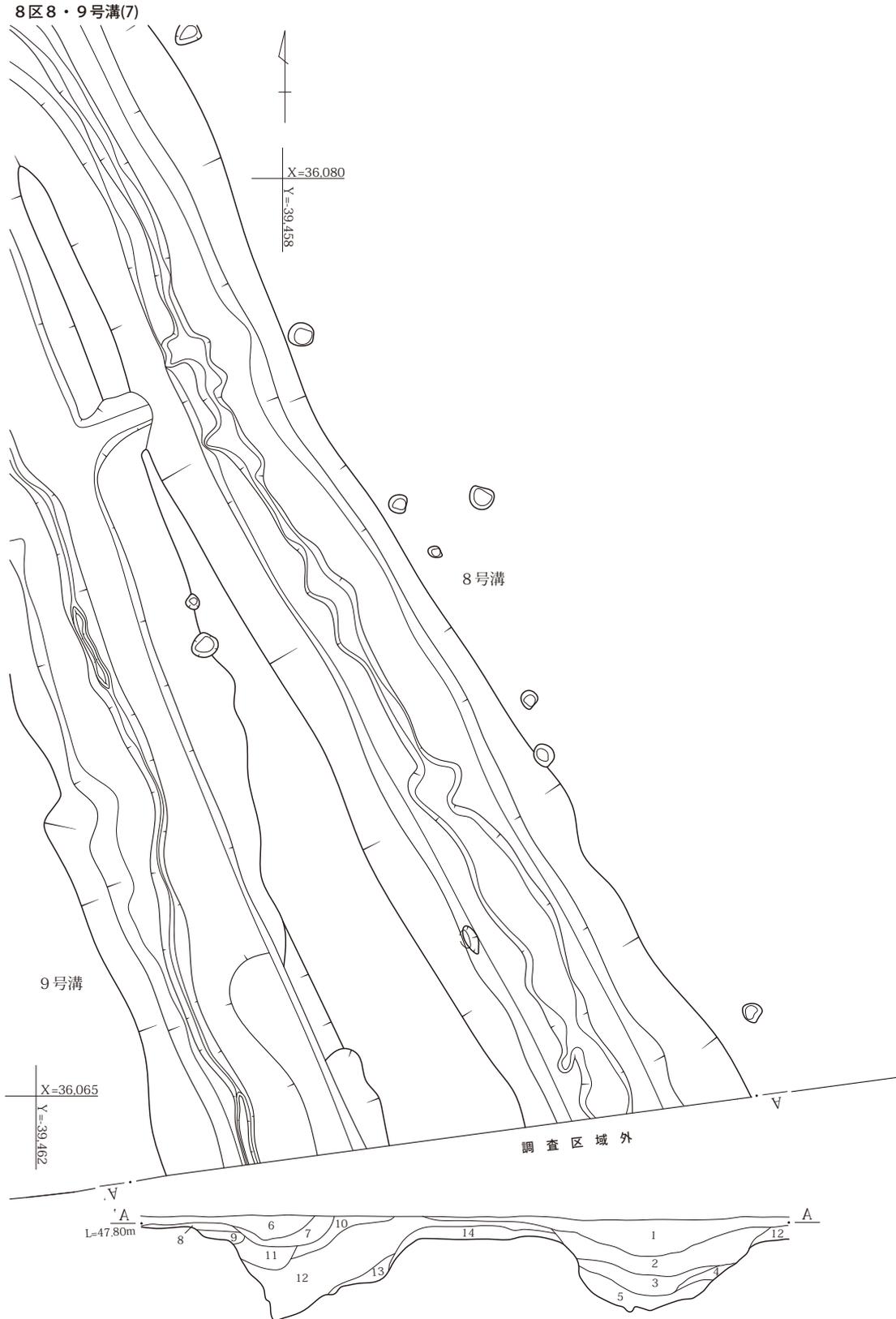


第644図 8区8・9号溝跡平面図(5)

8区8・9号溝(6)



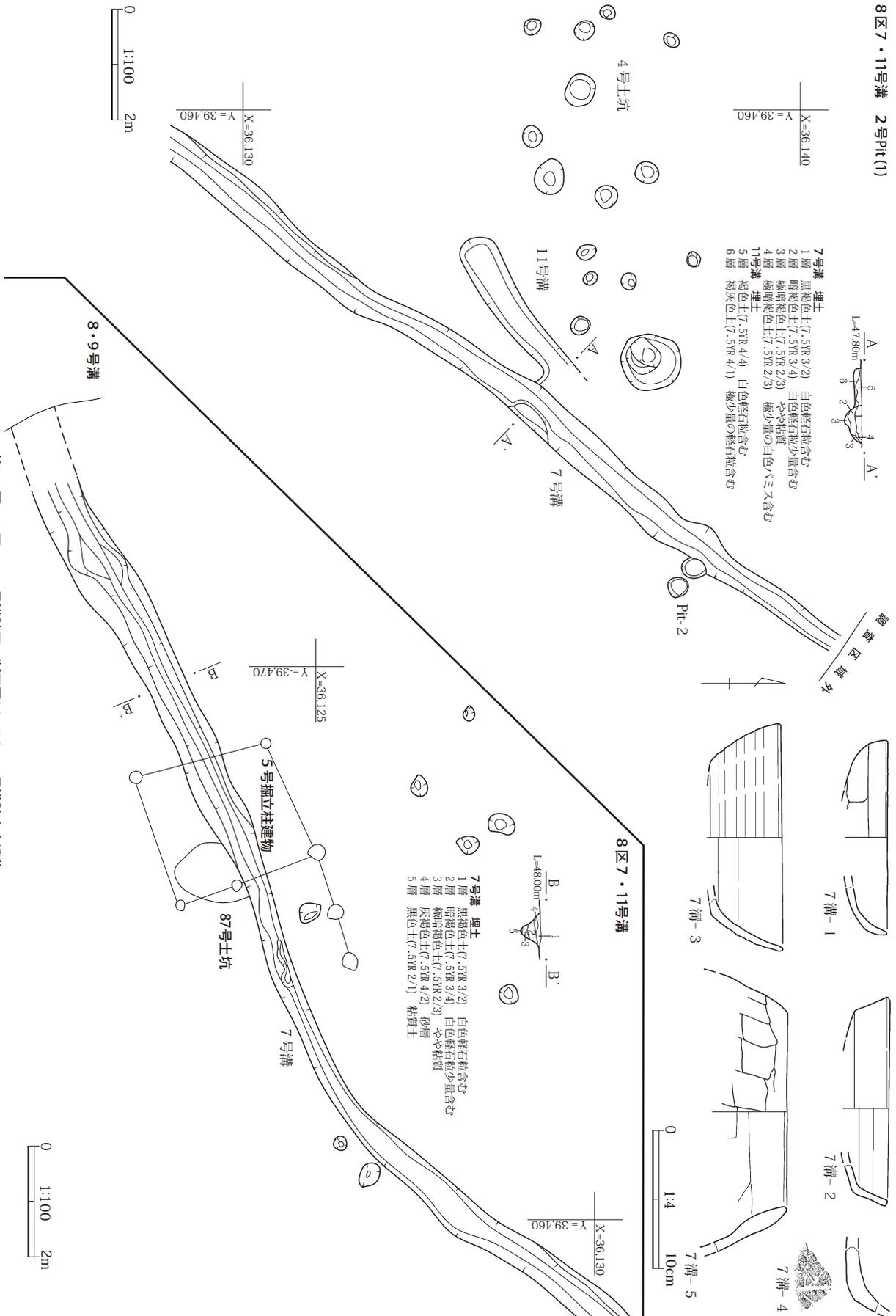
第645図 8区8・9号溝跡平・断面図(6)



8・9号溝 埋土(A-A')

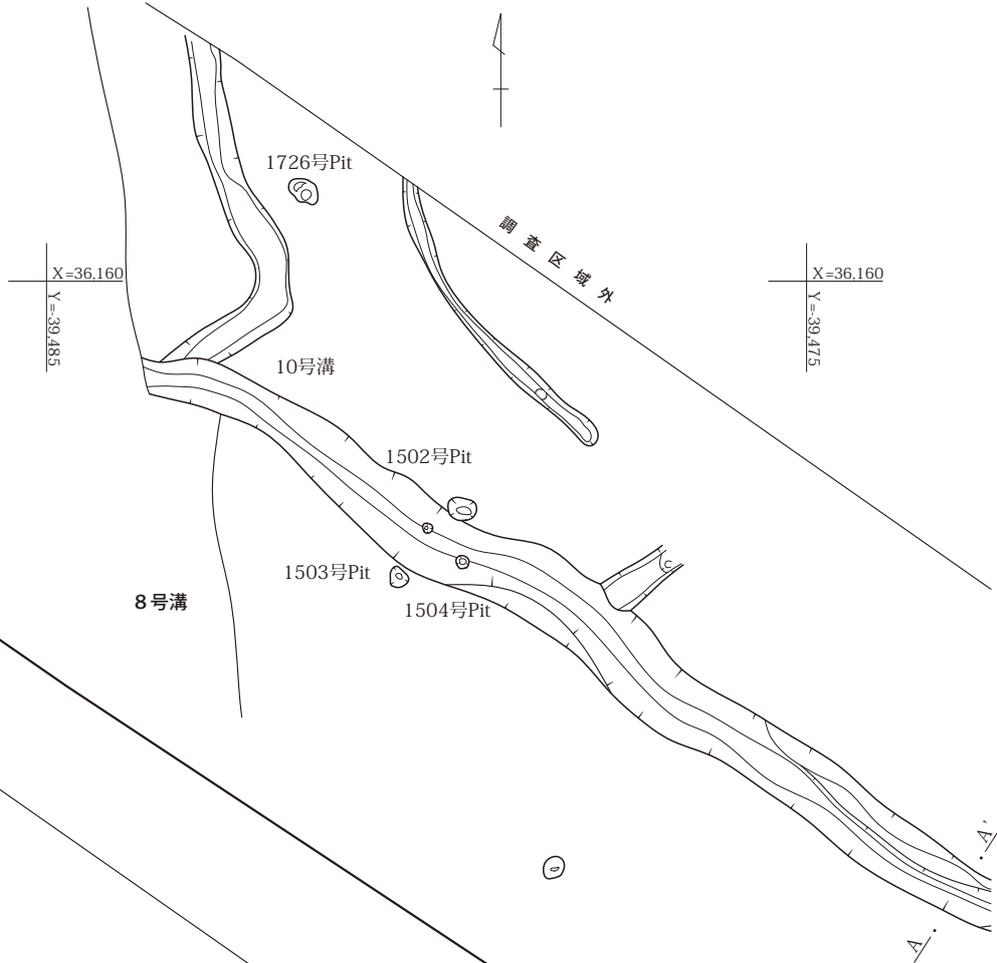
- |                                       |                                 |
|---------------------------------------|---------------------------------|
| 1層 黒褐色土(10YR 2/2) 粘質土に砂・白色軽石・少量の焼土粒含む | 8層 黒褐色土(10YR 2/3) 粘質土に少量の白色軽石含む |
| 2層 黒褐色土(10YR 3/2) 5層に黄褐色ローム土粒含む       | 9層 黒色土(10YR 2/2) 粘質土に多量の白色軽石含む  |
| 3層 砂利層                                | 10層 黒褐色土(10YR 4/4) 粘質土に砂        |
| 4層 にぶい黄褐色土(10YR 5/3) 粘質土(洪水層?)        | 11層 砂利層                         |
| 5層 砂利層                                | 12層 砂利層(下部)・洪水層(上部)             |
| 6層 砂利層                                | 13層 褐色土(10YR 4/6) 粘質土に砂含む       |
| 7層 にぶい黄褐色土(10YR 4/3) 粘質土に砂まじる         | 14層 黒褐色土(10YR 2/3) 粘質土          |

第646図 8区8・9号溝跡平・断面図(7)

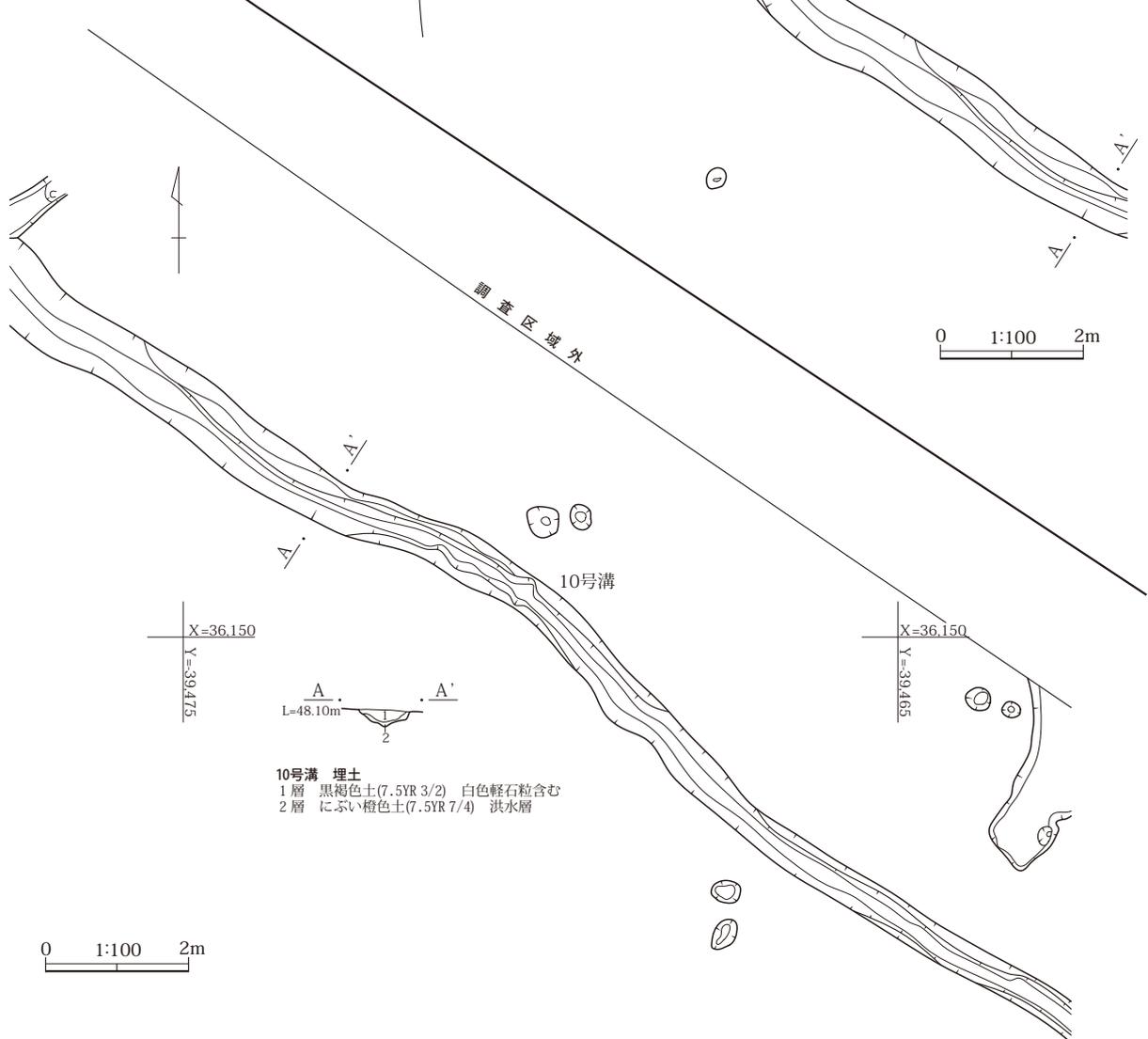


第647図 8区7・11号溝跡平・断面図(1)・(2)、7号溝跡出土遺物

8区10号溝(1)



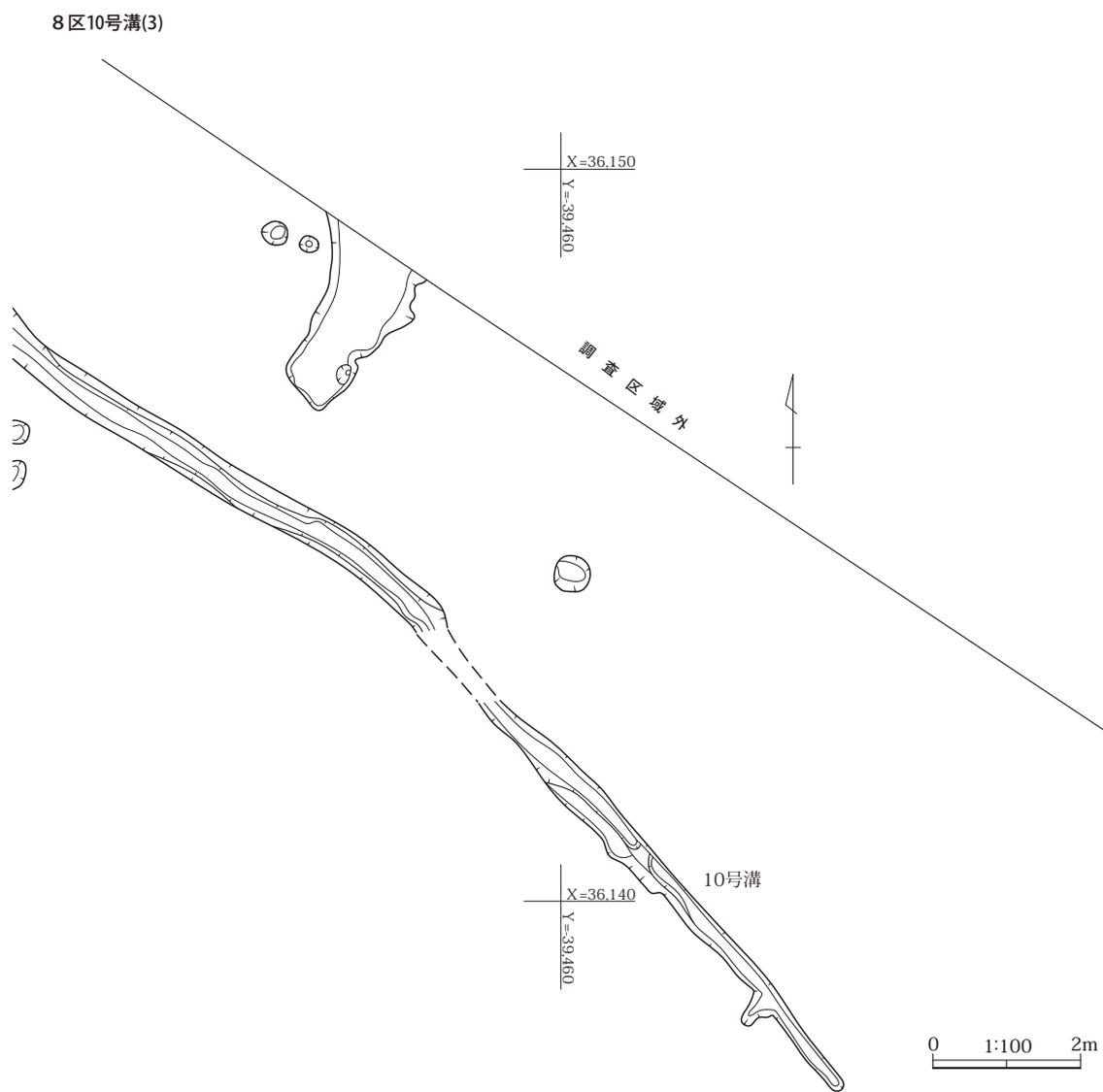
8区10号溝(2)



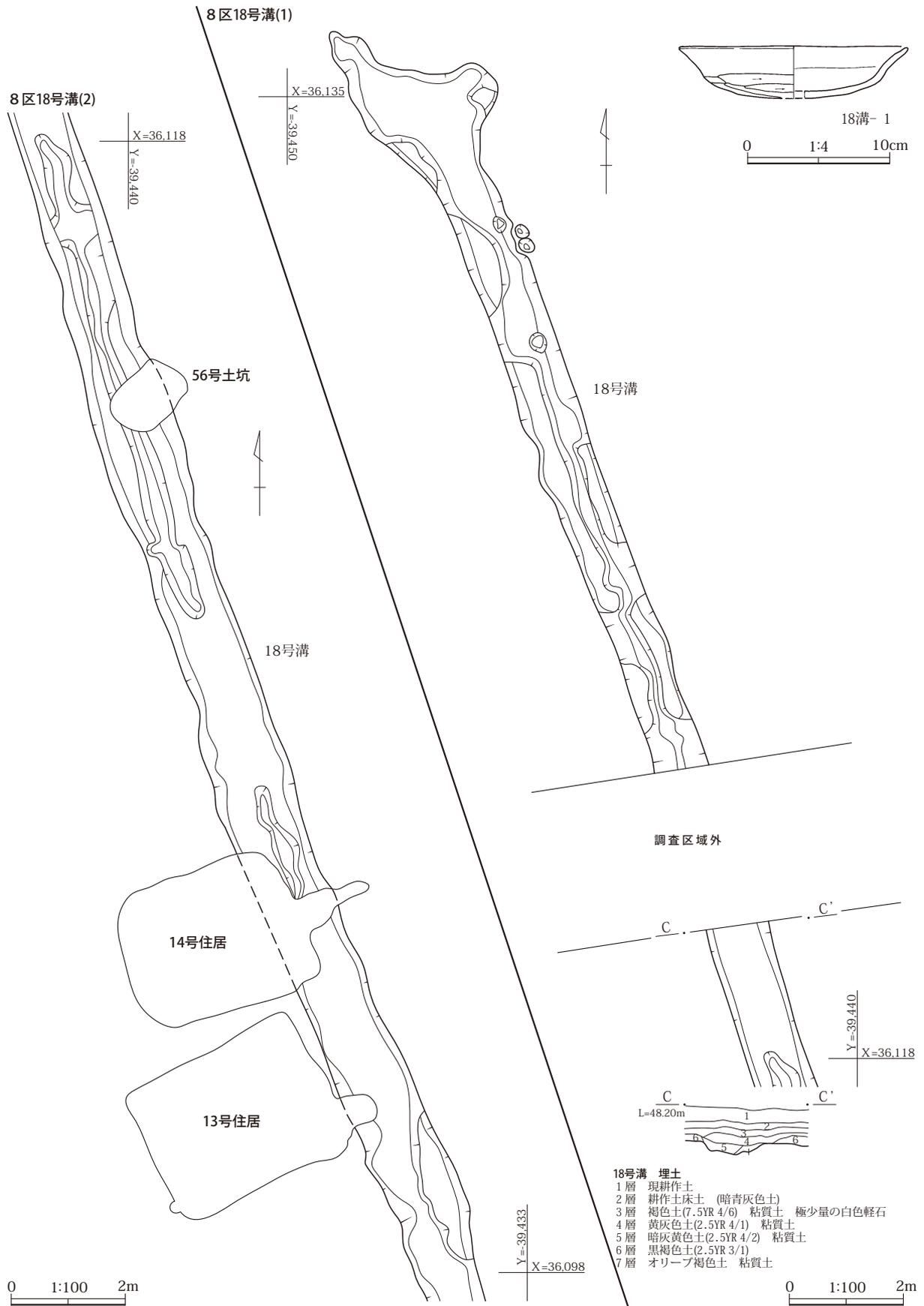
10号溝 埋土  
 1層 黒褐色土(7.5YR 3/2) 白色軽石粒含む  
 2層 にぶい橙色土(7.5YR 7/4) 洪水層

0 1:100 2m

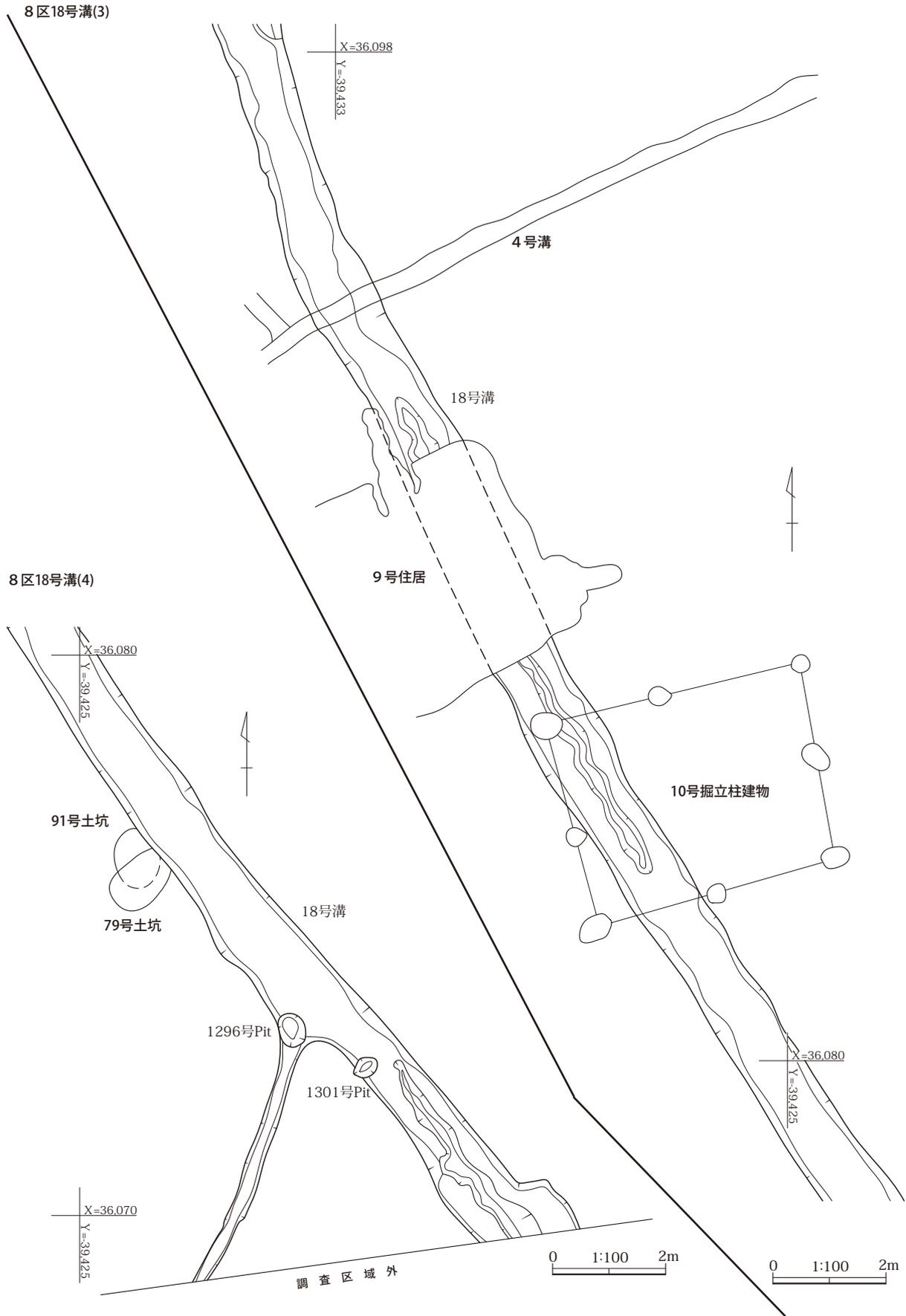
第648図 8区10号溝跡平・断面図(1)・(2)



第649図 8区10号溝跡平面図(3)

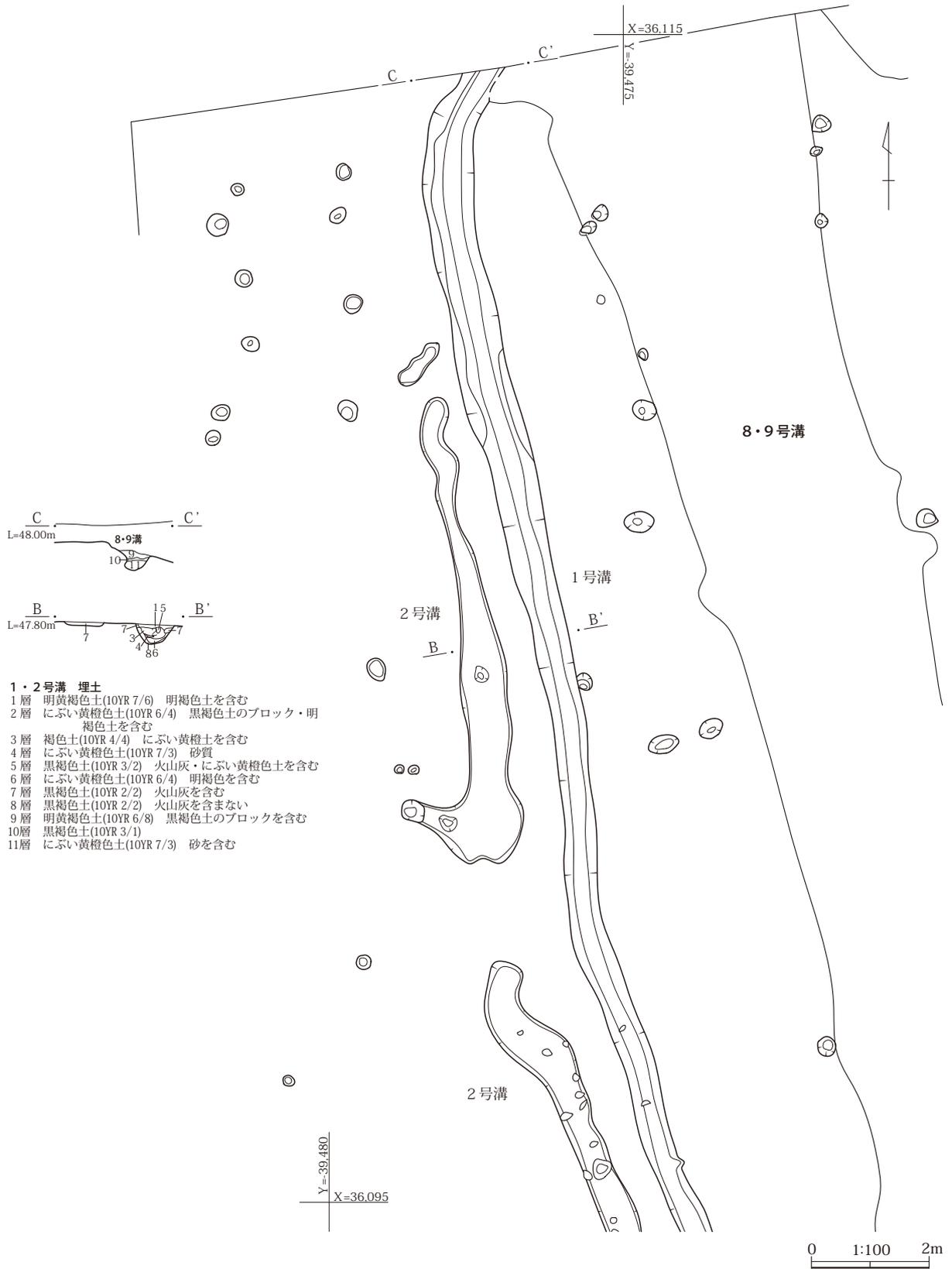


第650図 8区18号溝跡・断面図(1)・(2)、出土遺物



第651図 8区18号溝跡平面図(3)・(4)

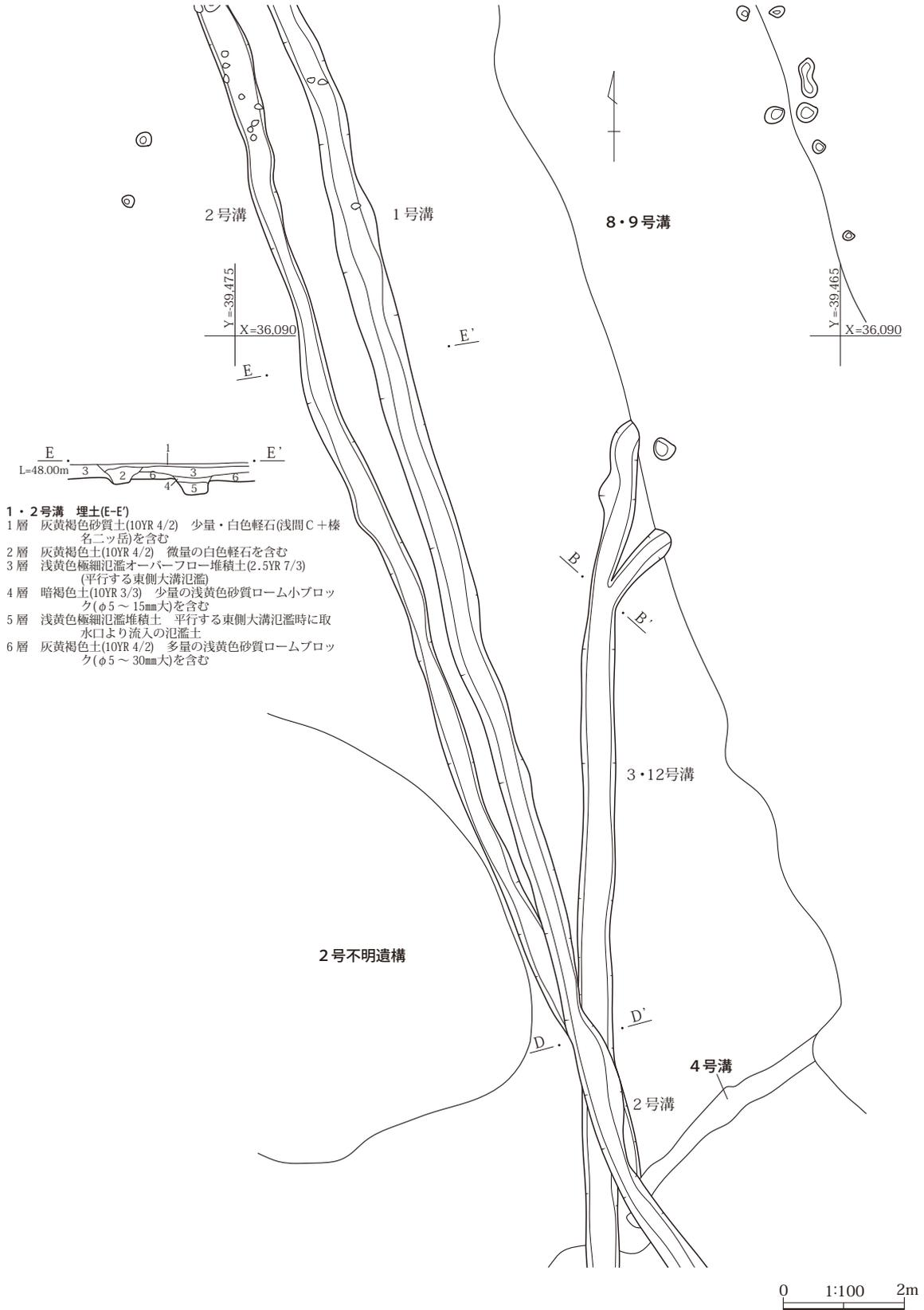
8区1・2号溝(1)



第652図 8区1・2号溝跡平・断面図(1)

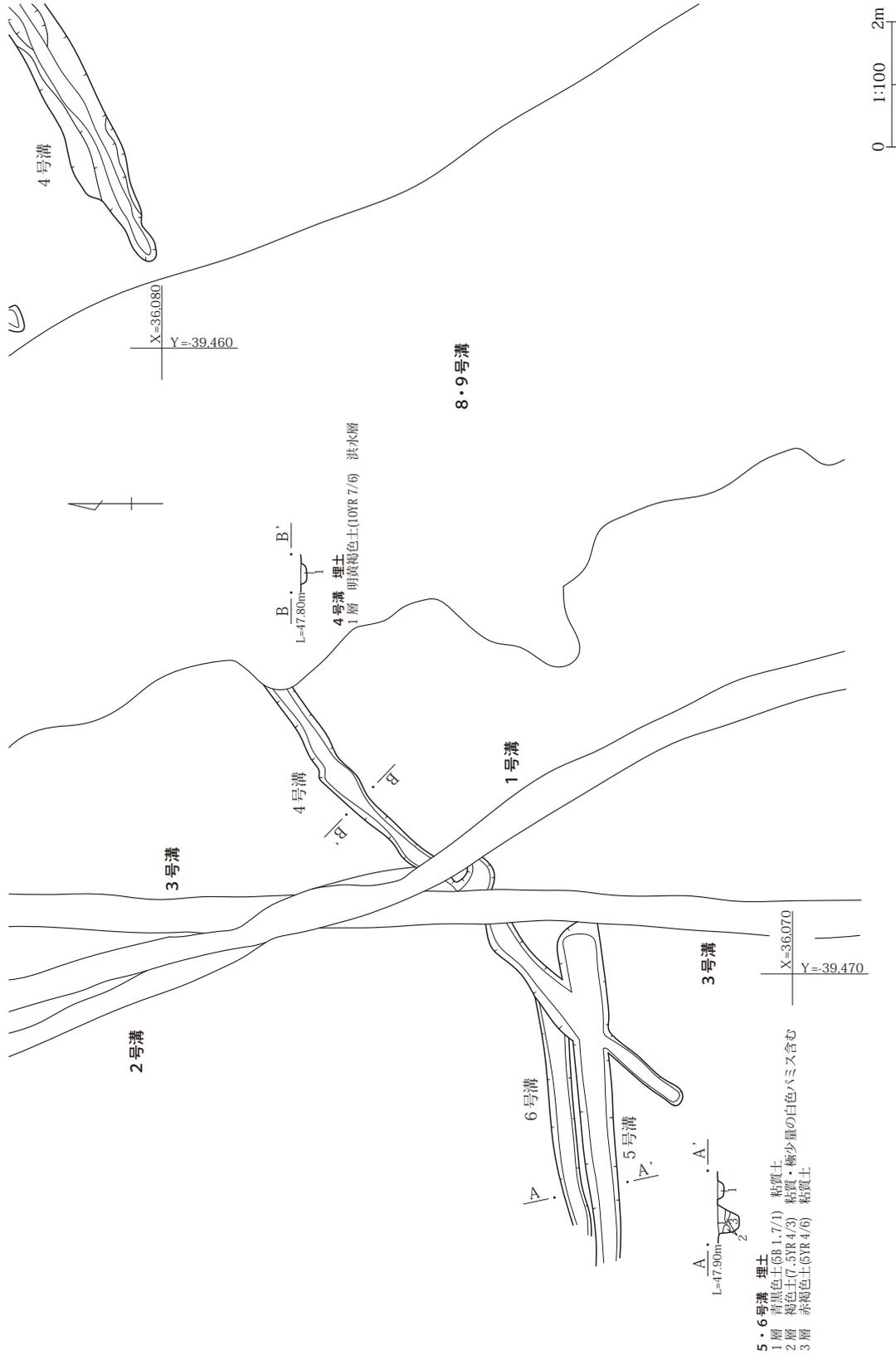
第3章 検出遺構と出土遺物

8区1・2・3・12号溝(2)



第653図 8区1・2・3・12号溝跡平・断面図(2)

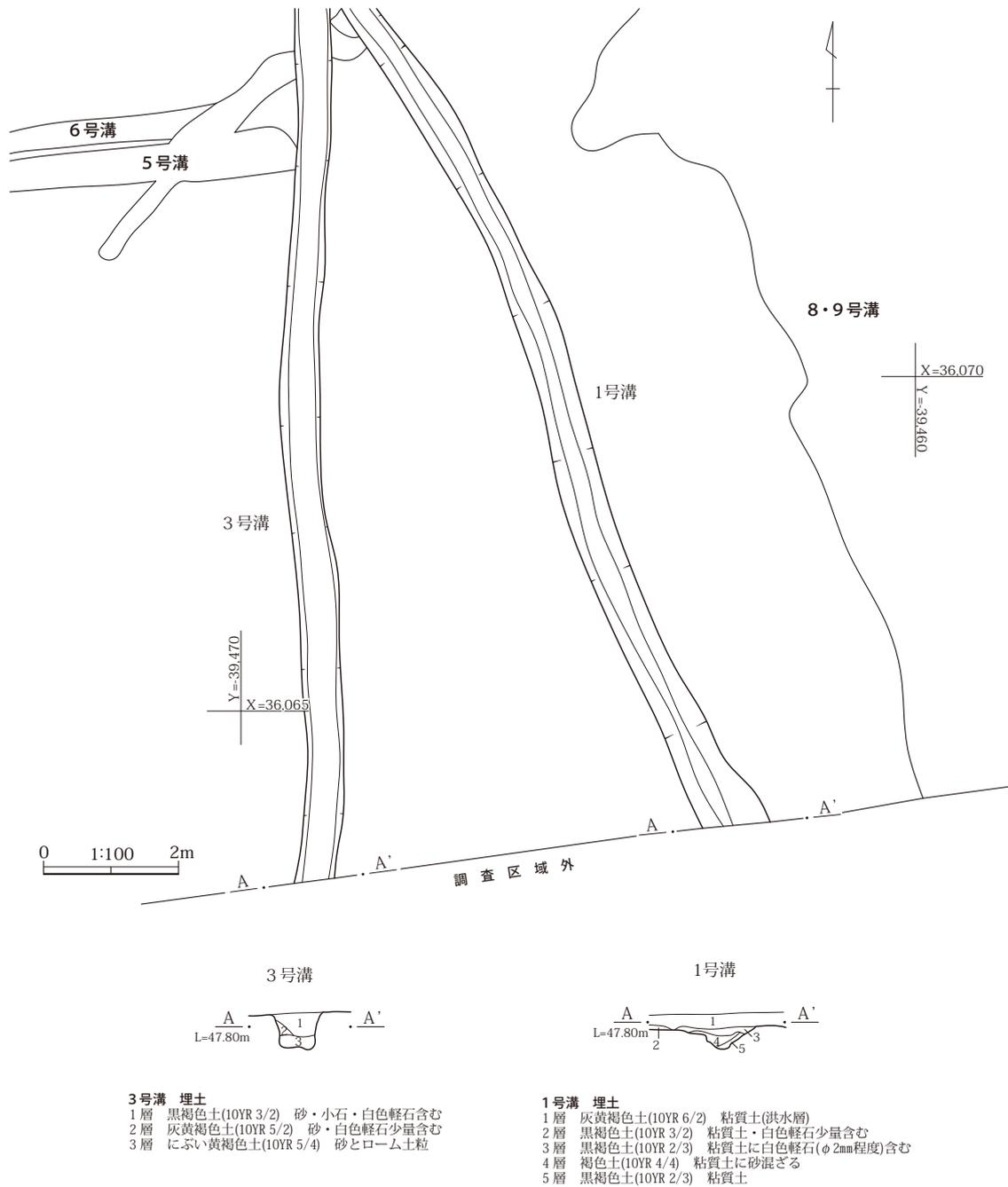
8区4・5・6号溝(4)



第654図 8区4・5・6号溝跡平・断面図(4)

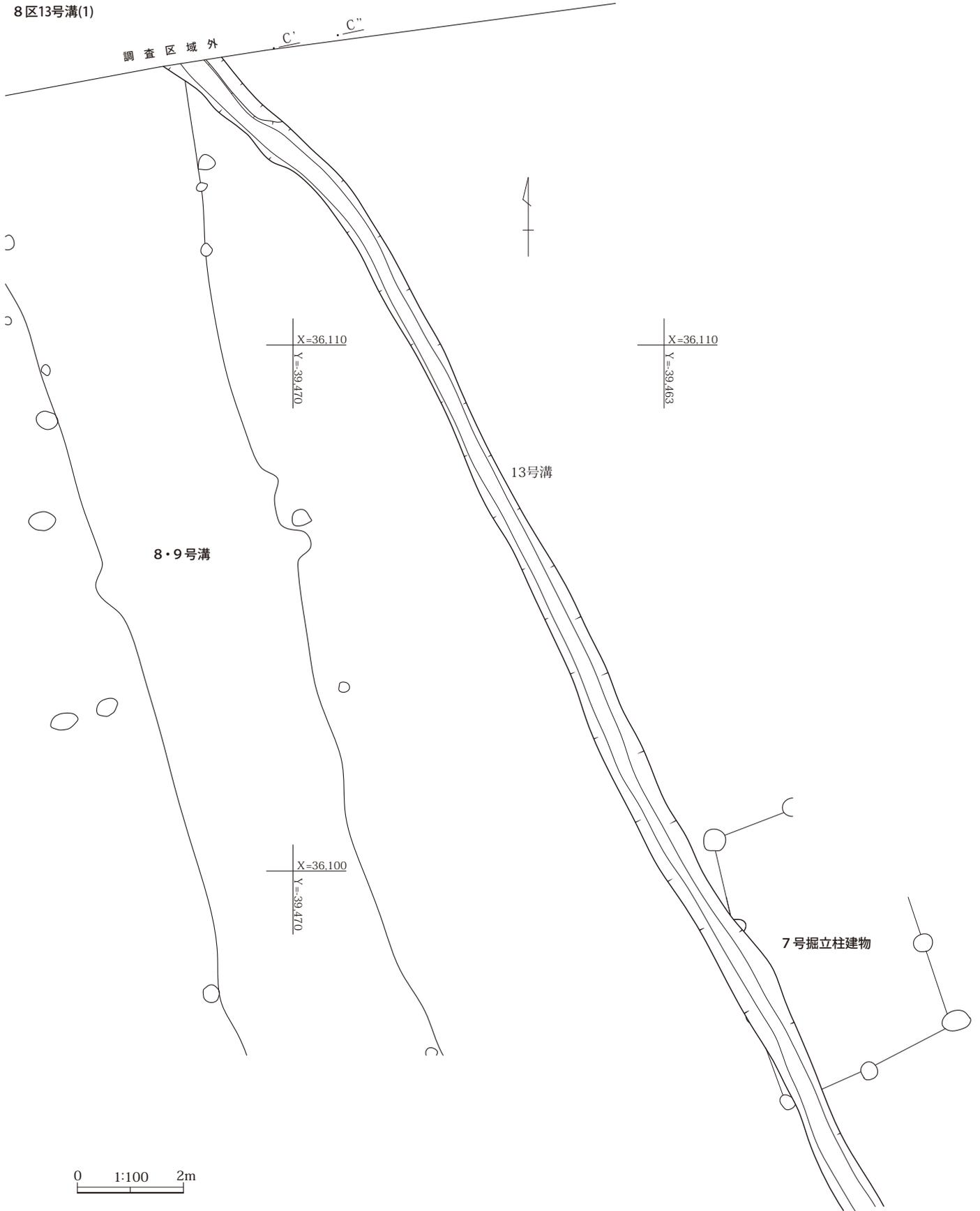
第3章 検出遺構と出土遺物

8区1・3号溝(3)

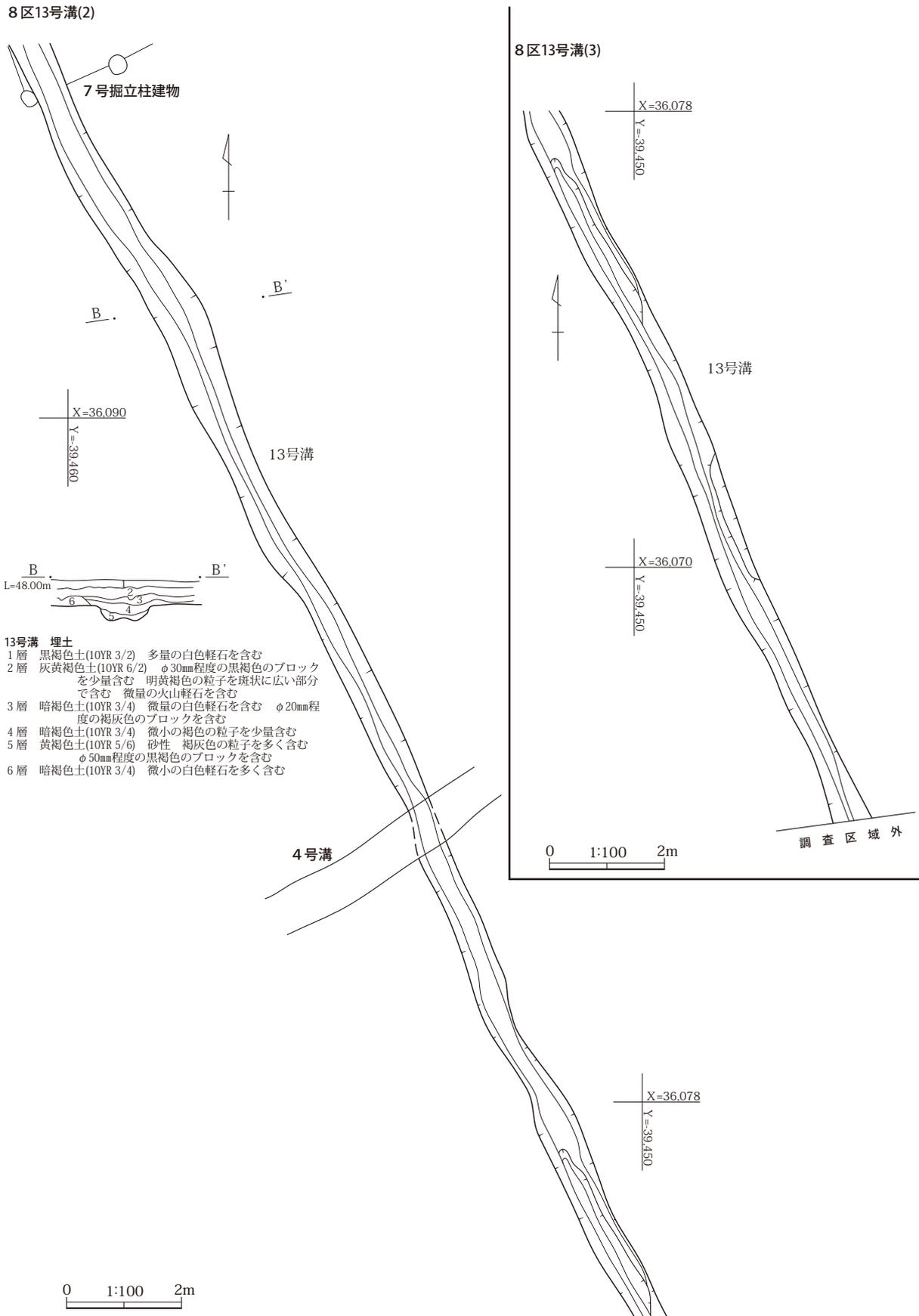


第655図 8区1・3号溝跡平・断面図(3)

8区13号溝(1)

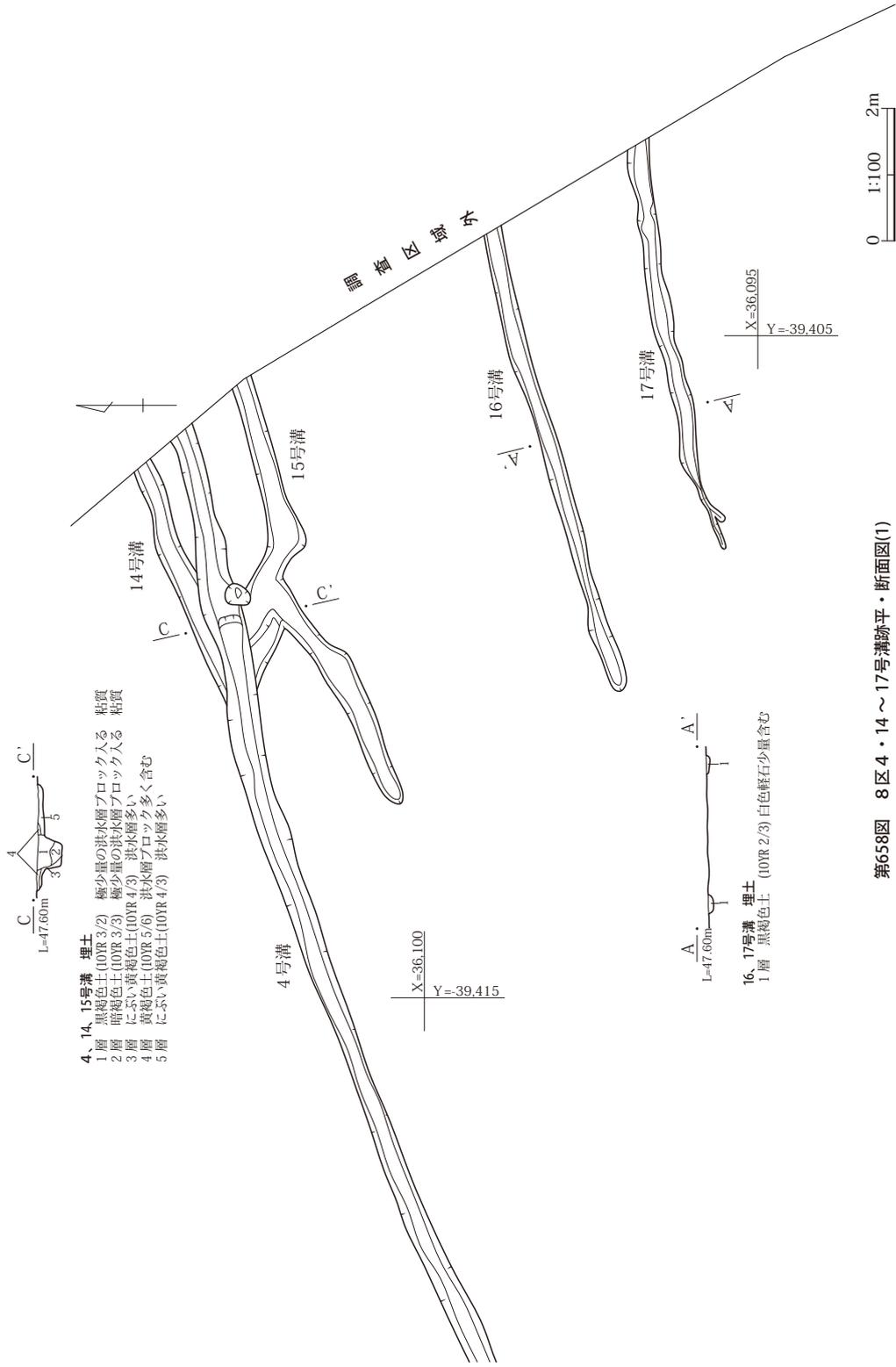


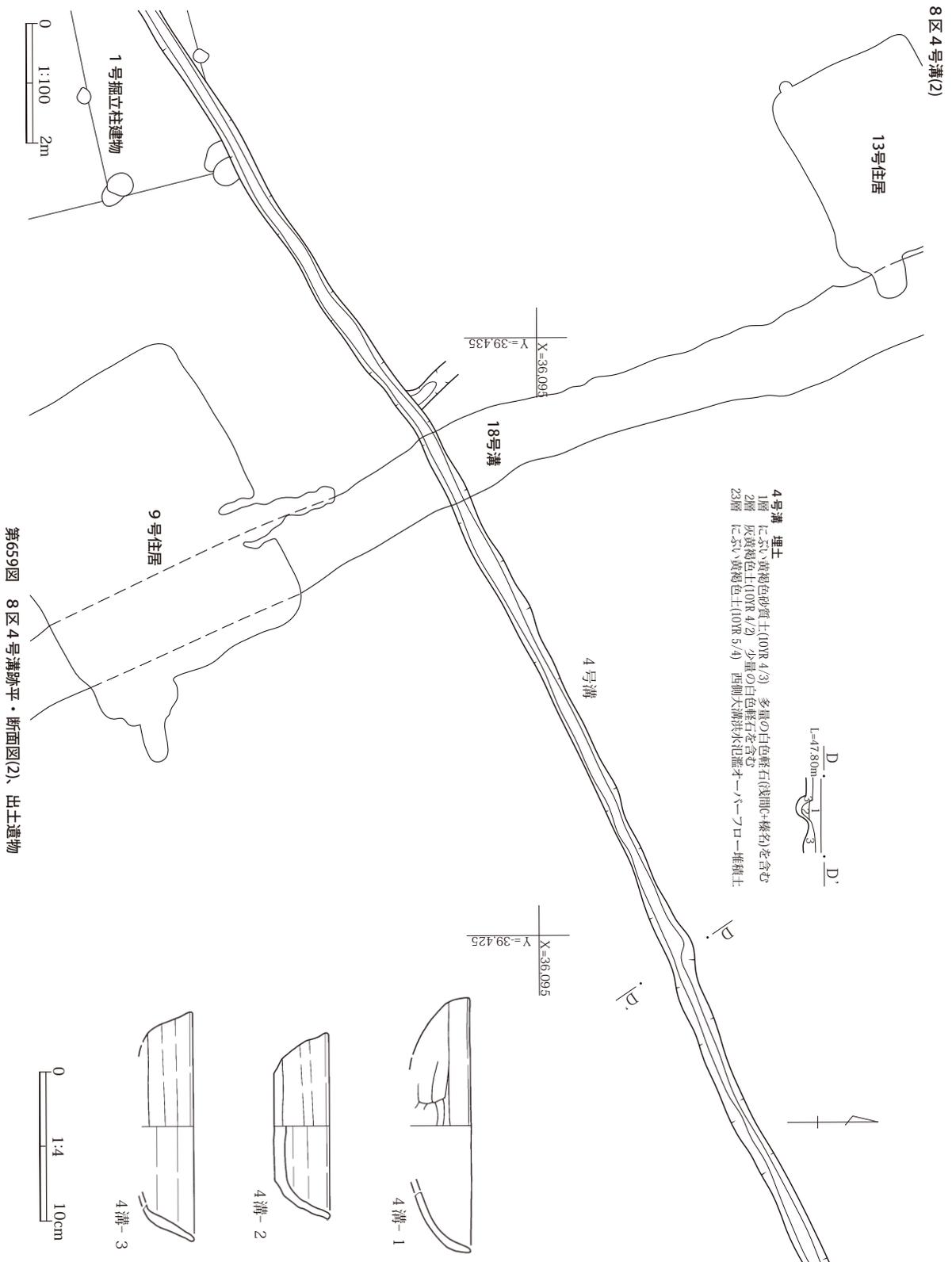
第656図 8区13号溝跡平面図(1)



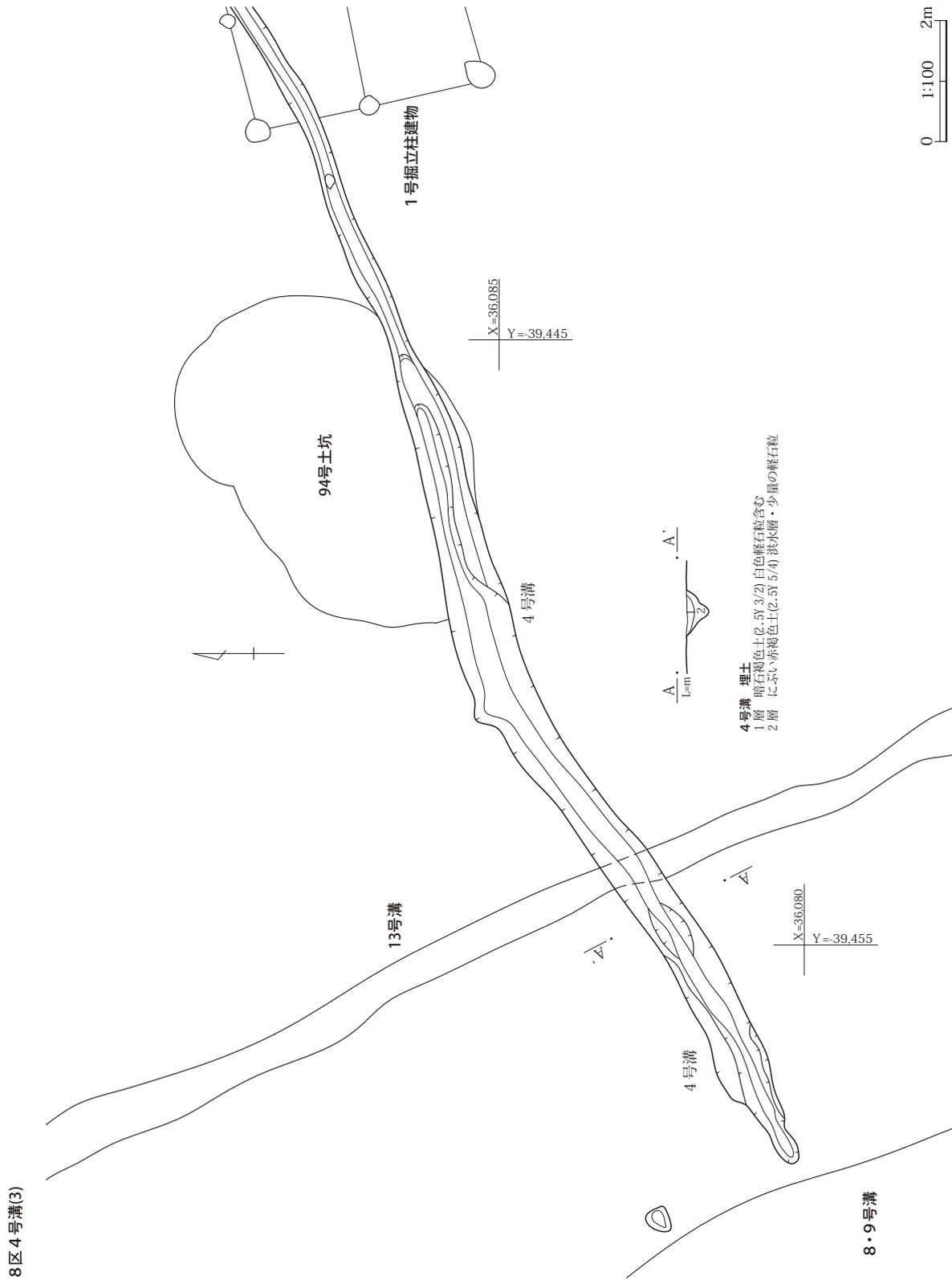
第657図 8区13号溝跡平・断面図(2)・(3)

8区4・14～17号溝(1)





第559図 8区4号溝跡平・断面図(2)、出土遺物



### 第3章 検出遺構と出土遺物

1・2区1号溝跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	黒色土器 杯	埋土中 口縁部～体部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 内外面黒色処理 ③ 黒(5Y 2/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部ヘラ磨き。 内面：口縁部調整。ヘラ磨き。	

1・2区2号溝跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	黒色土器 杯蓋	埋土中 摘部～天井部 1/4	口径 — 摘径 2.0 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 内面黒色 処理 ③ 明褐(7.5YR 5/6)	ロクロ整形。 外面：天井部回転ヘラ削り。摘貼付。 内面：天井部ナデ後ヘラ磨き。	

1・2区3号溝跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	埋土中 口縁部～底部 1/3	口径 10.5 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい褐(7.5YR 5/4)	口縁部内湾。 外面：口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。 内面：口縁部～体部横ナデ。底部ナデ。	
2	土師器 杯	底面+18cm 口縁部～底部 破片	口径 12.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい黄橙(10YR 7/4)	外面：口縁部～体部横ナデ、底部ヘラ削り。 内面：口縁部～体部横ナデ。底部ナデ。	器面摩滅。
3	須恵器 杯蓋	底面+26cm 体部下半～天井部 天井部完形	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(7.5Y 5/1)	ロクロ整形。 外面：体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。 内面：体部回転ナデ。底部ナデ調整。	
4	須恵器 杯	埋土中 口縁部～底部 破片	口径 10.0 底径 — 器高 2.7	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(N 5/0)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	杯蓋か
5	須恵器 鉢	底面+32cm 口縁部～底部 1/2	口径 11.6 底径 — 器高 6.4	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(5Y 7/2)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部手持ちヘラ削り調整。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
6	須恵器 甕	底面+25cm 口縁部～頸部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(N 4/0)	ロクロ整形。 外面：口縁部横ナデ。凹線区画と波状文を頸部に4段施文。 内面：口縁部～頸部横ナデ。	
7	須恵器 甕	埋土中 口縁部～頸部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(N 4/0)	ロクロ整形。 外面：口縁部横ナデ。5～7条単位の凹線区画と3段以上の波状文あり。 内面：口縁部～頸部横ナデ。	

1・2区4号溝跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 椀	埋土中 底部 底部と高台のみ残存	口径 — 底径 7.0 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(5Y 7/1)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：底部回転ヘラ削り。高台貼付。 内面：底部回転ナデ調整。	
2	須恵器 甕	底面+7cm 口縁部～頸部 破片	口径 24.6 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 青黒(10B 1.7/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部横ナデ。頸部叩き目。 内面：口縁部～頸部横ナデ。	頸部外面に自然 釉付着。

1・2区5号溝跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	底面直上 口縁部～底部 破片	口径 11.2 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい褐(7.5YR 5/4)	外面：口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。 内面：口縁部～体部横ナデ。底部ナデ。	
2	須恵器 甕	底面直上 口縁部～頸部 破片	口径 24.6 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 青黒(5B 1.7/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部横ナデ。頸部に波文様あり。 内面：口縁部～頸部横ナデ。	頸部外面に自然 釉付着。
3	土製品 錘	埋土中 1/2	長さ 3.0 径 1.1 孔 0.3	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい黄橙(10YR 6/4)	中心部縦に径3mmの穿孔。 重量2g	

1・2区7号溝跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	埋土中 底部 破片	口径 — 底径 5.0 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰黄(2.5Y 6/2)	ロクロ整形。右回りか。 外面：底部回転糸切り。 内面：底部回転ナデ調整。	

1・2区8号溝跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	埋土中 口縁部～体部 破片	口径 20.9 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 橙(5YR 6/6)	外面：口縁部横ナデ、体部上位ナデ、中位ヘラ削り。口縁部外反。 内面：口縁部～体部横ナデ。	河川の氾濫埋土 中で出土。
2	須恵器 杯蓋	埋土中 口縁部～天井部 1/5	口径 19.8 摘径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰(5Y 6/1)	ロクロ整形。 外面：天井部上半ヘラ削り。天井部下半～口縁部横ナデ。 内面：天井部～口縁部回転ナデ。	
3	須恵器 杯	氾濫埋土中 体部～底部 破片	口径 — 底径 7.0 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ にぶい褐(7.5YR 5/3)	ロクロ整形。 外面：体部回転ナデ。底部回転手持ちヘラ削り。 内面：体部～底部回転ナデ調整。	河川の氾濫埋土 中で出土。

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
4	須恵器 杯	埋土中 体部下端～底部 口縁部から胴部欠損	口径 — 底径 7.0 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰(N 7/0)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：体部回転ナデ。底部回転糸切り後、底部周辺は回転ヘラ削り。 内面：体部～底部回転ナデ調整。	
5	須恵器 椀	氾濫埋土中 ぼぼ完形 口縁部一部欠損	口径 13.5 底径 6.4 器高 5.0	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 橙(5Y 6/1)	ロクロ整形。回転右回り。口縁部やや外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。高台貼付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	河川の氾濫埋土 中で出土。
6	土師器 小型甕	埋土中 口縁部～底部 一部欠損	口径 12.4 底径 8.4 器高 12.4	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 橙(2.5YR 6/6)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ。胴部横方向ヘラ削り～底部ヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部～底部ヘラナデ。	内面はスス付 着。
7	土師器 甕	氾濫埋土中 口縁部～胴部 破片	口径 18.2 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい橙(7.5YR 7/4)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ。胴部斜め方向ヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。	河川の氾濫埋土 中で出土。

4区8号溝跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 高杯	埋土中 脚部欠損	口径 14.6 脚径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 赤褐(2.5YR 4/6)	脚部貼付。 外面：口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り後放射状と中位に 横位のヘラ磨き。底部回転ナデ。 内面：口縁部斜放射状ヘラ磨き。	
2	土師器 高杯	埋土中 脚部～袖部	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい黄橙(10YR 7/3)	脚部貼付。 外面：脚部は縦方向のヘラ磨き。袖部は横ナデ。 内面：脚部は絞り目・輪積み痕。袖部は横ナデ。	

8区8・9号溝跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	埋土中 口縁部～体部 破片	口径 14.2 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 橙(2.5YR 6/6)	口縁部やや内湾。 外面：口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半ヘラ削り。 内面：口縁部～体部横ナデ。	
2	土師器 杯	埋土中 口縁部～底部 1/2	口径 15.2 底径 — 器高 5.1	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 橙(2.5YR 6/8)	外面：口縁部横ナデ、体部～底部手持ちヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。体部～底部ナデ。	
3	土師器 杯	埋土中 口縁部～底部 1/2	口径 16.8 底径 — 器高 5.1	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焰 良好 ③ 明赤褐(5YR 5/6)	外面：口縁部横ナデ、体部ナデ、手持ちヘラ削り。 内面：口縁部～体部横ナデ。底部ナデ。	
4	土師器 杯	埋土中 口縁部～体部 1/3	口径 18.2 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 明赤褐(2.5YR 5/6)	外面：口縁部横ナデ、体部ヘラ削り。 内面：口縁部～体部横ナデ。	
5	須恵器 杯	埋土中 口縁部～底部 1/4	口径 8.6 底径 — 器高 2.8	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(5Y 7/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部ナデ調整。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
6	須恵器 杯	埋土中 口縁部～底部 1/2	口径 8.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(N 7/0)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部～体部ナデ。底部は手持ちヘラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
7	須恵器 杯	埋土中 口縁部～底部 破片	口径 12.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 黄灰(2.5Y 6/1)	ロクロ整形。口縁部やや外反。 外面：口縁部～底部回転ナデ。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
8	須恵器 椀	埋土中 口縁部～底部 2/3	口径 14.3 底径 10.4 器高 4.5	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(5Y 7/1)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。高台貼付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
9	須恵器 甕	埋土中 口縁部～胴部 1/3	口径 13.9 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(2.5Y 7/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部～胴部上半回転ナデと回転ヘラ削り。胴部下 半平行叩き痕。 内面：口縁部～胴部上半回転ナデ調整。胴部下半当て具痕。	
10	須恵器 壺	埋土中 ぼぼ完形	口径 16.3 底径 — 器高 21.0	① 細砂粒・粗砂粒・細礫・ 中礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(N 7/0)	ロクロ整形。回転左回りか。 外面：口縁部～胴部回転ナデ。底部手持ちヘラ削り。 内面：口縁部～胴部上半回転ナデ調整。胴部下半～底部ナ デ調整。	
11	土師器 甕	埋土中 口縁部～胴部上半 破片	口径 22.9 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 橙(5YR 7/6)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ。胴部横方向ヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。	
12	手捏ね 土器 椀形	埋土中 体部～底部 破片	口径 6.0 底径 2.4 器高 2.6	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい橙(7.5YR 6/4)	手捏ね成形 外面：体部ヘラナデ。 内面：体部～底部横ナデか。	器面摩滅。
13	土製品 円盤状	埋土中	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい橙(5YR 6/4)	全体にわたり擦れている。 外面：底部ナデ。 内面：底部ナデ。	用途不明。底部 破片

1・2区9号溝跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	底面+62cm 口縁部～底部 1/2	口径 16.0 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 橙(7.5YR 6/6)	外面：口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちヘラ削り。 内面：口縁部～体部横ナデ。底部ナデ。	
2	土師器 杯	埋土中 口縁部～体部	口径 14.0 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 内面黒色 ③ にぶい褐(7.5YR 5/4)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。 内面：口縁部～体部ナデ後ヘラ磨き。	

第3章 検出遺構と出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
3	杯	底面+90cm 底部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ にぶい褐(7.5YR 5/4)	外面：底部へラ削り。 内面：底部ナデ。	底部外面中央に へラ記号「×」
4	黒色土器 杯	埋土中 口縁部～底部 1/4	口径 14.3 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 内面黒色 処理 ③ にぶい黄橙(10YR 7/3)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。横方向へラ磨き。底部へラ 調整。 内面：口縁部～底部回転ナデ後横方向磨き。	
5	杯蓋	底面+91cm 摘部～口縁部 1/2	口径 19.8 摘径 6.7 器高 5.0	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰(7.5Y 5/1)	ロクロ整形。 外面：天井部回転へラ削り。口縁部横ナデ。摘み貼付。 内面：口縁部～天井部回転ナデ。	歪み大きい。
6	須恵器 杯蓋	底面+97cm 天井部～口縁部 2/3	口径 20.4 摘径 — 器高 4.7	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ にぶい黄橙(10YR 7/2)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：天井部上半回転へラ削り。天井部下半～口縁部横ナデ。 摘み貼付。 内面：口縁部～天井部回転ナデ。	
7	須恵器 杯	底面+98cm 口縁部～底部 破片	口径 9.2 底径 5.0 器高 3.4	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(N 6/0)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転へラ削りか。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
8	須恵器 杯	底面+77cm 口縁部～底部 1/3	口径 12.0 底径 7.0 器高 3.8	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 黄灰(2.5Y 4/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転へラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
9	須恵器 杯	底面+88cm 口縁部～底部 1/4	口径 12.7 底径 7.5 器高 2.9	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(5Y 6/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り後周囲を回 転へラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
10	須恵器 杯	底面+97cm 口縁部～底部 1/6	口径 13.1 底径 8.0 器高 3.2	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 ③ にぶい黄橙(10YR 7/4)	ロクロ整形。口縁部やや外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転へラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
11	須恵器 杯	底面+97cm 口縁部～底部 1/2	口径 13.3 底径 9.0 器高 4.1	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(N 8/0)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転へラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
12	須恵器 杯	底面+99cm 口縁部～底部 1/3	口径 13.3 底径 8.0 器高 4.0	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 明褐灰(7.5YR 7/2)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り後周囲を回 転へラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
13	須恵器 杯	底面+100cm 口縁部～底部 1/3	口径 13.5 底径 7.4 器高 3.4	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰黄(2.5Y 6/2)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転へラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
14	須恵器 杯	底面+104cm 口縁部～底部 口縁部一部欠損	口径 13.6 底径 7.7 器高 3.6	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(5Y 7/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り後、回転へ ラ削り調整。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
15	須恵器 杯	底面+106cm 口縁部～底部 1/2	口径 13.6 底径 7.2 器高 3.8	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 黄灰(2.5Y 6/1)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。体部最下位と底部回転へラ 削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
16	須恵器 杯	底面+108cm 口縁部～底部 1/2	口径 13.6 底径 8.5 器高 4.1	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(5Y 7/1)	ロクロ整形。回転右回り。口縁部やや外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り後周囲を回 転へラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
17	須恵器 杯	底面+25cm 口縁部～底部 1/3	口径 13.7 底径 8.0 器高 3.5	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰黄(2.5Y 7/2)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り後、底部周 辺は回転へラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
18	須恵器 杯	底面+51cm 口縁部～底部 1/3	口径 13.8 底径 9.4 器高 3.2	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰(5Y 5/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転へラ削りか。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
19	須恵器 杯	埋土中 口縁部～底部 破片	口径 13.8 底径 9.1 器高 3.3	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(N 6/0)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転へラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
20	須恵器 杯	底面+66cm 口縁部～底部 2/3	口径 13.8 底径 9.0 器高 3.7	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(5Y 8/1)	ロクロ整形。回転右回りか。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転へラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	器面摩滅。
21	須恵器 杯	底面+110cm 口縁部～底部 破片	口径 13.9 底径 7.7 器高 3.7	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 黄灰(2.5Y 6/1)	ロクロ整形。口縁部やや外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転へラ削り調整。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
22	須恵器 杯	底面+84cm 口縁部～底部 1/2	口径 13.9 底径 9.0 器高 3.9	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(5Y 7/1)	ロクロ整形。口縁部やや外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転へラ削りか。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	器面摩滅。
23	須恵器 杯	底面+88cm ほぼ完形 一部欠損	口径 13.9 底径 9.0 器高 3.6	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰白(2.5Y 8/2)	ロクロ整形。回転右回りか。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転へラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	器面摩滅。
24	須恵器 杯	底面+89cm 口縁部～体部 破片	口径 14.1 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 黄灰(2.5Y 6/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。 内面：口縁部～体部回転ナデ調整。	
25	須恵器 杯	底面+81cm 口縁部～底部 2/3	口径 14.2 底径 9.6 器高 3.3	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(N 4/0)	ロクロ整形。回転右回りか。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転へラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	底部外面中央に へラ記号「+」

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm			成形手法 調整手法		備考
			口径	底径	器高	①胎土 ②焼成 ③色調		
26	須恵器 杯	埋土中 口縁部～底部 1/3	口径 14.2	底径 7.8	器高 4.4	①細砂粒・粗砂粒・細礫 ②還元焰 良好 ③灰白(2.5Y 7/1)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り後、底部周辺は回転ヘラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
27	須恵器 杯	埋土中 口縁部～底部 1/2	口径 14.3	底径 8.9	器高 3.9	①細砂粒・粗砂粒・細礫 ②還元焰 良好 ③灰(5Y 6/1)	ロクロ整形。回転右回り。口縁部やや外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り後、底部周辺はヘラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
28	須恵器 杯	底面+91cm 口縁部～底部 2/3	口径 15.0	底径 7.8	器高 4.1	①細砂粒・粗砂粒 ②還元焰 良好 ③灰(5Y 6/1)	ロクロ整形。回転右回り。口縁部やや外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り後周辺部を回転ヘラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。漆付着。	漆付着土器。
29	須恵器 椀	底面+76cm ほぼ完形 口縁部一部欠損	口径 12.0	底径 8.6	器高 3.9	①細砂粒・粗砂粒・細礫 ②還元焰 良好 ③灰白(7.5Y 7/1)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。高台貼付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	胴部～底部内面に油煙付着。
30	須恵器 杯	底面+87cm 口縁部～体部 破片	口径 15.7	底径 —	器高 —	①細砂粒・粗砂粒・細礫 ②還元焰 良好 ③灰白(5Y 7/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。 内面：口縁部～体部回転ナデ調整。	
31	須恵器 椀	底面+23cm 口縁部～底部 1/2	口径 15.0	底径 6.0	器高 5.4	①細砂粒・粗砂粒 ②還元焰 良好 ③灰白(7.5Y 7/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転ナデ調整。高台貼付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	器面やや摩滅。
32	須恵器 椀	底面+20cm 完形	口径 15.0	底径 6.4	器高 5.8	①細砂粒・粗砂粒・細礫 ②還元焰 良好 ③灰白(5Y 8/1)	ロクロ整形。回転右回り。口縁部外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。高台貼付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
33	須恵器 高台付盤	埋土中 体部～底部 破片	口径 —	底径 —	器高 —	①細砂粒・粗砂粒 ②還元焰 良好 ③灰白(7.5Y 7/1)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。高台貼付。 内面：体部～底部回転ナデ調整。	底部突出。
34	須恵器 盤	底面+63cm 口縁部～底部 1/3	口径 26.7	底径 —	器高 —	①細砂粒・粗砂粒 ②還元焰 良好 ③灰(5Y 6/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部横ナデ、稜下に1段の回転ヘラ削り。底部中央部手持ちヘラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
35	須恵器 高杯	床面+23cm 上部 台部完形	口径 —	脚径 13.8	器高 —	①細砂粒・粗砂粒・細礫 ②還元焰 良好 ③灰白(N 7/0)	ロクロ整形。 外面：上部回転ナデ。上部貼付。 内面：上部回転ナデ調整。	
36	須恵器 短頸壺蓋	底面+56cm 摘部～口縁部 1/2	口径 12.1	摘径 —	器高 4.4	①細砂粒・粗砂粒 ②還元焰 良好 ③灰(7.5Y 6/1)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：天井部回転ヘラ削り。口縁部横ナデ。摘み貼付。 内面：口縁部～天井部回転ナデ。	
37	須恵器 壺 (高台付)	床面+32cm 胴部～底部 口縁部欠損	口径 —	底径 6.4	器高 —	①細砂粒・粗砂粒 ②還元焰 良好 ③青灰(5B 6/1)	ロクロ整形。 外面：胴部～底部回転ナデ。胴部下位回転ヘラ削り。高台貼付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
38	須恵器 長頸壺	床面+81cm 頸部～底部 2/3	口径 —	底径 8.4	器高 —	①細砂粒・粗砂粒・細礫 ②還元焰 良好 ③灰(N 5/0)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：頸部～胴部回転ヘラナデ。胴部最下位に1段のヘラ削り。底部ヘラ削り。 内面：頸部～胴部回転ナデ調整。底部ナデ。	最大径16.7cm。
39	須恵器 鉢	床面+85cm 口縁部～底部 3/4	口径 25.0	底径 12.8	器高 13.1	①細砂粒・粗砂粒・細礫 ②還元焰 良好 ③黄灰(2.5Y 6/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。最下位に2段の回転ヘラ削り。底部ヘラ削り。 内面：口縁部～体部回転ナデ。底部ナデ。	歪みあり。
40	須恵器 鉢	床面+95cm 口縁部～胴下部 1/2	口径 42.6	底径 —	器高 23.3	①細砂粒・粗砂粒・細礫 ②還元焰 良好 ③黄灰(2.5Y 4/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部上半回転ナデ。体部下半平行引き痕が残る。底部ヘラ削り。 内面：口縁部～体部ヘラナデ。	平行引き目痕あり。
41	須恵器 短頸壺 (高台付)	床面+55cm、8号溝埋 土中、4区表土 口縁部～底部 破片	口径 9.8	底径 10.0	器高 19.4	①細砂粒・粗砂粒・細礫 ②還元焰 良好 ③灰(N 6/0)	ロクロ整形。 外面：口縁部～胴部回転ナデ。胴部下位回転ヘラ削り。底部ナデ高台貼付。 内面：口縁部～胴部回転ナデ。底部ナデ。	胴部に5本の条線が巡る。最大径21.2cm。
42	須恵器 甑	床面+102cm 胴部下端～底部 破片	口径 —	底径 14.0	器高 —	①細砂粒・粗砂粒 ②還元焰 良好 ③灰(7.5Y 6/1)	ロクロ整形。 外面：胴部回転ナデ。下位ヘラ削り。 内面：胴部回転ナデ調整。	
43	土師器 甑	底面+73cm 口縁部～胴部上端 破片	口径 20.0	底径 —	器高 —	①細砂粒 ②酸化焰 良好 ③明赤褐(2.5YR 5/6)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ。胴部横方向のヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。	
44	土師器 甑	埋土中 口縁部 口縁部のみ残存	口径 23.1	底径 —	器高 —	①細砂粒 ②酸化焰 良好 ③にぶい橙(7.5YR 7/4)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ。 内面：口縁部横ナデ。	
45	土師器 甑	底面+85cm 口縁部～胴部上端 破片	口径 23.5	底径 —	器高 —	①細砂粒 ②酸化焰 良好 ③橙(5YR 6/6)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ。胴部横方向のヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。	
46	土師器 甑	底面+56cm 口縁部 口縁部のみ残存	口径 23.7	底径 —	器高 —	①細砂粒 ②酸化焰 良好 ③にぶい橙(7.5YR 6/4)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ。胴部ヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。	
47	土師器 甑	底面+101cm 口縁部～胴部上端 破片	口径 24.0	底径 —	器高 —	①細砂粒 ②酸化焰 良好 ③橙(5YR 6/6)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ。胴部横方向のヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。	
48	須恵器 獸脚付 円面硯	床面+87cm 硯部～台部 1/2	口径 —	脚径 —	器高 6.4	①細砂粒 ②還元焰 良好 ③灰(N 6/0)	表面：礫池(海)は回転ナデ。3脚の獸脚貼付。獸脚は縦方向のヘラ削り。 側面は回転ヘラ削り。裏面はナデ。	硯面(陸)は擦られており、使用していた痕跡あり。

番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	摘要
49	鉄器	刀子	ほぼ完形	16.3	1.9	1.0	35.0	錆化が激しい。
50	鉄器	釘	頸部欠損	6.0	1.5	1.3	7.0	2～3本結束か。

第3章 検出遺構と出土遺物

3区9号溝跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考		
1	須恵器 高台付皿 か	埋土中 底部 破片	口径 — 底径 10.3 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰褐(5YR 6/2)	ロクロ整形。 外面：体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。高台貼付。 内面：底部回転ナデ調整。			
2	土師器 甃	埋土中 口縁部～胴部 破片	口径 15.9 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい橙(7.5YR 7/4)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ。胴部ヘラ削り。器面摩擦のため単位不鮮明。 内面：口縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。	胴部に黒斑あり。		
番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	摘要
3	鉄器	斧	完形	11.1	4.6	3.5	116.0	腐食は進んでいるが、比較的良好。

4区9号溝跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	埋土中 口縁部～底部 1/2	口径 11.2 底径 — 器高 4.7	① 細砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ 黄褐(10YR 5/6)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部手持ちヘラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
2	土師器 台付甃	底面+12cm 台部 台部のみ残存	口径 — 高台 径 14.0 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 黒褐(5Y 3/1)	台部貼付。 外面：台部上半ヘラ削り。台部下半横ナデ。 内面：台部上半縦ナデ、下半横ナデ。	
3	須恵器 甗	埋土中 胴部下半～底部 破片	口径 — 底径 14.2 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(N 5/0)	粘土紐づくり。 外面：胴部下半横方向ヘラ削り。底部接合部分にナデ痕が明瞭に残る。 内面：胴部下半回転ナデ。	
4	須恵器 甃	埋土中 口縁部～胴部上半 破片	口径 19.9 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(N 4/0)	外面：口縁部横ナデ。頸部縦方向の櫛描後、横ナデ。胴部格子叩き目。 内面：口縁部～頸部回転ナデ調整。胴部当て具痕。	叩き目、アテ具痕あり。

6区9号溝跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	床面+101cm 口縁部～底部 1/2	口径 10.9 底径 — 器高 4.5	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 黒(2.5Y 2/1)	外面：口縁部横ナデ、底部手持ちヘラ削り。 内面：口縁部～体部横ナデ、底部ナデ調整。	底部外面にヘラ記号「一」
2	須恵器 身	床面+67cm 口縁部～底部 2/3	口径 9.9 底径 — 器高 4.2	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ 浅黄(2.5Y 7/3)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部回転ナデか。底部回転ヘラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
3	須恵器 壺 (高台付)	埋土中 胴部 破片	口径 — 底径 9.0 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰(5Y 6/1)	ロクロ整形。 外面：胴部下位は回転ヘラ削り。底部不明。高台貼付 内面：胴部回転ナデ。	
4	須恵器 甃	埋土中 口縁部～胴部上端 破片	口径 24.4 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(7.5Y 5/1)	外面：口縁部横ナデ。胴部格子叩き目。 内面：口縁部～頸部回転ナデ調整。頸部ヘラナデ。	

1・2区12号溝跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 甃	底面+12cm 口縁部～胴下部 3/4	口径 14.7 底径 7.0 器高 18.5	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい赤褐(2.5YR 5/4)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ。胴部上位横、中位・下位斜め方向、底部ヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部～底部ヘラナデ。	

4区10号溝跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	底面+17cm ほぼ完形	口径 11.0 底径 8.5 器高 3.9	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 青灰(5PB 6/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部上半ナデ、下半は回転ヘラ削り、底部は手持ちヘラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	歪みがある。5号溝埋土と接合。
2	須恵器 杯	底面+22cm 口縁部～底部 1/3	口径 12.8 底径 8.0 器高 3.9	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(N 7/0)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り後ヘラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	底部に指頭痕あり。
3	須恵器 杯	底面+23cm ほぼ完形	口径 14.2 底径 9.2 器高 3.3	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焰 ③ にぶい橙(7.5YR 7/3)	ロクロ整形。回転左回り。 外面：口縁部～体部ナデ。底部回転ヘラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	口縁部外面に墨書。 内外面に火櫛が認められる。
4	須恵器 杯	底面+24cm 口縁部～底部 1/3	口径 14.2 底径 9.1 器高 4.5	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(7.5Y 7/1)	ロクロ整形。回転左回りか。口縁部やや外反。 外面：口縁部～体部上半ナデ、下半は回転ヘラ削り、底部は手持ちヘラ削りか。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
5	須恵器 高台付盤 か	底面+22cm 底部 底部1/2欠損	口径 — 底径 18.4 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(5Y 7/1)	ロクロ整形。回転右回りか。 外面：底部回転ヘラ削り。高台貼付。 内面：底部回転ナデ調整。	

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

1・2区17号溝跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土製品 鉢	埋土中 完形	長さ 4.2 径 2.3 孔 0.4	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい黄橙(10YR 7/3)	外面ナデ。 中心部縦に径4mmの穿孔。 重量20g	

4区1号溝跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	底面+86cm 口縁部~底部 1/2	口径 12.8 底径 - 器高 3.9	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい橙(5YR 6/4)	外面：口縁部横ナデ、体部ナデ、底部は手持ちヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ、体部~底部ナデ。	
2	黒色土器 杯	埋土中 口縁部~底部 1/3	口径 16.8 底径 10.0 器高 6.1	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 内面黒色 ③ にぶい橙(5YR 6/4)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。 内面：口縁部~底部ナデ後格子状に雑なヘラ磨き。	口縁部に太さ1mmの条線が巡る。
3	須恵器 杯	底面+91cm 口縁部~底部 破片	口径 12.2 底径 10.2 器高 4.1	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰(5Y 6/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	
4	須恵器 杯	底面+81cm 口縁部~底部 1/4	口径 12.6 底径 6.6 器高 3.9	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰白(5Y 7/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	
5	須恵器 杯	底面+93cm 口縁部~底部 1/3	口径 13.5 底径 7.8 器高 4.6	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰(7.5Y 6/1)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転糸切り後、回転ヘラ調整。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	

4区11号溝跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 甕	埋土中 口縁部~胴部上半 破片	口径 15.0 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 橙(7.5YR 6/6)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ。胴部斜めハケ。頸部からハケ目調整が入る。 内面：口縁部横ナデ。胴部横ハケ。	

6区3号溝跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考		
1	陶器 皿	埋土中 口縁部~底部 1/5	口径 11.7 底径 6.4 器高 2.3	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(7.5Y 6/1)	ロクロ整形。口縁部外反。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転ヘラ削りか。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	全面に釉葉付着。		
番号	種別	器種	状態	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	摘要
2	鉄器	鎌	茎部欠損	7.7	0.8	0.4	7.0	長頸片刃鎌、比較的良好。

6区4号溝跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考		
1	土製品 鉢	埋土中 2/3	長さ 5.0 径 1.6 孔 0.6	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい橙(7.5YR 7/3)	下端欠損。外面凹凸あり、ナデ。 中心部縦に径6mmの穿孔。 重量11g			
2	石製品 砥石	埋土中 1/2	長さ 6.2 中 5.3 厚さ 2.9	石材：砥沢石 重量：136g	3面を研ぎ面としている。			
番号	種別	器種	状態	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	摘要
3	鉄製品	蹄鉄	1/3	9.9	1.8	0.5	42.0	残存状態良好。

6区10号溝跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯蓋	床面+6cm 摘部~口縁部 1/4	口径 19.8 摘径 6.1 器高 4.0	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(10YR 8/1)	ロクロ整形。 外面：天井部上半ヘラ削り。天井部下半~口縁部横ナデ。 内面：天井部~口縁部回転ナデ。	摘み高さ1.1cm。

6区15号溝跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯蓋	底面直上 天井部~口縁部 破片	口径 7.6 摘径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(N 5/0)	ロクロ整形。 外面：天井部上半ヘラ削り。天井部下半~口縁部横ナデ。 内面：天井部~口縁部回転ナデ。	

番号

### 第3章 検出遺構と出土遺物

#### 7区1号溝跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 蓋	埋土中 摘部～口縁部 破片	口径 — 摘径 1.8 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 褐灰(7.5YR 4/1)	ロクロ整形。 外面：天井部回転ヘラ削り。摘み貼付。 内面：天井部回転ナデ。	瓶の蓋かも。
2	須恵器 杯	底面+28cm ほぼ完形 口縁部一部欠損	口径 12.0 底径 8.4 器高 3.8	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 黄灰(2.5Y 6/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部手持ちヘラ削り。 内面：口縁部～体部回転ナデ調整。	

#### 7区2号溝跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 椀	底面+34cm 体部下端～底部 破片	口径 — 底径 6.3 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰黄褐(10YR 6/2)	ロクロ整形。 外面：体部回転ナデ。底部回転糸切り。高台貼付。 内面：体部～底部回転ナデ調整。	器面摩滅。
2	須恵器 甕	底面+17cm 口縁部～胴部上端 破片	口径 17.0 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(N 5/0)	ロクロ整形。 外面：口縁部横ナデ。胴部外面に平行叩き目痕が残る。 内面：口縁部～胴部横ナデ調整。	
3	須恵器 壺	床面+22cm 胴部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(5Y 6/1)	ロクロ整形。 外面：胴部横ナデ。 内面：胴部横ナデ。	

#### 7区3号溝跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 皿	埋土中 口縁部～底部 1/6	口径 10.0 底径 7.0 器高 2.1	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰黄(2.5Y 7/2)	ロクロ整形。回転左回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
2	須恵器 椀か	埋土中 口縁部～底部 1/3	口径 13.6 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ 黄灰(2.5Y 7/2)	ロクロ整形。口縁部外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部切り離し技法不明。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	底部外面剥離。

#### 8区4号溝跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	埋土中 口縁部～底部 破片	口径 16.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 橙(5YR 6/6)	外面：口縁部横ナデ、体部ヘラ削り。 内面：口縁部～底部横ナデ。	
2	須恵器 杯	埋土中 口縁部～底部 1/2	口径 12.0 底径 7.0 器高 3.7	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 やや不良 ③ 浅黄(2.5Y 7/3)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
3	須恵器 杯	埋土中 口縁部～体部 破片	口径 15.0 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ 黒(2.5Y 2/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。 内面：口縁部～体部回転ナデ調整。	口縁部内面に油煙付着。

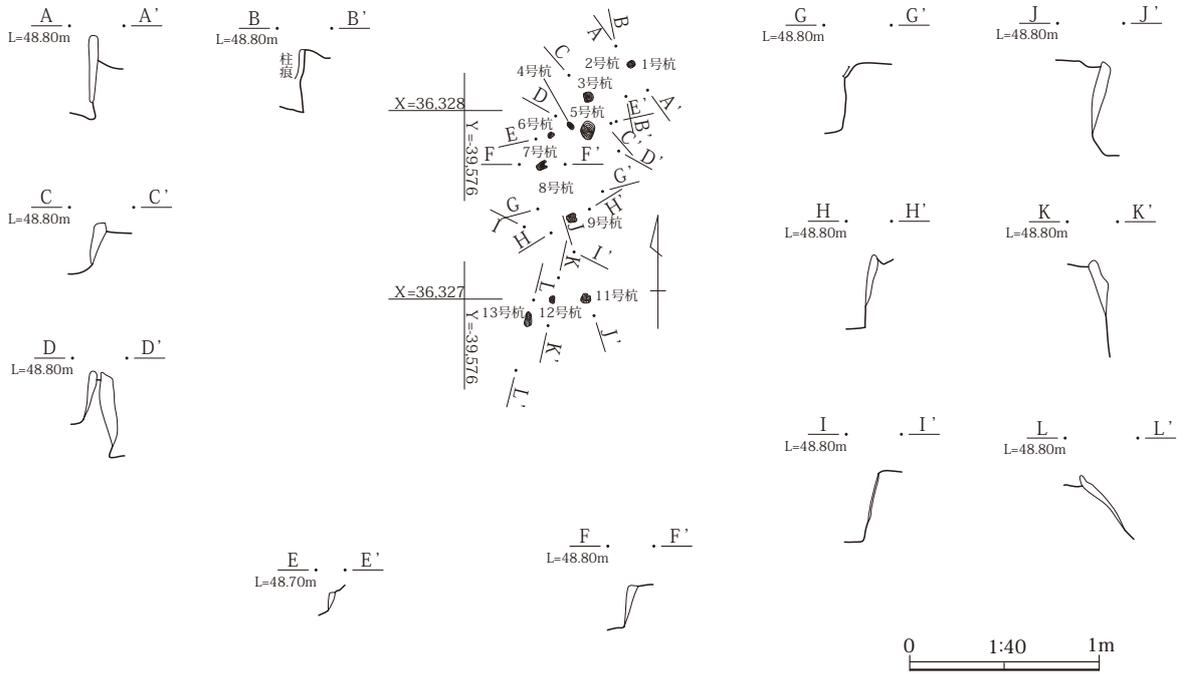
#### 8区7号溝跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
7号溝 1	土師器 杯	埋土中 口縁部～底部 破片	口径 13.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 明赤褐(5YR 5/6)	外面：口縁部横ナデ、体部ヘラ削り。 内面：口縁部～底部横ナデ。	
7号溝 2	須恵器 杯	埋土中 口縁部～底部 破片	口径 14.0 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 褐灰(7.5YR 4/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転ヘラ削りか。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
7号溝 3	須恵器 椀	埋土中 口縁部～底部 破片	口径 16.0 底径 11.0 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰黄(2.5Y 6/2)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転ヘラ削りか。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
7号溝 4	土師器 鉢	埋土中 底部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 灰黄褐(10YR 6/2)	粘土紐巻き上げ成形。 外面：底部に木の葉の葉脈あり。 内面：底部回転ナデ調整。	底部外面木葉痕
7号溝 5	土師器 甕	埋土中 口縁部 破片	口径 14.2 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 灰褐(5YR 6/2)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ。胴部ヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。	

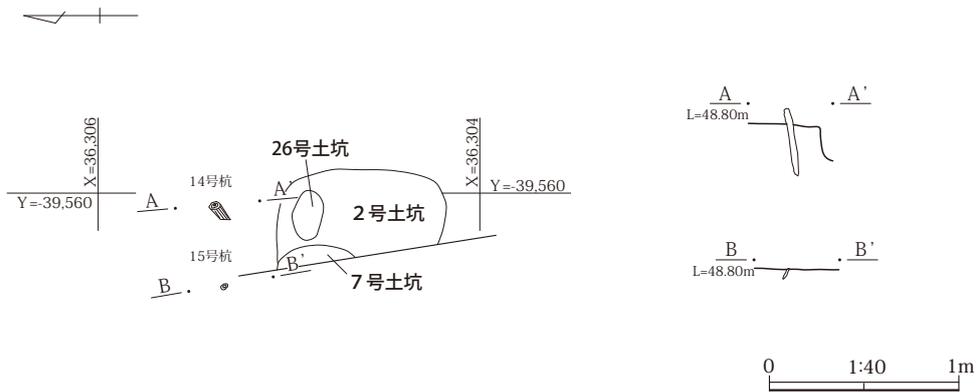
#### 8区18号溝跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	埋土中 口縁部～底部 1/3	口径 15.9 底径 — 器高 3.6	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 明赤褐(5YR 5/6)	口縁部外反。 外面：口縁部横ナデ、体部手持ちヘラ削り。 内面：口縁部～底部横ナデ。	

4区1号杭列



4区2号杭列

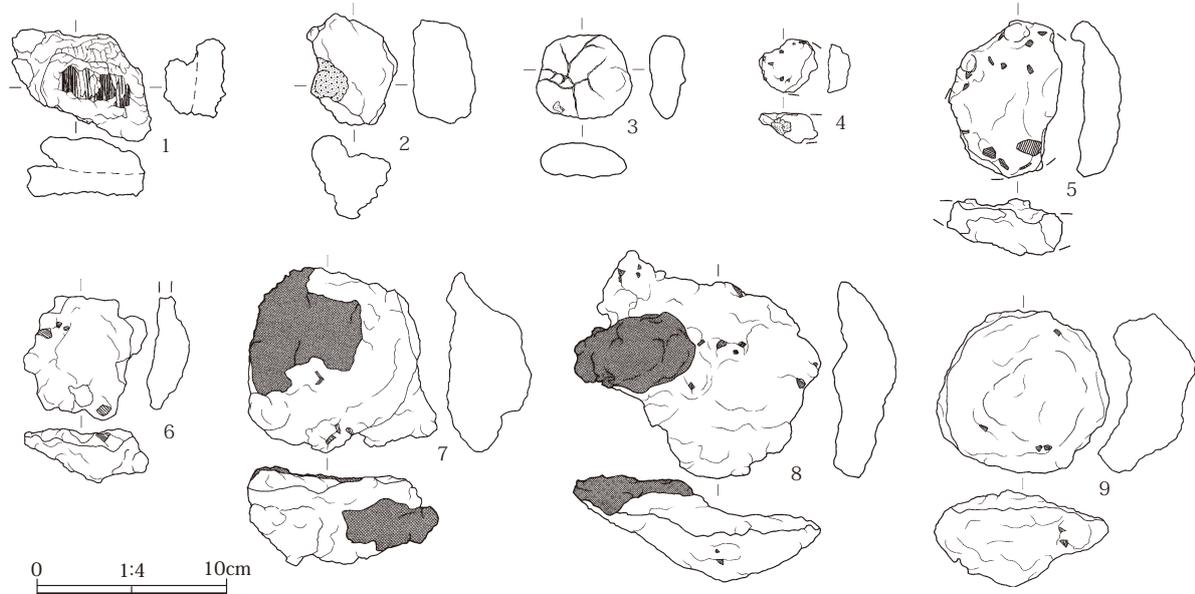


第661図 4区1・2号杭列跡平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物

第7項 遺構外出土遺物（奈良・平安）

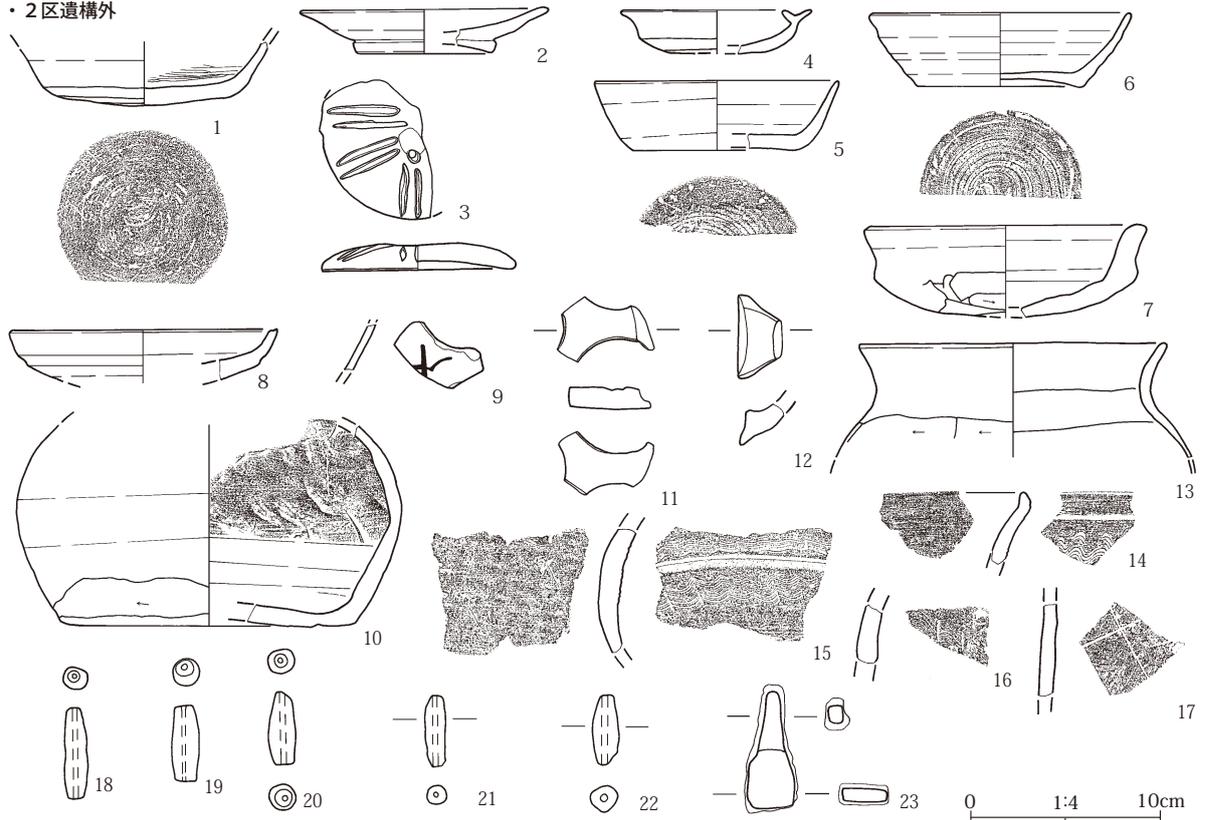
本遺跡からは総量4,509gの鉄・鉄器生産に関連する遺物が出土した。鉄・鉄器生産に関する工房と見られる確実な遺構はなく、遺構内から出土している遺物も周辺からの混入であると判断した。遺物のほとんどが鍛冶滓で、椀形鍛冶滓が主体である。No. 3の鉄塊系遺物は鋼素材である。鉄・鉄器生産関連遺物は1・2・6・7・8区で出土しており、1・2区では鋳・釘・鎌・刀子・紡錘車などの鍛造鉄製品が多く出土している。遺跡内で鍛造鉄製品生産に関わる鍛冶工程が行われていた可能性が高い。No. 2は製錬滓の可能性が高く、注目される。



第662図 鉄・鉄製品生産関連遺物

NO	種別	出土位置	計測値 (cm)			重量 (g)	磁着度	メタル度	特徴など
			長	幅	厚さ				
1	滓付き木質片	7区 260-490G	7.3	5.9	3.2	83.40	1	なし	表面に紫紅色のガラス質の滓が付着している木片。芯部は木質で、滓と砂粒で置換されている。2枚の板材にガラス質の滓が付着し、内部に滓が浸入したものであると推察した。製鉄炉や鍛冶炉の補助材として使用されていた板材に、滓が付着したものか。
2	炉内滓 (マグネタイト系滓付き含鉄)	6区 3溝	4.6	5.9	3.3	134.30	3	錆化 (△)	黒褐色・ほぼ前面破面。比重は高い。マグネタイト系の滓が内在し、金属探知器に反応しないにもかかわらず、磁着が非常に強い。上面は錆化した塊状の含鉄が付着している。マグネタイト系の滓が内在することから、製鉄炉の炉内滓と推測した。
3	鉄塊系遺物	1・2区 34住	5.0	4.4	1.7	57.20	2	H(○)	褐色。比重は非常に高い。放射割れが激しく、金属鉄が錆化したものと推測し、鉄塊系遺物とした。残存金属はH(○)と少ないが、錆化しが激しく、滓部があまり観察できないことから、ほぼ金属鉄の塊であると考えられる。表面や放射割れの様子から、鉄の可能性が高い。
4	椀形鍛冶滓 (極小・含鉄)	1・2区 5住	3.4	3.1	1.3	18.05	2	錆化 (△)	黒褐色。比重はやや低い。右側部は欠損。下面に細かいタレが生じており、長軸 5mm ほどの細かい木炭痕や木炭が観察できる。上面は平坦で下面が湾曲する形状や、木炭痕の観察から椀形鍛冶滓とした。粘土質溶解物が主体である。
5	椀形鍛冶滓 (小)	7区 13住	6.0	8.3	2.0	136.90	2	なし	黒褐色。比重はやや低い。右側部は欠損。下面に細かいタレが生じており、長軸 5mm ほどの細かい木炭痕が観察できる。上面は平坦で下面が湾曲する形状や、木炭痕の観察から椀形鍛冶滓とした。滓中には気泡が多く内在する。
6	椀形鍛冶滓 (小・含鉄)	6区 表採	6.5	6.5	2.2	116.90	3	錆化 (△)	黒褐色。比重はやや高い。下面に細かいタレが生じており、長軸 5mm ほどの細かい木炭痕が観察できる。上面は平坦で下面が湾曲する形状や、木炭痕の観察から椀形鍛冶滓とした。上面はガラス質主体である。羽口先端部の溶損か。下半部は比重が高く滓質が密。
7	椀形鍛冶滓 (中)	8区 不明遺構	9.9	9.7	4.3	464.80	2	なし	黒褐色。比重はやや高い。下面に細かいタレが生じており、長軸 5mm ほどの細かい木炭痕が観察できる。上面は平坦で下面が湾曲する形状や、木炭痕の観察から椀形鍛冶滓とした。上面はガラス質主体である。羽口先端部の溶損か。上面左端に羽口顎部が付着している。
8	椀形鍛冶滓 (中・含鉄)	1・2区 表採	13.0	12.1	4.4	466.00	3	錆化 (△)	黒褐色。比重はやや高い。形状はやや扁平。下面に細かいタレが生じており、長軸 5mm ほどの細かい木炭痕が観察できる。上面は平坦で下面が湾曲する形状や、木炭痕の観察から椀形鍛冶滓とした。上面はガラス質主体である。羽口先端部の溶損か。
9	椀形鍛冶滓 (中・含鉄)	1・2区 表採	9.1	8.6	3.6	337.10	4	H(○)	黒褐色。比重はやや高い。下面に細かいタレが生じており、長軸 5mm ほどの細かい木炭痕が観察できる。上面は平坦で下面が湾曲する形状や、木炭痕の観察から椀形鍛冶滓とした。

1・2区遺構外



第663図 1・2区遺構外出土遺物(1)

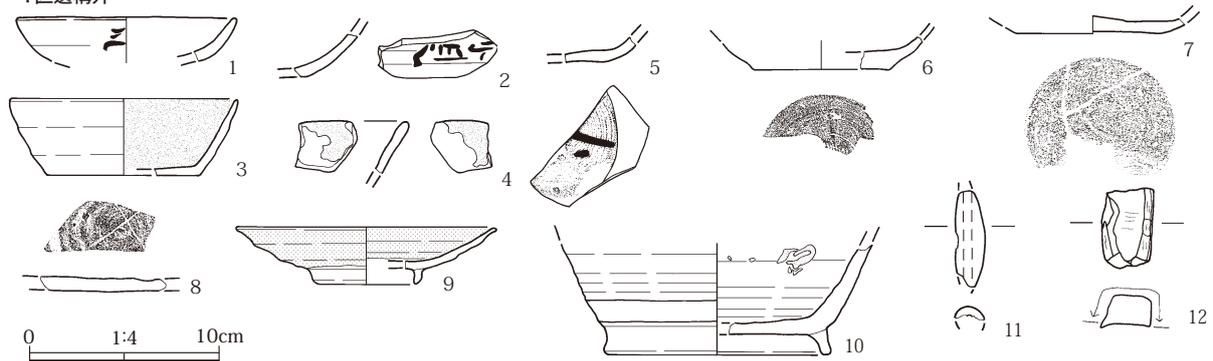
1・2区遺構外出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
遺構外 1	黒色土器 杯	表土 体部下半～底部	口径 — 底径 9.0 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焰 良好 内面黒色 ③ にぶい橙 (5YR 6/4)	ロクロ整形。回転左回り。 外面：体部回転ナデ。底部回転ヘラ切り。 内面：体部～底部ナデ調整後、ヘラ磨き。	
2	須恵器 高台付皿	表土 口縁部～底部 破片	口径 12.8 底径 7.3 器高 2.3	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰黄褐(10YR 5/2)	ロクロ整形。 外面：口縁部～胴部回転ナデ。高台貼付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
3	土師器 蓋	表土 天井部～口縁部 1/3	口径 9.6 摘径 — 器高 1.3	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焰 良好 ③ 明赤褐(5YR 5/6)	外面：口縁部横ナデ。天井部回転ヘラ削り。摘み貼付。中 心から放射線状に巾4mmの沈線あり。 内面：口縁部～天井部ナデか。	転用品か。内外 面が擦れてい る。
4	須恵器 杯	表土 口縁部～底部 破片	口径 9.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい褐(7.5YR 5/4)	外面：口縁部横ナデ。胴部～底部ナデ。 内面：口縁部～体部横ナデ。	
5	須恵器 杯	表土 口縁部～底部 1/3	口径 12.7 底径 9.0 器高 3.6	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰白(5Y 8/2)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	器面摩滅。
6	須恵器 杯	表土 口縁部～底部 1/2	口径 13.5 底径 8.7 器高 3.9	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰 (5Y 5/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
7	須恵器 杯	表土 口縁部～底部 1/6	口径 14.1 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰 (7.5Y 6/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部手持ちヘラ削り。 内面：口縁部～体部回転ナデ調整。底部ナデ。	
8	須恵器 杯	表土 口縁部～底部 破片	口径 14.0 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰 (5Y 5/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部～底部回転ナデ。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
9	須恵器 杯	表土 体部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白 (5Y 7/2)	ロクロ整形。 外面：体部回転ナデ。 内面：体部回転ナデ調整。	胴部外面に墨 書。
10	須恵器 瓶	表土 胴部～底部 破片	口径 — 底径 15.6 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白 (5Y 7/1)	ロクロ整形。 外面：胴部回転ナデ。上半にアテ具痕？が残る。最下位は ヘラ削り。底部ヘラ削り。 内面：胴部回転ナデ調整。底部ナデ。指頭痕あり。	
11	須恵器 甌	表土 底部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰 (7.5Y 5/1)	外面：底部ナデ。 内面：底部ナデ。	
12	須恵器 鍋	表土 把手部	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ にぶい黄褐(10YR 5/3)	把手貼付。把手の長さ2.7cm、巾4.4cm、高さ1.7cm。 把手部ヘラ削り。	把手貼付。
13	土師器 甕	表土 口縁部～胴部上端 破片	口径 16.0 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 黒褐(7.5YR 3/1)	外面：口縁部横ナデ。胴部横方向ヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。	

第3章 検出遺構と出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考		
14	須恵器 甕	表土 口縁部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 灰褐(7.5YR 4/2)	外面：口縁部横ナデ。櫛描波状文を施文。 内面：口縁部横ナデ。			
15	須恵器 甕	表土 頸部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい赤褐(5YR 4/3)	外面：胴部横ナデ。櫛描波状文を施文。 内面：胴部横ナデ。			
16	弥生土器 か 甕か	表土 胴部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 灰褐(5YR 4/2)	外面：櫛描波状文を施文。 内面：横ナデ。			
17	土師器 甕か	表土 胴部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 良好 ③ にぶい黄橙(10YR 6/3)	外面：ヘラ削り。 内面：ヘラナデ。			
18	土製品 錘	表土 完形	長さ 4.7 径 1.2 孔 0.20	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焰 良好 ③ 赤褐(5YR 4/6)	成形雑側面凹凸アリ。下端部平坦面をつくる。外面側面ナデ、 下端ヘラナデ。 中心部縦に径2.0mmの穿孔。 重量：7g			
19	土製品 錘	表土 完形	長さ 4.0 径 1.4 孔 0.30	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい橙(7.5YR 6/4)	成形雑側面凹凸アリ。両端平坦面をつくる。外面側面ナデ、 端部ヘラナデ。 中心部縦に径3mmの穿孔。 重量：10g			
20	土製品 錘	表土 ほぼ完形 一部欠損	長さ 3.8 径 1.3 孔 0.25	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 赤褐(5YR 4/6)	両端平坦面をつくる。外面側面ナデ端部ヘラナデ。 中心部縦に径2.5mmの穿孔。 重量：7g			
21	土製品 錘	表土 ほぼ完形 一部欠損	長さ 3.7 径 1.1 孔 0.25	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 赤褐(5YR 4/6)	下端欠損、外面ナデ。 中心部縦に径2.5mmの穿孔。 重量：5g			
22	土製品 錘	表土 一部欠損	長さ 3.8 径 1.3	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好	中心部縦に径3mmの穿孔。 重量：7g			
番号	種別	器種	状態	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	摘要
23	鉄器	鑿	端部欠損	6.7	2.6	1.7	74.0	錆化、腐食進んでいる。

4区遺構外



第664図 4区遺構外出土遺物(2)

4区遺構外出土遺物観察表

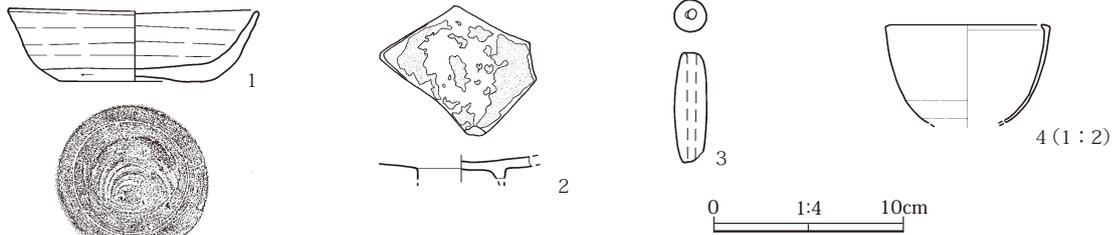
番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	表土 口縁部～底部 破片	口径 11.3 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい橙(7.5YR 6/4)	外面：口縁部横ナデ、体部ナデ。 内面：口縁部～底部横ナデ。	口縁部外面に 「三」の墨書。
2	黒色土器 杯	表土 体部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 内面黒色 処理 ③ にぶい橙(7.5YR 7/4)	ロクロ整形。 外面：体部回転ナデ。 内面：体部回転ナデ調整。ヘラ磨き。	体部外面に墨 書。
3	須恵器 杯	表土 口縁部～底部 破片	口径 11.9 底径 8.0 器高 4.0	① 細砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ にぶい橙(7.5YR 6/4)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。 内面：胴部～底部回転ナデ調整。	口縁部外面に墨 書。漆附着土器 か。
4	須恵器 杯	表土 口縁部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(N 5/0)	ロクロ整形。内外面に漆附着。 外面：口縁部回転ナデ。 内面：口縁部回転ナデ調整。	内外面に漆附着 土器。
5	須恵器 杯	表土 体部下半～底部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(5Y 7/1)	ロクロ整形。 外面：体部回転ナデ。底部回転系切り。 内面：体部～底部回転ナデ調整。	底部外面に墨 書。
6	須恵器 杯	表土 体部下半～底部 破片	口径 — 底径 7.0 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰黄(2.5Y 6/2)	ロクロ整形。 外面：体部回転ナデ。底部回転系切り後ヘラ削り。 内面：体部～底部回転ナデ調整。	
7	須恵器 杯	表土 底部 破片	口径 — 底径 8.0 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 ③ 褐(7.5YR 4/4)	ロクロ整形。 外面：底部回転系切り。後回転ヘラ削り。 内面：底部回転ナデ調整。	底部内面中央に ヘラ記号「+」 器面摩滅。
8	須恵器 杯	表土 底部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 ③ にぶい褐(7.5YR 6/3)	ロクロ整形。回転左回りか。 外面：底部回転ヘラ削り。 内面：底部回転ナデ調整。	底部内面中央に ヘラ記号「+」 器面摩滅。

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
9	灰釉陶器 皿	表土 口縁部～底部 1/5	口径 13.6 底径 5.8 器高 3.0	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白 (2.5Y 8/1)	ロクロ整形。口縁部外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転ヘラ削りか。高台貼付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	施釉方法は漬け掛け、大原2号窯式期。
10	須恵器 椀	表土 体部～底部 破片	口径 — 底径 11.6 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 黄灰 (2.5Y 6/1)	ロクロ整形。 外面：体部上位～中位回転ナデ。体部下位～底部回転ヘラ削り。高台貼付。 内面：体部～底部回転ナデ調整。	漆付着土器か。
11	土製品 錘	表土 1/3	長さ 5.1 径 1.5 孔 0.4	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい黄 (2.5Y 6/4)	縦方向に1/2欠損。外面ナデ。 中心部縦に径4mmの穿孔。 重量：5g	

番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	石材	摘要
12	石製品	砥石	一部片	4.0	2.6	1.6	33	砥沢石	残存する表、側面は使用されている。

6区遺構外



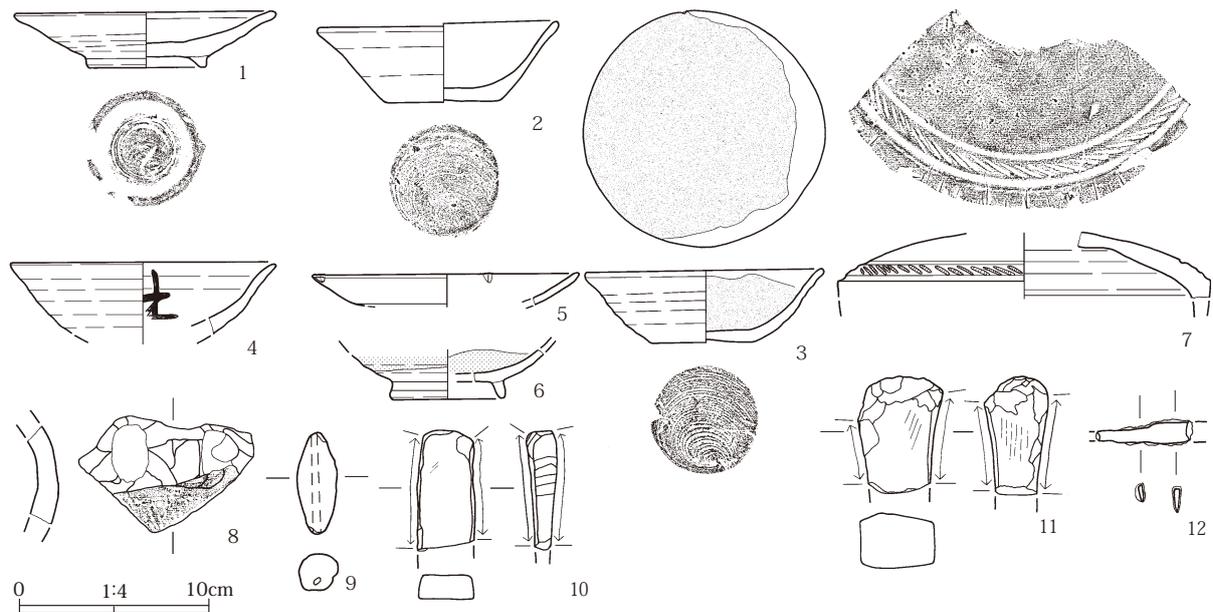
第665図 6区遺構外出土遺物(3)

6区遺構外出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	表土 完形	口径 12.8 底径 8.0 器高 3.7	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰 (N 6/0)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り後、周囲を回転ヘラナデ調整。 内面：体部～底部回転ナデ調整。	
2	須恵器 高盤	表土 体部下端～底部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰黄褐 (10YR 5/2)	ロクロ整形。 外面：胴部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。脚部貼付。 内面：底部回転ナデ調整。	漆付着土器か。
3	土製品 錘	表土 完形	長さ 5.8 径 1.7 孔 0.5	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 橙 (7.5YR 6/6)	外面ナデ。 中心部縦に径5mmの穿孔。 重量：17g	

番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	摘要
4	銅製品	銅鉢	口縁部片	2.7	3.9	0.1	7.0	残存状態は良好。

7区遺構外



第666図 7区遺構外出土遺物(4)

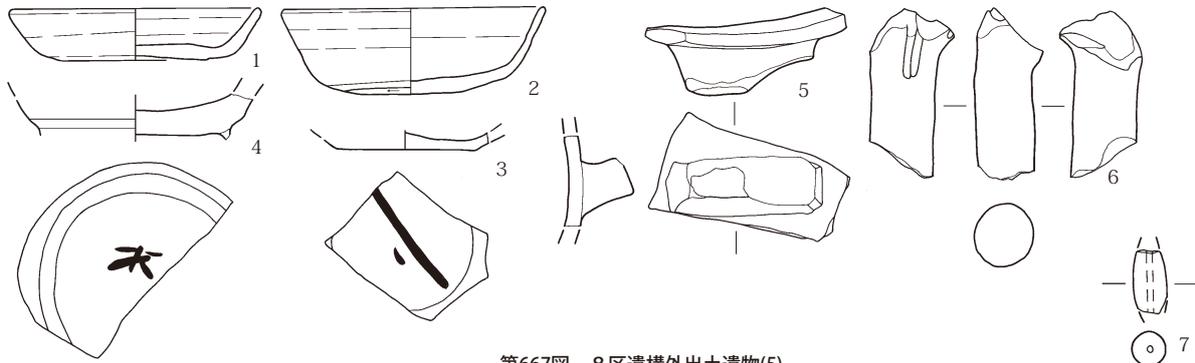
第3章 検出遺構と出土遺物

7区遺構外出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 高台付皿	表土 口縁部～底部 底部完形	口径 13.4 底径 6.4 器高 2.9	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焰 ③ にぶい黄(2.5Y 6/3)	ロクロ整形。口縁部外反。 外面：口縁部～胴部回転ナデ。底部回転ナデ。高台貼付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
2	須恵器 椀	表土 ほぼ完形 口縁部一部欠損	口径 12.3 底径 5.9 器高 4.2	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ オリーブ黄(7.5Y 6/3)	ロクロ整形。回転右回り。口縁部外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	重ね焼き
3	須恵器 椀	表土 完形	口径 12.4 底径 5.4 器高 3.8	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰 (5Y 6/1)	ロクロ整形。回転右回り。口縁部外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。底部に漆紙付着。	漆付着土器。
4	須恵器 杯	表土 口縁部～体部 破片	口径 13.7 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰黄 (2.5Y 7/2)	ロクロ整形。口縁部外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。 内面：口縁部～体部回転ナデ調整。	胴部外面に墨書。
5	緑釉陶器 輪花稜皿	口縁部 小破片	口径 13.9 底径 — 器高 —	① 夾雑物無 ② 還元焰 ③ 灰	ロクロ整形、回転方向不明。 外面：口唇部に輪花 内面：	釉調は淡緑色
6	灰釉陶器 椀	表土 体部下端～底部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白 (5Y 8/1)	ロクロ整形。 外面：体部回転ナデ。高台貼付。 内面：体部～底部回転ナデ。施釉方法は漬け掛け。	大原2号窯時期。
7	須恵器 長頸壺	表土 胴部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白 (5Y 7/2)	ロクロ整形。 外面：胴部回転ナデ。肩端部に凹線による区画その内に刺突文が巡る。 内面：胴部回転ナデ。	外面に降灰付着。
8	須恵器 把手付瓶	表土 破片	口径 — 脚径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白 (N 5/0)	把手部分はヘラ削り、胴部には叩き痕が残る。把手は1対か。	
9	土製品 錘	表土 完形	長さ 5.4 径 2.1 孔 0.25	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 黒褐 (7.5YR 3/1)	外面ナデ、孔形は楕円。 中心部縦に径2.5mmの穿孔。	

番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	石材	摘要
10	石製品	砥石	下部欠損	6.4	3.0	1.6	42.0	流紋岩	表裏、両側面使用。
11	石製品	砥石	下部欠損	6.2	4.5	3.3	118.0	流紋岩	
番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	摘要	
12	鉄器	刀子	柄～刃部小片	5.0	1.2	0.5	4.0	錆化、腐食とも進んでいる。	

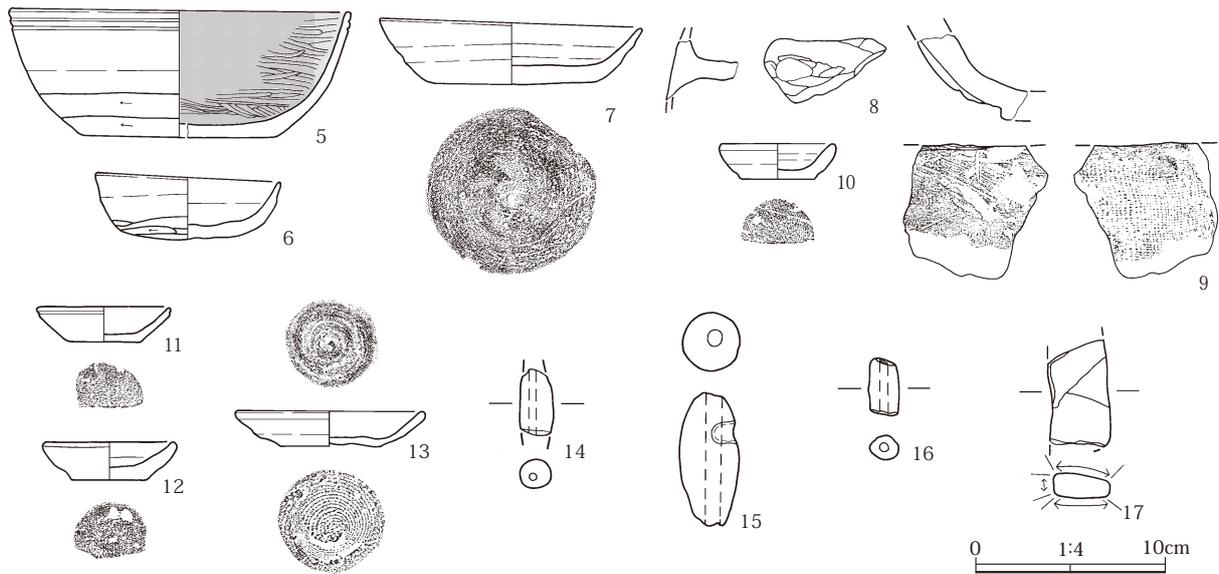
8区遺構外



第667図 8区遺構外出土遺物(5)

8区遺構外出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	表土 口縁部～底部 1/2	口径 12.9 底径 7.6 器高 2.7	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰 (N 4/0)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り後、底部周辺は回転ヘラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
2	須恵器 杯	表土 口縁部～底部 1/3	口径 13.5 底径 — 器高 4.5	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰(5Y 6/1)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
3	須恵器 杯	表土 底部 破片	口径 — 底径 7.2 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰 (7.5Y 6/1)	ロクロ整形。回転右回りか。 外面：底部回転ヘラ削り。 内面：回転ナデ調整。	口縁部外面に。
4	須恵器 椀	表土 底部 破片	口径 — 底径 10.0 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰黄 (2.5Y 7/2)	ロクロ整形。 外面：底部回転ヘラ削り。高台貼付。 内面：底部回転ナデ調整。	底部外面に「本」の墨書。
5	須恵器 甌	埋土中 把手部	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白 (7.5Y 7/1)	把手貼付。把手の長さ7.3cm、巾2.7cm、高さ3.0cm。 把手部ヘラ削り。	把手貼付。
6	土師器 三足鍋	表土 脚部	長さ 8.9 径 3.3 重量 104g	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 明赤褐(2.5YR 5/6)	脚部貼付、ナデ。	
7	土製品 錘	表土 1/2	長さ 3.2 径 1.8 孔 0.25	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい黄橙 (10YR 7/4)	上端、下半欠損、表面ナデ。 中心部縦に径2.5mmの穿孔。 重量：9g	18号溝付近で出土。



第668図 6区遺構外出土遺物(6)

6区1号大溝跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考			
5	黒色土器 椀	埋土中 口縁部～底部 破片	口径 17.8 底径 10.2 器高 6.7	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焰 良好 内面黒色 処理 ③ にぶい褐(7.5YR 5/4)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部上半回転ナデ。体部下半回転ヘラ 削り。底部回転ヘラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整、底部ナデ調整後磨き。 内面燻し。				
6	須恵器 杯	埋土中 ほぼ完形	口径 9.5 底径 — 器高 3.6	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(5Y 7/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。体部下半、底部手持ち ヘラ調整。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	底部摩滅。			
7	須恵器 杯	底面+74cm 口縁部～底部 2/3	口径 13.7 底径 9.0 器高 3.4	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 ③ 黒(7.5YR 2/1)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。				
8	須恵器 鍋	埋土中 把手部	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 ③ にぶい褐(7.5YR 5/4)	把手貼付。把手の長さ2.7cm、巾3.5cm、高さ1.1cm。 把手部ナデ。指頭痕あり。	把手貼付。			
9	土製品 丸瓦	埋土中 破片	頭巾 — 尻巾 — 側面長 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 焼締 ③ 灰(10Y 5/1)	厚さ2.0cm 外面：ヘラ削り。 内面：凹面は布目あり。				
10	土師質土器 杯	埋土中 口縁部～底部 1/2	口径 5.9 底径 4.0 器高 1.9	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 黒褐(10YR 3/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部横ナデ、底部回転糸切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。				
11	土師質土器 杯	埋土中 口縁部～底部 1/4	口径 6.8 底径 4.0 器高 1.8	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 灰黄(10YR 7/2)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部横ナデ、底部ヘラ切りか。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。				
12	土師質土器 杯	埋土中 口縁部～底部 1/2	口径 6.7 底径 4.0 器高 2.0	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい橙(5YR 7/4)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部横ナデ、底部ヘラ切りか。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。				
13	土師器 かわらけ	埋土中 口縁部～底部 1/3	口径 9.6 底径 5.4 器高 1.9	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 浅黄橙(7.5YR 8/4)	ロクロ整形。回転左回り。 外面：口縁部～体部横ナデ、底部回転糸切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	底部内面に油煙付 着。			
14	土製品 錘	埋土中 1/2	長さ 3.3 径 1.8 孔 0.4	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 橙(5YR 6/6)	上端、下半欠損、外面ナデ。 中心部縦に径4mmの穿孔。 重量：10g	一部にスス附着。			
15	土製品 錘	埋土中 完形	長さ 6.9 径 3.1 孔 0.8	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい褐(7.5YR 5/3)	外面ナデ、上半に横位の強いナデ。 中心部縦に径8mmの穿孔。 重量：58g	一部にスス附着。			
16	土製品 錘	埋土中 1/2	長さ 3.0 径 1.6 孔 0.4	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 灰褐(7.5YR 4/2)	両端は斜めに整形。外面ナデ。 中心部縦に径4mmの穿孔。 重量：4g	一部にスス附着。			
番号	種別	器種	状態	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	石材	摘要
17	石製品	砥石	上下欠損	5.5	3.3	1.3	34	砥沢石	表裏ともよく使用されている。左側 面は一部のみ使用、右側面は加工時 のままか。

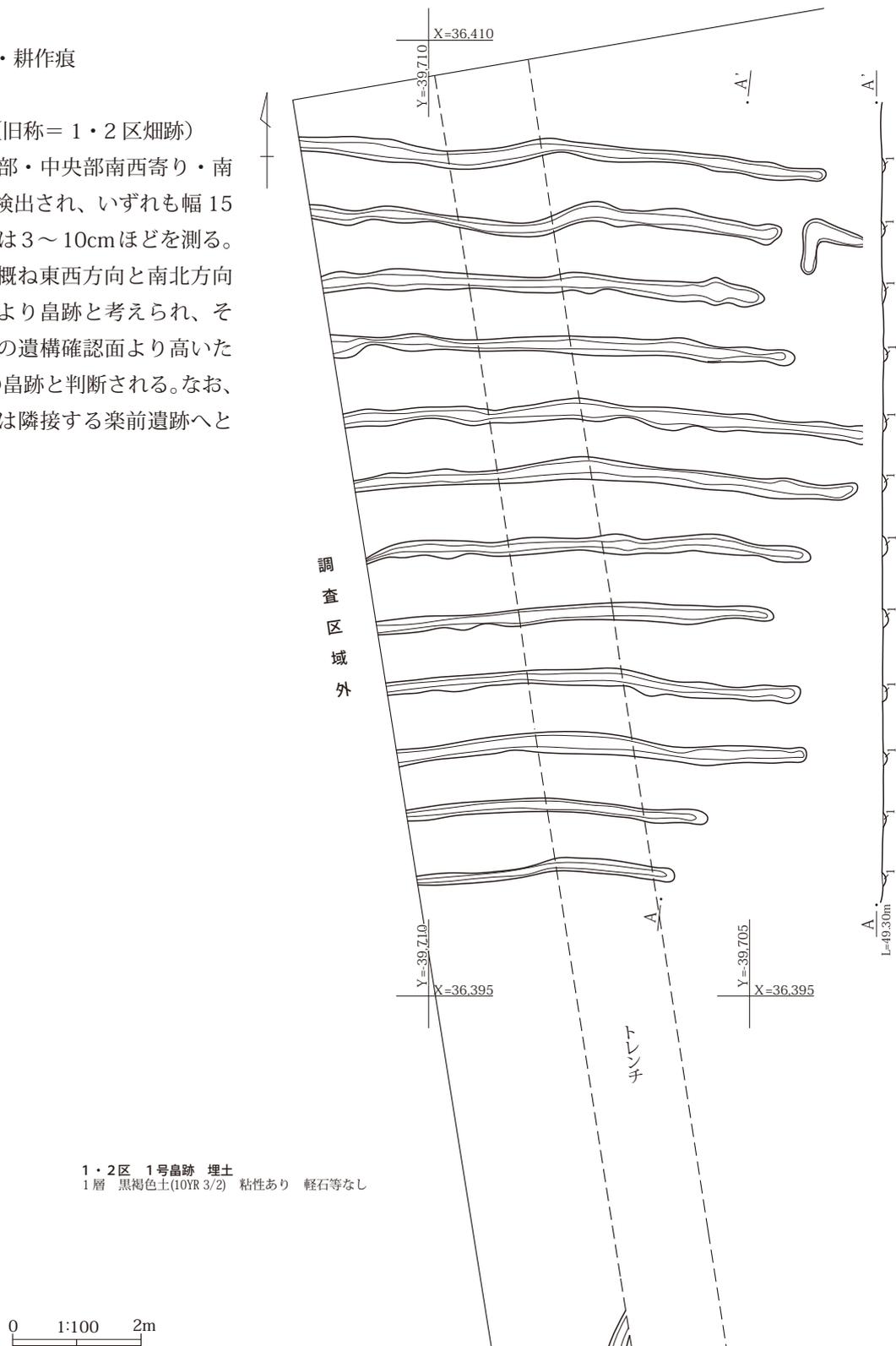
### 第3章 検出遺構と出土遺物

#### 第3節 中世～近現代の遺構と遺物

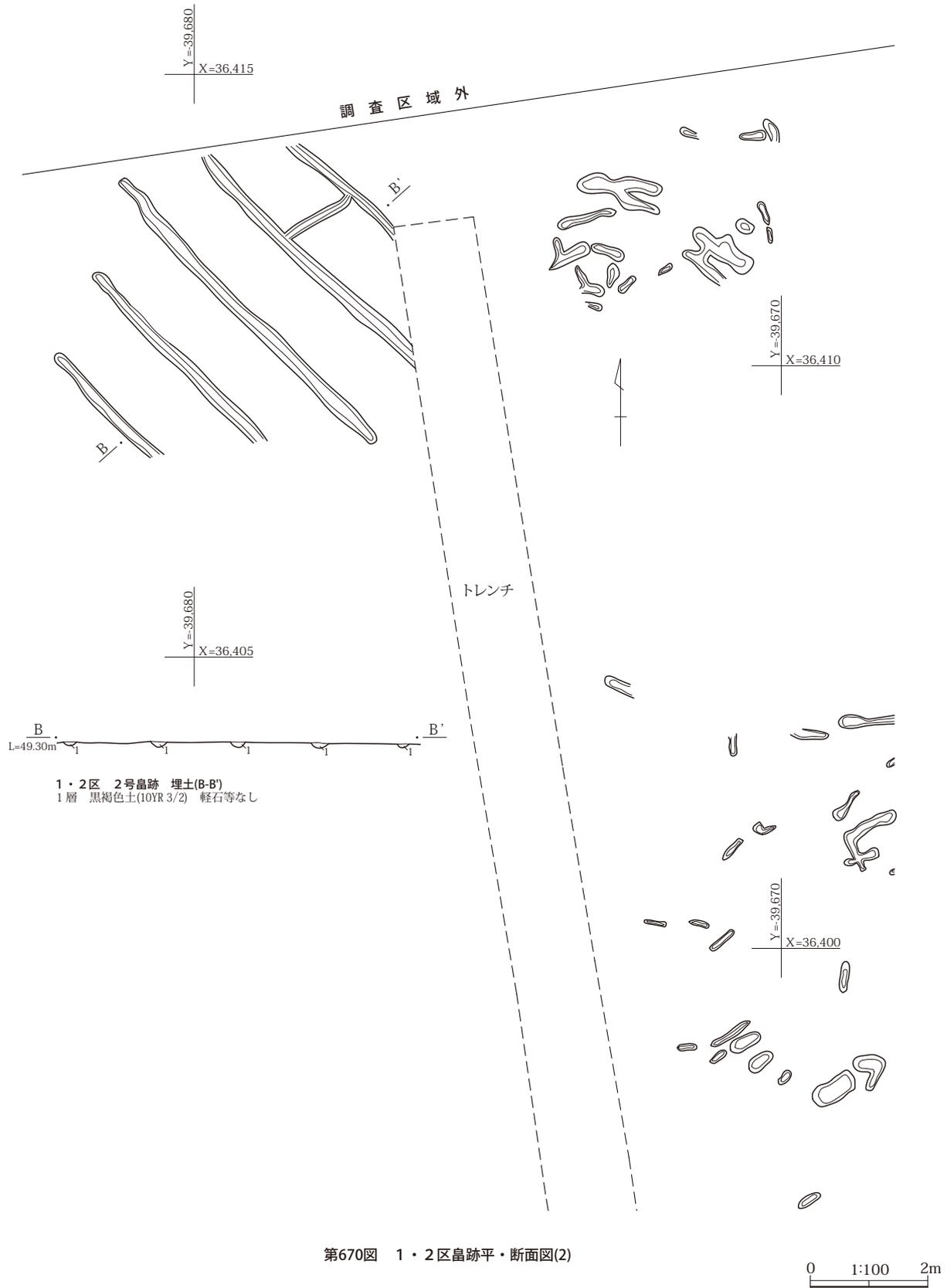
##### 第1項 畠跡・耕作痕

##### 1・2区畠跡（旧称＝1・2区畑跡）

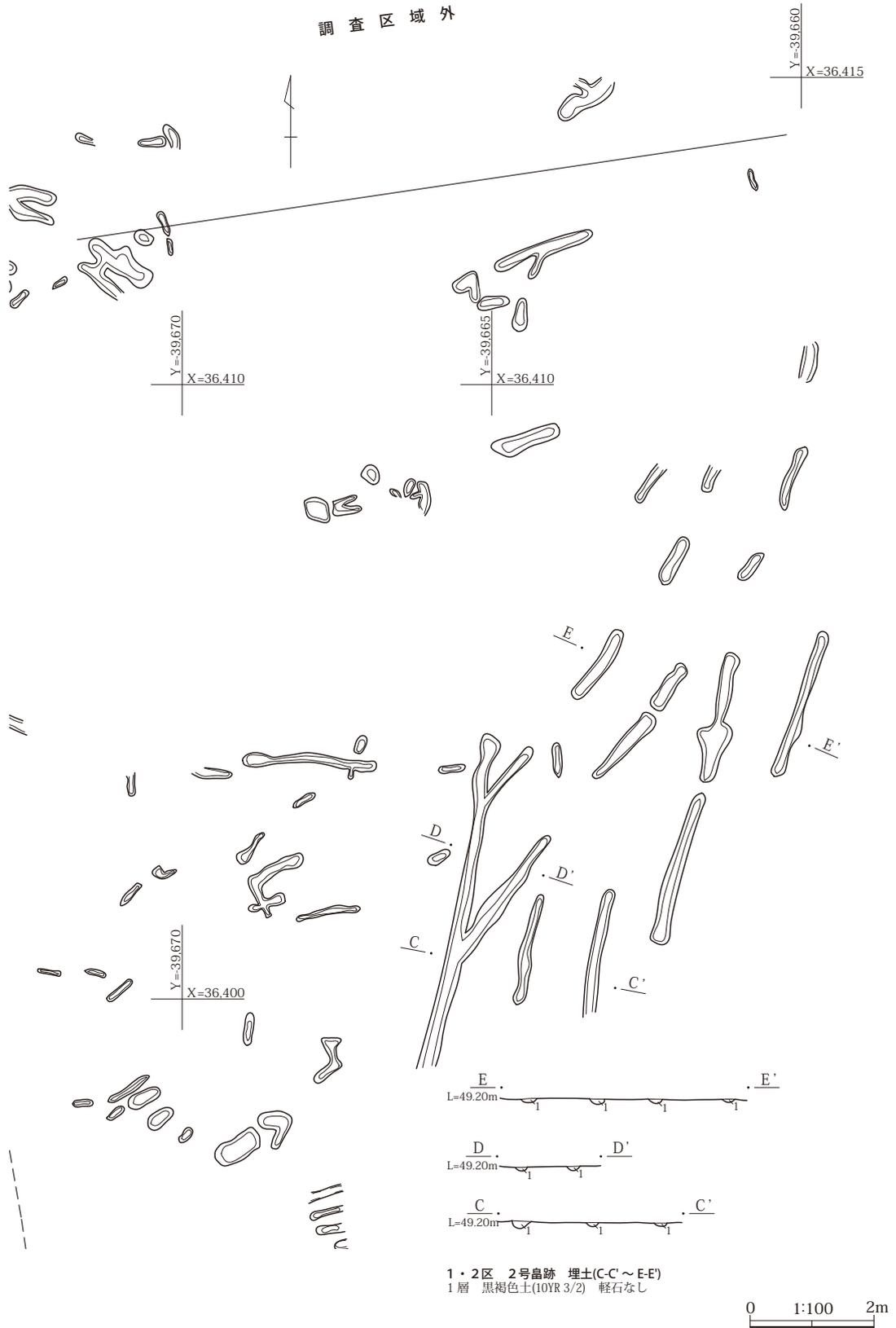
調査区北東部・中央部南西寄り・南東部の各所で検出され、いずれも幅15～40cm、深さは3～10cmほどを測る。その走向は、概ね東西方向と南北方向である。形状より畠跡と考えられ、その検出面が他の遺構確認面より高いため、中世以降の畠跡と判断される。なお、北東部の畠跡は隣接する築前遺跡へと続く。



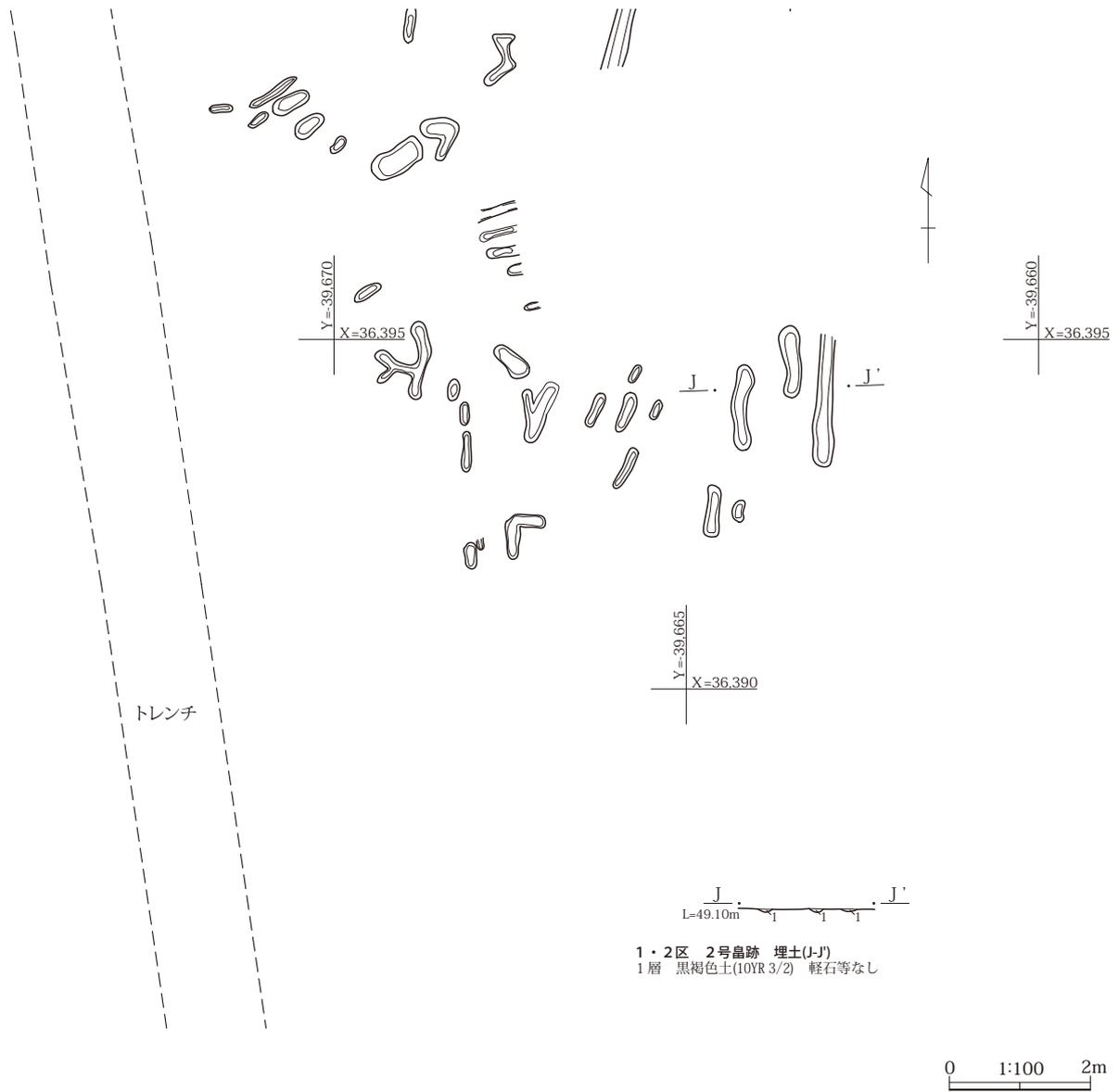
第669図 1・2区畠跡平面図(1)



第670図 1・2区畠跡平・断面図(2)

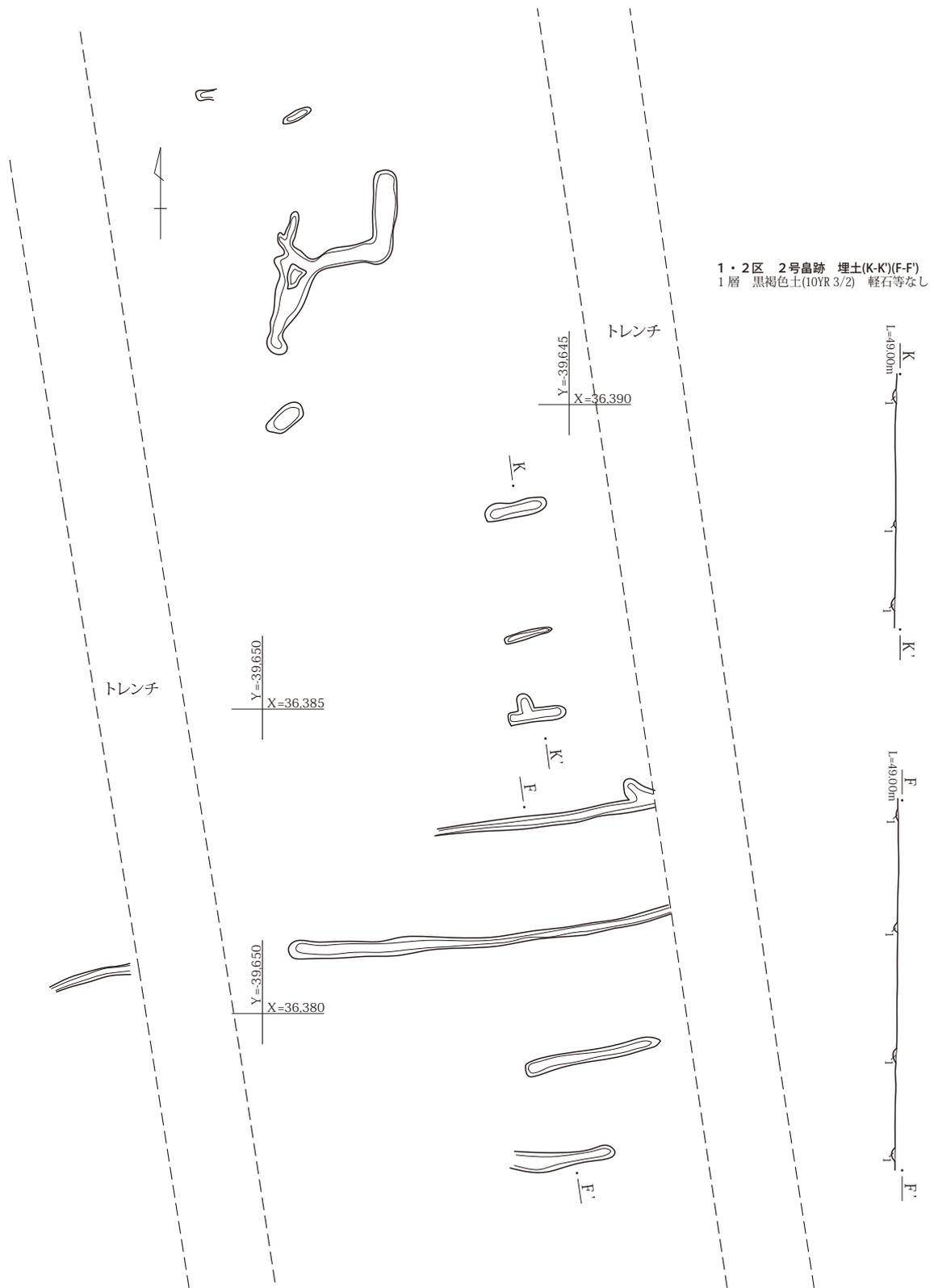


第671図 1・2区畠跡平・断面図(3)

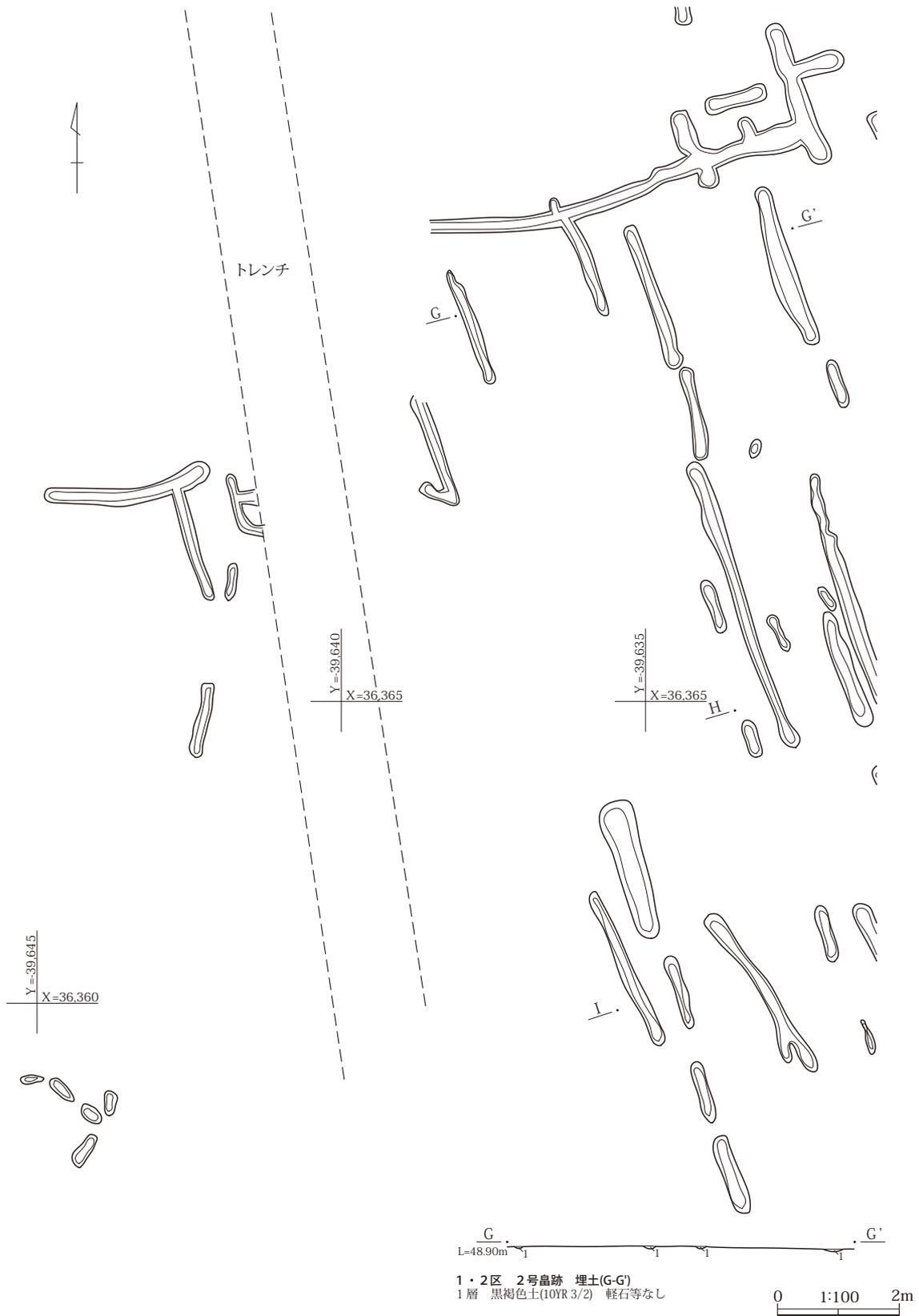


1・2区 2号畠跡 埋土(J-J')  
1層 黒褐色土(10YR 3/2) 軽石等なし

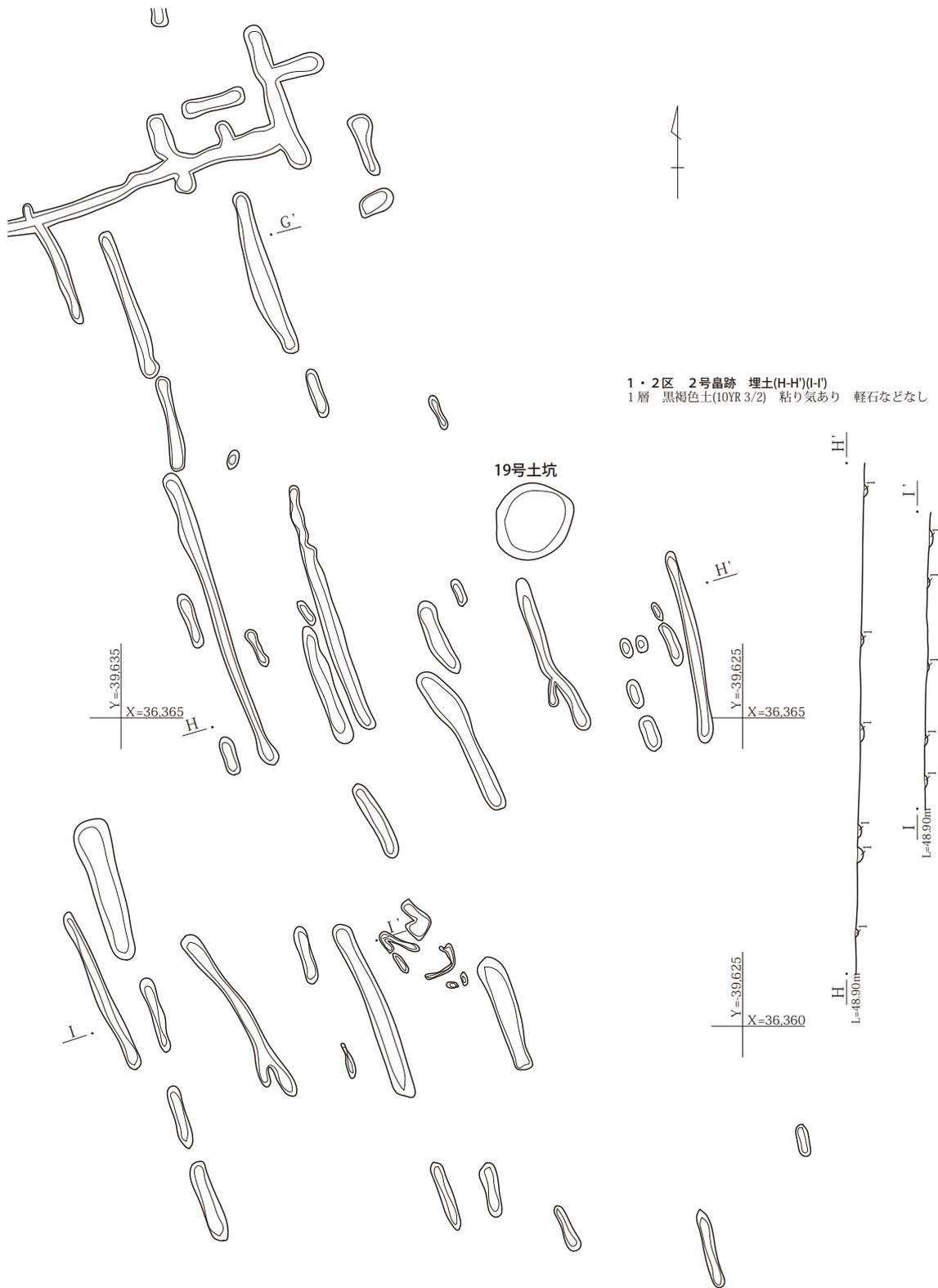
第672図 1・2区畠跡平・断面図(4)



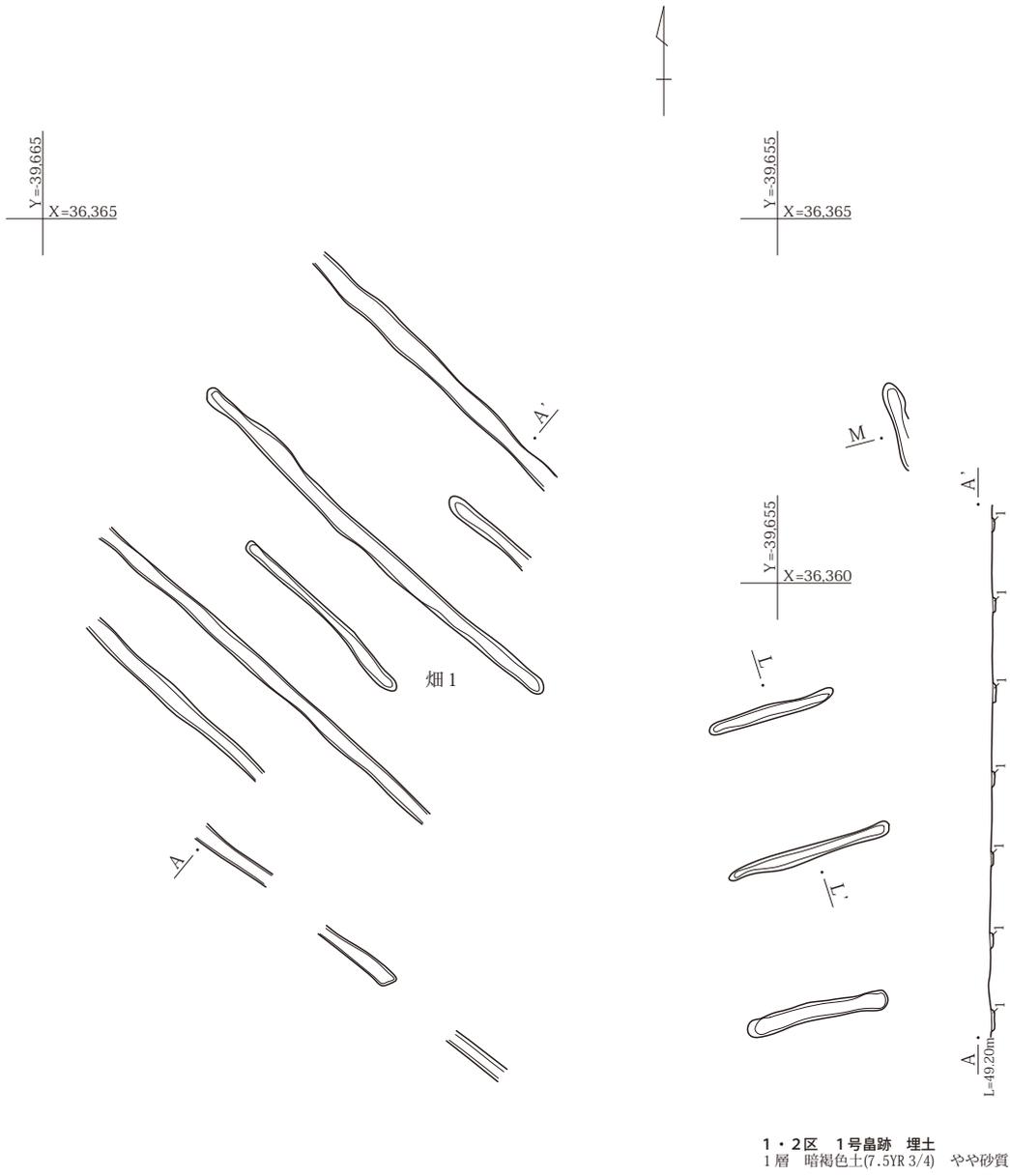
第673図 1・2区畠跡平・断面図(5)



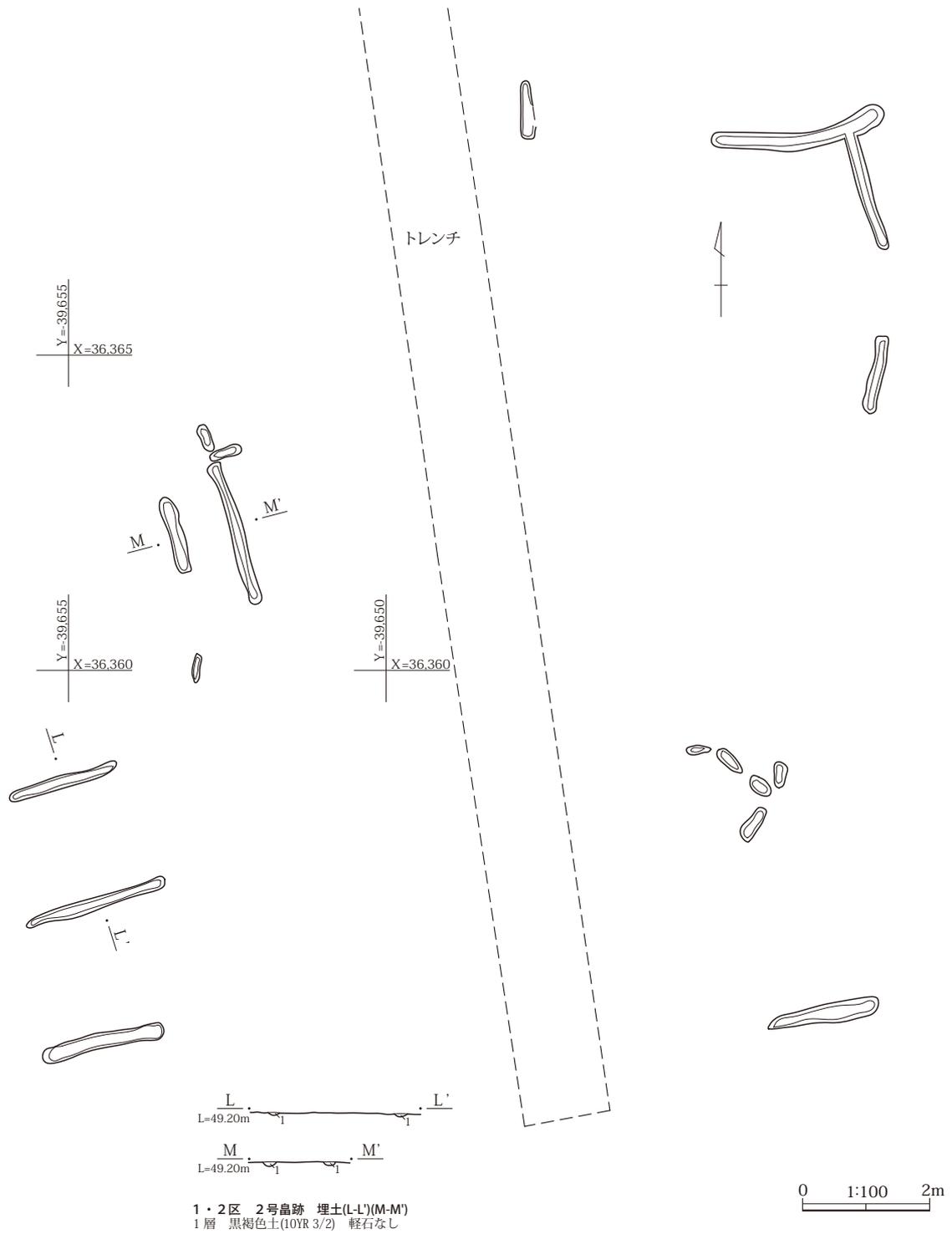
第674図 1・2区畠跡平・断面図(6)



第675図 1・2区畠跡平・断面図(7)

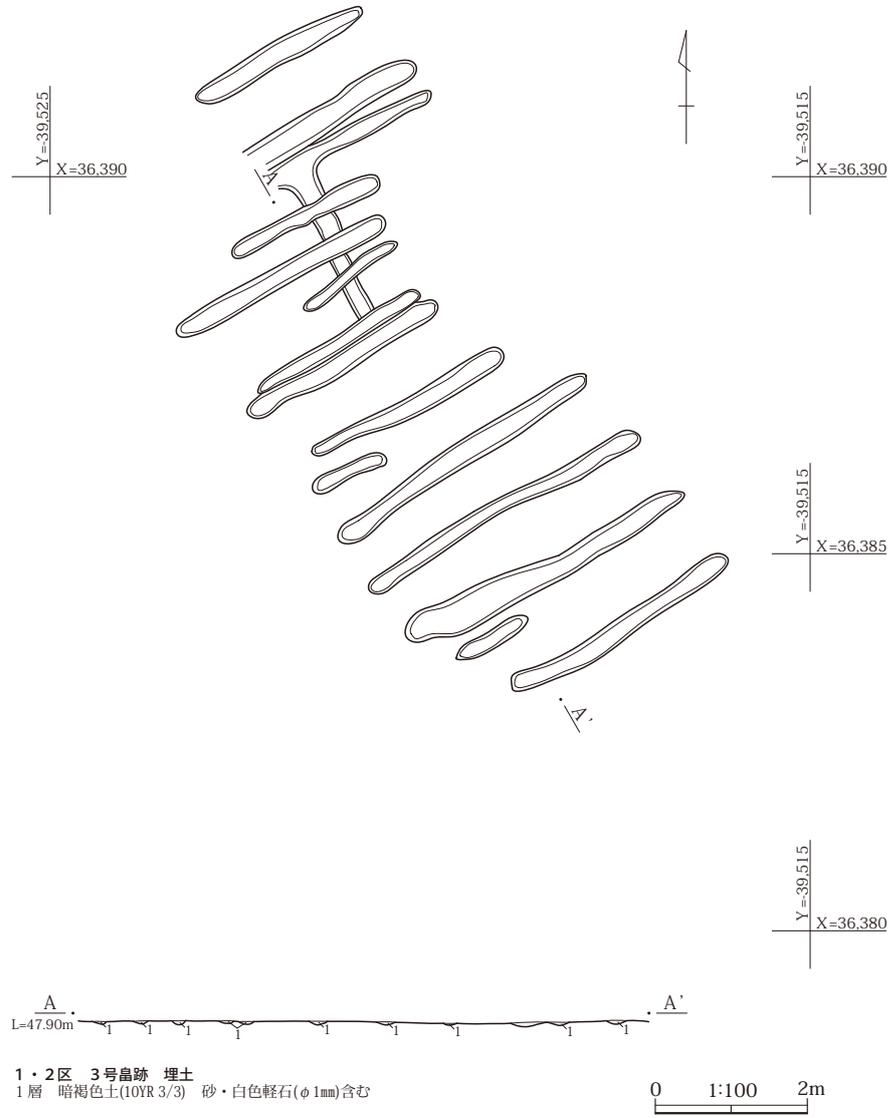


第676図 1・2区畠跡平・断面図(8)



1・2区 2号墓跡 埋土(L-L')(M-M')  
1層 黒褐色土(10YR 3/2) 軽石なし

第677図 1・2区墓跡平・断面図(9)

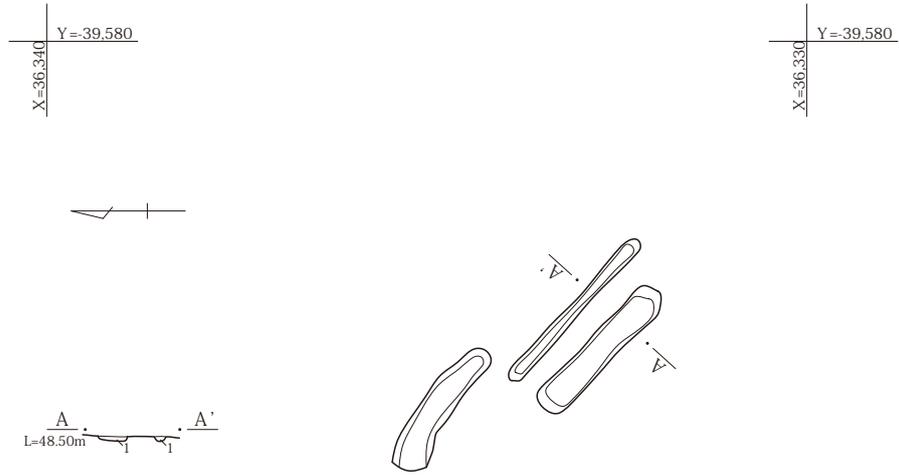


第678図 1・2区畠跡平・断面図(10)

第3章 検出遺構と出土遺物

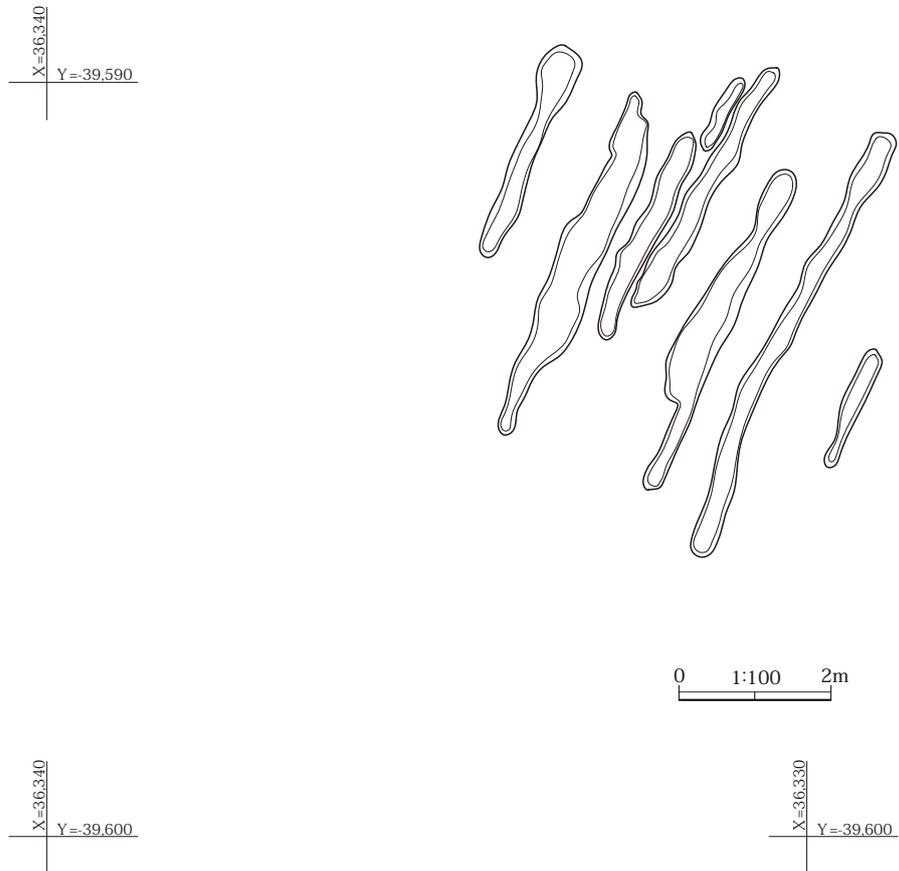
4区畠跡（旧称＝4区1号～7号畑）

調査区北東部～中央南寄りで検出され、いずれも幅15～35cm、深さは3～10cmほどを測る。その走向は、概ね東西方向と南北方向である。形状より畠跡と考えられ、その検出面が他の遺構確認面より高いため、中世以降の畠跡と判断される。

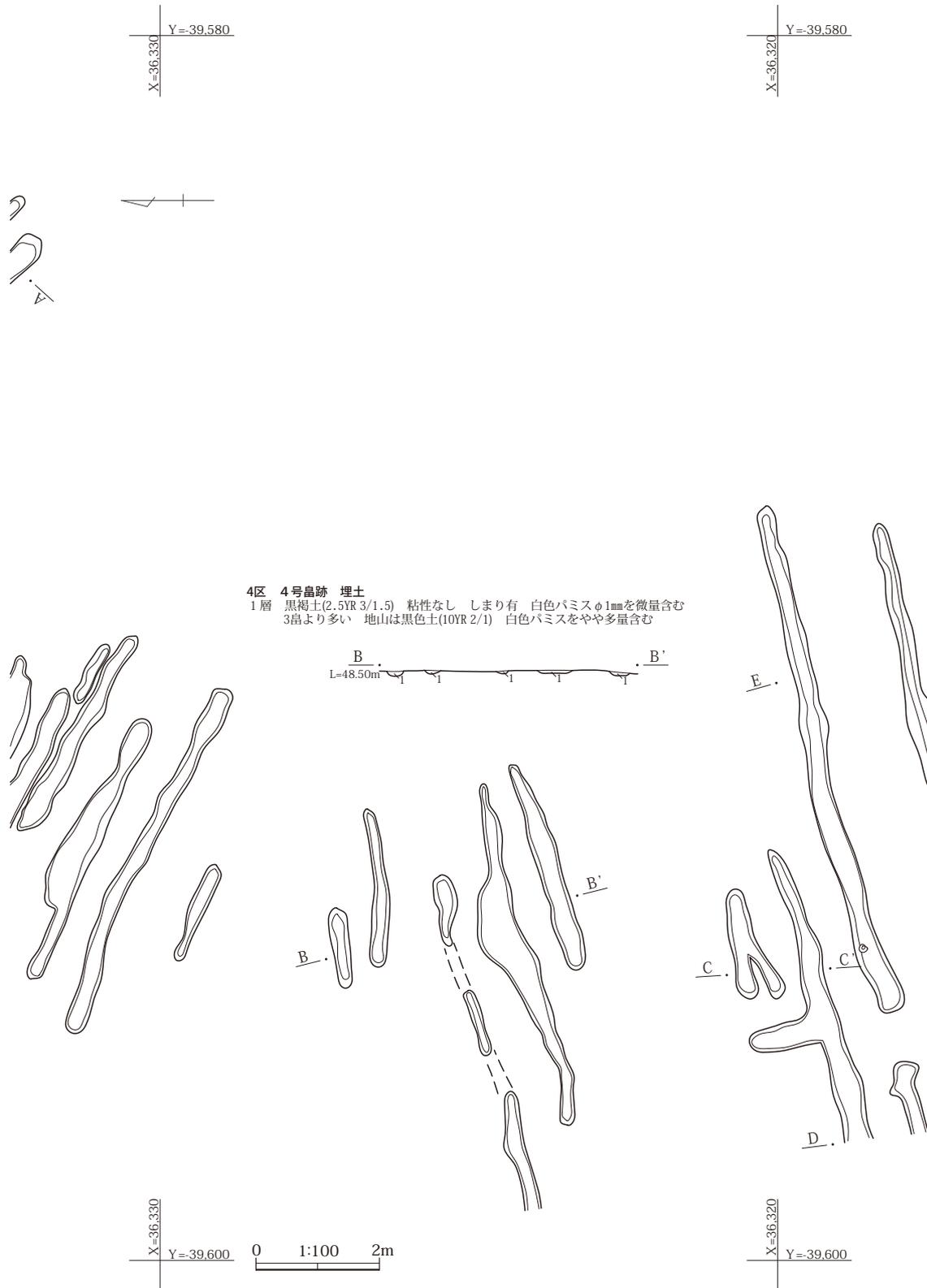


4区 1号畠跡 埋土

1層 灰黄褐色砂質土(10YR 4/2) 少量の白色軽石(As-C+榛名二ツ岳)を含む  
微量の黄色砂質ローム粒子を含む 畠跡サク埋土

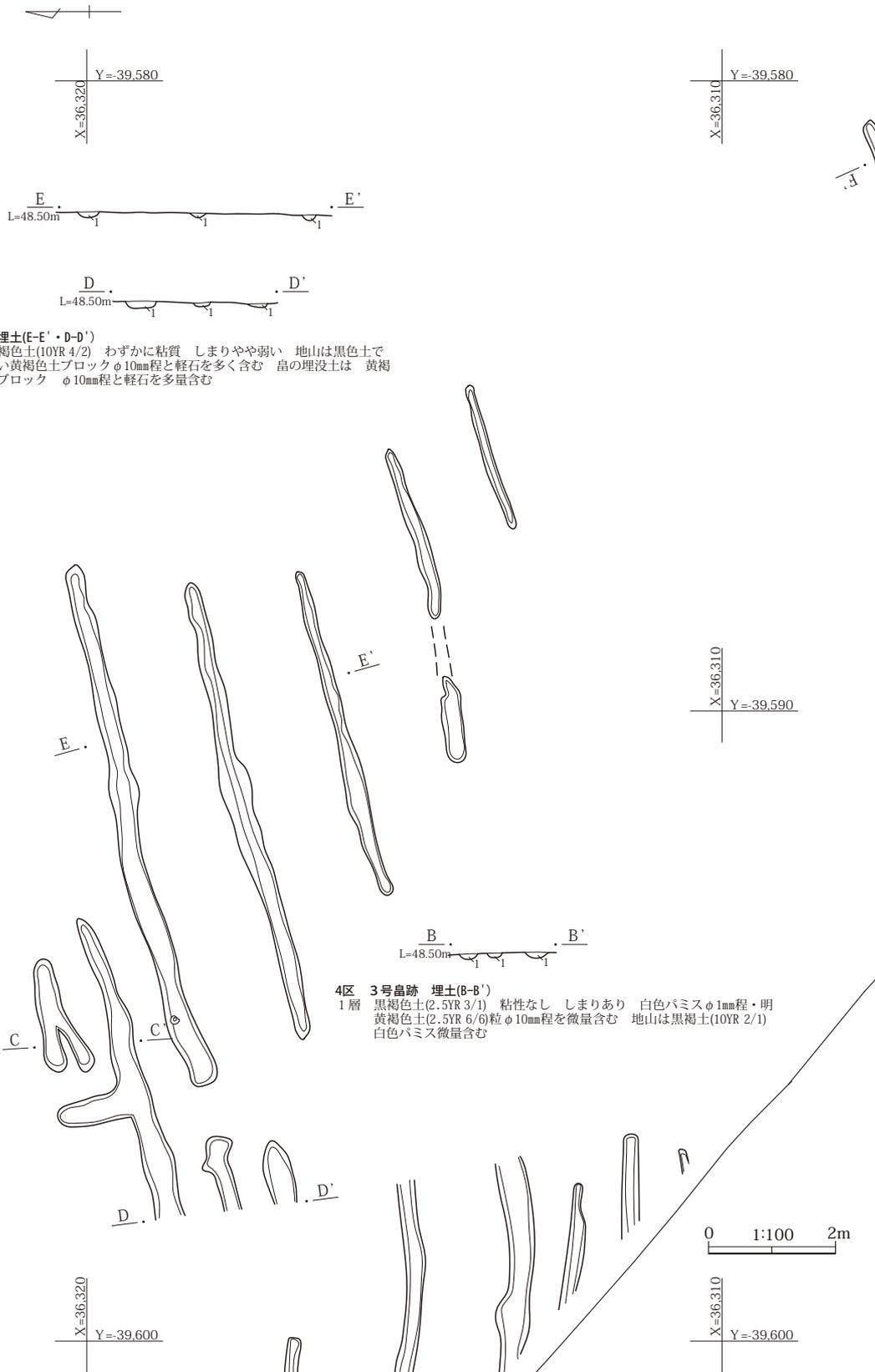


第679図 4区畠跡平・断面図(1)

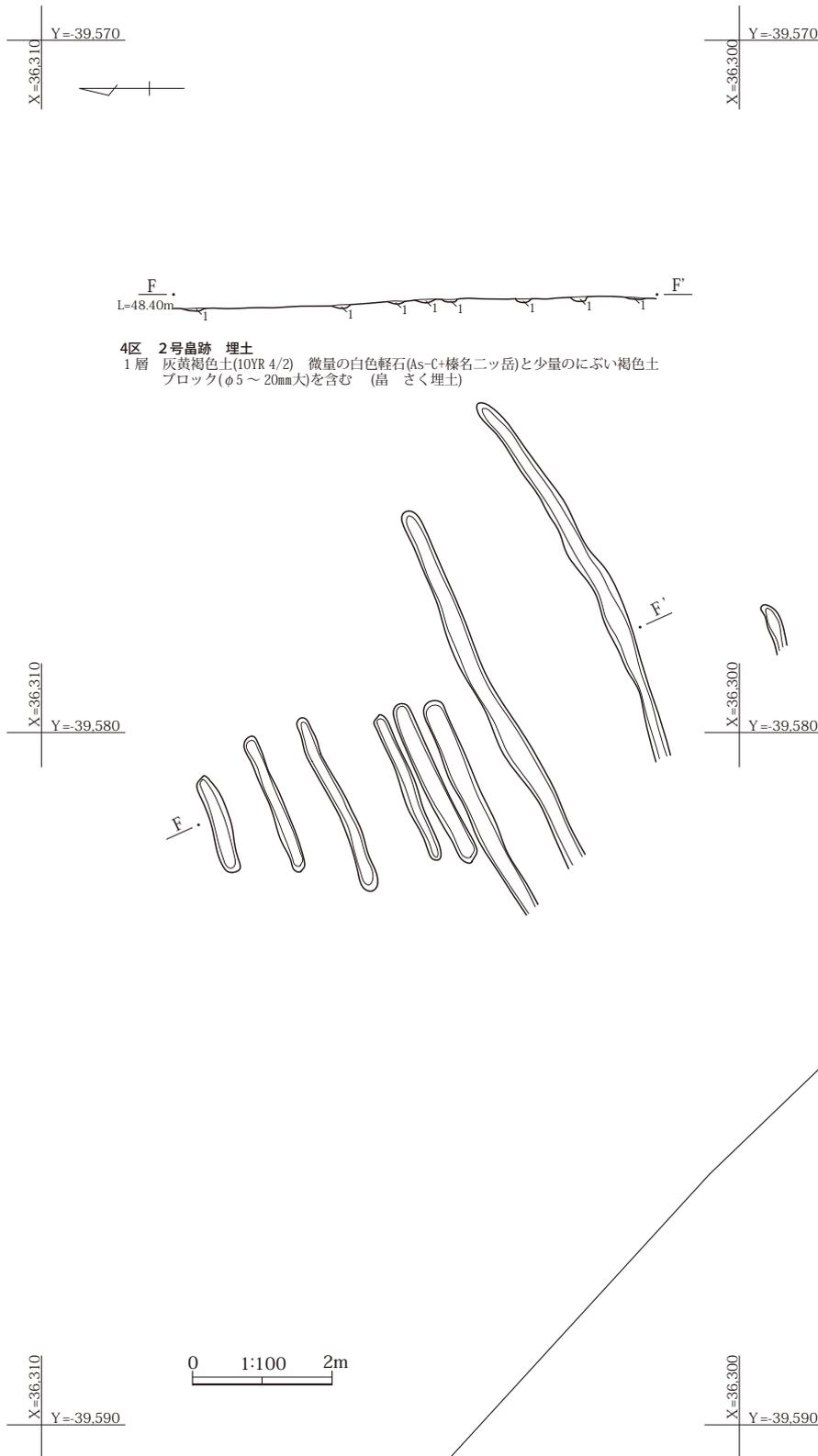


第680図 4区畠跡平断面図(2)

第3章 検出遺構と出土遺物

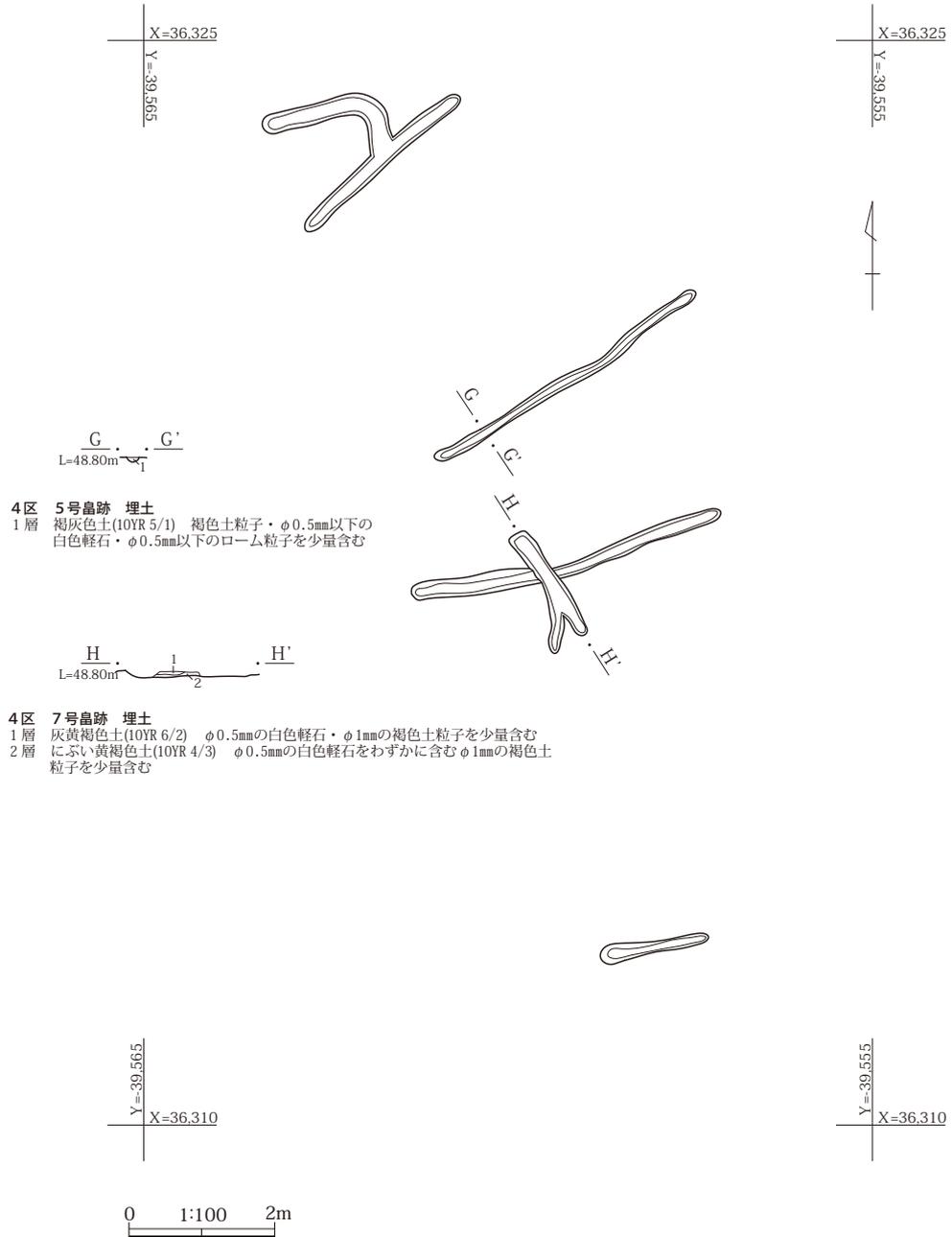


第681図 4区畠跡平・断面図(3)



第682図 4区畠跡平・断面図(4)

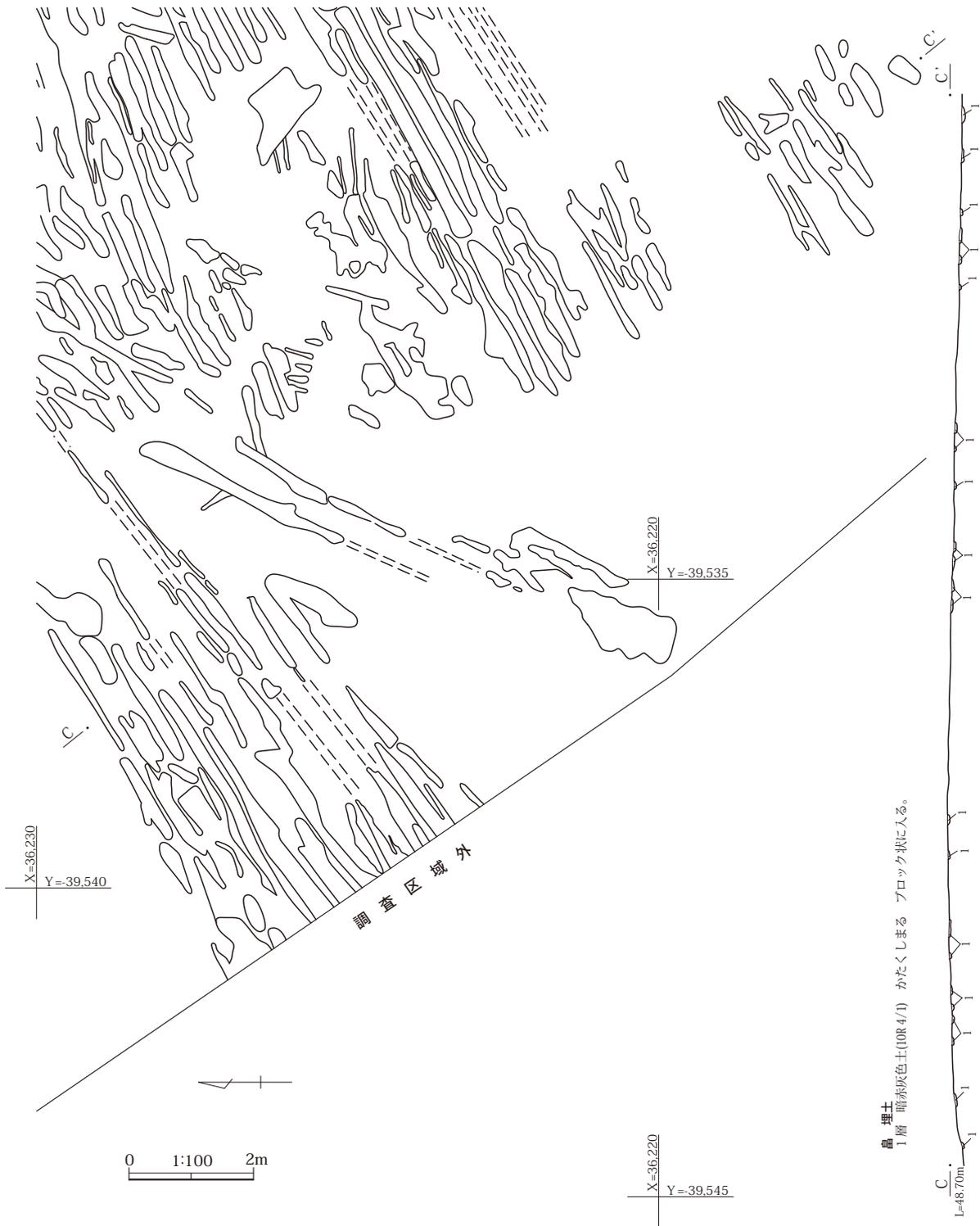
第3章 検出遺構と出土遺物



第683図 4区畠跡平・断面図(5)

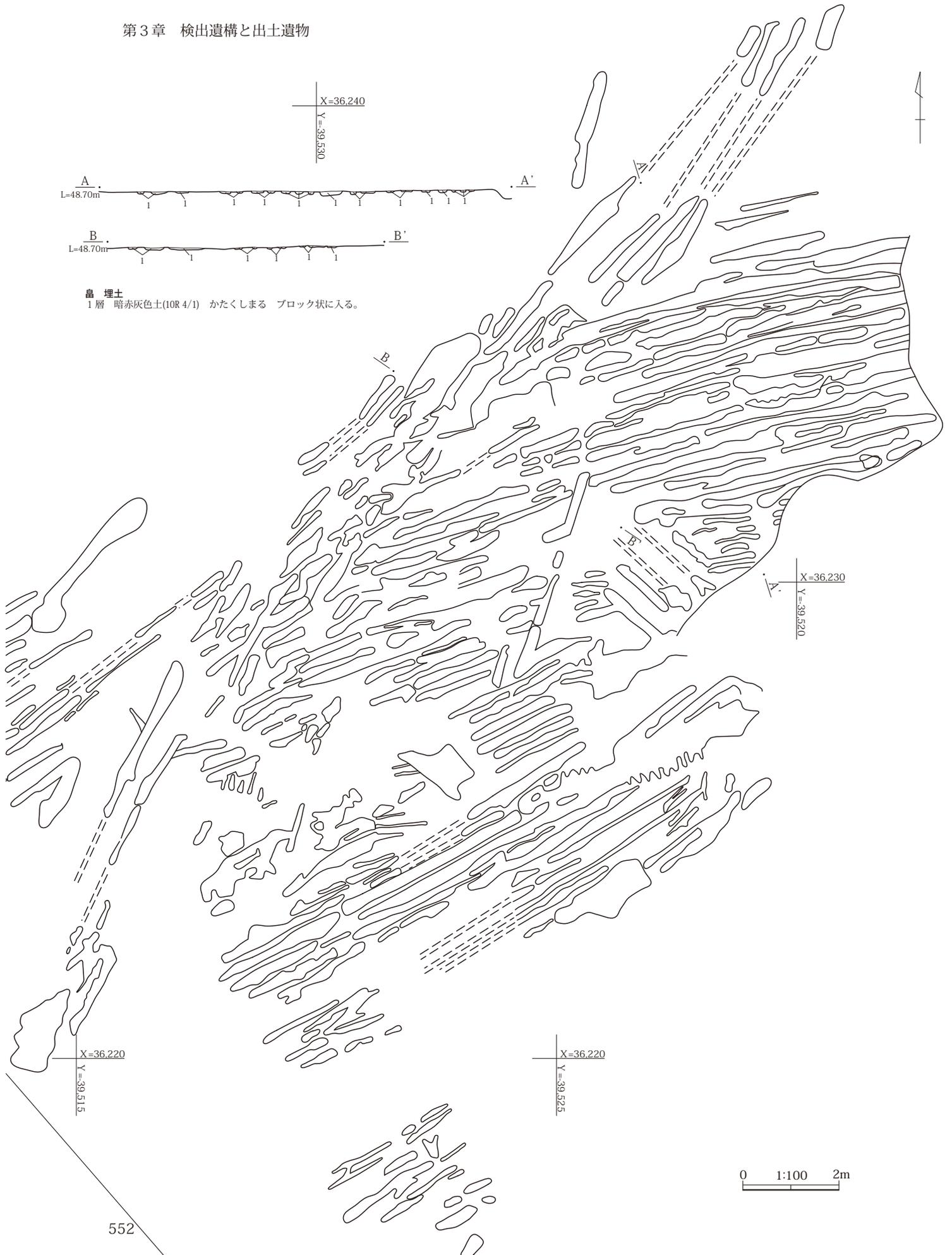
6区畠跡（旧称＝6区1号・2号耕作痕）

調査区中央南西～北西寄りで検出され、幅は40～80cm、深さは3～10cmほどを測り、その走向は、概ね北東南西方向と東西方向である。形状より南寄り（旧1号耕作痕）は畠跡と考えられ、その検出面が他の遺構確認面より高いため、中世以降の畠跡と判断される。北寄りの旧2号耕作痕については形状が異なるため、その用途は明らかではない。



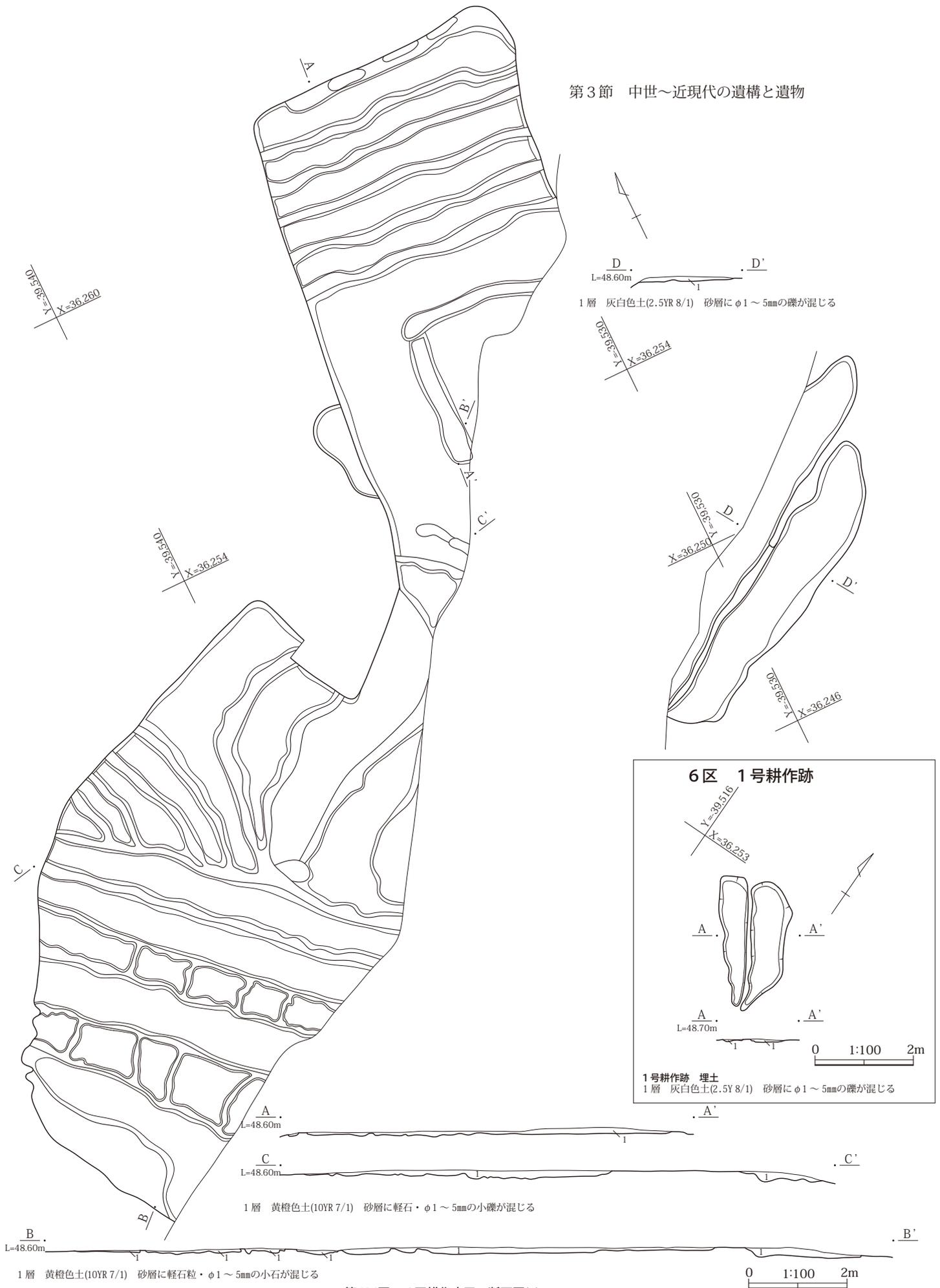
第684図 6区畠跡平・断面図(1)

第3章 検出遺構と出土遺物



畠 埋土  
1層 暗赤灰色土(10R 4/1) かたくしまる ブロック状に入る。

第3節 中世～近現代の遺構と遺物

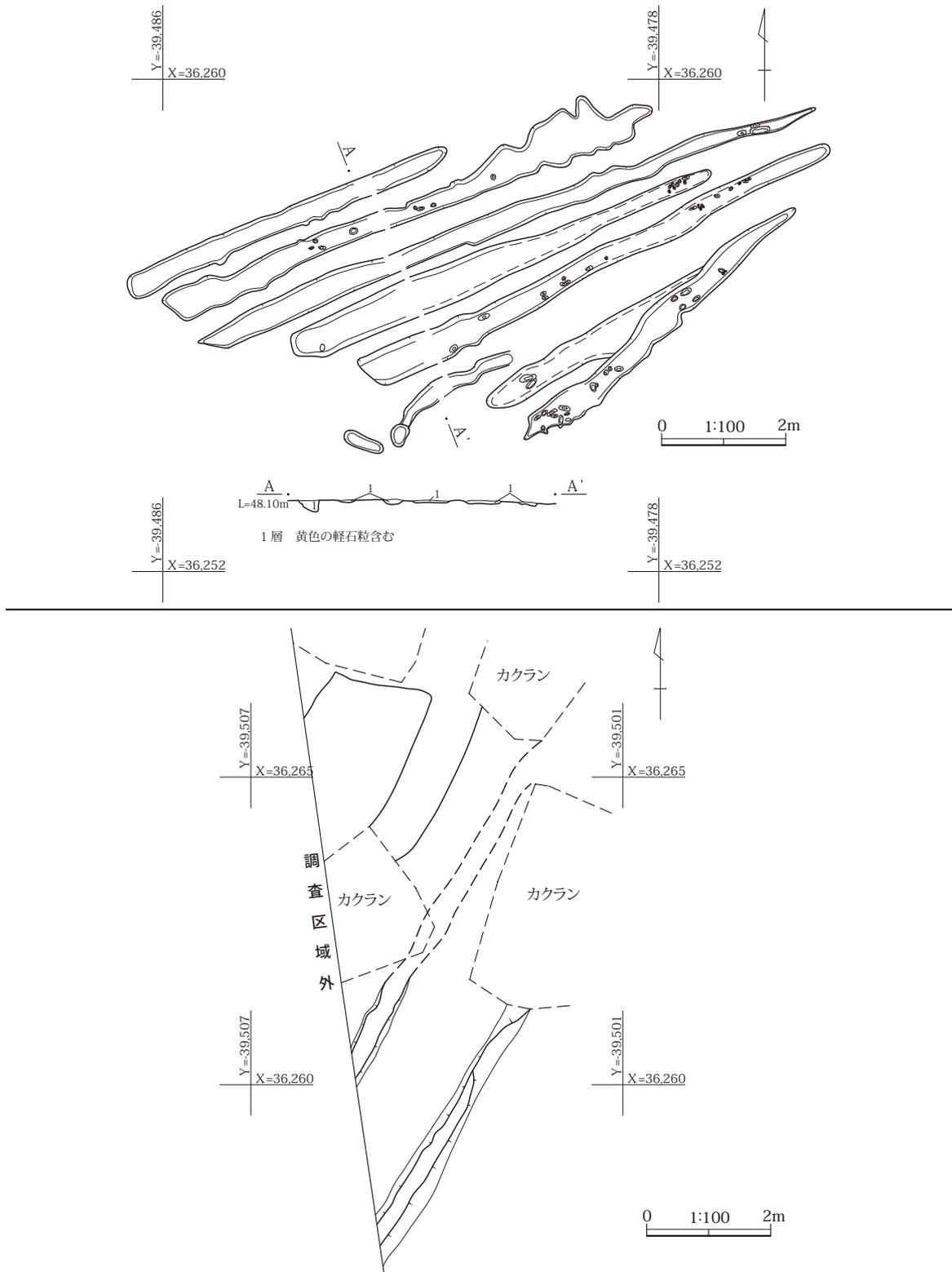


第686図 6区耕作痕平・断面図(1)

### 第3章 検出遺構と出土遺物

#### 7区畠跡（旧称＝7区畠・水田跡）

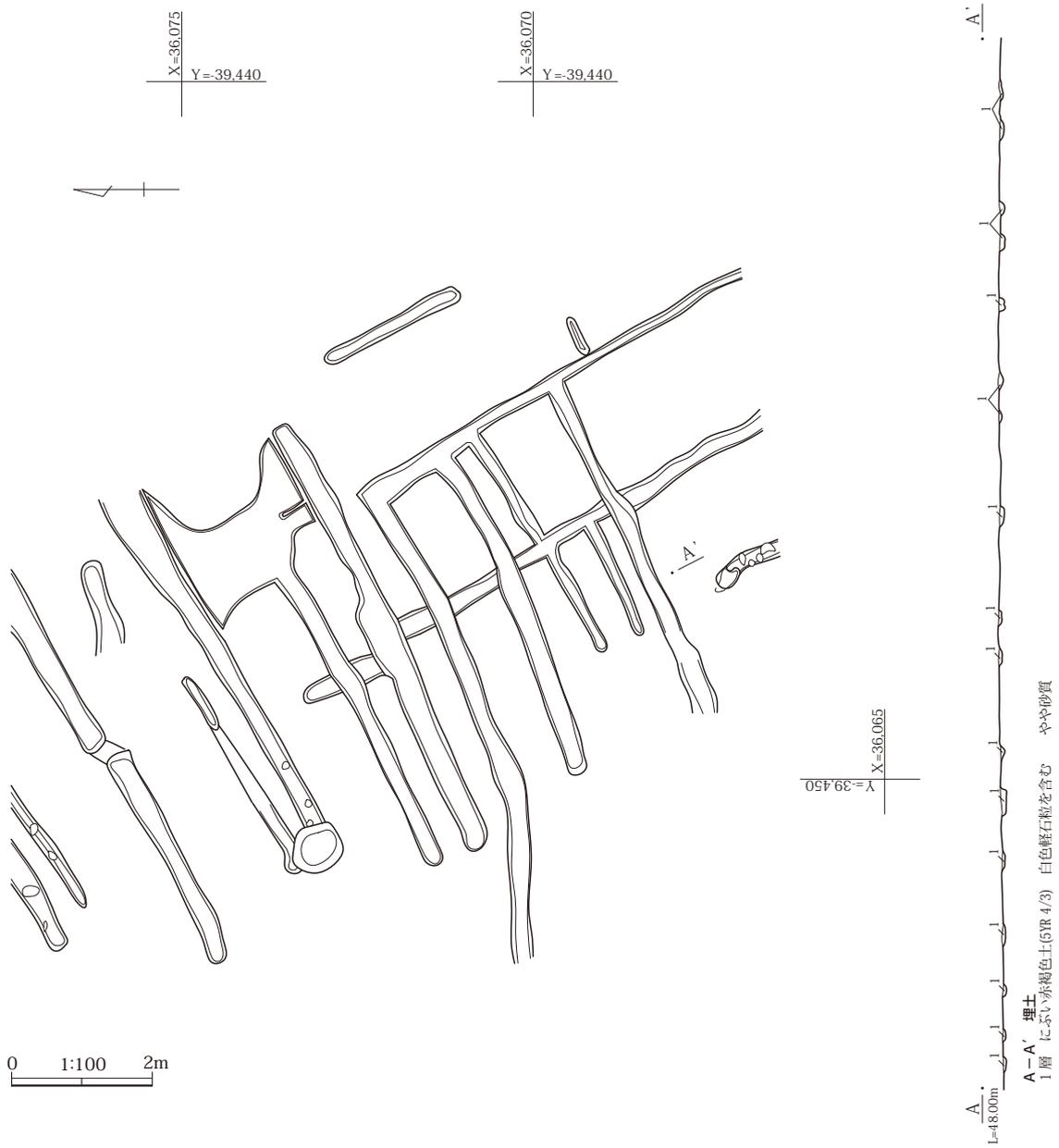
調査区中央部および北東端部で検出され、東山道駅路跡と重複する。その走向は、概ね北東南西方向である。形状より畠跡と考えられ、その検出面が他の遺構確認面より高いため、中世以降の耕作と判断される。又、旧称水田跡については、畔状の高まりを検出するが、攪乱が多く水田跡と断定できない。いずれにしても時期的には中世以降の耕作となる。



第687図 7区畠跡平・断面図

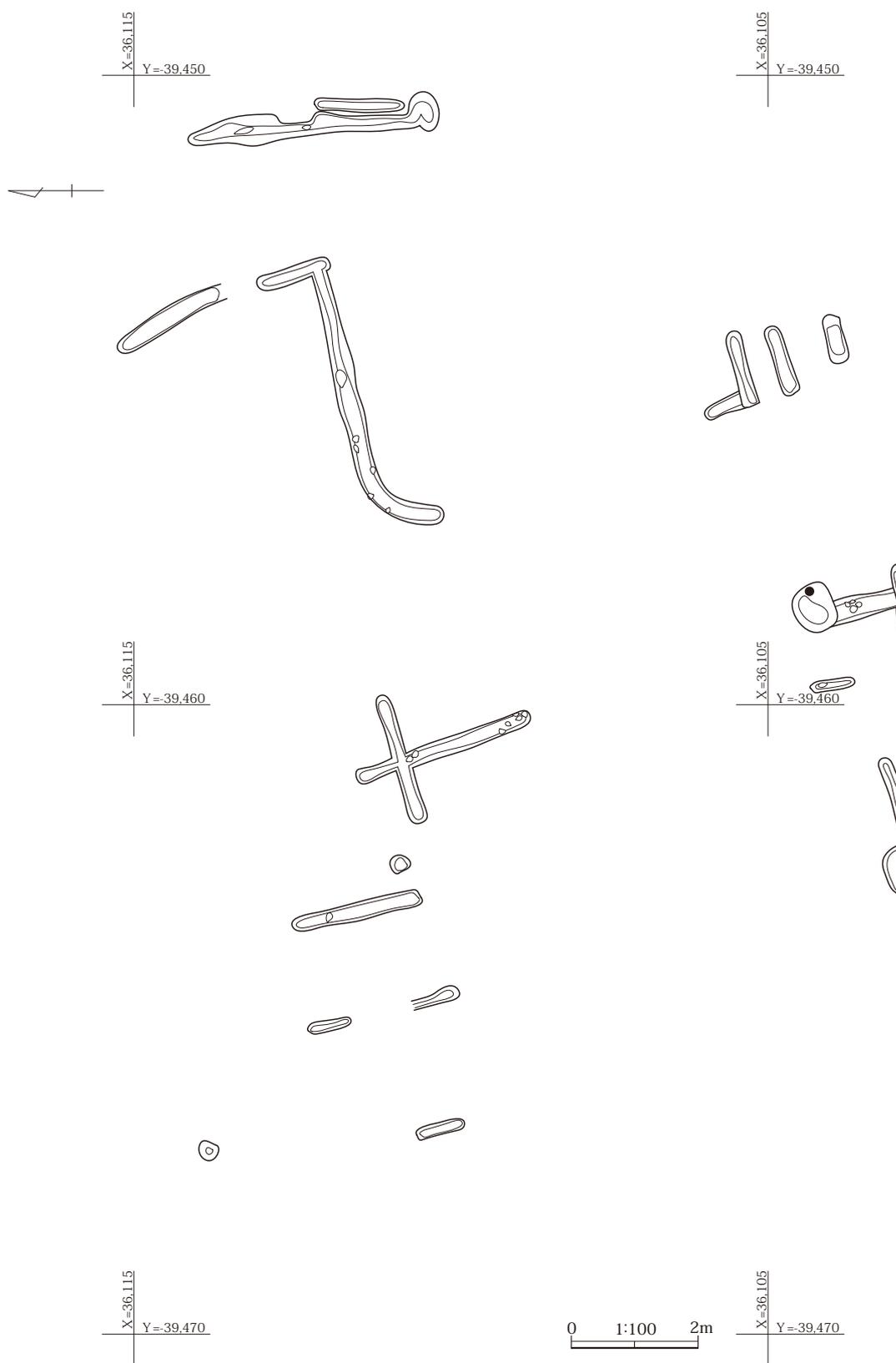
8区畠 (旧1号耕作痕・2号耕作痕)

調査区中央南寄りから東側にかけて検出され、その走向は、概ね北東南西方向である。形状より畠跡と考えられ、その検出面が他の遺構確認面より高いため、中世以降の畠跡と判断される。なお、東端部の畠跡は、隣接する東今泉鹿島遺跡へと続く。

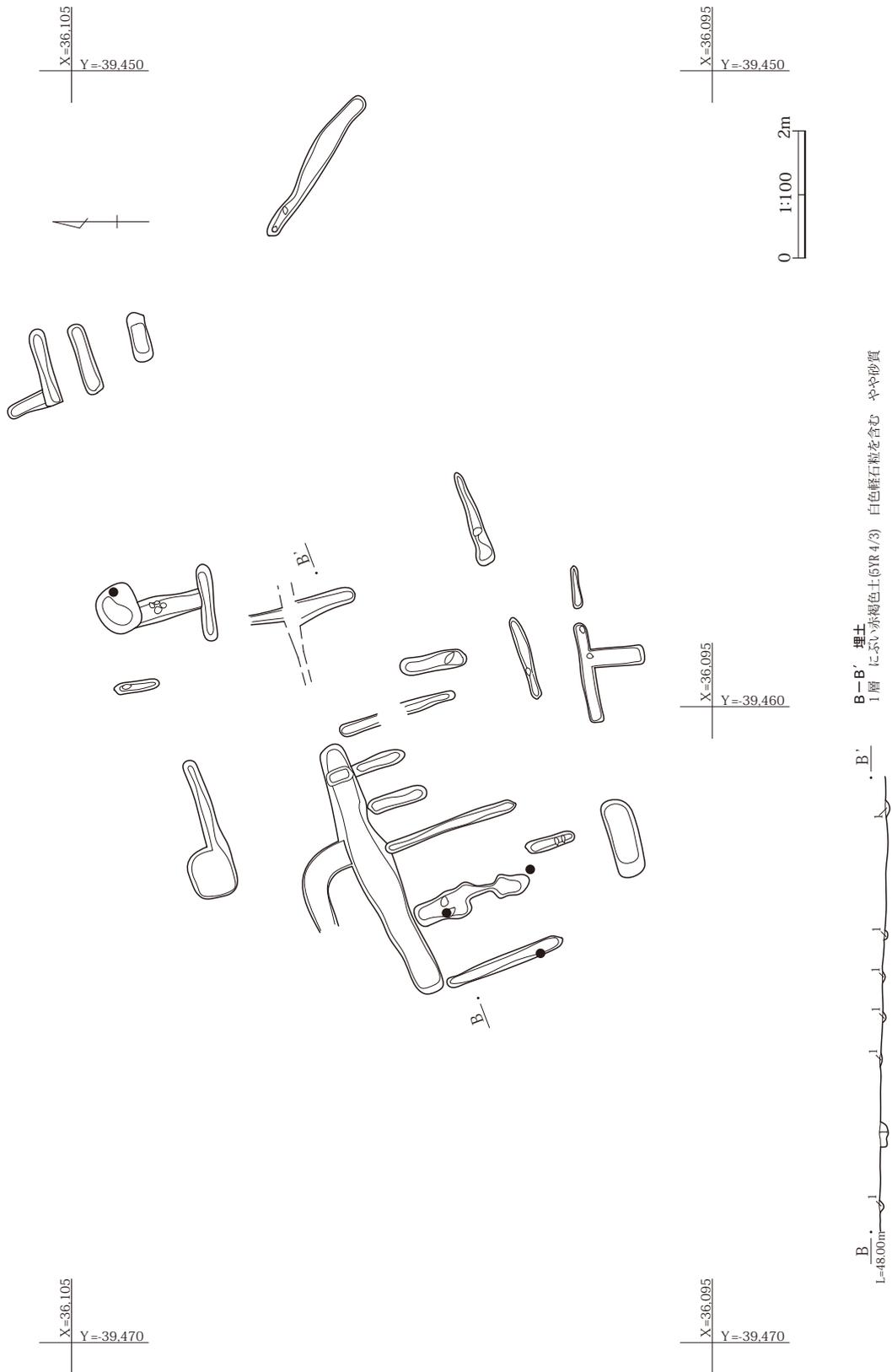


第688図 8区畠跡平・断面図(1)

第3章 検出遺構と出土遺物



第689図 8区畠跡平面図(2)

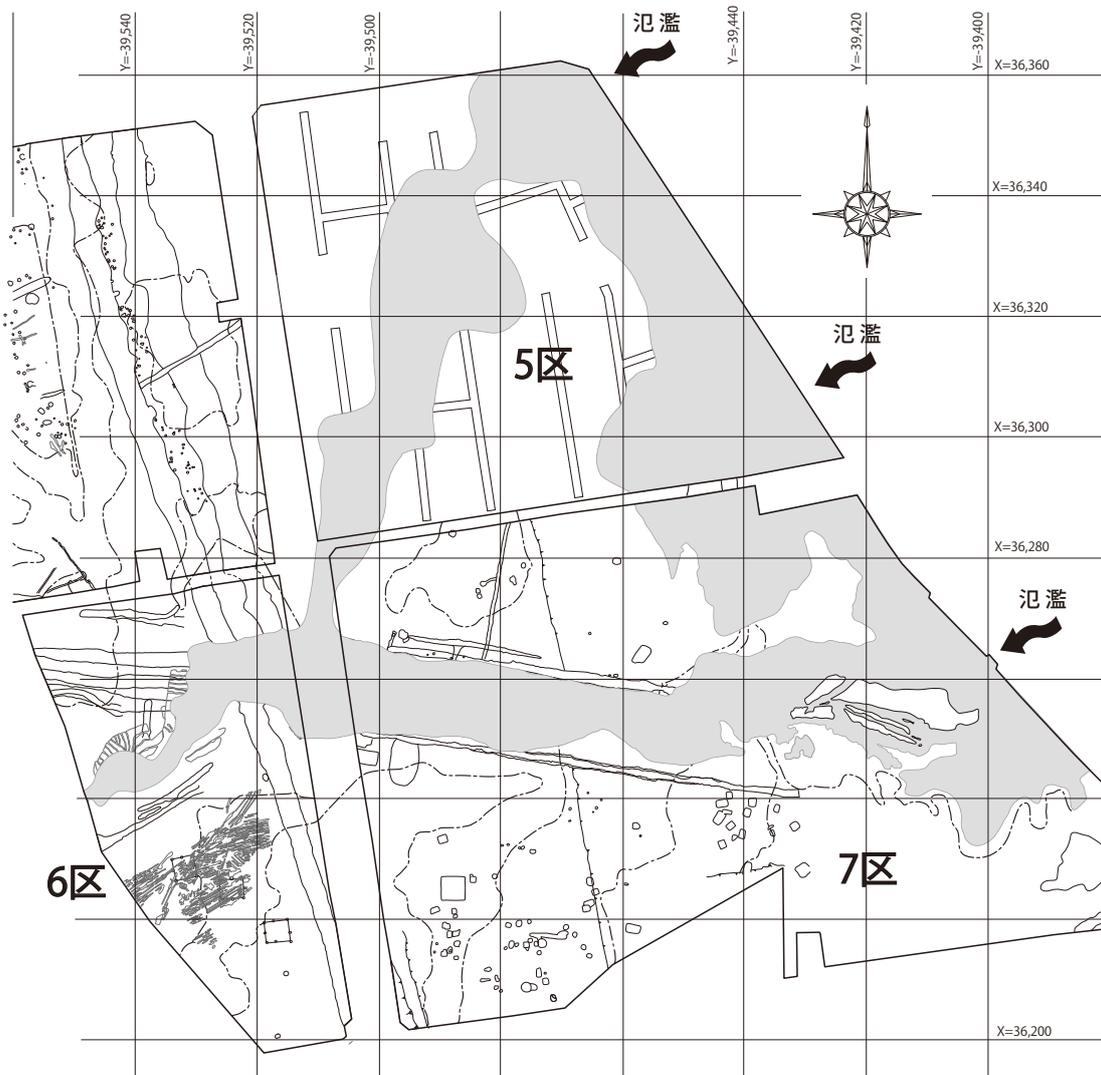


第690図 8区島跡平・断面図(3)

第2項 氾濫跡(旧大溝跡)および遺構外出土遺物(中世～)

7区東端部から6区西端部にかけて、ほぼ東西方向の帯状に検出された水流の痕跡は、調査時に大溝跡として調査された。その幅員や深度は検出個所により大きく異なり、特に7区東端部と6区西端部において、水流による底面の抉れ(ポッド)が認められた。また、隣接する5区のトレンチ調査結果においても、同様の水流によると考えられる落ち込みが検出されており、この水流痕は、5～7区の広範囲にかけて全体に不定形に蛇行し認められることから、溝跡のような人為的な遺構ではなく、河道若しくは大規模な河川の決潰による自然災害の痕跡と判断された。遺跡地は、渡良瀬川右岸1.7kmほどの所に位置し、調査区東側に接して矢場堰より取水の休泊堀用水も走る。流入方向と水量から察して、水害は渡良瀬川増水に起因するものと考えられるが、川よりの直接的な氾濫ではなく、恐らくは用水路経由の流入と推察される。渡良瀬川は上流域では急流、下流域では緩勾配のため増水時には高水位が長時間続く河川である。その洪水記録は寛永元年から昭和4年までの間に62回を数える。

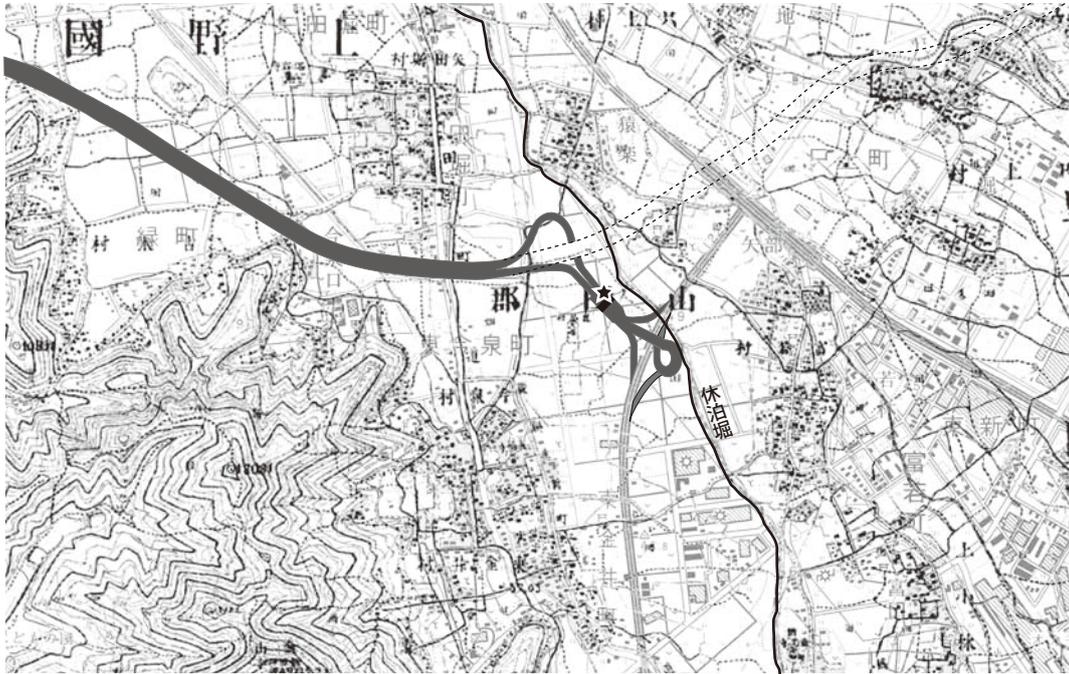
本遺跡に残された氾濫跡の時期については、最も新しい出土遺物としてカルピス瓶・各種薬瓶があり、中に「東京市」の文字も見える。東京府下15区からなる東京市の存続は1889(明治22)年より1943(昭和18)年までとされ、共伴のキンカン遮光瓶やイボコロリ遮光瓶などから、昭和20年代のものとして推定される。この時期の渡良瀬川水系の決潰・氾濫事例として、昭和22年9月のキャサリン(カスリン)台風・翌23年のアイオン台風・24年のキティー台風によ



氾濫跡平面図 S=1:1,250

第691図 氾濫跡平面図

る未曾有の水害が記録されている。中でもキャサリン台風時には、葉鹿橋より上流側 600m で堤防を越流し、床下浸水などの被害をもたらした当時の水害の様子は、地元住民の記憶にも残る。5～7区検出の氾濫跡もこの水害によるものと判断される。



第 692 図 氾濫跡と休泊堀位置関係図 (陸軍迅速測量図・国土地理院地形図合成) ★印が氾濫跡

また、6区の氾濫跡西側調査区端部および7区東側より出土の五輪塔を中心とする夥しい数の石造物は、五輪塔空風輪 96 個体 (6区 57 個 + 7区 39 個)、同火輪 81 個体 (6区 54 個 + 7区 27 個)、水輪 89 個体 (6区 53 個 + 7区 36 個)、地輪 49 個体 (6区 21 個 + 7区 28 個) を数え、他に宝篋印塔等も含まれる。これら石造物の造立年代については紀年銘の残るものが無く、その形態から察するに近世のものが大半と考えられるが、なかに板碑や馬見岡凝灰岩製の成整形も端正な五輪塔・同凝灰岩製の名号角塔婆が含まれるなど、中世色の強い石造物も客体的に見られる。いずれも水流によるローリングの痕跡は見当たらず、氾濫が治まった後に投げ入れられた状態での検出と判断される。



6区西端部氾濫跡 石造物出土状態 北より

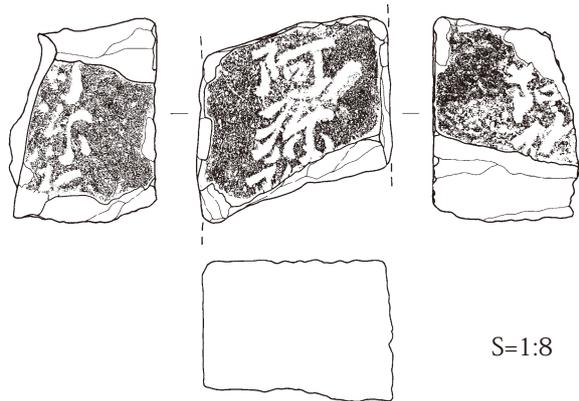
出土石造物中、前記の河川氾濫跡の7区東端部より出土した凝灰岩製角塔婆は、4 側面に「南無阿彌陀佛」の文字を刻んだ名号角塔婆と呼ばれるもので、群馬県東部の旧山田郡内の一部にのみ分布がみられる独特な石造物である。石材として、みどり市笠懸町西鹿田天神山で産出する白色の馬

見岡凝灰岩を使用し、方柱状の頂部を方錐状に成形し、板碑の二条線同様の切込みを四側面に施す。碑面には南無阿彌陀佛の文字 (=名号) と、その上部に天蓋、下部には蓮座を配し、上部に阿彌陀三尊種子を刻むものもみられる。その存在は古くより知られ、岩沢正作・八木昌平・金子規矩雄・天利秀雄らによって調査・研究がなされ、その成果は『山田郡誌』・『太田市史』・『群馬県史』などに掲載されている。(『山田郡誌』では「方形塔」と称する。)

### 第3章 検出遺構と出土遺物

現在、太田市東部域・桐生市南部域・大間々町東部域において35基の存在が確認されており、当遺跡出土遺物が36番目となる。紀年銘が判読出来るものの中で最も古くは、遺跡地より北900mほどの諏訪神社・土師神社の東側にある、通称「矢田堀勘兵衛屋敷」の正応二年(1289年)銘のもので、現在は磨滅のために判読が難しいが、昭和13年の調査時には「為藤原朝臣淡路十郎信光女子也 正応二年大才己□四月」と判読された。同所には、この正応銘の他に「正和五年(1316年)」銘を含む4基の名号角塔婆が並列し(太田市指定重要文化財)、その立地は戦国期の矢田堀城北端の土塁南裾部にあたる。正和銘の角塔婆については、昭和13年当時においても判読ができなかったものの、元文三年(1738年)に記された「(新田金山)菅ノ沢石棺御尋聞書」の中に、前記の正応(正慶と誤読)銘の塔と共に「為沙彌明海靈出離生也 正和五年三月廿八日」銘の「四面石」五石が当地に存在していたことが記されていたため明らかとなった。残り3基については元文当時でも判読できなかったらしく、「南無阿弥陀佛と蓮花計」と記されている。また、この勘兵衛屋敷名号角塔婆の他にも当遺跡周辺には、富若町所在の「永仁五季(1297年)大歳丁酉初春廿五日」銘をもつ富若の名号角塔婆(太田市指定重要文化財)、東今泉町大日塚上、東今泉町曹源寺境内、上小林町富晴家地内、只上町石川家地内、東金井町永福寺境内、矢田堀瑞巖寺境内などにその存在が確認され、当遺跡周辺に名号角塔婆の多くが分布していることがうかがえる。

この旧山田郡内の限られた地域にのみ名号角塔婆が分布する要因として、この地が久寿三(1156)年に成立した「菌田(園田)御厨」の領域であったためと解される。この地を治めた菌田(園田)一門は、藤原秀郷流の藤姓足利氏より分かれた桐生・佐野・大胡などと同族関係にある。一族の菌田御厨司成家は、正治二(1200)年に法然に帰依し、法名を智明と称した。その後、元久二(1206)年には桐生川内小倉山に庵を設け、宝治二(1248)年に没するまでの間、浄土信仰の流布に務めたとされる。この智明房の存在が一族にも浄土信仰を根付かせ、名号角塔婆の造立に至ったものと考えられている。また、菌田一族と名号角塔婆の関係を示唆するものとして、前記の勘兵衛屋敷所在の角塔婆に記された銘の中の「藤原朝臣淡路・・・」とあり、藤姓菌田一族にも「園田淡路入道跡」



鹿島浦遺跡7区汜濫跡出土 名号角塔婆

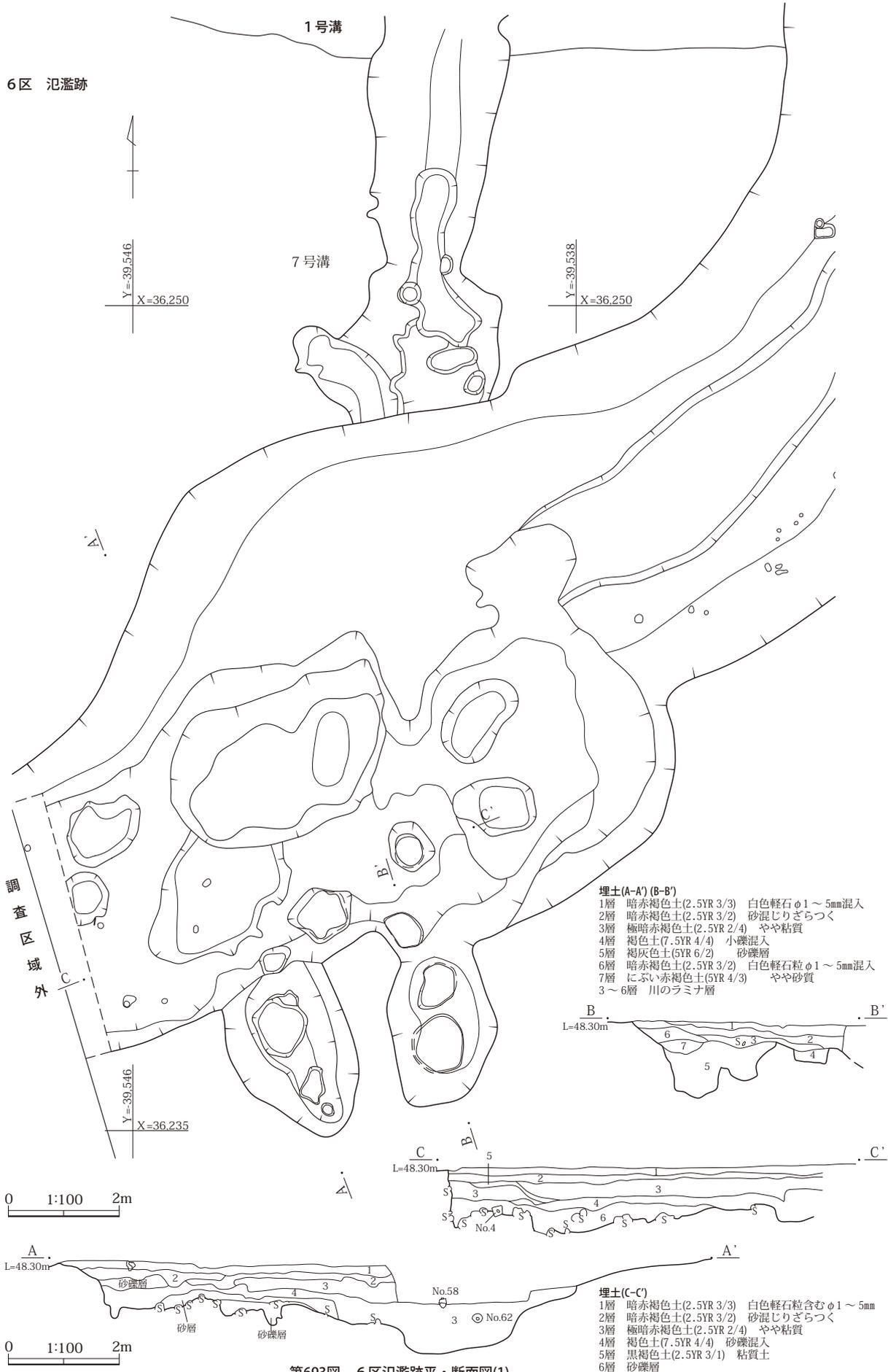


矢田堀勘兵衛屋敷 名号角塔婆

(写真 太田市教育委員会)

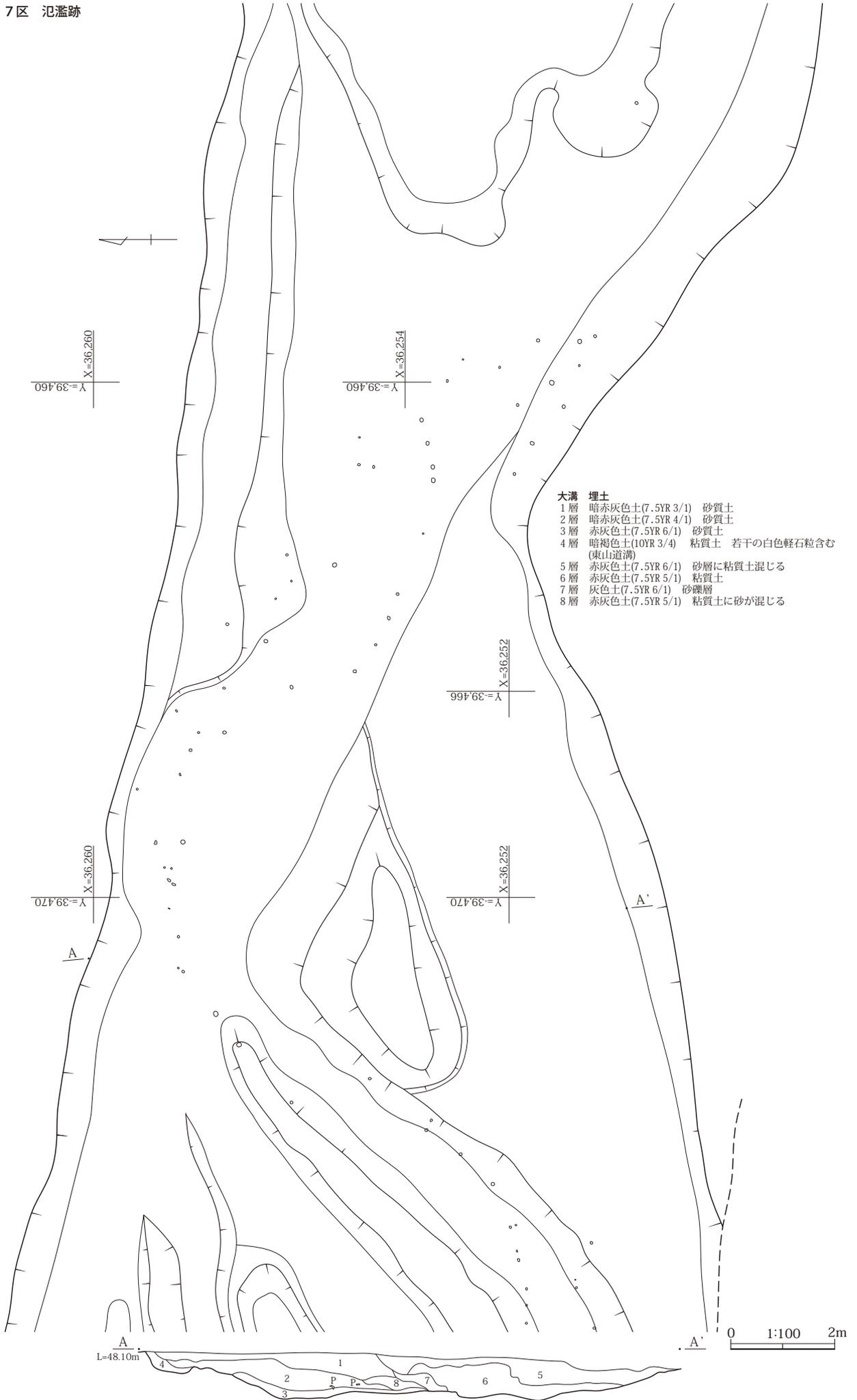
や「淡路守俊基」など淡路を名乗る者が存在することや、新田義貞と共に鎌倉攻めに加わり、新田十六騎に数えられる菌田秀澄ゆかりの桐生市東禅寺にも「建武五(1338)年六月三日」銘の名号角塔婆が存在することなどからも、菌田一族により、その領地内に名号角塔婆が造立されたものと考えられる。

6区 氾濫跡



第693図 6区氾濫跡平・断面図(1)

7区 氾濫跡



第694図 7区氾濫跡平・断面図(1)



第695图 6区氾滥迹(2)



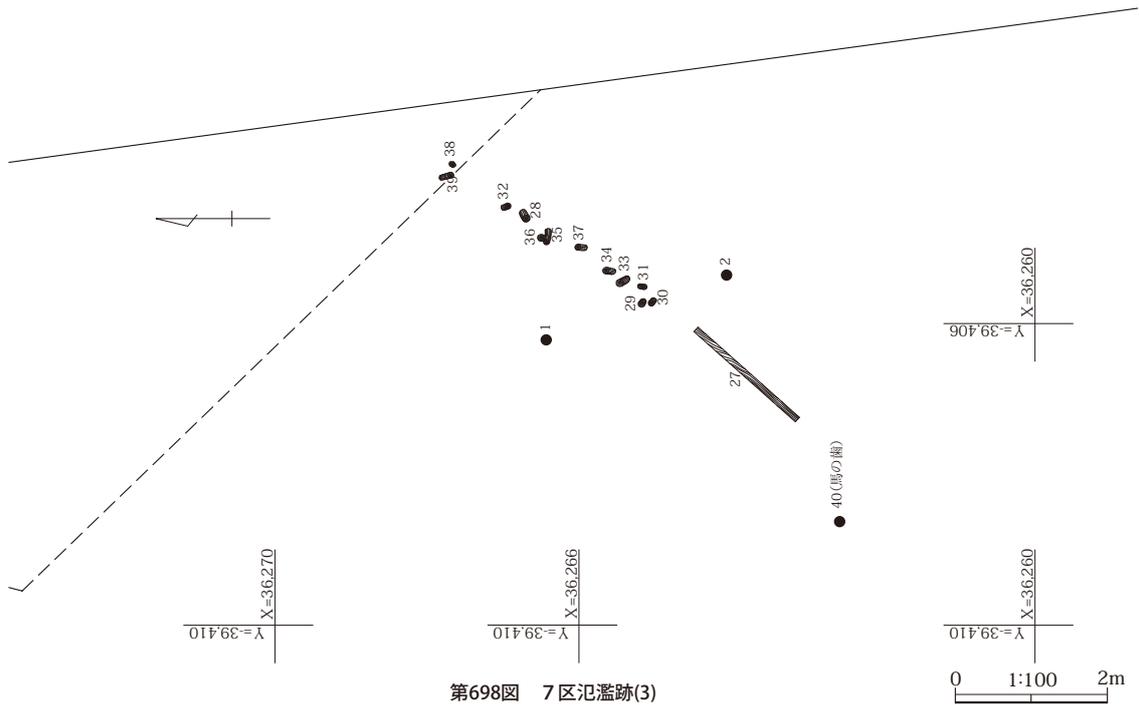
第696图 6区沱濫跡(3)

7区 氾濫跡



第697図 7区氾濫跡(2)

7区 氾濫跡

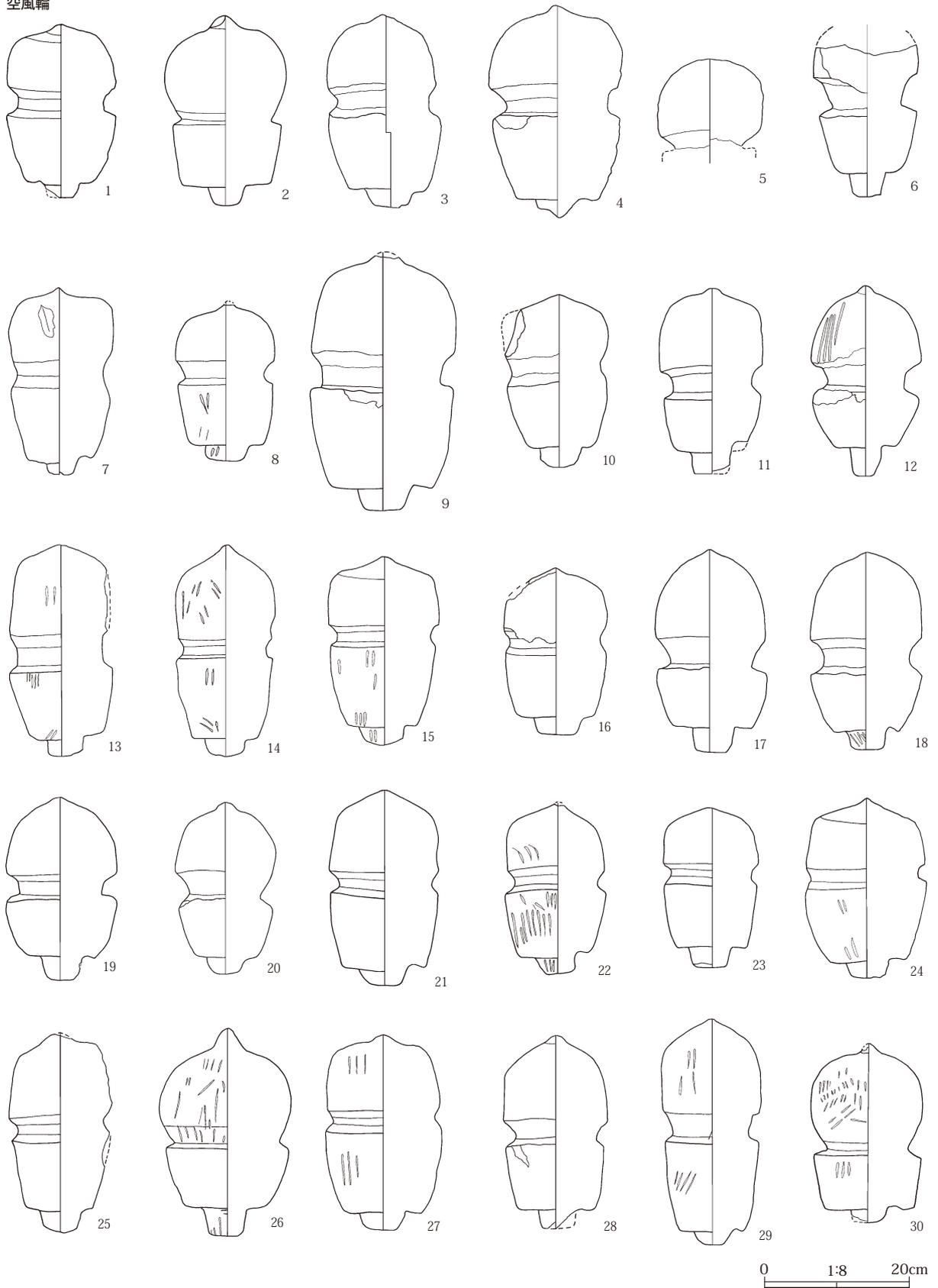


第698図 7区氾濫跡(3)

7区東端部の氾濫跡縁辺で検出された木杭列や横木、木杭と横木を組み合わせた施設は、いずれも護岸のための施設と考えられる。横木と木杭の組み合わせを見ると、南(水流痕)側に杭を打設し、北(岸)側に横木を添わせている。これは、岸側の法面崩壊を防ぐための土留め跡で、高さが低いことから、これにより直接土留めを行ったものではなく、土嚢積み下底部のズレ防止ではないかと考えられる。

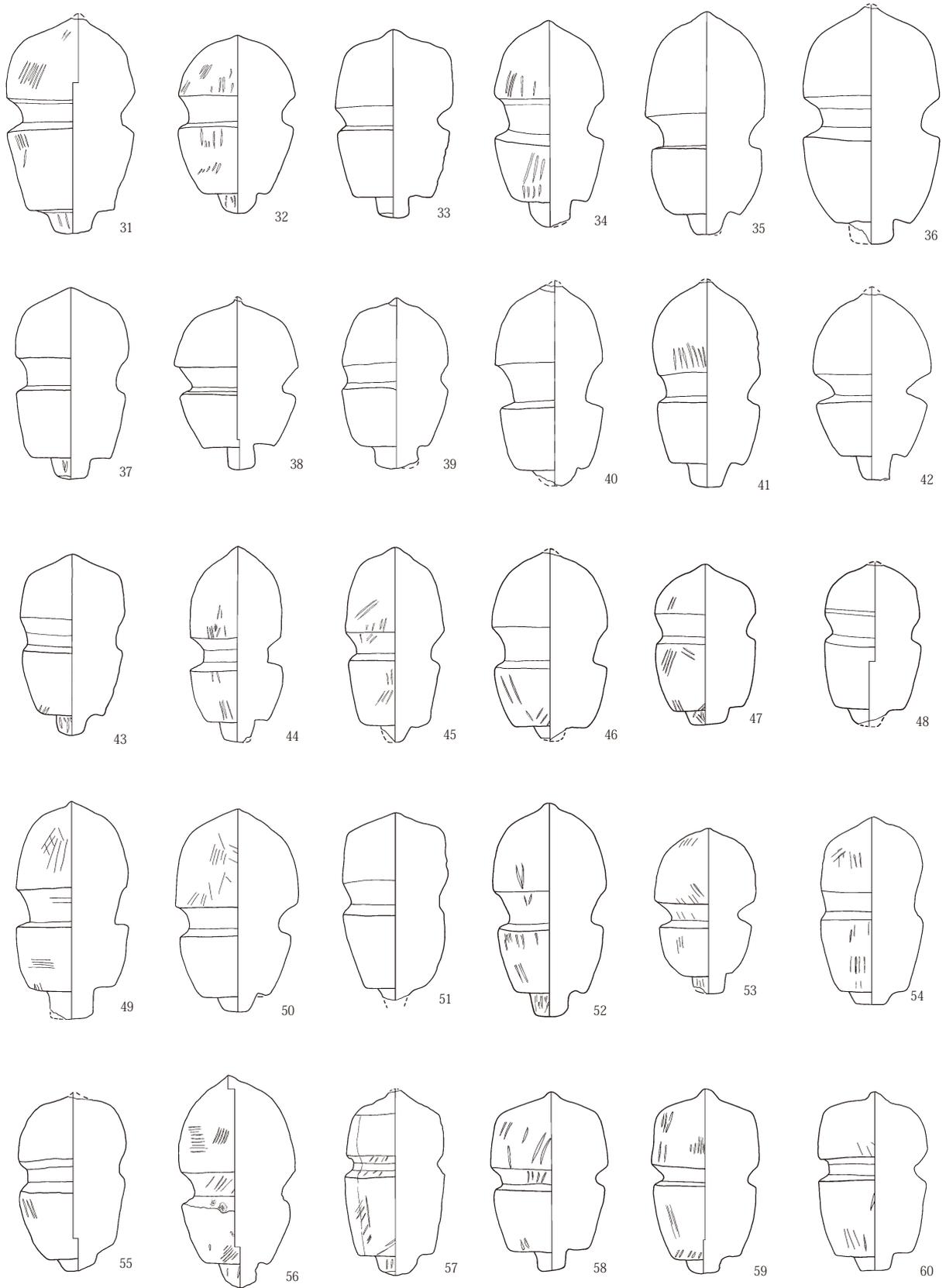


空風輪

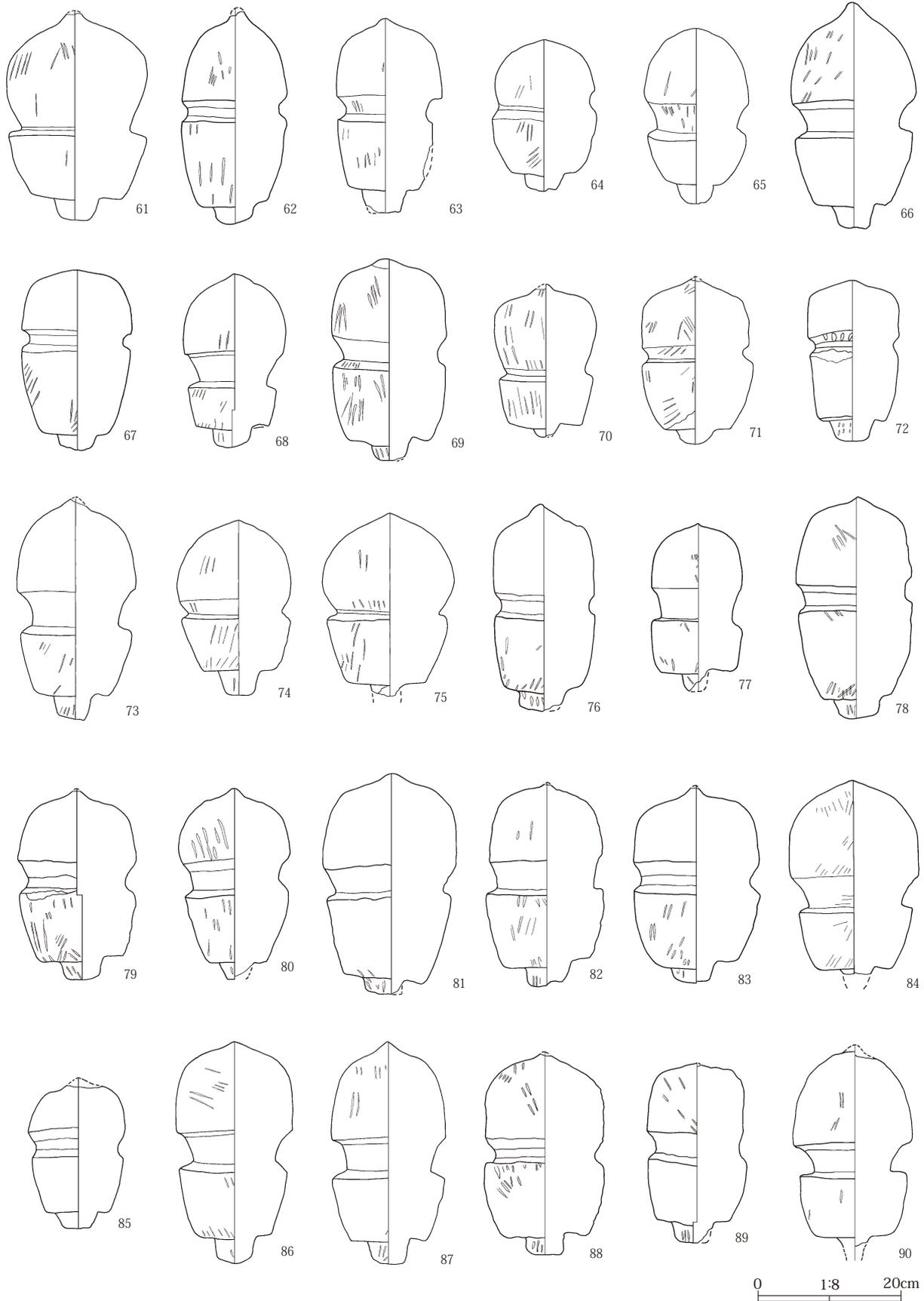


第699図 氾濫跡および遺構外出土遺物(中世以降)(1)

第3章 検出遺構と出土遺物

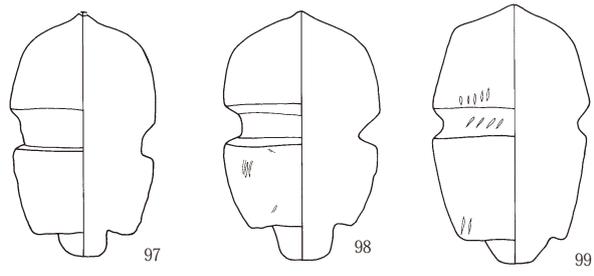
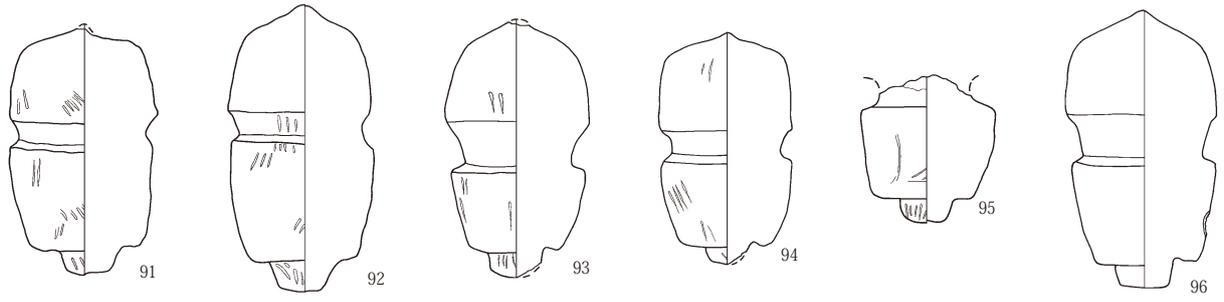


第700図 氾濫跡および遺構外出土遺物(中世以降)(2)

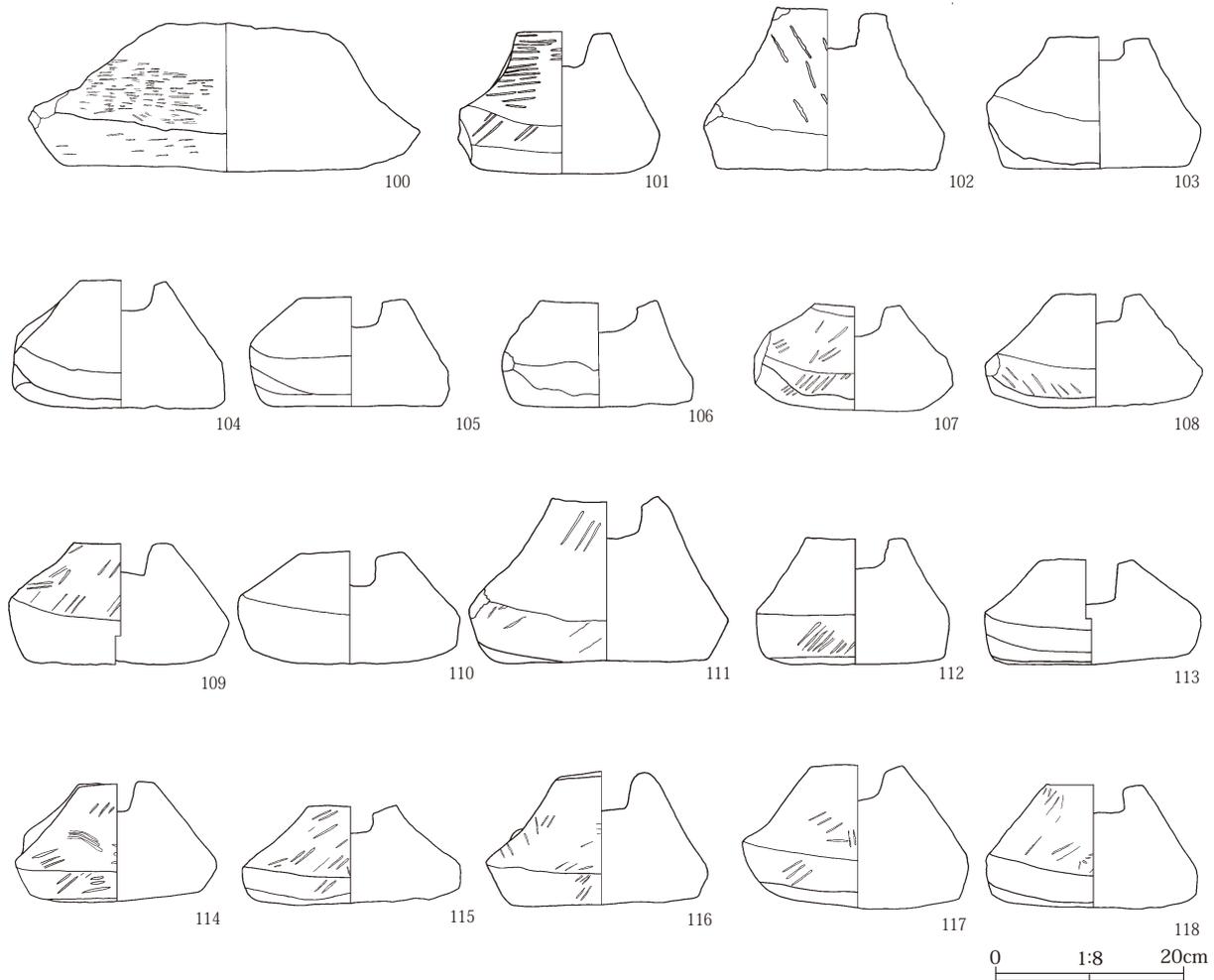


第701図 氾濫跡および遺構外出土遺物(中世以降)(3)

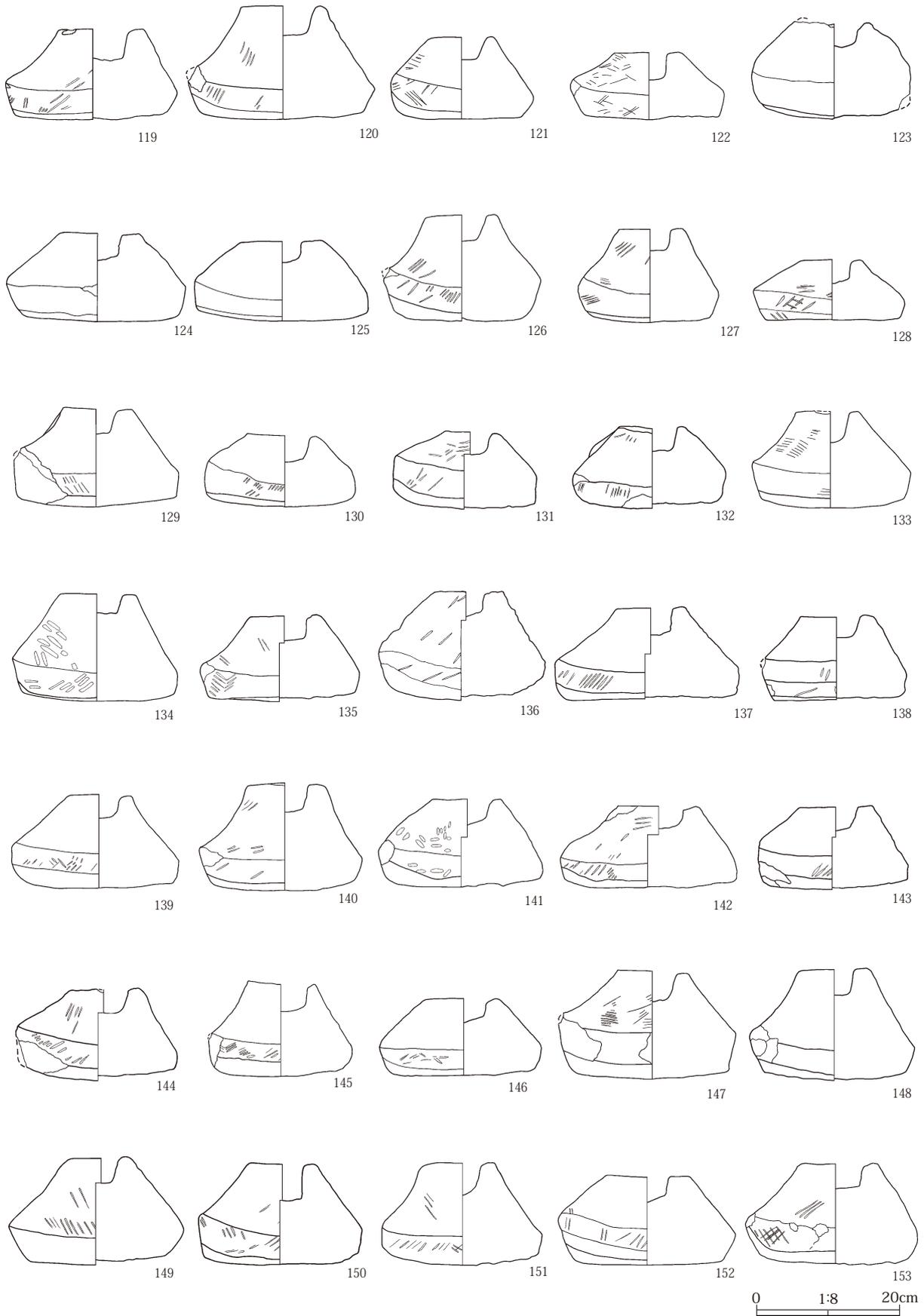
第3章 検出遺構と出土遺物



火輪

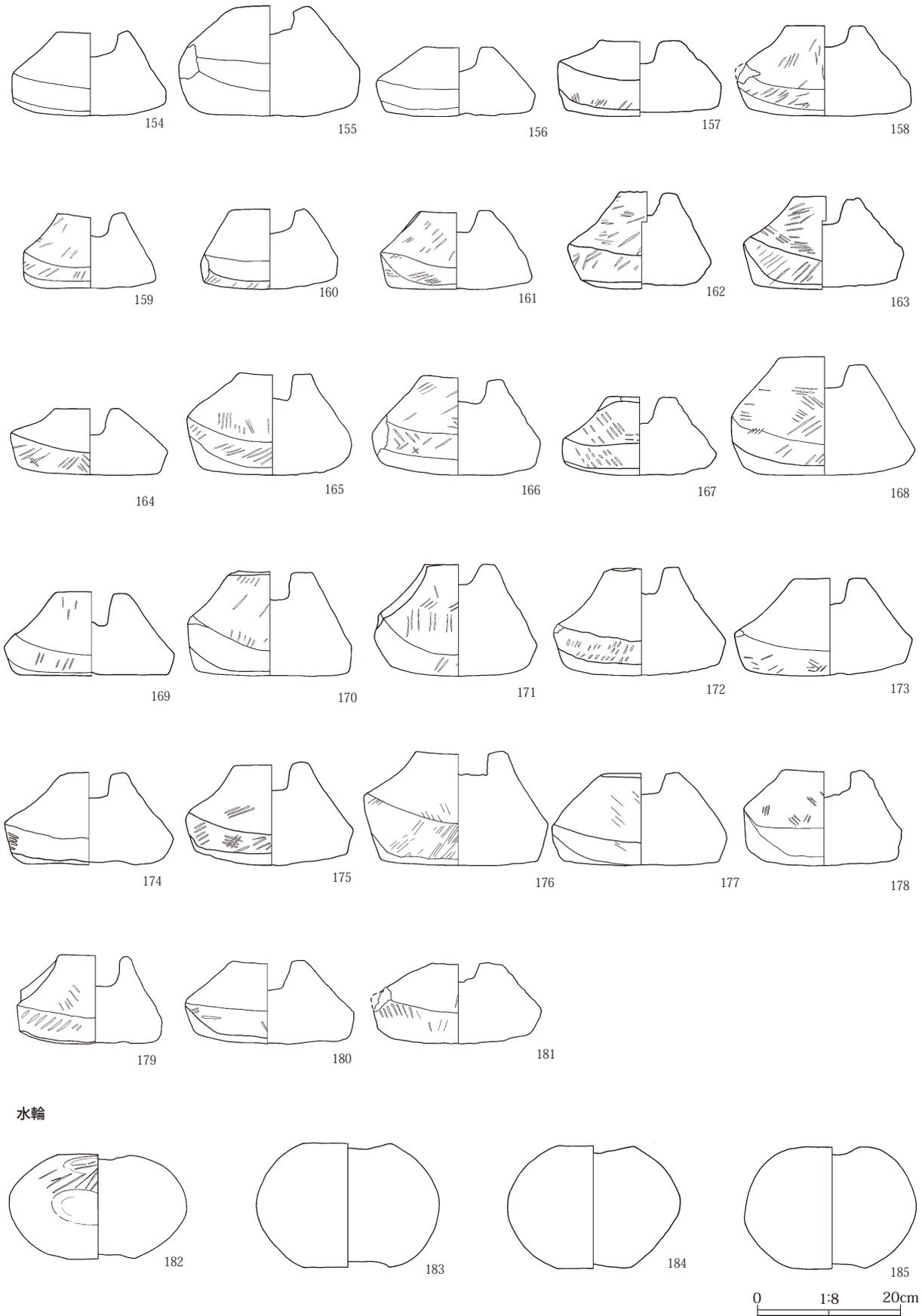


第702図 氾濫跡および遺構外出土遺物(中世以降)(4)



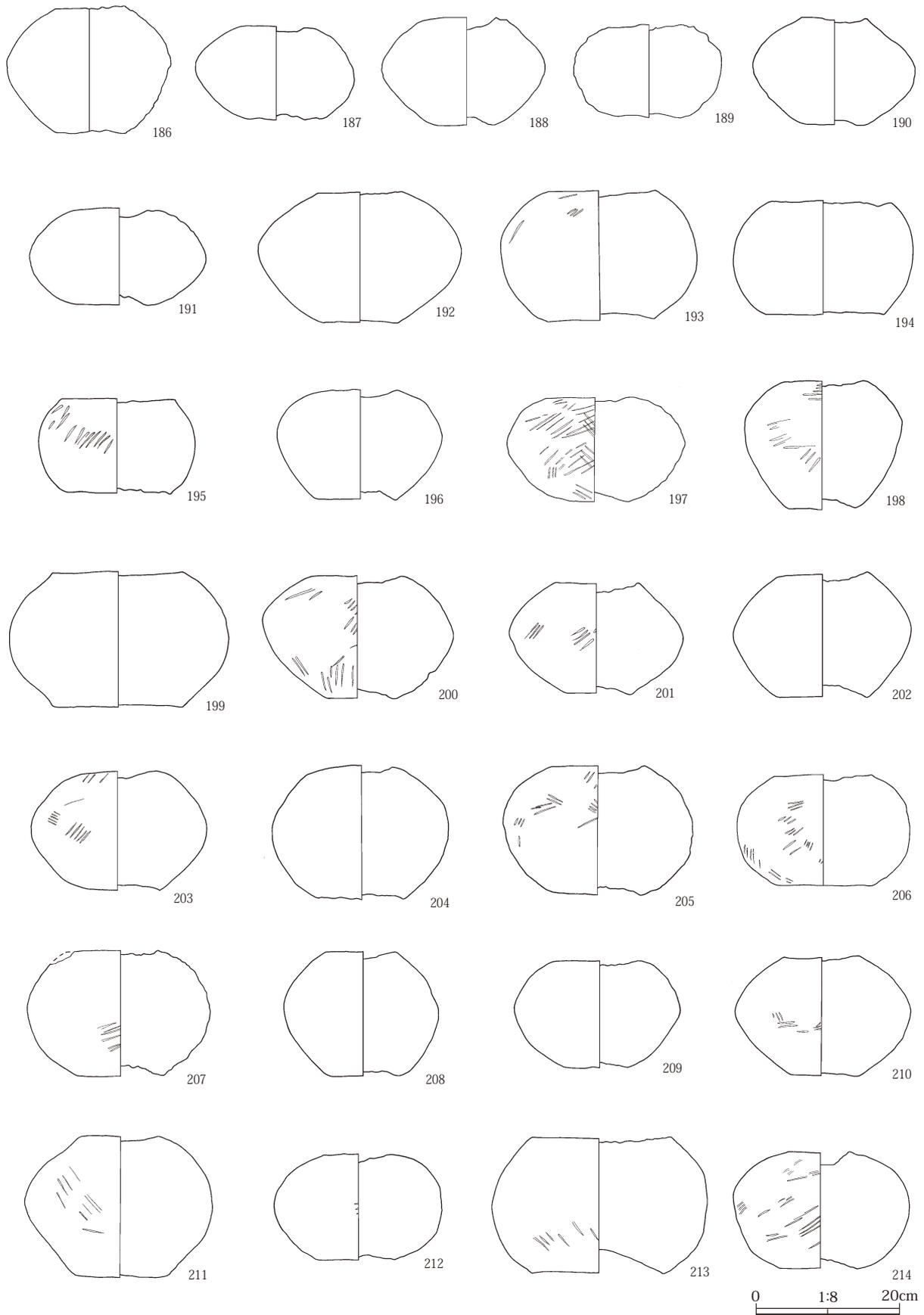
第703図 氾濫跡および遺構外出土遺物(中世以降)(5)

第3章 検出遺構と出土遺物



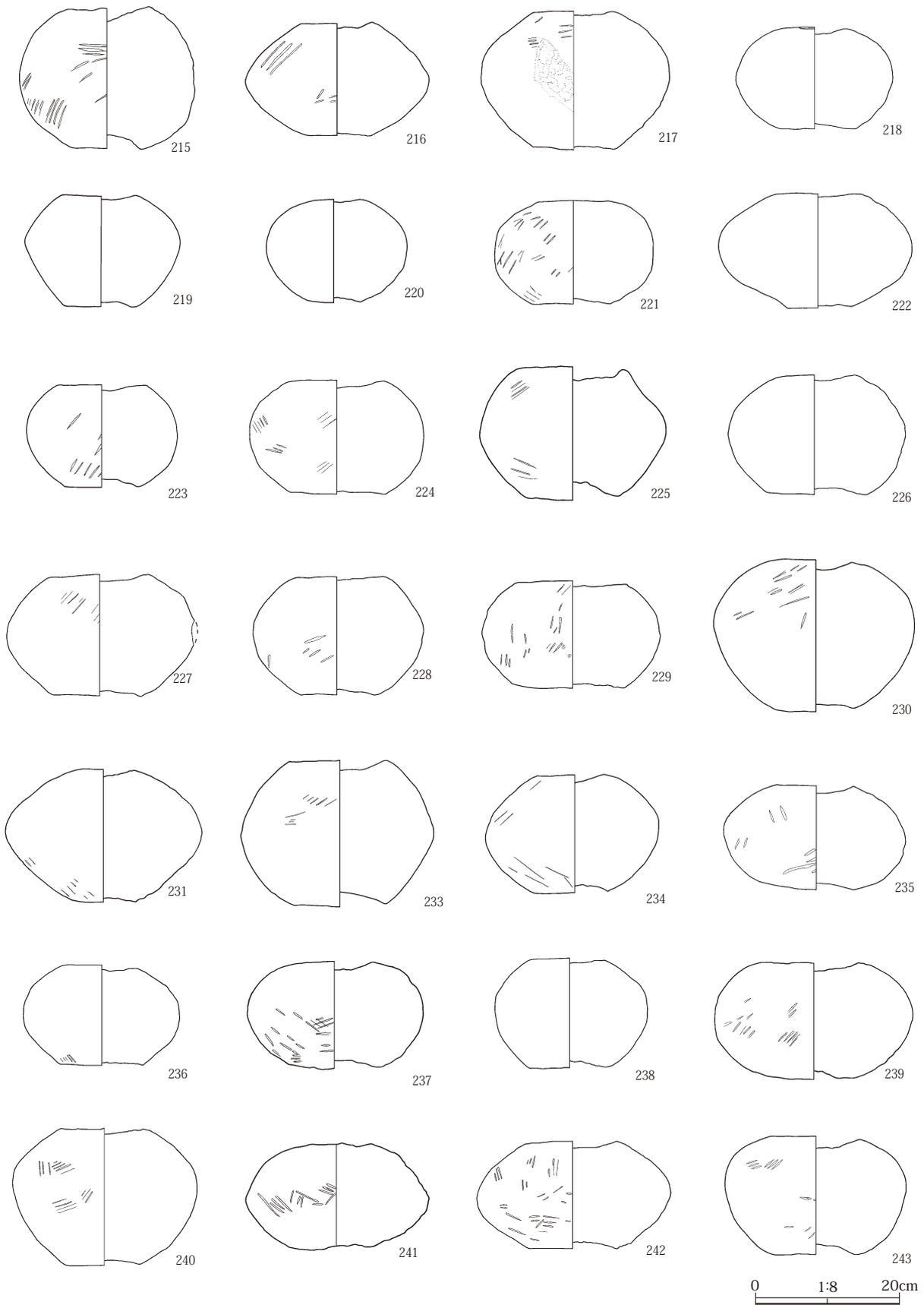
第704図 氾濫跡および遺構外出土遺物(中世以降)(6)

第3節 中世～近現代の遺構と遺物

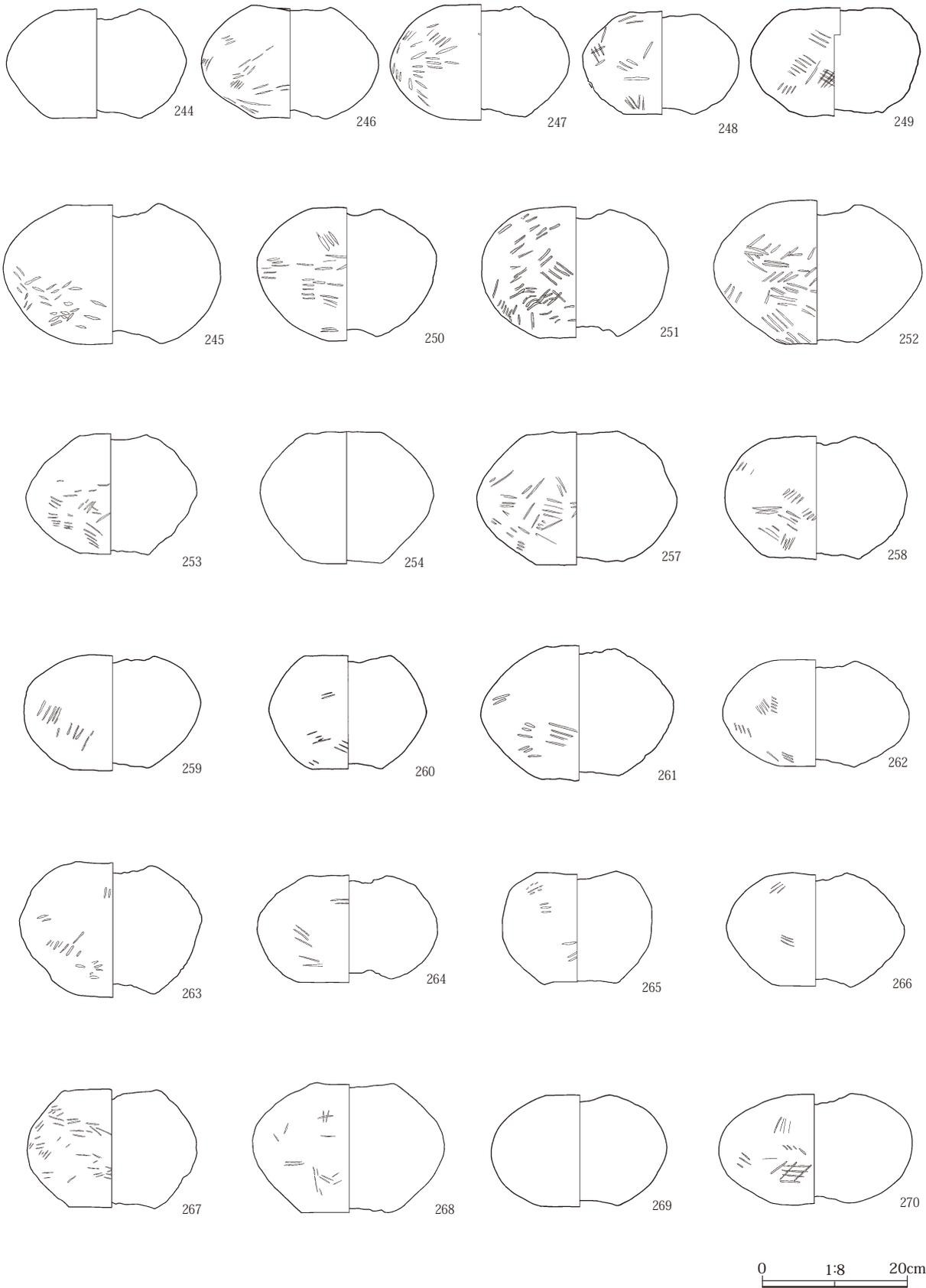


第705図 汜濫跡および遺構外出土遺物(中世以降)(7)

第3章 検出遺構と出土遺物

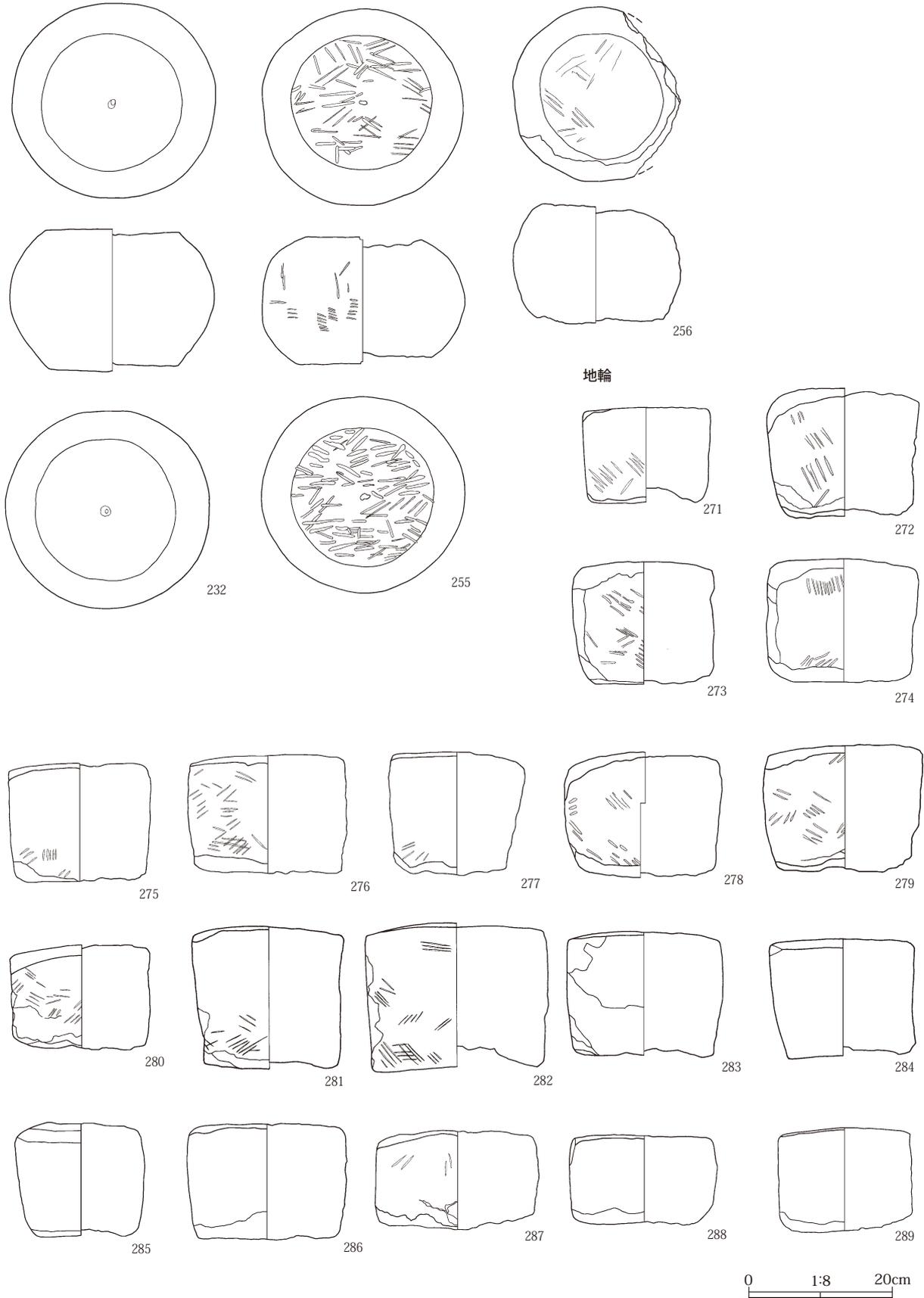


第706図 氾濫跡および遺構外出土遺物(中世以降)(8)



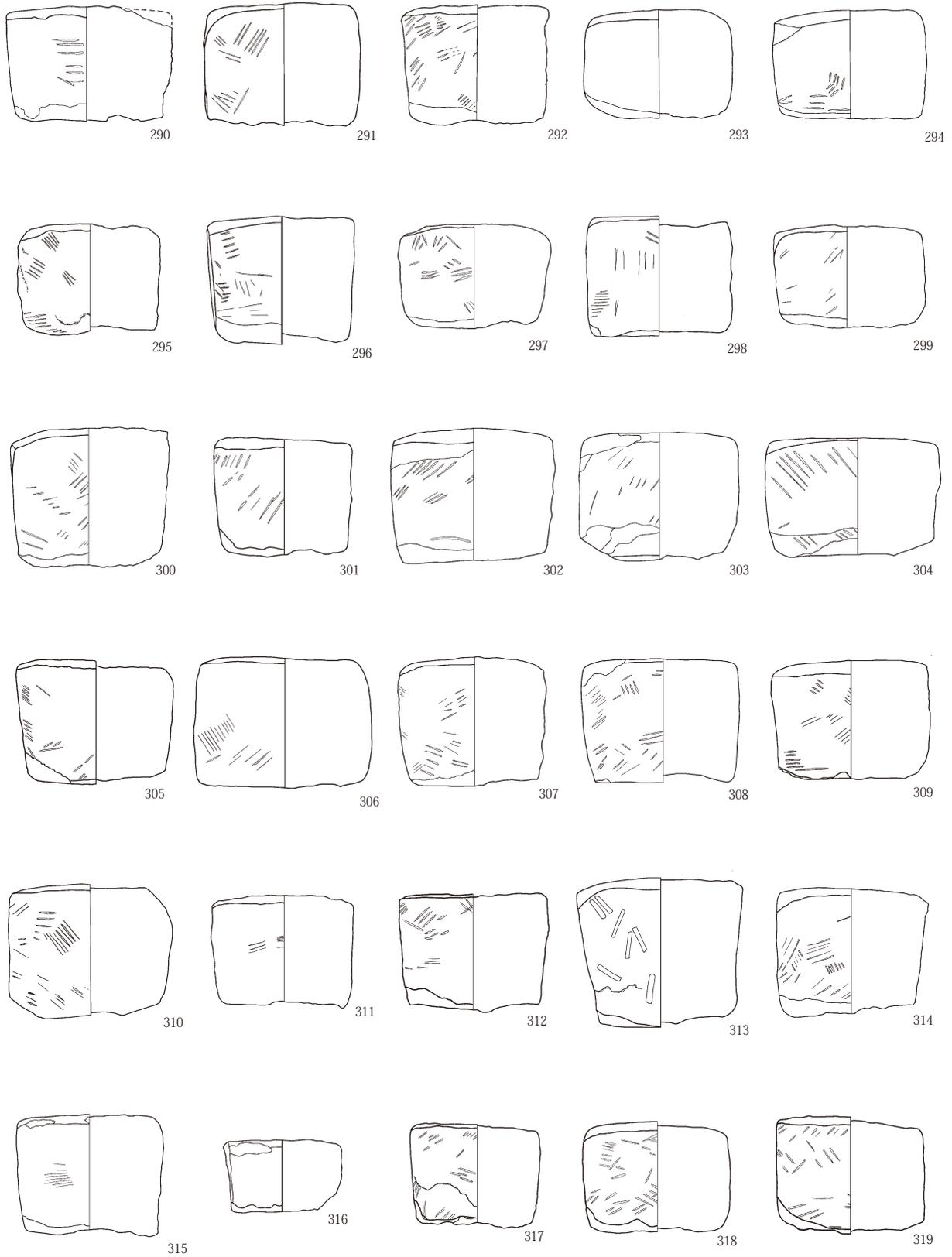
第707図 氾濫跡および遺構外出土遺物(中世以降)(9)

第3章 検出遺構と出土遺物



第708図 氾濫跡および遺構外出土遺物(中世以降)(10)

第3節 中世～近現代の遺構と遺物

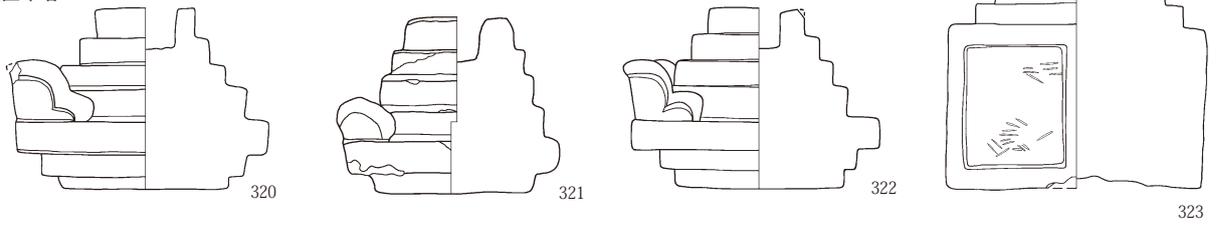


0 1:8 20cm

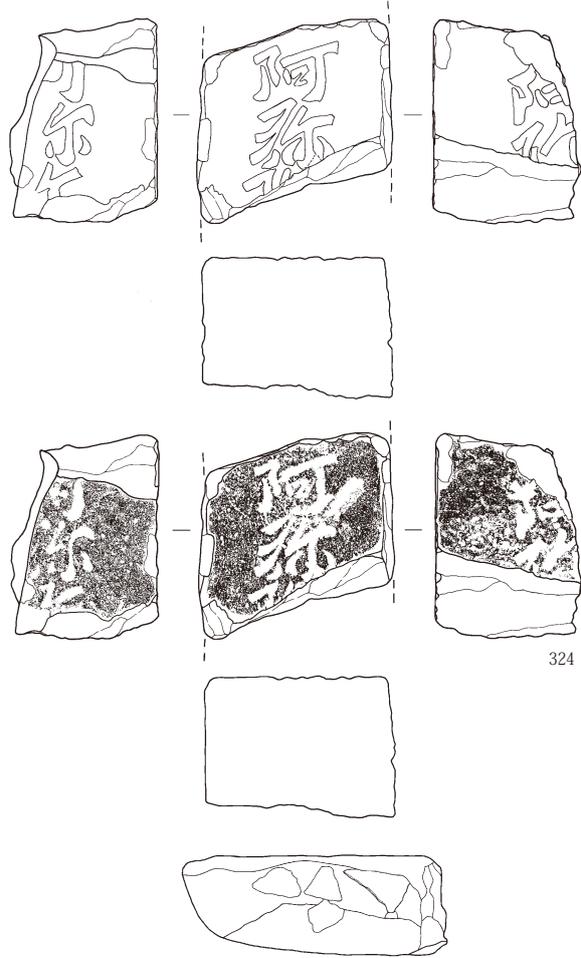
第709図 氾濫跡および遺構外出土遺物(中世以降)(11)

第3章 検出遺構と出土遺物

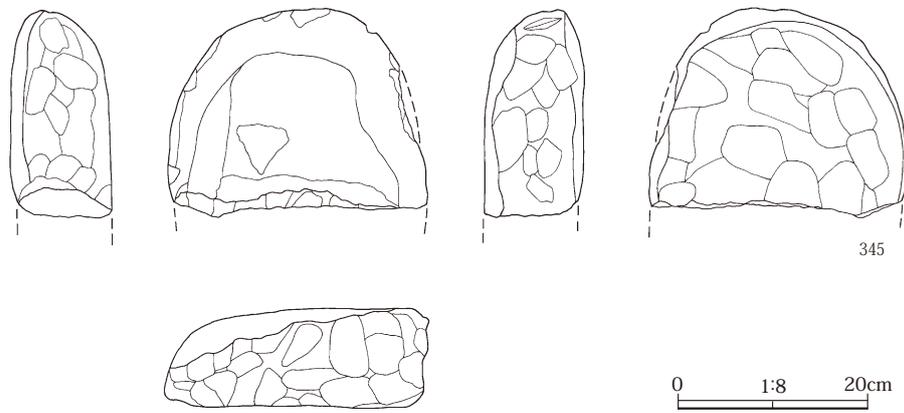
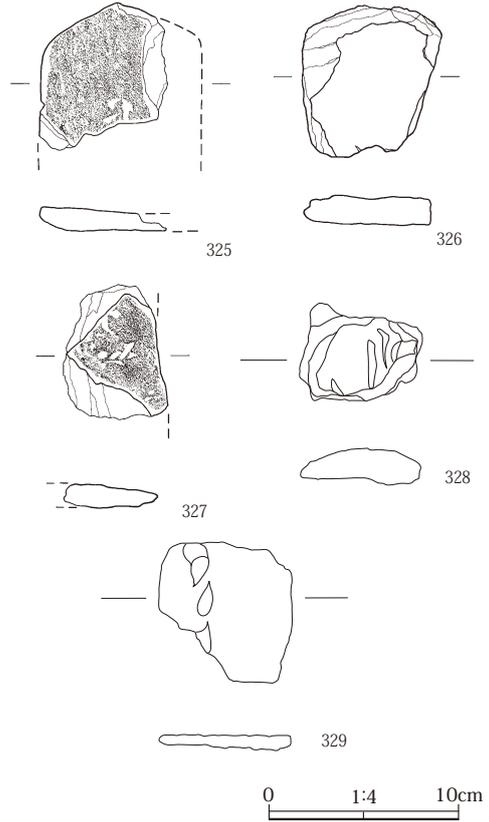
宝篋印塔



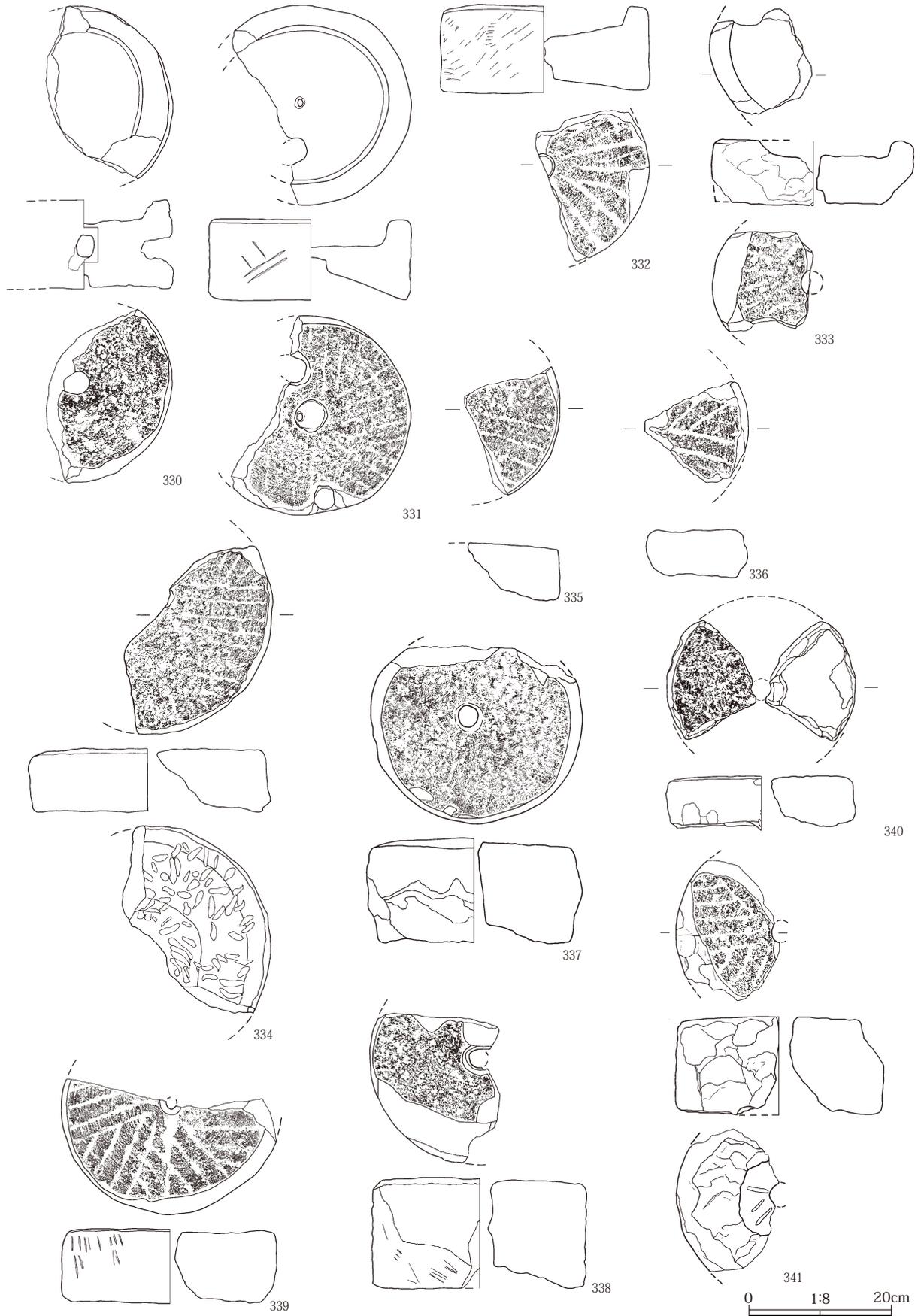
名号角塔婆



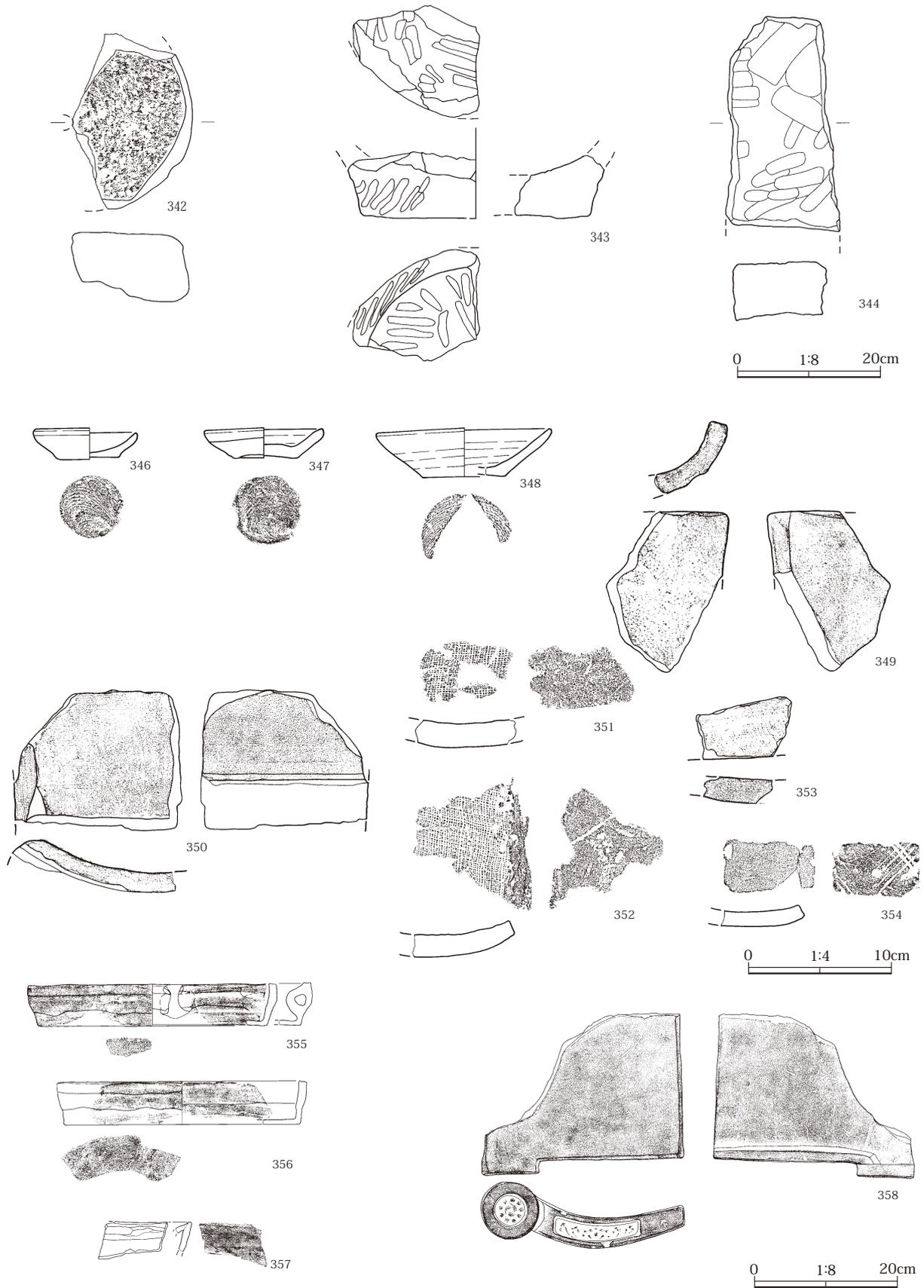
板碑



第710図 汜濫跡および遺構外出土遺物(中世以降)(12)

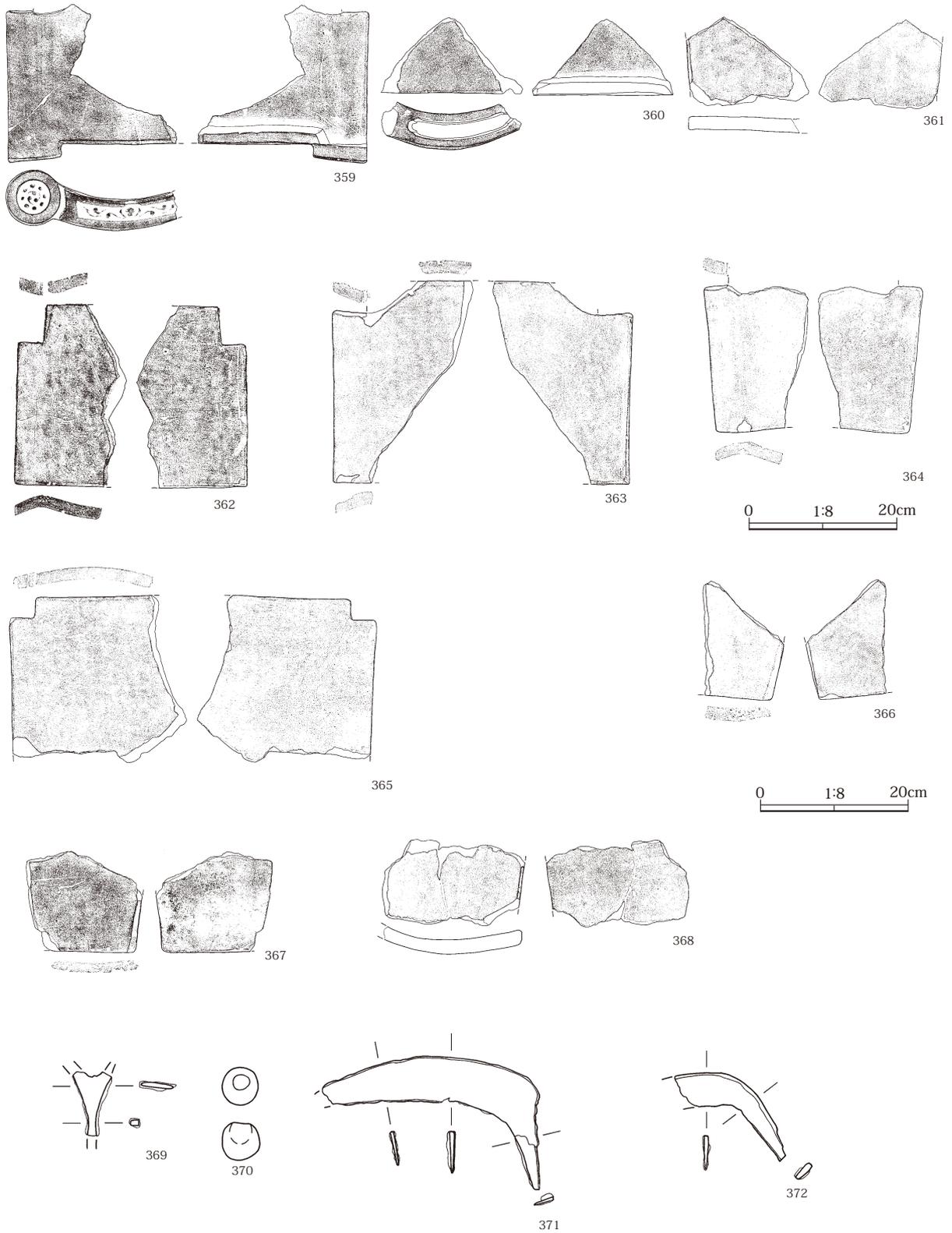


第711図 氾濫跡および遺構外出土遺物(中世以降)(13)



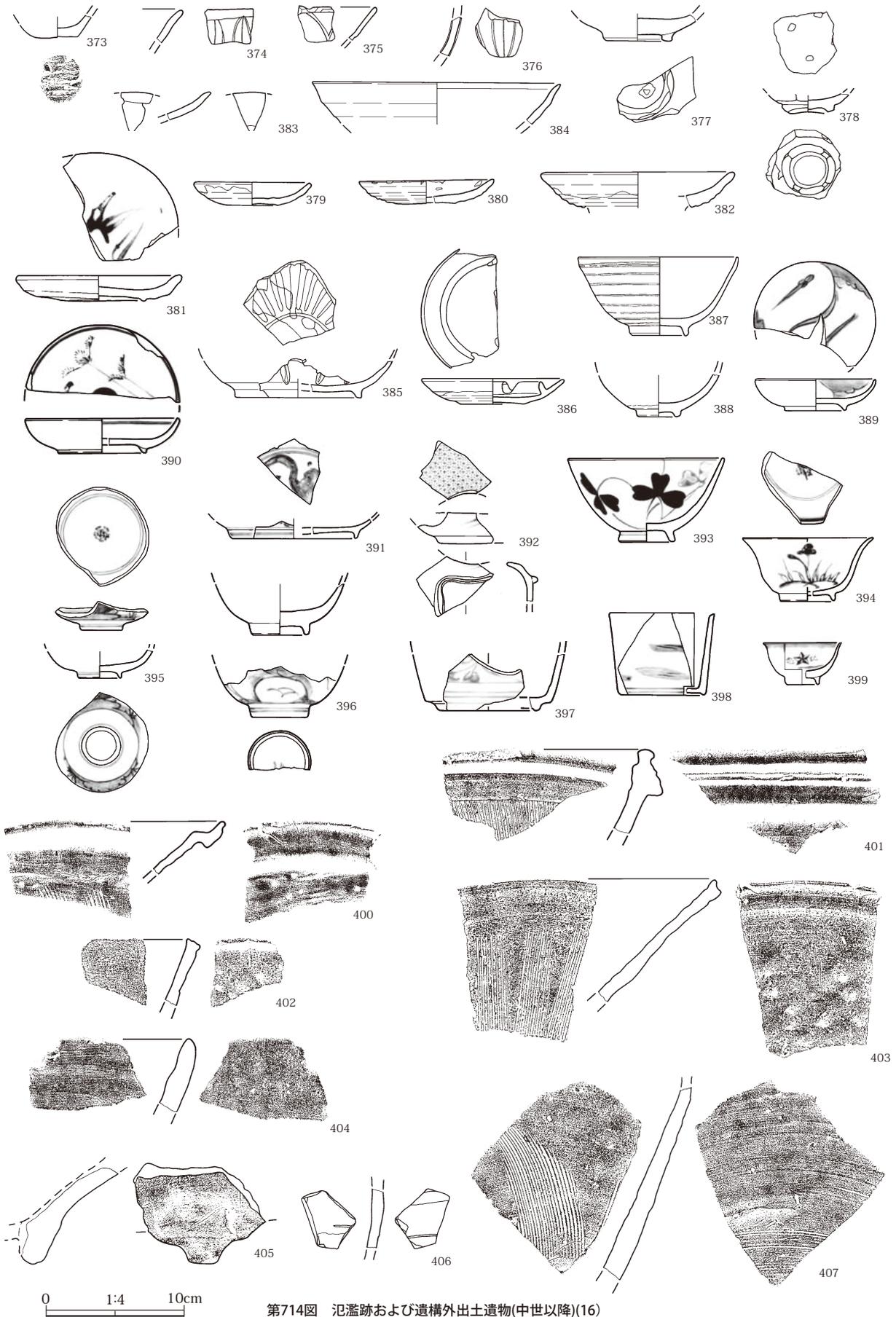
第712図 氾濫跡および遺構外出土遺物(中世以降)(14)

第3節 中世～近現代の遺構と遺物

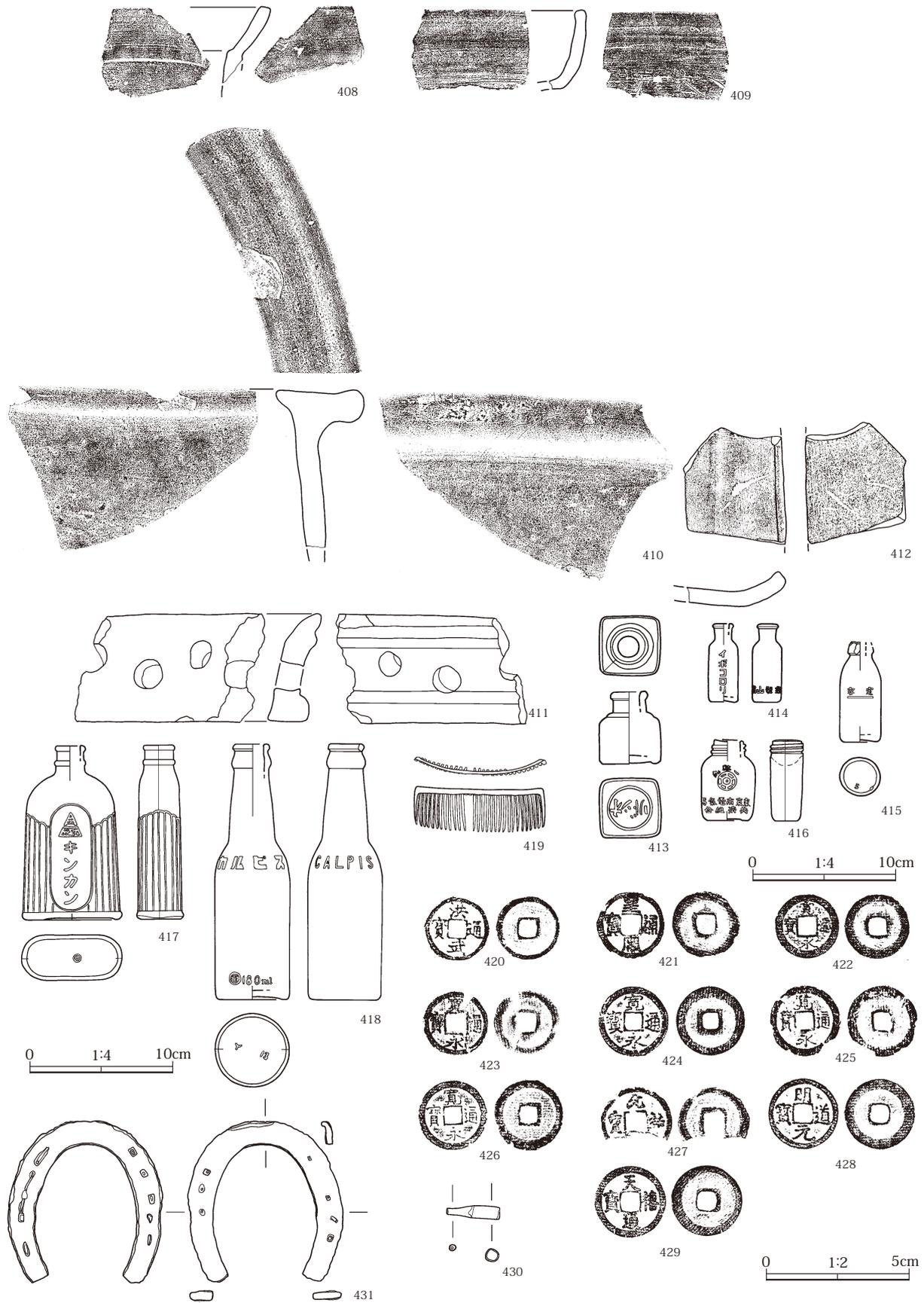


第713図 氾濫跡および遺構外出土遺物(中世以降)(15)

第3章 検出遺構と出土遺物



第714図 氾濫跡および遺構外出土遺物(中世以降)(16)



第715図 汜濫跡および遺構外出土遺物(中世以降)(17)

第3章 検出遺構と出土遺物

犯濫跡および遺構外出土遺物観察表 (中世以降)

番号	遺構名	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調又は 材質・法量・重量	器形・成整形技法等の特徴	備考
1	1号犯濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	14.6 10.3 24.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：5.90kg	形状はやや歪。空輪宝珠が扁平形を呈する。丁寧な面加工を施したと思われるが、表面の磨滅が甚大なため、整形の痕跡は残らない。
2	6区 1号犯濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	16.8 12.4 27.0	石材：角閃石安山岩 重量：7.36kg	形状は均質。表面の磨滅は少。丁寧な成・整形を施し、整形時の縦～斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。
3	6区 1号犯濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	15.3 10.8 26.5	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.44kg	形状はやや歪。丁寧な成・整形を施すが、表面の磨滅・剥落甚大。
4	6区 1号犯濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	17.9 11.4 29.6	石材：粗粒輝石安山岩 重量：9.78kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施す。表面はやや磨滅・剥落する。
5	6区 1号犯濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 下半部欠損	最大巾 最小巾 高さ	14.1 8.7 (12.3)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(2.26)kg	風輪部欠損、空輪部のみ残存。形状は均質で、丁寧な成・整形を施す。表面の磨滅甚大。
6	6区 1号犯濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 上部欠損	最大巾 最小巾 高さ	(13.4) 10.4 (20.4)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(4.12)kg	空輪上部欠損。形状は均質で丁寧な成・整形を施す。表面の磨滅少。
7	6区 1号犯濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	14.0 8.4 25.7	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.32kg	形状はやや歪で、成・整形も粗雑。表面はやや磨滅する。
8	6区 1号犯濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ	(13.4) 10.0 (21.6)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(3.96)kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。
9	8区 表探	五輪塔 空風輪	表土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ	20.8 14.0 35.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(18.44)kg	大型空風輪。形状は均質。丁寧な成・整形を施す。表面はやや磨滅し、一部剥落する。
10	6区 1号犯濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ	(14.0) 9.1 (24.0)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(4.72)kg	空輪宝珠端部一部欠損。形状は均質。成・整形はやや粗雑で、表面の磨滅甚大。
11	6区 1号犯濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ	14.0 5.0 25.7	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(5.56)kg	下端突起の一部欠損。形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅。
12	4区 2号集石跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	15.8 3.3 27.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.38kg	形状は均質で、空輪と風輪の括れが深い。丁寧な成・整形を施し、整形時の縦方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅し、一部剥落する。
13	7区 1号犯濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ	14.2 5.1 30.1	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(6.80)kg	形状はやや歪で扁平な隅丸直方体状を呈する。丁寧な整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅。
14	7区 1号犯濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	13.4 9.6 30.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.54kg	形状はやや歪で扁平な隅丸直方体状を呈する。丁寧な整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅。
15	7区 1号犯濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	15.4 5.5 27.1	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.22kg	形状は均質で、風輪部の比率がやや大きい。丁寧な成・整形を施し、僅かに整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅。
16	7区 1号犯濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 空輪1/3欠	最大巾 最小巾 高さ	13.8 11.0 23.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(3.42)kg	空輪部1/3欠損。形状は均質で、丁寧な成・整形を施し、僅かに整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅。
17	7区 1号犯濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	15.0 4.1 28.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.74kg	形状は均質で、空輪と風輪の括れが深い。丁寧な成・整形を施し、整形時の縦～斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。
18	7区 1号犯濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	15.7 8.8 28.3	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.70kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅。
19	7区 1号犯濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ	15.7 4.6 25.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(5.94)kg	空輪部下端の一部欠損。形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅。
20	7区 1号犯濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	14.0 8.5 24.4	石材：角閃石安山岩 重量：4.60kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施す。表面は磨滅・剥落甚大。
21	7区 1号犯濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	15.0 11.7 27.0	石材：角閃石安山岩 重量：6.30kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施す。表面はやや磨滅・剥落する。
22	7区 1号犯濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ	13.7 10.2 (24.2)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(5.10)kg	空風輪境部一部欠損。形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅。
23	7区 1号犯濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	12.8 9.6 21.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：4.78kg	形状は均質で風輪部の比率がやや大きい。丁寧な成・整形を施す。頂部宝珠端欠損、表面もやや磨滅・剥落する。
24	7区 1号犯濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	16.5 10.6 25.1	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.44kg	形状はやや歪。丁寧な整形を施す。表面はやや磨滅する。
25	7区 1号犯濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ	14.2 10.0 (27.8)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(5.76)kg	形状はやや歪で扁平な隅丸直方体状を呈する。丁寧な整形を施す。表面はやや磨滅する。
26	7区 1号犯濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	18.6 12.0 29.5	石材：粗粒輝石安山岩 重量：9.08kg	形状は均質で、空輪は宝珠形を呈し、突起も大きい。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。
27	7区 1号犯濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	16.4 9.8 27.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.54kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。

第3節 中世～近現代の遺構と遺物

番号	遺構名	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調又 は材質・分量・重量	器形・成整形技法等の特徴	備考
28	7区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 略完形	最大中 最小中 高さ 13.4 10.6 (26.0)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(5.42)kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施す。表面の磨滅少、下端突起一部欠損。	
29	7区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 13.6 9.3 31.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.02kg	形状は縦長で均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	
30	7区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大中 最小中 高さ 15.0 12.5 (24.3)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(5.38)kg	形状は均質で、空輪は宝珠形を呈す。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少、上下端部一部欠損。	
31	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大中 最小中 高さ 16.6 11.7 (29.4)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(8.32)kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅。	
32	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 15.7 9.4 24.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：5.28kg	形状は均質で、空輪と風輪の括れが中広い。丁寧な成・整形を施し、整形時の縦～斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。表面の磨滅は少ない。	
33	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 16.0 10.5 25.3	石材：粗粒輝石安山岩 重量：5.70kg	形状は均質。丁寧な整形を施し、整形時の横～斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を僅かに残す。表面はやや磨滅する。	
34	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大中 最小中 高さ 14.7 10.3 28.3	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(7.38)kg	形状は均質で、空輪と風輪の括れが中広い。丁寧な成・整形を施し、整形時の縦～斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。表面の磨滅は少ない。	
35	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大中 最小中 高さ 16.0 12.0 32.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(7.82)kg	形状は均質で、空輪と風輪の括れがやや広い。丁寧な成・整形を施し、整形時の縦～斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。表面の磨滅は少ない。	
36	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大中 最小中 高さ 17.9 11.3 (32.5)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(12.38)kg	形状は均質で、空輪と風輪の括れがやや広い。丁寧な成・整形を施し、整形時の縦～斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を僅かに残す。表面の磨滅は少ない。上下端部欠損。	
37	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 15.8 11.0 26.5	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.14kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を僅かに残す。表面の磨滅少。	
38	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大中 最小中 高さ 16.6 10.2 (22.8)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(4.10)kg	形状は全高が低く均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	
39	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大中 最小中 高さ 14.2 10.4 23.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(4.24)kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施したと思われるが、表面の磨滅が著しく整形の痕跡は残らず。	
40	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大中 最小中 高さ 14.4 10.5 (27.2)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(6.30)kg	形状は均質で、空輪と風輪の括れが広い。丁寧な成・整形を施し、整形時の縦～斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を僅かに残す。表面の磨滅は少ない。上下端部欠損。	
41	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大中 最小中 高さ 14.3 9.4 (27.6)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(5.56)kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、整形時の縦～斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を僅かに残す。表面はやや磨滅する。	
42	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大中 最小中 高さ 15.9 9.5 (25.4)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(5.86)kg	空輪宝珠端部欠損。形状は均質で、空輪と風輪の括れがやや深い。丁寧な成・整形を施したと思われるが、石材が粗く表面がやや磨滅しているため整形の詳細は不明。	
43	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 14.2 9.5 24.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：4.44kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
44	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大中 最小中 高さ 12.6 8.2 27.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(3.92)kg	上下二分割、空輪下方一部欠損。形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	No.141と接合。
45	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大中 最小中 高さ 13.0 8.8 26.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(4.94)kg	形状は縦長で均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
46	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大中 最小中 高さ 15.5 10.0 (25.5)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(7.04)kg	上下端部欠損。形状は均質で、空輪と風輪の括れがやや広い。丁寧な成・整形を施し、整形時の縦～斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。表面は磨滅する。	
47	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 13.6 9.5 22.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：4.38kg	形状はやや歪。空輪部の比率がやや小さい。丁寧な整形を施し、整形時の縦～斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。表面はやや磨滅する。	
48	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大中 最小中 高さ 12.6 9.6 (21.4)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(4.72)kg	空輪宝珠端部・風輪下部突起の一部欠損。形状は均質で、空輪と風輪の括れがやや広い。丁寧な成・整形を施したと思われるが、表面が磨滅しているため整形の詳細は不明。	
49	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大中 最小中 高さ 14.8 11.7 29.3	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(6.74)kg	形状は均質で、空輪と風輪の括れがやや広い。丁寧な成・整形を施し、整形時の横～斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。表面はやや磨滅する。	
50	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 16.5 9.8 28.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.30kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	
51	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大中 最小中 高さ 14.4 8.4 (25.6)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(6.34)kg	形状はやや歪。成・整形ともにやや粗雑。表面の磨滅甚大。	
52	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 15.0 9.6 29.3	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.52kg	形状は均質で、空輪と風輪の括れがやや広い。丁寧な成・整形を施し、整形時の縦～斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。表面はやや磨滅する。	
53	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大中 最小中 高さ 13.7 7.4 22.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(3.90)kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
54	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 13.5 10.2 25.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：5.14kg	形状は均質で、空輪と風輪の括れがやや浅い。丁寧な成・整形を施し、整形時の縦～斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。表面はやや磨滅する。	

第3章 検出遺構と出土遺物

番号	遺構名	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調又 は材質・法量・重量	器形・成整形技法等の特徴	備考
55	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ 14.5 10.2 (23.8)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(5.46)kg	形状はやや歪。やや粗雑な成・整形で、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を僅かに残す。表面は磨滅甚大。	
56	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 15.6 9.5 29.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.06kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ないが、一部に原石自然面の凹みをそのまま残す。	
57	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 13.4 10.4 (25.4)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：5.32kg	形状は均質な隅丸四角柱状を呈する。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
58	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 15.2 11.3 24.1	石材：粗粒輝石安山岩 重量：5.50kg	形状はやや歪。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
59	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 14.6 9.0 25.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：5.58kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
60	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 14.7 10.3 24.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：5.42kg	形状はやや歪。丁寧な成・整形を施し、整形時の縦～斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を僅かに残す。表面はやや磨滅する。	
61	7区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ 20.6 12.6 (30.8)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(14.42)kg	大型。空輪宝珠端部欠損。形状は均質で、極めて丁寧な成・整形を施す。一部に整形時の縦方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
62	7区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ 14.6 9.6 (30.0)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(6.02)kg	形状は均質だが、空輪部宝珠が細い。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の縦方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
63	7区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ 14.4 9.6 27.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(6.16)kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
64	7区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 14.4 9.0 21.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：4.06kg	形状は均質で、全体に円みをおび、空輪と風輪の括れがやや浅い。丁寧な成・整形を施し、整形時の縦～斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。表面はやや磨滅する。	
65	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 14.8 8.7 24.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：4.80kg	形状は均質で、空輪と風輪の括れがやや広い。丁寧な成・整形を施し、整形時の縦～斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。表面はやや磨滅する。	
66	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 17.2 10.8 31.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：9.94kg	大型。形状は均質で、空輪と風輪の括れがやや広い。極めて丁寧な成・整形を施す。一部に整形時の縦方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
67	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 15.3 10.0 25.3	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.02kg	形状は均質で、空輪に比して風輪部がやや長い。丁寧な成・整形を施し、整形時の縦～斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。表面はやや磨滅する。	
68	6区 表採	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 13.8 9.9 24.5	石材：粗粒輝石安山岩 重量：4.84kg	形状は均質で、空輪と風輪の括れがやや広い。丁寧な成・整形を施す。一部に整形時の縦方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
69	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ 16.1 11.4 28.1	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(9.16)kg	形状は均質で、空輪と風輪の括れがやや広い。丁寧な成・整形を施す。一部に整形時の縦方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
70	7区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ 14.2 10.4 20.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(5.02)kg	空輪宝珠端部欠損。形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦方向の規則的に並行するやや太い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
71	7区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ 15.6 11.4 (24.1)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(6.82)kg	宝珠端及び風輪下端部欠損。形状は均質で、空輪と風輪の括れがやや浅い。丁寧な成・整形を施す。一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
72	7区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 12.8 9.8 22.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：4.70kg	形状はやや歪で、扁平な隅丸直方体状を呈する。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行するやや太い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅。	
73	7区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ 16.6 11.3 (31.0)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(9.68)kg	空輪宝珠端部欠損。形状は均質で、空輪と風輪の括れがやや広い。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
74	7区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 15.0 11.0 24.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：5.88kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、全体に整形時の縦方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
75	7区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ 18.0 11.6 (25.3)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(8.20)kg	下端突起一部欠損。形状は均質。丁寧な成・整形を施し、全体に整形時の縦方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
76	7区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ 14.0 10.6 28.6	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(6.80)kg	形状はやや歪。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
77	7区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ 12.6 10.0 (23.6)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(4.20)kg	下端突起の一部欠損。形状は均質で、空輪と風輪の括れが広い。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
78	7区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 15.6 10.4 31.7	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.90kg	形状はやや歪。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。表面はやや磨滅する。	
79	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ 16.4 11.0 26.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(7.52)kg	空輪宝珠端部欠損。形状は均質で、空輪と風輪の括れが広い。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面は磨滅・剥落甚大。	

第3節 中世～近現代の遺構と遺物

番号	遺構名	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調又 は材質・分量・重量	器形・成整形技法等の特徴	備考
80	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 15.3 最小巾 8.4 高さ (27.0)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(5.04)kg	形状は均質で空輪と風輪の括れがやや広い。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面は磨滅する。	
81	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 18.6 最小巾 12.1 高さ 31.7	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.36kg	大型。形状は均質。丁寧な成・整形を施したと思われるが、表面の磨滅が甚大なため、整形時の工具痕跡は残らない。	
82	7区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 15.8 最小巾 11.0 高さ (28.3)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(7.34)kg	形状は均質で空輪と風輪の括れがやや広い。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面は磨滅は少ない。	
83	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 17.6 最小巾 11.2 高さ (27.4)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(9.32)kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面は磨滅する。	
84	7区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 18.0 最小巾 11.8 高さ (26.9)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(10.94)kg	下端突起部欠損。形状は均質。極めて丁寧な成・整形を施し、整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す程度に研磨を施す。表面の磨滅は少ない。	
85	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 13.5 最小巾 9.6 高さ (19.2)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(3.32)kg	宝珠端部欠損。形状はやや歪。丁寧な面整形を施したものとと思われるが、表面の磨滅により整形の痕跡は残らない。	
86	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 16.3 最小巾 10.3 高さ 31.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：9.06kg	大型。形状はほぼ均質で、空輪と風輪の括れがやや広い。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
87	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 16.2 最小巾 10.4 高さ 31.3	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.98kg	形状は均質で、空輪と風輪の括れがやや広い。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。表面はやや磨滅する。	
88	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 16.6 最小巾 11.4 高さ (27.6)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(7.48)kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面は磨滅する。	
89	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 13.4 最小巾 10.1 高さ 25.1	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(5.74)kg	形状は歪。丁寧な面整形を施したと思われるが、下端差込み部に整形時工具(丸鑿)痕を僅かに残すのみで、表面は磨滅する。	
90	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 16.5 最小巾 11.2 高さ (27.9)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(7.56)kg	上下端部欠損。形状は均質。空輪と風輪の括れがやや深い。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。表面はやや磨滅する。	
91	7区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 15.4 最小巾 11.4 高さ (25.8)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(6.62)kg	上端宝珠突起欠損。形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を僅かに残す。表面はやや磨滅する。	
92	7区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 14.4 最小巾 5.6 高さ 29.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：5.88kg	形状は均質で、隅丸直方体状を呈する。丁寧な整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
93	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 15.2 最小巾 9.3 高さ (26.9)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(6.94)kg	空輪宝珠端部欠損。形状は均質で、空輪と風輪の括れが広い。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面は磨滅・剥落甚大。	
94	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 13.8 最小巾 9.7 高さ 24.3	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(4.94)kg	下端突起一部欠損。形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面は磨滅する。	
95	6区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 1/2	最大巾 14.4 最小巾 10.2 高さ (15.7)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(2.42)kg	空輪部欠損。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。風輪部4側面に種子を囲む月輪あり。種子判読不可。表面はやや磨滅する。	
96	7区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 15.8 最小巾 10.8 高さ 29.3	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.32kg	形状は均質。空輪と風輪の括れがやや広い。丁寧な成・整形を施し、全面に研磨を施す。表面はやや磨滅する。	
97	7区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 15.2 最小巾 11.4 高さ (26.1)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(7.30)kg	空輪宝珠端部欠損。形状は均質で、空輪と風輪の括れが広い。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
98	7区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 16.4 最小巾 10.6 高さ 26.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(7.34)kg	空輪宝珠端部欠損。形状は均質で、空輪と風輪の括れがやや深い。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
99	7区 1号汜濫跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 15.7 最小巾 11.3 高さ 27.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.78kg	形状はやや歪。面整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を一部に残す。表面はやや磨滅する。	
100	8区 表採	五輪塔 火輪	表土中 屋蓋部一部 欠損	最大巾 43.0 最小巾 22.0 高さ 15.5	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(23.62)kg	形状は均質。隅棟部裾は大きく開き、反りは少ない。丁寧な成・整形を施すが、水研きはせず、横～斜方向の並行する緻密な細い工具(丸鑿)痕を残す。剥落・欠損は大きいが磨滅は少ない。	
101	1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 略完形	最大巾 20.8 最小巾 10.4 高さ 14.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(9.28)kg	形状は均質。隅棟部裾は開かず、やや反る。丁寧な成・整形を施し、横～斜方向の並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。	
102	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 23.6 最小巾 12.0 高さ 17.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.78kg	形状は均質。表面の磨滅は少。隅棟部裾は開かず、反りも少。丁寧な成・整形を施し、横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。	
103	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 21.2 最小巾 10.8 高さ 14.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：9.54kg	形状は均質。隅棟部裾は開かず、反りも少。丁寧な成・整形を施し、表面の磨滅は少ない。	
104	7区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 21.2 最小巾 9.7 高さ 13.5	石材：二ツ岳石 重量：9.70kg	形状は均質。隅棟部裾はやや開き、反りは少ない。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅。	

第3章 検出遺構と出土遺物

番号	遺構名	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調又 は材質・分量・重量	器形・成整形技法等の特徴	備考
105	7区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 20.9 11.2 11.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.62kg	形状は均質。隅棟裾部は開き、反りは少ない。丁寧な成・整形を施すが、表面は磨滅。	
106	7区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 18.4 11.2 10.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.78kg	形状はやや歪。隅棟裾部は開かず、反りも少ない。丁寧な成・整形を施すが、表面はやや磨滅し一部剥落。	
107	7区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 21.0 10.0 11.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.50kg	形状は均質。隅棟裾部は開き、反りは少ない。丁寧な成・整形を施し、整形時の斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。表面は一部剥落。	
108	7区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 22.4 10.5 12.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.46kg	形状はやや歪。丁寧な整形を施し、整形時の横～斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。表面はやや磨滅し一部剥落する。	
109	7区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 22.2 10.0 12.7	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.62kg	形状は均質。裾はやや開き反る。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅。	
110	7区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 21.1 10.3 11.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.54kg	形状はやや歪。丁寧な整形を施し、整形時の横～斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。表面はやや磨滅する。	
111	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ 23.0 10.4 15.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(10.70)kg	形状は歪。隅棟部裾はやや開き反りは少ない。丁寧な成・整形を施し、整形時の斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を僅かに残す。表面の磨滅は少ない。隅棟端一部欠損。	
112	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 18.3 8.8 12.7	石材：粗粒輝石安山岩 重量：5.28kg	形状はやや歪。隅棟裾部は開かず、反りも少ない。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	
113	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 21.3 9.5 10.5	石材：粗粒輝石安山岩 重量：5.14kg	形状は均質。隅棟裾部は開き、反りは少ない。丁寧な成・整形を施すが、表面は磨滅甚大。	
114	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 21.0 8.5 12.6	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.42kg	形状はやや歪。隅棟裾部はやや開き、反りは少ない。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	
115	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 23.1 9.5 11.4	石材：角閃石安山岩 重量：7.74kg	形状は歪。隅棟裾部は開き、反りは少ない。丁寧な整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅。	
116	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 22.4 10.4 14.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：10.42kg	形状はやや歪。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	
117	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 23.6 10.3 15.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：11.96kg	形状はやや歪。隅棟部裾はやや開き反る。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	
118	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 22.0 10.4 13.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：9.76kg	形状は均質。隅棟部裾はやや開き反りは少ない。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を僅かに残す。表面の磨滅少。	
119	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ 21.7 10.0 11.5	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(8.04)kg	形状はやや歪。隅棟部裾はやや開き反りは少ない。丁寧な成・整形を施し、整形時の縦～斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を僅かに残す。表面の磨滅は少ない。隅棟端一部欠損。	
120	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ (22.6) 10.4 15.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(9.28)kg	形状は均質。隅棟部裾はやや開き反りは少ない。丁寧な成・整形を施し、整形時の横～斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。隅棟端一部欠損。	
121	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 18.0 8.4 10.9	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.06kg	形状は均質。隅棟裾部はやや開き反りは少ない。成・整形はやや粗雑で、整形時の斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。表面の磨滅は少ない。	
122	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 20.1 9.1 8.7	石材：粗粒輝石安山岩 重量：3.78kg	形状はやや歪で、成・整形もやや粗雑。隅棟裾は大きく開き、反りは少ない。整形時の斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残し、表面はやや磨滅する。	
123	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 上部欠損	最大巾 最小巾 高さ 19.4 (9.5) (12.0)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(6.28)kg	上部欠損。形状は歪。丁寧な整形を施し、整形時の横～斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を僅かに残す。表面は磨滅甚大。	
124	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 23.6 10.9 12.3	石材：粗粒輝石安山岩 重量：10.36kg	形状はやや歪。隅棟部裾はやや開き反りは少ない。丁寧な成・整形を施し、整形時の縦～斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を僅かに残す。表面はやや磨滅する。	
125	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 24.0 11.2 11.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.84kg	形状はやや歪。隅棟部裾はやや開き反りは少ない。丁寧な成・整形を施し、整形時の斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面は磨滅する。	
126	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ (21.1) 9.8 14.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(9.22)kg	形状は均質。隅棟部裾はあまり開かず反りは少ない。丁寧な成・整形を施し、整形時の斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。隅棟端一部欠損。	
127	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 19.0 8.8 12.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.46kg	形状はやや歪。隅棟部裾はあまり開かず反りは少ない。丁寧な成・整形を施し、整形時の横～斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を僅かに残す。表面はやや磨滅する。	
128	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 20.4 8.8 8.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：4.92kg	形状は扁平でやや歪。隅棟部裾は開き反りはほとんどない。丁寧な成・整形を施し、整形時の横～斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
129	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ (22.0) 10.0 13.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(8.46)kg	形状は均質。隅棟部裾はやや開き僅かに反る。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。隅棟端一部欠損。	
130	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ 19.6 9.5 9.7	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(5.32)kg	形状はやや歪。軒部一部欠損。隅棟部はやや開き、反りは少ない。一部に整形時の斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面は磨滅する。	
131	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 18.9 8.4 10.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：4.66kg	形状は歪。隅棟部裾は開き、反りは少ない。丁寧な成・整形を施し、整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	

第3節 中世～近現代の遺構と遺物

番号	遺構名	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調又は材質・法量・重量	器形・成整形技法等の特徴	備考
132	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 19.4 9.0 10.6	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.46kg	形状は歪で、成・整形もやや粗雑。一部に整形時の縦～斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面は磨滅する。	
133	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 一部欠損	最大中 最小中 高さ 21.7 9.3 (13.6)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(7.84)kg	形状は均質。隅棟裾部は開き、反りは少ない。極めて丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の横方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
134	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 23.4 10.5 15.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：10.42kg	形状は均質。隅棟裾部はあまり開かず、反りも少ない。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の横方向の規則的に並行するやや太い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
135	7区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 21.3 9.5 11.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.24kg	形状は均質。隅棟裾部はやや開き、反りは少ない。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
136	7区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 22.4 10.8 14.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.38kg	形状は歪。隅棟裾部はあまり開かず、やや反る。成・整形も粗雑だが、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面は磨滅する。	
137	7区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 24.6 9.6 12.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.84kg	形状は均質。隅棟裾部は大きく開き、反りは少ない。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
138	7区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 一部欠損	最大中 最小中 高さ (20.8) 9.7 11.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(7.34)kg	形状は均質。隅棟裾部は開かず、中位に段を有し、反りも少ない。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
139	7区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 22.0 9.0 12.6	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.20kg	形状はやや歪。隅棟裾部は開き、反りは少ない。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
140	7区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 20.6 9.8 14.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.16kg	形状は均質。隅棟裾部はあまり開かず、反りも少ない。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
141	7区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 23.3 10.2 12.1	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.86kg	形状は歪。全体に扁平で、隅棟裾部は開き、反る。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行するやや太い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
142	7区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 22.0 10.7 10.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.36kg	形状はやや歪。隅棟裾部は開き、反りは少ない。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
143	7区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 20.4 10.6 11.6	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.76kg	形状はやや歪。隅棟裾部はあまり開かず、反りも少ない。丁寧な面整形を施し、整形時の斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を僅かに残す。表面はやや磨滅する。	
144	7区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 一部欠損	最大中 最小中 高さ 20.5 10.0 12.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(7.62)kg	形状は歪。隅棟裾部はやや開き、反りは少ない。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
145	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 一部欠損	最大中 最小中 高さ (18.8) 9.0 12.3	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(4.90)kg	形状は歪。端部欠損。隅棟裾部はあまり開かず、反りは少ない。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
146	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 一部欠損	最大中 最小中 高さ 22.1 10.0 10.6	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(7.48)kg	形状は歪。端部欠損。隅棟裾部はやや開き、反りは少ない。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行するやや太い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
147	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 一部欠損	最大中 最小中 高さ (24.9) 21.0 14.6	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(11.34)kg	形状は均質。隅棟裾部はやや開き、反る。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行するやや太い工具(丸鑿)痕を残す。表面は一部剥落がみられるが、磨滅は少ない。	
148	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 22.0 10.5 15.5	石材：粗粒輝石安山岩 重量：9.96kg	形状はやや歪。隅棟裾部はあまり開かず、反りも少ない。丁寧な面整形を施し、整形時の横～斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を僅かに残す。表面は一部剥落がみられ、やや磨滅する。	
149	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 22.2 8.6 14.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.58kg	形状はほぼ均質。隅棟裾部はやや開き、反りは少ない。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
150	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 21.2 9.0 13.1	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.22kg	形状は均質。隅棟裾部はやや開き、反る。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
151	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 21.2 10.0 13.9	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.50kg	形状はやや歪。隅棟裾部はやや開き、反りは少ない。やや粗雑な面整形を施し、一部に整形時の斜方向の疎らに並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
152	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 24.0 11.6 12.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：11.22kg	形状は歪。軒～軒下部がやや大きく、隅棟裾部は開き、反る。丁寧な面整形を施し、整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
153	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 22.0 10.6 13.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：9.54kg	形状はほぼ均質。隅棟裾部はやや開き、反る。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
154	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 20.2 10.0 11.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.94kg	形状は均質。隅棟裾部はやや開き、反る。丁寧な面整形を施したものであると思われるが、表面の磨滅が大きく、整形の痕跡は残らない。	
155	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 24.6 12.8 14.9	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.96kg	形状はやや歪。隅棟裾部はやや開き、反りは少ない。丁寧な面整形を施したものであると思われるが、表面の磨滅が大きく、整形の痕跡は残らない。	

第3章 検出遺構と出土遺物

番号	遺構名	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調又は材質・法量・重量	器形・成整形技法等の特徴	備考	
156	7区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	21.9 10.0 9.5	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.24kg	形状は扁平でやや歪。隅棟部裾は開き、反りは少ない。丁寧な面整形を施したものとと思われるが、表面の磨滅が甚大のため、整形の痕跡は残らない。	
157	7区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	22.0 11.4 9.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.08kg	形状は扁平で、やや歪。隅棟部裾は開き、反る。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
158	7区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ	(22.6) 11.2 12.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(9.52)kg	形状は扁平で、やや歪。隅棟部裾は開き、反る。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
159	7区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	18.4 9.4 10.6	石材：粗粒輝石安山岩 重量：5.06kg	形状はやや歪。隅棟部裾はやや開き、反りは少ない。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅甚大。	
160	7区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	18.4 10.2 11.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：5.62kg	形状は歪。隅棟部裾はあまり開かず、反りも少ない。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
161	7区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	21.0 10.4 11.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：5.76kg	形状はやや歪。隅棟部裾はやや開き、反りは少ない。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
162	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	20.3 7.8 12.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.08kg 断面：12.5cm	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。表面はやや磨滅する。	
163	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	20.4 9.2 12.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.06kg 断面：11.8cm	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	
164	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	21.4 9.4 9.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.14kg 断面：9.2cm	形状は扁平でやや歪。隅棟部裾は開き、反りは少ない。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
165	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	22.5 10.6 13.5	石材：粗粒輝石安山岩 重量：10.16kg 断面：13.4cm	形状は均質。隅棟部裾はあまり開かず、反る。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
166	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ	22.4 11.4 13.6	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(9.46)kg	隅棟下端一部剥落欠失。形状はやや歪。隅棟部裾はあまり開かず、反りも少ない。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。表面はやや磨滅する。	
167	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	20.4 10.0 10.6	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.72kg	形状はやや歪。隅棟部裾は開き、反りは少ない。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
168	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ	24.4 12.0 16.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(13.24)kg 断面：15.1cm	隅棟下端一部剥落欠失。形状はやや歪。隅棟部裾はあまり開かず、反る。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
169	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ	23.3 10.7 11.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(8.64)kg	隅棟下端一部剥落欠失。形状は均質。隅棟部裾は開き、反りは少ない。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
170	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	22.0 11.4 13.9	石材：粗粒輝石安山岩 重量：10.68kg	形状は均質。隅棟部裾はあまり開かず、大きく反る。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
171	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	20.9 9.5 15.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：10.26kg	形状はやや歪。隅棟部裾はあまり開かず、反る。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
172	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	22.6 9.3 14.6	石材：粗粒輝石安山岩 重量：9.88kg	形状は均質。隅棟部裾はやや開き、反る。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
173	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	22.6 10.4 13.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：10.00kg	形状は均質。隅棟部裾はやや開き、反りは少ない。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
174	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ	22.8 9.4 12.6	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(7.00)kg	隅棟部端部欠損。形状はやや歪。隅棟部裾はやや開き、反りは少ない。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
175	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	22.7 9.8 13.9	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.84kg	形状は均質。隅棟部裾はやや開き、反る。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
176	6区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	24.6 12.7 15.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：14.54kg	形状は均質。隅棟部裾はやや開き、反り、軒部が厚い。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
177	7区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	23.0 11.2 12.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：9.10kg 断面：11.8cm	形状は均質。隅棟部裾はやや開き、反る。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
178	7区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	20.8 10.8 13.1	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.74kg	形状はほぼ均質。隅棟部裾はやや開き、反り、軒部は厚い。面整形はやや粗雑で一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。表面はやや磨滅する。	
179	7区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	20.4 9.2 11.5	石材：粗粒輝石安山岩 重量：4.74kg	形状はやや歪。隅棟部裾はやや開き、反りは少ない。面整形はやや粗雑で一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。表面はやや磨滅する。	
180	4区 表探	五輪塔 火輪	表土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	22.7 10.8 11.3	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.14kg	形状はやや歪。隅棟部裾はやや開き、反りは少ない。面整形はやや粗雑で一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。表面はやや磨滅する。	

第3節 中世～近現代の遺構と遺物

番号	遺構名	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm		①胎土 ②焼成 ③色調又 は材質・分量・重量	器形・成整形技法等の特徴	備考
181	7区 1号汜濫跡	五輪塔 火輪	埋土中 略完形	最大巾 最小巾 高さ	(22.0) 12.8 10.9	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(5.98)kg	隅棟端の一部欠損。形状はやや歪。隅棟部裾は開き、反りは少ない。面整形はやや粗雑で一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。表面はやや磨滅する。	
182	7区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	24.5 10.5 14.5	石材：粗粒輝石安山岩 重量：11.38kg	形状は均質。表面はやや磨滅。側面一部剥落。転石自然面の凹みを一部に残す。整形時の斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。上下面にも並行する工具痕が残る。	
183	7区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	25.8 12.0 17.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：14.06kg	形状は均質。表面はやや磨滅する。丁寧な成・整形を施し、整形時の横～斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。上下面にも並行する工具痕が残る。	
184	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	24.0 10.5 17.1	石材：二ッ岳軽石 重量：12.14kg	形状はやや歪。表面はやや磨滅する。整形時の横～斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。上下面にも並行する工具痕が残る。	
185	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	23.8 10.4 17.1	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.66kg	形状は均質。表面はやや磨滅。側面一部剥落。整形時の横～斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残し、上下面にも並行する工具痕が残る。	
186	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	22.6 10.0 17.8	石材：角閃石安山岩 重量：11.06kg	形状は均質。表面の磨滅は少。丁寧な成・整形を施し、整形時の横～斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。	
187	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	21.6 8.0 13.1	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.22kg	形状はやや不均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。	
188	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	22.5 8.1 15.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.68kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、整形時の整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	
189	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	20.4 9.0 12.6	石材：粗粒輝石安山岩 重量：5.94kg	形状はやや歪で、成・整形も粗雑。表面は磨滅・剥落甚大。	
190	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	22.8 8.0 15.0	石材：角閃石安山岩 重量：8.76kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅。	
191	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	24.0 8.6 13.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：10.30kg	形状はやや歪む。丁寧な整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
192	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	27.6 11.8 17.6	石材：粗粒輝石安山岩 重量：16.76kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	
193	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	27.0 15.0 17.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：18.36kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	
194	7区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	24.8 17.8 14.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：13.56kg	形状はやや歪。丁寧な成・整形を施し、整形時の斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。表面はやや磨滅。	
195	7区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	22.0 15.2 13.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.76kg	形状はやや歪。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の一部剥落。	
196	7区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	22.1 9.5 14.7	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.52kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施す。表面はやや磨滅。	
197	7区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	26.5 11.2 14.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：10.22kg	形状はやや歪。丁寧な整形を施し、整形時の横～斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。表面はやや磨滅する。	
198	7区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	22.9 11.0 18.1	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.74kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	
199	7区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	30.8 18.6 18.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：24.64kg	大型。形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	
200	7区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	27.2 10.4 17.3	石材：粗粒輝石安山岩 重量：15.32kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	
201	7区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	24.0 10.3 15.5	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.60kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	
202	7区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	26.5 14.4 17.5	石材：粗粒輝石安山岩 重量：14.96kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	
203	7区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	25.4 11.0 16.7	石材：粗粒輝石安山岩 重量：13.48kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	
204	7区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	24.0 12.0 18.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：10.70kg	形状はやや歪。やや粗雑な成・整形。表面はやや磨滅する。	
205	7区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	26.4 12.5 18.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：17.58kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	
206	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	24.2 13.5 15.5	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.86kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	
207	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ	25.0 10.3 17.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(14.28)kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅し、上面縁部の一部欠損。	

第3章 検出遺構と出土遺物

番号	遺構名	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調又 は材質・分量・重量	器形・成整形技法等の特徴	備考
208	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 20.8 最小巾 8.8 高さ 16.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：9.20kg	形状はやや歪。丁寧な整形を施し、整形時の横～斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を僅かに残す。表面はやや磨滅する。	
209	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 22.4 最小巾 8.4 高さ 15.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：9.34kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	
210	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 25.0 最小巾 10.6 高さ 16.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.54kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	
211	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 25.2 最小巾 11.0 高さ 20.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：13.16kg	形状はやや歪。丁寧な整形を施し、整形時の横～斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を僅かに残す。表面はやや磨滅する。	
212	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 23.3 最小巾 9.0 高さ 14.7	石材：粗粒輝石安山岩 重量：10.74kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を僅かに残す。表面の磨滅少。	
213	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 30.6 最小巾 20.8 高さ 19.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：26.22kg	大型。形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を僅かに残す。表面の磨滅少。	
214	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 25.2 最小巾 10.4 高さ 16.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：13.06kg	形状は歪。丁寧な整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	
215	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 24.2 最小巾 9.0 高さ 20.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.56kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を僅かに残す。表面の磨滅少。	
216	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 25.4 最小巾 9.0 高さ 16.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：11.68kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	
217	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 26.5 最小巾 10.6 高さ 19.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：16.96kg	形状は均質。原石自然面の凹みを残す。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	
218	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 21.5 最小巾 9.5 高さ 14.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.16kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を僅かに残す。表面の磨滅少。	
219	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 21.2 最小巾 10.0 高さ 15.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.44kg	形状はやや歪。丁寧な整形を施したものであるが、表面の磨滅のため、整形痕は残らない。	
220	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 20.2 最小巾 6.0 高さ 13.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.56kg	形状はやや歪。丁寧な整形を施し、整形時の横～斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を僅かに残す。表面はやや磨滅する。	
221	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 22.4 最小巾 11.0 高さ 8.5	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.50kg	形状はやや歪。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	
222	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 26.4 最小巾 9.4 高さ 15.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.94kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を僅かに残す。表面の磨滅少。	
223	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 21.0 最小巾 10.4 高さ 14.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.24kg	形状は均質で、極めて丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
224	7区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 24.2 最小巾 13.8 高さ 15.9	石材：粗粒輝石安山岩 重量：13.82kg	形状は均質。極めて丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
225	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 25.2 最小巾 12.8 高さ 17.5	石材：粗粒輝石安山岩 重量：13.64kg	形状は均質。極めて丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
226	7区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 25.2 最小巾 11.6 高さ 17.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：13.22kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
227	7区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 一部欠損	最大巾 (26.3) 最小巾 11.8 高さ 17.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(14.48)kg	形状は均質。極めて丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
228	7区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 24.2 最小巾 10.5 高さ 16.6	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.32kg	形状はやや歪。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
229	7区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 24.2 最小巾 14.4 高さ 14.6	石材：粗粒輝石安山岩 重量：10.54kg	形状は均質で扁平形を呈する。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行するやや太い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	
230	7区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 26.2 最小巾 10.0 高さ 19.6	石材：粗粒輝石安山岩 重量：16.90kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
231	7区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 27.2 最小巾 8.8 高さ 18.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：14.66kg	形状はやや歪。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
232	7区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 28.3 最小巾 18.3 高さ 19.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：21.96kg	大型。形状は均質。極めて丁寧な成・整形を施し、斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)による面整形の後、全面にわたり水磨きを施す。上下面門中心部に目安としてのトンボの凹みを残す。表面の磨滅は少ない。	
233	7区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 25.8 最小巾 12.0 高さ 19.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：14.76kg	形状はやや歪。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
234	7区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 25.3 最小巾 10.4 高さ 16.3	石材：粗粒輝石安山岩 重量：13.18kg	形状はやや歪。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	

第3節 中世～近現代の遺構と遺物

番号	遺構名	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調又 は材質・分量・重量	器形・成整形技法等の特徴	備考	
235	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	24.8 10.4 13.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：9.74kg	形状は均質。全体に扁平形を呈する。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行するやや太い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
236	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	21.4 10.0 13.6	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.02kg	形状はほぼ均質。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の縦方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
237	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	24.8 12.3 14.6	石材：粗粒輝石安山岩 重量：11.20kg	形状はほぼ均質。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
238	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	21.4 10.4 15.5	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.52kg	形状はほぼ均質。側面に転石自然面の凹みを一部に残す。丁寧な面整形を施し、整形時の斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。表面はやや磨滅する。	
239	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	28.0 11.6 16.3	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.08kg	形状はやや扁平で歪。表面には面整形を施した際の斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残すものの細かな凹凸が残り、平坦ではない。表面はやや磨滅する。	
240	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	25.8 10.2 18.5	石材：粗粒輝石安山岩 重量：14.30kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
241	6区 表採	五輪塔 水輪	表土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	24.8 9.0 14.6	石材：粗粒輝石安山岩 重量：11.38kg	形状はほぼ均質。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
242	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	27.4 12.0 15.1	石材：粗粒輝石安山岩 重量：14.32kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～横方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
243	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	25.0 12.2 16.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：10.54kg 断面：16.1cm	形状はほぼ均質。表面に原石自然面の凹凸を残すものの、丁寧な面整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
244	7区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	24.8 11.6 15.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：11.90kg	形状は均質。極めて丁寧な成・整形を施し、全体に整形時の規則的な細い工具(丸鑿)による刺突痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
245	7区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	29.6 12.8 19.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：19.14kg 断面：18.8cm	大型で形状は均質。極めて丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
246	7区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	24.6 10.0 16.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：11.12kg 断面：15.5cm	形状はやや歪。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
247	7区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	24.6 11.0 15.3	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.76kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
248	7区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	21.8 8.8 14.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.76kg	形状は均質。表面に原石凹みを多く残す。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
249	7区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	23.3 12.0 14.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：11.62kg	形状はやや歪。表面に原石凹みを多く残す。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
250	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	25.2 8.8 18.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.76kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
251	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	25.3 9.8 17.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：14.92kg 断面：17.7cm	形状は均質。極めて丁寧な成・整形を施し、整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
252	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	28.5 9.4 19.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：16.76kg	形状は均質。極めて丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
253	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	23.6 10.0 16.6	石材：粗粒輝石安山岩 重量：11.68kg	形状は歪。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
254	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	24.0 9.8 18.5	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.94kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施したものであるが、表面の磨滅に加工痕跡は明確ではない。	
255	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	27.9 19.5 18.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：18.04kg	大型。形状は均質。極めて丁寧な成・整形を施し、斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)による面整形の後、側面は水磨きを施す。上下面円中心部に目安としてのトンボの凹みを残す。	
256	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ	(24.3) 19.0 16.2	石材：馬見岡凝灰岩 重量：(8.36)kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、上面の一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を僅かに残す。表面はやや剥落・磨滅する。石材から中世五輪塔の可能性が高い。	中世
257	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	27.6 13.0 18.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：17.32kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、側面の一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。表面はやや磨滅する。	
258	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	25.0 11.0 17.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.52kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、側面の一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。表面は若干磨滅する。	
259	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	24.2 10.5 15.5	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.62kg	形状はやや歪。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
260	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	21.6 9.4 15.6	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.98kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、空輪と風輪の括れがやや広い。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。表面はやや磨滅する。	

第3章 検出遺構と出土遺物

番号	遺構名	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調又 は材質・法量・重量	器形・成整形技法等の特徴	備考
261	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 26.4 10.4 17.6	石材：粗粒輝石安山岩 重量：14.82kg	形状はやや歪。丁寧な成・整形を施し、側面の一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。表面は磨滅する。	
262	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 25.8 11.0 14.5	石材：粗粒輝石安山岩 重量：11.70kg	形状はやや歪。河原転石を石材とし、最小限の加工か。一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。表面はやや磨滅する。	
263	7区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 24.8 10.8 17.7	石材：粗粒輝石安山岩 重量：13.76kg	形状はやや歪。河原転石を石材とし、自然面の凹凸が残る。一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。表面はやや磨滅する。	
264	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 24.9 12.4 14.7	石材：粗粒輝石安山岩 重量：11.04kg	形状はやや歪。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。表面の磨滅は少ない。	
265	7区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 21.5 10.6 15.9	石材：粗粒輝石安山岩 重量：9.88kg 断面：15.6cm	形状はやや歪。河原転石を石材とし、自然面の凹凸が残る。一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。表面はやや磨滅する。	
266	7区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 25.6 10.0 15.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：11.00kg	"形状はやや歪。河原転石を石材とし、自然面の凹凸が残る。一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。表面はやや磨滅する。	
267	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 24.2 12.4 16.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.68kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、面整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
268	6区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 26.4 12.0 18.1	石材：角閃石安山岩 重量：15.22kg 断面：17.9cm	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、面整形時の縦～横方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
269	7区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 24.4 9.7 15.3	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.44kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、全体に斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残し、研磨を施す。表面の磨滅は少ない。	
270	7区 1号汜濫跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 27.0 10.0 15.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：13.64kg	形状はやや歪で扁平。自然面の凹凸が残る。一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。表面はやや磨滅する。	
271	6区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 17.7 16.0 13.5	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.32kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、上面は研磨を施す。側面には整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。表面の磨滅は少ない。	
272	6区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 20.1 17.3 17.3	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.54kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、上面は研磨を施す。側面には整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。表面の磨滅は少ない。	
273	7区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 19.4 18.4 17.1	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.52kg 断面：15.5cm	形状はやや歪。上面のみ丁寧に整形・研磨を施し、側面は粗削り後に一部面整形。整形時の横～斜方向の並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。下面は粗削り成形のまま。表面の磨滅少。	
274	7区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 20.4 19.0 17.1	石材：粗粒輝石安山岩 重量：14.16kg	形状は均質。上面のみ丁寧に整形・研磨を施し、側面は粗削り後に一部面整形。整形時の横～斜方向の並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。下面は粗削り成形のまま。表面の磨滅少。	
275	7区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 19.6 19.4 16.7	石材：粗粒輝石安山岩 重量：14.24kg	形状は均質。下面を除き丁寧な成・整形を施し、上面のみ研磨を施す。側面の一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	
276	7区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 22.0 10.4 16.7	石材：粗粒輝石安山岩 重量：15.36kg	形状は均質。下面を除き丁寧な成・整形を施し、上面のみ研磨を施す。側面の一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	
277	7区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 18.6 16.0 17.3	石材：粗粒輝石安山岩 重量：10.84kg	形状はやや歪。上面のみ丁寧に整形・研磨を施し、側面は粗削り後に一部面整形。整形時の斜方向の並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。下面は粗削り成形のまま。表面の磨滅少。	
278	6区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 21.4 19.4 16.9	石材：粗粒輝石安山岩 重量：15.14kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、上面のみ研磨を施す。側面の一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	
279	6区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 20.0 16.2 16.1	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.36kg	形状はやや歪。丁寧な成・整形を施し、上面のみ研磨を施す。側面の一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
280	7区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 19.1 18.0 14.7	石材：粗粒輝石安山岩 重量：11.02kg	形状はやや歪。丁寧な成・整形を施し、上面のみ研磨を施す。側面の一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
281	7区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 20.8 19.2 19.7	石材：粗粒輝石安山岩 重量：13.22kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、上面のみ研磨を施す。側面の一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。底面は中央部を粗削りで皿状に抉る。表面の磨滅少。	
282	7区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 25.4 24.2 20.6	石材：粗粒輝石安山岩 重量：20.48kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、上面のみ研磨を施す。側面の一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。底面は中央部を粗削りで皿状に抉る。表面の磨滅少。	
283	1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 21.4 20.0 17.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：11.70kg	形状は均質。表面はやや磨滅し、側面一部剥落。丁寧な成・整形を施し、横～斜方向の並行する工具(丸鑿)痕を疎らに残す。	
284	6区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 19.2 16.7 15.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.92kg	形状はやや歪。丁寧な成・整形を施し、整形時の横～斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。	
285	6区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 17.2 11.5 15.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.26kg	小型。形状は均質。丁寧な成・整形を施し、上面縁部角は面取加工を施す。表面はやや磨滅する。	
286	7区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ 21.3 19.7 15.5	石材：粗粒輝石安山岩 重量：14.56kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ないが、一部剥落する。	

第3節 中世～近現代の遺構と遺物

番号	遺構名	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調又は材質・分量・重量	器形・成整形技法等の特徴	備考
287	7区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 23.0 22.5 13.9	石材：粗粒輝石安山岩 重量：11.52kg	形状はやや歪。丁寧な成・整形を施すが、表面はやや磨滅し一部剥落する。	
288	7区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 一部欠損	最大中 最小中 高さ 20.4 20.0 12.6	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(9.62)kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、上面のみ丁寧な研磨を施す。側面及び下端部は僅かに剥落・欠損する。	
289	7区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 19.2 18.4 14.7	石材：粗粒輝石安山岩 重量：10.04kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、上面のみ丁寧な研磨を施す。側面は僅かに剥落する。	
290	7区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 一部欠損	最大中 最小中 高さ (23.2) 21.1 15.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(11.52)kg	形状は均質。上面・側面共に丁寧な成・整形を施す。側面の一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	
291	7区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 20.0 19.0 16.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：13.36kg	形状は均質。下面を除き丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	
292	6区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 19.0 18.0 16.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：10.60kg	形状は均質。下面は無整形、側面はやや粗雑な成・整形、上面は丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	
293	6区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 19.8 19.2 14.5	石材：粗粒輝石安山岩 重量：10.78kg	形状は均質。下面を除き丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	
294	6区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 20.5 18.5 16.3	石材：粗粒輝石安山岩 重量：13.98kg	形状はやや歪。丁寧な成・整形を施し、特に上面は研磨を施す。側面の一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を僅かに残す。表面の磨滅少。	
295	6区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 19.0 17.8 14.8	石材：角閃石安山岩 重量：10.44kg	形状は均質。上面のみ丁寧な成・整形を施すが、側面は原石自然面の凹みを残すやや粗雑な整形。一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	
296	6区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 20.0 18.4 17.0	石材：角閃石安山岩 重量：13.54kg	形状はほぼ均質。上面と共に側面に至るまで丁寧な成・整形を施し、整形時の横～斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を一部に残す。表面の磨滅は少ない。	
297	6区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 21.0 19.0 14.0	石材：角閃石安山岩 重量：11.80kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、側面に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
298	7区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 20.0 18.6 15.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：13.28kg	形状は均質。極めて丁寧な成・整形を施し、上面は研磨。一部に整形時の縦～横方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
299	7区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 21.4 21.0 14.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：11.72kg	形状はやや歪。丁寧な成整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
300	7区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 21.8 19.6 19.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：16.84kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、上面は研磨。一部に整形時の斜～横方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
301	6区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 18.6 16.8 15.6	石材：粗粒輝石安山岩 重量：9.34kg	形状はほぼ均質。上面と共に側面に至るまで丁寧な成・整形を施し、整形時の斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を一部に残す。表面はやや磨滅する。	
302	7区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 22.2 20.1 18.5	石材：粗粒輝石安山岩 重量：17.12kg	形状は均質。下面を除き丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	
303	7区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 21.4 15.0 17.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：13.78kg	形状は均質。下面を除き丁寧な成・整形を施し、上面のみ研磨を施す。一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	
304	6区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 22.3 20.8 15.9	石材：粗粒輝石安山岩 重量：15.78kg	形状はほぼ均質。下面を除き丁寧な成・整形を施し、上面のみ研磨を施す。一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	
305	6区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 21.0 17.3 15.7	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.22kg	形状はほぼ均質。下面を除き丁寧な成・整形を施し、上面のみ研磨を施す。一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	
306	6区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 24.0 22.0 17.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：20.06kg	大型。形状はほぼ均質。下面に至るまで丁寧な成・整形を施し、上面のみ研磨を施す。一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	
307	6区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 19.4 17.6 17.1	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.46kg	形状は均質。下面に至るまで丁寧な成・整形を施し、上面のみ研磨を施す。一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	
308	6区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 20.5 18.8 15.6	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.94kg 断面：15.2cm	形状は均質。下面に至るまで極めて丁寧な成・整形を施し、上面のみ研磨を施す。一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面は一部剥落、磨滅は少ない。	
309	7区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 21.2 19.2 16.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：13.80kg	形状はほぼ均質。下面を除き丁寧な成・整形を施し、上面のみ研磨を施す。一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	
310	7区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 22.0 20.2 17.6	石材：粗粒輝石安山岩 重量：15.38kg 断面：16.6cm	形状はほぼ均質。下面を除き丁寧な成・整形を施し、上面のみ研磨を施す。一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	
311	6区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 19.1 17.5 15.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.84kg 断面：14.0cm	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、上面のみ研磨を施す。側面の一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	
312	6区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ 20.4 17.6 16.1	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.78kg	形状は均質。下面を除き丁寧な成・整形を施し、上面のみ研磨を施す。側面の一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	

第3章 検出遺構と出土遺物

番号	遺構名	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調又は材質・法量・重量	器形・成整形技法等の特徴	備考	
313	7区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ	22.8 18.6 20.2	石材：角閃石安山岩 重量：15.96kg	形状はやや歪。上面のみ丁寧な整形・研磨を施し、下面は粗削り成形のまま、側面には、面整形時の縦～斜方向の不規則なやや太い平ノミ状工具(平鑿)痕を疎らに残す。表面の磨滅は少ない。	
314	7区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ	21.0 17.2 18.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：14.88kg	形状はほぼ均質。下面を除き丁寧な整形を施し、上面のみ研磨を施す。側面の一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。表面の磨滅少。	
315	7区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ	20.0 18.0 16.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.56kg 断面：15.6cm	形状は均質。下面を除き丁寧な整形を施し、上面のみ研磨を施す。側面の一部に整形時の横方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残す。表面の磨滅少。	
316	7区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ	16.0 13.5 9.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：4.32kg 断面：8.5cm	形状はやや歪。上面のみ丁寧な整形・研磨を施し、側面および下面は粗削り成形のまま。表面の磨滅少。	
317	7区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ	17.2 15.2 14.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.68kg	形状は均質。下面は粗削り、側面は粗削りの後に部分的に縦～斜方向の並行する細い工具(丸鑿)痕を疎らに残し、上面のみ丁寧な面整形の後に研磨を施す。表面の磨滅少。	
318	7区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 一部欠損	最大中 最小中 高さ	19.6 18.4 14.5	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(11.50)kg	形状は均質。下面を除き丁寧な整形を施し、上面のみ研磨を施す。一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	
319	7区 1号汜濫跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ	20.0 19.6 15.3	石材：角閃石安山岩 重量：11.66kg	形状は均質。下面を除き丁寧な整形を施し、上面のみ研磨を施す。一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。表面の磨滅少。	
320	7区 1号汜濫跡	宝篋印塔 隅棟(笠)部	埋土中 略完形	最大中 最小中 高さ	26.6 10.8 19.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(14.88)kg 羽28.6cm、底形巾17.4cm	隅飾端一部欠損。形状は均質。面は水磨き、角は面取されるなど丁寧な整形を施す。隅飾りには装飾はない。表面はやや磨滅する。	
321	6区 1号汜濫跡	宝篋印塔 屋蓋(笠)部	埋土中 一部欠損	最大中 最小中 高さ	21.6 10.8 18.7	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(11.32)kg	隅飾端一部欠損。形状は均質。面は水磨き、角は面取されるなど丁寧な整形を施す。隅飾りには装飾はない。表面はかなり磨滅する。	
322	7区 1号汜濫跡	宝篋印塔 屋蓋部	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ	25.5 9.0 19.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.58kg	関東形式。形状は均質で、丁寧な整形を施す。隅飾りは二弧の縁取りされた馬耳形を呈し、やや開き、わらび手の装飾は持たない。表面の磨滅は少ない。	
323	7区 1号汜濫跡	宝篋印塔 基礎部	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ	27.3 18.1 21.7	石材：粗粒輝石安山岩 重量：32.52kg	関東形式。形状は均質で、丁寧な整形を施す。枠取りは中央で二区に区切られ、内部に紀年銘等の銘文は認められない。表面の磨滅は少ない。	
324	7区 1号汜濫跡	角塔婆	埋土中 破片	長さ 巾 厚さ	(21.8) (20.7) (15.7)	石材：馬見岡凝灰岩 重量：(7.26)kg	六字名号角塔婆。上下欠損。研磨による丁寧な側面整形を施す。三側面に葉研彫りの「阿弥陀」の文字が残り、一面は剥落のため判読不可。紀年銘は不明。【詳細は別記参照】	中世
325	6区 1号汜濫跡	板碑	埋土中 上部破片	長さ 巾 厚さ	(15.6) (13.2) (2.4)	石材：緑色片岩 重量：(0.72)kg	小型阿弥陀種子板碑上部破片。二条線はなし。浅い葉研彫りキリク(阿弥陀如来)種子の一部が残る。碑面はやや磨滅する。	中世
326	6区 1号汜濫跡	板碑	埋土中 破片	長さ 巾 厚さ	(16.2) (13.5) (3.3)	石材：緑色片岩 重量：(1.26)kg	板碑片。厚さより中～大型板碑の破片か。端部側面に研磨による転用の痕跡が残る。	中世
327	6区 1号汜濫跡	板碑	埋土中 破片	長さ 巾 厚さ	(13.9) (10.5) (2.4)	石材：緑色片岩 重量：(0.50)kg	小型阿弥陀種子板碑。浅い葉研彫りの種子アキ点の一部及び蓮座の一部のみ残存。石材の石質と厚さが酷似していることから、同遺構出土の板碑片(No. ☆)と同一個体の可能性がある。	中世
328	6区 汜濫	板碑	埋土中 破片	長さ 巾 高さ	(5.4) (6.5) (2.0)	石材：緑色片岩 重量：(0.72)kg	阿弥陀三尊板碑の脇侍種子～蓮座の一部か。	中世
329	7区 汜濫	板碑	埋土中 破片	長さ 巾 高さ	(7.3) (6.9) (0.8)	石材：緑色片岩 重量：(0.54)kg	主尊蓮座の一部か。表裏面・断面共に酸化鉄付着により赤褐色に変色。	中世
330	6区 1号汜濫跡	石白 上白	埋土中 1/3	最大中 最小中 高さ	(25.0) (24.0) 12.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(5.50)kg	2/3欠損。上面縁一部欠損。白面は偏減りし、溝(目)は磨滅する。側面に挽き手用の孔あり。	
331	6区 1号汜濫跡	石白 上白	埋土中 2/3	径 内側厚 高さ	28.2 5.5 11.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(5.38)kg 孔径：3.6cm	1/3程欠損。丁寧な整形を施す。挽き手孔・もの入れ孔あり。使用による摩耗著しく、側面挽き手孔付近まで磨滅。白面はやや偏減りし摩耗するものの僅かに溝(目)を残す。	
332	6区 1号汜濫跡	石白 上白	埋土中 3/4欠損	径 高さ	(29.6) 12.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(4.08)kg	3/4欠損。白面は片減りは無く均質に摩耗する。溝(目)は僅かに残るものの、条は少なく蛇行する。側面に整形時の斜方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。	
333	6区 1号汜濫跡	石白 上白	埋土中 1/5	最大中 最小中 高さ	(13.6) 9.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(2.22)kg	4/5欠損。形状は均質。白面は均等に摩耗し、溝(目)は僅かにのこる。側面は丁寧な面整形を施し、側面には面整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。全体にややの磨滅する。	
334	6区 1号汜濫跡	石白 下白	埋土中 1/3	径 高さ	(36.8) 9.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(6.08)kg	2/3欠損。丁寧な整形を施す。白面は偏減りはなく、一部に溝(目)を残し、ほぼ均質に摩耗。	
335	6区 1号汜濫跡	石白 下白	埋土中 1/4	最大中 最小中 高さ	(30.0) (28.0) (8.2)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(2.20)kg	3/4欠損。下面縁部角を面取加工するなど、丁寧な整形を施す。白面は偏減りはなく、若干の溝(目)を残し、ほぼ均質に摩耗。	
336	6区 1号汜濫跡	石白 下白	埋土中 破片	径 高さ	28.0 7.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(1.58)kg	5/6欠損。白面は使用による摩耗著しく、僅かに溝(目)を残す。	
337	6区 表採	石白 下白	表土中 1/4欠損	径 高さ	32.0 14.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(13.82)kg	1/4ほど欠損。白面は片減りは無く均質に摩耗する。溝(目)は残らず磨滅する。側面の上半部は面の整形を施すが、下半部は粗削り。中央の軸受け孔は、段差なく同径のまま貫通する。	

第3節 中世～近現代の遺構と遺物

番号	遺構名	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm		①胎土②焼成③色調又 は材質・法量・重量	器形・成整形技法等の特徴	備考
338	6区 表採	石白 下白	表土中 1/4	径 高さ	(30.0) 15.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(6.66)kg	3/4程欠失。形状は均質。白面は均等に摩耗し、溝(目)は磨滅し残らない。側面は丁寧な面整形を施し、底面は粗く揃り鉢状に窪む。	
339	6区 1号汜濫跡	石白 下白	埋土中 1/2	最大巾 最小巾 高さ	14.2 10.1	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(8.00)kg	1/2欠損。白面は片減りは無く均質に摩耗する。溝(目)は僅かに残る。側面の一部に整形時の縦方向に並行する細い工具(丸鑿)痕を残す。	
340	6区 1号汜濫跡	石白 下白	埋土中 破片	最大巾 最小巾 高さ	(11.8) (9.6) (8.2)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(1.88)kg	3/4欠失。白面は使用による磨滅で目(溝)は残らず、測面～底面は破断後に剥落する。	
341	7区 1号汜濫跡	石白 下白	埋土中 1/3	最大巾 最小巾 高さ	(29.6) (13.8)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(4.96)kg	2/3欠失。形状は均質。白面は均等に摩耗し、溝(目)は僅かにのこる。側面は丁寧な面整形を施し、底面は粗く揃り鉢状に窪む。	
342	6区 1号汜濫跡	石白 下白	埋土中 1/3	径 高さ	(34.0) (10.2)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(4.06)kg	2/3欠損。白面は使用による磨滅が著しく、溝(目)を残さない。	
343	7区 1号汜濫跡	石鉢	埋土中 破片	径 高さ	(24.0) (7.2)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：(1.08)kg	底部破片。丁寧な成・整形を施し、外面側～底部は面整形時の斜方向の規則的に並行する巾広の工具(平鑿)痕を疎らに残す。内面は外面同様の整形後に研磨を施す。全体にやや磨滅する。	
344	6区 1号汜濫跡	石製品 不明	埋土中 破片	長さ 巾 厚さ	(30.3) (15.9) (8.4)	石材：馬見岡凝灰岩 重量：(3.56)kg	同遺構出土の角塔婆(No.324)と同じ石材であることから、角塔婆等の中世石造物の一部片と考えられる。	
345	6区 1号汜濫跡	石製品 不明	埋土中 1/2	長さ 巾 厚さ	(7.3) (9.0) (3.5)	石材：ニッ岳軽石 重量：(3.46)kg	不明石製品。1/2欠損か。上面は平坦に成整形され、側面は鋭利な巾広の平鑿でウロコ状に粗く切り出す。	

番号	遺構名	器種・部位 出土位置	①胎土②焼成③色調	文様の特徴等	備考
349	1号大溝跡	土製品 破片 丸瓦	①細砂粒 ②焼締 ③にぶい橙 (7.5YR6/4)	厚さ105cm	表面に鉄分付着
350	1号大溝跡	土製品 破片 軒平瓦	①細砂粒 ②焼締 ③にぶい黄橙 (10YR5/4)	瓦当ての剥離痕が認められる。	
351	1号大溝跡	土製品 破片 平瓦	①細砂粒・粗砂粒・細礫 ②焼締 ③にぶい黄褐 (10YR6/3)	厚さ1.7cm 表面布目痕が残る。	
352	1号大溝跡	土製品 破片 平瓦	①細砂粒・粗砂粒 ②焼締 ③にぶい黄橙 (10YR7/3)	裏面に線刻あり	
353	1号大溝跡	土製品 破片 平瓦	①細砂粒・粗砂粒・細礫 ②焼締 ③灰黄 (2.5Y6/2)	厚さ1.4cm 表面布目痕が残る	
354	1号大溝跡	土製品 破片 平瓦	①細砂粒・粗砂粒・細礫 ②焼締 ③黄灰 (2.5Y6/1)	厚さ1.9cm 表面布目と吊り紐痕が残る。	
355	1号大溝跡	軟質土器 口縁～底部 内耳鍋 破片	①細砂粒・粗砂粒 ②還元焰 ③黒褐 (10YR3/1)	口舌部は平坦でやや内向する。口縁部～胴部は横ナデ。底ぶ部は平底。	
356	1号大溝跡	軟質土器 口縁～底部 内耳鍋 破片	①細砂粒・粗砂粒 ②還元焰 ③黒褐 (10YR3/1)	口舌部は平坦でやや内向する。口縁部～胴部は横ナデ。底ぶ部は平底。	
357	1号大溝跡	軟質土器 口縁～底部 内耳鍋 破片	①細砂粒・粗砂粒 ②還元焰 ③黒褐 (10YR3/1)	口舌部は平坦でやや内向する。口縁部～胴部は横ナデ。底ぶ部は平底。	

番号	種別器形	区	面	遺構名	形・成調整等	備考
346	カワラケ	6		1溝	左回転糸切無調整。内底撫で。	中世
347	カワラケ	6		1溝	器表磨滅。	中世
348	カワラケ	6		1溝	右回転糸切無調整。内底指撫で。	中世

358	軒瓦	7		大溝	巴文、唐草文共に型磨滅。軒部左に□内に「谷ト」押印	時期不詳
359	軒瓦	7		大溝	表面キラ付着。裏面撫で。	時期不詳
360	軒瓦	7		大溝	万十部剥落。	
361	棧瓦	7		大溝	裏面櫛目多い。	時期不詳
362	棧瓦	7		大溝	表面キラ付着。裏面撫で。	時期不詳
363	棧瓦	7		大溝	表尻部に重ね痕。裏面波状線。	時期不詳
364	棧瓦	7		大溝	表面キラ付着。裏面撫で。	時期不詳
365	棧瓦	7		大溝	表にキラ付着。尻部欠損。	時期不詳
366	棧瓦	7		大溝	裏面波線。	時期不詳
367	棧瓦	7		大溝	両面キラ付着。燻し顕著。裏面櫛目。	時期不詳
368	棧瓦	7		大溝	両面キラ付着。燻し顕著。裏面櫛目。	時期不詳

番号	区	遺構	出土位置 (NO.)	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	摘要
369	7	1号大溝跡		鉄器	鎌	刃部下半	4.4	2.7	0.7	9.0	雁又鎌。残存状態は比較的良好。
370	7	1号大溝跡		金属器	鉄砲玉	完形	1.3	1.3		10.0	
371	7	1号大溝跡		鉄器	鎌	刃部先端欠損	14.7	3.4	0.6	46.0	近世以降のものか残存状態良好。
372	7	1号大溝跡		鉄器	鎌	柄と刃部基部	9.2	2.6	0.9	21.0	錆化が進んでいる。

### 第3章 検出遺構と出土遺物

番号	種別器形	区	面	遺構名	形・成調整等	備考
373	カワラケ	6・7		1 溝	底部外面回転糸切後圧痕。	中世
374	青磁 碗	6・7		1 溝	龍泉窯系。鎚連弁文。	13 世紀中～ 14 世紀前半
375	青磁 碗	6・7		1 溝	龍泉窯系。篋による連弁文。	14 世紀後～ 15 世紀前
376	青磁 碗	6・7		1 溝	龍泉窯系。鎚連弁文。	13 世紀中～ 14 世紀前半
377	青磁 碗	6・7		1 溝	龍泉窯系。鎚連弁文。	13 世紀中～ 14 世紀前半
378	磁器 面取盃	6・7		1 溝	中国製。挾り高台。内底溶着痕。	15 世紀前半
379	陶器 灯明皿	6・7		1 溝	瀬戸・美濃。鉛釉。	17 世紀後半～ 18 世紀初
380	陶器 灯明皿	6・7		1 溝	瀬戸・美濃。錆釉、底部外面拭い取る。	19 世紀前～中
381	陶器 鉄絵皿	6・7		1 溝	瀬戸・美濃。	17 世紀中～後半
382	陶器 皿	6・7		1 溝	瀬戸・美濃。内面から体部外面上半灰釉。	江戸時代
383	陶器 平碗	6・7		1 溝	内面から体部外面上位灰釉。	古瀬戸後Ⅱ期
384	陶器 平碗	6・7		1 溝	灰釉。	古瀬戸後Ⅲ期
385	陶器 菊皿	6・7		1 溝	瀬戸・美濃。内面銅緑釉流し？	17 世紀前半
386	陶器 灯明受皿	6・7		1 溝	瀬戸・美濃。錆釉、底部外面拭い取る。	19 世紀前半
387	磁器 碗	6・7		1 溝	瀬戸・美濃。茶色に灰釉の横線。機械轆轤。	近現代
388	陶器 碗	6・7		1 溝	瀬戸・美濃。内面から体部外面高台脇灰釉。	江戸時代
389	磁器 皿	6・7		1 溝	製作地不詳。染付。	近現代
390	磁器 皿	6・7		1 溝	製作地不詳。染付。	近現代
391	染付 皿	6・7		1 溝	中国製。内外面染付。	中世
392	染付 皿	6・7		1 溝	肥前。型紙。	18 世紀前半
393	磁器 碗	6・7		1 溝	瀬戸・美濃。釉下彩。機械轆轤	近現代
394	染付 端反碗	6・7		1 溝	瀬戸・美濃。	19 世紀前～中
395	磁器 丸碗	6・7		1 溝	肥前。染付。	18 世紀中～後
396	磁器 碗	6・7		1 溝	肥前・波佐見系。染付。	18 世紀後半～ 19 世紀前
397	磁器 火入？	6・7		1 溝	肥前。内面無釉。	江戸時代
398	磁器 猪口	6・7		1 溝	肥前。口錆。染付。	18 世紀
399	磁器 盃	6・7		1 溝	瀬戸・美濃。吹き墨と上絵。陸軍凱旋記念か	近現代
400	陶器 すり鉢	6・7		1 溝	瀬戸・美濃。錆釉。	17 世紀後半
401	陶器 すり鉢	6・7		1 溝	堺・明石。	18 世紀後半
402	陶器 片口鉢	6・7		1 溝	常滑？Ⅱ類。	中世
403	陶器 すり鉢	6・7		1 溝	丹波。体部外面指状圧痕。	17 世紀前半
404	土器 不詳	6・7		1 溝	口縁部に歪みがあり、片口状を呈する可能性あり。	中世？
405	在地土器 火鉢	6・7		1 溝	内面器壁剥落。外面黒灰色。	中世
406	陶器 盤類	6・7		1 溝	体部外面上位灰釉。	古瀬戸後Ⅰ・Ⅱ期
407	陶器 すり鉢	6・7		1 溝	瀬戸・美濃。錆釉。	中世から江戸
408	内耳鍋	6・7		1 溝	口縁部内湾。	15 世紀
409	土器 焙烙	6・7		1 溝	体部内湾。	江戸時代
410	陶器 甕	6・7		1 溝	常滑。	19 世紀？
411	在地土器 置輪	6・7		1 溝	内面被熱痕。	近現代
412	十能瓦	6・7		1 溝	外面型痕、周縁撫で。	近現代
413	ガラス瓶	6・7		1 溝	インク瓶。外底に「オンドリ」の浮き文字。	近現代
414	ガラス瓶	6・7		1 溝	「イボコロリ」、「横山製菓」の浮き文字。薄い瑠璃色。	近現代
415	ガラス瓶	6・7		1 溝	薬瓶か。コルク栓。「定容」の浮き文字と線。茶色。	近現代
416	ガラス瓶	6・7		1 溝	「東京市電氣局共済組合」の「一粒丸」瓶。	明治 44 ～昭和 18 年
417	ガラス瓶	6・7		1 溝	キンカンの瓶。初期に近い。茶色。	昭和
418	ガラス瓶	6・7		1 溝	カルピス 180 ミリリットル瓶。王冠。茶色。	昭和？
419	樹脂製 櫛	6・7		1 溝		近現代

番号	区	遺構	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	摘要
427	6	1 号大溝跡	金属器	古銭	2/3	2.50		0.15	1.82	孔径 0.7 「元祐通宝」北宋銭
428	6	1 号大溝跡	金属器	古銭	完形	2.50		0.12	1.81	孔径 0.64 「開元通宝」唐銭
424	7	2 号溝跡	金属器	古銭	完形	2.47		0.18	3.50	孔径 0.55 「寛永通宝」裏紋なし
426	7	3 号溝跡	金属器	古銭	完形	2.46		0.10	1.73	孔径 0.59 「寛永通宝」裏紋なし
420	7	1 号溝跡	金属器	古銭	完形	2.25		0.14	1.56	孔径 0.60 「洪武通宝」
423	7	1 号溝跡	金属器	古銭	完形	2.26		0.11	1.29	孔径 0.67 不明
422	7	1 号溝跡	金属器	古銭	完形	2.28		0.11	2.05	孔径 0.6 「寛永通宝」裏紋なし小型
421	7	水田跡	金属器	古銭	完形	2.35		0.11	1.77	孔径 0.7 「皇宋通宝」
425	7	表採	金属器	古銭	完形	2.50		0.13	1.50	孔径 0.6 「寛永通宝」裏紋なし
429	8	表採	金属器	古銭	完形	2.51		0.10	2.51	孔径 0.67 「天禧通宝」北宋銭

番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	摘要
430	銅製品	キセル	完形	3.7	0.9	0.9	2.0	残存状態良好。
431	鉄製品	蹄鉄	完形	11.3	10.9	0.7	130.0	残存状態良好。

報告書抄録

書名ふりがな	かしまうらいせき
書名	鹿島浦遺跡
副書名	北関東自動車道(伊勢崎～県境)地域埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	第1分冊 本文・挿図編、第2分冊 写真図版編
シリーズ名	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 調査報告書
シリーズ番号	496
編著者名	新倉明彦・田村邦宏
編集機関	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行機関	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行年月日	20100319
作成法人ID	21005
郵便番号	377-8555
電話番号	0279-52-2511
住所	群馬県渋川市北橘町下箱田784番地2
遺跡名ふりがな	かしまうらいせき
遺跡名	鹿島浦遺跡
所在地ふりがな	ぐんまけんおおたしひがしいまいずみまち
遺跡所在地	群馬県太田市東今泉町506他
市町村コード	10205
遺跡番号	T0450
北緯(日本測地系)	361934
東経(日本測地系)	1392334
北緯(世界測地系)	361945
東経(世界測地系)	1392322
調査期間	20030801-20050331
調査面積	48483
調査原因	道路建設
種別	集落
主な時代	縄文/奈良/平安/近現代
遺跡概要	その他-縄文-埋嚢+土坑+遺構外-縄文土器+縄文石器/ 集落-奈良+平安-竪穴住居+掘立柱建物+溝+道路-須恵器+土師器+石製品+金属製品/その他-中世+近世+近現代-自然災害-石製品+石造物+陶器+磁器
特記事項	東山道駅路跡、獣脚付円面硯
要約	北関東自動車道太田桐生インターチェンジ下の遺跡。東山道駅路跡・古代基幹用水路跡および同時期の集落跡の調査。



財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団 調査報告 第496集

**鹿島浦遺跡** ー 第 1 分冊 本文・挿図編 ー  
北関東自動車道(伊勢崎～県境)地域埋蔵文化財発掘調査報告書

---

平成22(2010)年 3月2日 印刷  
平成22(2010)年 3月19日 発行

発行/編集 財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団  
〒377-8555 群馬県渋川市北橋町下箱田784番地の2  
TEL 0279-52-2511(代表)  
ホームページアドレス <http://www.gunmaibun.org>

印刷/川島美術印刷株式会社

---